

徳用クヤダ遺跡 2

北西部土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 10

2014

石川県野々市市教育委員会

徳用クヤダ遺跡 2

2014

石川県野々市市教育委員会

とくもと
徳用クヤダ遺跡 2

2014

石川県野々市市教育委員会



D、E区 遠景（南西から）



E区 遠景（北から）



A～C区 遠景（南東から）



A～C区 全景（上空から）



D、E区 全景（上空から）



E区 全景（上空から）



E区 南側 全景（上空から）



G、H区 全景（上空から）



A区 全景（南から）



B区 全景（南東から）



C区 全景（上空から）



E区 全景（北から）



H区 全景（上空から）



F区 SD17（東から）



G区 S I 51・52、S K 86~88 (上空から)



C区 SK 3 青磁香炉出土状況



D区 SK21 石、遺物出土状況（南から）



E区 SK60 炉縁石出土状況（南から）



E区 SK62 遺物出土状況（北から）



E区 SK79 炉縁石出土状況（西から）

例 言

- 1 本書は、徳用クヤダ遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は、石川県野々市市徳用町地内である。
- 3 調査原因は、野々市市北西部土地区画整理事業にともなうものである。
- 4 調査は、野々市市北西部土地区画整理組合からの依頼を受けて野々市市教育委員会が実施した。
- 5 調査にかかる費用は、野々市市北西部土地区画整理組合と野々市市が負担した。
- 6 現地調査の年度・期間・面積・担当者は以下のとおりである。

平成16年度 第1次

期 間 平成16年 4月12日～平成16年11月30日
面 積 3,488㎡
担当者 徳野裕子 野々市市教育委員会文化振興課職員

平成21年度 第7次

期 間 平成21年 4月13日～平成22年 3月15日
面 積 3,594㎡
担当者 田村昌宏 野々市市教育委員会文化振興課職員

- 7 出土品整理は、第1次調査が平成21・22年度、第7次調査は平成24・25年度に実施した。
- 8 報告書の刊行は平成25年度に野々市市教育委員会文化振興課が実施した。担当及び執筆・編集は田村昌宏（野々市市教育委員会文化振興課職員）、執筆・編集補助を多間聖（野々市市教育委員会文化振興課職員）、編集補助・遺物写真撮影・写真レイアウトは菊地由里子（野々市市教育委員会臨時職員）が行った。
- 9 本書についての凡例は以下のとおりである。
 - (1) 方位は座標北を指し、座標は国土交通省告示の平面直角座標第Ⅶ系に準拠している。
 - (2) 水平基準は海拔高であり、T.P.（東京湾平均海面標高）による。
 - (3) 出土遺物番号は、本文・観察表・挿図・写真に対応する。
 - (4) 挿図の縮尺は図に示すとおりである。また、写真図版における遺物の縮尺は統一していない。
 - (5) 土層図の注記は、農林水産省農林水産技術会事務局・財団法人 日本色彩研究所監修『新版標準土色帖』に拠った。
 - (6) 遺構名称の略号は以下のとおりである。
柵列：SA 掘立柱建物：SB 溝：SD 竪穴状遺構：SI 土坑：SK
小穴：P 性格不明遺構：SX
- 10 調査に関する記録と出土遺物は、野々市市教育委員会が一括して保管・管理している。

目 次

第1章 調査の経過	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 発掘作業の経過	1
第2章 遺跡の位置と環境	3
第1節 地理的環境	3
第2節 歴史的環境	3
第3章 調査の方法と成果	7
第1節 調査区の設定	7
第2節 調査の方法	7
第3節 層序	7
第4節 遺構	9
第5節 遺物	115
遺物観察表	218
第4章 総括	251

写真図版

第1章 調査の経過

第1節 調査に至る経緯

本書収録の徳用クヤダ遺跡が所在する野々市市北西部地域は、整然とした水田が広がる農業振興地域であった。しかし、近年における周辺地域の都市化に伴い、本地域も住生活環境の変化が必要となり宅地化の促進が図られることになった。そこで、平成11年に野々市町北西部土地区画整理事業が施行されることが決定した。

北西部土地区画整理施行区域65.4ha内には、埋蔵文化財の存在する可能性があり、詳細な確認調査を行う必要が生じた。そこで、平成11年8月25日付で野々市町産業建設部長から野々市町教育委員会教育長宛に土地区画整理事業区域内の埋蔵文化財の分布調査についての依頼が出され、同年8月31日付けで同区域での分布調査を行う旨の回答をした。これに基づき、北西部土地区画整理施行区域内に試掘坑352箇所を設定し、宅地化など掘削作業できない箇所を除いた337箇所を、同年9月27日～10月19日にかけて試掘調査を実施した。その結果、以前より存在が確認されていた二日市イシバチ遺跡の南側の範囲が確定したほか、新たに、三日市ヒガシタンボ遺跡、三日市A遺跡、郷クボタ遺跡、徳用クヤダ遺跡を発見した。

この結果から、野々市町北西部土地区画整理組合、野々市町都市計画課、野々市町教育委員会と協議を重ね、埋蔵文化財包蔵地のうち、道路等恒久化する工事箇所と、民有地内で十分な遺跡の保護層が確保できない箇所については、発掘調査を行うことで合意した。平成12年4月13日付けで、野々市町と野々市町北西部土地区画整理組合との間で野々市町北西部土地区画整理事業地区内埋蔵文化財に関する協定書が交わされた。

二日市イシバチ遺跡、三日市ヒガシタンボ遺跡、三日市A遺跡、郷クボタ遺跡、徳用クヤダ遺跡に関する文化財保護法第57条の3に基づく届出については、北西部土地区画整理組合から文化庁長官宛に提出されたものを、平成12年3月29日付けで野々市町教育委員会教育長から石川県教育委員会教育長宛に進達した。これを受けて、同年3月30日付けで石川県教育委員会教育長から野々市町教育委員会教育長宛に埋蔵文化財発掘調査の届出に関する通知がなされた。

以上の手続きを終えて、平成13年度より上記5遺跡の発掘調査が開始された。

第2節 発掘作業の経過

第1次（平成16年度調査）

第1次発掘調査は、土地区画整理地区内の区画道路工事に伴う箇所の調査である。

平成16年4月1日、野々市町北西部土地区画整理組合（当時 以下、北西部組合と呼称する。）から野々市町（当時）に当該地域における発掘調査の依頼があった。同月同日、野々市町は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を北西部組合に提出し、その計画書に基づいて、野々市町と北西部組合との間で委託契約を締結した。野々市町教育委員会は、同月同日に文化財保護法第99条1項に基づく発掘調査報告を石川県教育委員会に提出して、本格的な調査に取り掛かった。

発掘調査は4月12日より開始した。同日、調査区の設定を行い、4月21日より大型掘削機による表土除去が始まった。5月12日から発掘調査作業員の人力による作業を開始し、遺構検出・掘削を行った。この作業と並行して、個別遺構等の記録・写真撮影を実施し、7月29日と11月9日、11月29日にラジコンヘリコプターによる空中写真測量を行い、11月30日に現地調査を完了した。

出土遺物の整理作業については、平成21年7月21日より開始した。7月21日～同年10月20日まで行い、期間をおいて、平成22年4月5日～平成23年3月31日にかけて実施した。作業内容は、出土遺物の洗浄を行い、その後、遺物に出土した地点を記名、及び分類作業、同一個体の接合を実施した。続けて、一部の遺物を選別しての実測作業を行い、その後、報告書掲載のための、実測した遺構と遺物の製図作業を執り行った。遺物の実測完了後は、写真撮影を行い、並行して報告書の執筆を開始。編集作業を経て、平成26年3月28日に発掘調査報告書を刊行した。

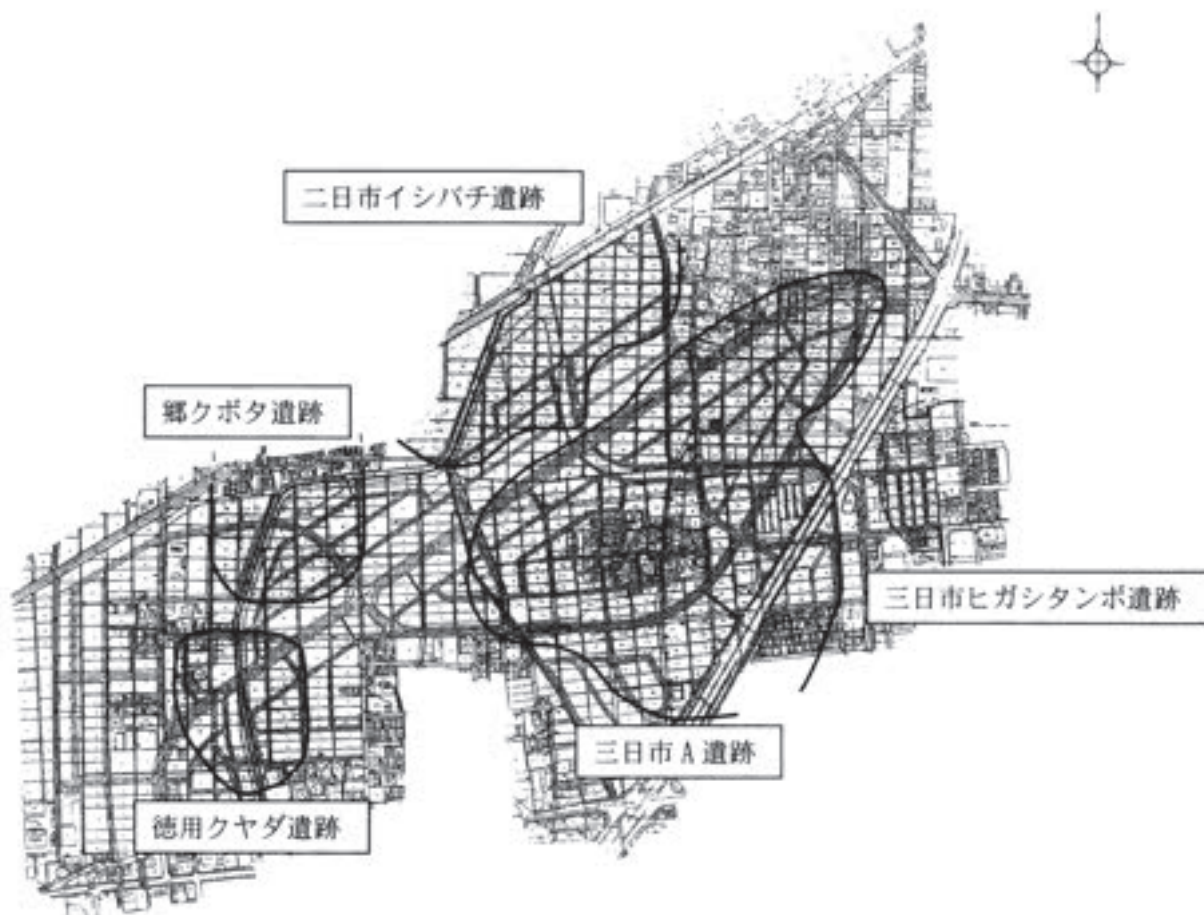
第7次（平成21年度調査）

第7次発掘調査は、土地区画整理地区内の民有地内で十分な遺跡の保護層が確保できない箇所の調査である。平成21年4月1日、北西部組合から野々市町に当該地域における発掘調査の依頼があった。同

月同日、野々市町は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を北西部組合に提出し、その計画書に基づいて、野々市町と北西部組合との間で委託契約を締結した。野々市町教育委員会は、同年4月10日に文化財保護法第99条1項に基づく発掘調査報告を石川県教育委員会に提出して、本格的な調査に取り掛かった。

発掘調査は4月15日より大型掘削機による表土除去から始まった。表土除去の後、発掘調査作業員の人力による作業を開始し、遺構検出・掘削を行った。この作業と並行して、個別遺構等の記録・写真撮影を実施し、遺構完掘後は清掃作業を行った後、ラジコンヘリコプターによる空中写真を測量して、平成22年3月15日に現地調査を完了した。

出土遺物の整理作業については、平成24年7月3日～平成25年10月8日にかけて実施した。作業内容は、出土遺物の洗浄、遺物に出土した地点の記名、分類作業、同一個体の接合、一部の遺物を選別しての実測作業と、実測した遺構と遺物の製図作業である。遺物の写真撮影は、平成26年1月14日～1月27日にかけて行い、並行して報告書の執筆を実施。編集作業を経て、平成26年3月28日に発掘調査報告書を刊行した。



第1図 北西部土地区画整理事業地区位置図

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

野々市市は石川県のほぼ中央、石川平野の要地に位置する。市の大きさは南北約6.7km、東西4.5kmで、県内で最も面積の小さい自治体である。市域は霊峰白山を源とする県下第一級河川手取川によって形成された手取川扇状地の北東部にあたり、扇中央部と扇端部の狭間に位置する。本市で最も高い標高地は50m、最も低い地点は10mで、なだらかな緩斜面となる地勢をみせている。

現在の野々市市は平坦な地形が広がっているが、従前は手取川から派生する多くの小河川によって形成された微高地と微低地が混在する地形であった。野々市で人々の生活が認められるのは縄文時代後期前半からで、集落の拠点は標高の高い微高地であった。この時代は扇状地の大部分が未開の原野で、ススキや低木が生い茂る荒地であったようである。その後、稲作の伝わる弥生時代から石川平野の中で水田耕作が営まれるようになり、土地の開墾が始まっていった。古代以降、農耕具の発達などにより凸凹の多い土地は次々と開発されていき、未開発地は耕作地として生まれ変わっていった。明治時代以降は、田区改正による耕地整理が各地で急速に広がり、市内全域は起伏のない平坦な地形へと移り変わり、水田区画は碁盤目のように整然となった。このような、大きく広がった田園風景は昭和30年代ころまで見られた。

しかし、昭和40年代の高度経済成長期以降は、県庁所在地金沢市の隣接地という地理的条件から、住宅地や商業施設の建設などが著しくなり、急速に水田風景は失われていった。特に、北部の御経塚地区や南部の三納・粟田・新庄地区は区画整理事業が進み、住宅地として生まれ変わっていった。今回、発掘調査箇所となる市域北西部地区も区画整理事業の一貫として行われており、周辺地は大きな変貌を遂げてきている。また、市内の東部には金沢工業大学、南部には石川県立大学といった教育機関が置かれ、野々市市は、若者が多く集う学園都市としての性格も持ち合わせている。

今回の発掘調査地である徳用クヤダ遺跡は、標高約18mで、手取川から派生する小河川によって形成された微高地上に立地する。ただし、市域上流部と比較して、大きな川原石の堆積は少なく、微低地との高低差も大差ないことから、当時の生活拠点の場としては、適した地であったと思われる。



第2図 野々市市位置図

第2節 歴史的環境

徳用クヤダ遺跡周辺に点在する遺跡を、時代別に概観する。

縄文時代

本遺跡より北東方約1.7km離れたところには国指定史跡となっている6御経塚遺跡が所在する。御経塚遺跡は、縄文時代後期中葉～弥生時代初頭にかけて営まれた地域における拠点集落である。当遺跡で発見された御経塚式土器は縄文時代晩期前半の基準資料となる。御経塚遺跡の近隣には、縄文時代後期後半～晩期後半の1チカモリ遺跡や縄文時代後期後半～晩期後半の2中屋サワ遺跡といった集落遺跡が点在し、御経塚遺跡の拠点集落を中心に展開した出村的な集落であったようである。これらの遺跡は標高6～10mに立地し、扇状地を伏流する地下水の湧水域であった。また、当時の生活に必要な落葉広葉樹と照葉樹が混在する豊かな林野が大きく広がっていた場所でもあったことから、この地帯は当時の人々にとって生活環境に最適な場であったようである。

本遺跡より南東約1.5kmのところには、縄文時代晩期の17長竹遺跡がある。長竹遺跡は縄文時代晩期後半の基準資料となる土器が出土した遺跡で、水田稲作農耕が西日本に波及した極めて重要な時期である。なお、12三日市A遺跡及び6御経塚遺跡からは、当該時期の稲籾の圧痕のついた土器が出土している。

弥生時代

手取川扇状地一帯における弥生時代の遺跡分布を見ると、前期～中期にかけては極めて少なく、後期に数多く存在する。御経塚遺跡（ツカダ地区）、15乾遺跡からは、柴山出村式と呼ばれる弥生時代前期の土器が確認されているが、この時期は弥生文化の波及が十分ではなく、まだ縄文文化の影響が強く残っていたようである。

弥生時代後期になると、鉄器の普及などを要因とする生産力の向上から人口が増え、それに伴い手取川扇状地一帯にも集落が展開するようになる。本遺跡の周囲にある5御経塚シンデン遺跡、御経塚遺跡、7長池ニシタンボ遺跡、9二日市イシバチ遺跡、10郷クボタ遺跡、12三日市A遺跡、13三日市ヒガシタンボ遺跡、14徳丸ジョウジャダ遺跡などからは、竪穴建物や掘立柱建物などで構成される集落跡が見つかっている。これは、農耕社会が急速に広がったことから、安定した農耕地の確保が必要となったため、広範にわたってムラが形成していったと考えられる。

古墳時代

古墳時代前半については、9二日市イシバチ遺跡で、弥生時代後期からの流れを汲む集落跡を確認することができるが、中期には扇状地上での集落数が激減し、一旦収束傾向となる。一方、本遺跡より北方約1.7kmにある御経塚シンデン遺跡・御経塚シンデン古墳群では、弥生集落廃絶後に15基の前方後方墳、方墳からなる大古墳群を造立している。また、本遺跡近隣の二日市イシバチ遺跡の一角からも、古墳時代前半の一辺約18mの規模を中心とした大小の方墳7基を確認しており、各地域を治める首長層の存在を伺い知ることができる。

古墳時代後半になると、本遺跡から南方約4kmの市上流域の扇状地扇央部で末松古墳や上林古墳など後期古墳が築かれるようになる。これは河川上流域における開発が広がり始めていったことを意味する。

古代

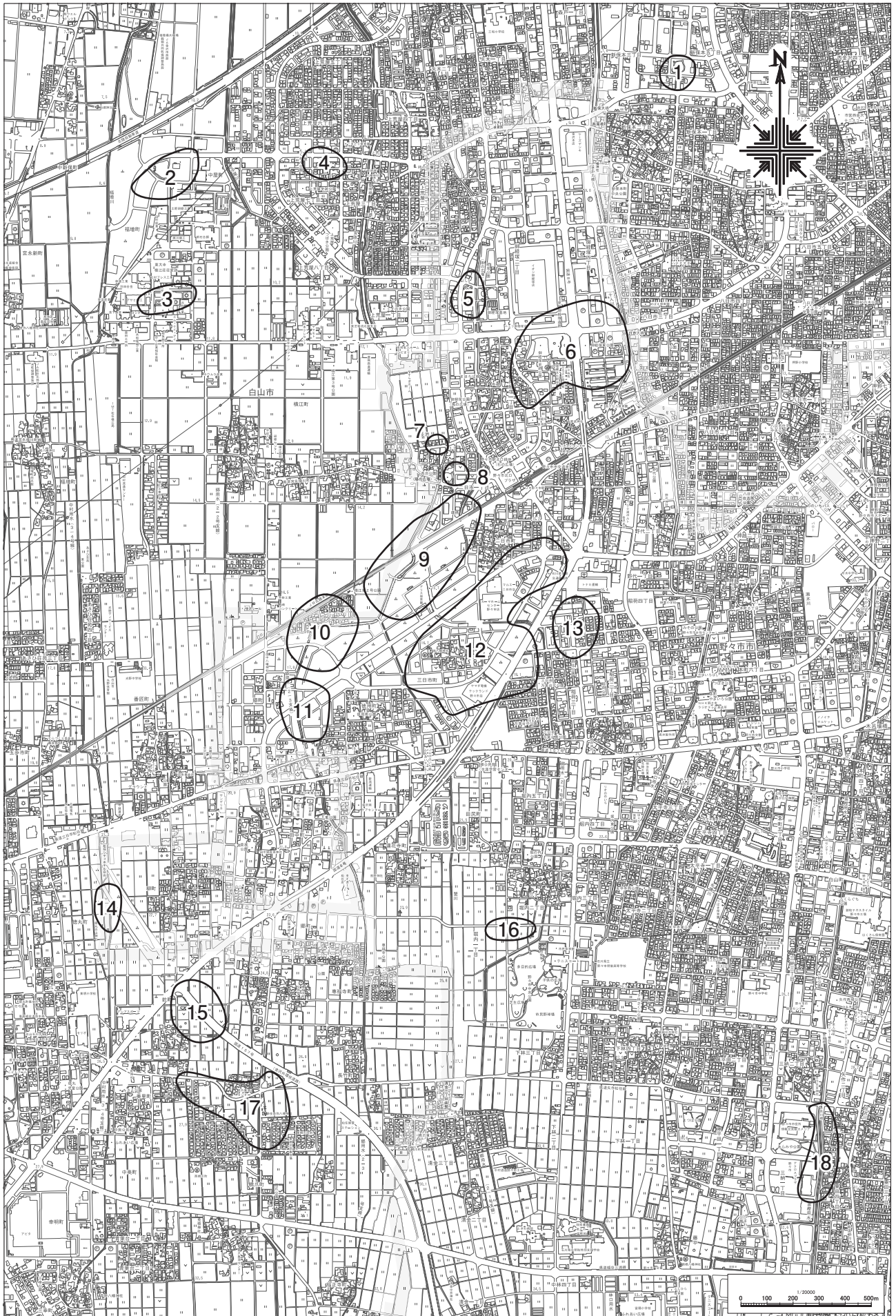
7世紀後半には、手取川扇状地扇央部に、県内最古の古代寺院である末松廃寺が建立される。末松廃寺は、東に塔、西に金堂が置かれた法起寺式の伽藍配置をもち、この寺院建立以降、市内南部地域を含む手取川扇状地扇央部一帯で耕作地開発が急速に進み、特に8世紀後半以降は18三納アラミヤ遺跡をはじめとする周辺各地に集落が増大していく。扇状地扇端部には、初期荘園の遺跡である3横江荘々家跡、4上荒屋遺跡が所在する。また、12三日市A遺跡からは、9世紀頃に成立した古代の官道である北陸道の跡が見つかり、上記荘園遺跡との関係が指摘されている。

中世

11世紀後半～12世紀頃から、在地領主層の武士団の形成が図られるようになった。地元武士団である林氏や富樫氏は、手取川扇状地での新開発や再開発に大きな影響を与えた。ただし、市内において現在のところ中世前半にかけての遺跡はあまり多く確認されていない。中世の遺跡が多く認められるようになるのは、富樫氏が加賀国の守護職に任じられ、野市に守護所を置く14世紀頃からである。本遺跡をはじめ、近隣の2中屋サワ遺跡や10郷クボタ遺跡、12三日市A遺跡では、溝で囲まれた中に建物などが配置される散居村のような景観が広がる集落が認められる。また、本遺跡南東方約1.2kmにある16堀内館跡では、幅1.5m、深さ1mほどの大きな堀で囲まれた屋敷地の跡も確認されている。15世紀以降になると、本遺跡や、8長池キタノハシ遺跡、12三日市A遺跡では、掘立柱建物、竪穴状遺構などの主要遺構が密集した村落形態を示し、14世紀頃までみられた散村から集村へと大きく変わる様相となる。

近世

現在見ることのできる集落は、近世に成立したと考えられる。御経塚集落内（6御経塚遺跡デト地区）や郷町集落（11徳用クヤダ遺跡）隣接地での発掘調査でも、近世の遺構・遺物を発見している。また、12三日市A遺跡や15乾遺跡からは、近世前半の墓地跡を確認している。



第3図 遺跡の位置と周辺の遺跡

第1表 野々市市と周辺の遺跡

番号	遺 跡 名	種 別	時 代
1	チカモリ遺跡	集落跡	縄文
2	中屋サワ遺跡	集落跡	縄文～中世
3	横江荘々家跡	荘園	古代
4	上荒屋遺跡	集落跡 荘園跡	縄文～中世
5	御経塚シンデン遺跡 御経塚シンデン古墳群	集落跡 古墳	弥生～中世
6	御経塚遺跡	集落跡	縄文～中世
7	長池ニシタンボ遺跡	集落跡	弥生
8	長池キタノハシ遺跡	集落跡	中世
9	二日市イシバチ遺跡	集落跡	縄文 弥生 中世
10	郷クボタ遺跡	集落跡	弥生 古代 中世
11	徳用クヤダ遺跡	集落跡	古代 中世
12	三日市A遺跡	集落跡	弥生 古代 中世
13	三日市ヒガシタンボ遺跡	集落跡	弥生 古代 中世
14	徳丸ジョウジャダ遺跡	集落跡	弥生 古代
15	乾遺跡	墓地・集落跡	縄文～近世
16	堀内館跡	館跡	中世
17	長竹遺跡	墓地・散布地	縄文～古墳
18	三納トヘイダゴシ遺跡	集落跡	古代 中世

第3章 調査の方法と成果

第1節 調査区の設定

本調査区は、平成16・21年度と年を跨いで発掘調査を実施している。また、調査区域内には既設農業用道路や耕作地や排水用の生活用水が縦断している。これらの箇所については、発掘調査の対象から外したことから、調査区域内に小区画が設定されることとなった。本報告では、小区画毎にアルファベットA～Hの区名を設けて、その呼称を使用して遺跡の概要を紹介する。

第2節 調査の方法

現地調査は、大型掘削機による表土の除去作業からはじめた。重機による掘削は、遺構面直上までとした。重機掘削完了後、人力による作業を実施した。人力による作業は、鋤簾鍬などの道具で遺構面の検出を行い、その後、移植ゴテなどで遺構を掘削していく。遺構検出及び遺構掘削の作業の中で、遺跡の様相を把握するため、写真撮影や、遺構平面図・断面図などの作成を同時に行っていた。記録を完了した遺構については、順次完掘していった。調査区内の遺構完掘後は、清掃作業を行ってから、空中写真測量及び完掘状態の個別遺構の写真を撮影して調査を完了していった。

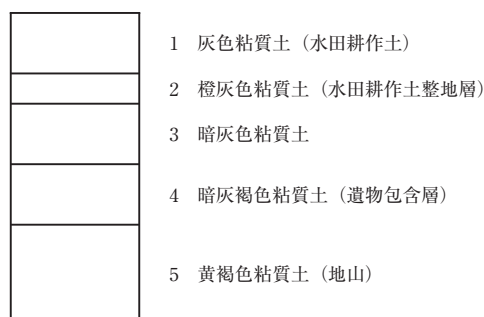
整理作業については、野々市市ふるさと歴史館内にある調査整理室で実施した。作業手順は、出土した遺物を水で洗浄し乾燥させ、乾燥した遺物に遺跡名や出土した地点などを注記した。注記後、一部の遺物を実測し、この遺物実測図や現地で表記した遺構実測図を製図トレースした。

これらの作業完了後、遺物の写真を撮影し、調査担当者が原稿執筆、図面・写真のレイアウト等を行い、報告書を刊行した。

第3節 層序

層序については、第4図の土層断面図を基に説明していく。

1の灰色粘質土は土地区画整理事業以前まで行われていた水田耕作土である。2の橙灰色粘質土は、これら耕作土の整地層にあたる。3の暗灰色粘質土は、近世から近代までの水田耕作土と考えられる。その下の4暗灰褐色粘質土は古代以前の遺物包含層にあたり、中世の遺構面にも相当すると思われる。その下にある5黄褐色粘質土は、古代より遡る時期の遺構面で、地山面となる。上記の土層は基本土層である。場所によっては、3暗灰色粘質土の中に間層が入り、水田耕作と考えられる土層が複数確認できる箇所がある。



第4図 土層断面模式図



第5図 調査区位置図

第4節 遺構

本調査では、竪穴状遺構、掘立柱建物、土坑、溝、柵列などを確認した。以下、各個別遺構について個別に説明する。

① 竪穴状遺構

S I 1 (第6、31図)

A区にある竪穴状遺構で、S K 2の東隣に位置する。本遺構の東半分は調査区外となることから全容は不明であるが、隅丸方形型と想定される。遺構の規模は、計測可能範囲で南北約2.8m、東西2.6m以上、深さは約30cmで、覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S I 2 (第7、32図)

C区西側に位置する隅丸方形型である。本遺構の北半分は調査区外となることから全容は不明である。遺構の規模は、計測可能範囲で南北約2.0m、東西約2.6mを測る。深さ約20cmで、覆土は黄褐色混じりの灰色粘質土である。

S I 3 (第7、32図)

C区西側、前述のS I 2の南隣に位置する。遺構は東西に長い長方形プランで、規模は南北約3.2m、東西約5.0mを測る。深さは約20～30cmで、覆土は黒色ブロック混じりの灰色系粘質土が主体である。

S I 4 (第8、32図)

D区ほぼ中央に位置する竪穴状遺構で、S D 5に切られている。後述するS I 5とも切り合っているが、前後関係は不明である。遺構は東西に長い隅丸長方形プランをしており、南北約2.4m、東西約3.6mを測る。深さは約35cmで、覆土は黄色～灰色系ブロック混じりの灰色系粘質土が主体である。また、人頭大の自然石も多く堆積している。

S I 5 (第8、32図)

D区ほぼ中央にある竪穴状遺構で、S D 5に切られている。前述のS I 4の南隣に接するように位置する。S I 4とS I 5の前後関係は不明である。遺構は隅丸方形プランで、規模は南北約1.8m、東西約1.7mを測る。深さは約30cmで、覆土は黄色～灰色系ブロック混じりの灰色系粘質土が主体で、人頭大の自然石が多く堆積している。

S I 6 (第8、33図)

D区中央に位置する竪穴状遺構である。先述のS I 4・5の西側に位置する。遺構の規模は、南北に1.8m、東西に1.9mを測る。深さは約25cmで、覆土は黄色系ブロック混じりの黄灰色系粘質土が主体である。

S I 7 (第8、33図)

D区西側に位置する竪穴状遺構で、東西に長い長方形プランである。遺構の規模は、南北約2.1m、東西約3.9mを測る。深さは約60cmで、覆土は黒褐色系ブロック混じりの褐灰色系粘質土が主体である。

S I 8 (第7、33図)

E区北端に位置する竪穴状遺構である。遺構は、南北に長い長方形プランであるが、正方形と長方形が合致したような2基の遺構が合致したような形状をしている。但し、土層断面の観察からは切り合いの関係を見出すことはできなかった。規模は、南北約7.3m、東西に1.8～2.5mを測る。深さは約40cmで、覆土は褐灰色粘質土が主体である。

S I 9 (第8、34図)

E区のほぼ中央に位置する竪穴状遺構である。遺構は南北に長い隅丸長方形プランであるが、他の遺構と錯綜していることから楕円形状に見える。規模は、南北約4.7m、東西約3.6mを測る。深さは約50cmで、覆土は黄色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 10 (第8、35図)

E区のほぼ中央部、S D12・S D13の南側に位置する竪穴状遺構である。S I 11とは切り合い関係をもつが、前後関係はわからない。遺構は東西に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約2.6m、東西約4.0mを測る。深さは約40cmで、覆土は暗灰色粘質土が主体である。

S I 11 (第8、35図)

E区のほぼ中央部、S D12・S D13の南側に位置する竪穴状遺構である。S I 10とは接していることから、本遺構の本来の形状はよくわからず、S I 10との前後関係も不明である。計測可能な範囲で、規模は南北0.8m以上、東西約1.8mを測る。深さは約45cmで、覆土は暗灰色系の粘質土が主体である。

S I 12 (第8、35図)

E区ほぼ中央部、S I 10とS I 13の間に位置する。遺構は隅丸正方形プランをしており、規模は一辺約3.2m、深さは約20cmを測る。覆土は暗灰色系の粘質土が主体である。

S I 13 (第8、36図)

E区ほぼ中央部、S I 12の西側に位置する。S I 14とは切り合っており、土層断面から本遺構の後にS I 14が掘り直されていたことがわかっている。また、本遺構内にS K50が存在する。遺構は、東西に長い隅丸長方形プランで、規模は、南北約3.0m、東西約5.2m、深さは約60cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの暗灰褐色系粘質土が主体である。

S I 14 (第8、36図)

E区ほぼ中央部、S I 12やS I 19の西側に位置する。S I 13とは切り合っており、土層断面から本遺構が新しいことがわかっている。また、本遺構の周辺にはS K51やS K53といった土坑が重なり合うような形で見つかっている。本遺構のプランは、北東-南西に長い隅丸長方形をしており、規模は、北西-南東ラインで約3.8m、北東-南西ラインで約5.0m、深さ20~40cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの暗灰褐色系粘質土が主体である。

S I 15 (第8、37図)

E区ほぼ中央部、先述のS I 10の南東側に位置する。S I 16とS K49は切り合っており、その前後関係は、古い順にS I 15→S I 16→S K49となっている。遺構は南北に長い隅丸長方形プランをし、規模は、南北に約7.5m、東西約4.0m、深さは約30cmを測る。覆土は黄色系ブロック混じりの暗褐色系粘質土が主体である。

S I 16 (第8、37図)

E区ほぼ中央部、前述のS I 15の西隣に位置する。S I 15・S I 17・S K49とは切り合っており、土層断面の観察からS I 15→S I 16→S I 17、S K49の順番に造り替えされていたようである。遺構は、隅丸正方形プランをしており、規模は、一辺約4.2m、深さ約35cmを測る。覆土は黄色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 17 (第8、37図)

E区ほぼ中央部、S I 16の西隣に位置する。前述の通り、S I 16とは切り合っており、土層断面から本遺構の方が新しく掘られている。遺構は、やや歪ながら南北に長い隅丸長方形プランをしている。規模は、南北約4.0m、東西約2.9m、深さは約50cmを測る。覆土は黄色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 18 (第8、38図)

E区ほぼ中央部、S I 17とS I 19の間に位置する。遺構は隅丸正方形に近いプランをしており、規模は、南北約2.6m、東西約2.9m、深さ約20cmを測る。覆土は黄色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 19 (第8、38図)

E区ほぼ中央部、S I 18の西隣に位置する。遺構は、東西に長い隅丸長方形プランで、西側はテラス状になっている。規模は、南北約3.2m、東西約4.1m、深さ約60cm、テラス部約30cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 20 (第8、38図)

E区中央部よりやや南寄りに位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、規模は、南北約4.0m、東西約3.0m、深さは約60cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの灰色粘質土が主体である。

S I 21 (第8、39図)

E区中央部よりやや南寄り、S I 20の南東側に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、穴内の北東側には東西に長い長方形の穴が見られる。規模は、南北約5.5m、東西約3.2m、深さは約50cmを測る。穴内にある長方形プランの穴については、南北約1.9m、東西約3.0m、深さは約70cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの暗灰色系粘質土が主体である。

S I 22 (第8、39図)

E区中央部よりやや南寄り、前述のS I 21の東方部に位置する。遺構は、南北に長い隅丸長方形プランであるが、北側では東方に突出した掘り方が見られることから、もう1基分の竪穴状遺構が存在したかもしれない。ただし、土層断面では確認できなかった。また、S K 60が北西隅で本遺構を切る形で存在している。規模は、南北約5.2m、東西約2.3m、深さ約30cmを測る。覆土は黄褐色ブロック・礫混じりの暗灰色系粘質土が主体である。

S I 23 (第8、9、40図)

E区中央部よりやや南寄り、前述のS I 22の南隣に位置する。遺構は正方形に近いプランを呈し、規模は、南北約2.6m、東西約2.4m、深さ約10cmを測る。

S I 24 (第9、40図)

E区中央部より南寄り、前述のS I 23の東方に位置する。遺構の大部分が調査区外となるため、全容は不明であるが、計測可能な箇所では南北約2.0m、東西0.4m以上、深さ約60cmを測る。覆土は暗灰色系の粘質土が主体である。

S I 25 (第9、40図)

E区中央部より南寄り、先述のS I 23の南西方に位置する。遺構は正方形に近いプランをし、規模は、南北約2.3m、東西約2.1m、深さ約55cmを測る。覆土は黄～灰色ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 26 (第9、40図)

E区南西方に位置する。遺構は、東西に長い隅丸長方形プランである。規模は、南北約2.3m、東西約3.8m、深さ約55cmを測る。覆土は黄～灰色ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 27 (第9、40図)

E区南西方、S I 26の東方に位置する。交差するS D 16・S X 16とは本遺構を切るような形となっている。遺構は、南北に長い隅丸長方形プランで、北側はテラス状になっている。規模は、南北約3.5m、東西約2.2m、深さ約60cm、テラス部約40cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S I 28 (第9、41、42図)

E区南方、S D 17の東方隣に位置する。本遺構の南半分は、後述するS I 29に切られており、全容はわからない。遺構は隅丸方形プランで、規模は、南北1.5m以上、東西約2.1m、深さ約50cmを測る。覆土は暗～黒灰色系の粘質土が主体である。

S I 29 (第9、41、42図)

E区南方、S D 17の東方隣に位置する。前述のとおり、S I 28とは切り合っており、本遺構が新しいことがわかっている。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約4.7m、東西約2.5m、深さ約50cmを測る。覆土は暗灰色系の粘質土が主体である。

S I 30 (第9、41、42図)

E区南方、S I 29の南隣に位置する。遺構は南北がやや長い隅丸長方形プランで、規模は、南北約3.3m、東西約2.7m、深さ約55cmを測る。覆土は暗灰色系の粘質土が主体である。

S I 31～S I 39 (第9図)

E区南方部、S D 19・20・22周辺に位置する。これらの竪穴状遺構は同一箇所でも複数回建替えられているため、錯綜した状態で確認している。当該遺構群に関する切り合い関係については、土層断面の観察などから以下の推測ができる。

S I 31～S I 34については、古い順からS I 33→S I 34→S I 31→S I 32となる。

S I 32～S I 36については、古い順からS I 33→S I 34・S I 35→S I 32・S I 36となる。

S I 34、S I 37～S I 39については、古い順からS I 34→S I 37・S I 39→S I 38となる。

切り合いをもたない各遺構の前後関係は不明であるが、3時期ほどに分けられると考えられ、1時期に2～3基の竪穴状遺構が存在していたと思われる。

以下、S I 31～S I 39の個別遺構について概説する。

S I 31 (第9、43図)

遺構は南北に長い隅丸長方形プランであるが、南半分はS I 32によって滅失している。規模は、南北1.3m以上、東西約1.5m、深さ約55cmを測る。覆土は黄褐色系の粘質土が主体である。

S I 32 (第9、43図)

遺構は南北に長い隅丸長方形プランである。規模は、南北約4.7m、東西約2.3m、深さは約90cmを測る。覆土は黄褐色系の粘質土が主体である。

S I 33 (第9、43図)

S I 31・32・34・37、S D 20と切り合っているため、遺構のプランはわからない。規模は、南北約3.6m、東西約2.6mを測る。深さは北側と南側で高低差があり、北側で約60cm、南側で約100cmである。覆土は黄褐色系の粘質土が主体である。

S I 34 (第9、43図)

S I 32・33・35～37と切り合っているため詳細なプランを見出すことはできない。計測可能な範囲で、南北1m以上、東西2.4m以上、深さ100cm前後を測る。覆土は黄褐色系粘質土が主体である。

S I 35 (第9、43図)

S I 32・34・36と切り合っており、詳細を見出すことはできないが、隅丸方形プランであったようである。計測可能な範囲で、南北1.2m以上、東西約1.8m、深さ100cm前後を測る。覆土は黄褐色系粘質土が主体である。

S I 36 (第9、43図)

遺構は正方形プランで、規模は、一辺約1.8m、深さは約90cmを測る。覆土は黄褐色系の粘質土が主体である。

S I 37 (第9、43図)

S I 34・38と切り合っており、詳細を見出すことはできないが、隅丸方形プランであったようである。遺構の規模は、南北2.0m以上、東西約2.5m、深さは約70cmを測る。

S I 38 (第9、43図)

遺構は東西に長い隅丸長方形プランである。規模は、南北約2.4m、東西約3.2m、深さは約100cmを測る。覆土は黄褐色系の粘質土が主体である。

S I 39 (第9、43図)

遺構は東西に長い隅丸長方形プランである。遺構の規模は、南北約2.2m、東西約3.3m、深さ約130cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 40 (第9、44図)

E区の南方、先述したS I 31～S I 39の東隣に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランである。規模は、南北約2.5m、東西約1.6m、深さ約75cmを測る。覆土は橙褐色ブロック混じりの灰～黄褐色系粘質土が主体である。

S I 41 (第9、44図)

E区の南方、S I 40の南東側に位置する。S I 40とS I 43とは切り合っており、本遺構の方がS I 40・43よりも新しいことがわかっている。遺構は隅丸正方形プランで、規模は一辺約2.3m、深さは約20cmを測る。覆土は褐色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 42 (第9、44図)

E区の南方、S I 41の南西側に位置する。遺構の南端部がS D20に切られているが、長方形プランになると思われる。規模は南北に2.7m以上、東西約2.4m、深さは約60cmを測る。覆土は褐灰色系の粘質土が主体である。

S I 43 (第9、44図)

E区の南方、S I 41の東隣に位置する。S I 41とS I 44とは切り合っており、本遺構の方がS I 41・44よりも新しいことがわかっている。遺構は南北に長い隅丸長方形プランである。規模は、南北約2.4m、東西約1.8m、深さ約60cmを測る。覆土は褐灰色系の粘質土が主体である。

S I 44 (第9、44図)

E区の南方、S I 41の東隣に位置する。前述のとおり、S I 43に切られており、全体の様相はわからない。遺構は東西に長い長方形プランである。規模は、南北約1.4m、東西約2.2m、深さ約50cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体である。

S I 45 (第9、44図)

E区の南方、S I 42の東隣に位置する。S D 20に大きく切られてはいるが、正方形プランになるようである。規模は、一辺約2.5m、深さ約35cmを測る。覆土は褐灰色系の粘質土が主体である。

S I 46 (第9、45図)

E区南東端に位置する。遺構は東西に長い長方形プランであるが、西側はやや歪な形状をするとともに、一段高いテラスが形成されている。規模は、南北約2.5m、東西約4.0m、深さは約65cm、テラス部が約25cmを測る。覆土は褐色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 47 (第9、45図)

E区南東端、前述のS I 46の南隣に位置する。本遺構の北半分はS I 46に切られており、全体の様相はわからない。規模は、南北1.0m以上、東西約2.2m、深さ約40cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの暗灰色系粘質土が主体である。

S I 48 (第9、45図)

E区南東端、前述のS I 46・47の東隣に位置する。S I 46及び、S K 76・S K 77に切られている。遺構は東西に長い隅丸長方形プランである。規模は、南北約1.5m、東西2.5m以上、深さ約60cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの灰色系粘質土が主体である。

S I 49 (第9、46図)

E区南東端に位置する竪穴状遺構である。遺構は東西約に長い長方形プランで、規模は南北約2.2m、東西約2.5m、深さ約80cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S I 50 (第10、47図)

G区北東隅に位置する。遺構の北側と東側の一部は、調査区外となるが、平成20年度(第6次)の発掘調査で北側箇所は確認している。遺構は隅丸方形プランと考えられる。図示していないが、第6次調査分を併せると、規模は、南北約7.2m、東西に3.0m以上、深さ約80cmを測る。

S I 51 (第10、47図)

G区東端に位置する。遺構の東半分は調査区外となるが、形状は隅丸方形プランと考えられる。規模は、南北約4.5m、東西3.6m以上、深さ約60cmを測る。

S I 52 (第10、47図)

G区東端、S I 51の南隣に位置する。遺構の東半分は調査区外となるが、形状は隅丸方形プランになると考えられる。規模は南北約5.6m、東西3.2m以上、深さ約50cmを測る。

S I 53 (第10、48図)

G区東南端に位置する。遺構の東半分は調査区外、北端はS D 30に切られているが、隅丸方形プランになると考えられる。規模は南北に3.7m以上、東西3.0m以上、深さ約50cmを測る。覆土は黄色系の粘質土が主体である。

S I 54 (第10、48図)

G区東南部に位置する。遺構は東西に長い隅丸長方形プランである。規模は、南北約1.7m、東西約2.7m、深さ約25cmを測る。

② 掘立柱建物

S B 1 (第11、49図)

B区に位置する掘立柱建物で、桁行4間以上×梁行2間の南北棟である。南半は調査区外となるため、全容はわからない。桁行約17.0m、梁行約5.0mを測る。方位はN7°Eである。柱穴は略円形・楕円形がほとんどで、一辺60~90cm、深さは40~52cmである。柱穴の中には同規模のものが並列して掘られているものがあり、一度改修されたかもしれない。時期は古代と考えられる。

S B 2 (第12、50図)

E区北端に位置する掘立柱建物である。桁行3間×梁行2間の南北棟である。桁行約13.9m、梁行約5.8m、面積約80.62㎡を測る。方位はN3°Eである。柱穴は隅丸方形や略円形・楕円形をしており、穴の中には柱痕を確認できるものも見つかった。穴の規模は一辺40~80cm、深さは20~65cmである。遺物からの検証はできないが、柱穴の掘り方の規模から、古代と推測する。

S B 3 (第12、51図)

E区北側、S K 36の南方に位置する掘立柱建物である。桁行3間×梁行1間の東西棟である。桁行約7.4m、梁行約5.2m、面積約38.48㎡を測る。方位はN3°Wである。柱穴は隅丸方形及び略円形をしており、規模は一辺35~45cm、深さは11~38cmである。建物内にも柱穴と思われるピットをいくつか見ることができるが、柱列がうまく合わないことから主柱穴から外した。中世の時期と推測する。

S B 4 (第12、52図)

E区北側、S K 36の南方に位置する掘立柱建物である。前述S B 3とは重複する。桁行3間及び4間×梁行1間の南北棟である。桁行約9.4m、梁行約6.6m、面積約62.04㎡を測る。方位はN3°Eである。柱穴の形状は略円形及び楕円形をしており、直径70~90cmの規模がほとんどであるが、中には直径40cmにもみえないものが存在する。柱穴の深さは38~79cmである。柱穴の掘り方の規模から、古代の建物と考えたい。

S B 5 (第12、53図)

E区北側、S K 36の南方に位置する掘立柱建物である。前述S B 3、S B 4とは重複する。桁行4間ないし5間×梁行3間の南北棟である。桁行約9.5m、梁行約7.5m、面積約71.25㎡を測る。方位はN3°Wである。柱穴の形状は略円形をしており、直径20~70cm、深さは16~35cmである。西側柱列には複数の穴が並び、支柱穴が混在しているものと理解したい。柱穴の掘り方の規模等から、中世の建物と推測する。

S B 6 (第13、14、54図)

E区中央より南寄り、区画溝S D 15内に位置する掘立柱建物である。桁行2間×梁行1間の東西棟である。桁行約11.8m、梁行約3.8m、面積約44.84㎡を測る。方位はN12°Wである。柱穴の形状は略円形及び楕円形をしており、直径35~60cm、深さは34~66cmである。柱穴は3基の穴が近接した状態で存在しており、複数回同じ場所で建替えがあったかもしれない。柱穴の掘り方の規模等から中世の建物と推測する。

S B 7 (第14、54図)

E区南西側、区画溝SD16内に位置する掘立柱建物である。桁行2間×梁行1間の東西棟である。桁行約7.6m、梁行約3.8m、面積約28.88㎡を測る。方位はN4°Wである。柱穴の形状は略円形をしており、直径35～60cm、深さは13～32cmである。柱穴の中には3基ほどの穴が近接した状態で存在していることから、複数回同じ場所で建替えがあったかもしれない。中世の建物と考えられる。

S B 8 (第14、55図)

E区南端、S I 37～S I 45の竪穴状遺構が群集するエリアに位置する。建物の北側は調査区外へと延びる。桁行3間以上×梁行2間の南北棟である。桁行約9m以上、梁行約8mを測る。方位はN10°Wである。柱穴の形状は略円形をしており、直径60～80cm、深さは14～76cmである。西側列の柱穴の中には、竪穴状遺構によって確認できなかった箇所がある。本建物は中世と考えられる。

S B 9 (第14、55図)

E区南端、S I 37～S I 45の竪穴状遺構が群集するエリアに位置する。前述のS B 8は重複する。桁行2間×梁行2間のプランである。桁行、梁行ともに約6.4mを測り、面積は約40.96㎡である。方位はN11°Wである。柱穴の形状は略円形及び楕円形をしており、直径55～85cm、深さは30～91cmである。本建物は中世の時期と考えられる。

S B 10 (第14、56図)

E区南東側、SD24の東隣に位置する。桁行3間×梁行1間の南北棟である。桁行約9.5m、梁行約4.6m、面積約43.7㎡を測る。方位はN15°Wである。柱穴の形状は略円形及び楕円形をしており、直径50～110cm、深さは65～99cmである。本建物は中世の時期と考えられる。

S B 11 (第14、56図)

E区南東側、S I 46、S I 47付近に位置する。桁行3間×梁行2間の南北棟である。前述のS B 10とは重複するが前後関係はわからない。桁行約5.0m、梁行約4.2m、面積約21.0㎡を測る。方位はN18°Wである。柱穴の形状は略円形をしており、直径25～55cm、深さは35～59cmである。中世の時期と考えられる。

S B 12 (第14、57図)

E区南東端、S B 10、S B 11の東隣に位置する。東方は調査区外へと延びるため、全体の様相はわからない。南北列3間×東西列1間以上のプランまで判明している。南北列4.7m、東西列1.7m以上を測る。方位はN15°Wである。柱穴の形状は隅丸方形か略円形をしており、直径30～65cm、深さは45～98cmである。中世の時期と考えられる。

S B 13 (第14、57図)

E区南東端、S B 10、S B 11の東隣に位置する。北方及び東方は調査区外へと延びるため、全体の様相はわからない。前述のS B 12とは重複するが、前後関係はわからない。南北列2間以上×東西列1間以上のプランまで抽出できる。南北列3.8m以上、東西列2.0m以上を測る。方位はN11°Wである。柱穴の形状は略円形で、直径30～40cm、深さは30～70cmである。中世の建物と考えられる。

S B 14 (第15、58図)

G区北東端で確認した総柱式掘立柱建物である。北東-南西ラインが桁行で3間以上、北西-南東ラインが梁行で2間となる。桁行7.4m以上、梁行約5.6mを測る。方位はN33°Wである。柱穴の形状は略円形をしており、直径30～70cm、深さは10～53cmである。柱穴の一部はSD31など他の遺構によって確認できない箇所がある。本建物は中世の時期と考えられる。

S B 15 (第15、59図)

H区で確認した総柱式掘立柱建物である。建物は南側調査区外に延びるかもしれない。建物は、北東-南西ラインが桁行で6間、北西-南東ラインが梁行で2間以上となる。規模は桁行約9.5m、梁行6.8m以上を測る。方位はN18°Wである。柱穴の形状は略円形をしており、直径25~50cm、深さは13~61cmである。本建物は中世の時期と考えられる。

③ 土坑

S K 1 (第16、31図)

A区S I 1の北方に位置する。遺構は東西に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.1m、東西約2.1m、深さ約30cmを測る。覆土は黒色ブロック混じりの灰色粘質土が主体である。

S K 2 (第16、31図)

A区S I 1の北西隣に位置する。遺構は東西がやや長い隅丸長方形プランをしている。規模は南北約1.5m、東西約1.8m、深さ約30cmを測る。覆土は灰褐色粘質土が主体である。

S K 3 (第17、60図)

C区東端部に位置する。遺構は隅丸正方形に近いプランをしている。規模は南北約3.0m、東西約2.8m、深さ約70cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体で、大量の遺物及び人頭大の石が出土した。

S K 4 (第17、60図)

C区東端部、S K 3の南隣に位置する。遺構の大半が調査区外となるため全容はよくわからないが、南北に長い遺構になると思われる。規模は計測可能な箇所、南北2.8m以上、東西約2.1m、深さ約80cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 5 (第17、60図)

C区東端部、S K 3の南西隣に位置する。遺構は南北に長い楕円形をしており、規模は南北約1.5m、東西約1.1m、深さ約35cmを測る。

S K 6 (第17、60図)

C区東端部、S K 5の西隣に位置する。他の遺構と接していることから、形状はわかりにくい、正方形プランになる。遺構の規模は一辺約2.0m、深さは約10cmを測る。

S K 7 (第17、60図)

C区東側、S K 6の西隣に位置する。遺構は隅丸正方形プランで、規模は一辺約1.7m四方、深さは約30cmを測る。

S K 8 (第17、61図)

C区東側、S K 7の西隣に位置する。遺構の規模は南北に約1.4m、東西約1.9m、深さ約15cmの東西に長い楕円形を呈する。覆土は灰白色と黄色の混土及び淡灰色粘質土である。

S K 9 (第17、61図)

C区中央よりやや東寄り、S K 7の南西隣に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約3.2m、東西約1.8m、深さは約75cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 10 (第17、61図)

C区中央よりやや東寄り、S K 9の南隣に位置する。遺構は東西に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.5m、東西約1.9m、深さ約55cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 11 (第17、61図)

C区中央よりやや東寄り、S K 9の西隣に位置する。後述するS K 12を切っている。遺構は東西に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.1m、東西約1.8m、深さ約30cmを測る。覆土は黄色系の粘質土が主体である。

S K 12 (第17、61図)

C区中央よりやや東寄り、S K 9の西隣に位置する。前述のS K 11とは切り合っており、土層断面から本遺構が古いことがわかっている。遺構はテラスを敷設した隅丸長方形プランで、規模は南北約1.6m、東西約0.8m、深さ約35cmを測る。覆土は黄灰色系の粘質土が主体である。

S K 13 (第17、61図)

C区中央よりやや東寄り、S K 10の西隣に位置する。遺構は歪ながらも南北に長い隅丸長方形プランをしており、規模は南北約2.2m、東西約1.0m、深さ約10cmを測る。覆土は灰色粘質土が主体である。

S K 14 (第17、62図)

C区のほぼ中央に位置する東西に長い隅丸長方形プランをした土坑である。遺構の西半分は調査区外へ延びるため、全体の様相は不明である。規模は計測可能な範囲で、南北約1.5m、東西3.3m以上、深さ約20cmを測る。覆土は黒褐色・黄色ブロック混じりの灰色粘質土が主体である。

S K 15 (第17、62図)

C区中央よりやや西寄り、S I 2の東隣に位置する。遺構はほぼ正方形に近い形状をしている。規模は南北約2.8m、東西約3.0m、深さ60～70cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 16 (第18、63図)

D区東端に位置する。本土坑の周囲には他の遺構が近接していること、時間の制約等から掘削を3分の1程で止めてしまったことから、詳細な様相は不明である。形状は楕円形と推定する。規模は計測可能な範囲で、南北約3.2m、東西1.4m以上、深さ約35cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 17 (第18、63図)

D区東端に位置する。遺構は、複数の土坑が重なりあった状態で確認し、また、南方部は調査区外へ延びるため、全容は明らかではない。計測可能な範囲では、南北最大長3.2m以上、東西約8.3m、深さ約60cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 18 (第18、64図)

D区東側、S K 17の北方に位置する。遺構は複数のピットが重なっており、形状がわかりにくいだが、隅丸正方形プランと考えられる。規模は一辺約1.2m、深さ約80cmで、覆土は黄色ブロック混じりの黄灰色系粘質土が主体である。

S K 19 (第18、64図)

D区東側、S K 18の南西側に位置し、S D 4に切られている。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約2.0m、東西約1.3m、深さ約10cmを測る。覆土は黄灰色粘質土が主体である。

S K 20 (第18、64図)

D区中央よりやや東寄り、S I 5の南隣に位置する。遺構の規模は南北約1.1m、東西約0.7mで楕円形を呈する。深さは約10cmである。

S K 21 (第18、64図)

D区中央よりやや東寄り、S K 20の南隣に位置する。本土坑の南半分は調査区外となるため、全体の様相はわからない。計測可能な範囲では、南北1.1m以上、東西約2.1m、深さ約20cmで楕円形と想定する。

S K 22 (第18、64図)

D区中央よりやや東寄り、S K 21の北西側に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.8m、東西約1.3m、深さ約80cmである。

S K 23 (第18、64図)

D区のほぼ中央に位置する。本土坑の南半分はS K 24に切られており、全体の様相はわからない。プランは楕円形と思われ、覆土は黄灰色系の粘質土が主体である。

S K 24 (第18、64図)

D区のほぼ中央に位置する。前述のとおりS K 23とは切り合っており、本土坑の方が新しいことがわかっている。プランは東西に長い隅丸長方形で、南北約1.8m、東西約2.0m、深さ約60cmを測る。覆土は褐灰色系の粘質土が主体である。

S K 25 (第18、65図)

D区中央よりやや西寄り、S K 23・24の西隣に位置する。東西に長い隅丸長方形をしており、西端部はS D 6によって切られている。遺構の規模は南北約1.2m、東西2.0m以上、深さ約60cmを測る。

S K 26 (第18、65図)

D区中央よりやや西寄り、S K 25の南方に位置する。S I 7とは切り合っており、S I 7廃絶後に本土坑が造られた。遺構は隅丸正方形に近い形状で、規模は南北約1.0m、東西約1.1m、深さ約70cmを測る。

S K 27 (第18、65図)

D区北西端に位置する。遺構の北半は調査区外へ延びるため、全体の様相はわからない。規模は計測可能な範囲で、南北2.3m以上、東西約3.0m、深さ約100cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 28 (第17、66図)

E区北端に位置する。遺構は南北に長い長方形プランで、規模は南北約2.0m、東西約1.3m、深さ約20cmを測る。覆土は暗灰褐色系粘質土が主体である。

S K 29 (第17、66図)

E区北端、S K 28の南東側に位置する。遺構は歪ながらも隅丸方形をしており、規模は南北約1.9m、東西約2.2m、深さ約20cmを測る。覆土は黄色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S K 30 (第17、66図)

E区北東端、S K 29の南東側に位置する。遺構は歪な隅丸方形をしており、規模は南北約1.9m、東西約1.6m、深さ約45cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの褐灰色系粘質土が主体である。

S K 31 (第17、66図)

E区北東端、S K 30の南側に位置する。遺構は北東-南西が長い隅丸長方形プランと考えられるが、一部突出した箇所があり、不定形に見える。規模は北東-南西長約5.2m、北西-南東長約5.1m、深さ約30cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 32 (第17、67図)

E区北東側、S K 31の南隣に位置する。大溝S D10と切り合っていたため、形状を見出すことはできなかった。土層断面からS D10廃絶後に本土坑が掘られていたことがわかっている。規模は計測可能な範囲で、北東-南西長約1.5m、北西-南東長0.9m以上、深さ約60cmを測る。覆土は礫混じり褐灰色粘質土である。

S K 33 (第17、67図)

E区北東側、S K 31の南隣に位置する。東西に長い隅丸長方形プランと思われるが、東側にはS D10と交わっているため、全容は明らかでない。南北約3.2m、東西3.0m以上、深さ約60cmを測る。覆土は灰褐色系粘質土が主体である。

S K 34 (第17、66図)

E区S K 33の西隣に位置する。遺構は隅丸方形プランをするが、西側にピットが存在しており、不定形な形状にみえる。規模は南北約1.4m、東西約1.9m、深さ10~20cmを測る。覆土は褐灰色粘質土及び灰褐色ブロック混じりの黄褐色粘質土である。

S K 35 (第17、66図)

E区S K 34の南隣に位置する。遺構は正方形プランで、一辺約2.8m、深さ約120cmで、覆土は褐灰色系の粘質土が主体である。

S K 36 (第17、68図)

E区S K 35の西隣に位置する。遺構は正方形に近いプランで、規模は南北約3.0m、東西約3.2m、深さ約110cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 37 (第17、68図)

E区S K 36の南側に位置する。遺構は隅丸鉤型をしており、東端はS X 5に切られている。規模は南北約2.0m、東西約2.5m、深さ約20cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 38 (第17、81図)

E区S X 6内に位置する不定形土坑である。前述のS K 37の東方にある。遺構の規模は長辺約1.6m、短辺約1.3m、深さ約50cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

S K 39 (第18、68図)

E区中央よりやや北寄りに位置する。遺構は南北が少し長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.3m、東西約1.2m、深さ約15cmを測る。覆土は褐灰色系の粘質土が主体である。

S K 40 (第18、68図)

E区S K 39の南隣に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.8m、東西約1.2m、深さ約40cmを測る。

S K 41 (第18、68図)

E区ほぼ中央、S I 9の東隣に位置する。遺構は歪ながらも隅丸方形プランをしており、規模は南北約4.0m、東西約2.6m、深さ約10cmを測る。

S K 42 (第18、68図)

E区ほぼ中央、S I 9の東隣及びS K 41の南隣に位置する。遺構は長方形プランと考えられるが、近くを通るS D10の掘削の影響で形状は不鮮明である。規模は南北約3.3m、東西約3.3m、深さ約20cmを測る。

S K 43 (第18、69図)

E区ほぼ中央、S K 41・42及びS D 10の東方に位置する。遺構の東半分は調査区外へ延びるため、全体の様相はわからない。プランは隅丸方形と考えられる。規模は南北約3.0m、東西1.3m以上、深さ約70cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 44 (第18、69図)

E区ほぼ中央、S K 43の南隣に位置する。S K 43と同様、遺構の東半分は調査区外へ延びるため、全体の様相はわからない。北西-南東が長い長方形プランになると推測する。遺構の規模は、南北約3.0m、東西2.1m以上、深さ約100cmを測る。覆土は褐灰色系の粘質土が主体である。

S K 45 (第18、70図)

E区中央、S I 10の北隣に位置する。S K 46とは切り合っており、本土坑が新しいことが土層断面から明らかとなっている。遺構は東西に長い隅丸長方形プランで、規模は、南北約1.5m、東西約1.8m、深さ約20cmを測る。覆土は黄橙色系ブロック混じりの暗褐灰色系粘質土が主体である。

S K 46 (第18、70図)

E区中央、S I 10の北隣に位置する。前述のとおり、S K 45と後述するS K 47とは切り合っており、土層断面からS K 47よりも新しく、S K 45よりも古いことがわかっている。これらの土坑の切り合いから、形状は不鮮明であるが、北東-南西が長い隅丸長方形プランになると推測する。規模は長辺約2.0m、短辺約1.0m、深さ約10cmを測る。覆土は灰色・黄橙色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S K 47 (第18、70図)

E区中央、S I 10の北隣に位置する。前述のとおり、S K 46とは切り合っており、本土坑が古いことがわかっている。遺構は東西に長い楕円形で、規模は南北約1.2m、東西約1.4m、深さ約60cmである。覆土は暗灰褐色の粘質土が主体で、人頭大の石礫が大量に埋まっていた。

S K 48 (第18、70図)

E区中央、S I 10の東隣に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランになると思われる。規模は南北約2.4m、東西約1.9m、深さ約65cmを測る。覆土は褐色系ブロック混じりの暗灰褐色粘質土が主体である。

S K 49 (第18、37図)

E区中央、S I 15及びS I 16と切り合っている。検出時の観察等で本土坑が他の竪穴状遺構よりも新しいことがわかった。遺構は歪ながらも南北に長い隅丸長方形プランをしており、規模は南北約2.3m、東西約1.9m、深さ約40cmを測る。覆土は黄灰褐色系ブロック混じりの暗灰褐色粘質土が主体である。

S K 50 (第18、36図)

E区中央、S I 13内に存在する土坑である。遺構は東西がやや長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.3m、東西約1.4m、深さ約60cmを測る。覆土は暗灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 51 (第18、36図)

E区中央、S I 14と切り合う土坑である。土層断面から、本土坑の方が古いことがわかっている。遺構のプランはS I 14によって見出すことはできない。規模は南北2.3m以上、東西約2.2m、深さ約30cmを測る。覆土は黄褐色ブロック・礫混じりの暗灰褐色系粘質土が主体で、人頭大の石礫が大量に埋まっていた。

S K 52 (第18、36図)

E区中央、S I 14の西隣に位置する。S K 53とは切り合っており、土層断面から本土坑が新しい古いことがわかっている。遺構は隅丸方形プランで、規模は南北約1.5m、東西0.9m以上、深さ約20cmを測る。

S K 53 (第18、36図)

E区中央、S I 14の西隣に位置する。前述のとおりS K 52とは切り合っており、本土坑が新しく掘られている。プランは北西-南東が長い長方形になると思われる。長辺約3.0m、短辺約1.7m、深さ約30cmを測る。覆土は褐色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S K 54 (第18、70図)

E区中央、S D 12とS X 12の間に位置する。隅丸方形プランを呈し、規模は南北約1.0m、東西約0.8m、深さ約30cmを測る。

S K 55 (第18、70図)

E区中央よりやや南寄り、S I 17・18の南側に位置する。遺構は隅丸正方形で、規模は南北約1.6m、東西約1.5m、深さ約30cmを測る。覆土は灰色系粘質土が主体である。

S K 56 (第18、70図)

E区中央よりやや南寄り、S K 55の南西側に位置する。遺構は隅丸正方形プランで、東側半分はテラスとなっている。規模は南北約1.3m、東西約1.4m、深さ約60cm、テラス部約50cmで、覆土は黒褐色系の土と灰色系の土の混土である。

S K 57 (第18、70図)

E区中央よりやや南寄り、S I 20の北東側に位置する。遺構は隅丸正方形プランで、規模は南北約1.9m、東西約1.8m、深さ約10cmを測る。覆土は黒褐色系ブロック混じりの灰色系粘質土が主体である。

S K 58 (第18、71図)

E区中央よりやや南寄り、S K 57の西側に位置する。遺構は南北に長い楕円形をしており、規模は南北約2.5m、東西約1.0m、深さ約35cmを測る。

S K 59 (第18、71図)

E区中央よりやや南寄り、S K 56の南側に位置する。遺構は南北に長い長方形プランで、規模は南北約3.6m、東西約1.5m、深さ約70cmを測る。覆土は黒色・黄色系ブロック混じりの灰色系粘質土が主体である。

S K 60 (第18、71図)

E区中央よりやや南寄り、S K 59の東側に位置する。S I 22とは切り合っており、本土坑が新しいことがわかっている。プランは南北に長い隅丸長方形であるが、南端は尻すばみのような形状となる。規模は南北約2.0m、東西約1.1m、深さ約10cmを測る。人頭大の自然石、炉縁石が大量に埋まっていた。

S K 61 (第18、71図)

E区中央よりやや南寄り、S I 22の北東側に位置する。本土坑の北半分は調査区外となるため、全容はわからない。遺構は隅丸方形プランで、規模は南北0.9m以上、東西約1.5m、深さ約35cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体で、白磁皿や土師器皿などが出土している。

S K 62 (第18、71図)

E区中央よりやや南寄り、S K 61の南東隣に位置する。遺構は隅丸方形プランになると考えられるが、別の遺構によって削平を受けており、歪な形状となっている。規模は南北1.7m以上、東西約1.7m、深さ約30cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体で、青磁花瓶や炉縁石などの遺物が出土している。

S K 63 (第18、19、72図)

E区南側、S I 21の南東側に位置する土坑である。後述するS K 64とは切り合っており、本土坑の方が新しいことがわかっている。遺構は隅丸正方形プランで、規模は南北約0.8m、東西約0.9m、深さは約30cmを測る。

S K 64 (第18、19、72図)

E区南側、S I 21の南東側に位置する土坑である。前述のとおりS K 63と、S K 65とは接しており、S K 65→S K 64→S K 63の順に掘り替えられている。遺構は隅丸正方形プランで、規模は一辺約1.7m、深さ約35cmを測る。覆土は黄褐色・灰色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S K 65 (第18、19、72図)

E区南側、S I 21の南東側に位置する土坑である。前述のS K 64及びS K 66とは切り合っており、土層断面から両土坑に切られていることがわかっている。遺構は隅丸正方形プランで、規模は南北約1.4m、東西約1.2m、深さ約50cmを測る。覆土は灰褐色系ブロック混じりの黄褐色・暗灰褐色粘質土が主体である。

S K 66 (第18、19、72図)

E区南側、S I 21の南東側に位置する土坑である。前述のとおり、本土坑はS K 65を切っている。遺構は東西に長い隅丸長方形プランで、規模は南北に約1.5m、東西約1.7m、深さ約20cmを測る。覆土は黄褐色・灰色系ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S K 67 (第19、72図)

E区南側、区画溝S D 16内に位置する。遺構の東側は調査区外となるため全容は不明であるが、東西に長い隅丸長方形プランと推測する。規模は南北約1.0m、東西1.4m以上、深さ約35cmを測る。

S K 68 (第19、72図)

E区南側、S K 67の西側に位置する。本土坑の西端はS D 16に切られている。遺構は東西に長い隅丸長方形プランになると考えられるが、東端は突起状の穴が存在することから、不定形に見える。規模は南北約1.5m、東西2.5m以上、深さ約25cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 69 (第19、41、42図)

E区南端、S D 17の西隣に位置する。遺構は南北に長い長方形プランになると考えられるが、S D 17など近隣の遺構の影響で形状は大きく変わっている。規模は南北約3.7m、東西約2.0m、深さ約70cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。なお、土層断面から本土坑の方がS D 17よりも新しいことがわかっている。

S K 70 (第19、72図)

E区南東側、S I 43の北東隣に位置する。遺構は南北に長い長方形プランで、規模は南北約1.8m、東西約1.2m、深さ約50cmを測る。覆土は黄褐色・黒褐色ブロック混じりの灰褐色系粘質土が主体である。

S K 71 (第19、44図)

E 区南東側、S I 44とS I 45の間に位置する。遺構は東西に長い方形長方形プランである。規模は南北約1.0m、東西約1.7m、深さ約45cmを測る。覆土は黄橙色ブロック混じりの明黄褐色粘質土が主体である。

S K 72 (第19、73図)

E 区南東端、S D 24の東隣に位置する。本土坑は、北側は調査区外へと延び、後述のS K 73に切られていることから、全体の様相はわからない。但し、プランは南北に長い隅丸長方形になると考えられる。規模は南北1.8m以上、東西約0.9m、深さ約10cmを測る。覆土は暗灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 73 (第19、73図)

E 区南東端、S D 24の東隣に位置し、前述のとおり、S K 72を切っている。本土坑の北側は調査区外となるが、南北に長い隅丸長方形のプランであることは確認できる。規模は南北1.2m以上、東西約0.9m、深さ約30cmを測る。覆土は暗灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 74 (第19、73図)

E 区南東端、S K 73の東隣に位置する。遺構は隅丸正方形プランで、規模は南北約1.1m、東西約1.2m、深さ約75cmを測る。覆土は黄褐色ブロック混じりの灰褐色粘質土が主体である。

S K 75 (第19、73図)

E 区南東端、S K 74の東隣に位置する。本土坑の西端はS D 25に切られ、北半分は調査区外となり、全容はわからない。規模は計測可能な範囲で、南北0.9m以上、東西0.7m以上、深さ約25cmを測る。隅丸方形プランになると想定する。

S K 76 (第19、45図)

E 区南東端に位置する。S I 48とは切り合っており、土層断面から、本土坑の方が古いことがわかっている。遺構は隅丸正方形プランで、規模は南北約1.5m、東西約1.2m、深さは約55cmで、覆土は淡灰褐色粘質土が主体である。

S K 77 (第19、45図)

E 区南東端、S K 76の南隣に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約2.2m、東西約1.3m、深さ約50cmを測る。覆土は淡灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 78 (第19、73図)

E 区南東端、S I 49の西側に位置する。S D 24やS K 79・80とは切り合っているが、遺構の錯綜が著しく、前後関係を知るができなかった。遺構は東西に長い隅丸長方形で、規模は南北約2.5m、東西約3.5m、深さ約100cmを測る。

S K 79 (第19、73図)

E 区南東端、S I 47の南西側に位置する。S K 80とは切り合っており、土層断面から本土坑の方が新しいことがわかった。遺構は隅丸正方形プランと考えられ、規模は一辺約1.5m、深さ約70cmを測る。覆土は灰褐色粘質土が主体で、炉縁石が大量に埋まっていた。

S K 80 (第19、73図)

E 区南東端、S I 47の南西側に位置する。S K 78・79と切り合っているため、形状は明確ではないが、隅丸正方形プランになると考えられる。規模は南北約1.5m、東西約1.3m、深さ約60cmを測る。覆土は灰褐色粘質土が主体である。

S K 81 (第19、74図)

E区南東端、S I 47とS I 49の間に位置する。後述するS K 82とは切り合っているが、前後関係はわからない。遺構のプランは不定形である。規模は長辺約1.1m、短辺約0.9m、深さは約30cmを測る。

S K 82 (第19、74図)

E区南東端、S I 47とS I 49の間に位置する。遺構は隅丸正方形プランで、規模は一辺約1.3m、深さ約20cmを測る。覆土は暗灰褐色粘質土が主体である。

S K 83 (第19、74図)

E区南東端、S K 81・82の東隣に位置する。遺構の形状は他の遺構の影響で不定形なプランとなる。規模は南北約1.5m、東西約1.5m、深さ約45cmを測る。覆土は灰褐色系の粘質土が主体である。

S K 84 (第20、74図)

G区北東端に位置する。本土坑の北側と西側の一部は調査区外となるが、平成20年度(第6次)の発掘調査で全容を確認している。遺構は隅丸正方形プランと考えられる。第6次調査分を併せると、規模は、一辺約1.4m、東西に3.0m以上、深さ約20cmを測る。

S K 85 (第20、74図)

G区北東端、S I 50の南西側に位置する。遺構は隅丸正方形プランで、規模は南北約1.5m、東西約1.3m、深さ約20cmを測る。

S K 86 (第20、74図)

G区北東側、S I 51の北側に位置する。遺構は正方形プランで、規模は南北約1.3m、東西約1.1m、深さ約30cmを測る。覆土は黄～青灰色系の粘質土が主体である。

S K 87 (第20、74図)

G区北東側、S I 51の西側に位置する。遺構は隅丸長方形プランで、規模は南北約1.8m、東西約1.4m、深さ約50cmを測る。

S K 88 (第20、74図)

G区東端、S I 51とS I 52の間に位置する。遺構は北西－南東が長い楕円形をし、規模は長辺約1.4m、短辺約0.9m、深さ約30cmを測る。

S K 89 (第20、74図)

G区中央よりやや東側に位置する。遺構は北東－南西が長い長方形プランで、規模は長辺約2.0m、短辺約1.4m、深さ約50cmを測る。

S K 90 (第20、74図)

G区中央よりやや東側、S I 52の西側に位置する。遺構は北東－南西が長い隅丸長方形プランで、規模は長辺約2.0m、短辺約1.3m、深さ約50cmを測る。覆土は黄灰色系の粘質土が主体である。西端は調査区外へ延びる。

S K 91 (第20、75図)

G区南東側、S I 54の西側に位置する。本土坑の南端はS D 29に切られており、全容は明らかでないが、南北に長い隅丸長方形になると考えられる。規模は南北1.8m以上、東西約1.2m、深さ約50cmを測る。覆土は明黄褐色ブロック混じりの黄灰色系粘質土が主体である。

S K 92 (第20、75図)

G 区北西端に位置する。本土坑の周囲には複数の遺構が存在し、形状はわかりにくいだが、東西に長い隅丸長方形になると考えられる。規模は南北約1.5m、東西約2.0m、深さ約45cmを測る。

S K 93 (第20、75図)

G 区北西端、S K 92の西隣に位置する。遺構は南北に長い隅丸長方形で、規模は南北約1.3m、東西約1.0m、深さ約40cmを測る。

S K 94 (第20、75図)

G 区北西端、S K 93の南隣に位置する。本土坑の南側は不定形遺構によって切られており、全容はよくわからない。南北に長い隅丸長方形プランになると考えられ、規模は南北1.2m以上、東西約0.9m、深さ約15cmを測る。

S K 95 (第20、75図)

G 区北西端、S K 94の東隣に位置する。遺構は、東西に長い隅丸長方形プランで、規模は南北約1.5m、東西約4.5m、深さ約50cmを測る。

S K 96 (第20、75図)

G 区北西端、S D 31の南隣に位置する。遺構は北東-南西が長い隅丸長方形プランであるが、若干歪な形状となる。規模は長辺約1.9m、短辺約1.6m、深さ約65cmを測る。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

④ 溝

S D 1 (第21図)

A 区北端に位置する東西方向の溝である。計測可能な範囲において、最長部約7.9m、上幅は1.7~2m、底幅20~40cm、深さ90~100cmを測り、薬研型のプランをしている。方位はW13°Sである。本溝は位置関係等から、集落の周り囲む溝になるかもしれない。

S D 2 (第22図)

C 区中央に位置する溝で、東西方向から、途中で逆L字型に南北方向に向きを変える。S I 2とは切り合っており、遺構検出時の観察から、本溝の方が新しいことがわかっている。方位はほぼ真北に近い。規模は、東西方で長さ約9.4m、幅25~40cm、深さ約10cm、南北方が長さ約3.5m、幅28~42cm、深さ約10cmである。

S D 3 (第22図)

C 区西端に位置する南北溝で、方位はN4°Eとほぼ真北に近い。規模は最長部で約10m、幅は約40~60cm、深さ約10cmを測る。前述したS D 2とは、溝の規模や方位、位置関係等から、宅地内を囲むための同一遺構になるかもしれない。

S D 4 (第23図)

D 区東側に見られる南北溝である。S K 19とは切り合っており、遺構検出時の観察から、本溝の方が新しいことがわかっている。規模は最長部約8.1m、幅は20~30m、深さ8~10cmを測る。方位はN-8°Wである。

S D 5 (第23、77図)

D 区中央よりやや東寄りにある南北溝で、前述のS D 4から約4m西方に位置する。規模は最長部で約8m、幅は45~62cm、深さ約45cmを測る。方位は、S D 4と同じN8°Wである。

S D 6 (第23図)

D区中央よりやや西寄りにある溝で、東西方向から、途中で逆L字型に南北方向に向きを変える。西端はS D 7と交わって終焉する。S I 7、S K 26とは切り合っており、いずれも本溝の方が古いことがわかっている。方位はN 5° Wである。規模は、東西方が長さ約6.4m、幅15~25cm、深さ5~10cm、南北方が長さ約7.5m、幅25~32cm、深さ約10cmである。

S D 7 (第23、65図)

D区西側に位置する南北溝で、方位はN 3° Eである。本溝の南端はD区内で確認できる。規模は、最長部で約7.9m、幅は1~1.4m、深さ60~70cmを測る。

S D 8 (第23、65図)

D区西端に位置する南北溝で、前述のS D 7と隣接する。規模は最長部で約8.5m、上幅は2.4~2.8m、底幅約1.3m、深さ1.1~1.3mで、西岸には幅40cm前後、深さ約30cmの犬走りが存在する。方位はN 5° Wである。なお、後述するE区・F区S D 17とは、規模や位置関係等から同じ溝になるかもしれない。

S D 9 (第21、22図)

E区北端と西端で確認した溝で、北端の溝は東西ライン、西端の溝は南北ラインとなる。平成17、18年度の第4次、5次調査では本溝の延長部を検出しており、そこで東西ラインから大きくクランクして南北に方向が変わることが明らかになっている。(野々市町教委 2009)

北端の東西溝の規模は、最長部で約18.2m、上幅は2.1~2.6m、底幅1.7~2.1m、深さ60~70mで、方位はW 5° Sである。また、北岸には幅1~2m、深さ約20cmの犬走りが存在する。西端で確認した溝は、一部調査区外となるため全貌は明らかでない。計測可能な範囲において、最長部約11.2m、上幅は1m以上、底幅60cm以上、深さ約70cmを測る。方位はN 5° Wである。本溝は屋敷地を囲む堀と推測する。

S D 10 (第22、23、34図)

E区中央よりやや北寄りで確認した溝で、東西方向から途中北上するように南北方向へと変わり、更に東方へと向きを転換する。東西ラインの箇所では後述するS D 11と交差する。この東西ラインでの規模は、最長部で約19m、上幅は1.9~2m、底幅約1.2m、深さ80~90mで、方位はW 17° Sである。南北方向の規模は、約40m、上幅2m前後、底幅50~90cm、深さ75~90cmを測り、北端で東方に向きを変えて、調査区外へと延びていく。方位はN 4° Eである。なお、本溝はS D 9と同様な屋敷地を囲む堀と考える。

S D 11 (第23図)

E区中央部で確認できる東西溝で、前述のS D 10とは切り合う。土層断面の観察から本溝がS D 10よりも新しいことが判明した。規模は最長部約20m、溝幅は、2.2mから西方で4.6mと大きくなる。深さ110~120cmと堀を思わせる深さをする。方位はW 18° Sである。

S D 12 (第23図)

E区中央部で確認できる東西溝で、前述のS D 11の南方に隣接する。規模は最長部で約23m、上幅1.6~1.9m、底幅約70cm、深さ80~100cmを測る。方位はW 18° Sで、北隣にあるS D 10、S D 11と同方位となる。

S D13 (第23図)

E区中央部に位置する溝で、前述のS D10から派生する。S D10から派生した本溝は南北方向からすぐに方位を東方に変えて調査区外へと延びていき、L字型をした形状を成す。規模は南北間で約3.6m、東西間で約6.8m、上幅1～1.8m、底幅約40～143cm、深さ50～65cmを測る。方位は南北間でN28° W、東西間でW17° Sとなる。

S D14 (第23図)

E区中央部よりやや南寄りに位置する東西溝である。S I 21とは切り合っており、本溝が古いことがわかっている。本溝は、西端から東方へ約10m進んだところで、一度南方へ折れ、2m進んだところで再び東方へと延びる。東方約6.5mの進んだところで、今度は北上し、約1.5m延びたところで終焉する。溝幅は30～40cm、深さは10～30cmを測る。東西方位は、W15° Sである。

S D15 (第23、24図)

E区中央部よりやや南寄りに位置する溝である。本溝は、S I 21から南方へ派生するように走り、約9m進んだところで、L字型のように東方へと向きを変える。東方に向きを変えた本溝は、約16m進んだところで調査区外へとさらに延びていく。溝幅は80～120cm、深さは30～50cmを測る。方位は、南北間がN16° W、東西間がW11° Sである。本遺構は、宅地を区画するための溝と考えられる。

S D16 (第24、40、41、72図)

E区南端に位置する溝で、前述のS D15の南に隣接する。本溝は、S D15と同様、宅地を仕切るための区画溝である。東溝は調査区外となるため確認できなかった。また、西南隅には本溝を区切るかのようにS I 26が存在している。北溝は最長部約14m、幅90～170cm、深さ40～60cmで、西溝は最長部約13.8m、幅90～100cm、深さ30～45cm、南溝は最長部約35m、幅90～140cm、深さ35～60cmを測る。方位は、南北間がN10° W、東西間がW11° Sで、S D15とほぼ同一方位をとる。

S D17 (第24、41、42図)

E区とF区を跨ぎ、L字にクランクする溝で、前述のD区S D8とは同一遺構になるかもしれない。東西間の溝は、途中S X22で大きく削平を受けている。なお、溝の東端は後述するS D27の手前で終焉する。南北間の長さは約21m、幅2.3～3.2m、深さ110～120cmで、東西間是最長部約30m、幅2.6～3.3m、深さ100～130cm、を測る。方位は、南北間が真北からN8° Eへと緩いカーブを描く。東西間はW13° Sである。

S D18 (第24図)

E区S D17の東隣に位置する南北溝である。S I 28・S I 29に切られており、全体の様相はわからない。南端はS I 30の横で終焉し、北方は調査区外へと延びる。最長部約10.6m、幅約50cm、深さ20～30cmで、方位は、S D17と同様真北からN8° Eへと緩いカーブを描く。

S D19 (第24、41、42図)

E区S D18の東側に位置する南北溝である。北方は調査区外へと延び、南方部はF区に延びると思われたが、その延長部にはピットなど他の遺構が錯綜しており、その様相はわからない。仮にF区まで延びていたとしても大溝S D17の手前で途切れていたと考えられる。最長部約14.8m、幅70～120cm、深さ約30cmで、方位はN10° Wである。

S D20 (第24図)

E区S D19の東側に位置するL字型溝である。後述するS D21とは同一になり、区画溝になるかもしれない。南北間の長さは約10m、幅100～140cm、深さ約50cmで、東西間是最長部約14.5m、幅80～100cm、深さ45～50cmを測る。方位は南北間がN11° W、東西間がW12° Sである。

S D 21 (第24、44図)

E区東南部のS D 20の東側に位置する南北溝である。S D 20とは同一になり、区画溝として機能していた可能性がある。北方は調査区外へと延び、南端はS D 22と合流して終焉する。長さは約10m、幅80～140cm、深さ40～80cmで、方位はN 8° Wを測る。

S D 22 (第24図)

E区S D 20・S D 21の南隣に位置する東西溝である。西端はS D 19の手前、東端はS D 24の手前で終焉する。長さは約24m、上幅1.8～2.6m、底幅65～80cm、深さ1～1.3mで、方位はW12° Sを測る。

S D 23 (第24図)

E区S D 21やS D 22と接する南北溝である。北方は調査区外へと延び、南端はS D 27の手前で終焉する。長さは約14m、上幅1.6～1.8m、底幅約1.1m、深さ約30cmで、方位はN15° Wを測る。なお、遺構検出時の観察から、本溝はS D 21やS D 22よりも古いことが判明している。

S D 24 (第24、73図)

E区・F区の東端に位置する南北溝である。S K 78とは切り合っており、本溝の方が古いことがわかっている。長さは約20.5m、上幅1.4～3.6m、底幅60～330cm、深さ75～110cmで、方位はN18° Wを測る。

S D 25 (第24、45、73図)

E区東端に位置する南北溝である。北方は調査区外へと延び、南端はS I 46と合致して終焉する。長さは約2.1m、幅30～40cm、深さ30～40cmで、方位はN18° Wを測る。

S D 26 (第24図)

E区東端に位置する溝で、S I 49やS X 21の西隣を接するようにならして延びている。方位はN32° Wを測るが、南方へ延びるごとに東方へ緩くカーブを描いていく。長さは約5.6m、幅60～70cm、深さ約50cmを測る。

S D 27 (第24図)

E区とF区を跨って確認した南北溝で、S D 17とS D 24の間に位置する。北端はS D 23の手前で終焉し、南方は調査区外へと延びる。長さは約6m、上幅1.7～2.2m、底幅約1.5m、深さ約50cmを測る。方位はN12° Wである。

S D 28 (第25図)

G区の東端、S I 51とS I 52の間に位置する。S I 51の南隣を東西方向に走っており、S I 51の掘方と並行することから、両遺構は関連すると思われる。東方は調査区外に延びる。長さは約2.4m、幅約30cm、深さ30～40cmを測る。方位はW12° Sである。

S D 29 (第25図)

G区の東南方に位置する東西溝である。S K 91とは接するが、前後関係はわからない。西方は調査区外へと延びていく。長さは約6m、幅90～115cm、深さ10cm前後を測る。方位はW12° Sである。

S D 30 (第25図)

G区の東南方にあり、前述のS D 29の南隣に位置する。方位はW16° Sで、S D 29とは位置関係や方位がほぼ同じことなどから、両遺構は同時期に存在したと考えられる。長さは約2.4m、幅約30cm、深さ30～40cmを測る。

S D 31 (第25図)

G 区の北西方に位置する東西溝である。長さは約 8 m、幅80～120cm、深さ10～25cmを測り、方位は W13° S である。

S D 32 (第25図)

G 区の北西方に位置する北西－南東方の溝である。S D 31とは切り合っており、本溝の方が古い。長さは約26m、幅30～60cm、深さ25～40cmを測り、方位は N34° W である。

⑤ 柵列

SA 1 (第12、76図)

E 区 S B 3 の西側に位置する、南北方向のラインをもつ柵列である。柱穴は 6 基確認でき、その規模は直径30～48cm、深さは21～53cmを測る。柱間は最短で約30cm、最長で約2.5m である。方位は N 2° W で、中世掘立柱建物 S B 3 及び S B 5 と関連があると推測される。

SA 2 (第13、14、76図)

E 区 S B 6 の西側に位置する、南北方向のラインをもつ柵列である。柱穴は 4 基確認でき、規模は直径32～44cm、深さは22～40cmを測る。柱間は平均約2.2m である。方位は N10° W で、中世の時期と考えられる。

⑥ 不明遺構

S X 1 (第27、77図)

C 区の西側、S I 3 の南東方に位置する。本遺構は方形土坑の可能性があるが、南半分は調査区外となるため、詳細はわからない。埋土には大量の石が入っていた。そのほとんどは自然石であるが、中には842のような五輪塔地輪も入っている。遺構の規模は、南北1.6m 以上、東西1.2m 以上を測る。

S X 2 (第28、77図)

D 区東側、S D 4 と S D 5 の間に位置する。S D 4 とは切り合っており、本遺構の方が古い。南北に長い溝状遺構のようなプランをし、南方は調査区外に延びる。規模は南北5.7m 以上、東西約1.6m、深さ約15cm を測る。

S X 3 (第27、78図)

E 区北端、S D 9 と S I 8、S K 28に囲まれた方形状の落ち込み遺構である。本遺構は、平成18(2006)年度発掘調査地でも一部遺構を確認しているが、北側は S D 9 と接しているため、全容はよくわからない。規模は平成18年度調査地を含めて、東西約13m、南北約 4 m、深さ約10cm、を測る。

S X 4 (第27、79図)

E 区北端、S K 31と S K 33、S D 10に囲まれた方形状の落ち込み遺構である。本遺構の東方は調査区外に延び、南方は S K 33、S D 10と接し、全体の様相は不明である。規模は南北約16.5m、東西 6 m 以上、深さ約20cmを測る。

S X 5 (第27、80、81図)

E 区中央より北寄り、S B 4・5 と S K 36、S D 10に囲まれた方形状の落ち込み遺構である。本遺構の東方は S D 10と接するため、全体の様相は不明である。規模は南北約15.6m、東西11.2m 以上、深さ約20cmを測る。遺構内部には、ピットなどの他の遺構はほとんど見られない。

S X 6 (第27、28、80、81図)

E区中央より北寄り、S X 5、S D10に近接したところに位置する南北に長い方形の落ち込み遺構である。本遺構東方のS D10と並列しており、両遺構は関連性があるかもしれない。規模は南北約32.8m、東西約4.2m、深さ30～45cmを測る。遺構内部には、不定形な落ち込み遺構がいくつか存在する。

S X 7 (第27、80、81図)

E区S X 5、S X 6内にある不定形な土坑状遺構である。周囲をテラスで覆っており、規模は南北約3.7m、東西約2.3m、深さ地山面から最深部で約90cm、テラス部で約75cmを測る。

S X 8 (第27、80、81図)

E区中央より北寄り、S X 5の南隣に位置する、隅丸方形の土坑にも見えるが、南半分では検出できなかった。南北2m以上、東西約1.6m、深さ約10cmを測る。遺構内部には、南北約1m、東西約1.7m、深さ約75cmの大きな穴が存在する。

S X 9 (第28、82図)

E区中央より北寄り、S D12とS D13の間に位置する。両溝を連結するための遺構の可能性もあるが、現状ではよくわからない。規模は長辺約2.5m、短辺約1.2m、深さ約60cmを測る。

S X 10 (第28、82図)

E区中央より北寄り、S D11とS D12の間に位置する。両溝を連結するための遺構になるかもしれない。規模は長辺約90cm、短辺約70cm、深さ約15cmを測る。

S X 11 (第28、82図)

E区中央より北寄り、S K45～47の東隣に位置する。本遺構は南北に長い溝状遺構になるかもしれないが、東方は調査区外となるため、詳細は不明である。規模は南北長160cm以上、東西長60cm以上、深さ約25cmを測る。

S X 12 (第28、82図)

E区中央より北寄り、S D12の南隣に位置する。本遺構は逆L字型をした溝状遺構で、北端はS K54、西端はS X13に接しており、全容はわからない。規模は南北長3.5m以上、東西長4.9m以上、幅80～120cm、深さ約45cmを測る。

S X 13 (第28、82図)

E区中央より北寄り、S D12の南隣に位置する。本遺構は南北に長い大きな落ち込み遺構であるが、大部分が調査区外へと延びるため、詳細はよくわからない。規模は南北長約8.8m、東西長1.2m以上、深さ約60cmを測る。

S X 14 (第28、29、83図)

E区中央より南寄り、区画溝S D15とS D16の西側にある南北に長い落ち込み遺構である。南北長約11.5m、深さ約20cmを測る。本遺構の西側は、後世、近隣を流れる郷用水の河川工事により一部破壊されている。本遺構の南端部には溝状の遺構として存在することから、この落ち込みは、溝の東岸になるかもしれない。なお、南端部の溝状遺構の幅は約80cm、方位N13°Wを測り、S D15・16の規模及び方位とは大差がない。以上より、本遺構とS D15・16は同時期に併存していたと想定できる。また、両遺構の間は遺構がほとんど見られない空間地であることから、この空間地は道路状遺構になると考えられる。これが道路状遺構となるならば、S X14とS D15・16は道路の側溝となり、路面幅は2～3mとなる。

S X 15 (第29、84図)

E区南西端に位置する。南北に長い土坑状遺構で、規模は南北長約140cm、東西長約85cm、深さ約25cmを測る。前述したS X 14の延長線上に存在することから、道路状遺構の側溝の一部になるかもしれない。

S X 16 (第29、84図)

E区南西端に位置する東西に長い溝状遺構である。本遺構の東方にはS I 27と接しており、本遺構が切られている。規模は南北長2～2.8m、東西長約11.6m、深さ約30cmを測る。前述したS X 14の延長線上に存在することから、道路状遺構の側溝の一部になるかもしれない。

S X 17 (第29、85図)

E区南端、南北大溝S D 17に隣接している。本遺構の南方は調査区外となり、詳細はわからないが、土坑状遺構と想定する。計測可能な範囲で、規模は南北長1.2m以上、東西長1.0m以上、深さ約30cmを測る。

S X 18 (第29図)

E区南端、南北大溝S D 17に接している。両遺構の前後関係はわからない。本遺構は方形プランの土坑状遺構と想定する。計測可能な範囲で、規模は南北長約1.2m、東西長1.25m以上、深さ約20cmを測る。

S X 19 (第29、85図)

E区南側、南北溝S D 19に接している。本遺構はS D 19に切られており、全容は明らかでないが、南北に長いピット状遺構と想定する。計測可能な範囲で、規模は南北長100cm以上、東西長約38cm、深さ約10cmを測る。

S X 20 (第29、85図)

E区南端、南北溝S D 19の西側に位置する。本遺構は南北に長い溝状遺構と想定できるが、南半は調査区外となるため、全容は不明である。計測可能な範囲で、規模は南北長240cm以上、東西長65～105cm、深さ約10cmを測る。

S X 21 (第29、46図)

E区南東端に位置する落ち込み遺構である。S I 19に切られており、S D 26とは並列する形状をしている。東方と南方は調査区外となるため、全体の様相はわからない。計測可能な範囲で、規模は南北長6.4m以上、東西長4.6m以上、深さ約30cmを測る。

S X 22 (第29、85図)

F区中央に位置する方形の落ち込み遺構である。南方は調査区外へと延びるため、全容はわからない。計測可能な範囲で、規模は南北長5.0m以上、東西長約10.0m、深さ約1.5mを測る。出土遺物から近世以降の時期であることがわかった。

S X 23 (第29、85図)

F区中央、S X 22に切られている遺構である。東半分がS X 22に切られており、全容は明らかではないが、南北に長い隅丸長方形土坑になると考えられる。計測可能な範囲で、規模は南北140cm以上、東西40cm以上、深さ約55cmを測る。

S X 24 (第29、85図)

F区中央、S X 23の北方に位置する。東半分がS X 22に、南端はS X 23に切られており、全容は明らかではないが、南北に長い土坑になると考えられる。計測可能な範囲で、規模は南北100cm以上、東西70cm以上、深さ約85cmを測る。

S X 25 (第29、86図)

F区西端に位置する。本遺構は南北に長い溝状遺構と推測できるが、東側はS D 17と接しており、南方は調査区外へと延びるため、全容はわからない。計測可能な範囲で、規模は南北5.0m以上、東西約2.0m、深さ約30cmを測る。

S X 26 (第30、74図)

G区東側に位置する。本遺構の北側はS K 90に切れ、西側は調査区外となるため、本遺構の全体の形状はよくわからない。計測可能な範囲で、規模は南北80cm以上、東西60cm以上、深さ約20cmを測る。

S X 27 (第30、86図)

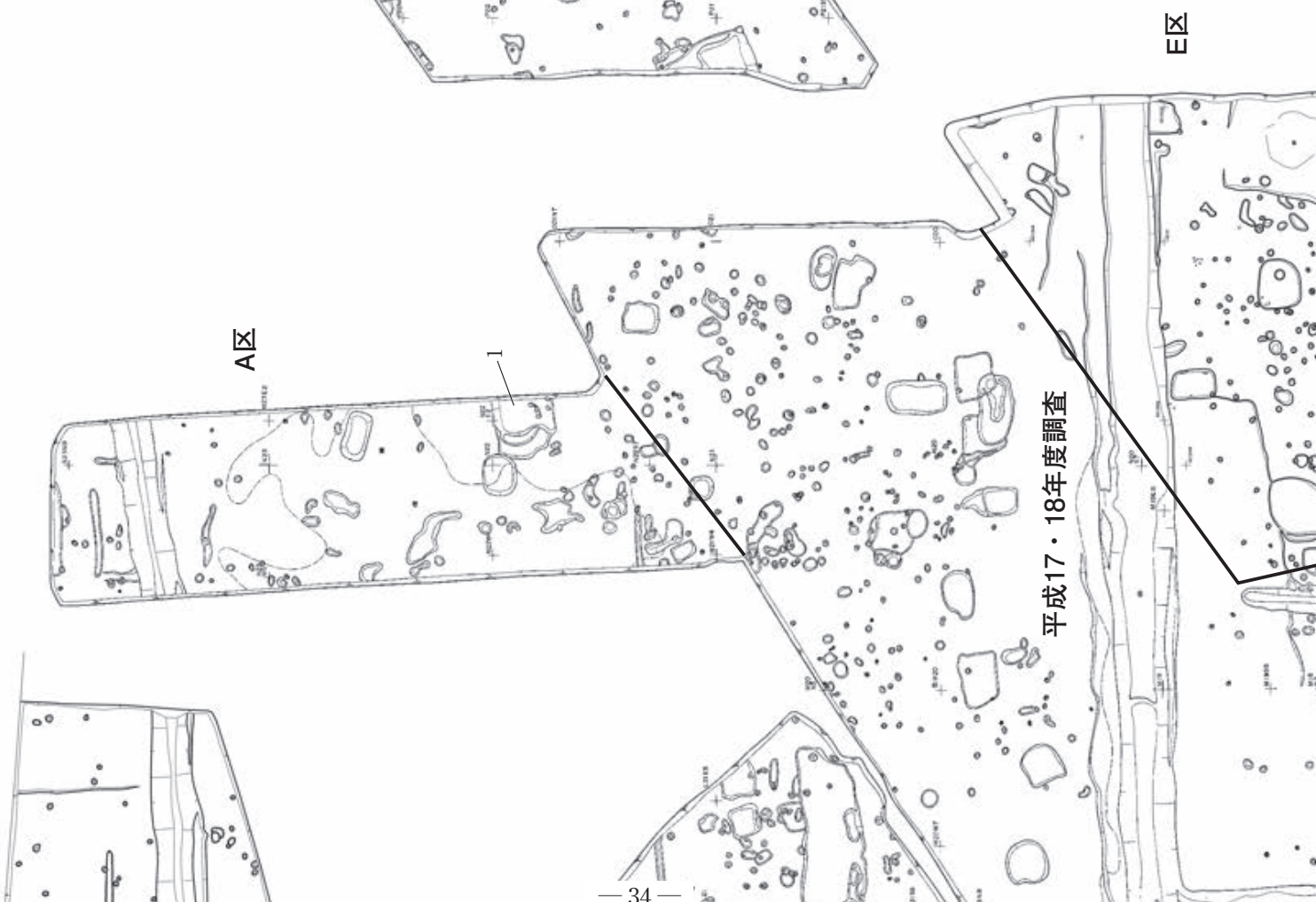
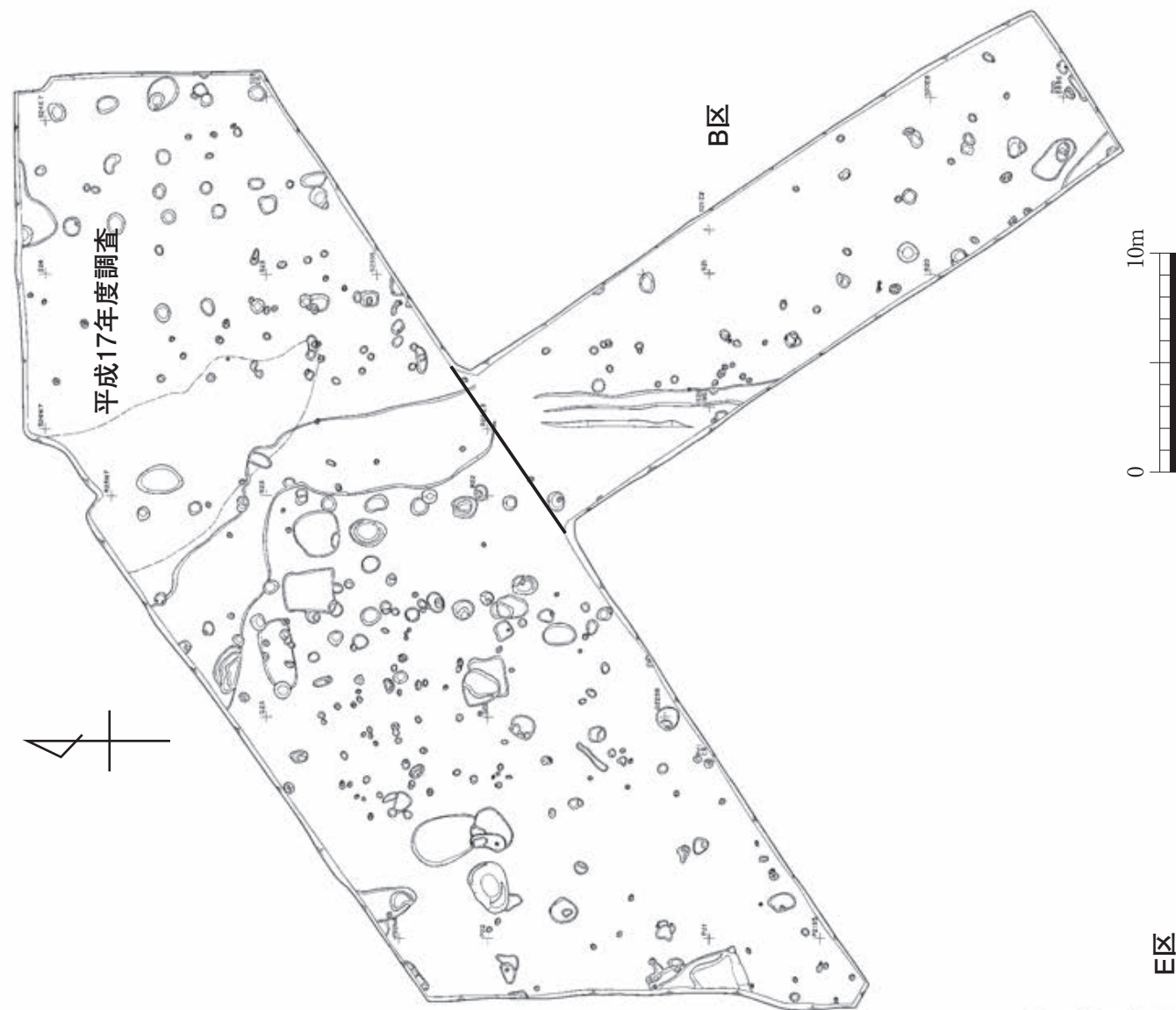
G区東側、S I 52とS I 54の間に位置する。本遺構は北東-南西が長い土坑状遺構で、内部には複数のテラスが存在する。規模は長辺約130cm、短辺約70cm、深さは最深部で63cmを測る。

S X 28 (第30図)

G区東南端、S I 53の北側に位置する。本遺構は東西に長い溝状遺構であるが、東方は調査区外となるため、全容は明らかでない。計測可能な範囲で、規模は南北約70cm、東西175cm以上、深さ10cm前後を測る。

S X 29 (第30、75図)

G区北西端、S K 95の西隣に位置する。形状が明確でない落ち込み遺構で、東側はS K 95と接し、内部には複数のピット状遺構が存在する。計測可能な範囲で、規模は南北約190cm、東西90cm以上、深さ約10cmを測る。



第6図 A・B区SI位置図

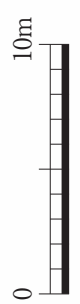
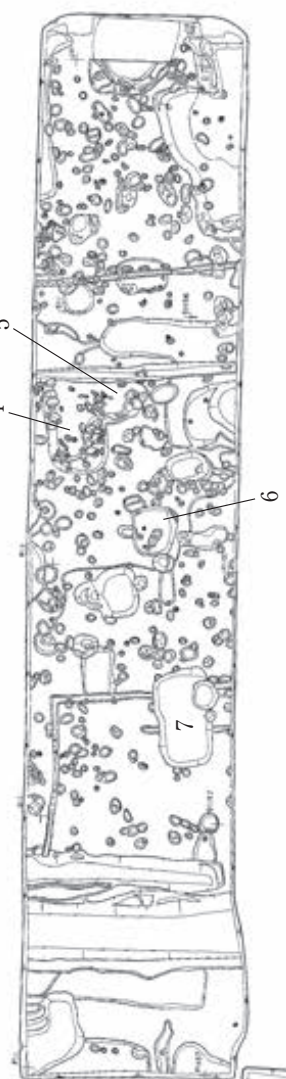


第7図 C・E区SI位置図

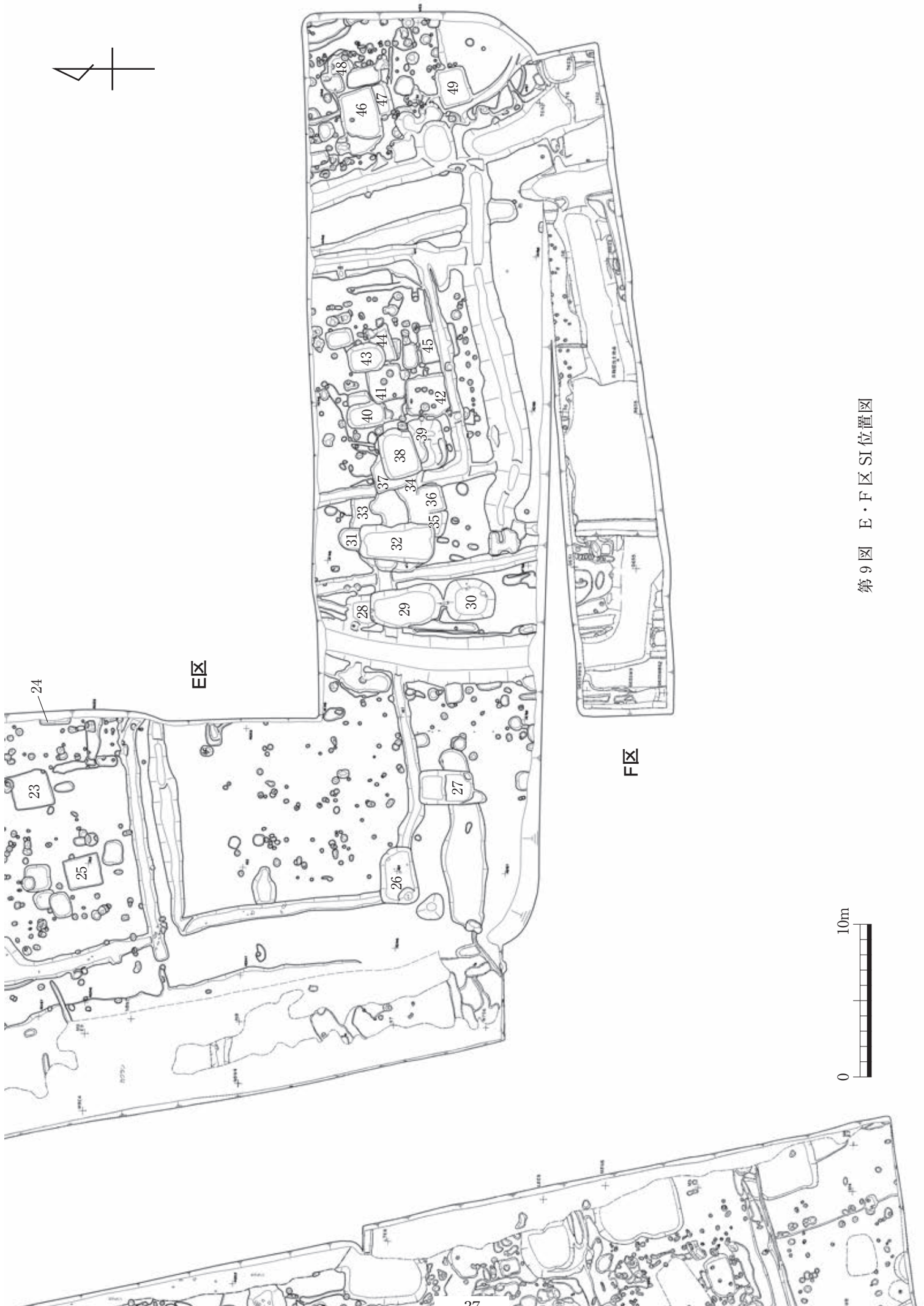


E区

D区



第8图 D·E区SI位置图

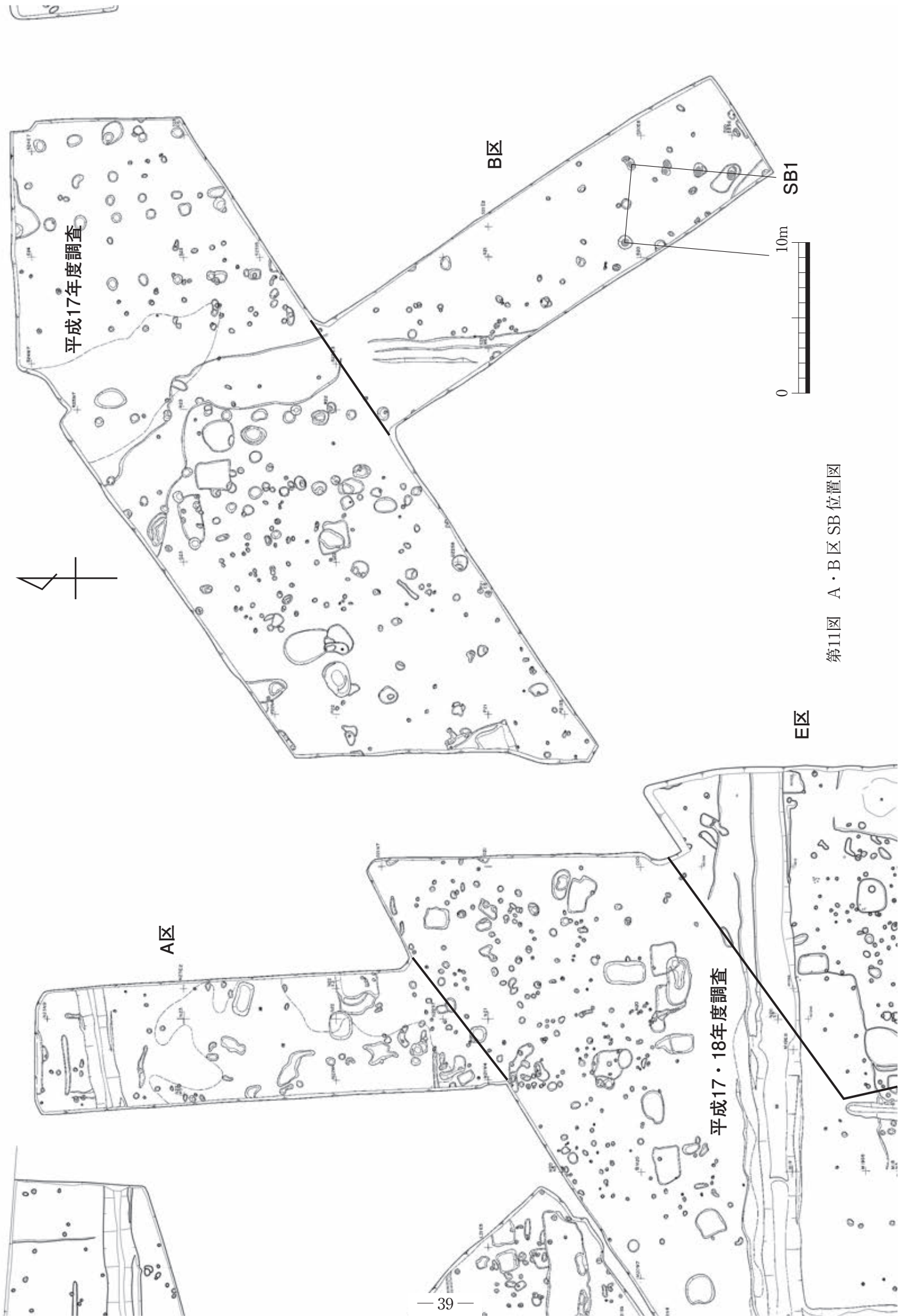


第9图 E·F区SI位置图



第10図 G・H区 SI位置図

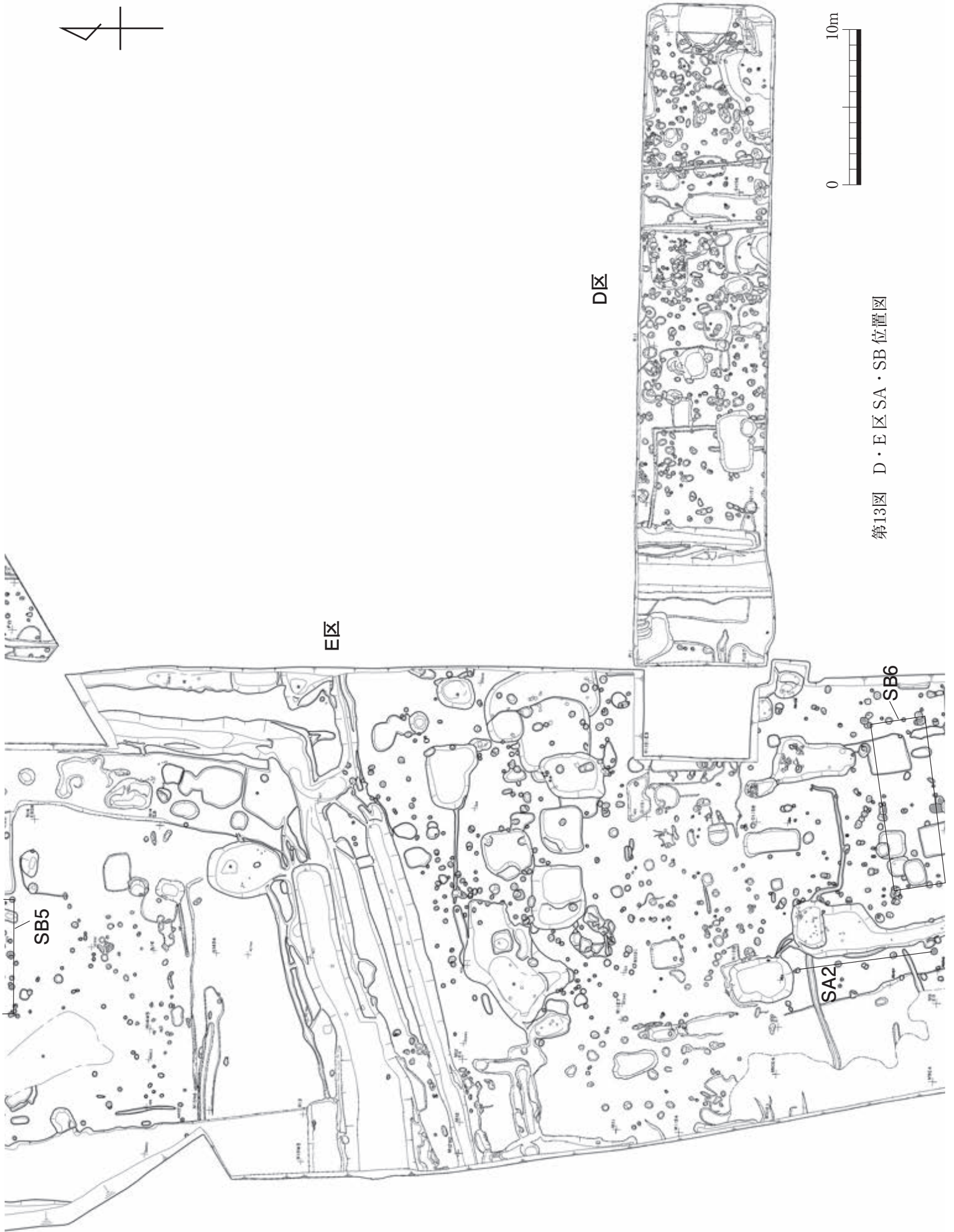
0 10m



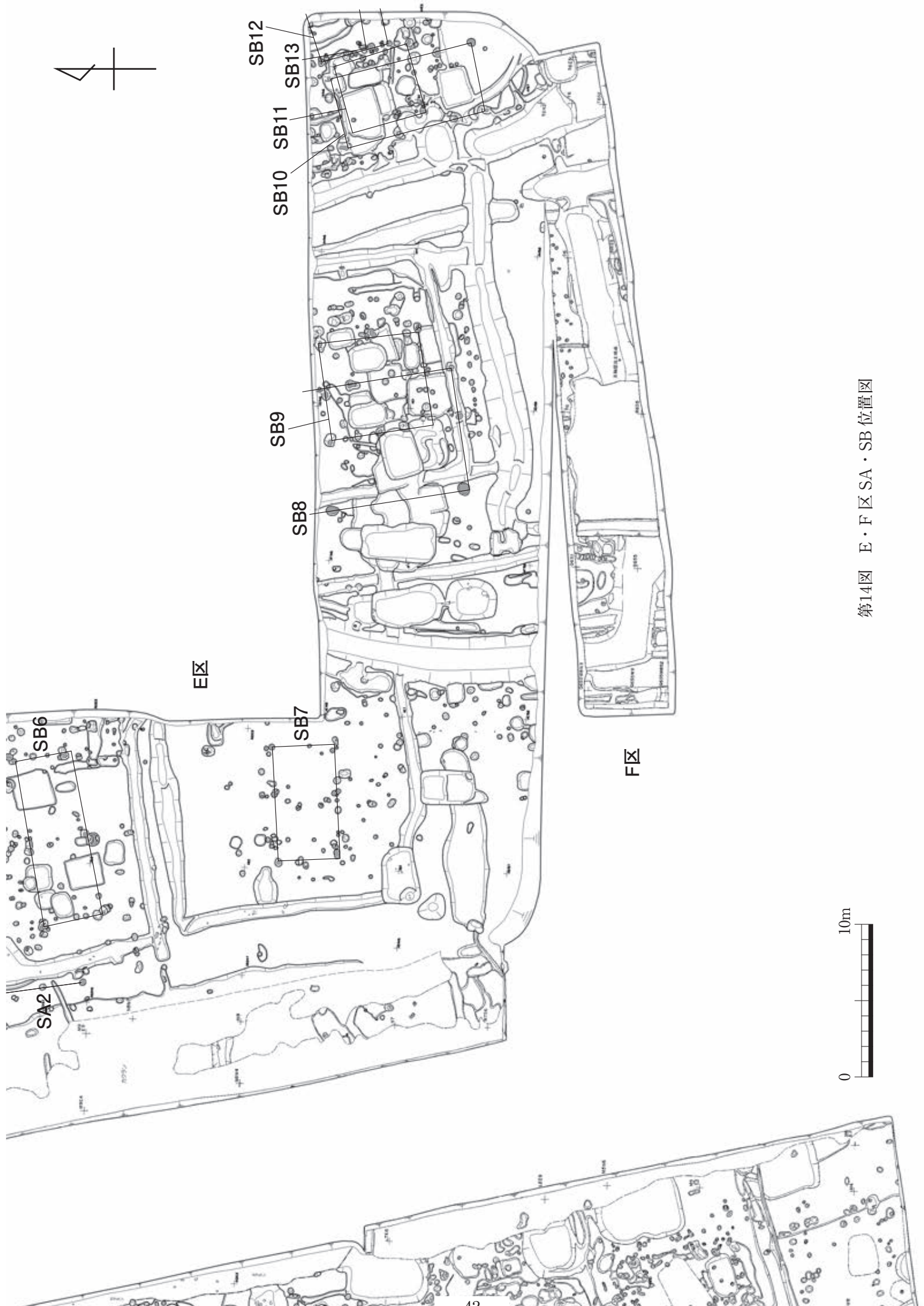
第11図 A・B区SB位置図



第12図 C・E区SA・SB位置図



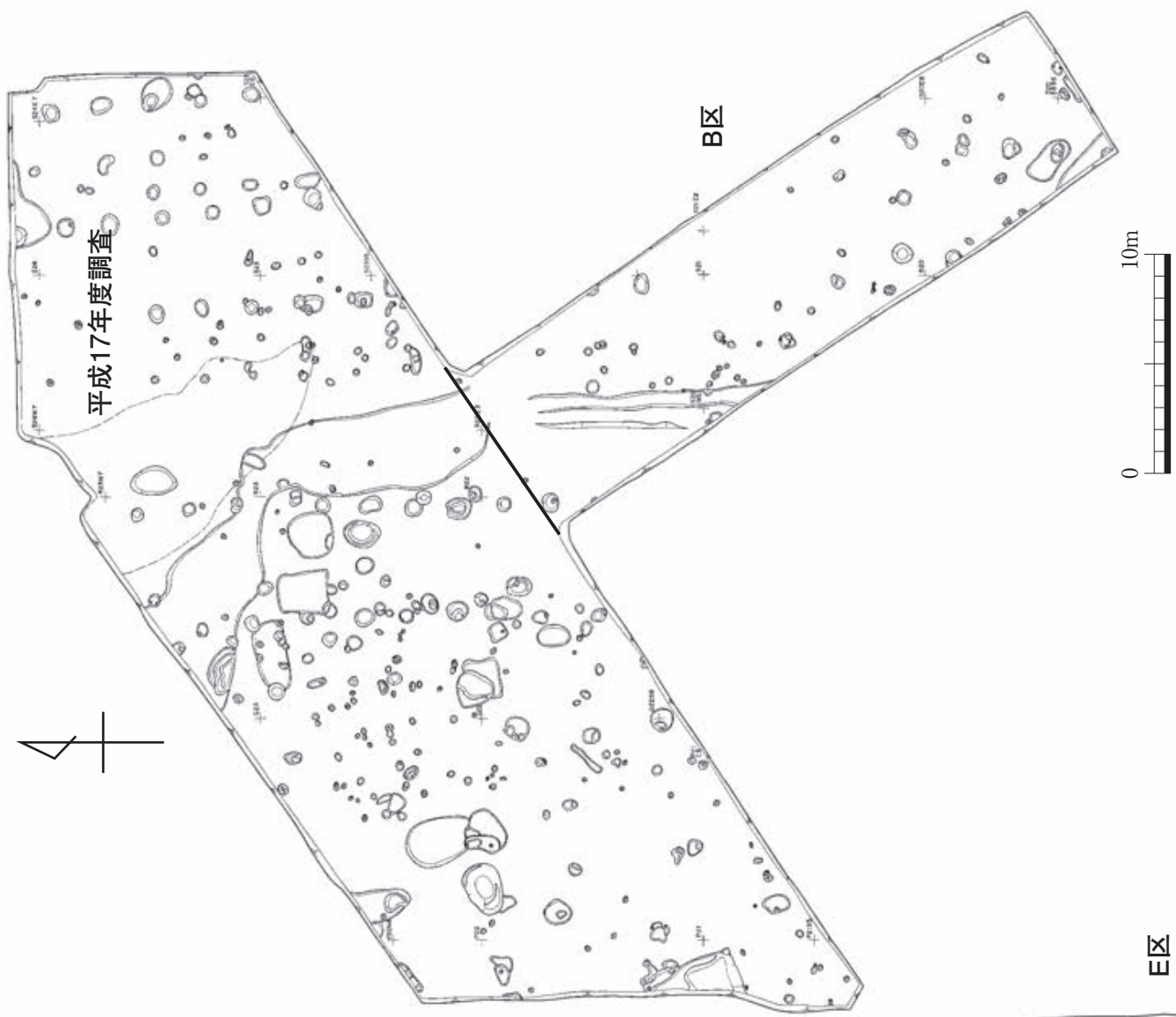
第13图 D·E区 SA·SB 位置图



第14图 E・F区 SA・SB位置图



第15図 G・H区SB位置図



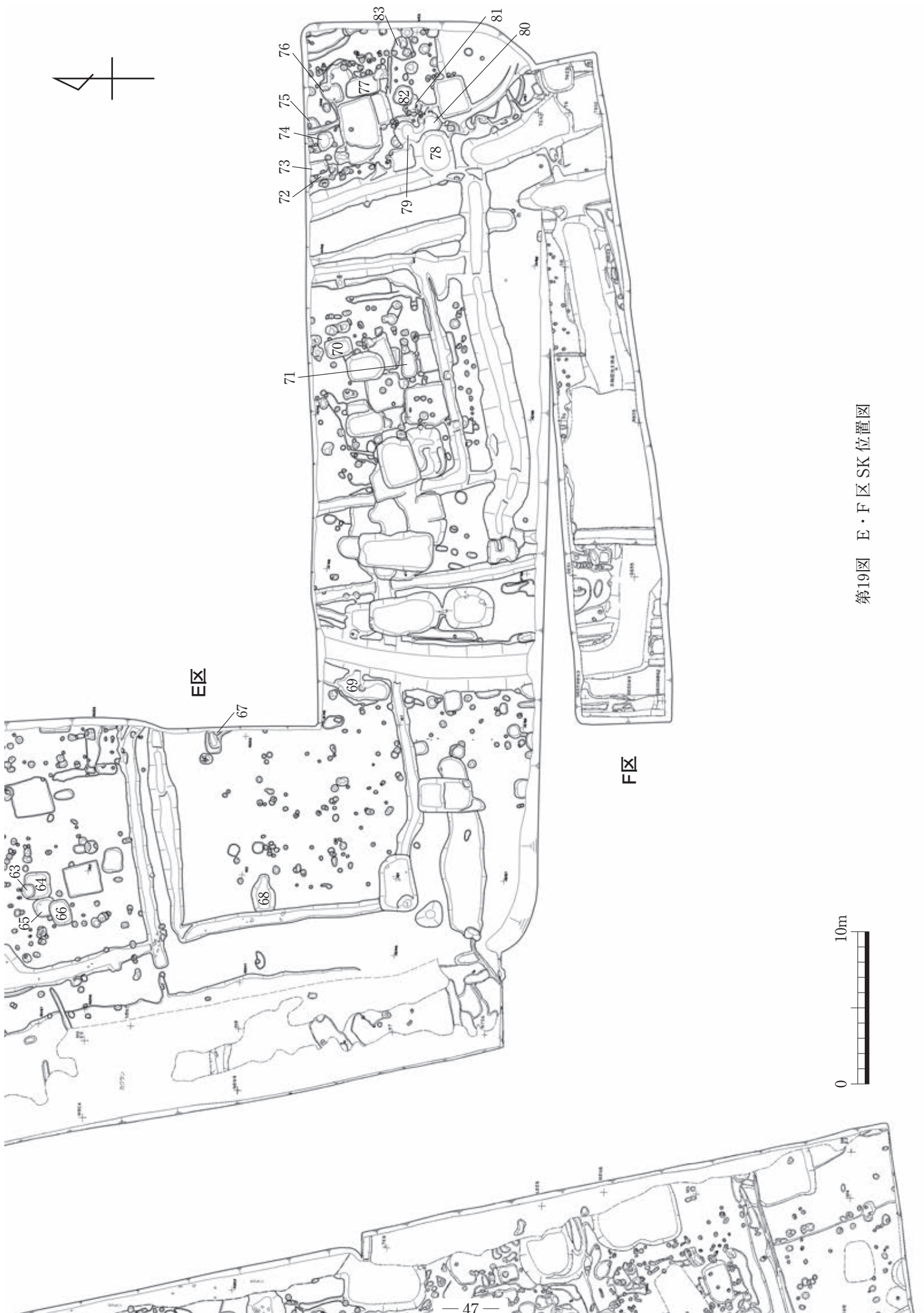
第16図 A・B区SK位置図



第17図 C・E区SK位置図



第18图 D·E区SK位置图

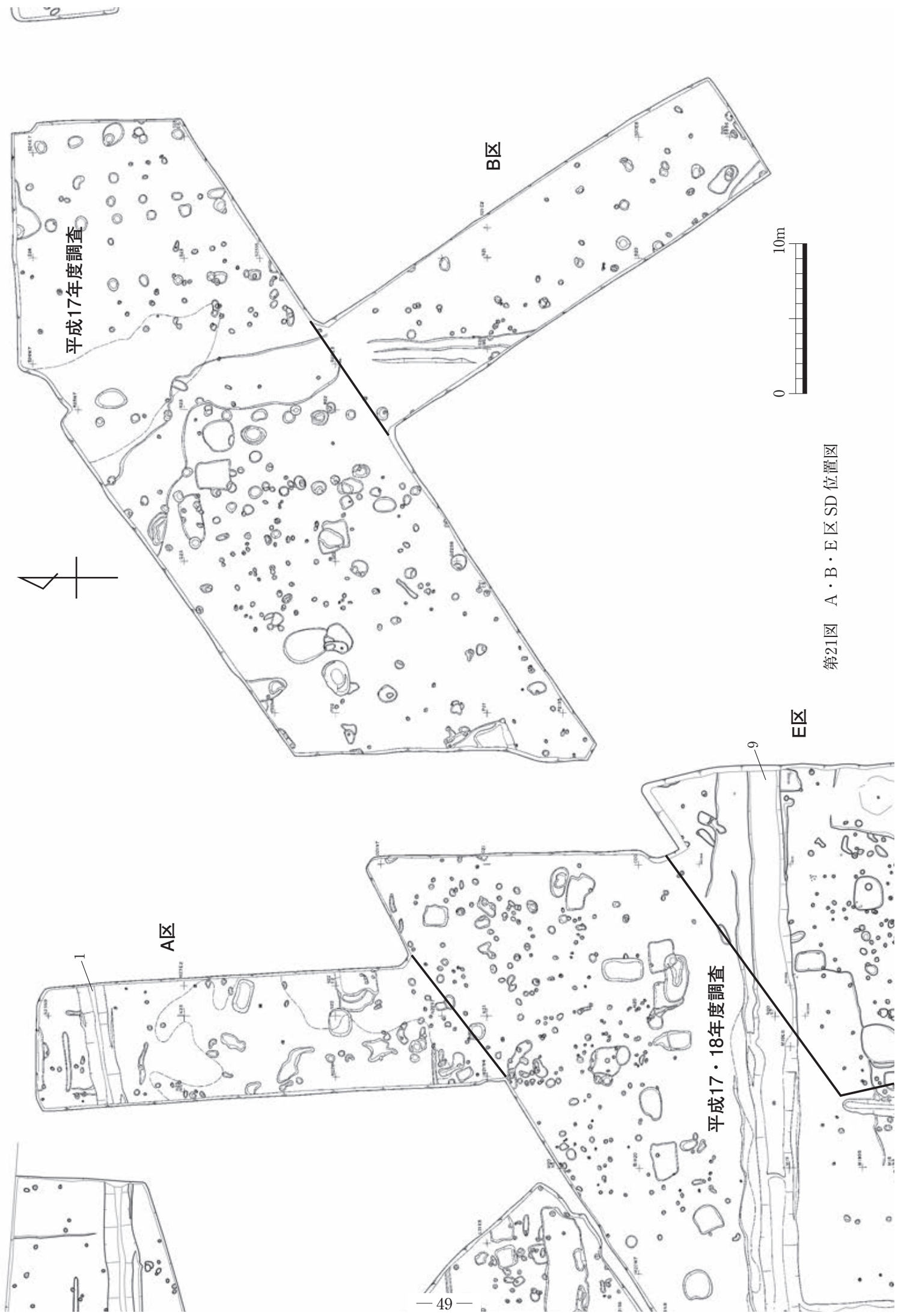


第19图 E·F区SK位置图



第20図 G・H区SK位置図

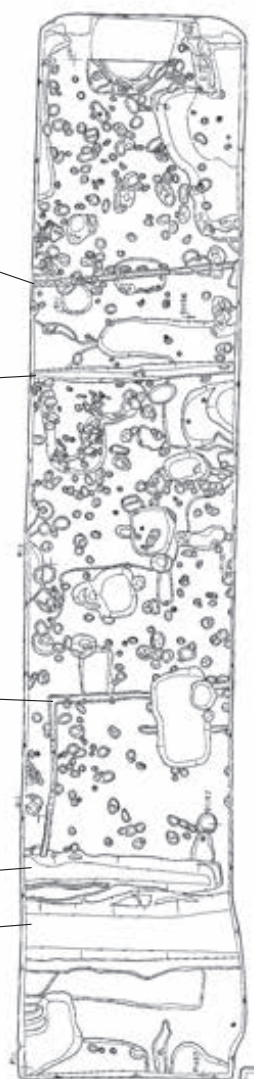
0 10m



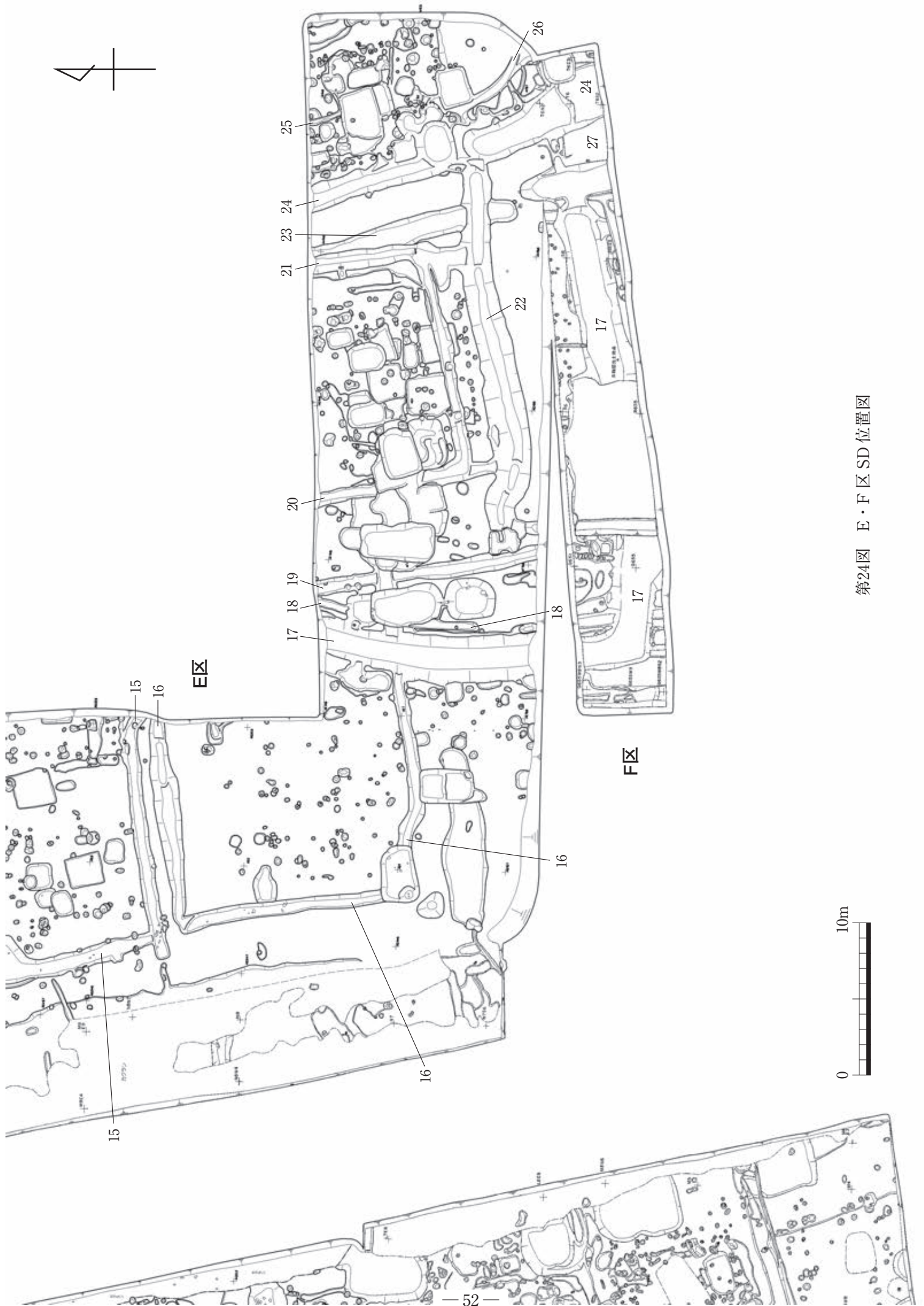
第21図 A・B・E区SD位置図



第22図 C・E区SD位置図



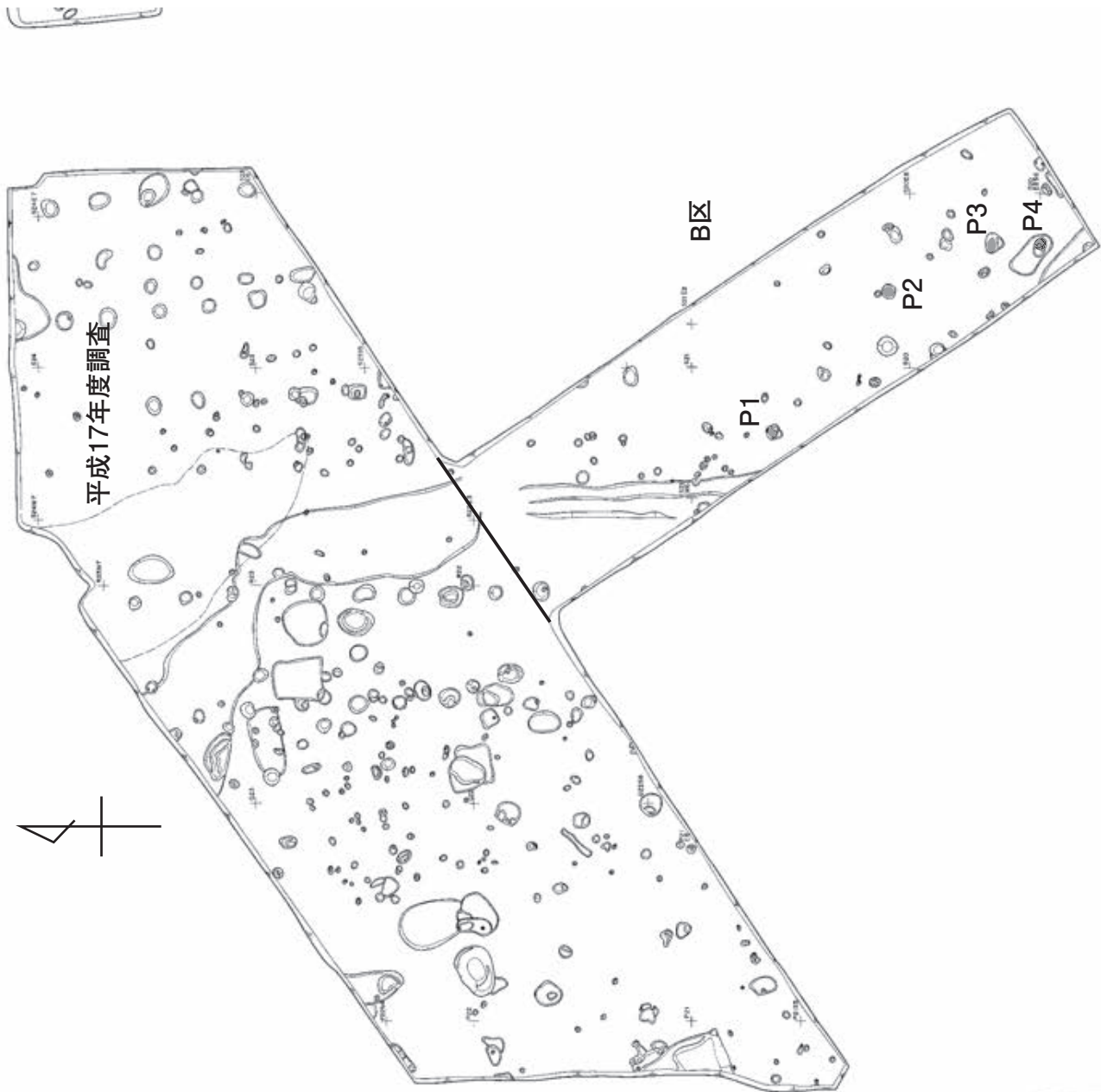
第23图 D·E区SD位置图



第24图 E·F区SD位置图



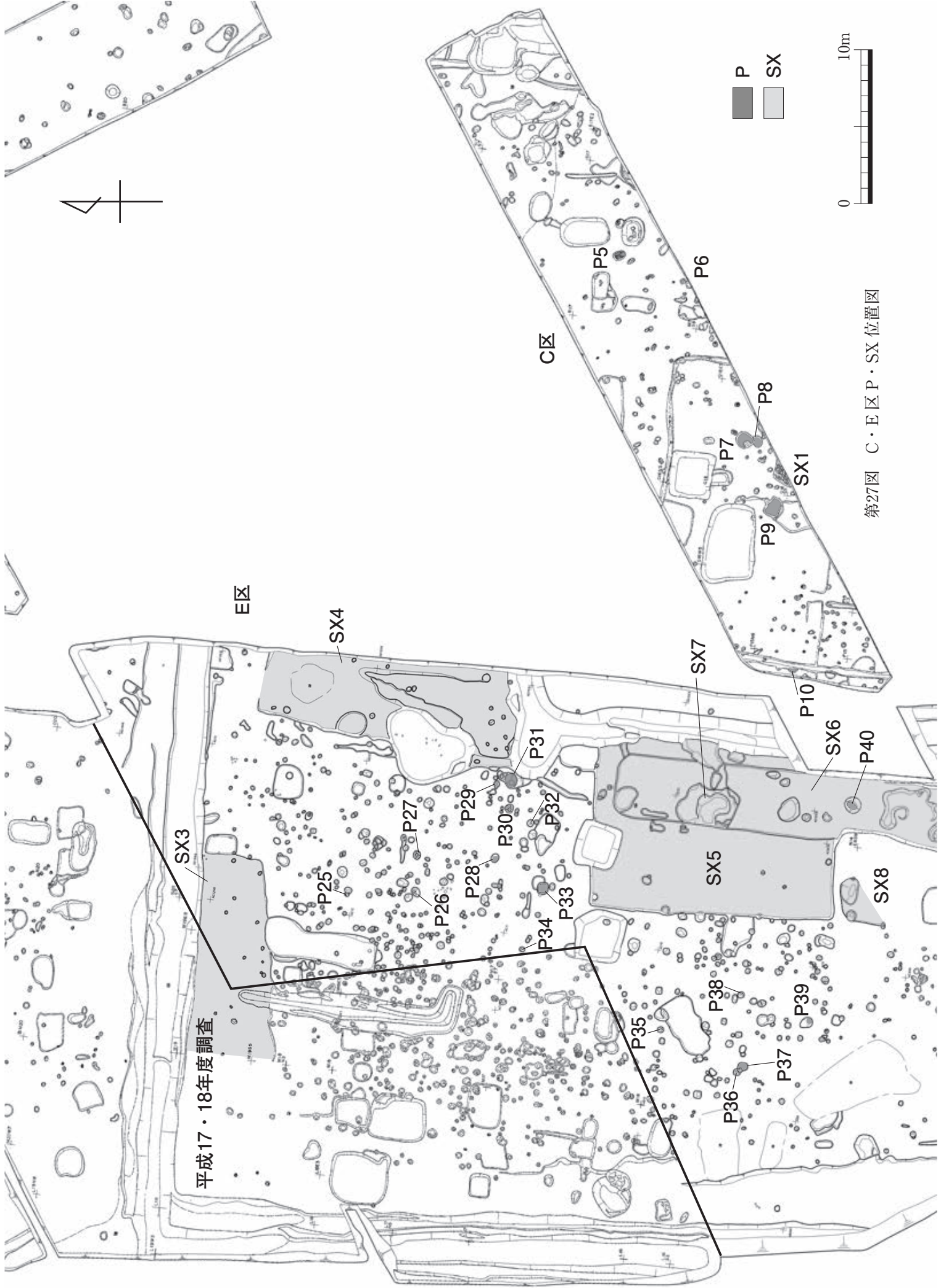
第25図 G・H区 SD 位置図



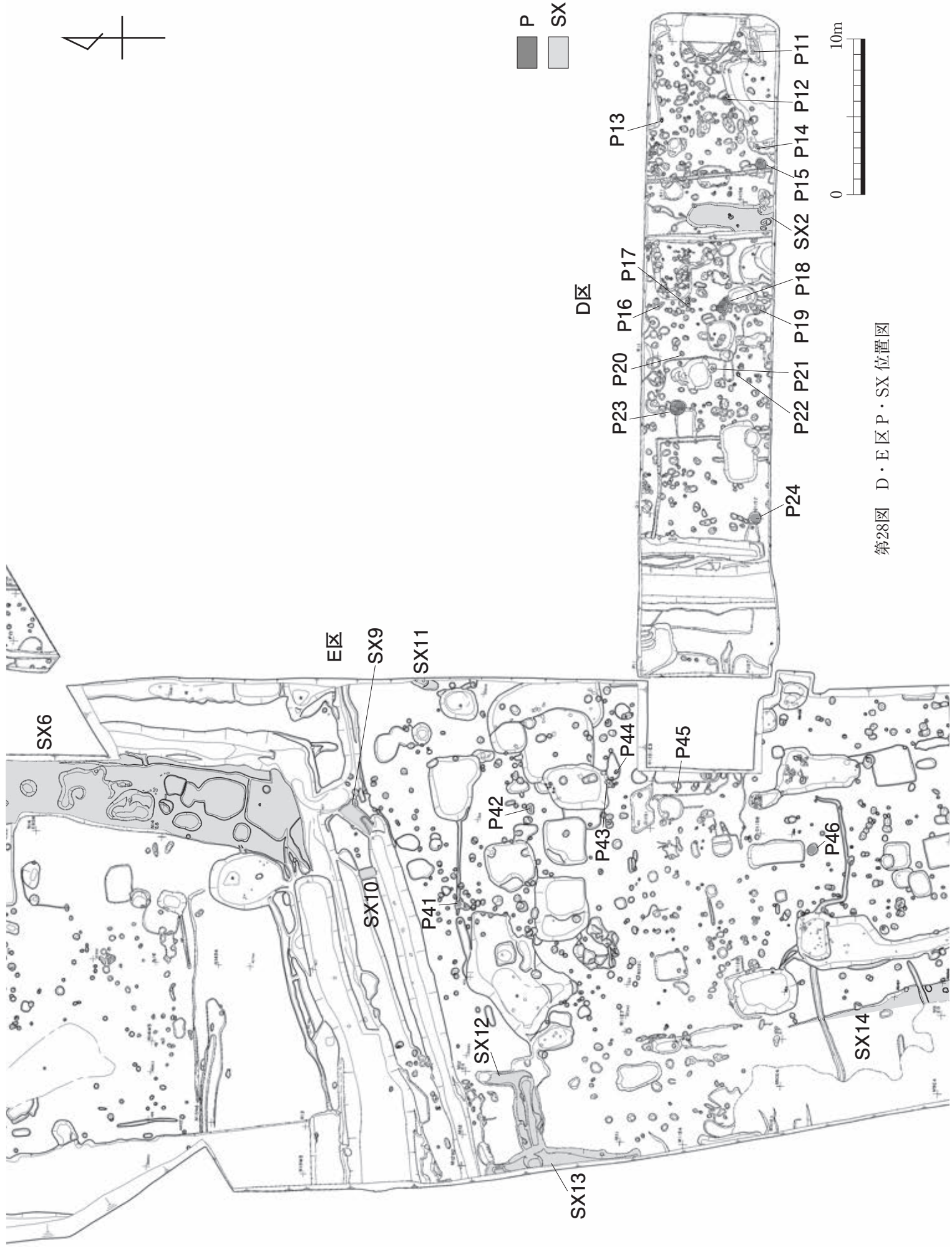
第26図 A・B区P位置図



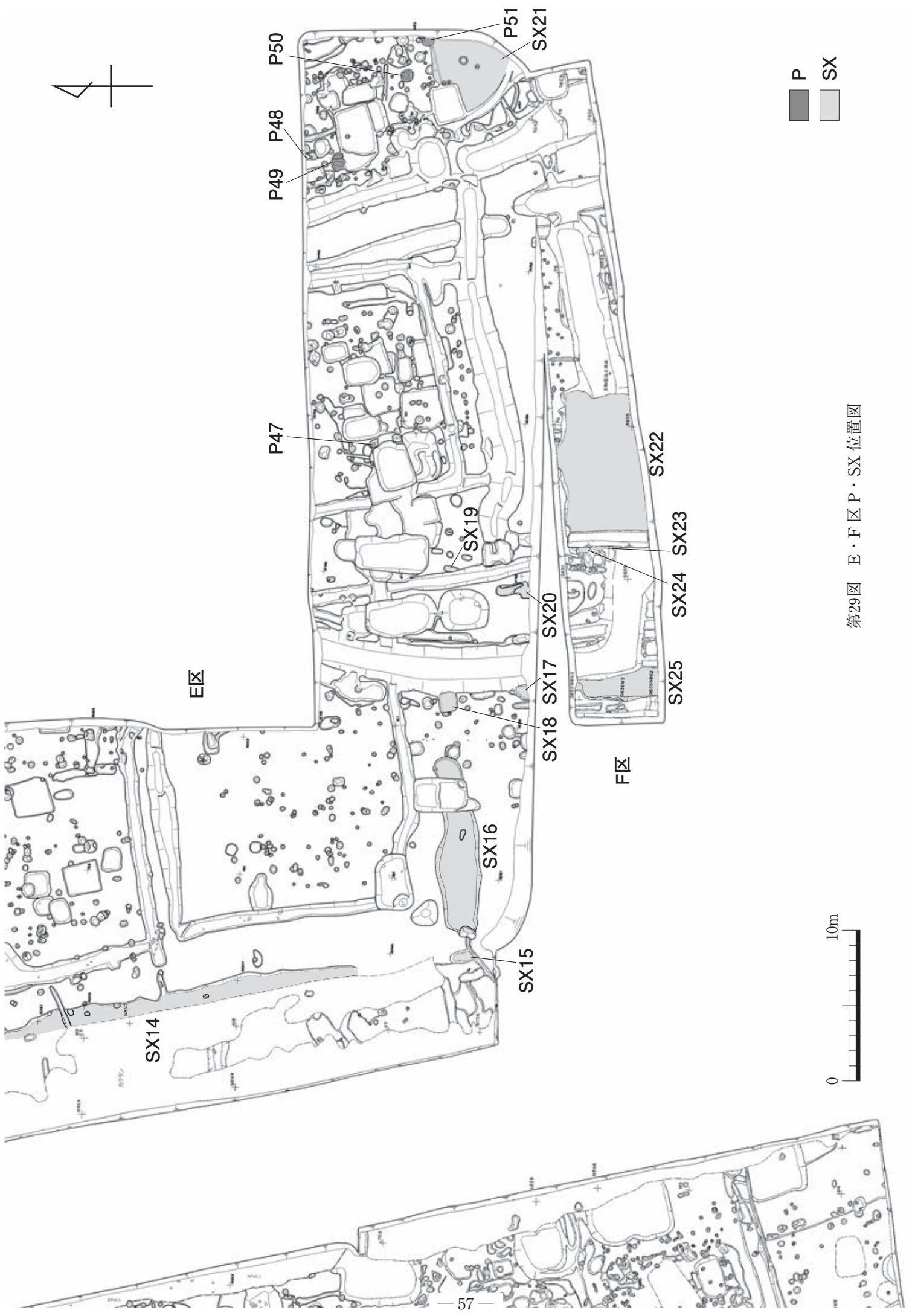
E区



第27図 C・E区P・SX位置図



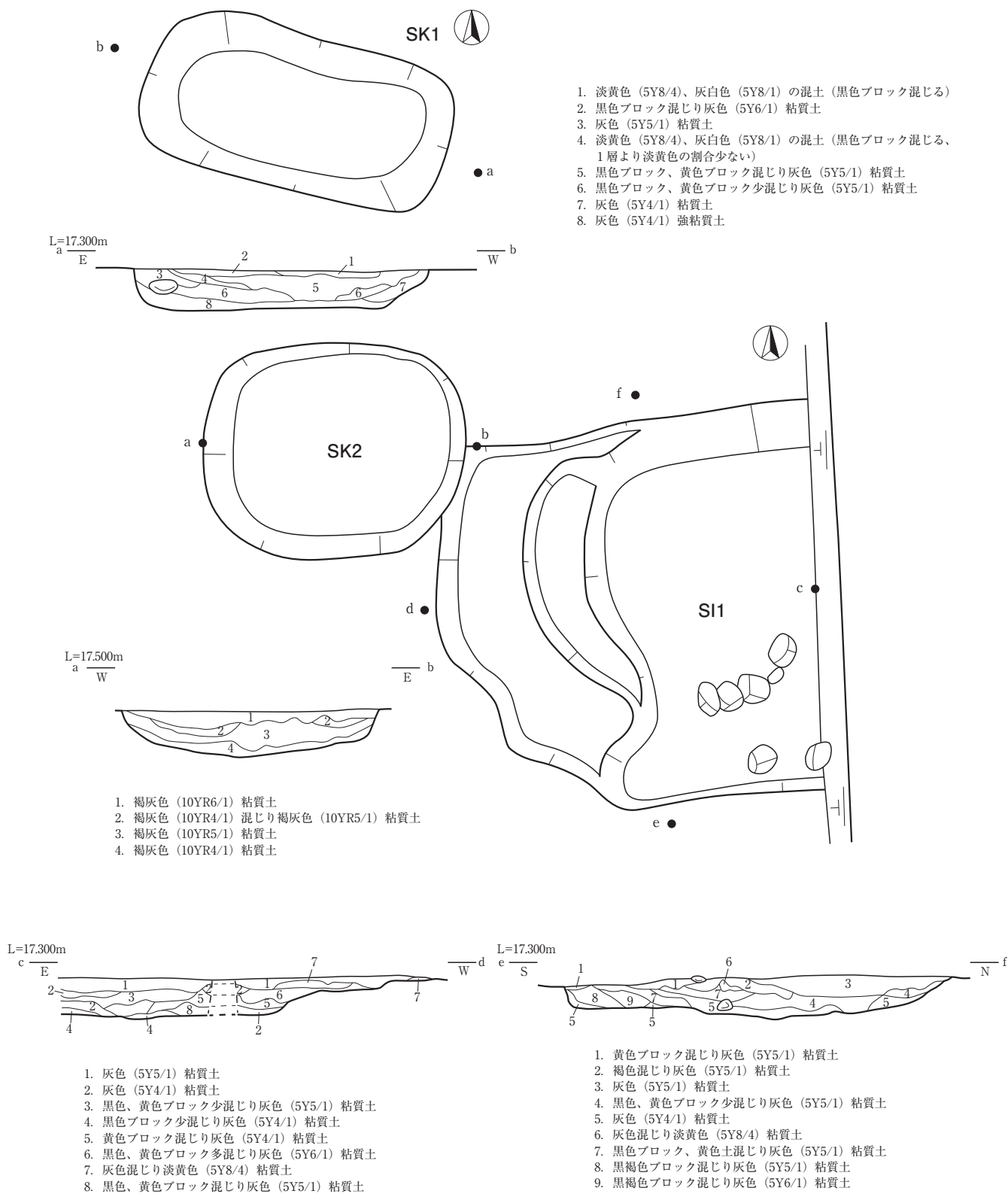
第28图 D·E区P·SX位置图



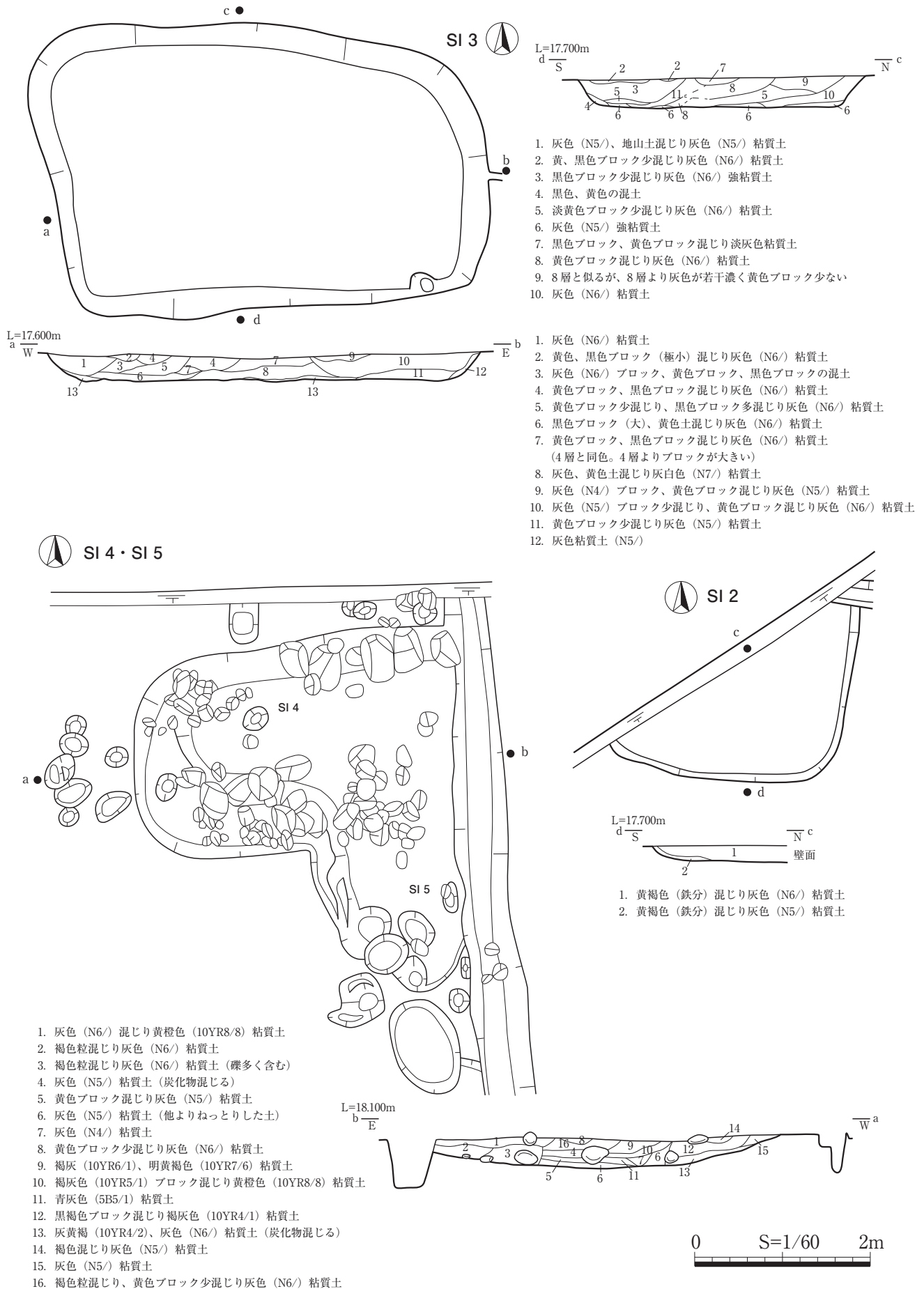
第29图 E·F区P·SX位置图



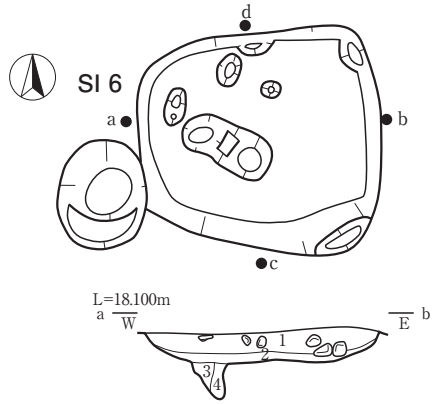
第30図 G・H区P・SX位置図



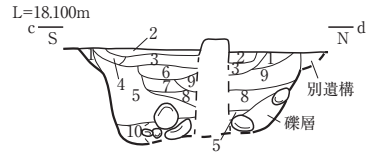
第31図 SI1・SK1・2遺構図・土層断面図 (S=1/40)



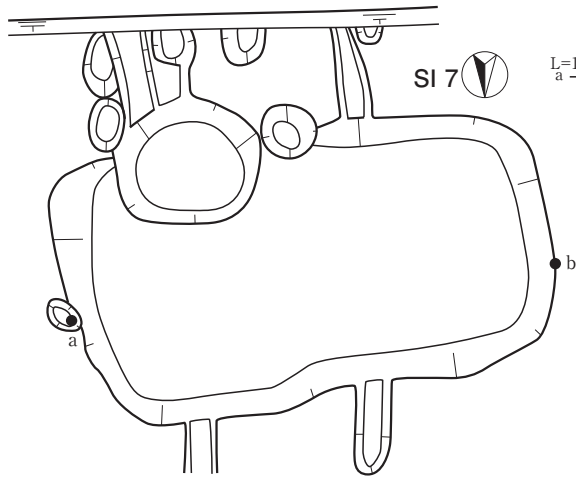
第32図 SI 2～SI 5 遺構図・土層断面図 (S=1/60)



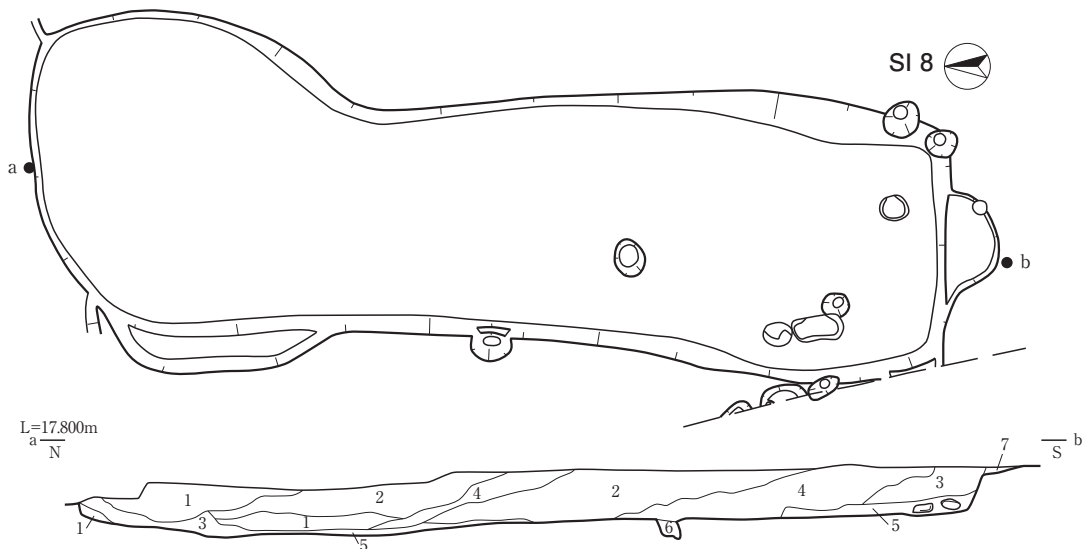
1. 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質土
2. 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土
3. 黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
4. 黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土



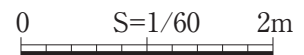
1. 灰白色 (10YR6/1) ブロック混じり黄橙色 (10YR8/8) 粘質土
2. 黄橙色 (10YR8/8) ブロック混じり灰色 (N6/) 粘質土
3. 橙色焼土混じり褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
4. 灰色 (N6/) 粘質土と黄橙色 (10YR8/8) の混土
5. 黒褐色 (2.5Y3/1) ブロック、黄灰色 (2.5Y5/1) ブロック混じり黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
6. 黄灰色 (2.5Y5/1) ブロック混じり黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
7. 黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
8. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
9. 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
10. 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (炭化物混じる)



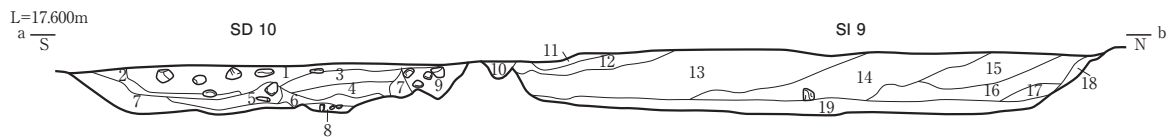
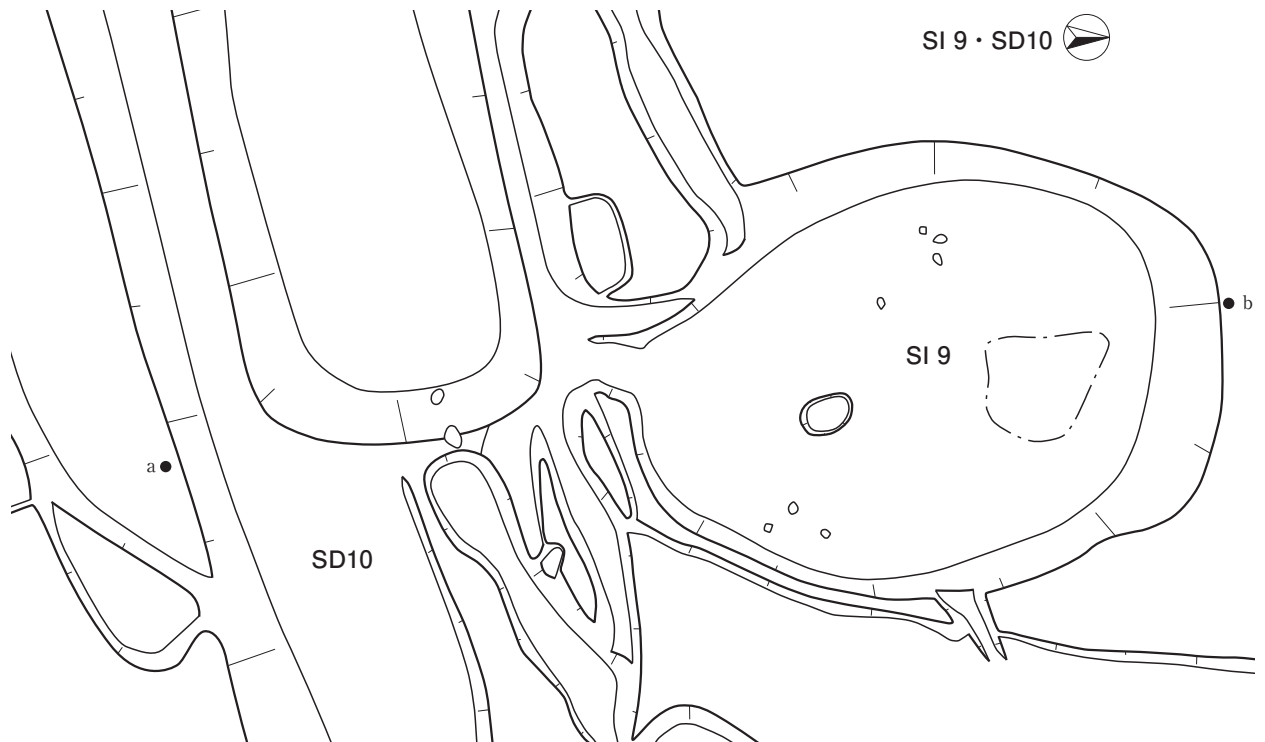
1. 灰色 (N5/1) 粘質土 (炭化物混じる)
2. 黒褐色 (2.5Y3/1) 強粘質土
3. 青灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
4. 灰黄褐色 (10YR4/2) ブロック混じり、黄色ブロックごく少混じり褐灰色 (10YR6/1) 粘質土
5. 灰黄褐色 (10YR4/2) ブロック・黄色ブロック少混じり褐灰色 (10YR6/1) 粘質土
6. 黄灰色 (2.5Y4/1) 強粘質土
7. 黒褐色 (2.5Y3/1) 混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土
8. 黒褐色 (2.5Y3/1) ブロック混じり褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
9. 黒褐色 (2.5Y3/1) ブロック (細) 混じり褐灰色 (10YR6/1) 粘質土
10. 灰黄褐色ブロック混じり褐灰色 (10YR6/1) 粘質土 (他より少し薄い)
11. 黒褐色多混じり褐灰色 (10YR6/1) 粘質土 (8層より少し濃い)



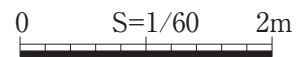
1. 黒灰褐ブロック土混じり褐灰粘質土
2. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり褐灰粘質土 (鉄分多く含む)
3. 褐灰粘質土
4. 2層に似る。2層よりも黄褐ブロック多く混じる (炭粒少し含む)
5. 赤橙ブロック土混じり褐灰粘質土
6. 浅黄ブロック土混じり淡灰褐粘質土
7. 橙褐・黒灰褐ブロック土混じり褐灰粘質土



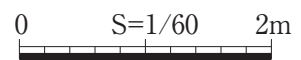
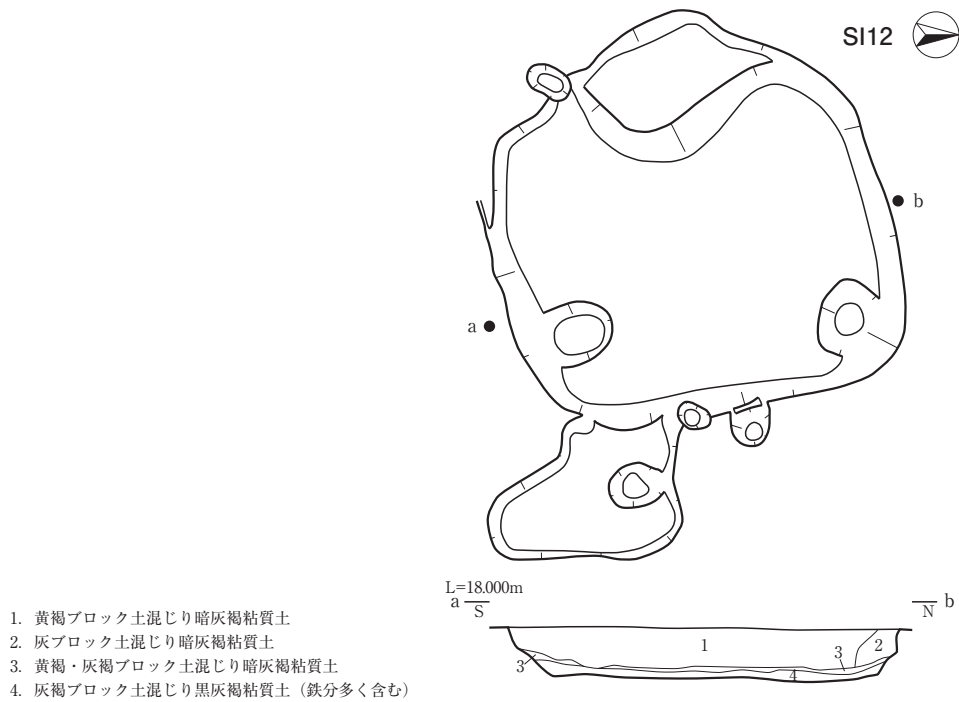
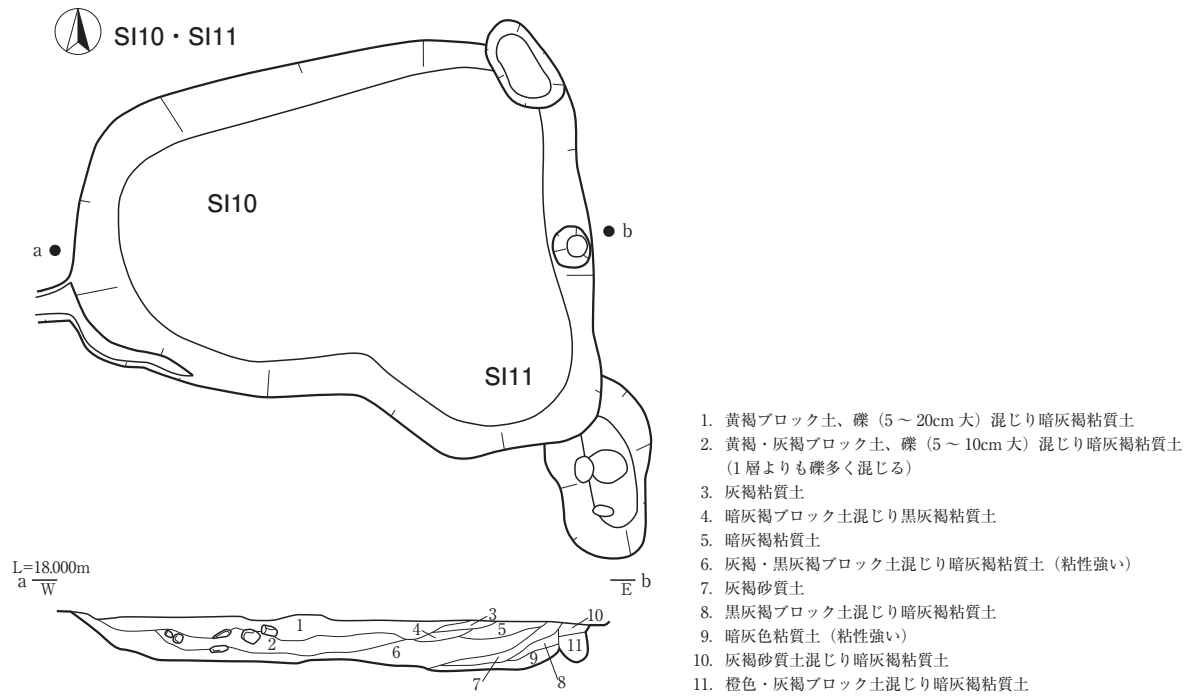
第33図 SI 6 ~ SI 8 遺構図・土層断面図 (S = 1 / 60)



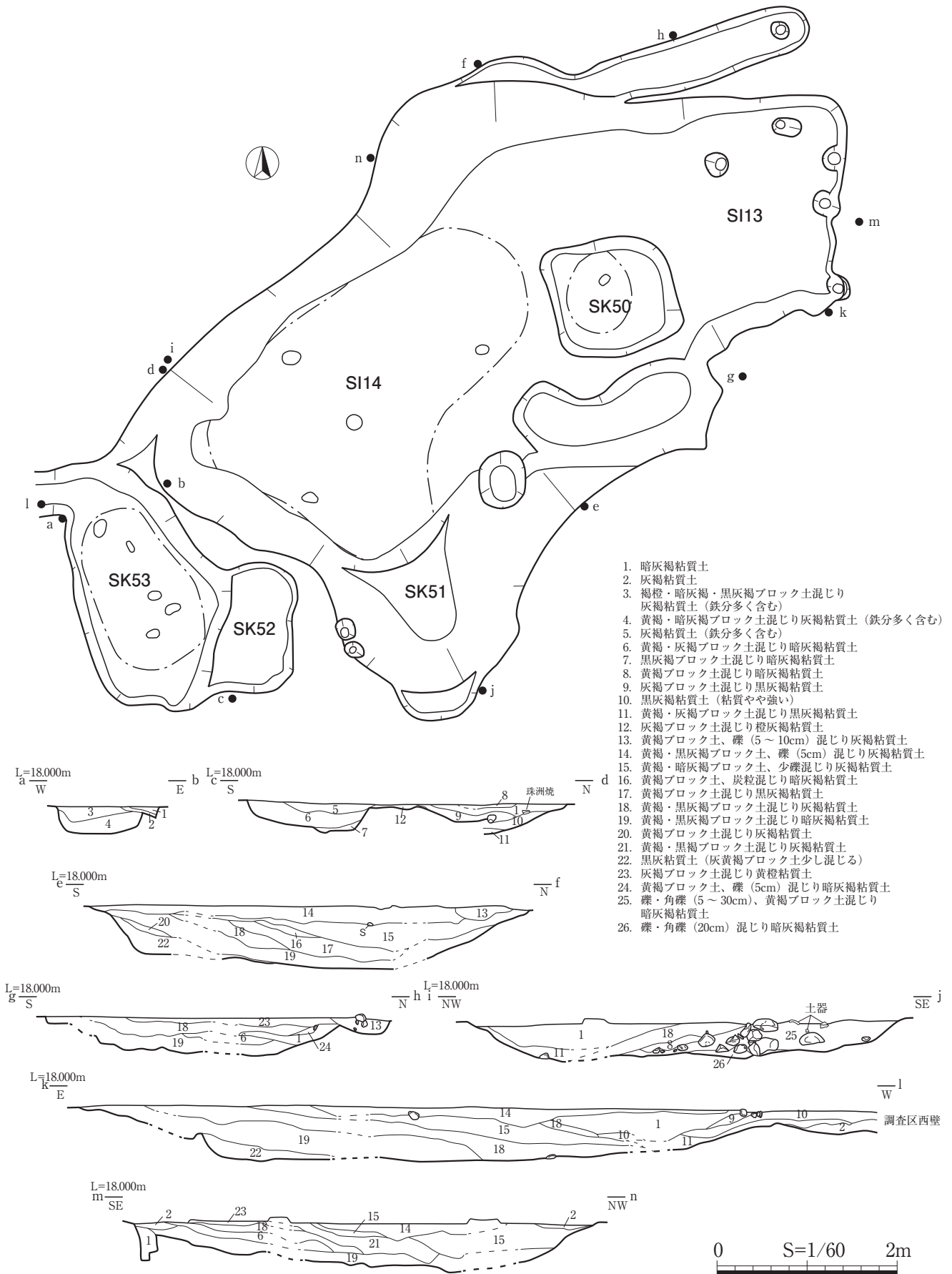
1. 礫 (10cm 大) 混じり暗灰褐粘質土
2. 黄褐・灰白ブロック土混じり暗灰褐粘質土
3. 黄褐ブロック土混じり黒灰褐粘質土
4. 黄褐ブロック土、礫 (1～5cm 大) 混じり黒灰褐粘質土
(3層よりも黄褐ブロック土少ない)
5. 礫 (1～10cm 大) 混じり暗灰褐砂質土
6. 礫 (3～5cm 大) 混じり暗灰褐粘質土
7. 少礫混じり暗灰褐粘質土
8. 礫 (10cm 大) 混じり灰褐砂質土
9. 黄褐ブロック土、礫 (10cm 大) 混じり暗灰褐粘質土
10. 淡灰褐ブロック土、礫 (3～5cm 大) 混じり暗灰褐粘質土
11. 少礫混じり灰褐シルト
12. 橙褐・黒灰褐ブロック土、少礫混じり灰褐粘質土
13. 黄褐・黒灰褐ブロック土、少礫混じり暗灰褐粘質土
14. 黄灰褐・黒灰褐ブロック土、礫 (5～10cm 大) 混じり暗灰褐粘質土
15. 黄橙・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
16. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
17. 暗灰褐粘質土
18. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土
19. 暗灰褐ブロック土混じり黄灰褐粘質土



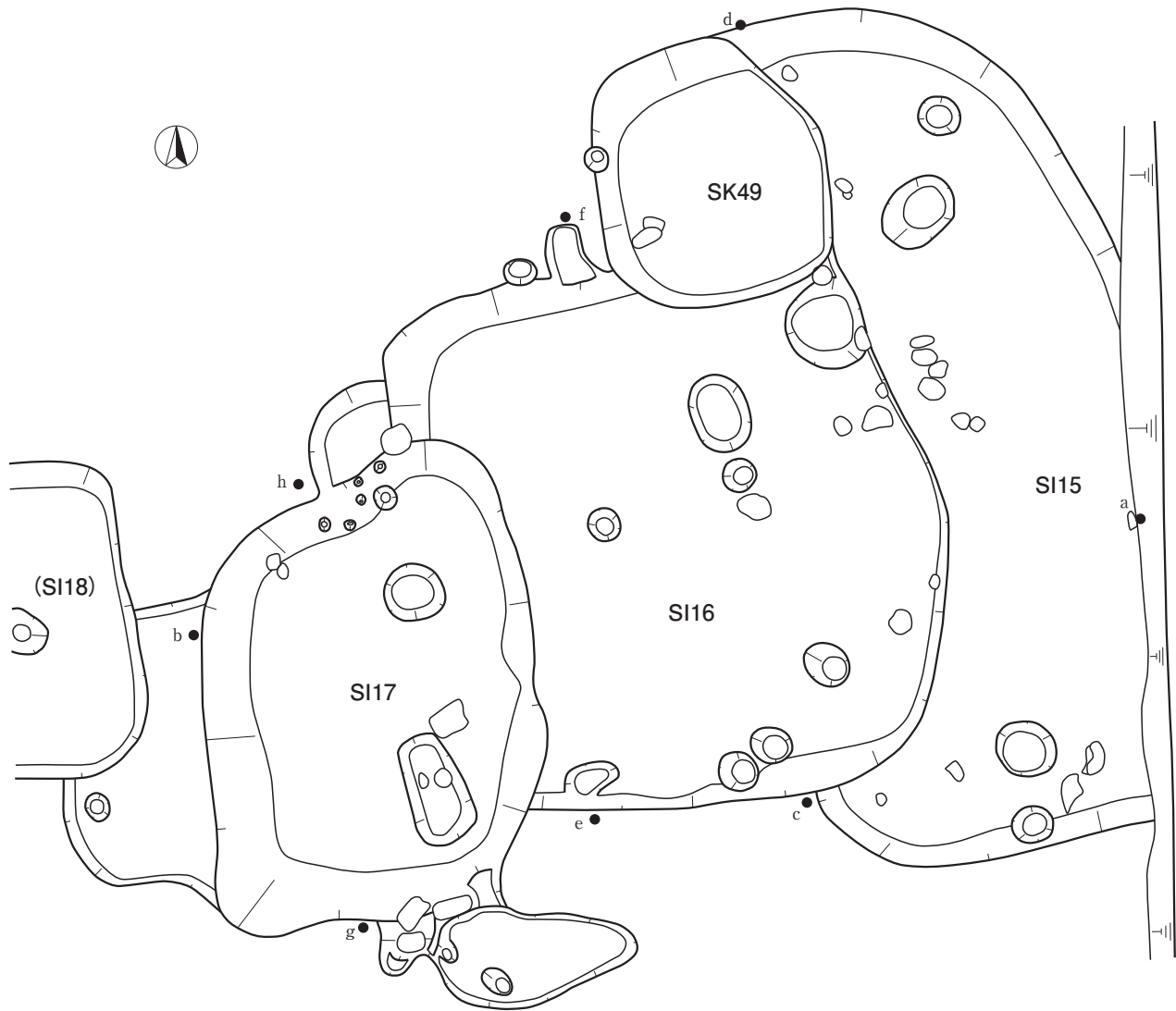
第34図 SI 9・SD10遺構図・土層断面図 (S=1/60)



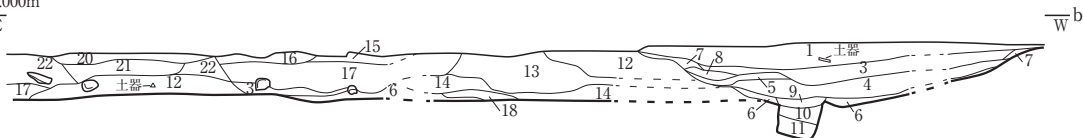
第35図 SI10～SI12遺構図・土層断面図（S=1/60）



第36図 SI13・SI14・SK50～SK53図・土層断面図（S = 1 / 60）



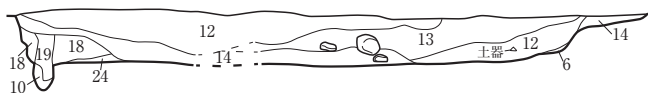
L=18.000m
a E



L=18.000m
c S



L=18.000m
e S

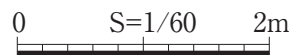


N f g L=18.000m

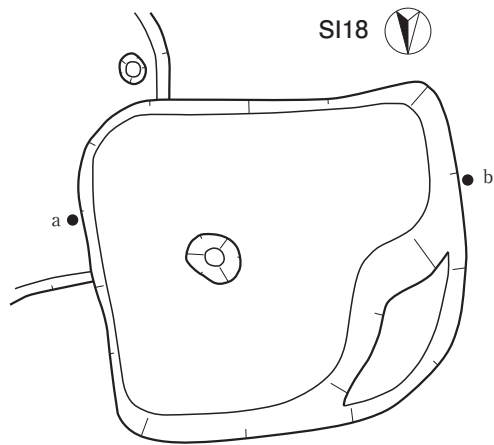


N h

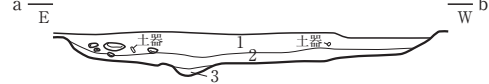
- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 黄橙・暗褐ブロック土混じり灰褐粘質土 2. 暗褐ブロック土混じり灰褐粘質土 3. 黄褐・暗灰褐ブロック土、礫(5～10cm大)混じり灰褐粘質土 4. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 5. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 6. 黒灰粘質土 7. 橙灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 8. 黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 9. 黒色・暗赤灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土(粘性強い) 10. 黒灰ブロック土混じり淡灰褐砂質土 11. 淡灰褐砂h質土混じり黒灰粘質土 12. 黄橙・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土(浅黄・淡灰褐砂質土一部含む) | <ol style="list-style-type: none"> 13. 黄褐・黒灰褐・灰白ブロック土混じり暗灰褐粘質土(ブロック土は粒状) 14. 黄褐・黒灰褐・黒灰ブロック土混じり暗灰褐粘質土 15. 黄橙・暗褐・灰白ブロック土混じり暗灰褐粘質土 16. 浅黄・灰色ブロック土混じり灰褐粘質土 17. 浅黄・黄橙・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 18. 暗灰褐・黒灰褐・淡灰褐ブロック土混じり黄橙粘質土 19. 黄褐・黒灰褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 20. 灰褐粘質土 21. 浅黄・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 22. 橙灰褐ブロック土、礫(5～20cm大)混じり暗灰褐粘質土 23. 橙灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土(22層に似る) 24. 橙灰褐砂質土 |
|--|--|



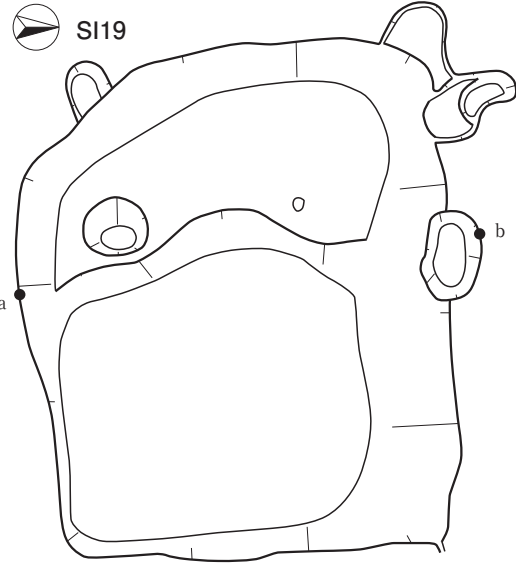
第37図 SI15～SI17・SK49遺構図・土層断面図 (S=1/60)



L=18.000m



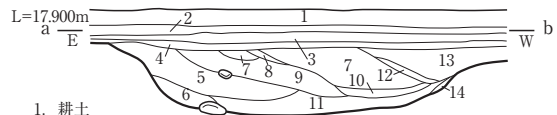
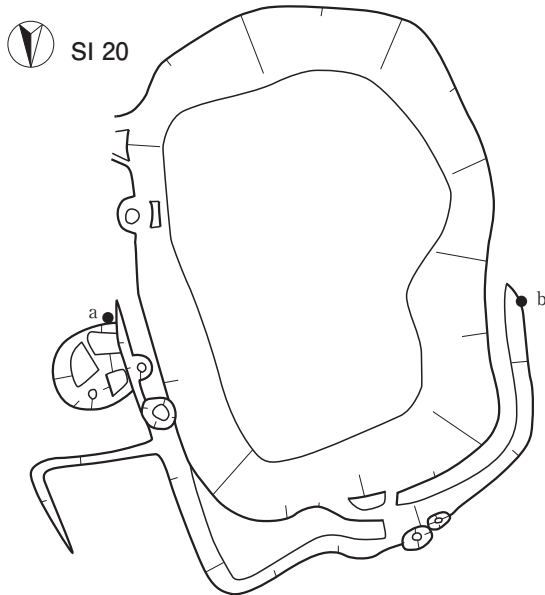
1. 浅黄ブロック土、礫（5～20cm大）混じり暗灰褐粘質土
2. 黄褐ブロック土、少礫（3cm大）混じり灰褐粘質土（鉄分多く含む）
3. 浅黄砂質土混じり暗灰褐粘質土（鉄分多く含む）



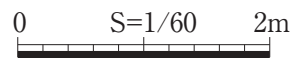
L=18.000m



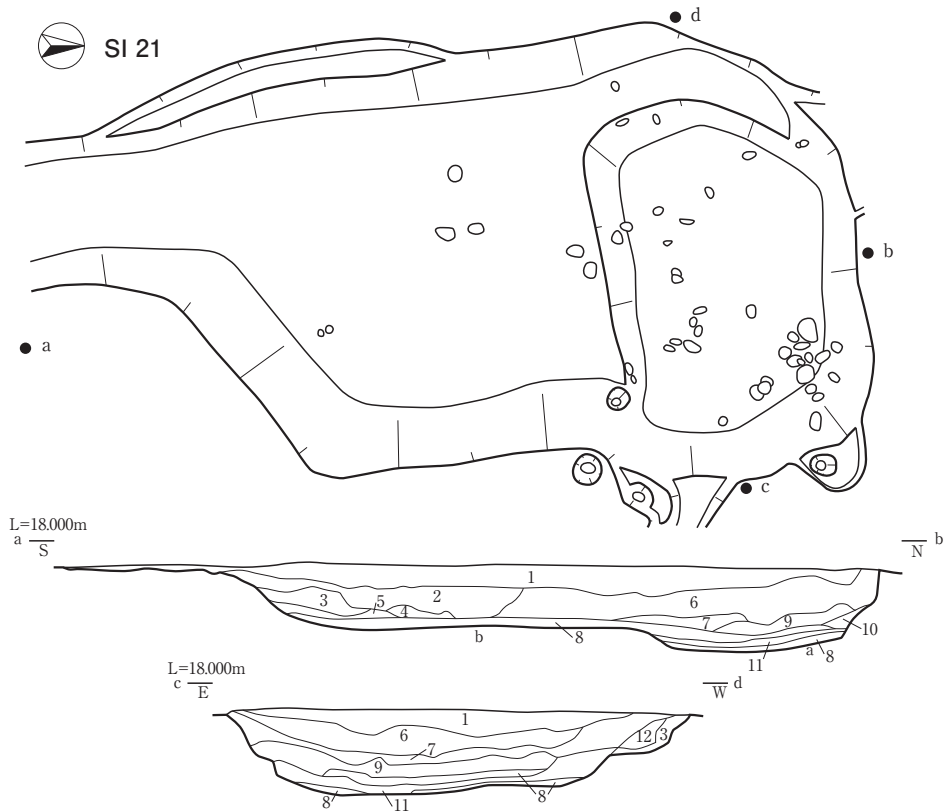
1. 橙黄ブロック土混じり暗灰褐粘質土（小礫少し混じる）
2. 暗灰褐・黒灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土（鉄分多く含む）
3. 黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土（鉄分多く含む）
4. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土（鉄分多く含む）
5. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土
6. 暗灰褐粘質土
7. 黄橙・浅黄ブロック土混じり暗灰褐粘質土



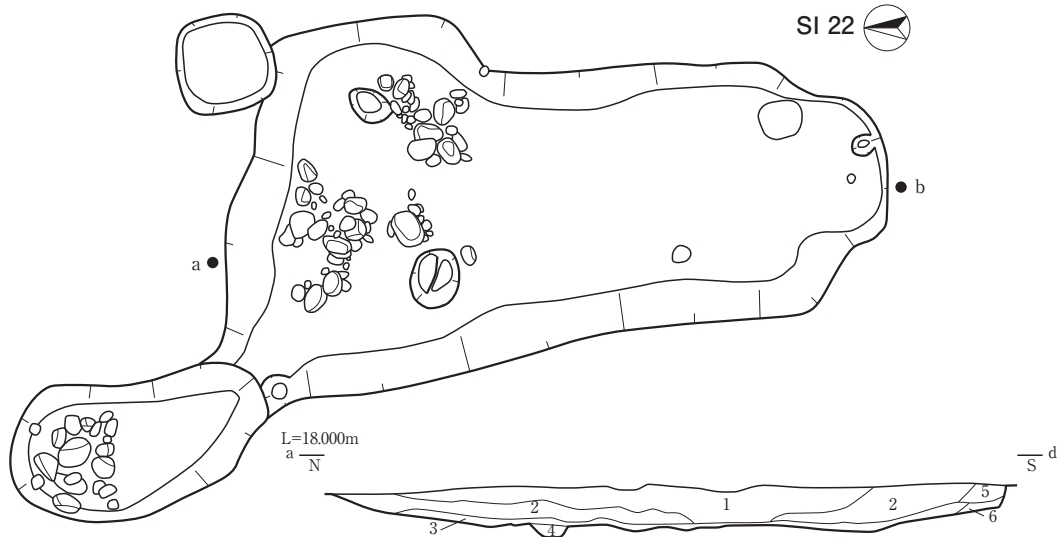
1. 耕土
2. 旧耕土
3. 床土
4. 黄色（2.5Y7/8）、灰色（5Y6/1）の混土
5. 黄色（2.5Y8/6）ブロック、黒褐色（2.5Y8/1）ブロック混じり
灰色（5Y5/1）粘質土
6. 灰色（5Y4/1）粘質土
7. 黒褐色（2.5Y8/1）ブロック、明青灰色（5B7/1）ブロック混じり
黄色（2.5Y7/8）、灰白色（5Y7/1）の混土
8. 灰色（N6/）粘質土
9. 淡黄色（2.5Y8/4）ブロック、黒褐色（2.5Y3/1）ブロック、
灰色（5Y6/1）の混土
10. 灰色（5Y5/1）粘質土
11. 灰色（5Y6/1）強粘質土
12. 灰色（5Y6/1）粘質土
13. 灰色（5Y4/1）粘質土（6層よりさらさらしている）
14. 黒褐色（2.5Y3/1）粘質土



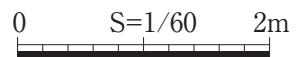
第38図 SI18～SI20遺構図・土層断面図（S=1/60）



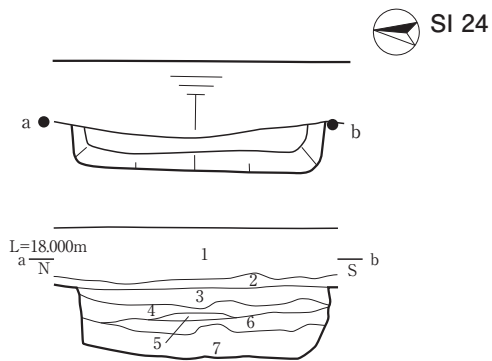
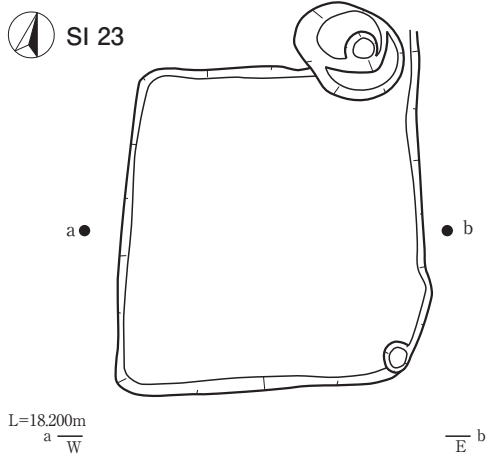
- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | 9. 礫 (10～20cm 大) 混じり暗灰褐粘質土 |
| 2. 灰褐・暗灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土 | 10. 礫 (10cm 大)、橙褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 3. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 11. 黒灰褐粘質土 (粘質強い、一部礫含む) |
| 4. 礫 (10cm 大)、黄灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 12. 浅黄・黄褐ブロック土、礫 (20cm 大) 混じり暗灰褐粘質土 |
| 5. 黄灰褐・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | |
| 6. 黄褐・灰褐ブロック土、礫 (10cm 大) 混じり暗灰褐粘質土 | |
| 7. 黄褐・黒色ブロック土、礫 (1cm 大) 混じり暗灰褐粘質土 | |
| 8. 暗灰褐粘質土 (粘質強い) | |



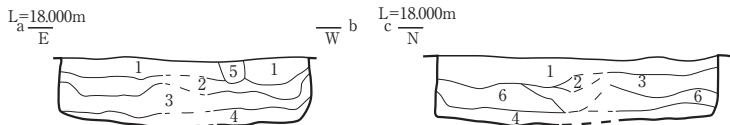
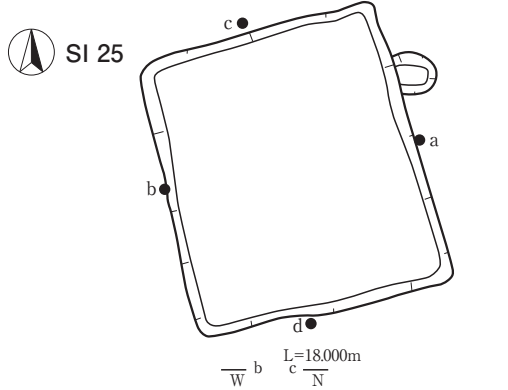
- | |
|--------------------------------------|
| 1. 礫 (5～10cm 大)、黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 2. 礫 (10～20cm 大)、灰褐・褐橙ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 3. 黄灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 4. 浅黄ブロック土混じり黒褐粘質土 |
| 5. 浅黄ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 6. 暗灰褐粘質土 |



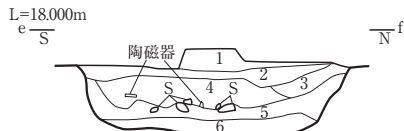
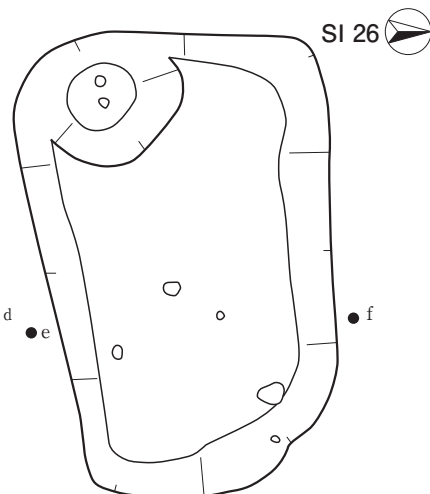
第39図 SI21・SI22遺構図・土層断面図 (S=1/60)



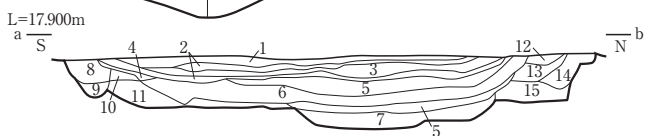
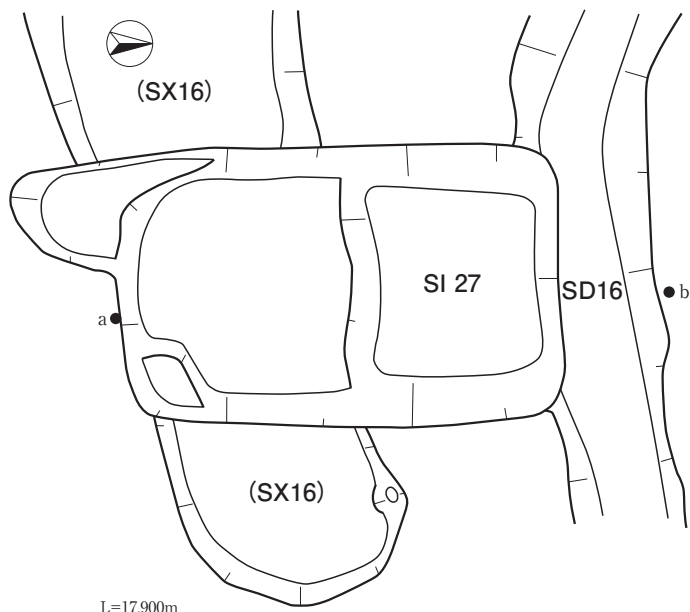
1. 灰色粘質土 (耕土)
2. 橙褐ブロック土混じり灰色粘質土 (床土?)
3. 灰褐・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
4. 3層に似る。3層よりも黒灰褐ブロック土多い (鉄分多く含む)
5. 黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
6. 暗灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
7. 暗灰色粘質土 (粘質強い、鉄分多く含む)



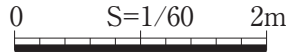
1. 黄褐・灰色・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (砂質土少し混じる)
2. 黄褐・灰色・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (粘質1層より強い)
3. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (1.2層よりブロック土大きい)
4. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
5. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
6. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (3層よりもブロック土小さい)



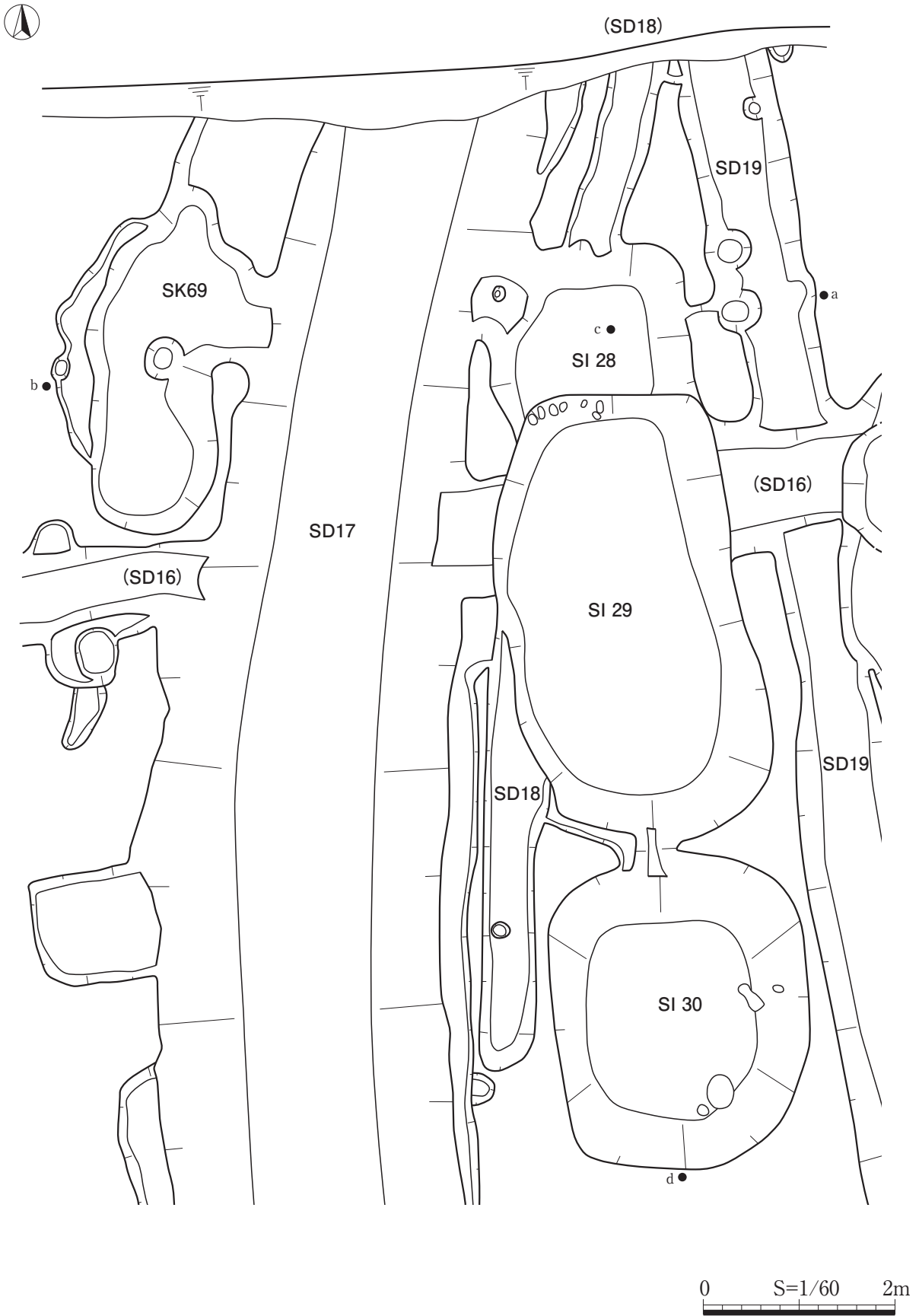
1. 橙褐ブロック土 (鉄分) 混じり暗灰褐粘質土
2. 黄灰褐・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
3. 黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
4. 黄橙・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
5. 礫 (5~10cm大) 混じり褐灰粘土 (鉄分多く含む)
6. 灰色粘土



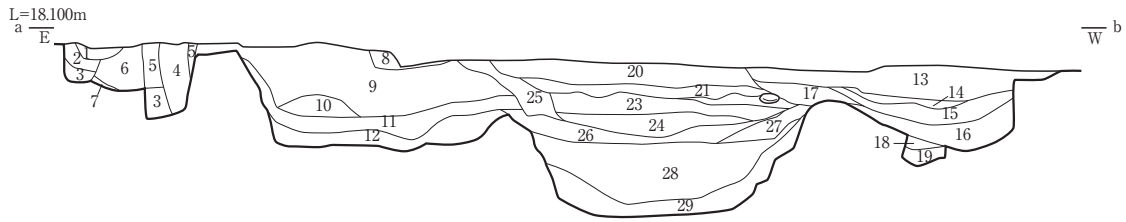
1. 暗青灰ブロック土混じり灰色粘質土
2. 木片混じり灰色粘質土
3. 木片、黒色ブロック土 (木片腐敗土) 混じり灰色粘質土
4. 暗灰色粘土
5. 灰色粘質土
6. 暗灰色粘質土
7. 礫 (5~10cm大) 混じり暗灰色粘土
8. 浅黄ブロック土混じり淡灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
9. 浅黄・青灰ブロック土混じり灰褐粘質土
10. 灰褐粘質土
11. 青灰シルト混じり淡灰褐粘質土
12. 浅黄ブロック土混じり淡灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
13. 淡灰褐ブロック土混じり浅黄粘質土 (鉄分多く含む)
14. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
15. 浅黄ブロック土混じり灰褐粘土



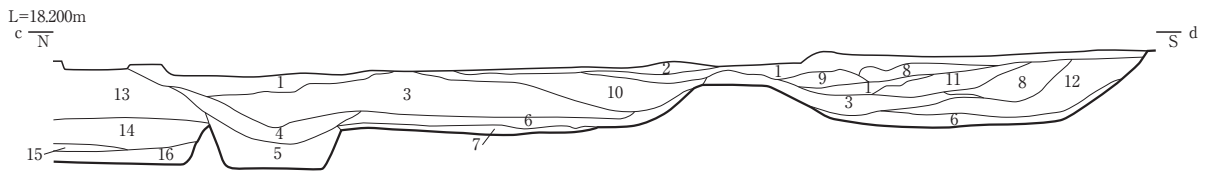
第40図 SI23~SI27遺構図・土層断面図 (S=1/60)



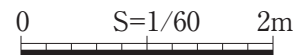
第41図 SI28~SI30・SK69・SD17・SD19遺構図 (S= 1 / 60)



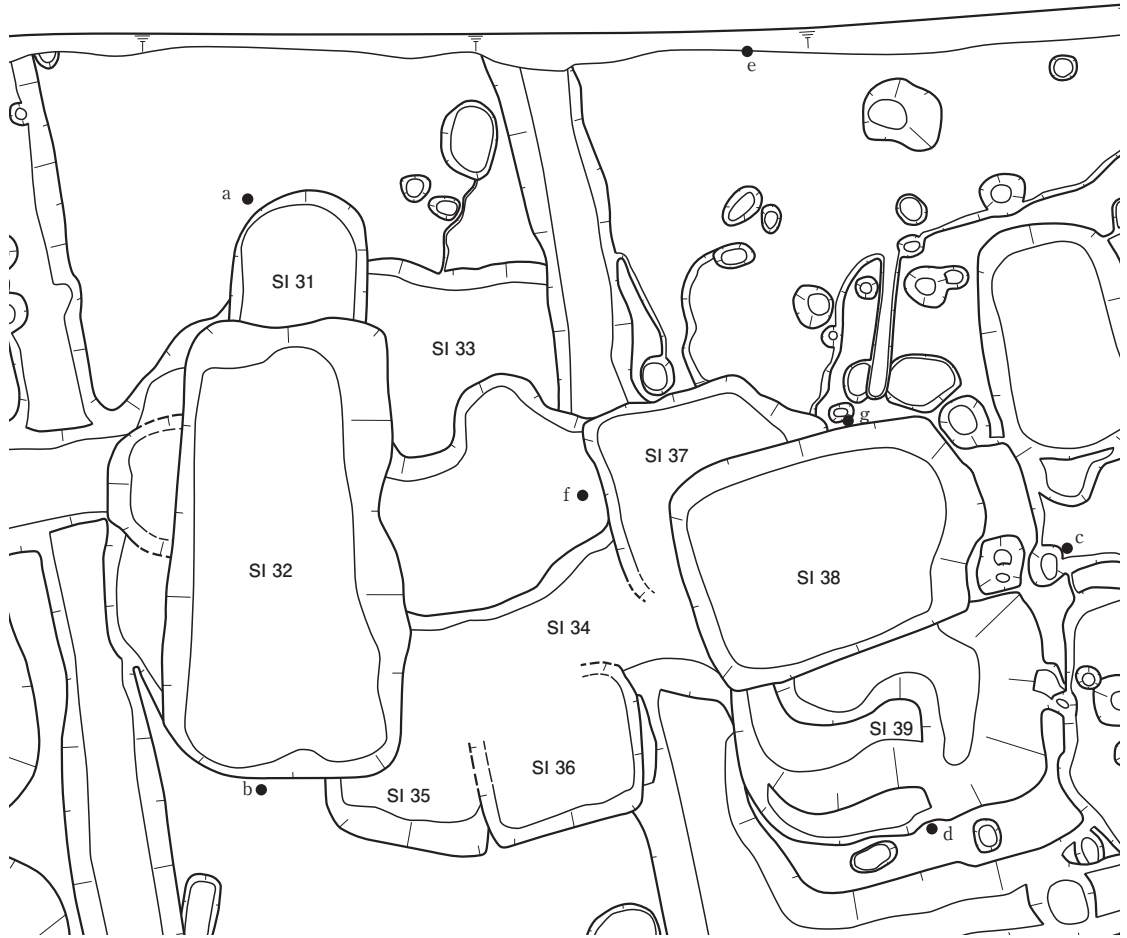
- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 2. 灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 3. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 4. 黄褐・橙褐・灰色ブロック土混じり黒灰褐粘質土 5. 灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土 6. 黄橙ブロック土混じり黒灰褐粘質土 7. 黄褐・橙褐ブロック土混じり灰褐粘質土 8. 灰色粘質土 9. 橙褐・灰・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 (鉄分多く含む) 10. 灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土 11. 黒灰褐粘質土 (粘質強い) 12. 黄灰褐ブロック土混じり黒灰褐粘質土 (粘質強い) 13. 橙褐ブロック土 (鉄分) 混じり褐粘質土 14. 13層に似る。13層よりも橙褐ブロック土少ない 15. 木片混じり暗灰粘質土 | <ol style="list-style-type: none"> 16. 木片・青灰粘土混じり暗灰粘土 17. 少礫、橙褐ブロック土 (鉄分) 混じり灰褐粘質土 18. 青灰砂質土混じり黒灰粘質土 19. 浅黄ブロック土混じり黒灰粘質土 20. 少礫混じり灰褐粘質土 21. 礫 (5cm 大)、黒灰褐、黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む) 22. 灰褐粘質土 (鉄分多く含む) 23. 礫 (10cm 大)、黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む) 24. 礫 (5~20cm 大)、浅黄ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む) 25. 少礫、淡灰褐ブロック土混じり浅黄粘質土 (鉄分多く含む) 26. 少礫混じり暗灰色粘土 (鉄分多く含む) 27. 浅黄・黒色ブロック土混じり暗灰粘質土 (鉄分多く含む) 28. 暗灰色粘土 29. 灰白砂質土、暗灰ブロック土混じり黒灰粘質土 |
|---|--|



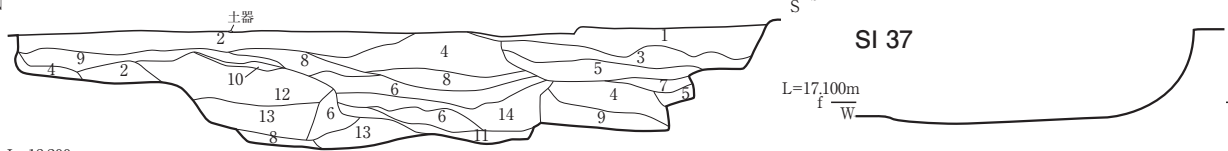
- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 黄褐・灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土 2. 黄橙、灰、暗灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土 3. 黄褐、灰、黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 4. 灰ブロック土混じり橙褐粘質土 5. 暗灰色粘土 (粘質強い) 6. 暗灰粘土、炭粒混じり暗灰褐粘質土 7. 灰白、暗灰ブロック土混じり淡灰褐粘質土 (鉄分多く含む。張り床。) 8. 橙灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | <ol style="list-style-type: none"> 9. 灰色ブロック土混じり黒灰褐粘質土 10. 褐粘質土 11. 炭粒混じり暗灰褐粘質土 12. 黄褐、灰、灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 13. 橙褐・灰・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 (鉄分多く含む) 14. 灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土 15. 黒灰褐粘質土 (粘質強い) 16. 黄灰褐ブロック土混じり黒灰褐粘質土 (粘質強い) |
|--|---|



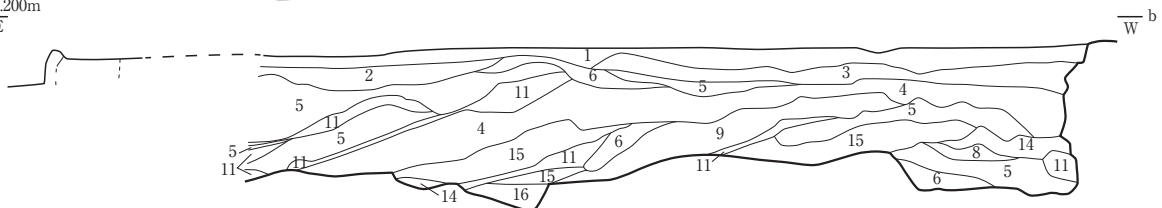
第42図 SI28~SI30・SK69・SD17・SD19土層断面図 (S = 1 / 60)



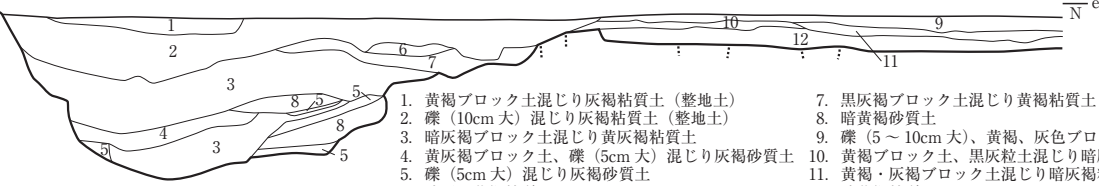
L=18,200m
a N



L=18,200m
c E



L=18,000m
d S



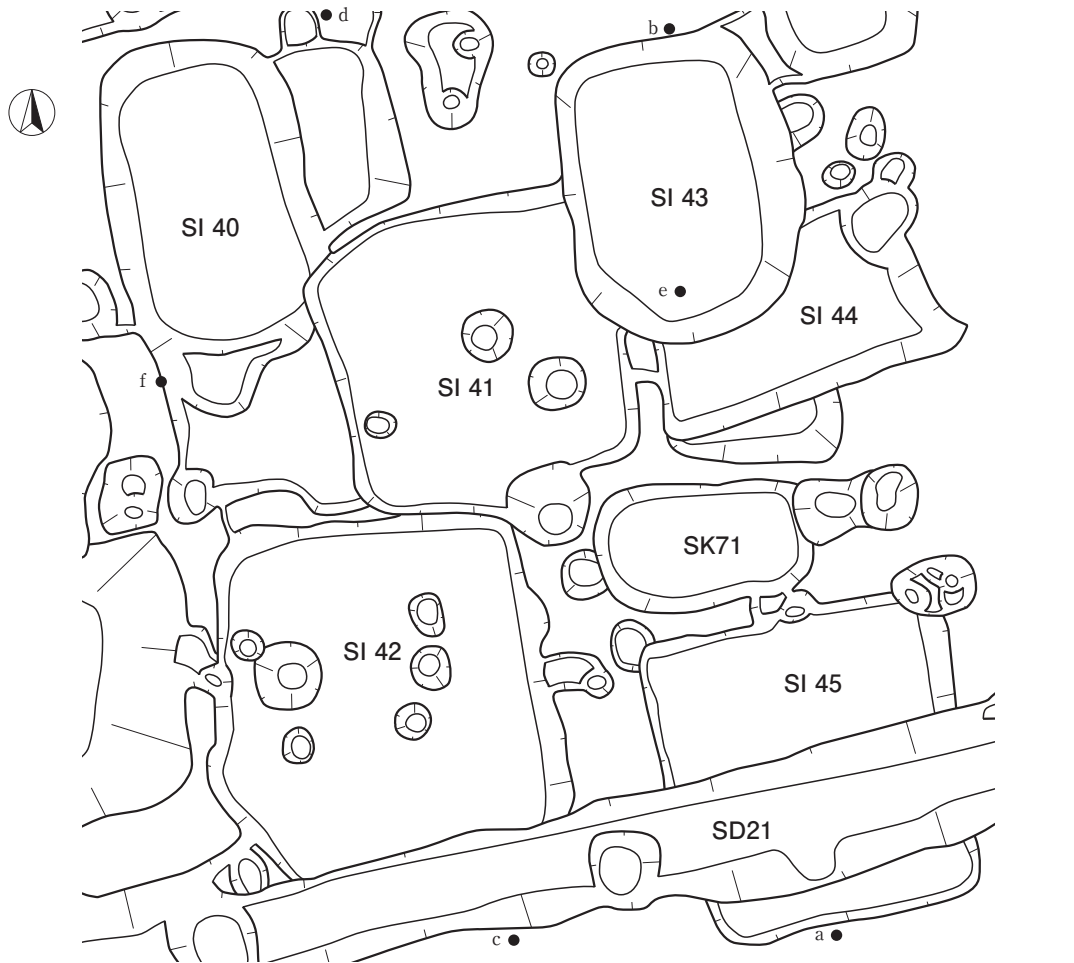
- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 暗灰ブロック土混じり淡灰褐粘質土 (整地土) | 9. 礫 (3~10cm 大) 混じり黄褐粘質土 |
| 2. 少礫 (3~5cm 大)、黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (整地土) | 10. 暗灰褐粘質土 |
| 3. 礫 (10cm 大) 混じり灰褐粘質土 (整地土) | 11. 少礫 (3~5cm 大) 混じり灰褐砂質土 |
| 4. 暗灰褐・灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土 (整地土) | 12. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 5. 暗灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土 | 13. 灰褐砂礫土混じり淡黄褐砂質土 |
| 6. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 14. 黄褐粘質土 |
| 7. 礫 (5cm 大) 混じり暗灰褐粘質土 | 15. 黄褐ブロック土、礫 (5~10cm 大) 混じり灰褐砂質土 |
| 8. 灰褐砂礫土混じり黄褐粘質土 | 16. 黄褐砂質土 |
| 1. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (整地土) | 7. 黒灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土 |
| 2. 礫 (10cm 大) 混じり灰褐粘質土 (整地土) | 8. 暗黄褐砂質土 |
| 3. 暗灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土 | 9. 礫 (5~10cm 大)、黄褐、灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 4. 黄灰褐ブロック土、礫 (5cm 大) 混じり灰褐砂質土 | 10. 黄褐ブロック土、黒灰粒土混じり暗灰褐粘質土 |
| 5. 礫 (5cm 大) 混じり灰褐砂質土 | 11. 黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 6. 暗灰・黄褐粘質土 | 12. 暗黄褐粘質土 |

※SB8 (第55図) のエレベーションも参照

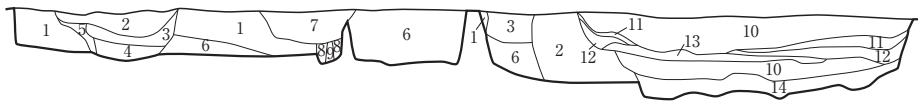
0 S=1/60 2m

0 S=1/80 4m

第43図 SI31~SI39遺構図・土層断面図 (遺構図は S=1/80、土層断面図は S=1/60)



L=18,200m
a S



N b

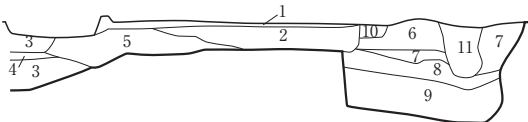
- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | 9. 暗灰褐粘質土 (柱痕) |
| 2. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (少量の礫混じる) | 10. 褐灰粘質土 |
| 3. 暗灰褐粘質土 | 11. 褐灰ブロック土混じり黄褐粘質土 |
| 4. 褐灰粘質土 (粘性強い) | 12. 炭粒混じり褐灰粘質土 |
| 5. 少礫混じり灰褐粘質土 | 13. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 6. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり淡灰褐粘質土 | 14. 黄褐・橙褐ブロック土混じり褐灰粘質土 |
| 7. 黄褐・橙褐ブロック土混じり淡灰褐粘質土 | |
| 8. 灰白砂質土 | |

L=18,100m
c S



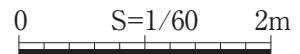
N d

L=18,200m
e E

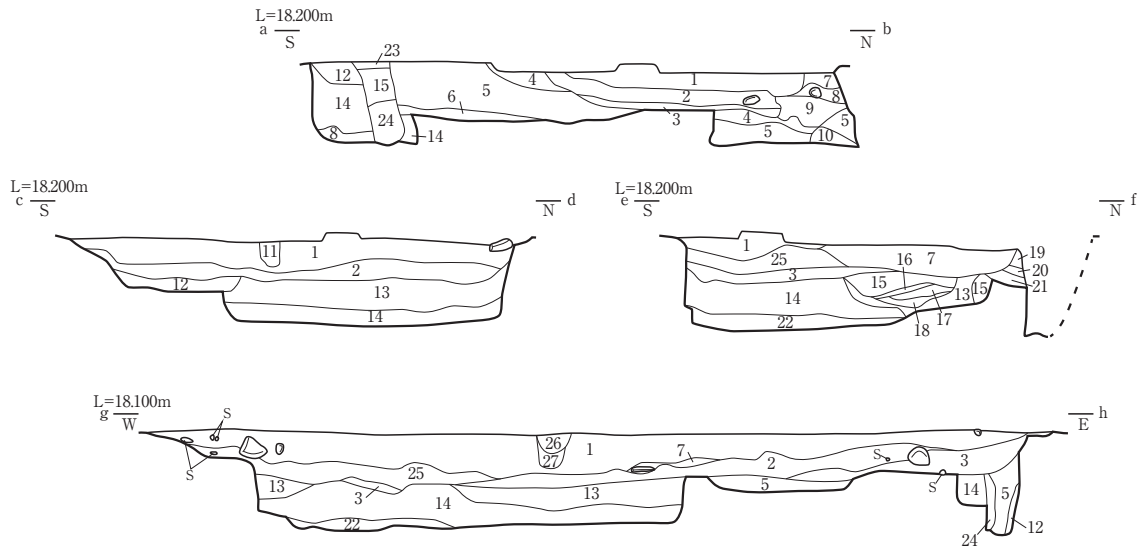
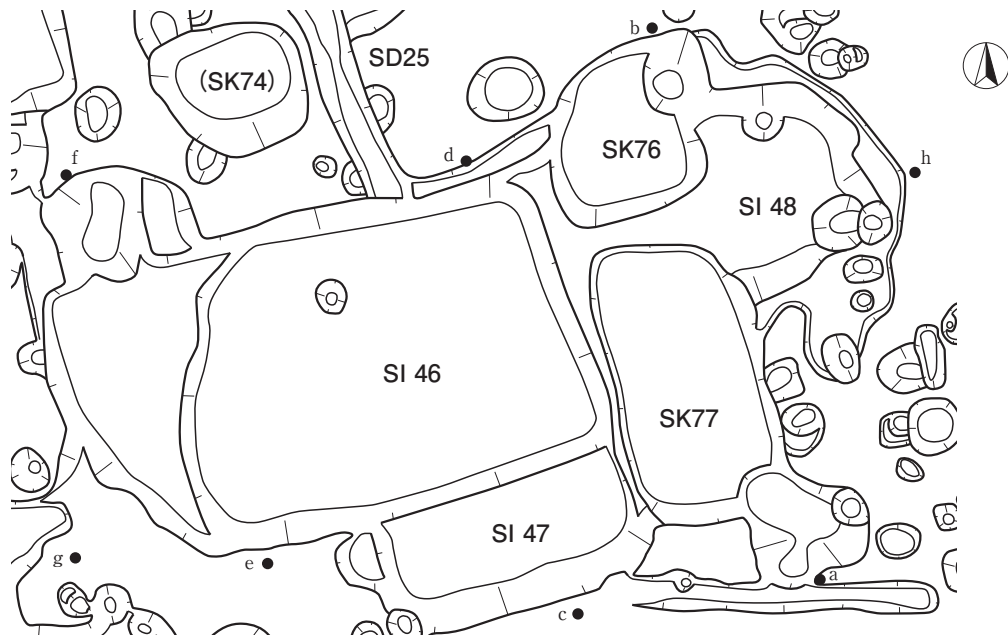


W f

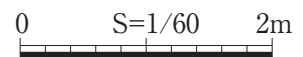
- | |
|-------------------------------|
| 1. 少礫混じり暗灰褐粘質土 |
| 2. 黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 3. 褐灰粘質土 |
| 4. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 5. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (少量の礫混じる。) |
| 6. 橙褐ブロック土混じり明黄褐粘質土 |
| 7. 灰褐ブロック土混じり淡黄褐粘質土 |
| 8. 少礫、橙褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 9. 橙褐ブロック土混じり灰黄褐粘質土 |
| 10. 橙褐ブロック土混じり褐灰粘質土 |
| 11. 少礫、橙褐ブロック土混じり褐灰粘質土 |



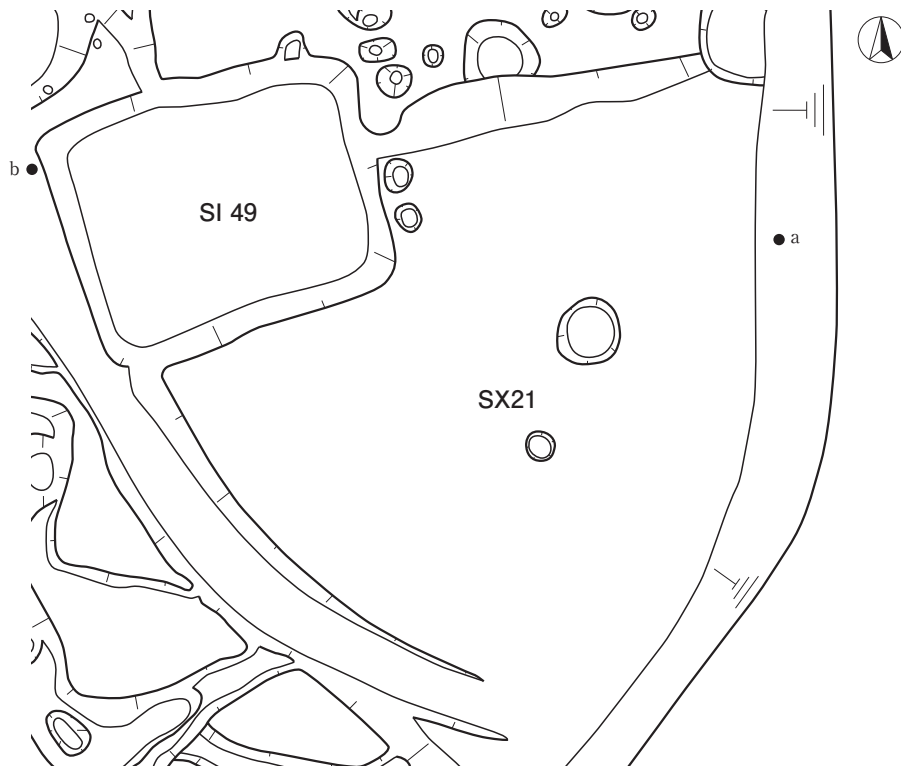
第44図 SI40～SI45・SK71遺構図・土層断面図 (S = 1 / 60)



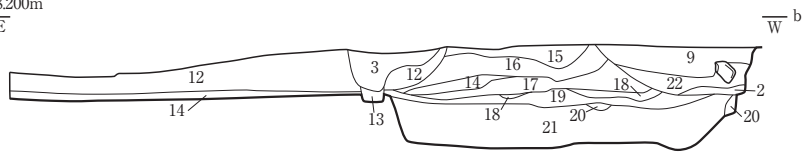
- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 黄褐・灰色ブロック土、炭片混じり暗灰褐粘質土 | 15. 黄褐・黒灰褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 2. 黄褐ブロック土、炭片混じり暗灰褐粘質土 | 16. 灰褐粘土ブロック混じり灰褐粘質土 |
| 3. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | 17. 橙褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 4. 黄褐ブロック土混じり淡灰褐粘質土 | 18. 灰褐粘質土 |
| 5. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり淡灰褐粘質土 | 19. 1層と同じ |
| 6. 黒灰褐・淡灰褐ブロック土混じり橙褐粘質土 | 20. 2層と同じ |
| 7. 橙褐ブロック土、炭混じり暗灰褐粘質土 | 21. 3層と同じ |
| 8. 灰褐ブロック土混じり橙褐粘質土 | 22. 黄灰褐・灰・赤灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 9. 灰褐ブロック土混じり黄灰褐砂質土 | 23. 黄褐・灰・暗褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 10. 黒灰褐・橙褐ブロック土、灰褐砂質土混じり灰褐粘質土 | 24. 黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 11. 灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 25. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 12. 黄褐・淡灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 26. 白灰粘質土 |
| 13. 黒灰褐・橙褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む) | 27. 灰黄粘質土 |
| 14. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | |



第45図 SI46~SI48・SK76・SK77・SD25遺構図・土層断面図 (S=1/60)



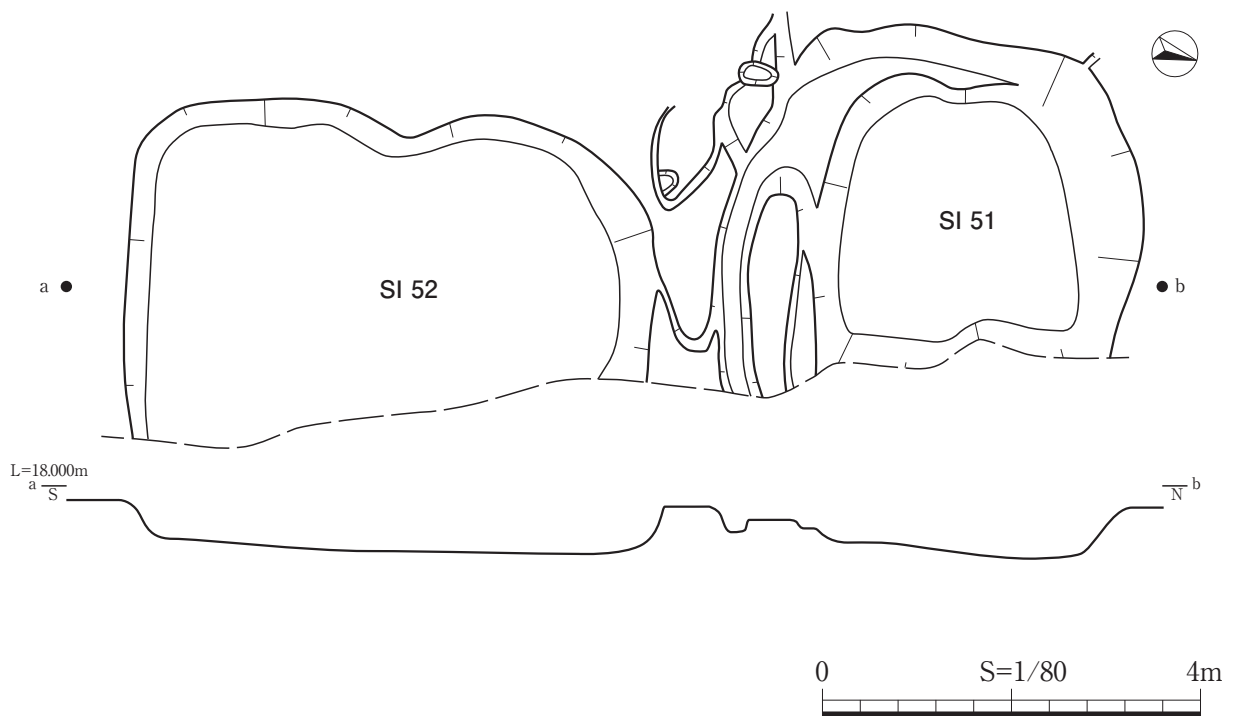
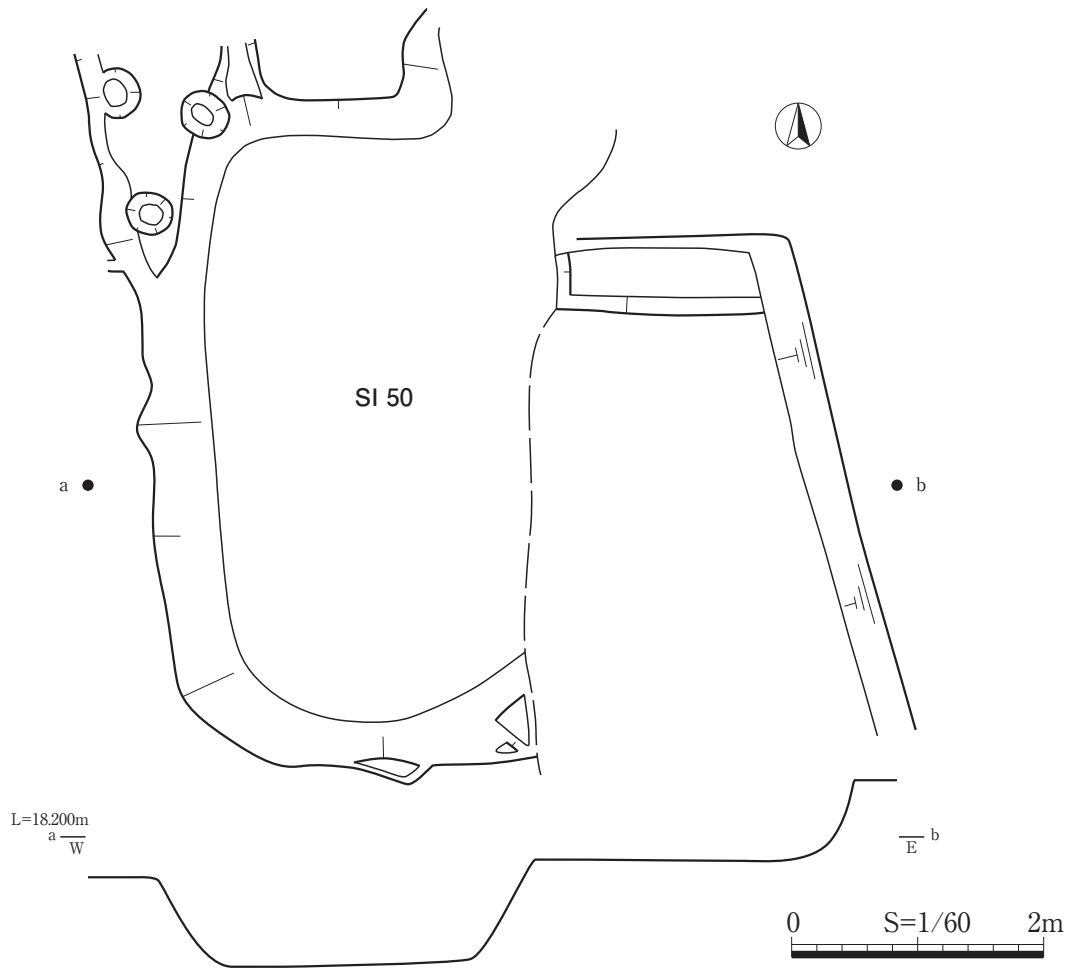
L=18.200m
a E



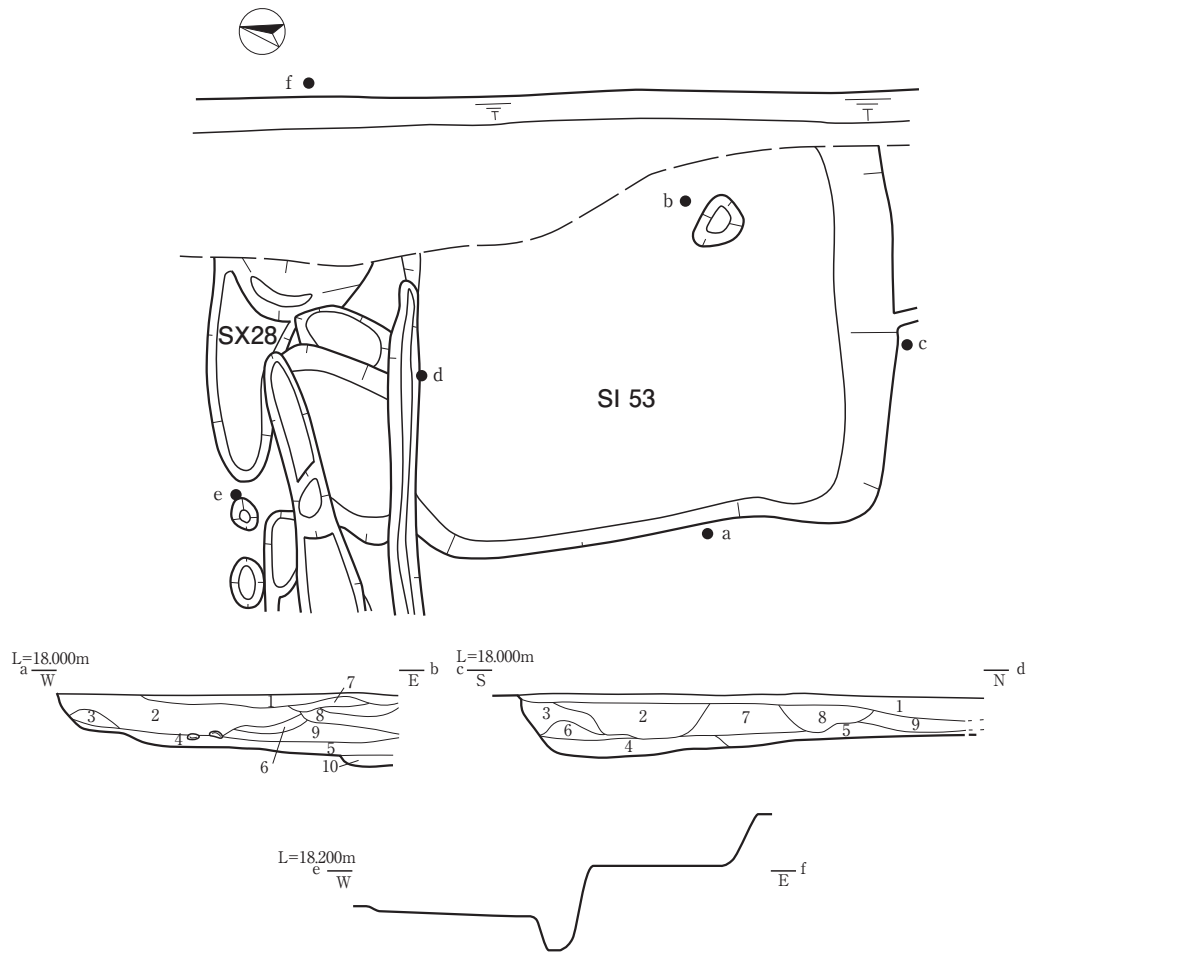
7. 黄褐ブロック土混じり灰褐砂質土
8. 暗灰褐ブロック土、礫（10cm大）混じり灰褐粘質土
9. 炭混じり灰褐粘質土
10. 礫（20～30cm大）混じり灰褐粘質土（5層に似る）
11. 黄褐砂質土混じり暗灰褐粘質土
12. 橙褐・灰褐ブロック土混じり黄灰褐粘質土
13. 黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
14. 暗灰褐粘質土
15. 黄褐ブロック土、細砂混じり灰褐粘質土
16. 暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土
17. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐砂質土
18. 黄褐・青灰ブロック土混じり暗灰褐粘質土
19. 黄褐ブロック土、灰褐砂質土混じり暗灰褐粘質土
20. 灰褐粘土
21. 暗灰褐ブロック土混じり灰褐砂質土
22. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土

0 S=1/60 2m

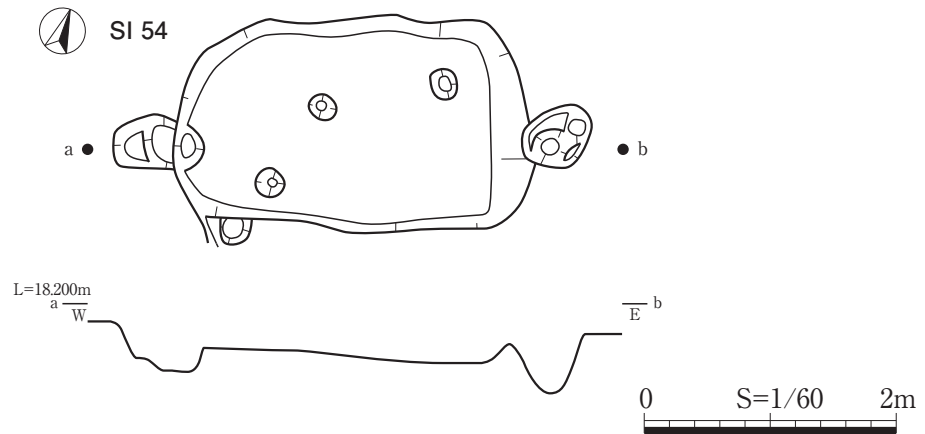
第46図 SI49・SX21遺構図・土層断面図（S=1/60）



第47図 SI50～SI52遺構図・土層断面図 (SI50は $S = 1 / 60$ 、SI51・SI52は $S = 1 / 80$)

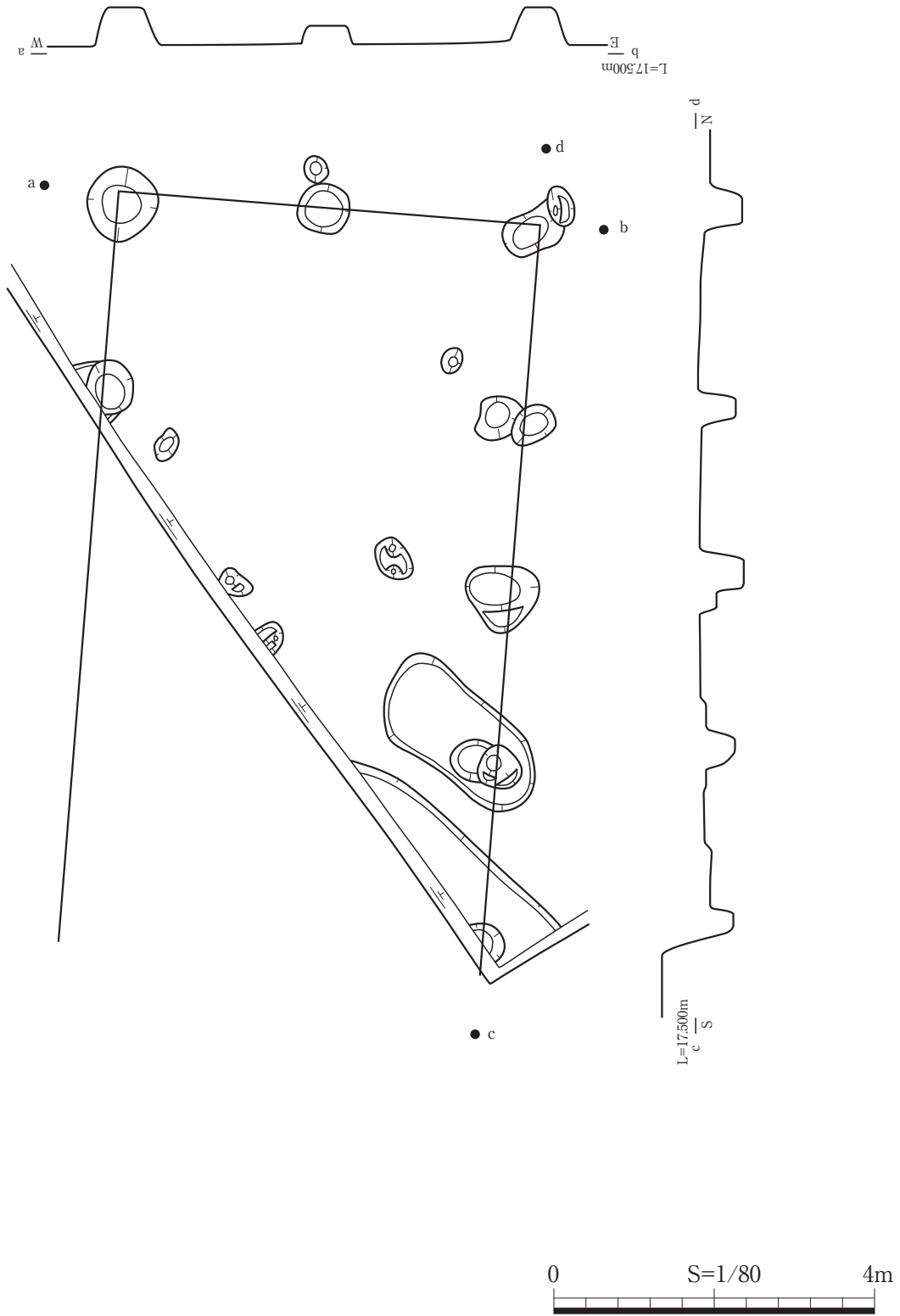


- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 灰白 (2.5Y7/1)、淡黄色 (2.5Y8/4) 粘質土 2. 淡黄 (2.5Y8/3)、明灰白 (2.5Y7/1) 粘質土 3. 淡黄 ((2.5Y8/4)、黄灰 (2.5Y6/1) 粘質土 4. 淡黄ブロック混じり黄灰 (2.5Y8/4) 粘質土 5. 灰色 (N6/) 粘質土 6. 灰白 (2.5Y7/1)、淡黄 (2.5Y8/3) 粘質土 7. 黄色 (2.5Y8/6) 粘質土 8. 灰白色 (N7/) 粘質土 9. 明青灰色ブロック混じり明黄褐色 (2.5Y7/6) 粘質土 10. 青灰色 (5B6/) 粘質土 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 灰白 (2.5Y7/1)、淡黄色 (2.5Y8/4) 粘質土 2. 淡黄 (2.5Y8/3)、明灰白 (2.5Y7/1) 粘質土 3. 明青灰ブロック混じり淡黄色 (2.5Y8/4) 強粘質土 4. 淡黄ブロック混じり黄灰 (2.5Y8/4) 粘質土 5. 灰色 (N6/) 粘質土 6. 明青灰ブロック混じり黄色 (2.5Y8/6) 粘質土 7. 明青灰ブロック混じり黄灰 (2.5Y7/2) 粘質土 8. 淡黄ブロック、黄灰 (2.5Y5/1) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y7/1) 粘質土 9. 灰黄 (2.5Y7/1)、淡黄 (8/4) 粘質土 |
|---|---|

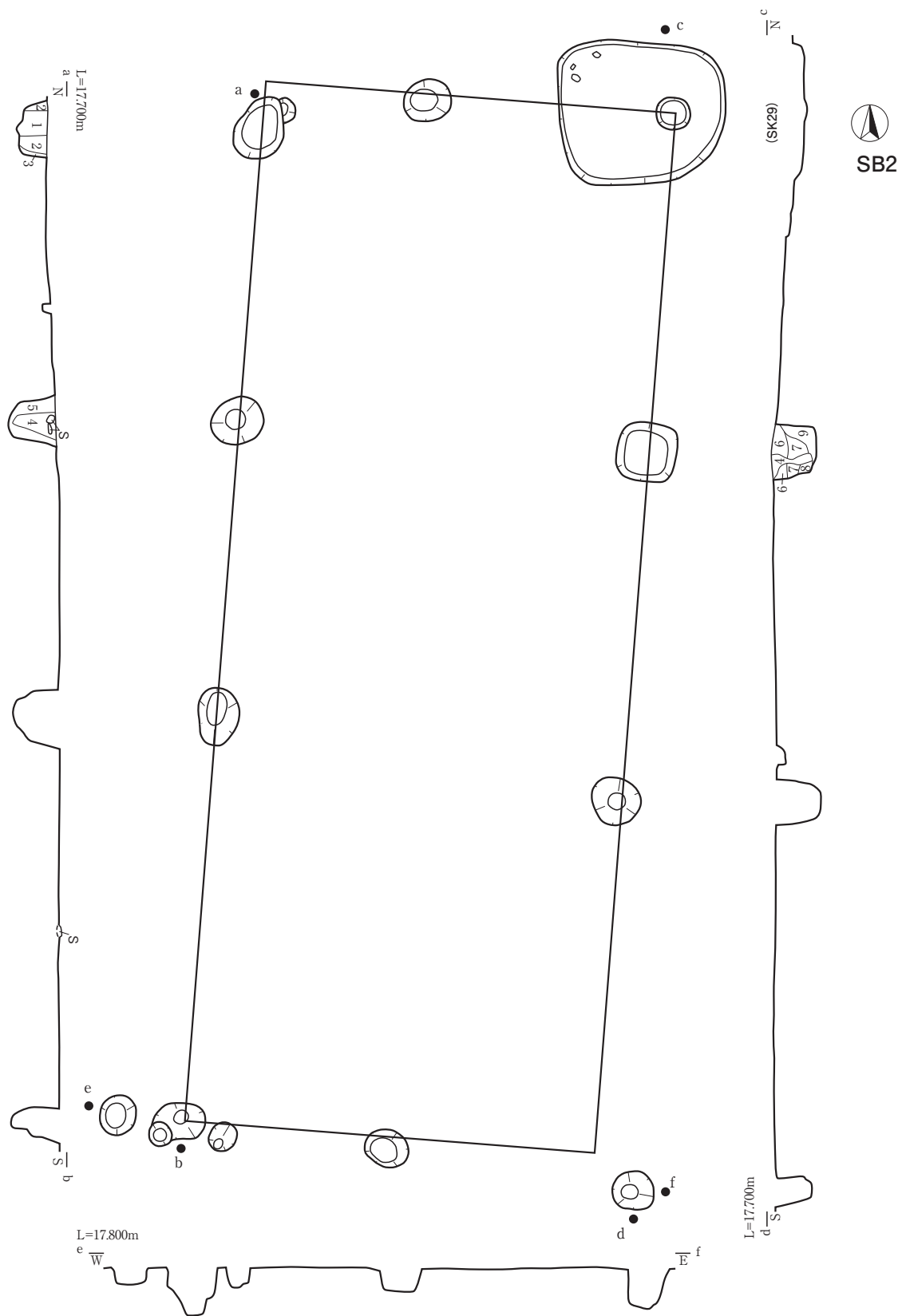


第48図 SI53・SI54遺構図・土層断面図 (S = 1 / 60)

SB1



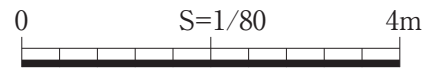
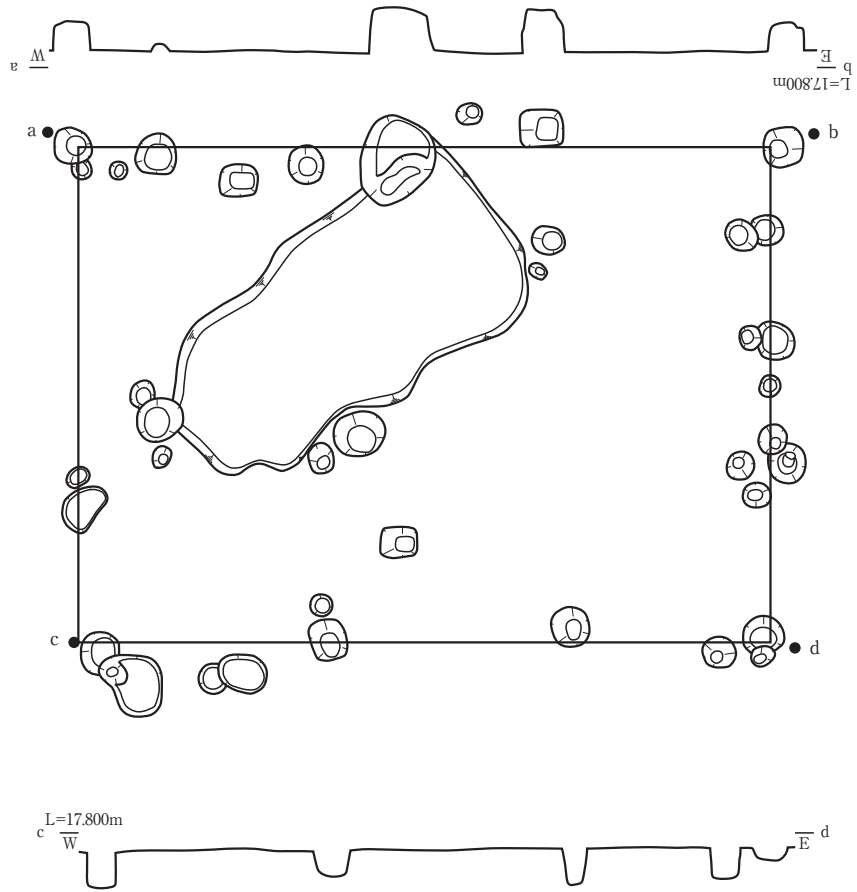
第49図 SB1 遺構図・土層断面図 (S = 1 / 80)



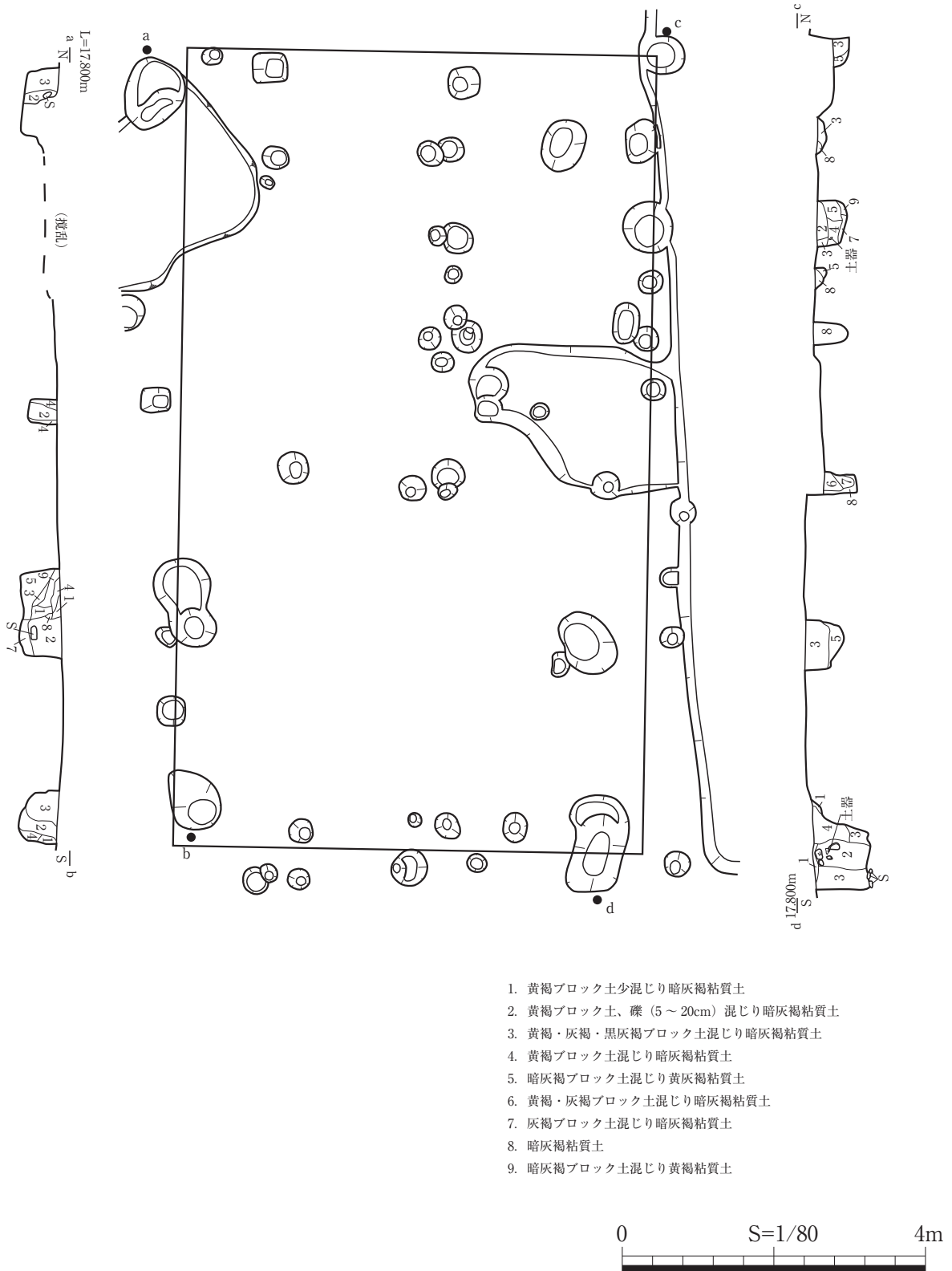
1. 灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土
2. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土
3. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土
4. 礫 (5~10cm) 混じり暗灰褐粘質土
5. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土
6. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
7. 暗灰褐ブロック土混じり黄灰褐粘質土
8. 灰褐ブロック土混じり黄灰褐粘質土
9. 暗灰褐・灰褐ブロック土混じり黄灰褐粘質土

第50図 SB2 遺構図・土層断面図 (S = 1 / 80)

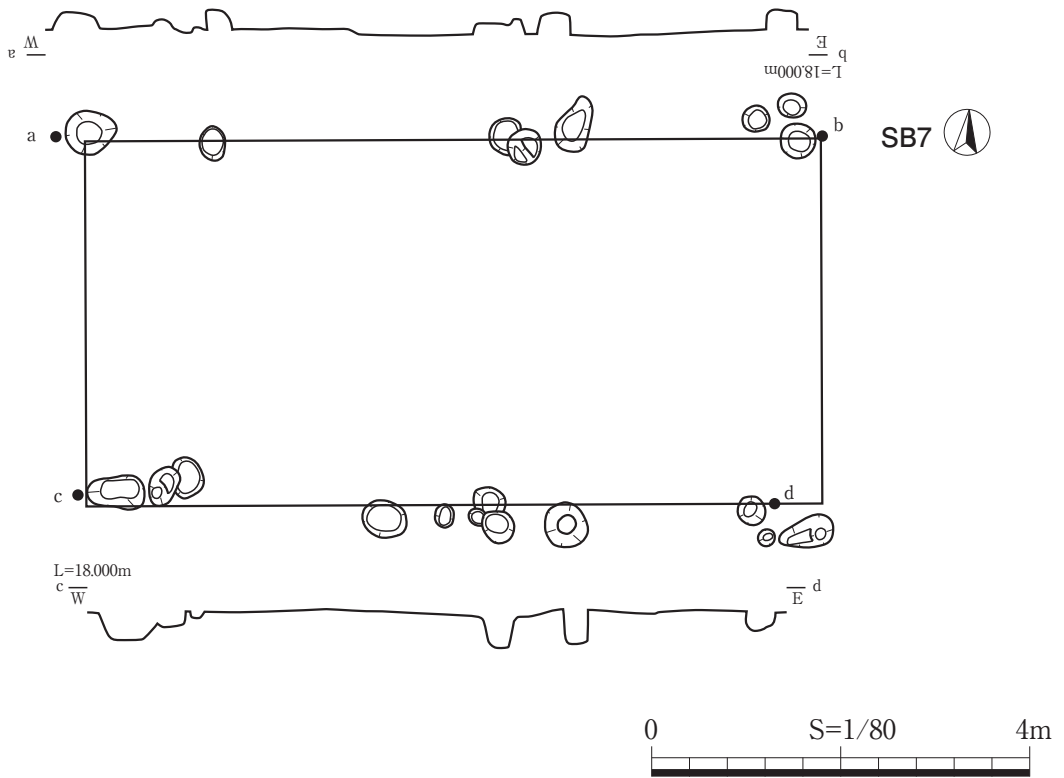
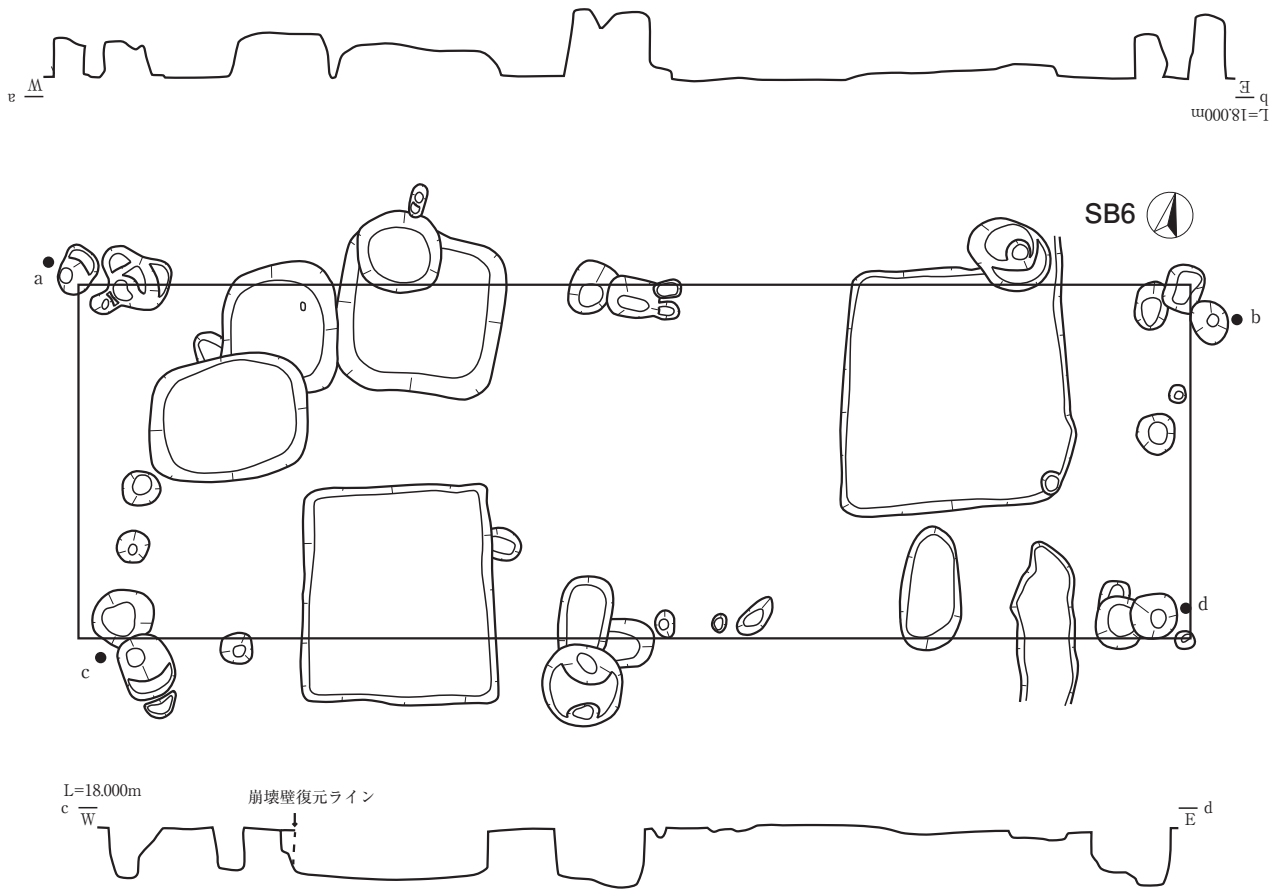
SB3



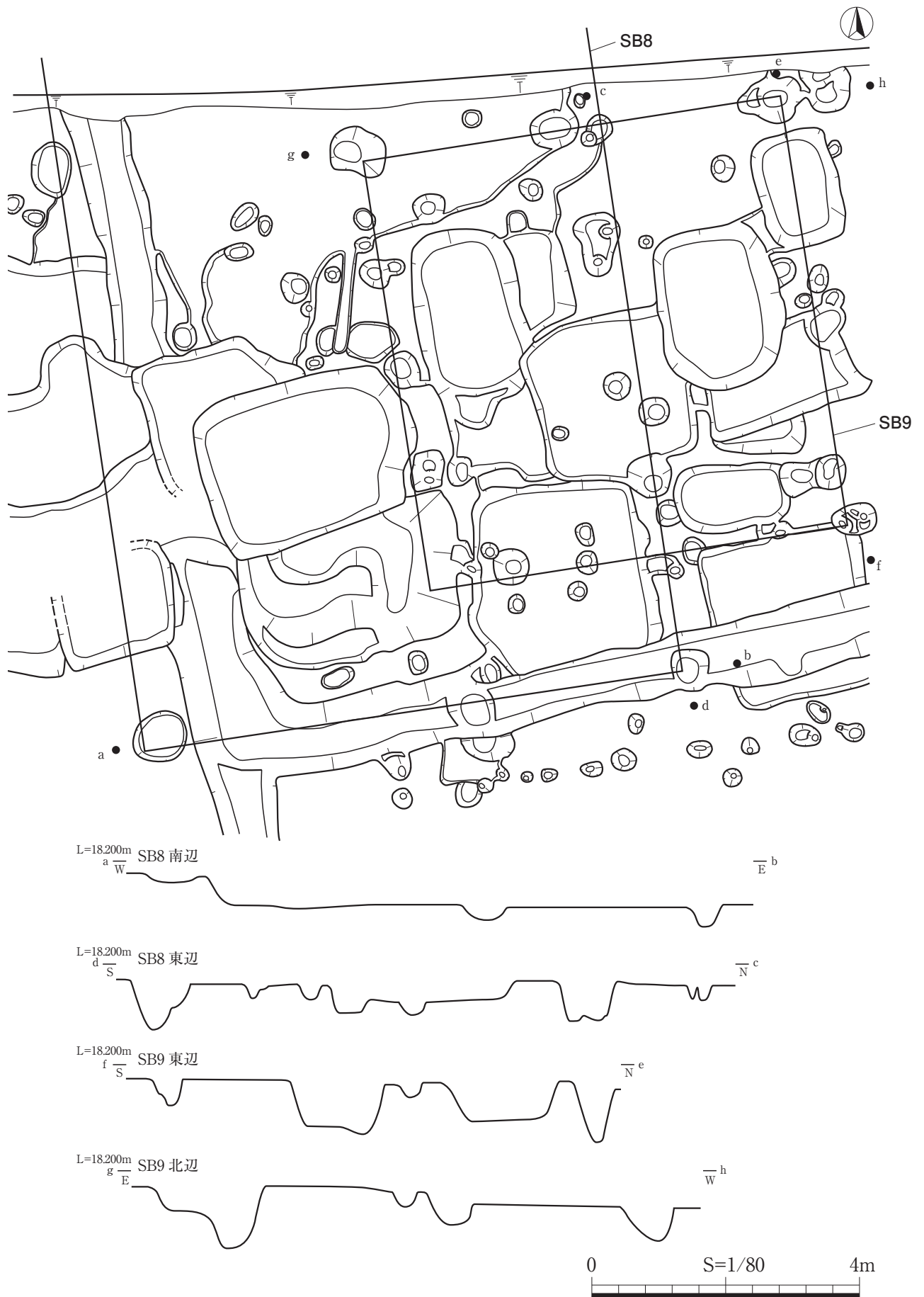
第51図 SB3 遺構図・土層断面図 (S=1/80)



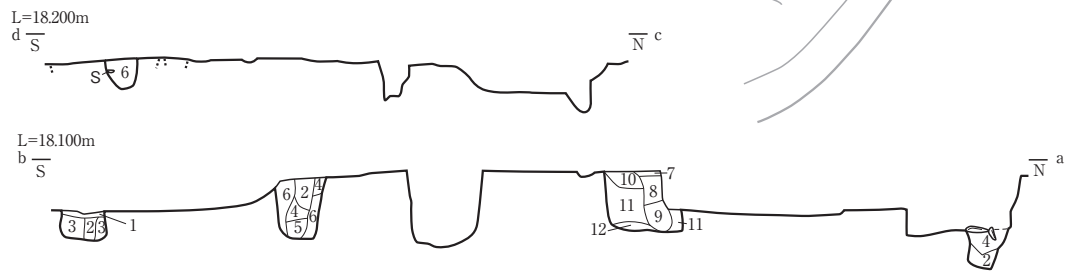
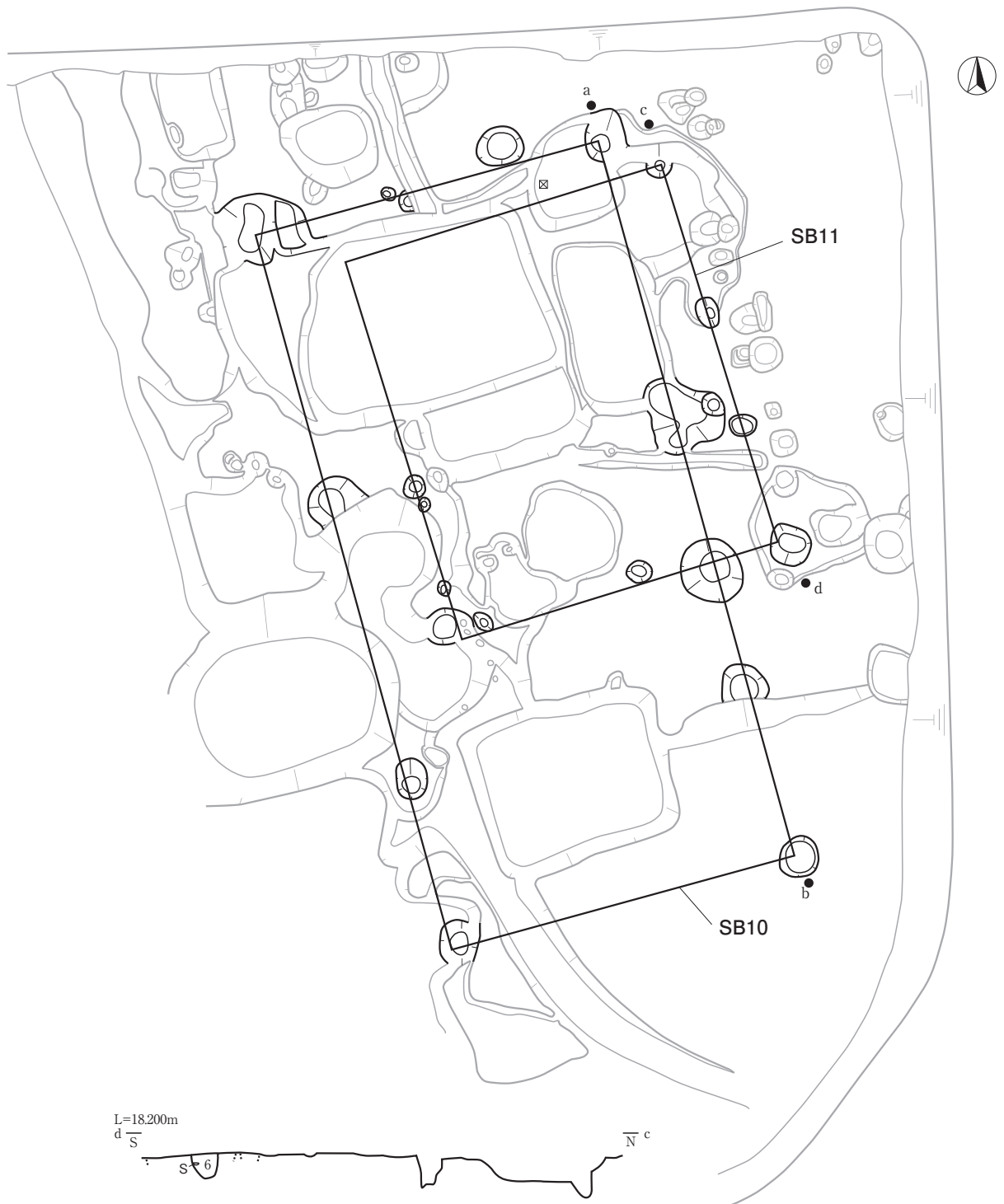
第52図 SB4 遺構図・土層断面図（ $S=1/80$ ）



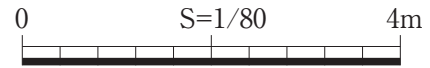
第54図 SB6・SB7遺構図・土層断面図 (S=1/80)



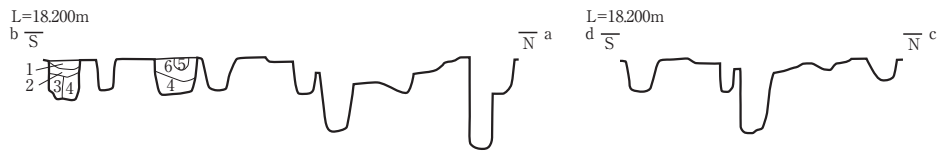
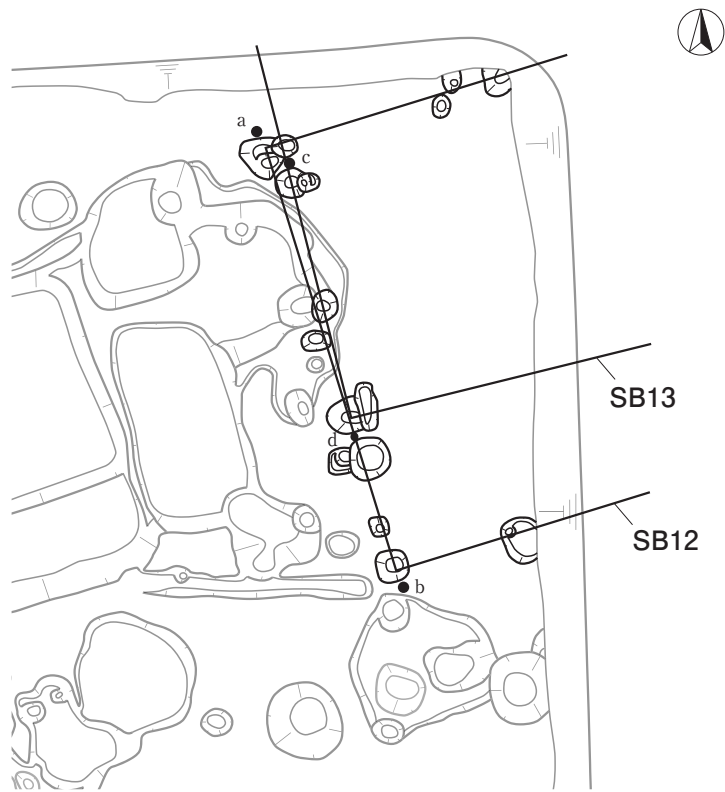
第55図 SB8・SB9 遺構図・土層断面図 (S=1/80)



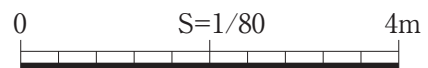
- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 橙・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 8. 黄褐・黒灰褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 2. 暗灰褐粘質土 | 9. 黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 3. 橙・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | 10. 黄褐・淡灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 4. 黄灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 11. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 5. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | 12. 灰褐ブロック土混じり橙褐粘質土 |
| 6. 暗灰褐・灰褐ブロック土混じり淡灰褐粘質土
(鉄分多く含む) | |
| 7. 黄褐・灰・暗褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | |



第56図 SB10・SB11遺構図・土層断面図 (S=1/80)

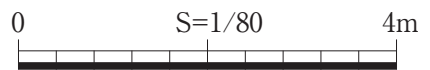
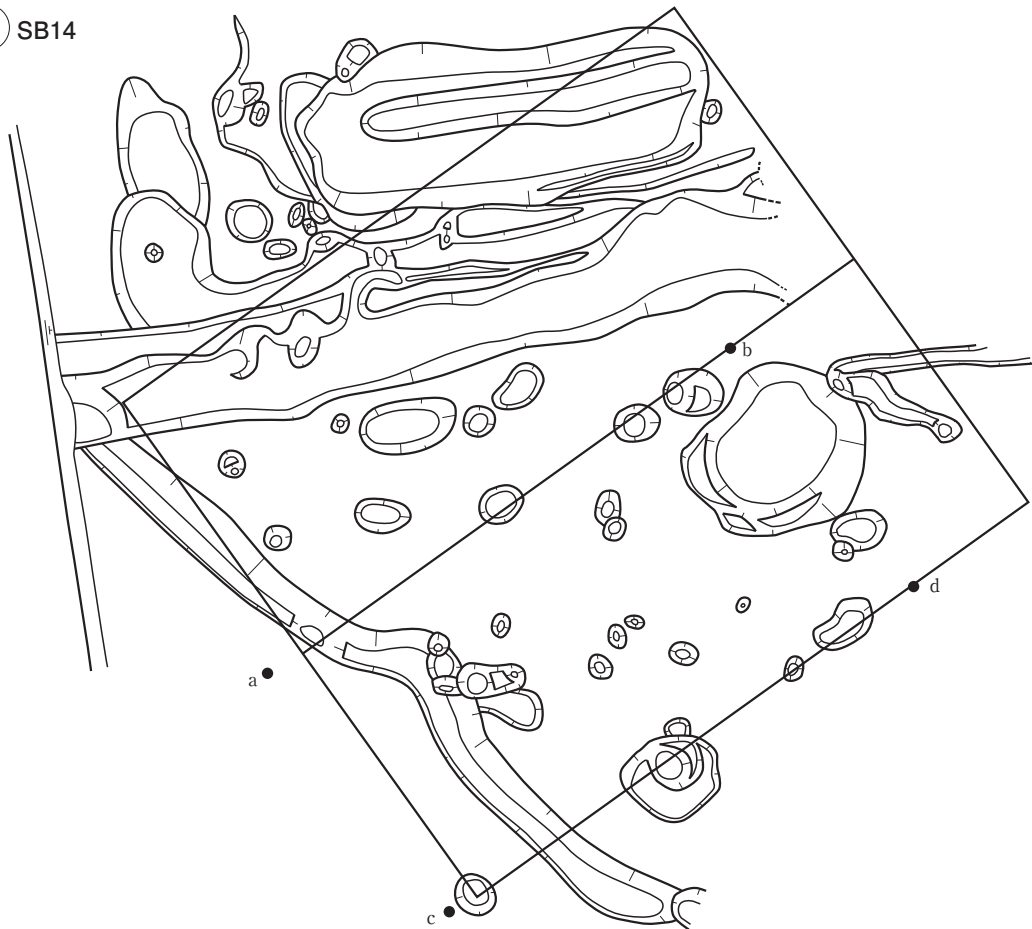


1. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
2. 黄褐ブロック土少混じり暗灰褐粘質土
3. 黄灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
4. 黄褐・灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
5. 炭混じり暗灰褐粘質土
6. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土

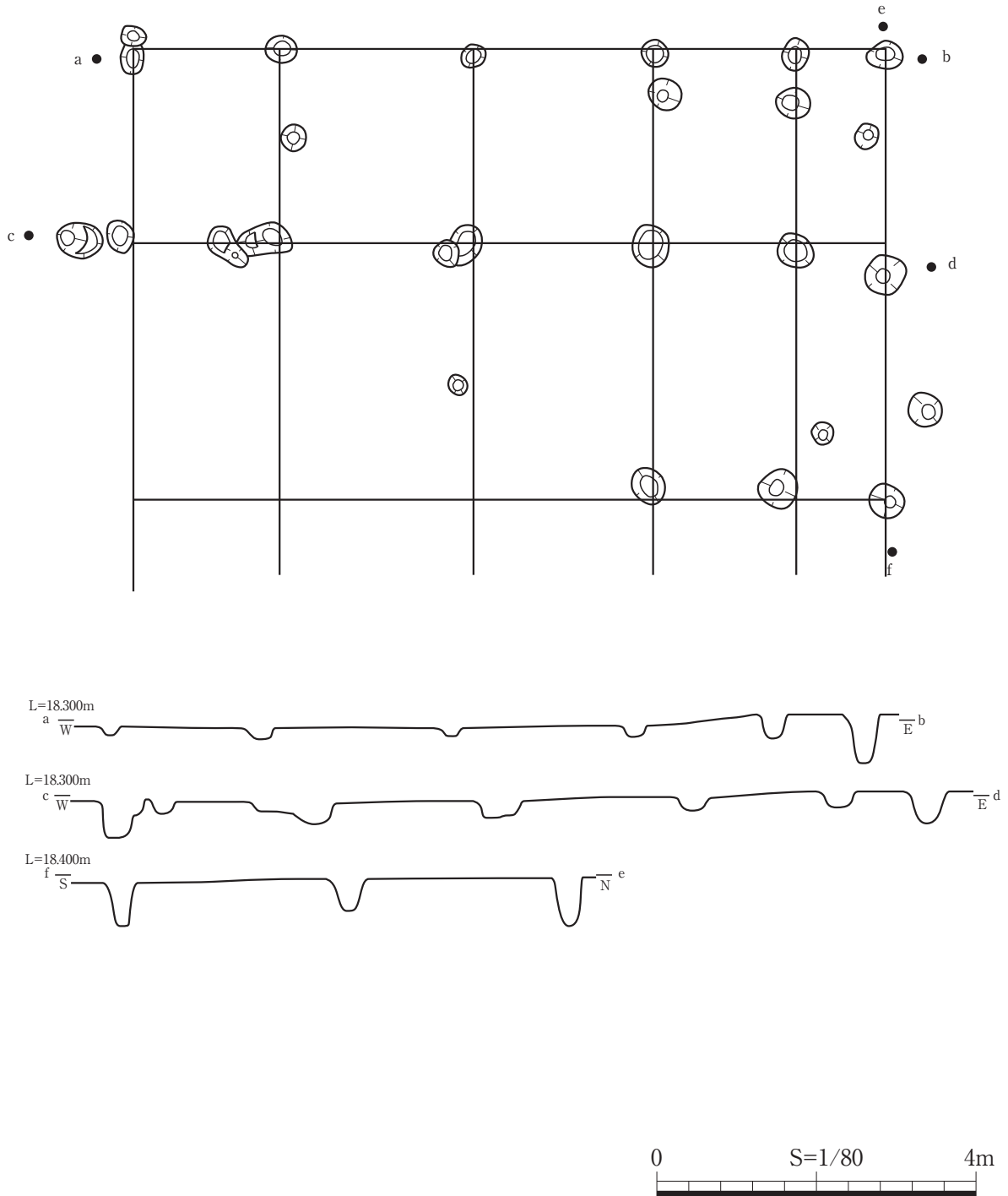


第57図 SB12・SB13遺構図・土層断面図 (S=1/80)

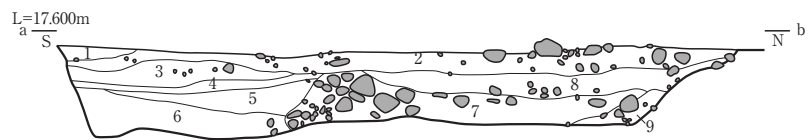
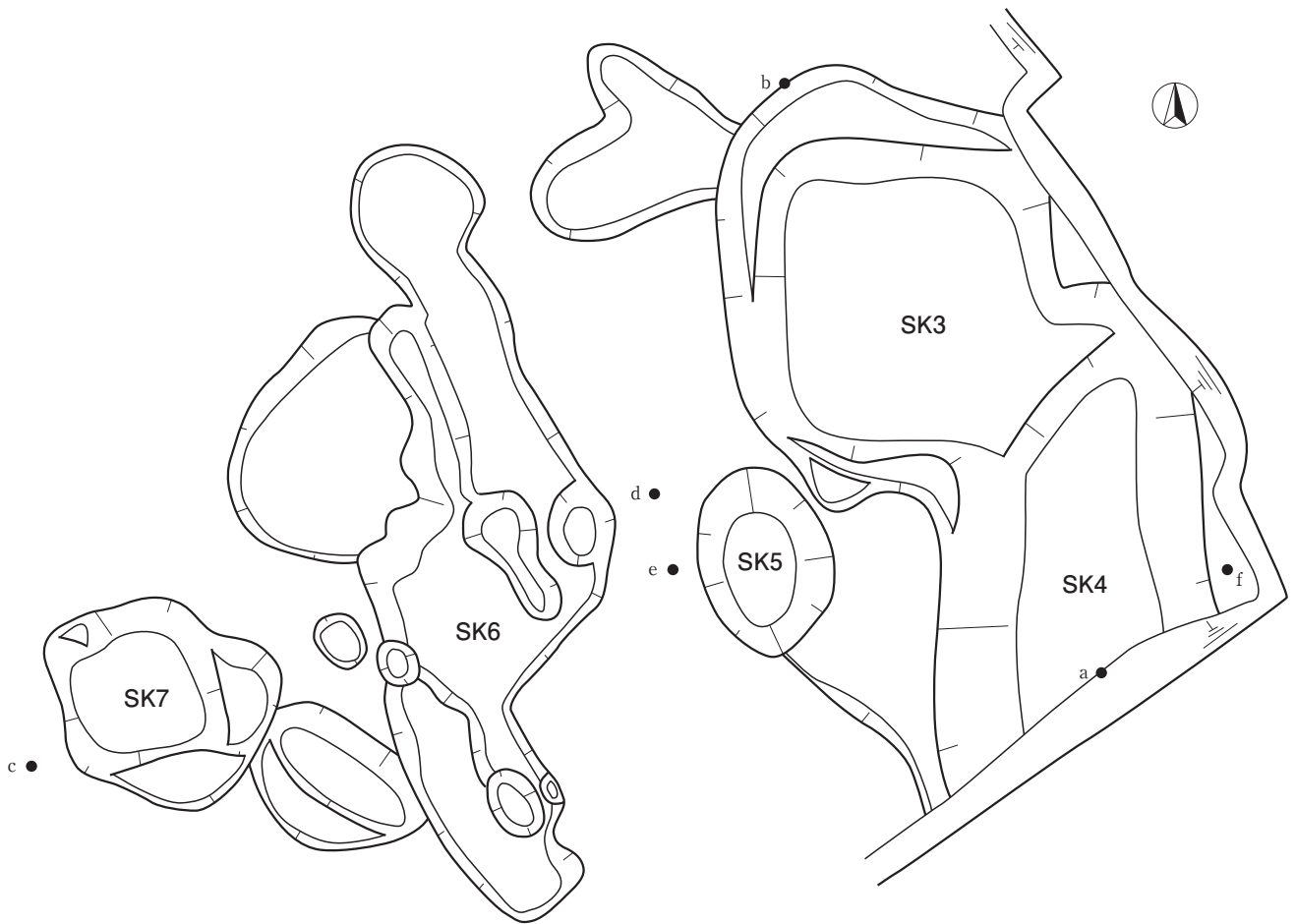
SB14



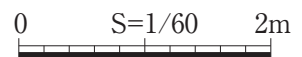
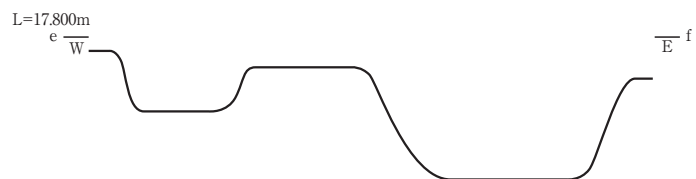
第58図 SB14遺構図・土層断面図 (S = 1 / 80)



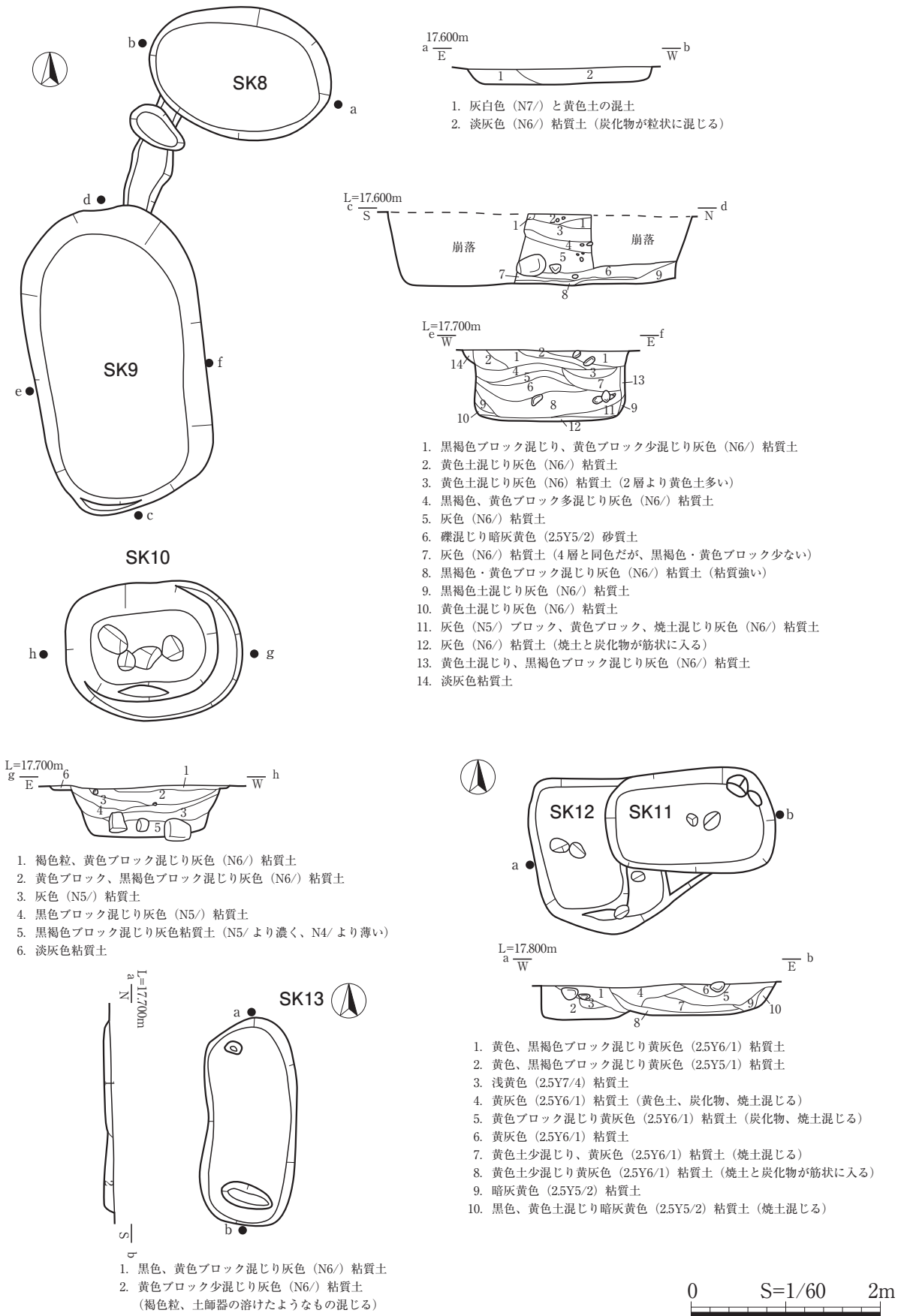
第59図 SB15遺構図・土層断面図 (S = 1 / 80)



1. 灰色じゃっけつ混じり灰色 (N6/) 粘質土
 2. 黄橙色 (10YR7/8) 土混じり灰色 (N6/) 粘質土
 3. 黄橙色 (10YR7/8) 土混じり灰色 (N5/) 強粘質土
 4. 青灰色 (5B6/1) と灰色 (N6/) 強粘質土の混土
 5. 青灰色 (5B6/1) 粘土
 6. 青灰色 (5B5/1) 粘土
 7. 青灰色 (5B6/1) 強粘質土 (礫層)
 8. 黄橙色 (10YR7/8) 土混じり灰色 (N5/) 粘質土
 9. 灰色 (N5/) 強粘質土
- ※灰色部分は石

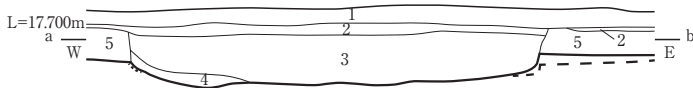
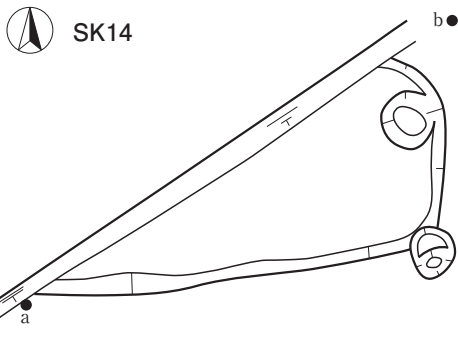
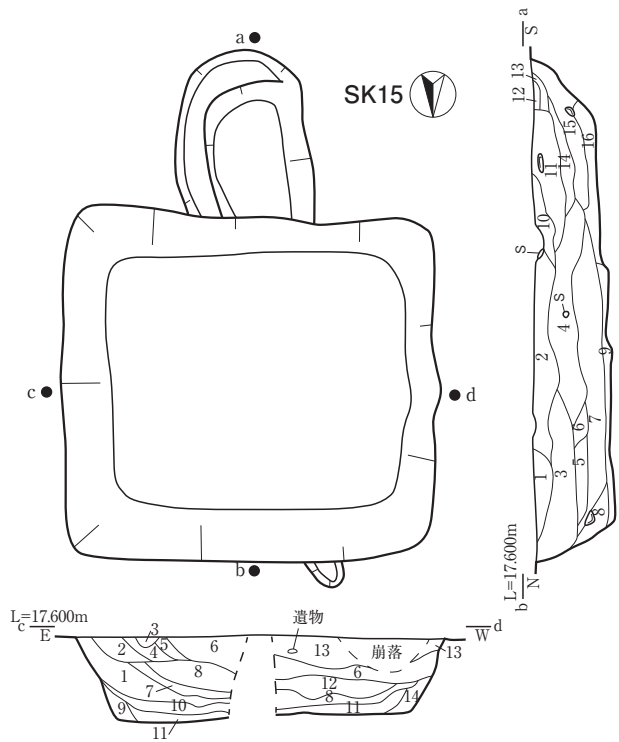


第60図 SK 3～SK 7 遺構図・土層断面図 (S= 1 / 60)



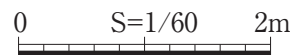
第61図 SK 8～SK13遺構図・土層断面図 (S=1/60)

1. 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
2. 黒褐色ブロック、淡黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
3. 黒色ブロック (大・小) 多混じり、黄色ブロック混じり灰色 (N6/) 粘質土 (黒褐色ブロック細かく多混)
4. 黒色ブロック (大・小) 多混じり、黄色ブロック混じり灰色 (N6/) 粘質土
5. 黒褐色 (2.5Y3/1) ブロック混じり淡黄色 (2.5Y8/4) 粘質土
6. 黒色ブロック少混じり灰色 (N6/) 粘質土
7. 灰色 (N6/) と淡黄色 (2.5Y8/4) の混土
8. 灰色 (N5/) と灰色 (N4/) の混土 (黒色少し混じる)
9. 灰色 (N4/) 強粘質土
10. 灰白色 (N7/) 粘質土
11. 黒褐色ブロック、黄色ブロック混じり灰色 (N6/) 粘質土
12. 黄色ブロック (大) 混じり灰色 (N6/) 粘質土
13. 黒褐色ブロック混じり灰色 (N6/) 粘質土
14. 黒色ブロック、黄色土少混じり灰色 (N5/) 粘質土
15. 粗砂混じり灰色 (N5/) 粘質土
16. 灰色 (N5/) 強粘質土

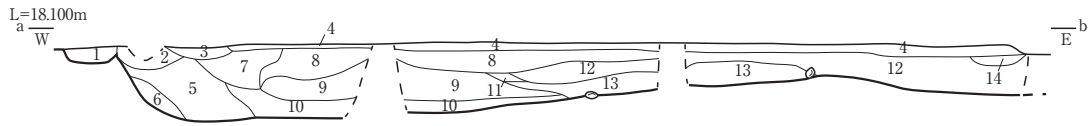
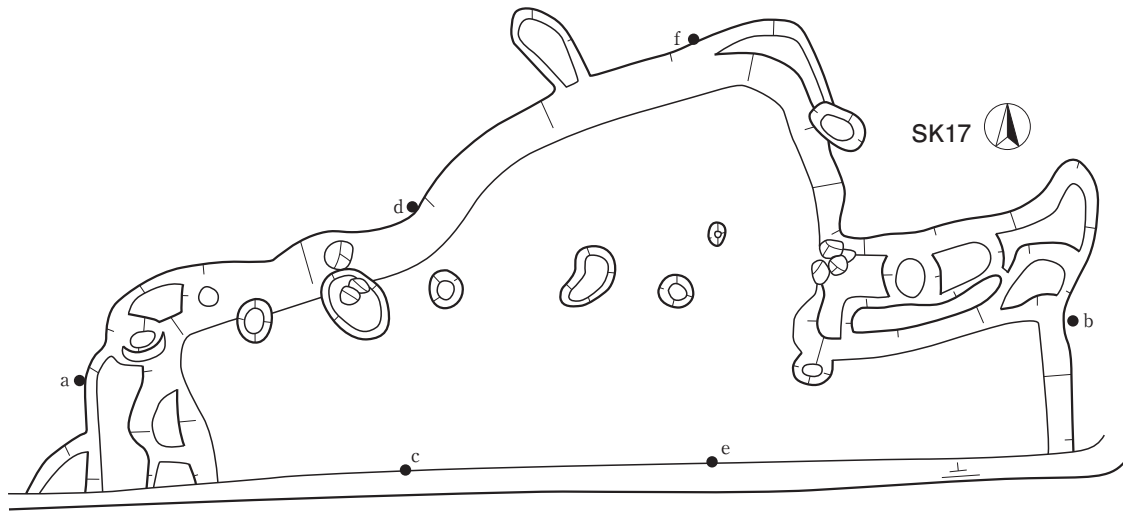


1. 表土
2. 床土
3. 黒褐色ブロック、黄色ブロック (細) 混じり灰色 (N6/) 粘質土
4. 黒褐色ブロック、黄色ブロック (細) 少混じり灰色 (N5/) 粘質土
5. 黒褐色 (2.5Y3/1) 粘質土

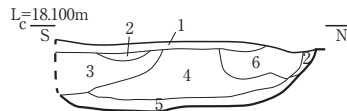
1. 褐色混じり灰色 (N5/) 粘質土
2. 淡黄色 (2.5Y8/4) 多混じり灰色 (N5/) 粘質土
3. 淡灰色 (N6/) 粘質土
4. 黒褐色 (2.5Y3/1) ブロック混じり淡黄色 (2.5Y8/4) 粘質土
5. 黒色ブロック少混じり灰色 (N6/) 粘質土
6. 黒色ブロック (大・小) 多混じり、黄色ブロック混じり灰色 (N6/) 粘質土
7. 灰色 (N5/) と淡黄色 (2.5Y8/4) の混土
8. 灰色 (N6/) と淡黄色 (2.5Y8/4) の混土
9. 灰色 (N5/) と灰色 (N4/) の混土 (黒色少し混じる)
10. 灰色 (N5/) 粘質土、黄色ブロック混じり淡灰白色 (N7/) 微砂
11. 灰色 (N4/) 強粘質土
12. 黒色ブロック (大・小) 多混じり、黄色ブロック混じり灰色 (N5/) 粘質土
13. 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
14. 黒色混じり灰色 (N6/) 粘質土



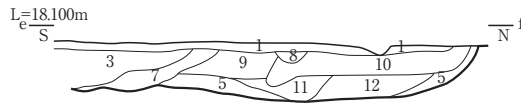
第62図 SK14・SK15遺構図・土層断面図 (S=1/60)



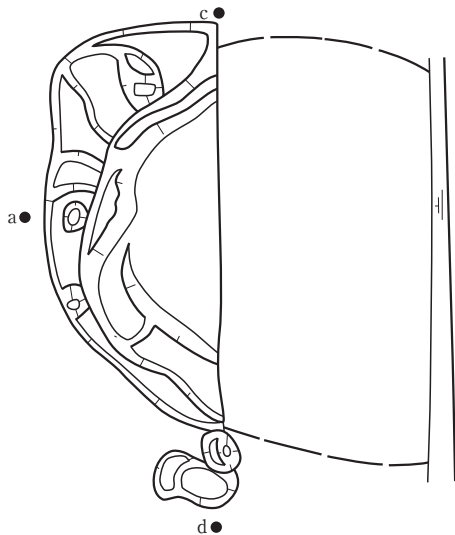
1. 明黄褐色 (2.5Y7/6)、黄灰色 (2.5Y6/1) の混土
2. 黄色ブロック少混じり灰黄褐色 (10YR6/2) 粘質土
3. 黒褐色ブロック混じり灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質土
4. 明黄褐色 (10YR6/6)、褐灰色 (10YR6/1) の混土
5. 黄色ブロック少混じり・黒褐色ブロック混じり灰黄褐色 (10YR2/4) 粘質土
6. 灰黄褐色混じり黒褐色 (2.5Y3/1) 粘質土
7. 黒褐色ブロック混じり灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質土
8. 暗褐色粒混じり褐灰色 (10YR6/1) 粘質土
9. 暗褐色粒混じり褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
10. 褐灰色 (10YR5/1) ブロック、淡黄色 (2.5Y8/4) ブロック、黒褐色 (2.5Y3/1) ブロックの混土 (他よりしっとりした土)
11. 暗褐色粒混じり灰白色 (10YR7/1) 粘質土
12. 黒褐色 (2.5Y3/1) ブロック、にぶい黄色 (10S6/3) ブロック、黄灰色 (2.5Y6/1) ブロックの混土
13. 黄色ブロック少混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
14. 灰色 (N6/) 粘質土



1. 明黄褐色 (10YR6/6)、褐灰色 (10YR6/1) の混土
2. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
3. 褐灰色 (10YR6/1) 粘質土
4. 暗褐色粒混じり褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
5. 褐灰色 (10YR5/1) ブロック、淡黄色 (2.5Y8/4) ブロック、黒褐色 (2.5Y3/1) ブロックの混土 (他よりしっとりした土)
6. 灰白色 (2.5Y7/1) 粘質土 (一部黄色ブロック混じる)



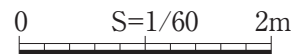
7. 黒褐色 (2.5Y3/1)、灰黄色 (2.5Y7/2)、黄灰色 (2.5Y6/1) の混土
8. 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
9. 灰黄色 (2.5Y7/2) 粘質土
10. 褐灰色 (10YR4/1) ブロック (細) 混じり灰黄褐色 (10YR6/2) 粘質土
11. 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
12. 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土



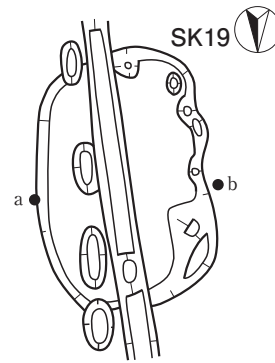
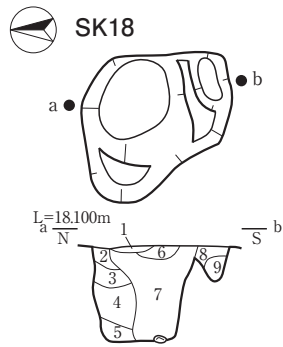
SK16



1. 灰黄褐色 (10YR4/2) ブロック、暗黄褐色 (2.5Y5/2) ブロック、黄色 (2.5Y7/8) ブロックの混土
2. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック、黄色ブロック (2.5Y7/8)、黄灰色 (2.5Y6/1) ブロックの混土
3. 灰黄褐色 (10YR4/2) ブロック、黒色ブロック混じり黄色 (2.5Y7/8) 粘質土
4. 黒色ブロック、黄色ブロック (2.5Y7/8)、にぶい黄色 (2.5Y6/3) ブロックの混土
5. 暗褐色粒混じり灰白色 (N7/) 粘質土
6. 黄色混じり灰色 (N6/) 粘質土
7. 灰色 (N6/) 粘質土



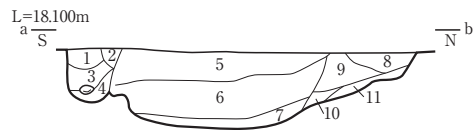
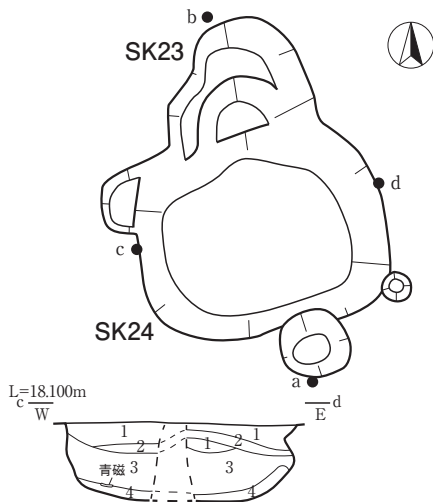
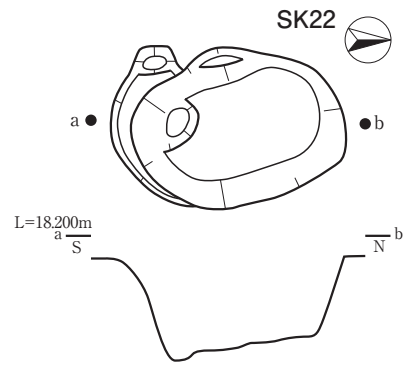
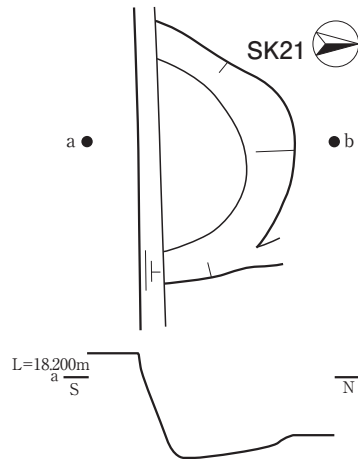
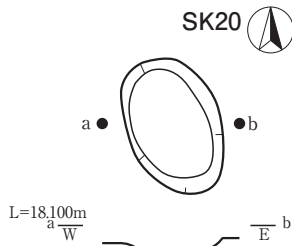
第63図 SK16・SK17遺構図・土層断面図 (S=1/60)



1. 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
2. 黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
3. 黄色ブロック、黒褐色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
4. 黄灰ブロック、黒褐色ブロック混じり黄色 (2.5Y8/8) 粘質土
5. 黄灰色 (2.5Y6/1) 混じり黄色 (2.5Y8/8) 粘質土
6. 黄灰ブロック、黒褐色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土
7. 黄灰ブロック、黒褐色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (6層よりブロック土多混)
8. 黄灰ブロック、黒褐色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
9. 黄色混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土

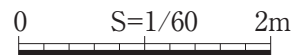


1. 黄色少混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
2. 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土
3. 灰色 (N6/) 粘質土

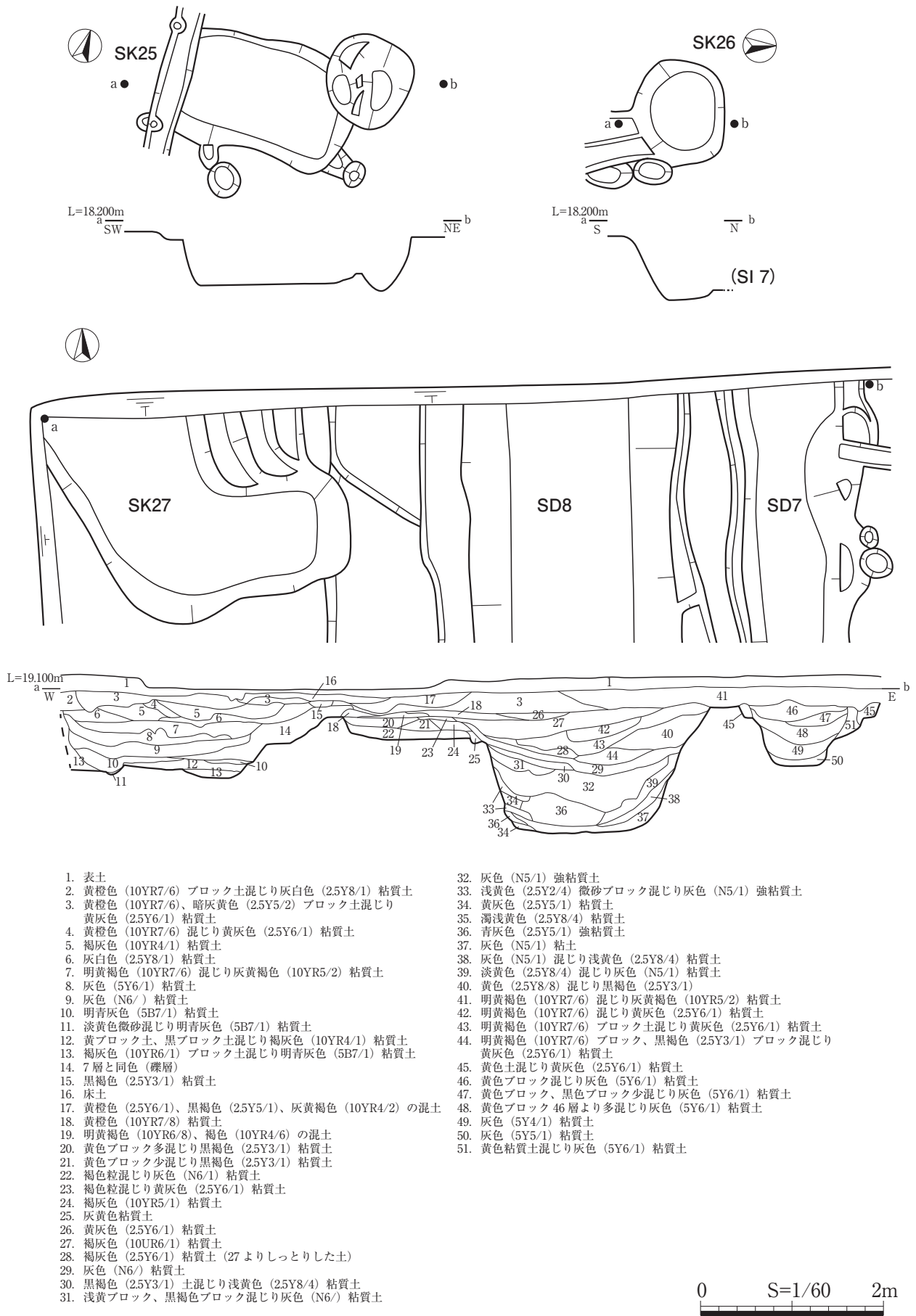


1. 浅黄橙色 (2.5Y8/4) ブロック混じり褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
2. 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土 (浅黄橙色 (2.5Y8/4) が筋状に連なる)
3. 浅黄橙色 (2.5Y8/4) ブロック混じり褐灰色 (10YR4/1) 粘質土
4. 黒褐色ブロック (2.5Y3/1) 混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土

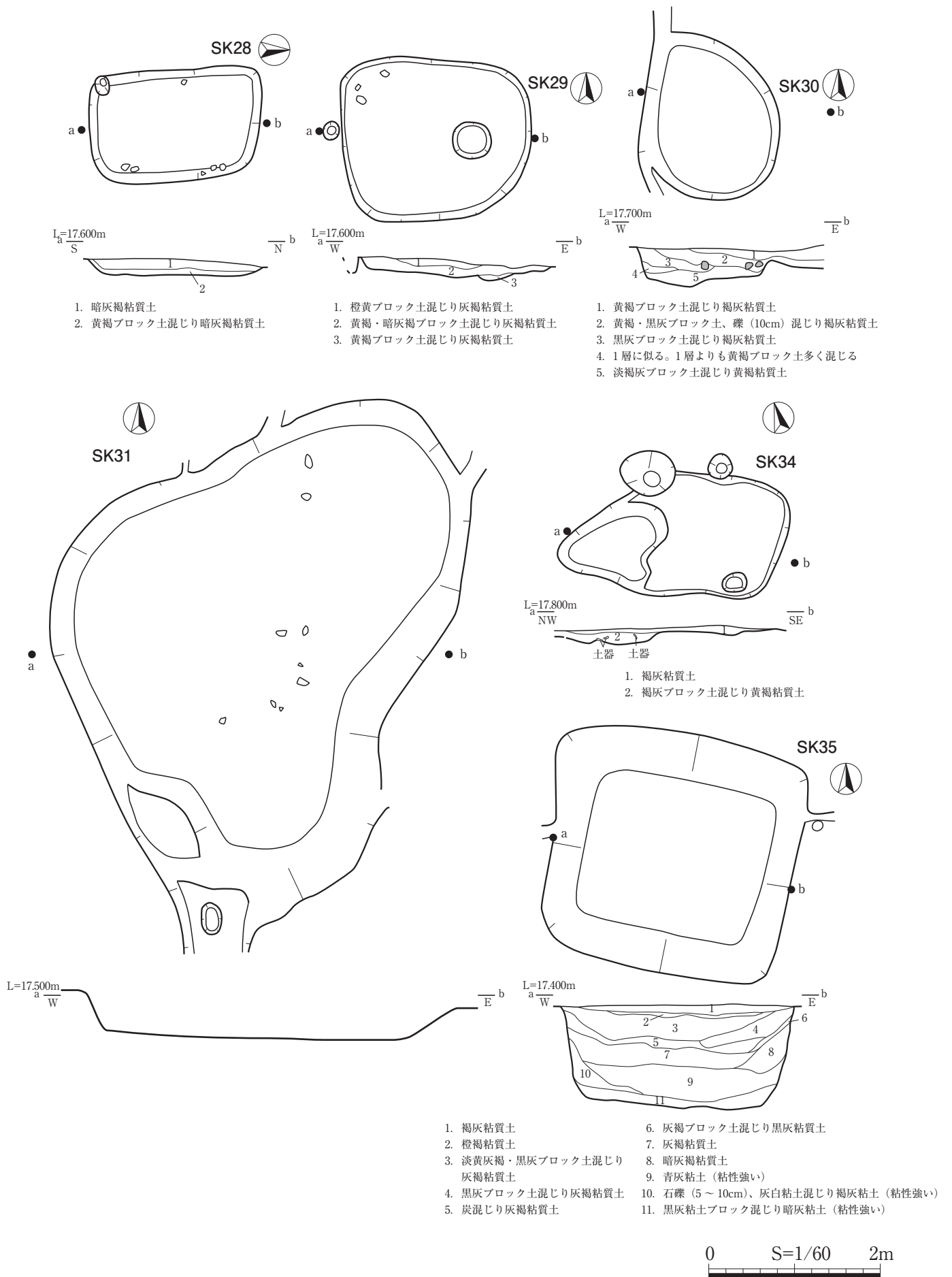
1. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック、黒褐色 (10YR3/2) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック、黒褐色 (10YR3/2) ブロック少混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック、黒褐色 (10YR3/2) ブロック混じり黒褐色 (2.5Y3/1) 粘質土
4. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック、黒褐色 (10YR3/2) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土
5. 浅黄橙色 (2.5Y8/4) ブロック混じり褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
6. 浅黄橙色 (2.5Y8/4) ブロック混じり褐灰色 (10YR4/1) 粘質土
7. 黒褐色ブロック (2.5Y3/1) 混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土
8. 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
9. 浅黄橙色 (2.5Y8/4) ブロック混じり褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (褐色少ない)
10. 黒褐色ブロック (2.5Y3/1) 混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (粘質弱い)
11. 黒褐色 (2.5Y3/1) 粘質土



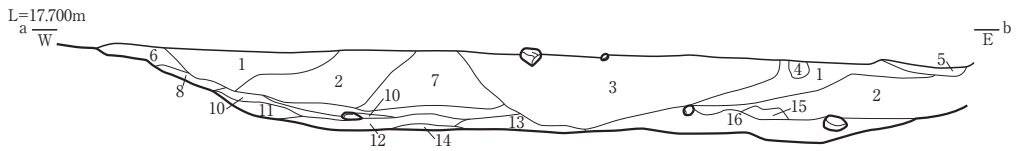
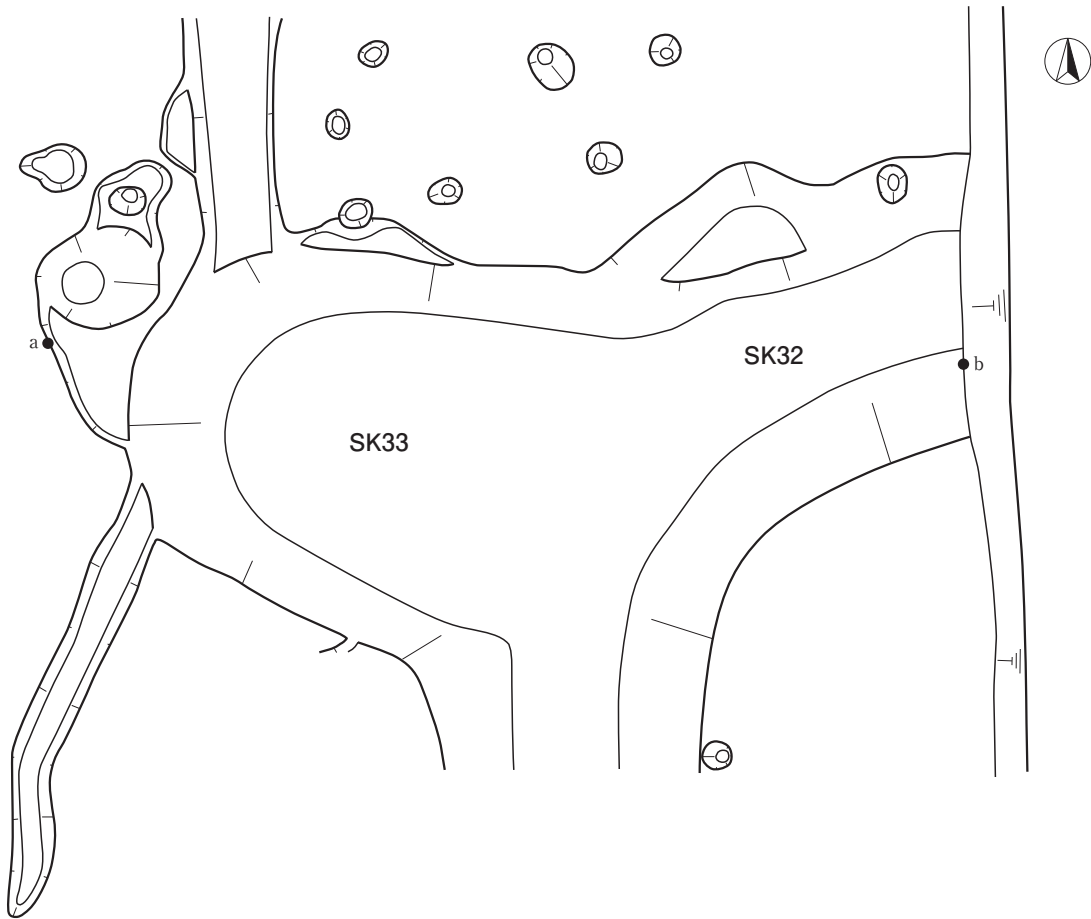
第64図 SK18~SK24遺構図・土層断面図 (S=1/60)



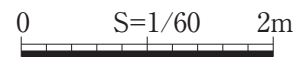
第65図 SK25~SK27・SD7・SD8 遺構図・土層断面図 (S=1/60)



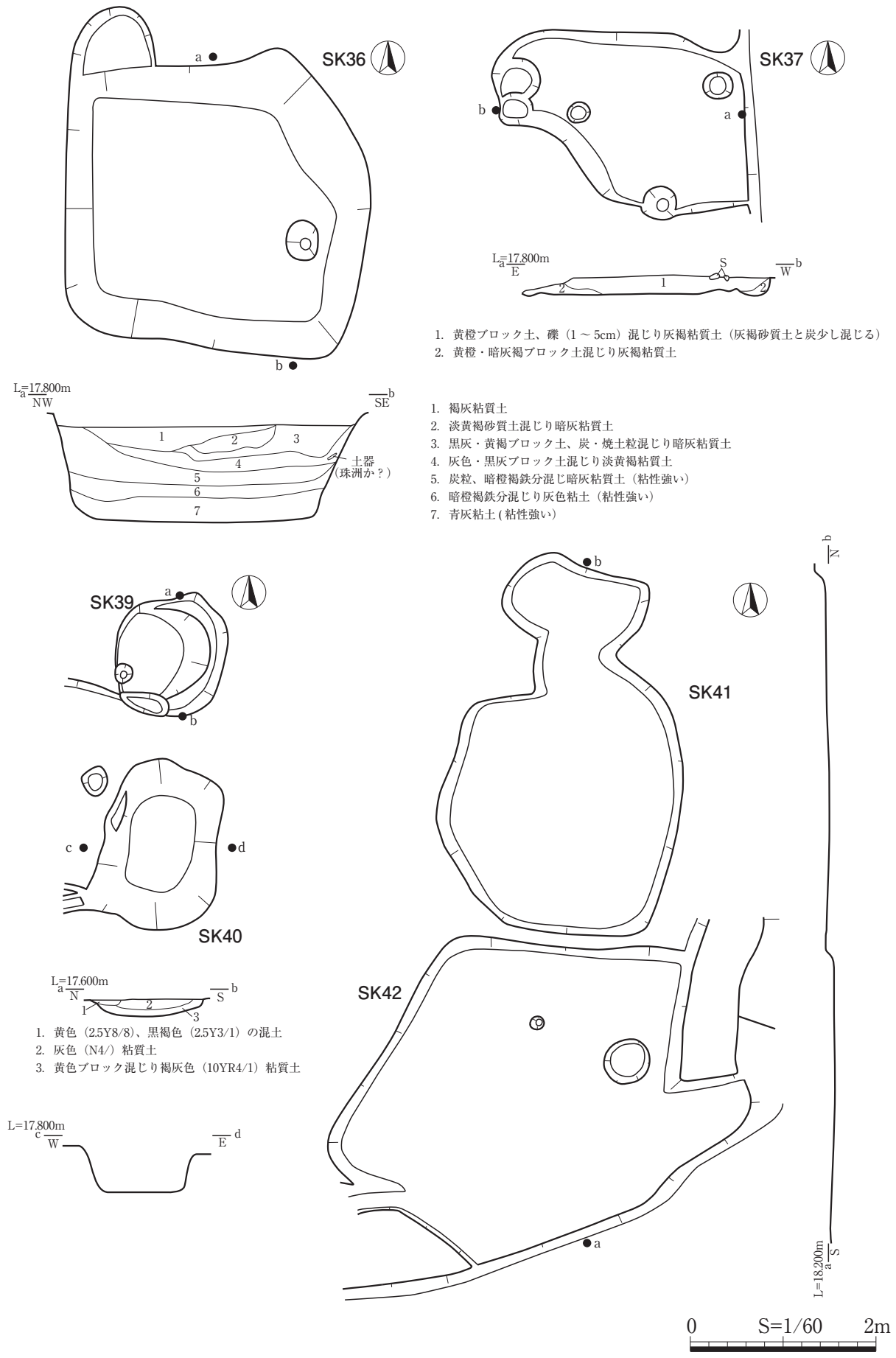
第66図 SK28～SK31・SK34・SK35遺構図・土層断面図（S=1/60）



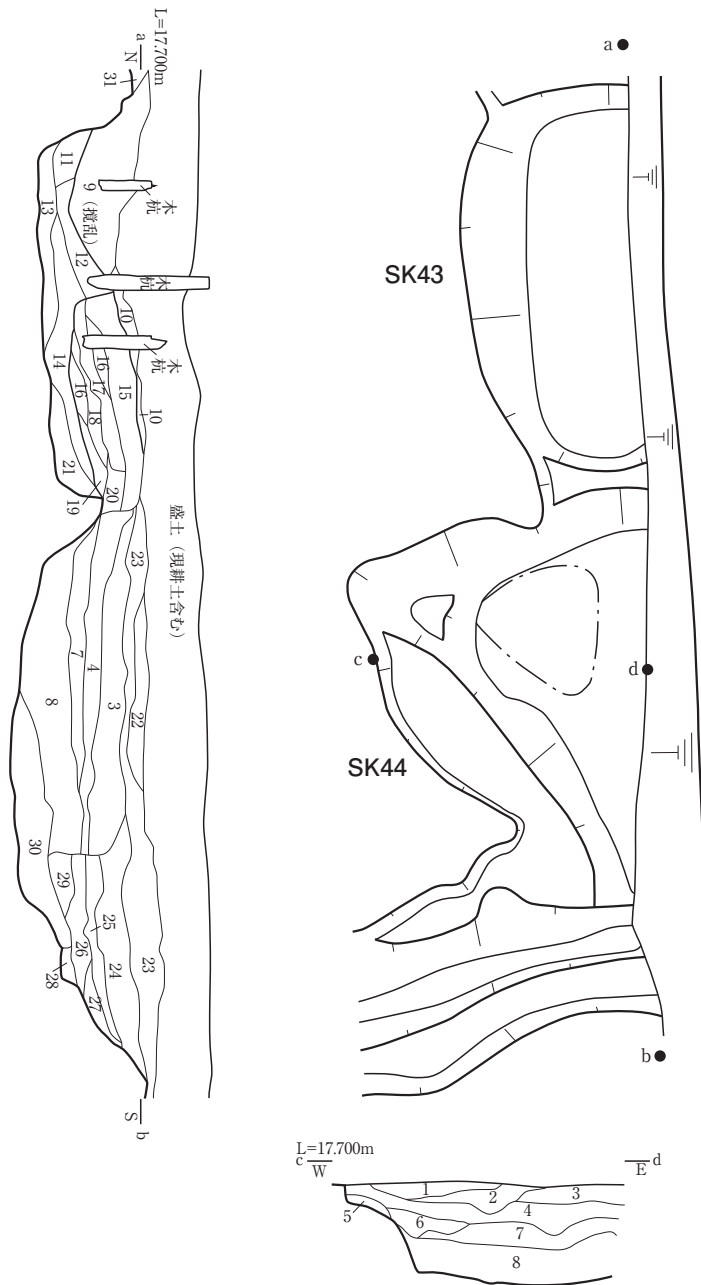
1. 礫 (3~5cm) 混じり灰褐粘質土
2. 黄灰・橙褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 (鉄分多く含む)
3. 礫 (3~20cm) 混じり褐粘質土
4. 灰色粘質土
5. 灰褐ブロック土混じり青灰粘質土 (鉄分多く含む)
6. 黄褐ブロック土混じり青灰粘質土 (鉄分多く含む)
7. 黄褐・黒灰褐・淡灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土
8. 炭粒・礫 (3cm) 混じり灰褐粘質土
9. 黒灰褐ブロック土混じり淡灰褐粘質土 (粘性強い)
10. 淡灰褐・褐橙ブロック土混じり灰褐粘質土 (粘性強い)
11. 黄褐ブロック土、灰褐粘土ブロック混じり淡灰褐粘質土 (粘性強い)
12. 淡灰褐粘土 (粘性強い)
13. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり褐粘質土 (粘性強い)
14. 黄褐ブロック土混じり淡灰褐粘質土 (粘性強い)
15. 淡緑灰ブロック土混じり青灰粘土
16. 礫 (5~20cm) 混じり青灰粘土



第67図 SK32・SK33遺構図・土層断面図 (S=1/60)



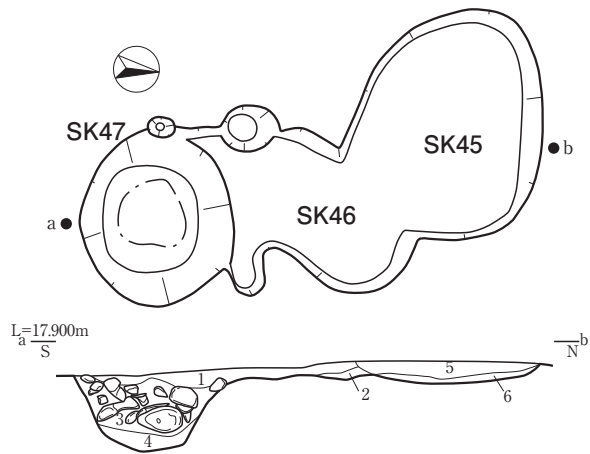
第68図 SK36・SK37・SK39~SK42図・土層断面図 (S=1/60)



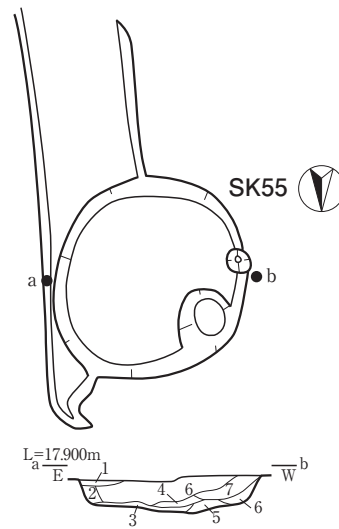
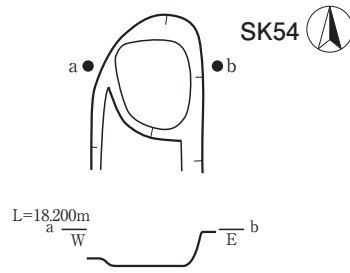
- | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | 11. 石礫(5cm程)、赤褐色土(鉄分)混じり暗灰粘質土 | 21. 淡黄ブロック土混じり灰色粘質土(粘性強い) |
| 2. 黄褐・褐灰・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 | 12. 赤褐色(鉄分)混じり暗灰粘質土 | 22. 石礫(2~5cm)、砂利混じり黄灰粘質土 |
| 3. 黄褐ブロック土混じり褐灰粘質土 | 13. 石礫(2~10cm)混じり暗灰粘質土(粘性強い) | 23. 石礫(5~10cm)混じり黄灰粘質土 |
| 4. 暗褐灰粘質土 | 14. 淡黄ブロック土混じり暗灰粘質土 | 24. 石礫(5~10cm)、黄褐・黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 |
| 5. 浅黄ブロック土混じり淡灰褐粘質土 | 15. 黒褐ブロック土混じり(少量)灰褐粘質土 | 25. 黒灰褐ブロック土混じり灰色粘質土 |
| 6. 浅黄・黒灰褐ブロック土混じり褐灰粘質土
(鉄分多く含む) | 16. 明赤褐(鉄分)混じり灰褐粘質土 | 26. 石礫(2~10cm)混じり灰褐砂質土 |
| 7. 褐灰粘土(粘性強い) | 17. 淡黄・黒灰褐ブロック土、石礫(5cm)混じり灰褐粘質土 | 27. 黄褐・黒灰ブロック土混じり暗灰褐粘質土 |
| 8. 青灰粘土(粘性強い) | 18. 明赤褐(鉄分)、石礫(5~10cm)混じり灰褐粘質土 | 28. 石礫(20cm)、灰色ブロック土混じり暗灰粘質土 |
| 9. 石礫(5cm程)混じり褐色粘質土(攪乱) | 19. 明赤褐(鉄分)、黒灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土 | 29. 石礫(5~10cm)混じり褐灰粘質土 |
| 10. 黒灰ブロック土混じり灰褐粘質土(近代以降) | 20. 灰褐粘質土 | 30. 緑灰ブロック土混じり暗青灰粘質土(粘性強い) |
| | | 31. 黄褐ブロック土混じり灰色粘質土 |

0 S=1/60 2m

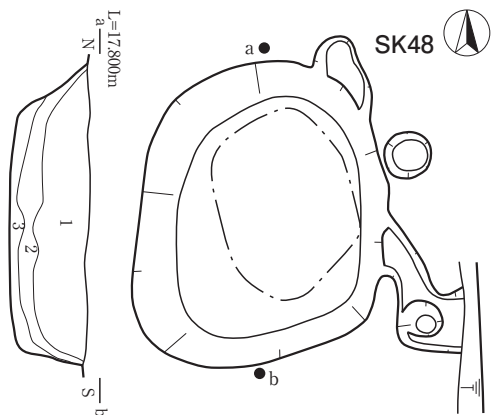
第69図 SK43・SK44遺構図・土層断面図 (S=1/60)



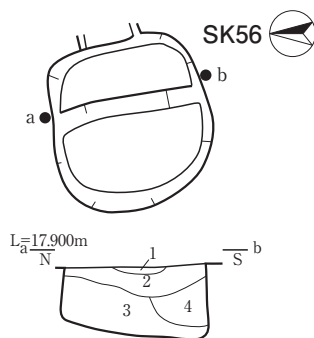
1. 灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土
2. 黄橙ブロック土混じり暗灰褐粘質土
3. 灰色ブロック土、礫（5～30cm）混じり暗灰褐粘質土
4. 暗灰褐粘質土（粘性強い）
5. 黄橙・淡灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
6. 黄橙ブロック土混じり暗灰褐粘質土（5層より黒み帯びる）



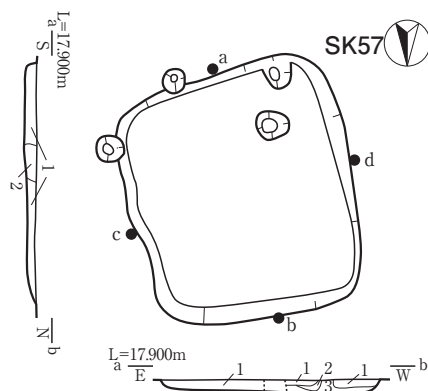
1. 黄色ブロック混じり灰色（5Y6/1）粘質土
2. 黄色ブロック少混じり黒色と灰色（5Y6/1）の混土
3. 灰色（5Y5/1）強粘質土
4. 灰色（5Y5/1）粘質土
5. 黄色ブロック少混じり灰色（5Y5/1）粘質土
6. 灰色（5Y5/1）、黒褐色（2.5Y3/1）、黄色の混土
7. 黒色混じり明黄褐色（2.5Y7/6）粘質土



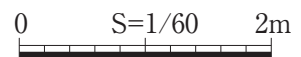
1. 灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土（鉄分多く含む。炭粒少し混じる）
2. 暗灰褐粘質土（粘性強い。鉄分多く含む。炭粒少し混じる）
3. 黄褐・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土（鉄分多く含む。炭粒少し混じる）



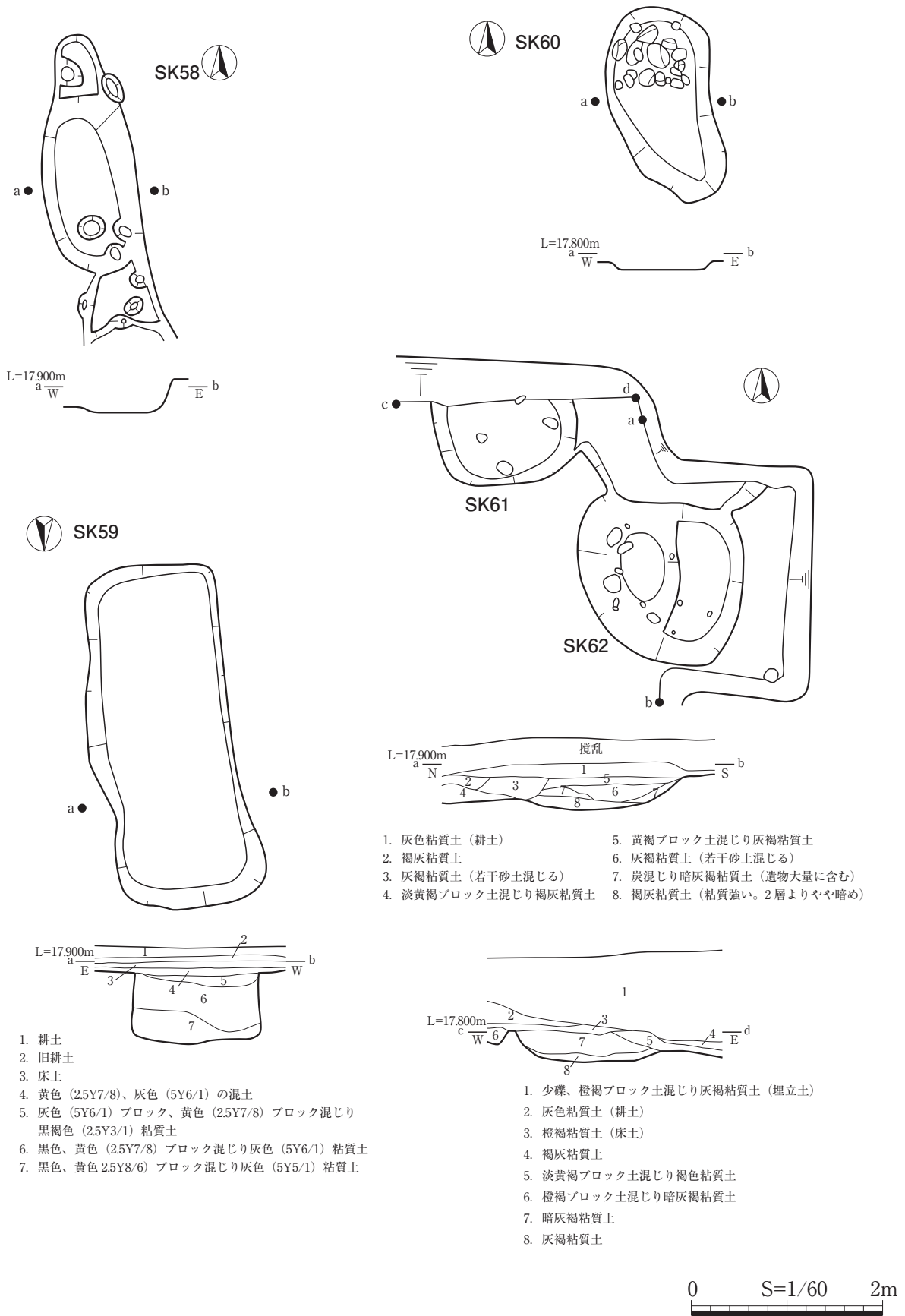
1. 黒褐色（2.5Y3/1）、明黄褐色（2.5Y7/6）の混土
2. 黒褐色（2.5Y7/1）ブロック少混じり灰白色（5Y7/1）ブロック、明黄褐色（2.5Y7/6）の混土
3. 黒褐色（2.5Y3/1）ブロック少混じり灰白色（5Y7/1）ブロック、黄色（2.5Y8/6）ブロックの混土
4. 黄色（2.5Y8/6）ブロック、黒褐色（2.5Y3/1）少混じり灰白色（5Y7/1）粘質土



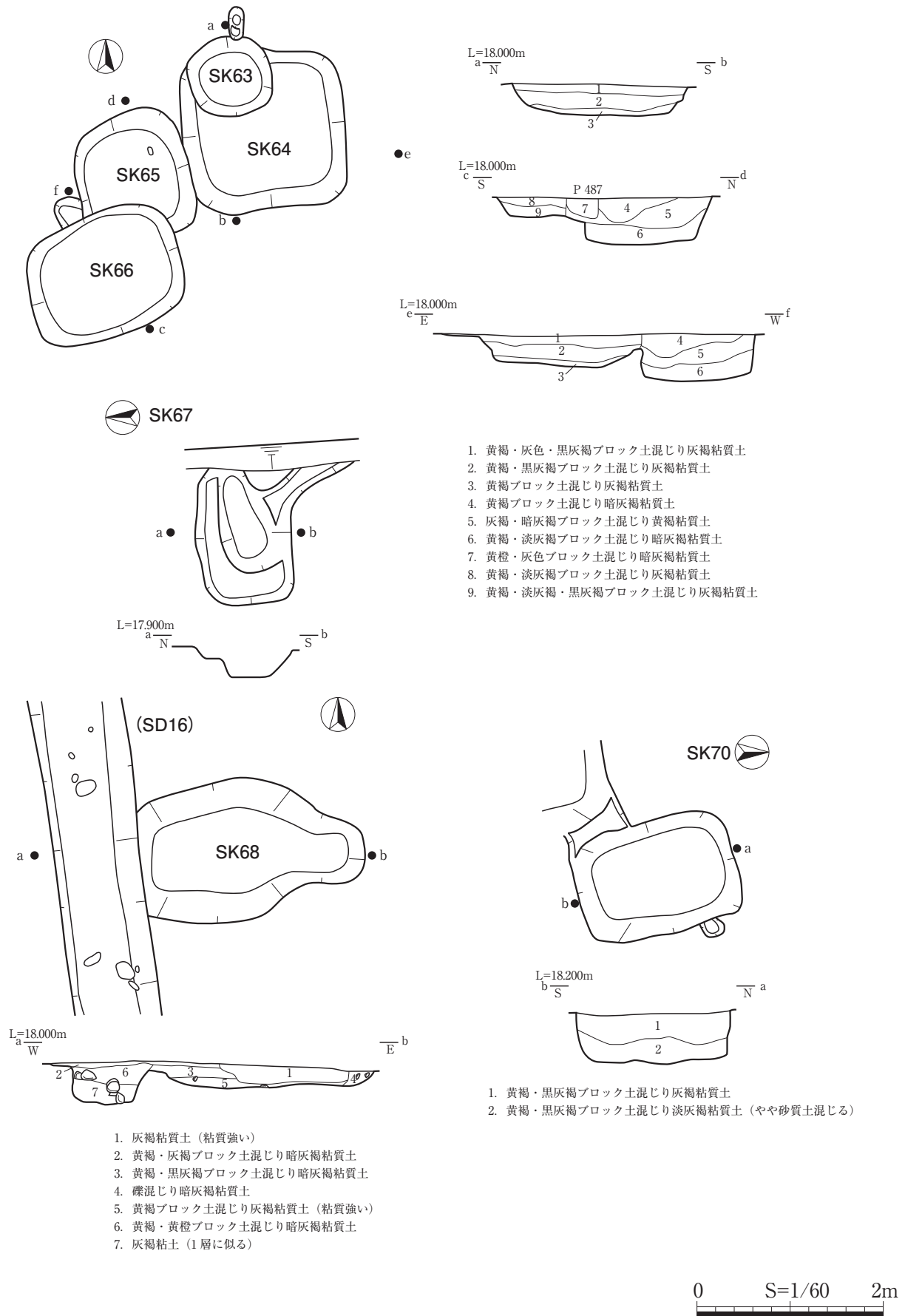
1. 黄色（2.5Y8/8）ブロック、黒褐色（2.5Y3/1）ブロック混じり灰色（5Y4/1）粘質土
2. 灰色（5Y6/1）ブロック、黒褐色（2.5Y3/1）ブロック、黄色（2.5Y7/8）ブロックの混土
3. 黒褐色（2.5Y3/1）ブロック混じり灰色（5Y6/1）粘質土



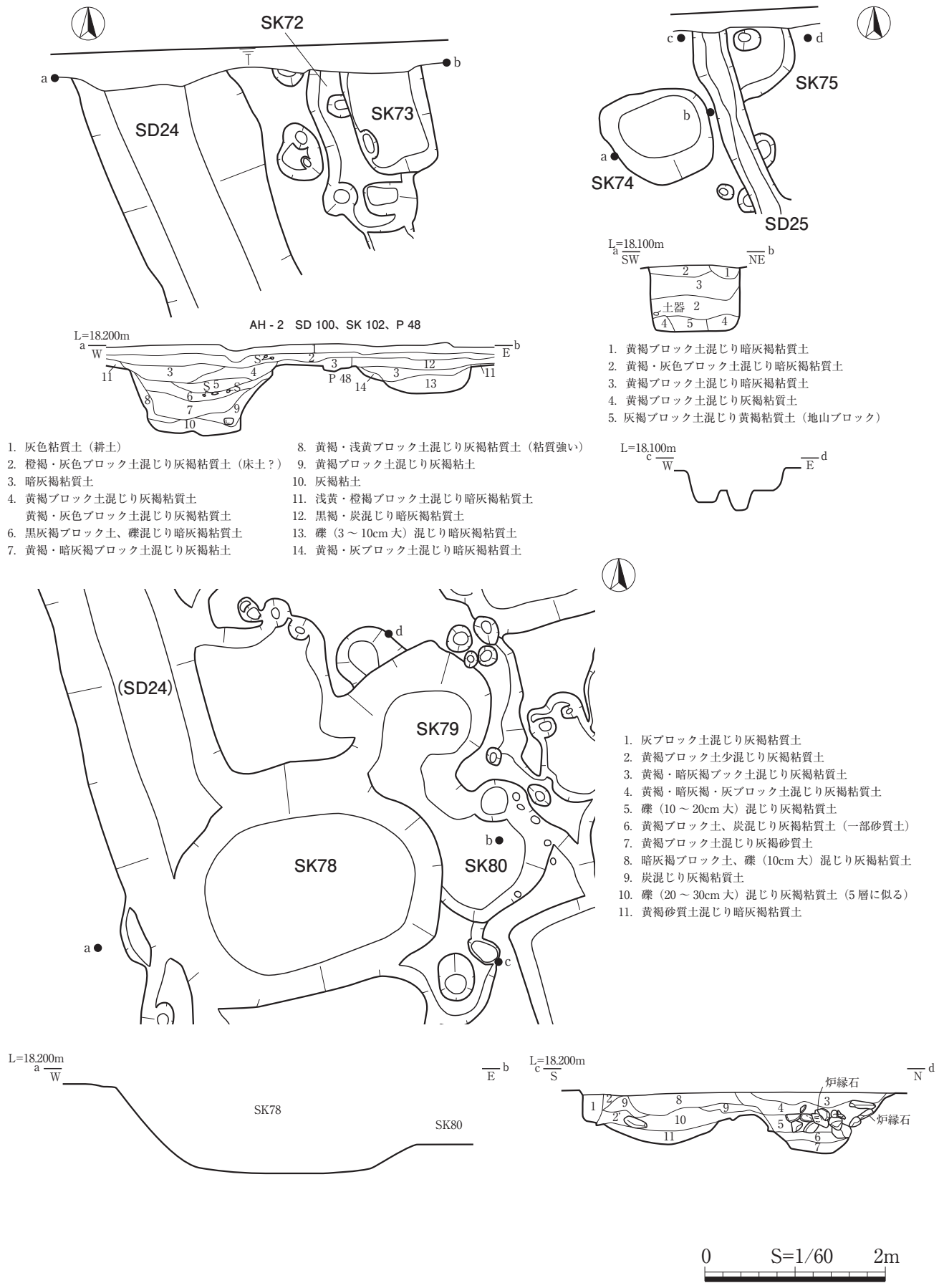
第70図 SK45～SK48・SK54～SK57遺構図・土層断面図（S=1/60）



第71図 SK58～62遺構図・土層断面図 (S=1/60)



第72図 SK63~SK68・SK70・SD16遺構図・土層断面図（S=1/60）

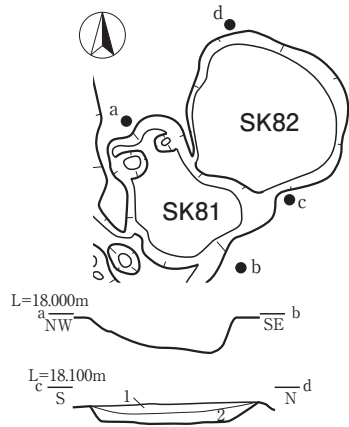


- 1. 灰色粘質土 (耕土)
- 2. 橙褐・灰色ブロック土混じり灰褐粘質土 (床土?)
- 3. 暗灰褐粘質土
- 4. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土
黄褐・灰色ブロック土混じり灰褐粘質土
- 6. 黒灰褐ブロック土、礫混じり暗灰褐粘質土
- 7. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘土
- 8. 黄褐・浅黄ブロック土混じり灰褐粘質土 (粘質強い)
- 9. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘土
- 10. 灰褐粘土
- 11. 浅黄・橙褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
- 12. 黒褐・炭混じり暗灰褐粘質土
- 13. 礫 (3~10cm大) 混じり暗灰褐粘質土
- 14. 黄褐・灰ブロック土混じり暗灰褐粘質土

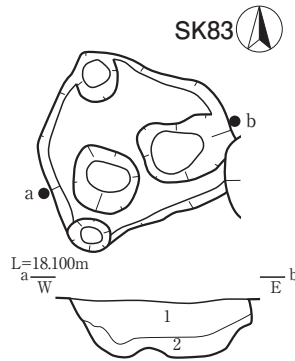
- 1. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
- 2. 黄褐・灰色ブロック土混じり暗灰褐粘質土
- 3. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土
- 4. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土
- 5. 灰褐ブロック土混じり黄褐粘質土 (地山ブロック)

- 1. 灰ブロック土混じり灰褐粘質土
- 2. 黄褐ブロック土少混じり灰褐粘質土
- 3. 黄褐・暗灰褐ブロック土混じり灰褐粘質土
- 4. 黄褐・暗灰褐・灰ブロック土混じり灰褐粘質土
- 5. 礫 (10~20cm大) 混じり灰褐粘質土
- 6. 黄褐ブロック土、炭混じり灰褐粘質土 (一部砂質土)
- 7. 黄褐ブロック土混じり灰褐砂質土
- 8. 暗灰褐ブロック土、礫 (10cm大) 混じり灰褐粘質土
- 9. 炭混じり灰褐粘質土
- 10. 礫 (20~30cm大) 混じり灰褐粘質土 (5層に似る)
- 11. 黄褐砂質土混じり暗灰褐粘質土

第73図 SK72~SK75・SK78~SK80・SD24・SD25遺構図・土層断面図 (S = 1 / 60)

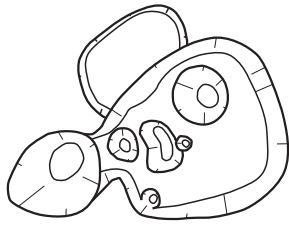


1. 黄褐ブロック土、炭小片混じり暗灰褐粘質土
2. 炭少片混じり暗灰褐粘質土

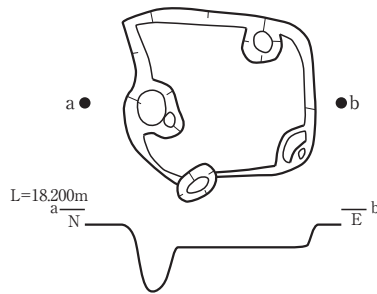


1. 暗灰褐・暗灰・黄褐・橙褐ブロック土混じり灰褐粘質土
2. 黄褐・灰褐・橙褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土

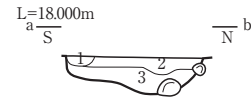
SK84 (第6次調査分を含む)



SK85

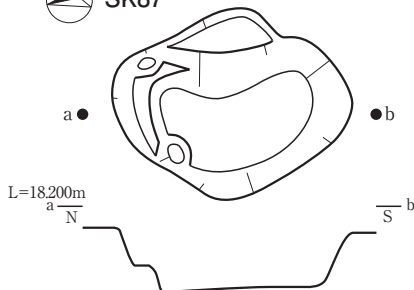


SK86

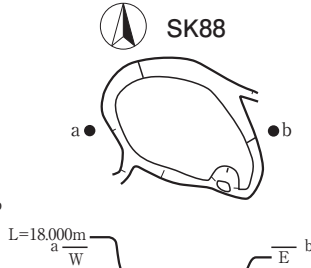


1. 黄色ブロック混じり明青灰色粘質土
2. 黄色ブロック混じり黄灰色粘質土
3. 灰色ブロック、黄色ブロック混じり黄灰色粘質土

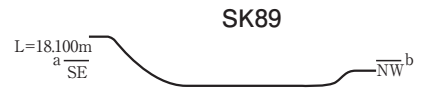
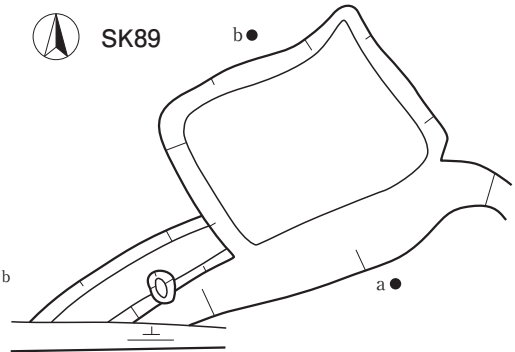
SK87



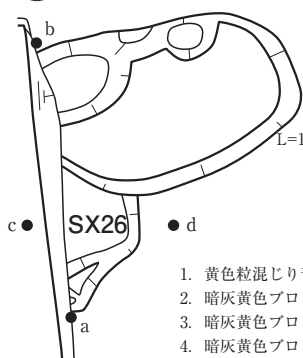
SK88



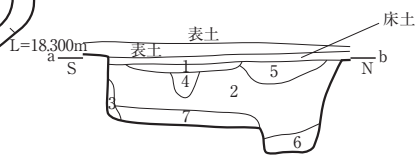
SK89



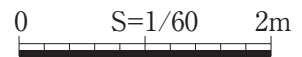
SK90



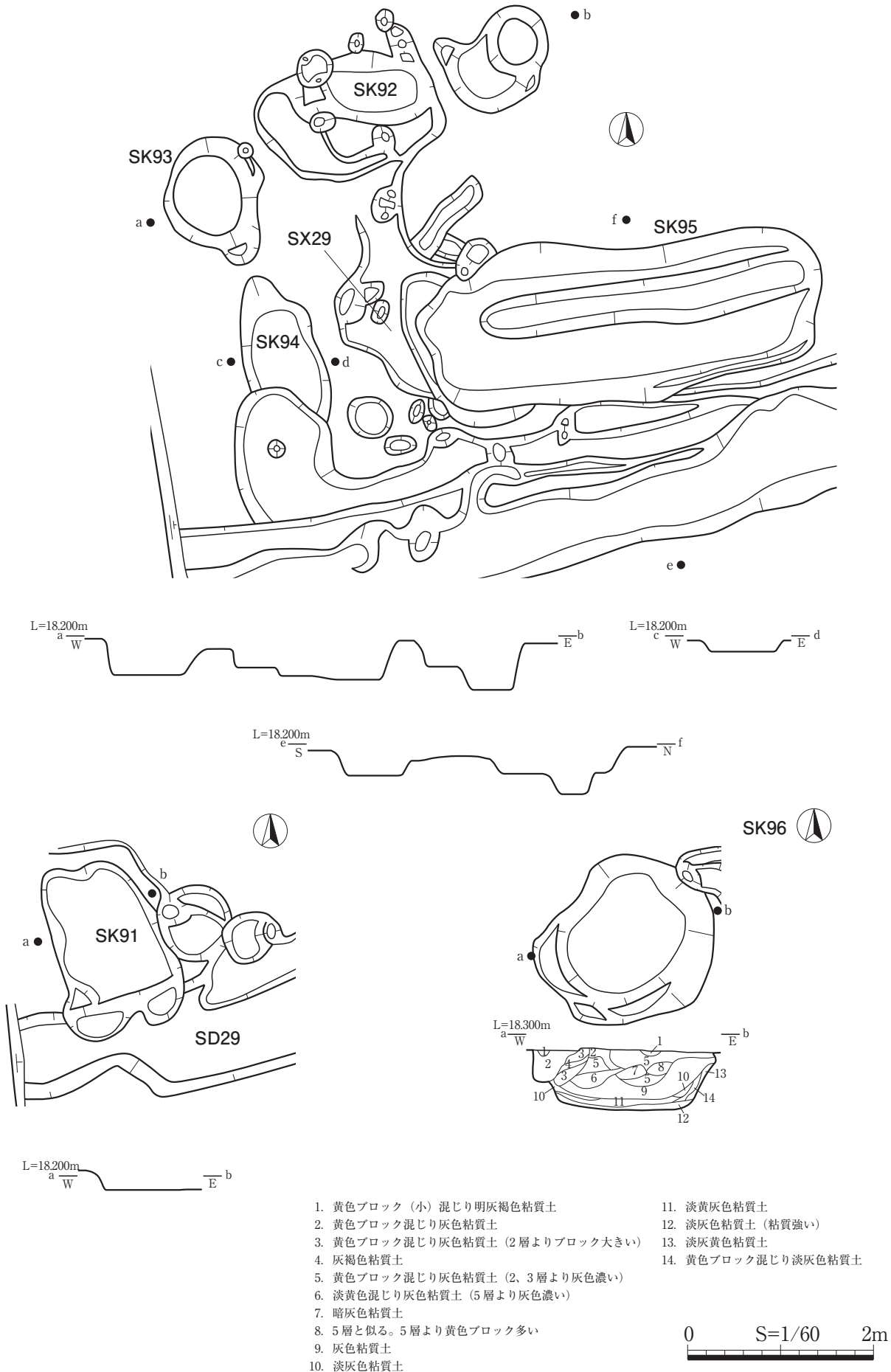
SK90



1. 黄色粒混じり青灰褐色粘質土
2. 暗灰黄色ブロック、明黄褐色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
3. 暗灰黄色ブロック、明黄褐色ブロック混じり淡黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
4. 暗灰黄色ブロック、明黄褐色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (2層より少し濃い)
5. 暗灰黄色ブロック、明黄褐色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
6. 淡黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (しっとりしている)
7. 淡黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土

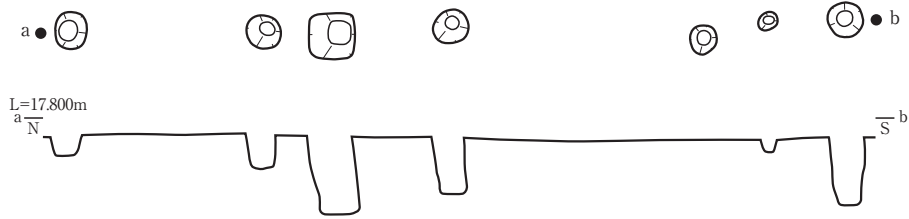


第74図 SK81~SK90・SX26遺構図・土層断面図 (S=1/60)

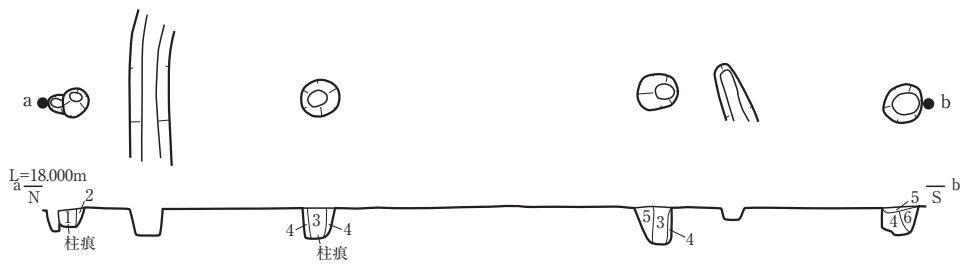


第75図 SK91~SK96・SX29遺構図・土層断面図（S=1/60）

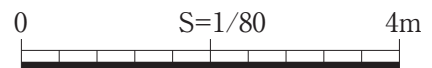
SA1



SA2

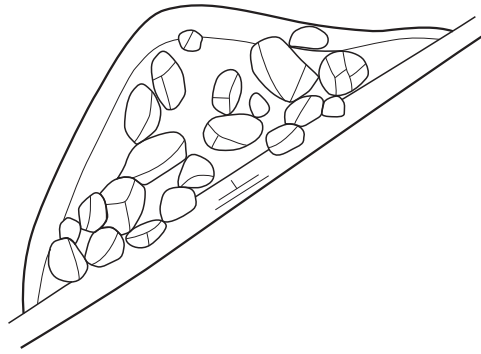


1. 黄褐ブロック土混じり黒灰褐粘質土
2. 黄褐ブロック土混じり黒灰粘質土
3. 褐灰粘質土
4. 黄褐ブロック土混じり褐灰粘質土
5. 黄灰褐粘質土
6. 灰黄褐粘質土



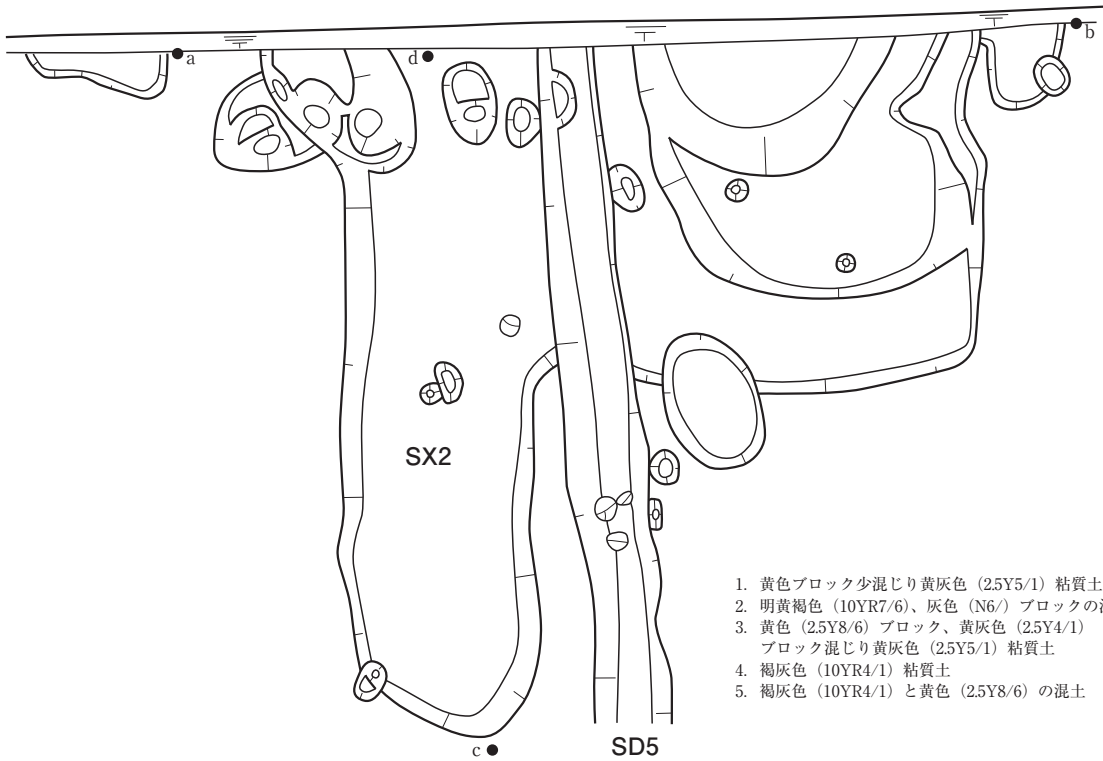
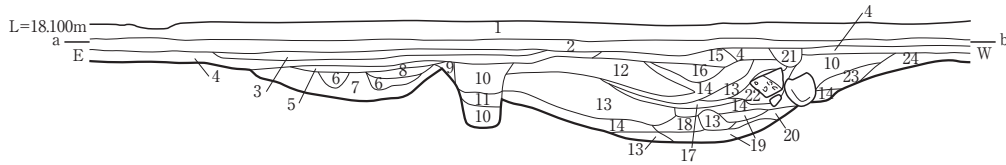
第76図 SA1・SA2遺構図・土層断面図 (S=1/80)

SX1



0 S=1/30 1m

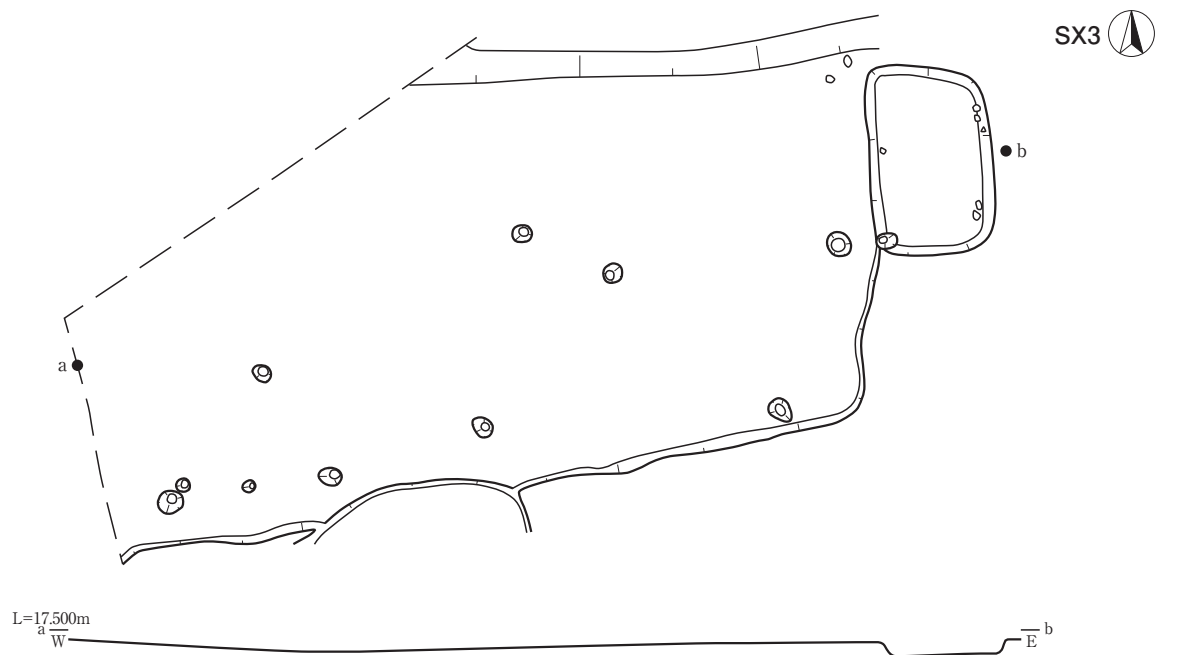
- | | |
|---|--|
| 1. 耕土 | 12. 黄灰色 (2.5Y6/1) 砂礫土 (こぶし大~少礫混じる) |
| 2. 床土 | 13. 黒色ブロック混じり黄色 (2.5Y8/6) 粘質土 |
| 3. 灰白色混じり明黄褐色 (10YR7/6) 粘質土 | 14. 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 |
| 4. 黄灰色 (2.5Y5/1) 混じり明黄褐色 (10YR7/6) 粘質土 | 15. 黄灰色 (2.5Y6/1) 混じり黄橙色 (10YR8/8) 粘質土 |
| 5. 黄橙色 (10YR8/8) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 | 16. 黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土 |
| 6. 黄灰色 (2.5Y4/1) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 | 17. 黒色 (2.5Y2/1) 粘質土 |
| 7. 明黄褐色 (2.5Y7/6) ブロック少混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 | 18. 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 |
| 8. 黄灰色 (2.5Y5/1) ブロック、黄灰色 (2.5Y6/1) ブロック、明黄褐色 (2.5Y7/6) ブロックの混土 | 19. 黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 |
| 9. 濁黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土 | 20. 黒色ブロック、黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 |
| 10. 明黄褐色 (2.5Y7/6) ブロック少混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (炭化物混じる) | 21. 灰色 (N6/) 粘質土 |
| 11. 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質土 | 22. 黄色ブロック混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土 |
| | 23. |
| | 24. 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 |



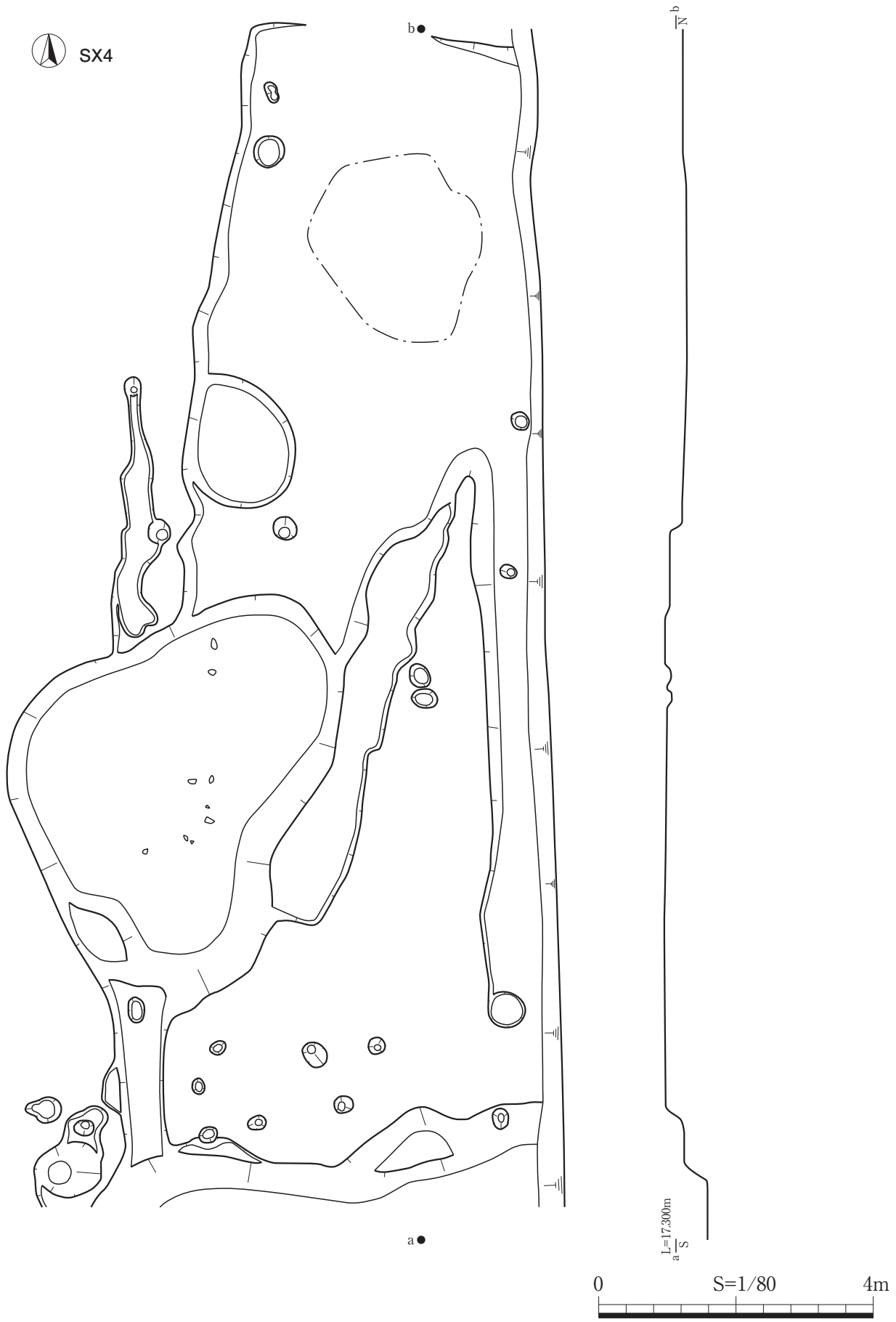
1. 黄色ブロック少混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
2. 明黄褐色 (10YR7/6)、灰色 (N6/) ブロックの混土
3. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック、黄灰色 (2.5Y4/1) ブロック混じり黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
4. 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土
5. 褐灰色 (10YR4/1) と黄色 (2.5Y8/6) の混土

0 S=1/60 2m

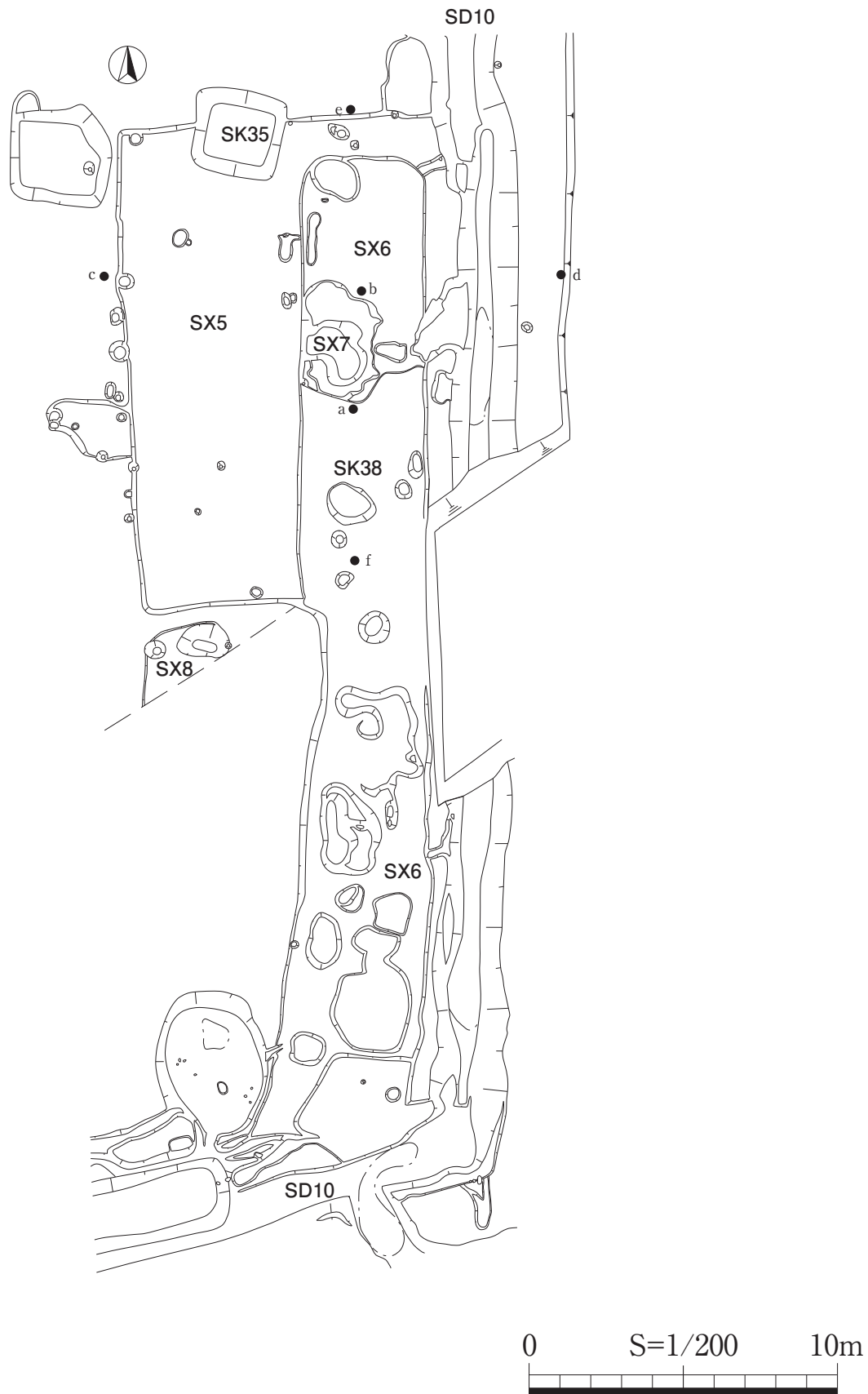
第77図 SX1・SX2・SD5遺構図・土層断面図 (S=1/60、SX1はS=1/30)



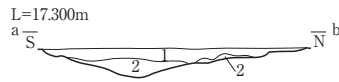
第78図 SX3遺構図・土層断面図 (S=1/80)



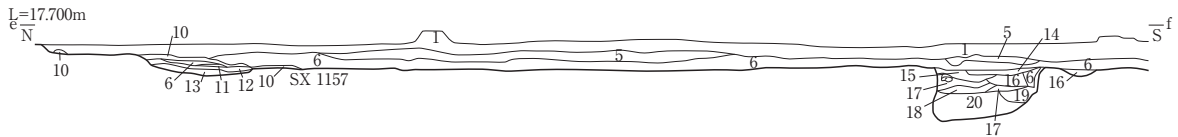
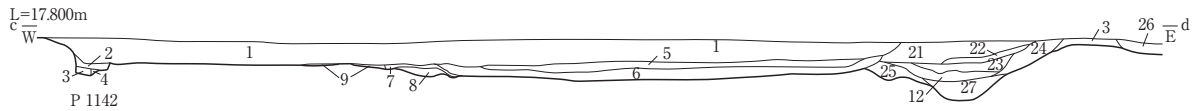
第79図 SX4遺構図・土層断面図 (S=1/80)



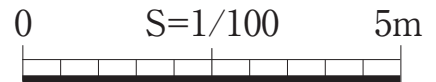
第80図 SX 5 ~ SX 8 ・ SK38遺構図 (S = 1 / 200)



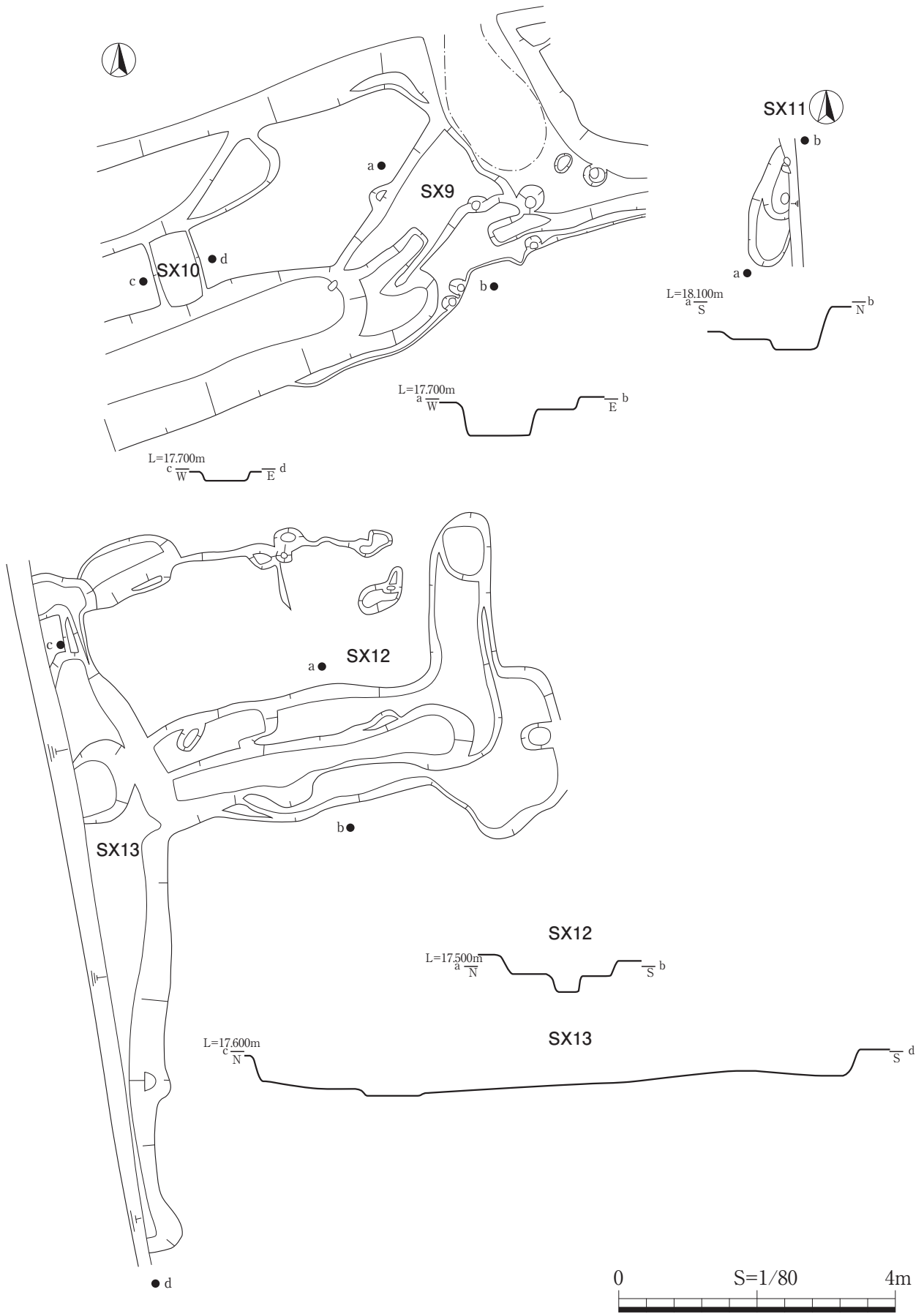
1. 橙褐（鉄分）混じり灰白粘質土
2. 明灰白粘質土



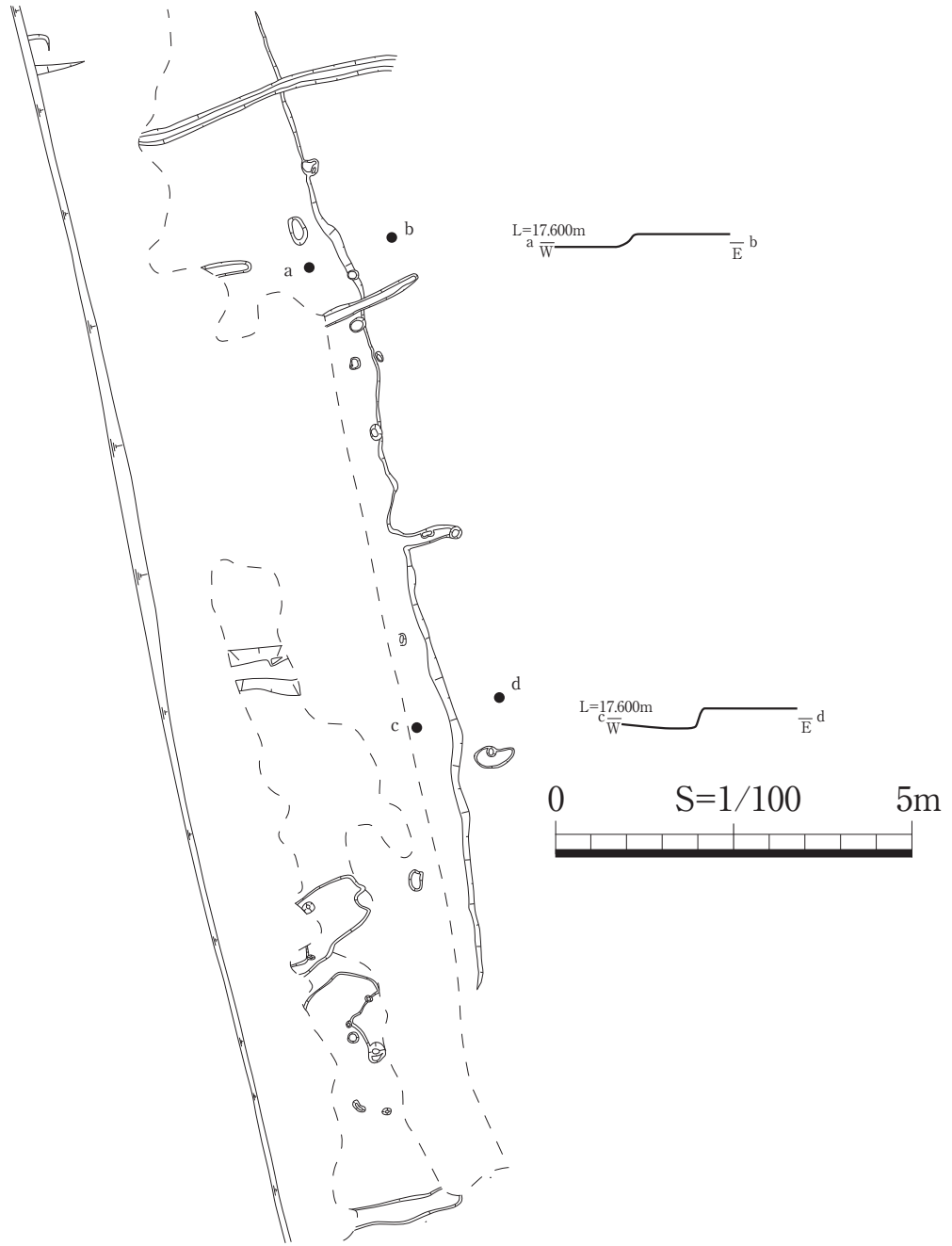
- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 褐粘質土 2. 黄褐・灰褐・黒灰褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 3. 黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 4. 灰褐ブロック土少混じり黄褐粘質土 5. 黄橙ブロック土少混じり褐粘質土（鉄分多く含む） 6. 5層に似る。5層よりも黄橙ブロック土多く混じる 7. 黄橙ブロック土、礫（3cm）混じり褐粘質土 8. 黄褐ブロック土、礫（5cm）混じり暗灰褐粘質土 9. 褐粘質土少混じり黄粘質土（貼床） 10. 橙褐ブロック土（鉄分）混じり褐粘質土 11. 10層に似る。10層よりも橙褐ブロック土（鉄分）少ない 12. 黄褐ブロック土混じり暗灰褐粘質土 13. 暗灰褐ブロック土混じり黄粘質土 14. 淡黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土（整地土） | <ol style="list-style-type: none"> 15. 灰褐ブロック土少混じり淡黄褐粘質土（鉄分多く含む、整地土） 16. 灰色砂質土混じり淡青灰砂質土（鉄分多く含む） 17. 灰白砂質土混じり淡青灰砂質土（鉄分多く含む） 18. 淡青灰砂質土混じり灰白砂質土（鉄分多く含む） 19. 淡青灰砂質土 20. 淡灰褐ブロック土、礫（15cm）混じり青灰砂質土 21. 灰褐粘質土（鉄分多く含む） 22. 黒灰・黄褐ブロック土混じり灰褐粘質土 23. 黒灰ブロック土混じり灰褐粘質土 24. 暗灰褐粘質土 25. 灰褐粘質土混じり淡黄褐砂質土 26. 灰色砂土（現代用水） 27. 石礫（5～10cm）混じり暗灰褐粘質土（粘性強い） |
|--|--|



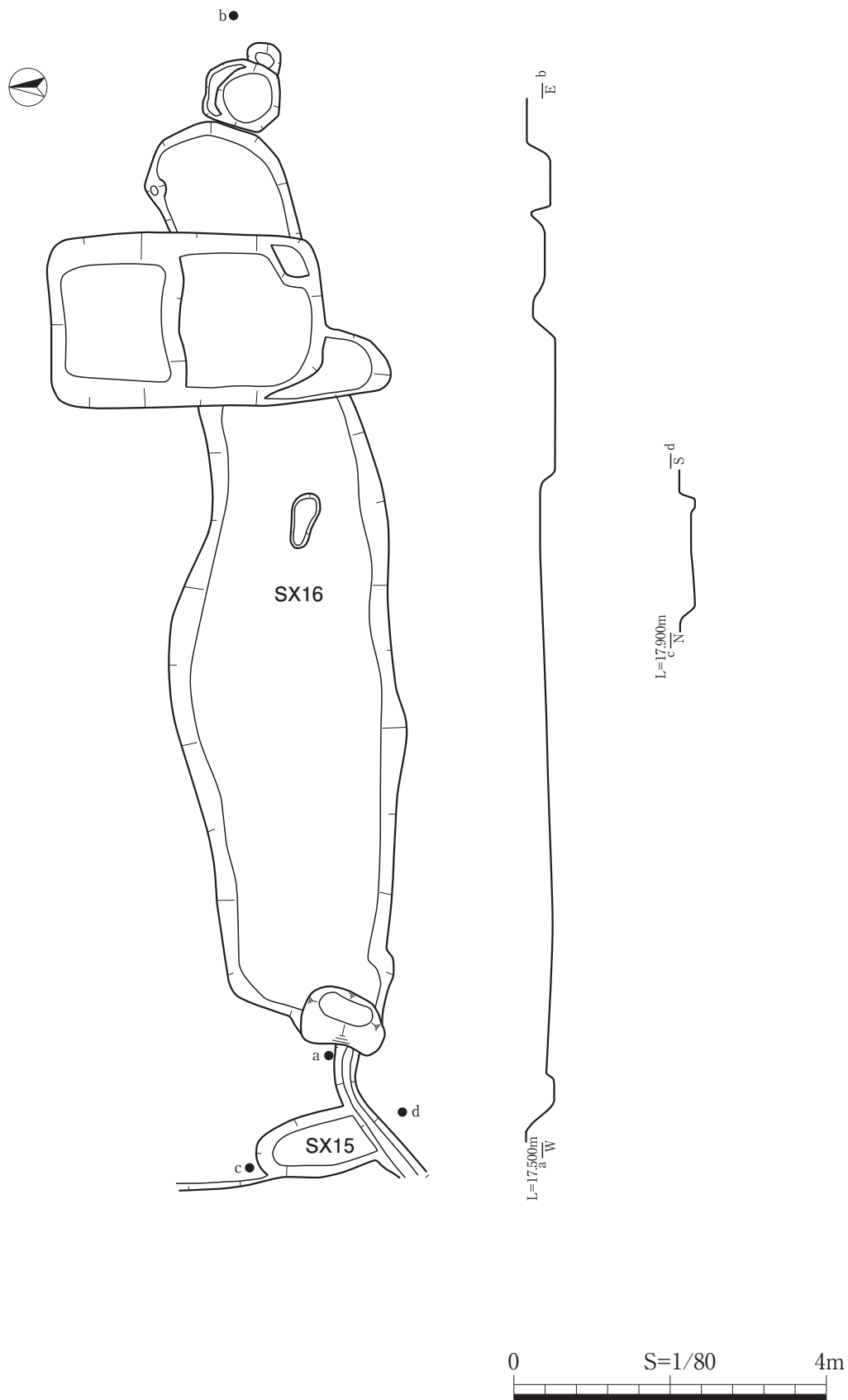
第81図 SX 5～SX 8・SK38土層断面図（S=1/100）



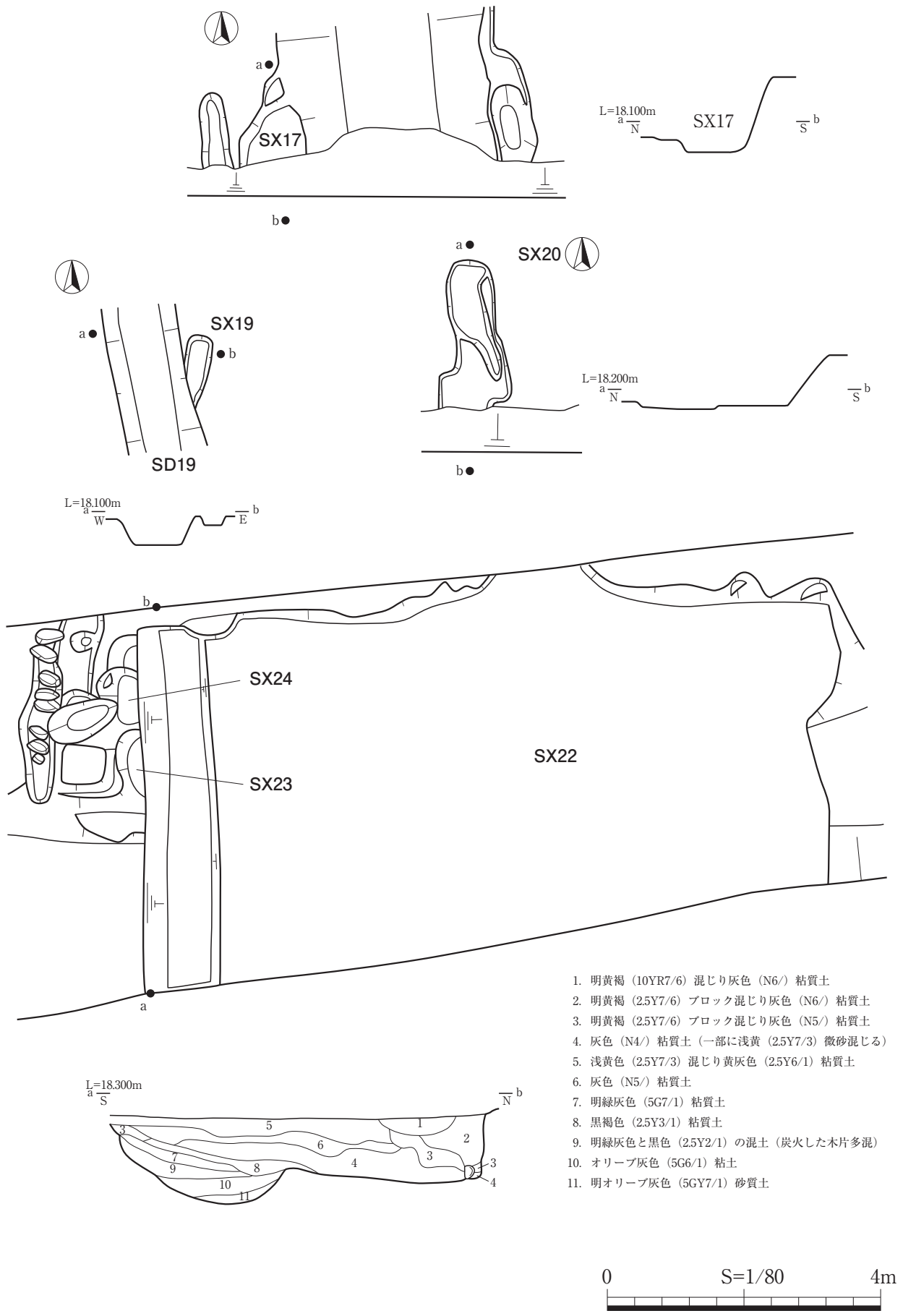
第82図 SX 9 ~SX13遺構図・土層断面図 (S= 1 / 80)



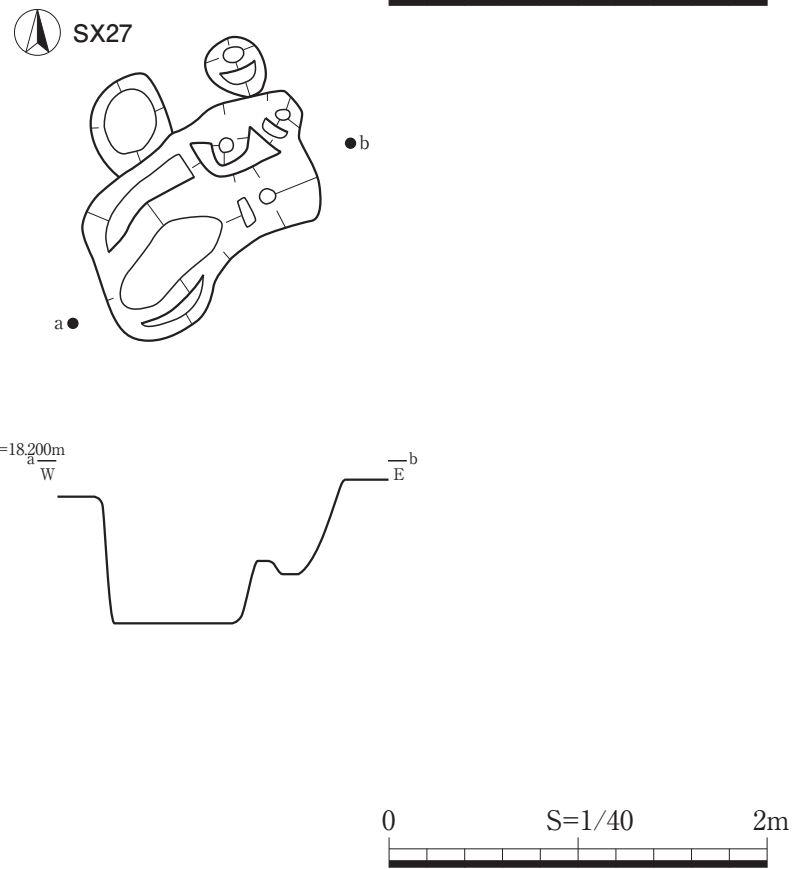
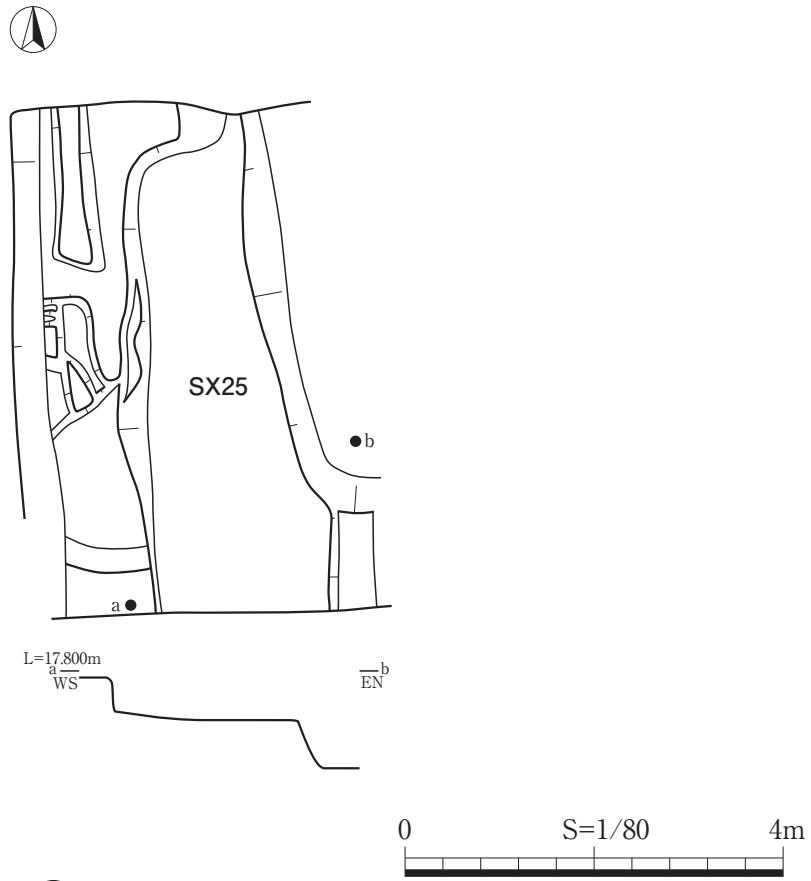
第83図 SX14遺構図・土層断面図（遺構図は $S = 1/200$ 、断面図は $S = 1/100$ ）



第84図 SX15・SX16遺構図・土層断面図 (S=1/80)



第85図 SX17・SX19・SX20・SX22～SX24遺構図・土層断面図 (S = 1 / 80)



第86図 SX25・SX27遺構図・土層断面図 (SX25は S = 1 / 80、SX27は S = 1 / 40)

第5節 遺物

遺物は弥生時代から近世にかけての土器・陶磁器、土製品、石製品、鉄製品等が出土した。実測図は第87図～第187図までを掲載している。以下は、掲載した遺物の中で特徴的なものについて記載している。大きさや調整など遺物の詳細については、観察表を参照していただきたい。

1～5は縄文時代後晩期の土器である。

6～24は弥生時代後期後半の土器である。

25～36は古代土器で、25～32は須恵器、33～36は土師器である。31の甕の頸部にはヘラ描の刻印が見られる。

37～170は中世土師器皿である。37は12世紀のロクロ土師器である。38以降は非ロクロ土師器で、口径6～9cmまでの小皿、口径9～10cmまでの中皿、口径10～14cm大皿に分かれる。タイプでは口縁部に一段のヨコナデを施すAタイプが最も多く、体部が屈曲・外反するEタイプや、京都系土師器皿のFタイプが定量確認できる。土師器皿の多くは口縁端部に灯心油痕が認められ、灯明皿に使用していたようである。

171～213は白磁である。皿は182や207のように挾高台が多い。181の皿は口縁部に灯心油痕が認められ、灯明皿に使用していたようである。198と211の外底部には墨書が認められる。両者とも判読はできない。なお、198については、当初墨描きした後に、漆状のもので上書きしている。

214～284は青磁である。壺は無文、篋線描蓮弁文、雷文などがあり、内面底には刻花文を施しているものが見られる。また、214は「徳」の吉祥文字が印刻されている。244と249の壺内面には茶筌のような跡が見られ、茶器に使用していたようである。280は完形の香炉で、3個の脚が付く。体部は竹の節を表している。282は花瓶の口縁部にあたる。口縁端部は花卉、頸部は竹節を表している。一部で漆継ぎが見られる。なお、この青磁花瓶は類例がほとんどなく、茶の湯の座敷飾りに使われていたと推測する。

288～347は瀬戸焼である。灰釉壺や皿、鉄釉皿、小杯、水柱、香炉、花瓶、天目茶碗など多機種に渡る。

348～360は瓦質土器である。香炉、鉢、風炉が見られ、茶の湯が盛んに行われていたことがわかる。

361～415は珠洲焼である。V～VI期のものが多い。416～440は越前焼、441～452は加賀焼である。428～432には格子などの押印、435・445・446には刻印が見られる。

453～482は近世以降の陶磁器である。468の大甕は漆継ぎの痕跡が認められる。

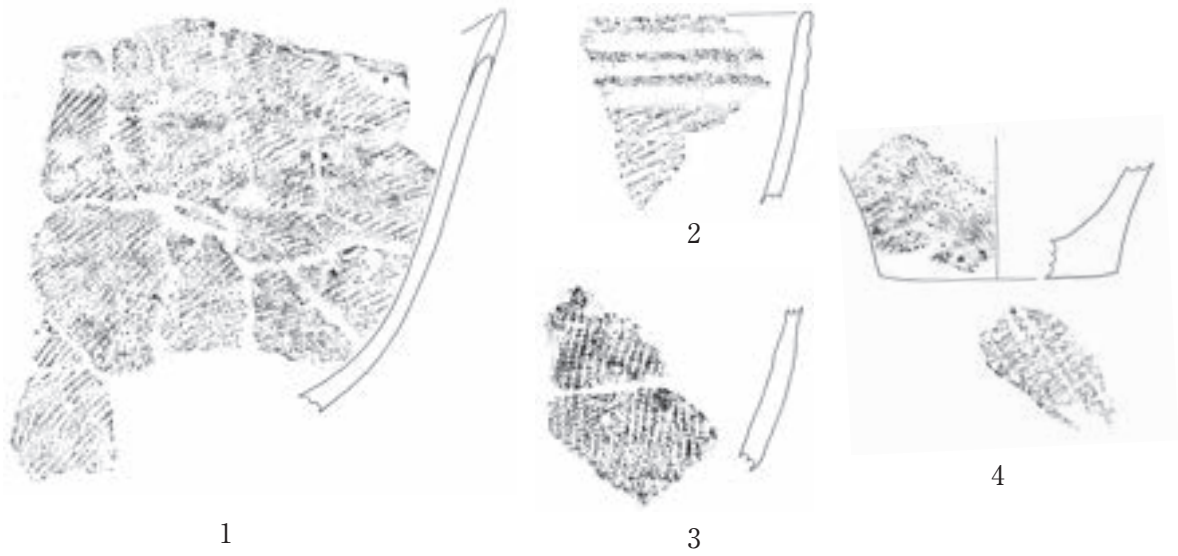
483～502は土製品である。483～488はフイゴ羽口である。483の内径は約2cmと計測できるが、その他は破片のため計測不可である。489～492は土錘で、492は中央部で穿孔している。493～495は土に植物繊維が塗り込まれていることから、建物の壁土にあたりと考えられる。496～502は近世の製品である。496～498は土人形で、496は魚の尾びれ、497は西行法師であろうか。498は男性座像である。499は鬼面の一部で、片目から鼻部まで残る。500と501は磁製人形で、500は犬の頭部、501は亀の甲羅部にあたる。502は土製鈴である。

503～516は木製品である。いずれも、近世以降の所産である。503～508は椀である。506は内面朱漆で、文様が入る。514は用途不明な棒状製品である。陽物形のような祭祀遺物かもしれない。516は刃物を装着する柄である。

517～583は鉄製品、584～614は銅製品である。517～534の鉄滓、537～539の刀製品、540～542の火箸、551～583の釘などは中世の所産である。535の七輪蓋、547～550の簪などは近世以降のものであろう。銅製品は銭貨の出土が最も多い。612～614の寛永通宝以外は、中世の渡来銭になると思われる。

615～895は石製品である。615～641は打製石斧である。615～630は、基部から刃部に向かって幅を広げていくが、中軸中程で最小となるCタイプ(分銅型)、631～634は、長方形の板状で、幅が基部から刃部までほとんど変わらないAタイプ(短冊型)、635～641は、基部から刃部へ向かって幅を広げていくBタイプ(撥型)である。圧倒的にCタイプが多い。また、出土した打製石斧のほとんどは、使用痕跡があり、使用中に折れてしまったものも多い。その中で、618・619・636・637は完形に近く、これらは使用頻度が少なかったようである。642～646は敲石及び磨石類で、以上が弥生時代までの製品で、以下は中世である。647～698は砥石である。647は荒砥、654は炉縁石を転用したものである。650と655は同一個体になるかもしれない。649と665は煤が付着している。667～692は中砥である。石材のほとん

どは凝灰岩である。688は煤が付着している。693～698は仕上砥で、ほとんどが鳴滝産と考えられる。699～705は石鉢である。699や702のようなフラスコのようなタイプもあるが、703～705のように、すり鉢を模倣したものが主流である。701は石塔の部位を転用したものかもしれない。706～721は石臼である。706～715は上臼、716～721は下臼である。上臼の断面形から、709・711・713は台形状が強く、上縁全体が丸みを帯びていることから、15世紀前半のⅠ期、706・707・714は断面形の台形が弱まり、上縁の端部が平坦になる15世紀後半のⅡ期、708・710は、上縁の端部が平坦で角をもつようになり、窪みが浅く平坦化する16世紀前半のⅢ期となる。722～743は行火である。ほとんどが破片で、形状を復元できるものはない。722～738は、前側面に上向きの口を大きく開けた構造のⅠ種、739～741は、上方に口を設けて前側面に縦格子の窓を開けた構造のⅡ種である。742と743はⅡ種の蓋となる。744～834は炉縁石である。ほとんどの製品は廃棄に伴うもので破片が多く、竪穴状遺構や土坑などに一括で埋まっているものもあった。形状は直方型と鉤型、T字型がある。また、直方型のものには、断面が方形と台形に大別され、台形のものが多い。835～842は、石塔の部位である。835は蓮華文を施した灯籠の台座になるのか。839の五輪塔火輪の上部には、一部削り落とした箇所が見受けられる。841の地輪も中を大きく削りぬいている。843は火打石、844は用途不明のドーナツ型をした石製円盤である。845～849は碁石である。845～848は黒石、849は白石である。850は鉄砲玉である。包含層からの出土なので、詳細時期は不明である。852～895は自然石であるが、比熱を受けて煤が付着したものである。北加賀地域の中世集落遺跡から多く出土する。用途は不明で、852・853・882のように全体が煤で覆われているものがあれば、854・859・864のように一部が集中して付着するもの、856・867のように複数の箇所に付着するものに分かれる。また、比熱を多く受け、煤が濃くなっているものと、比熱を受けることが少なかったためか、煤の薄いものも見られる。



1

2

3

4



5



6



7



8



9



10



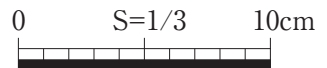
11



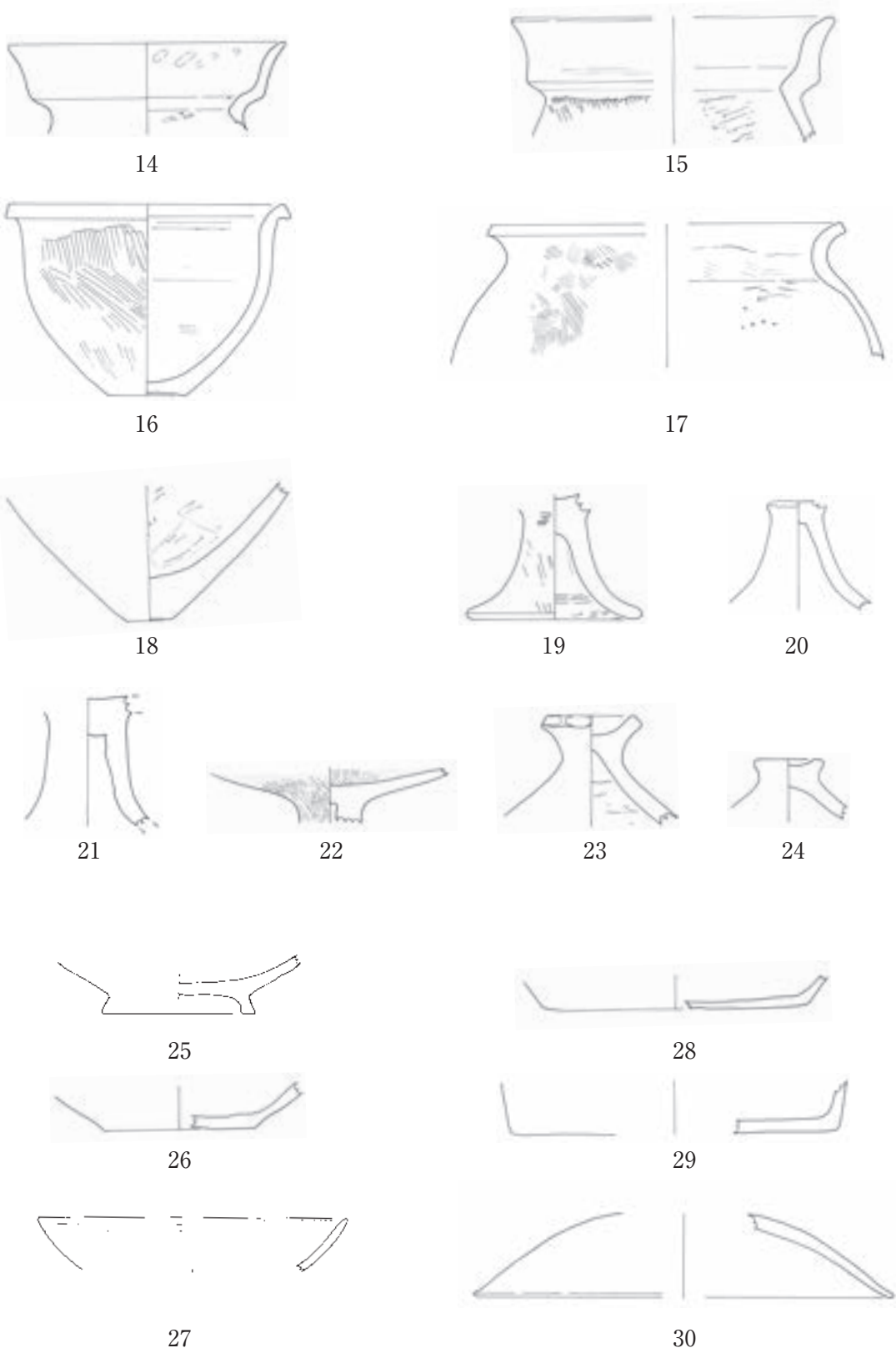
12



13

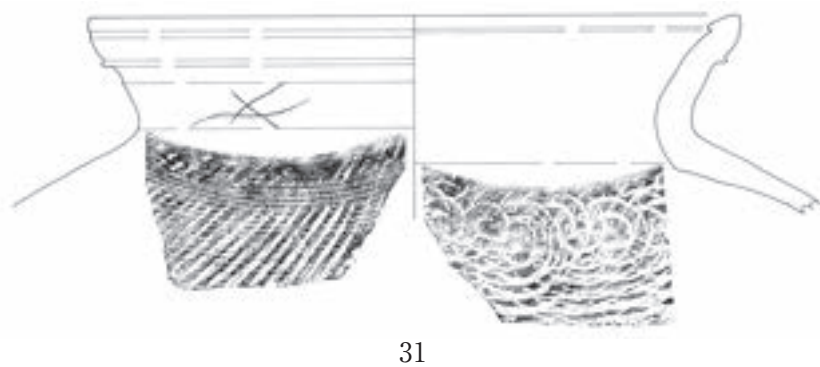


第87图 遺物実測図1 (S= 1 / 3)

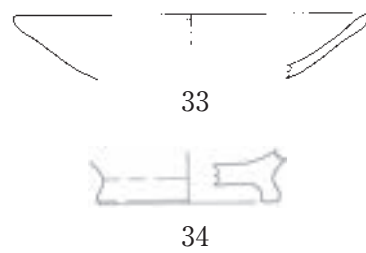


0 S=1/3 10cm

第88图 遺物実測図2 (S=1/3)



31



33



34



32



35



36



37



38



39



40



41



42



43



44



45



46



47



48



49



50



51



52



53



54



55



56



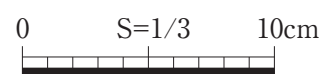
57



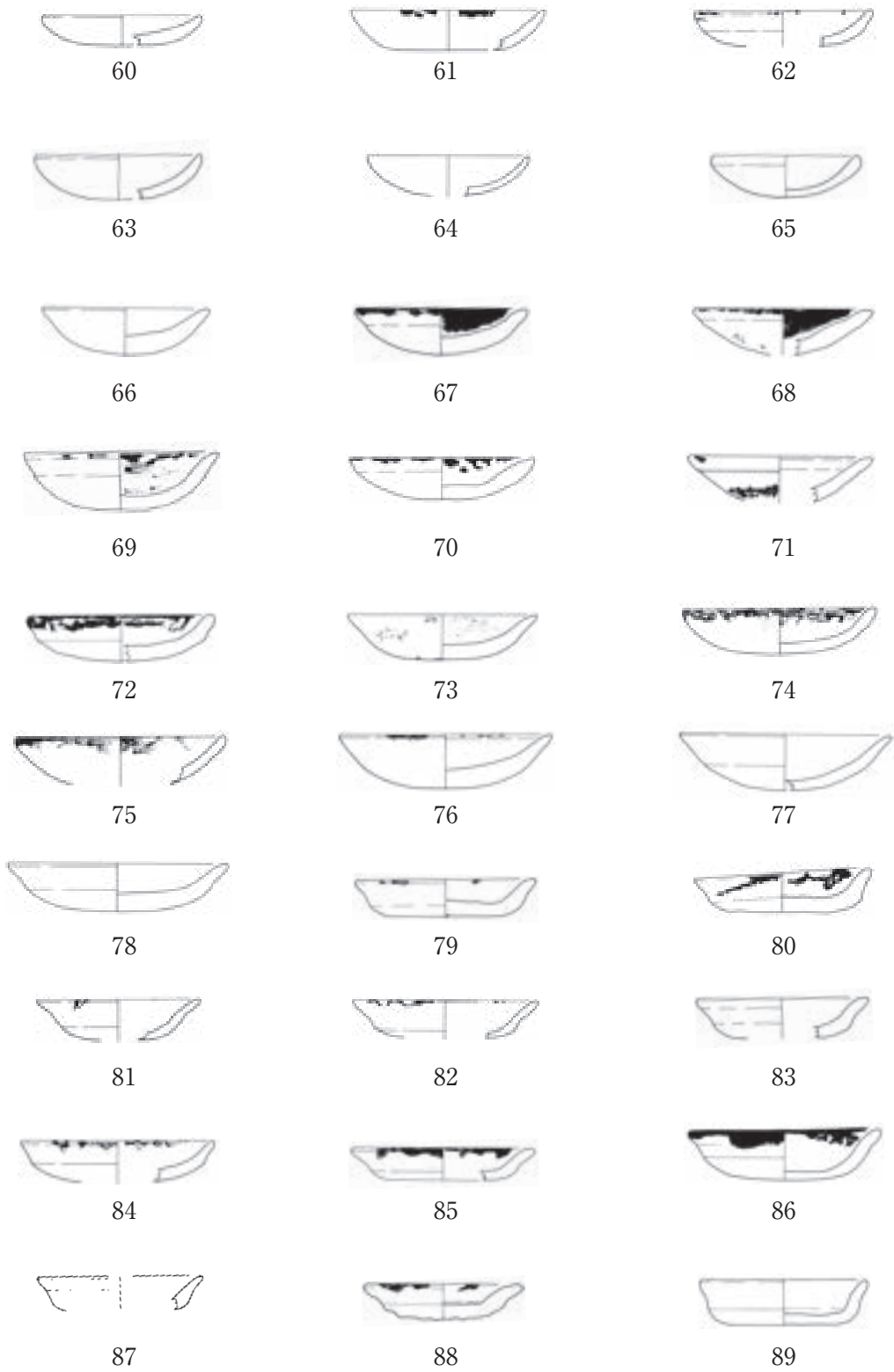
58



59

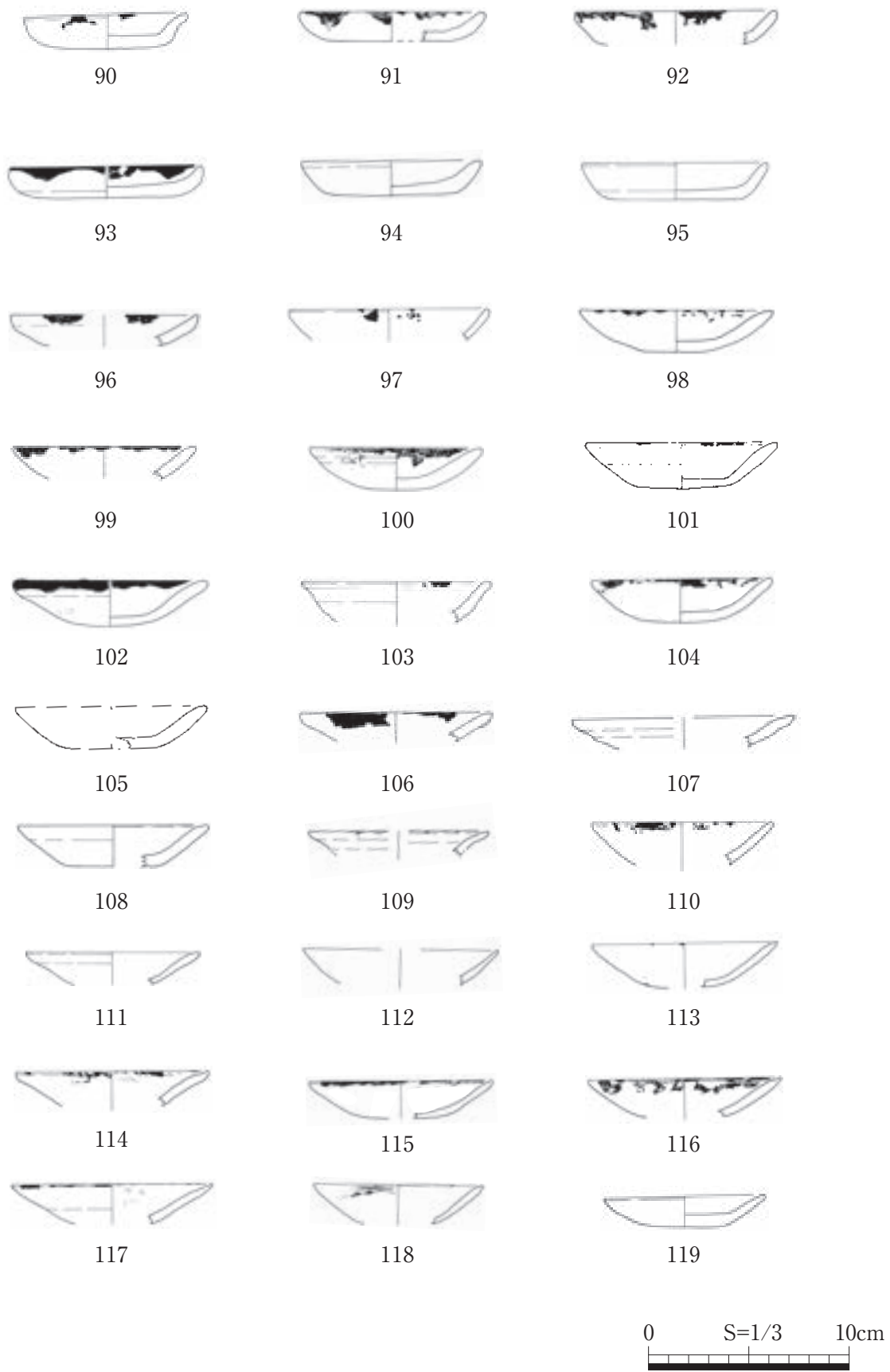


第89図 遺物実測図3 (S=1/3)

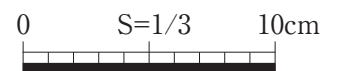
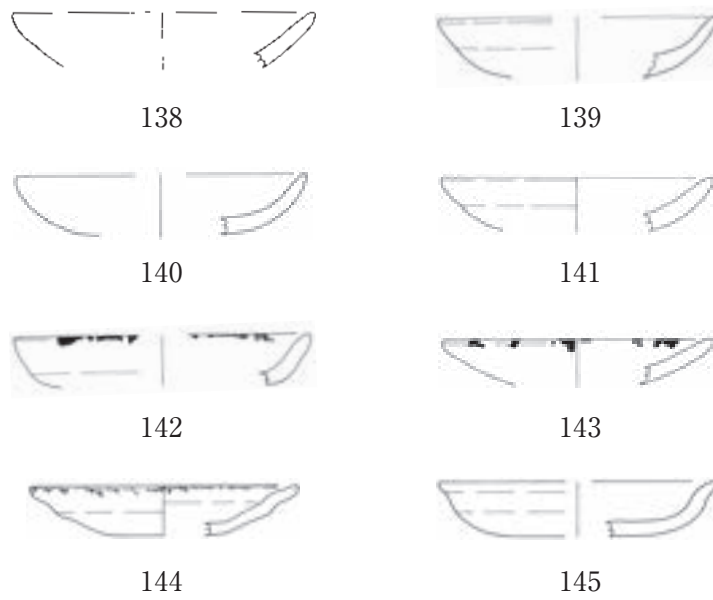
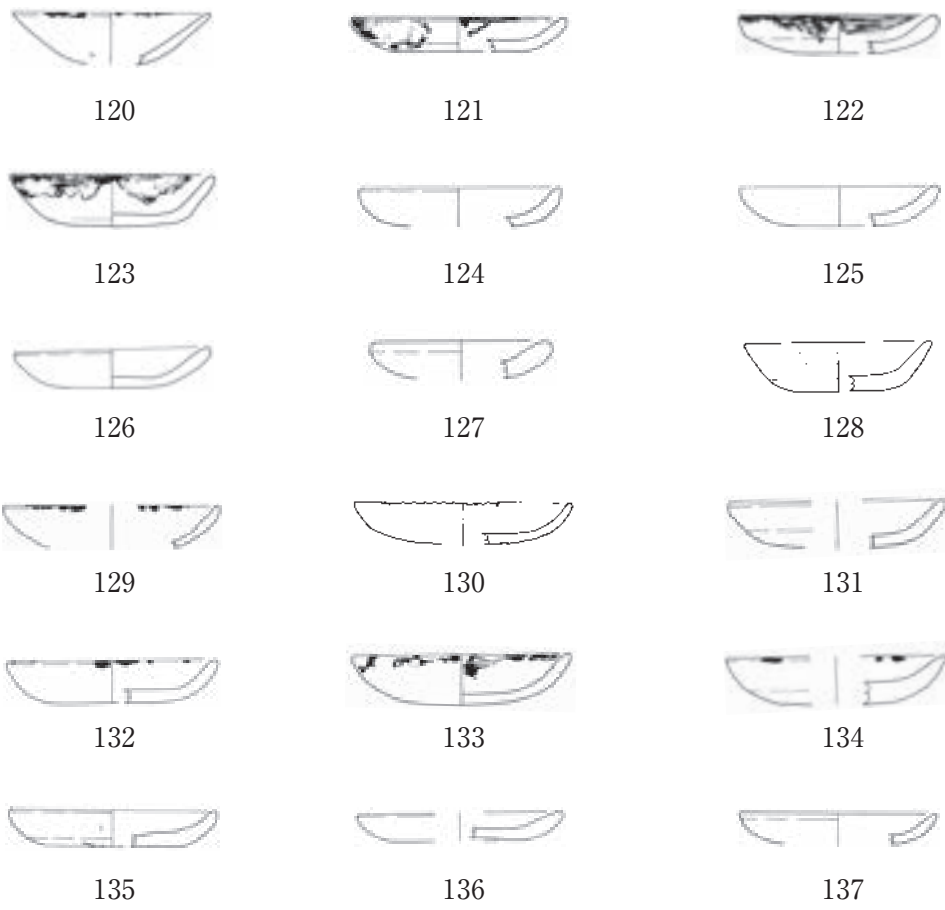


0 S=1/3 10cm

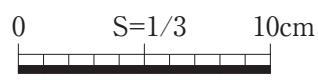
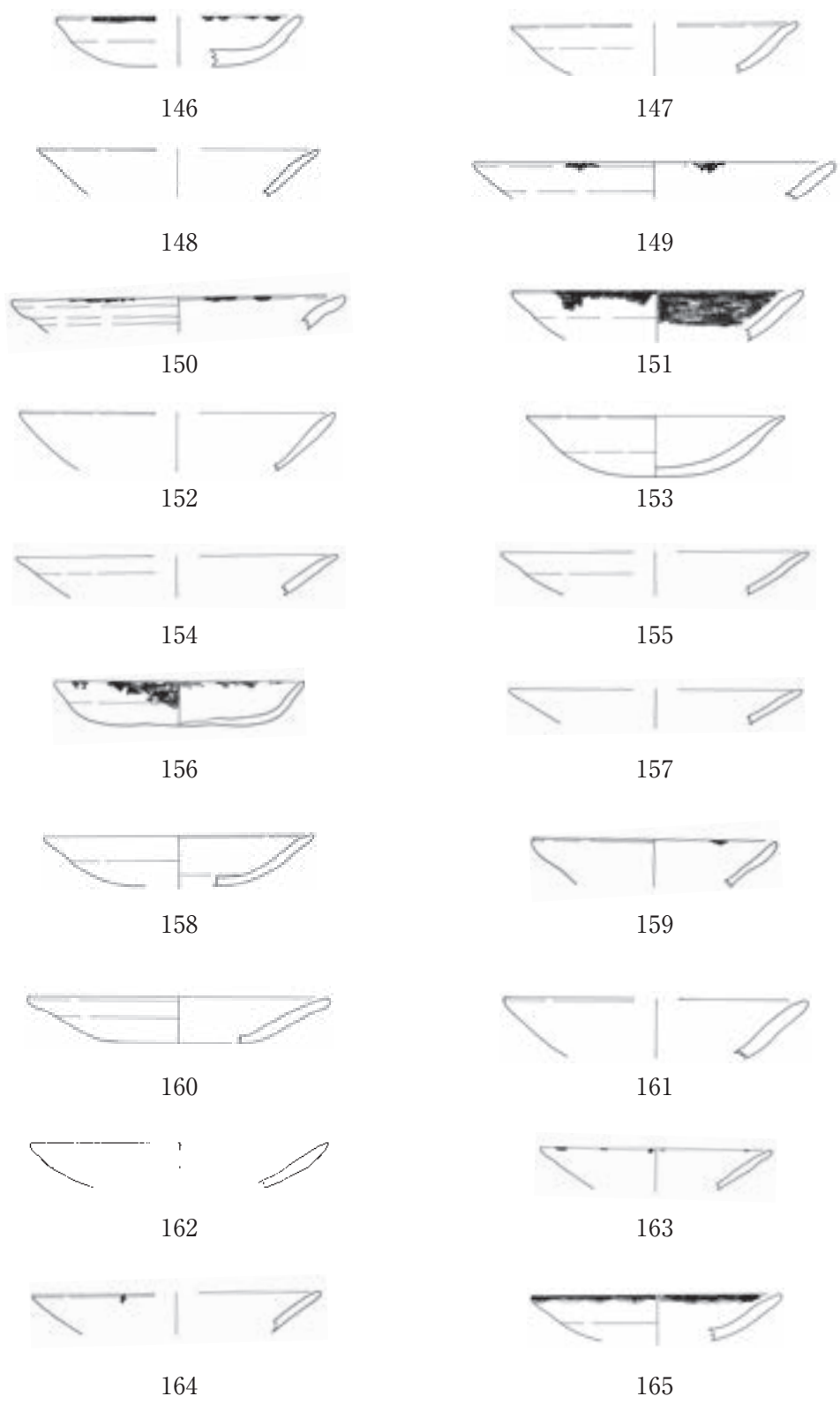
第90図 遺物実測図4 (S=1/3)



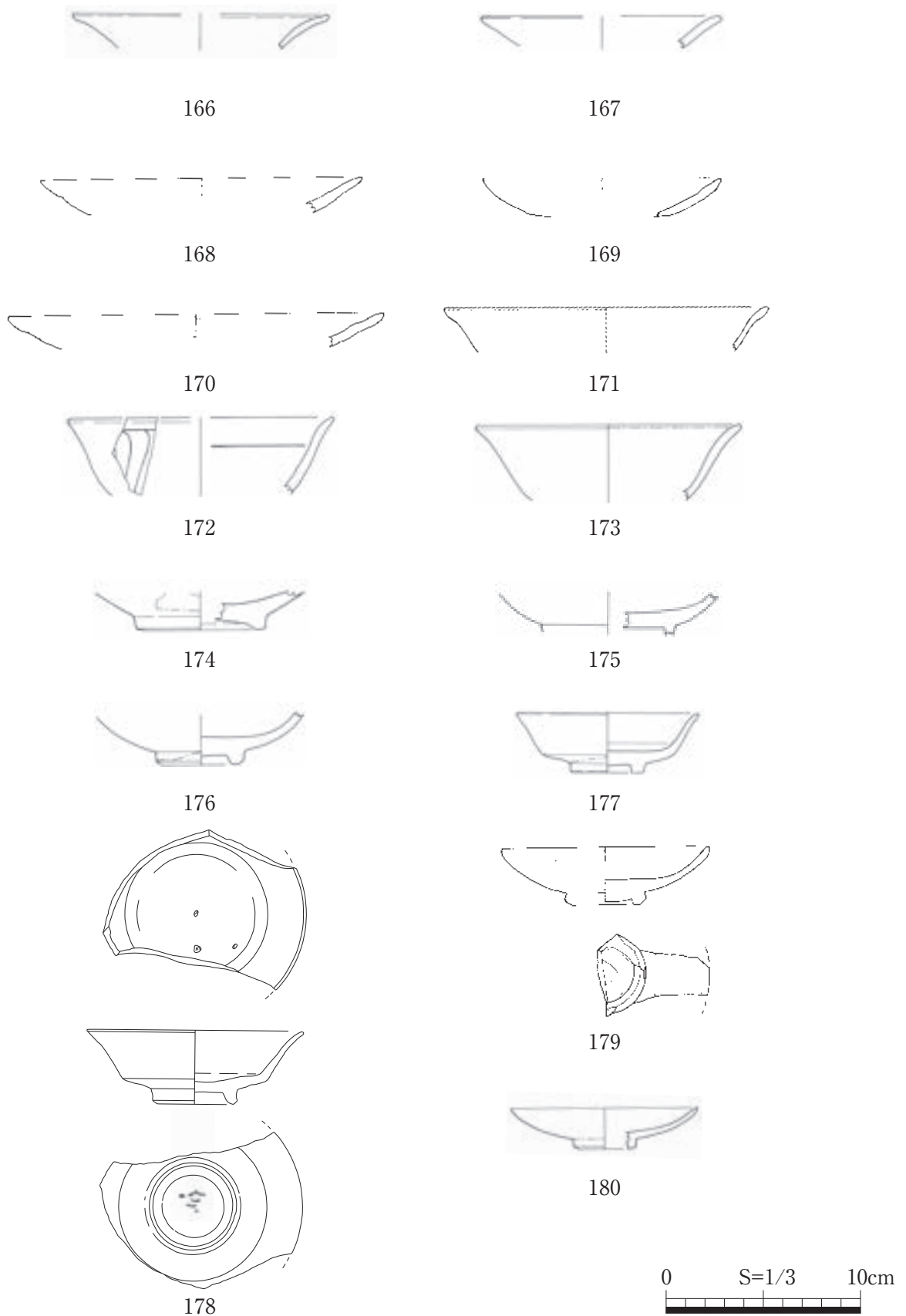
第91图 遺物実測図5 (S=1/3)



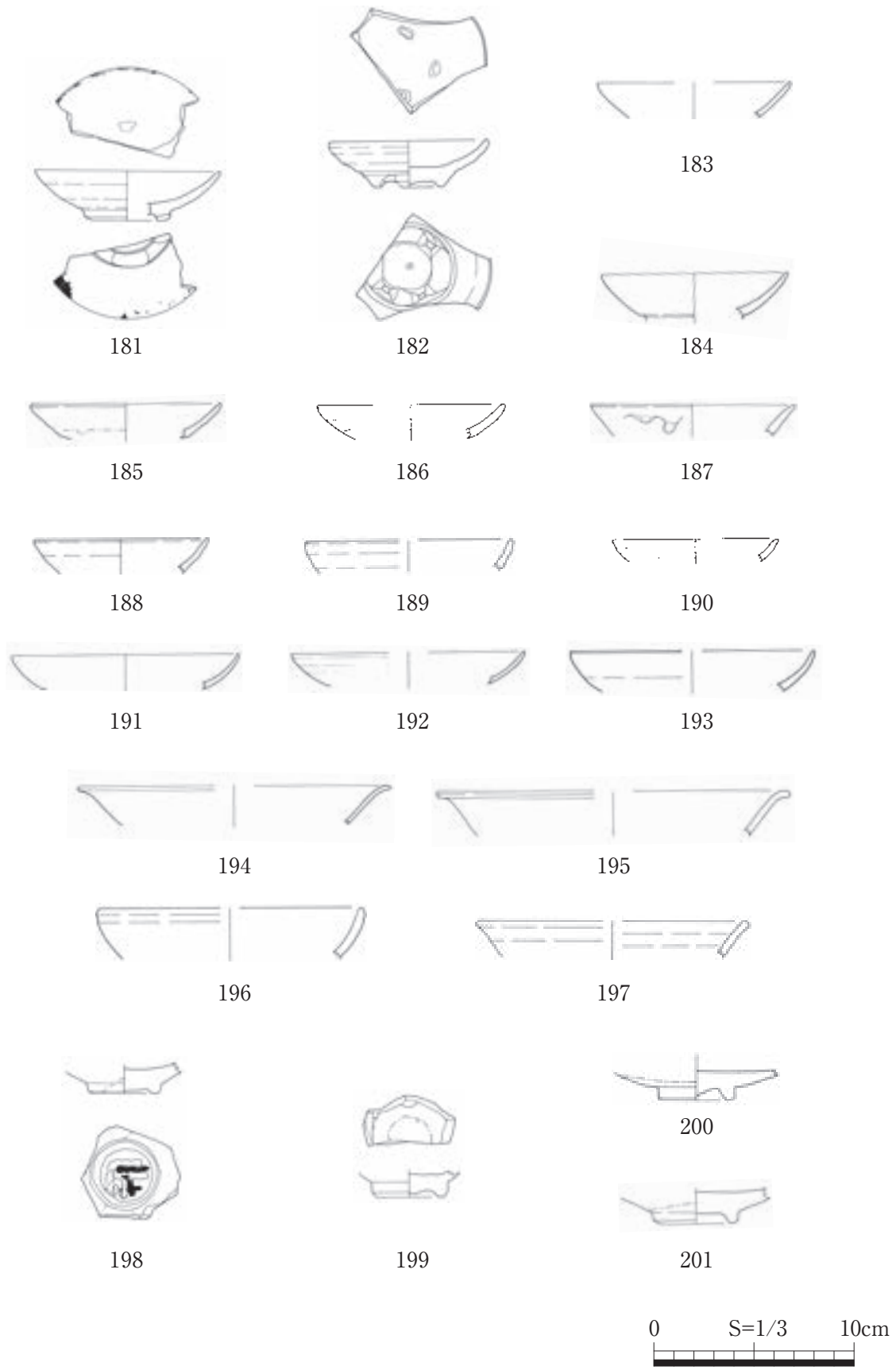
第92図 遺物実測図6 (S=1/3)



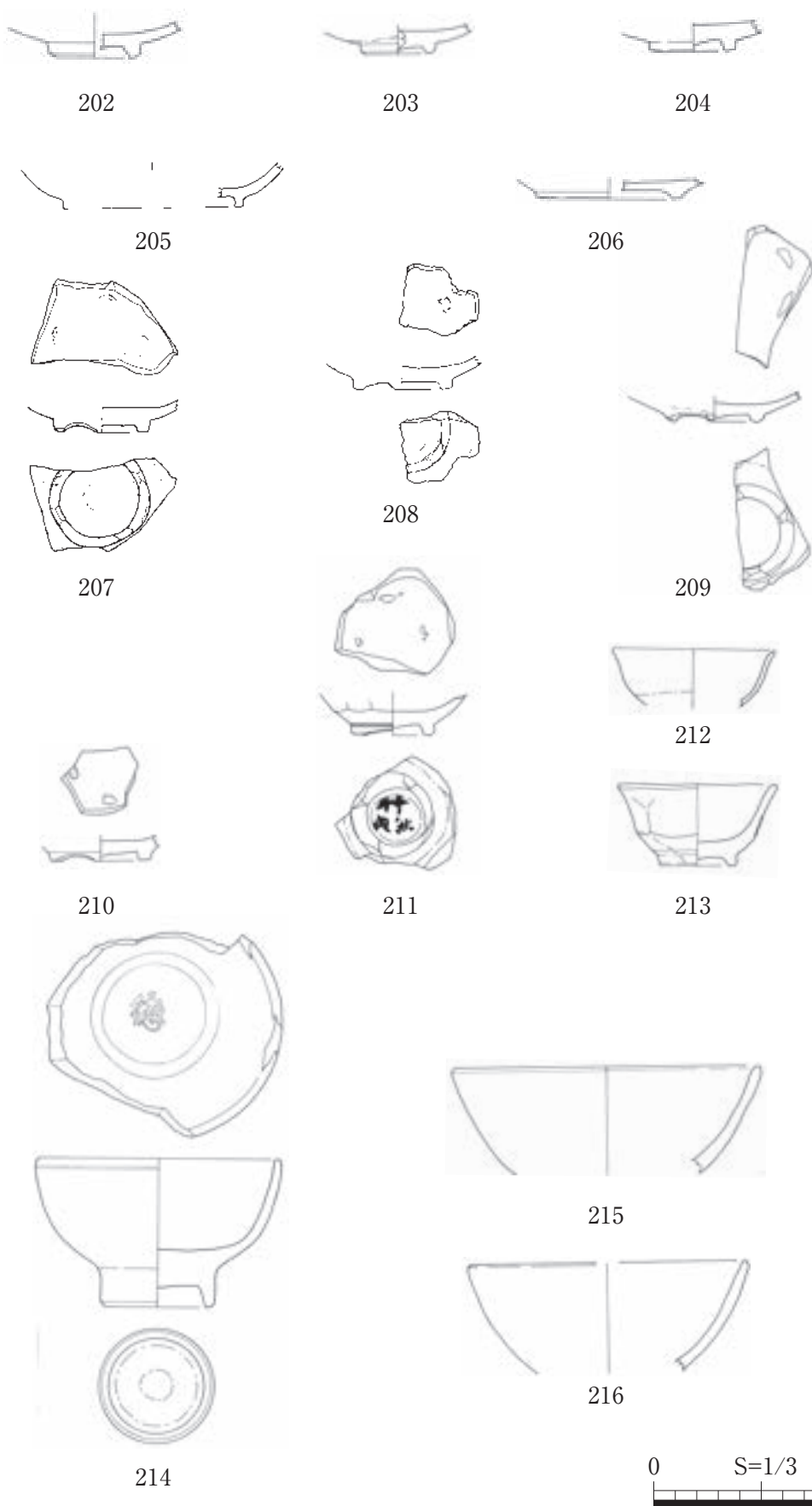
第93図 遺物実測図7 (S=1/3)



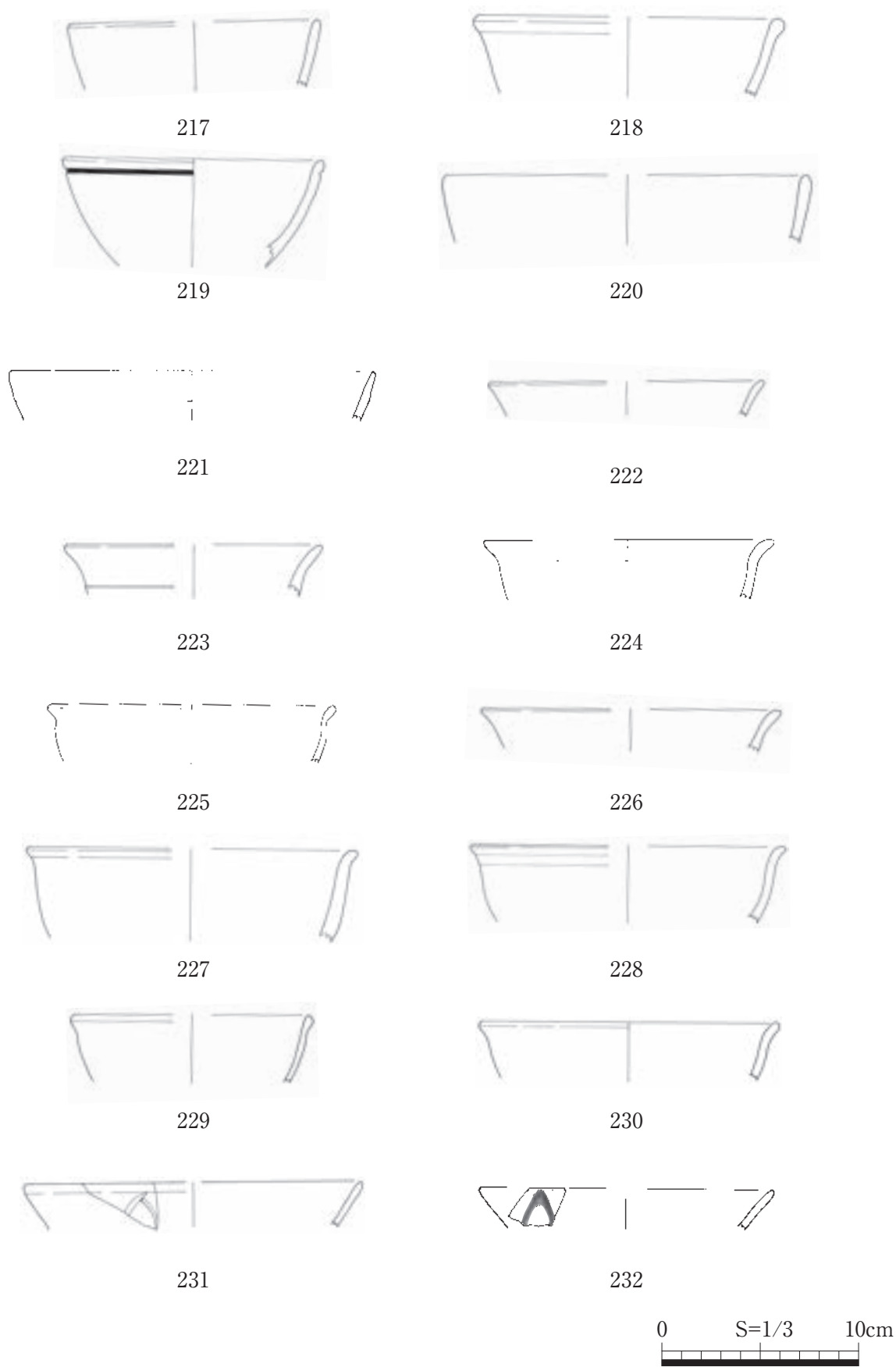
第94図 遺物実測図8 (S=1/3)



第95図 遺物実測図9 (S=1/3)



第96図 遺物実測図10 (S= 1 / 3)



第97図 遺物実測図11 (S=1/3)



233



234



235



236



237



238



239



240



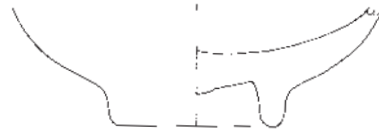
241



242



243



244



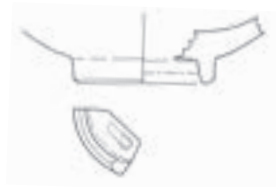
245



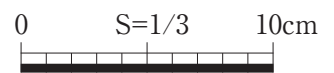
246



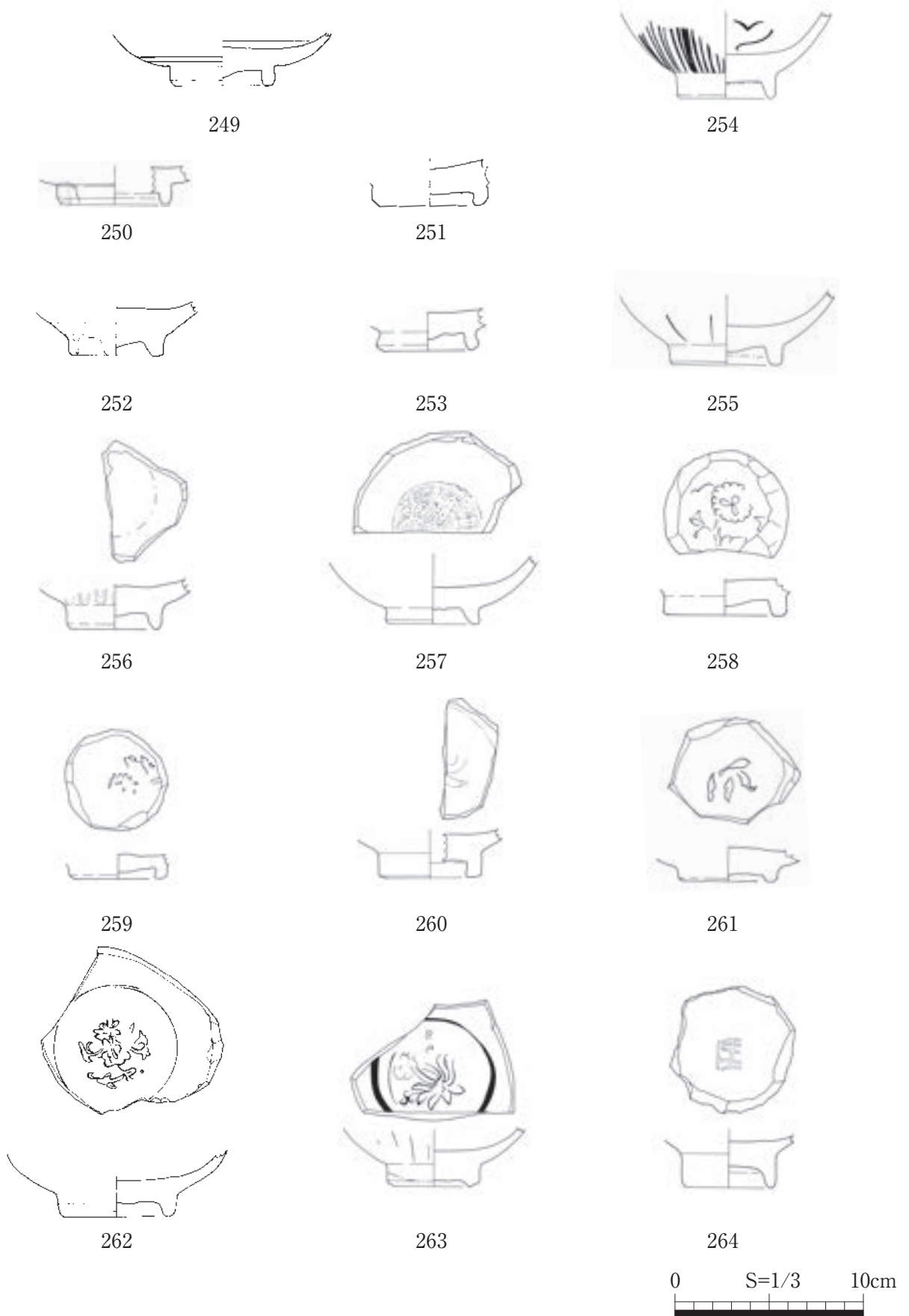
247



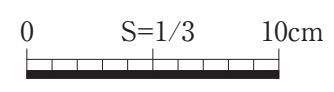
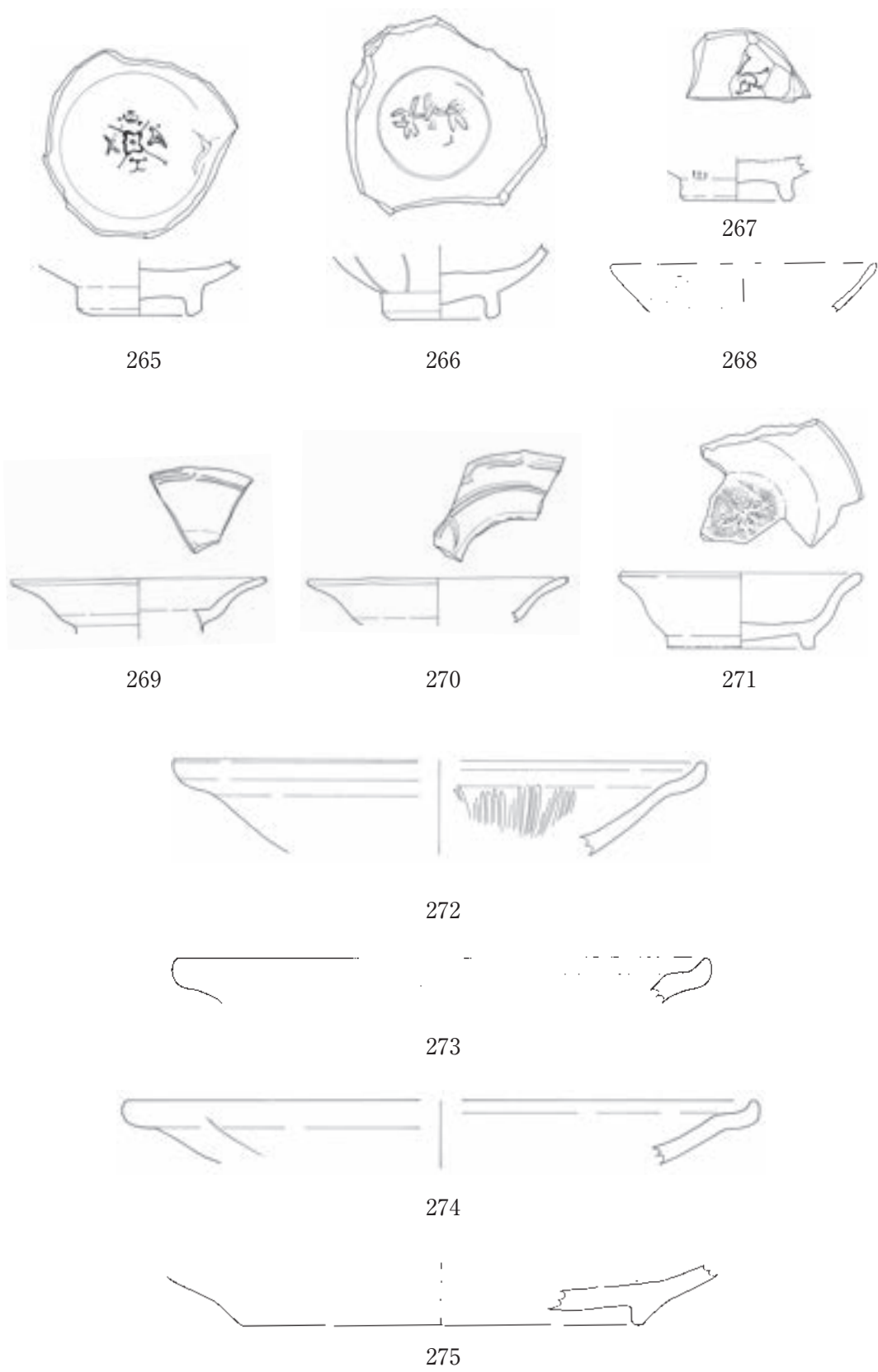
248



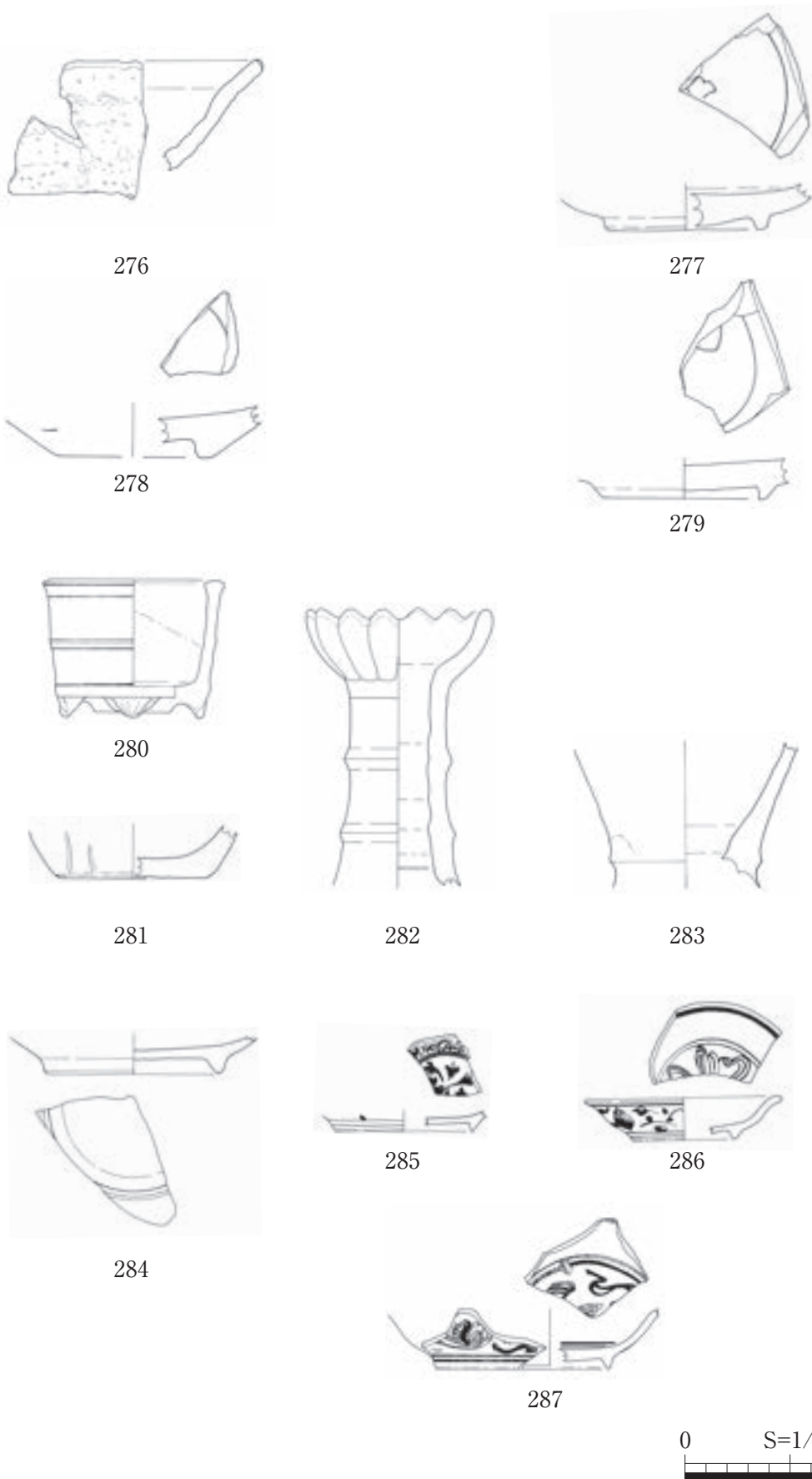
第98图 遺物実測図12 (S= 1 / 3)



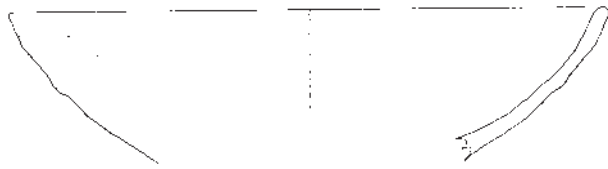
第99図 遺物実測図13 (S=1/3)



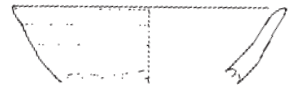
第100図 遺物実測図14 (S= 1 / 3)



第101図 遺物実測図15 (S = 1 / 3)



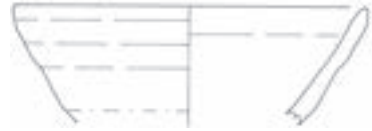
288



289



290



291



292



293



294



295



296



297



299



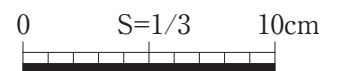
300



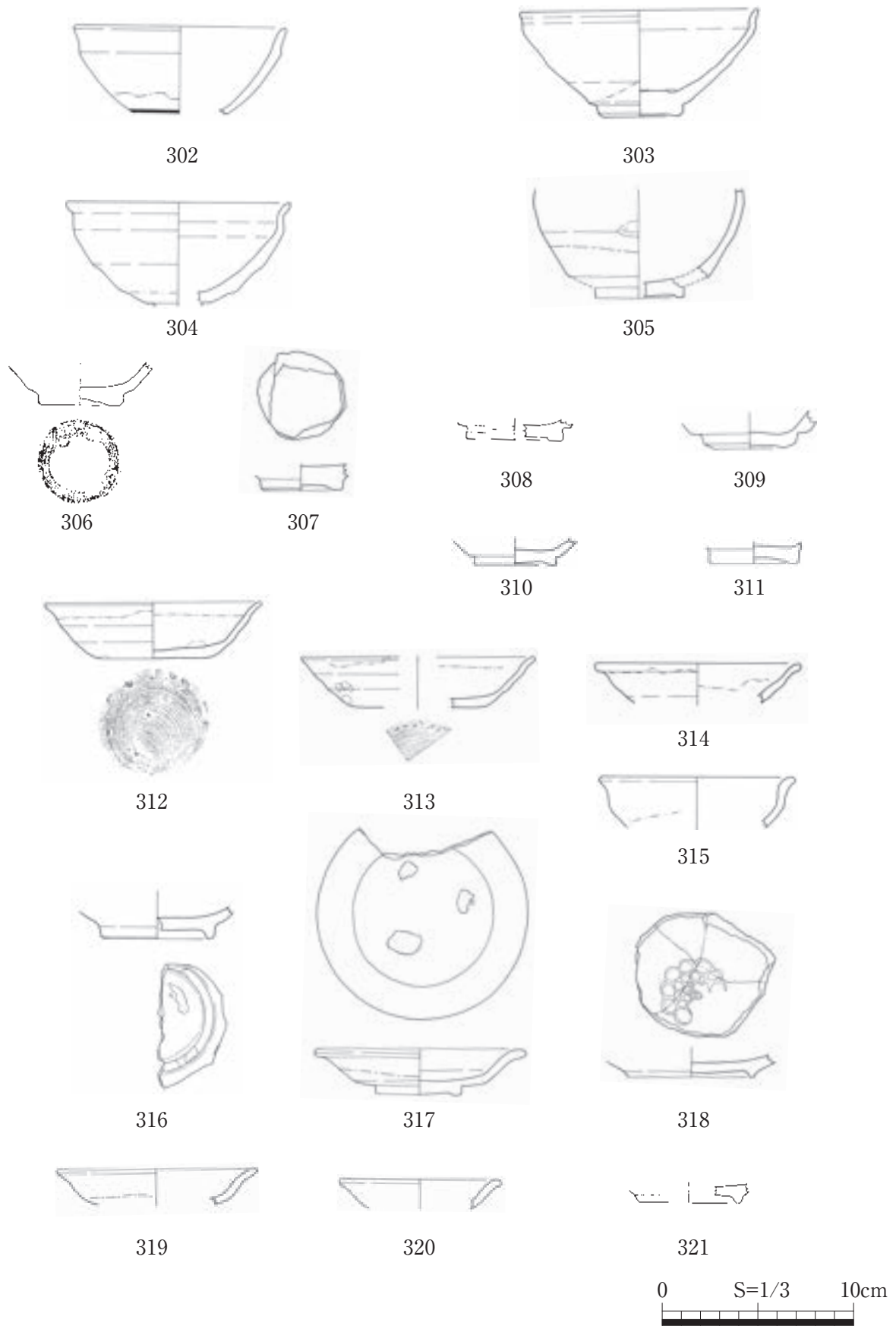
298



301



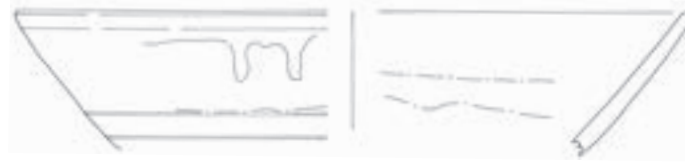
第102図 遺物実測図16 (S= 1 / 3)



第103図 遺物実測図17 (S = 1 / 3)



322



323



324



325



326



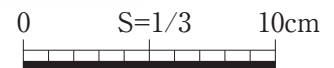
327



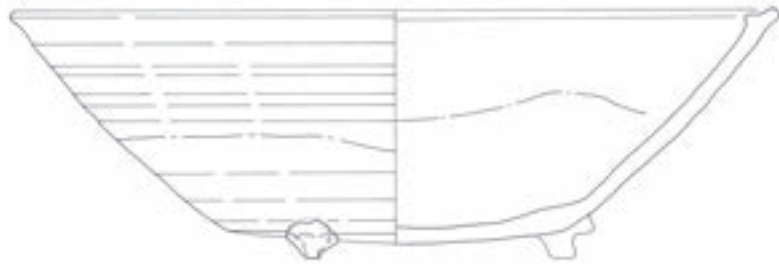
328



329



第104図 遺物実測図18 (S= 1 / 3)



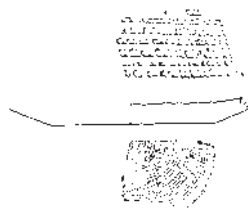
330



331



332



333



334



335



336



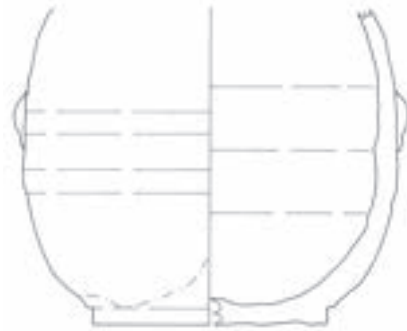
337



338



339



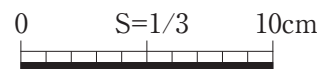
341



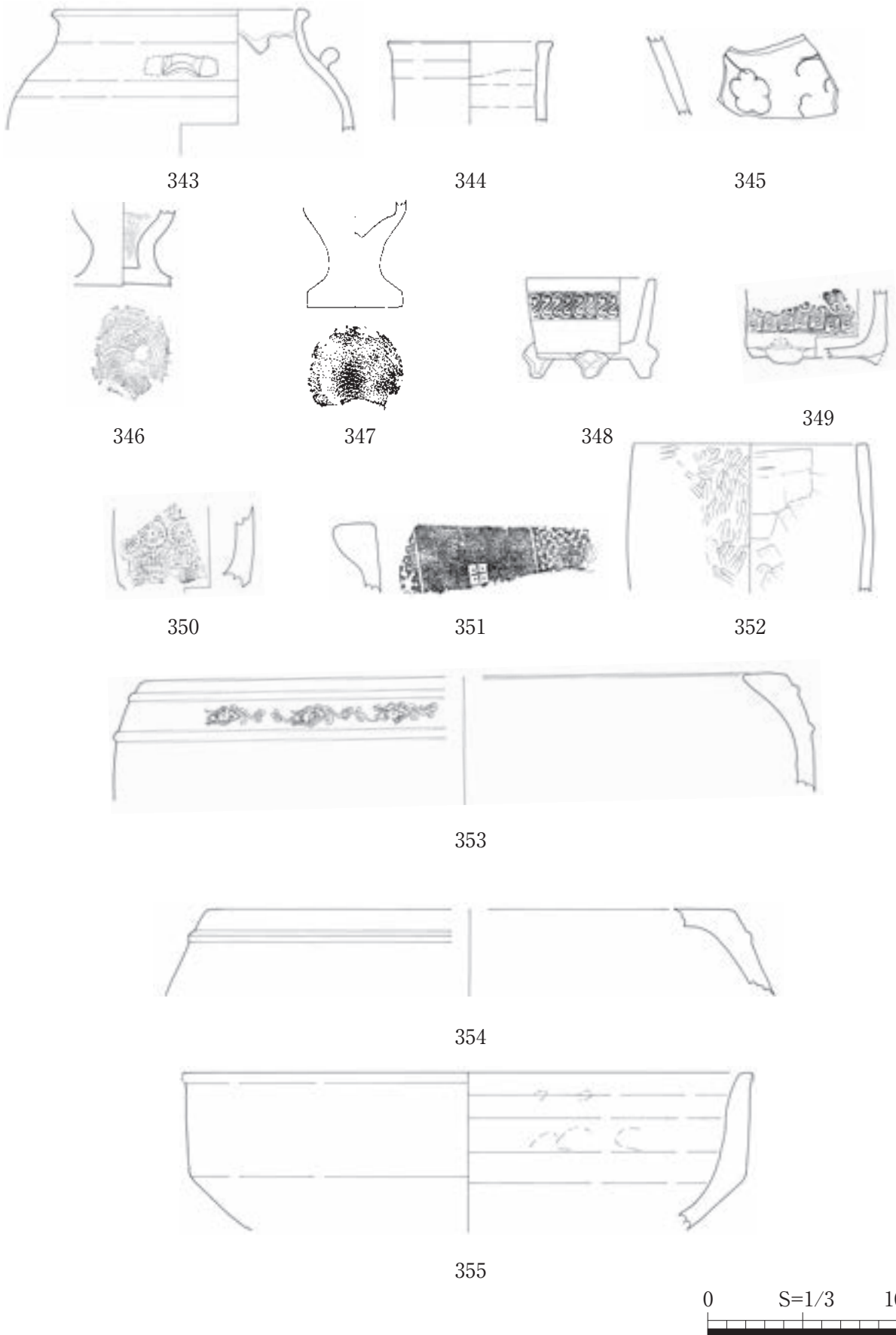
340



342



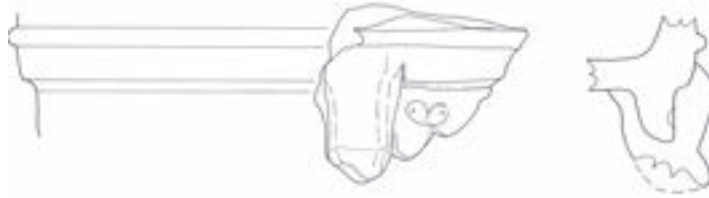
第105図 遺物実測図19 (S = 1 / 3)



第106図 遺物実測図20 (S = 1 / 3)



356



357



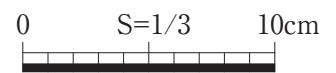
358



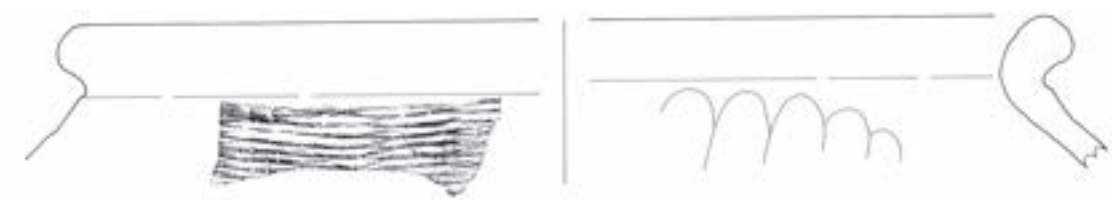
359



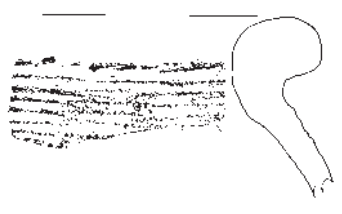
360



第107図 遺物実測図21 (S = 1 / 3)



361



362



363



364



365



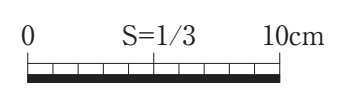
366



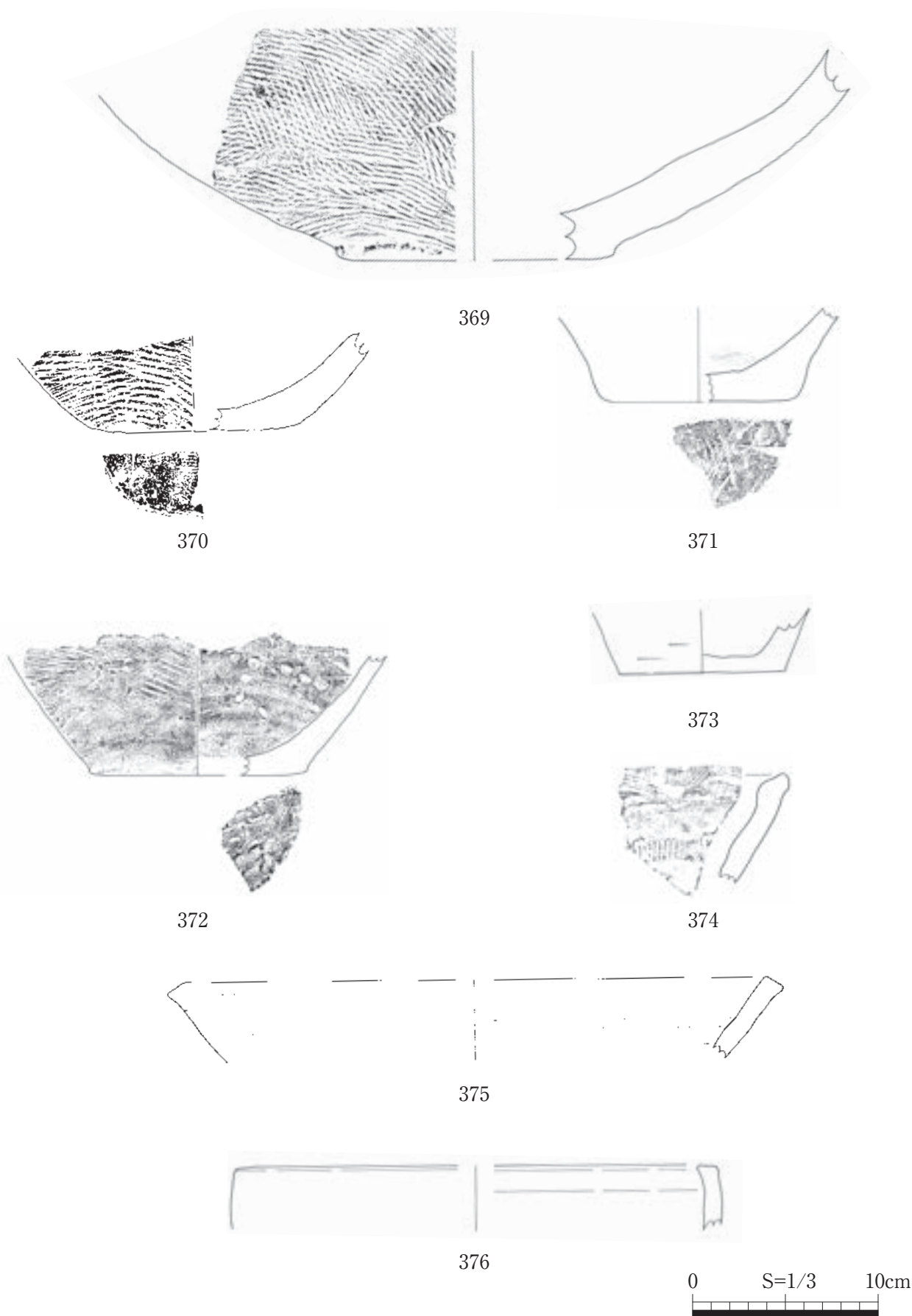
367



368



第108図 遺物実測図22 (S= 1 / 3)



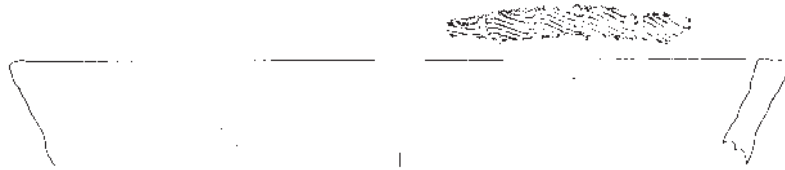
第109図 遺物実測図23 (S= 1 / 3)



377



378



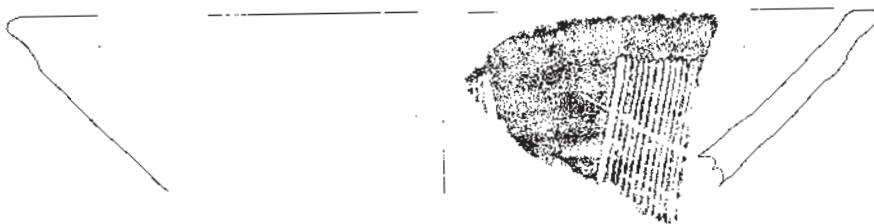
379



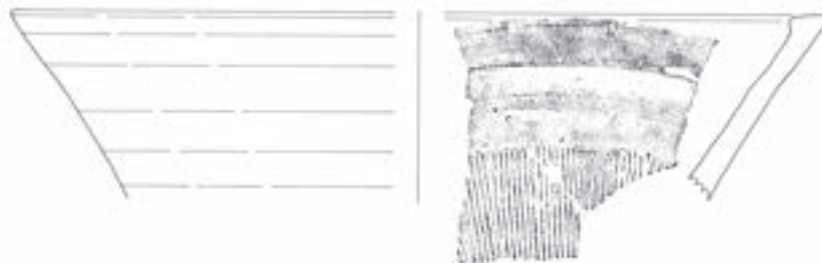
380



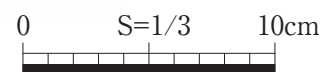
381



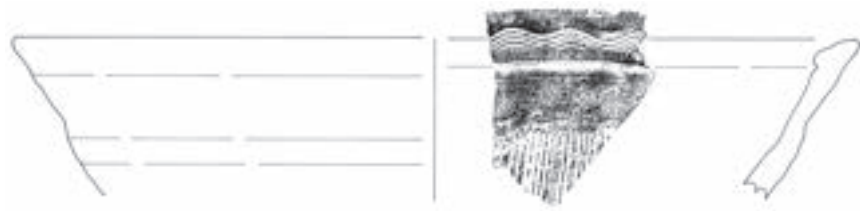
382



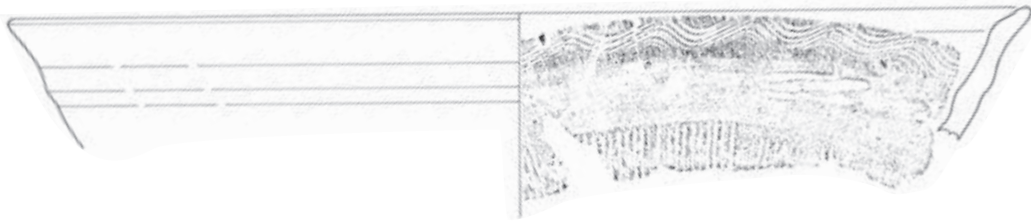
383



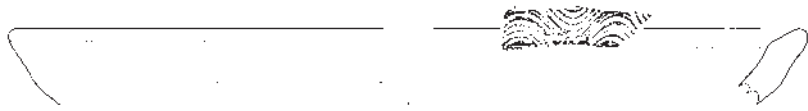
第110図 遺物実測図24 (S = 1 / 3)



384



385



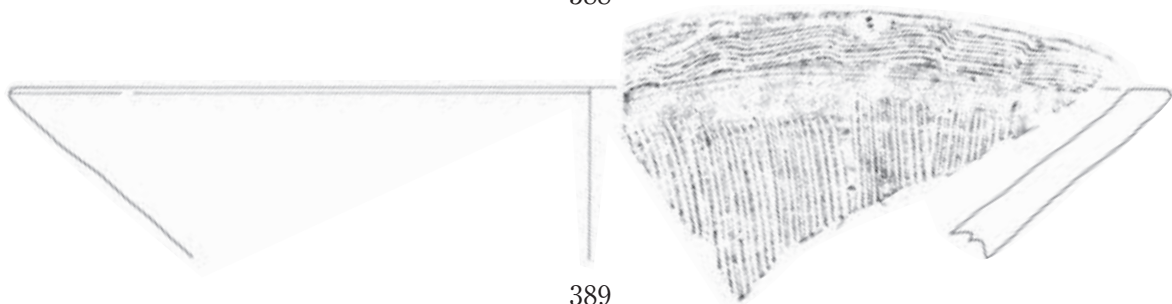
386



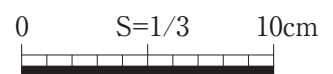
387



388



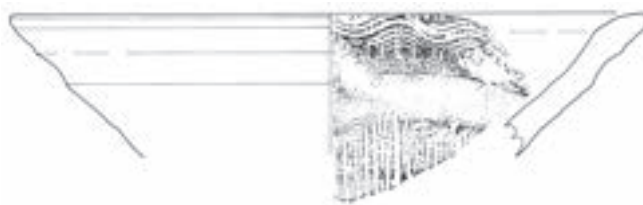
389



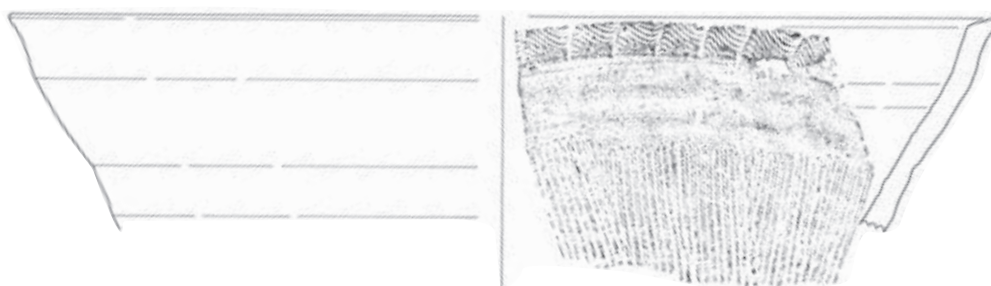
第111図 遺物実測図25 (S = 1 / 3)



390



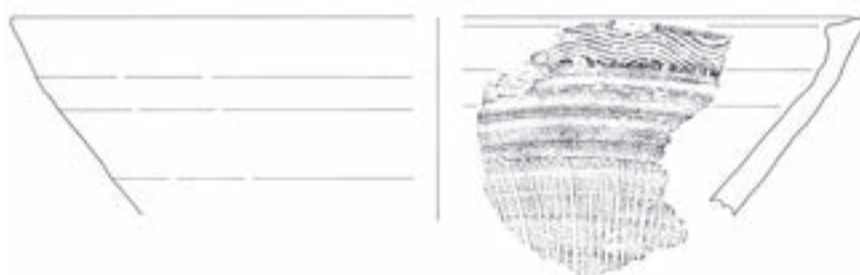
391



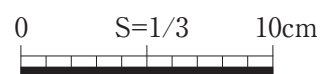
392



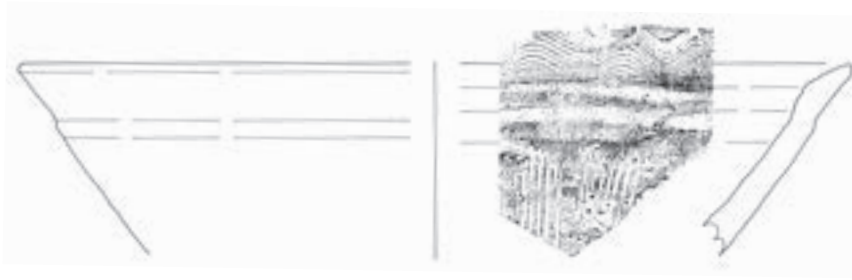
393



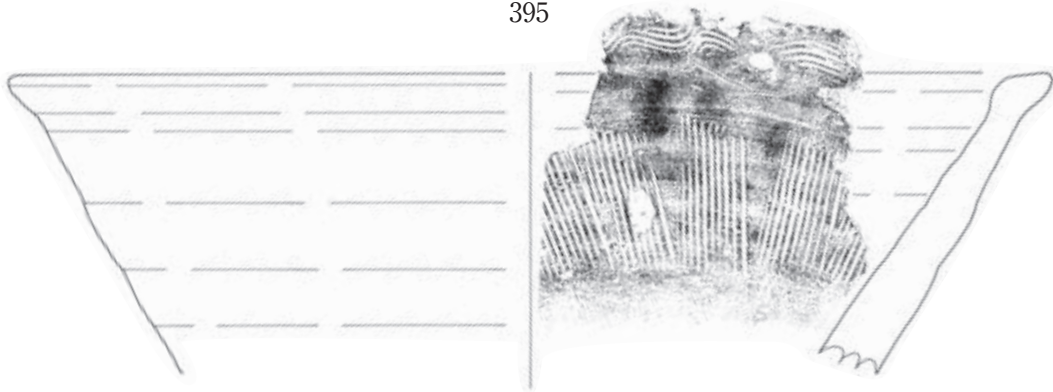
394



第112図 遺物実測図26 (S = 1 / 3)



395



396



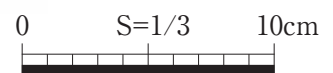
397



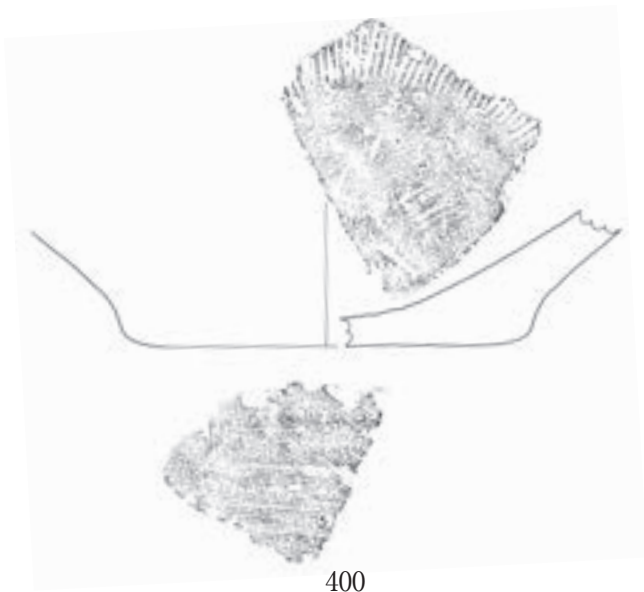
398



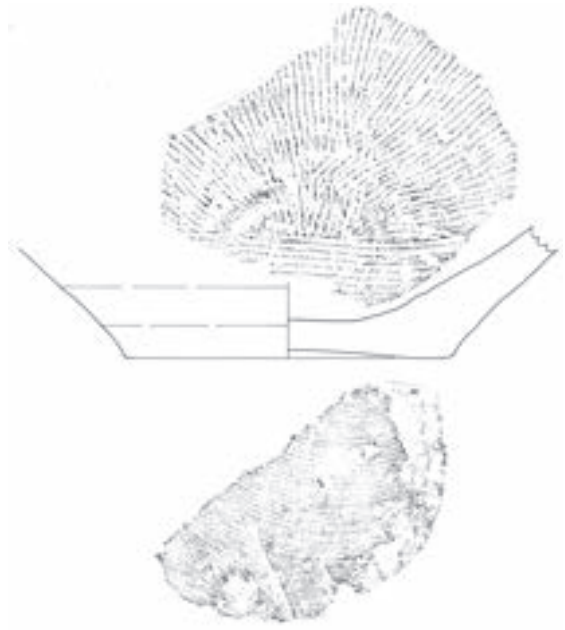
399



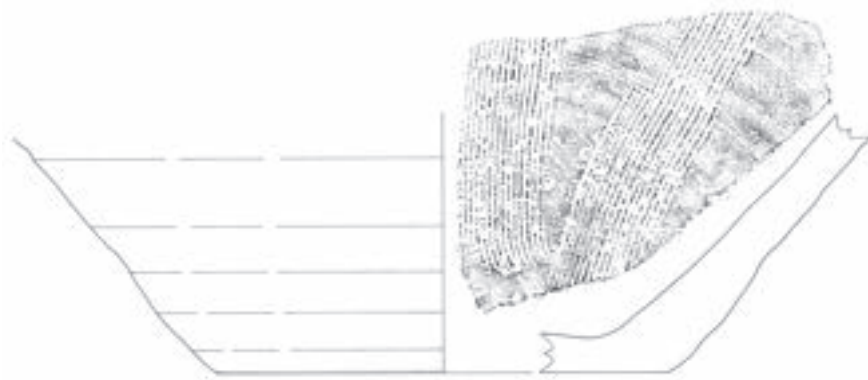
第113図 遺物実測図27 (S = 1 / 3)



400



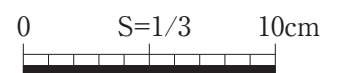
401



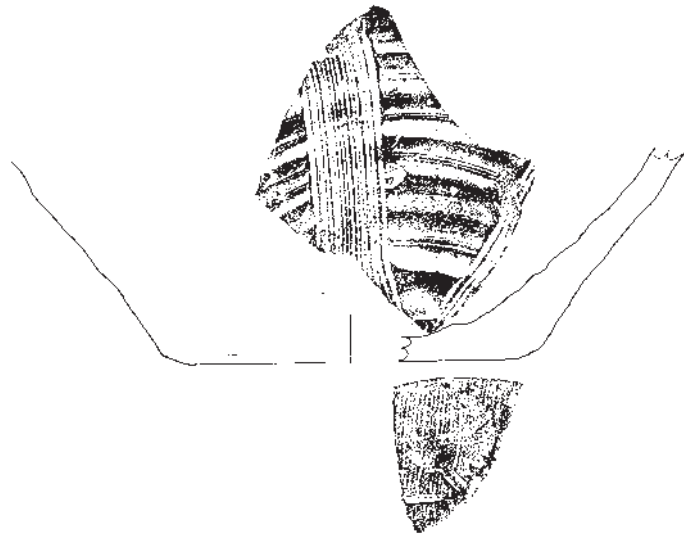
402



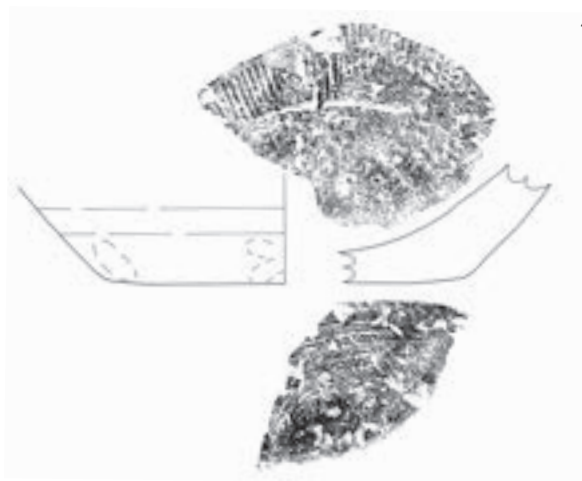
403



第114図 遺物実測図28 (S = 1 / 3)



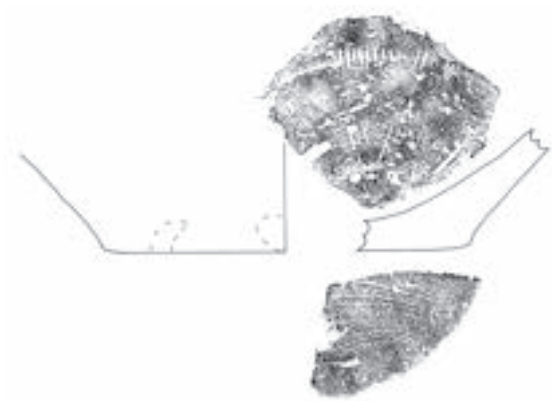
404



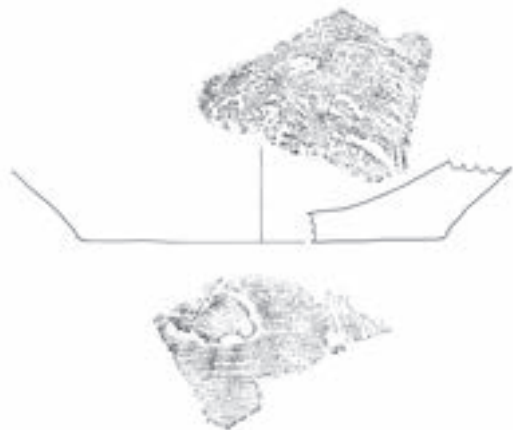
405



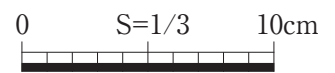
406



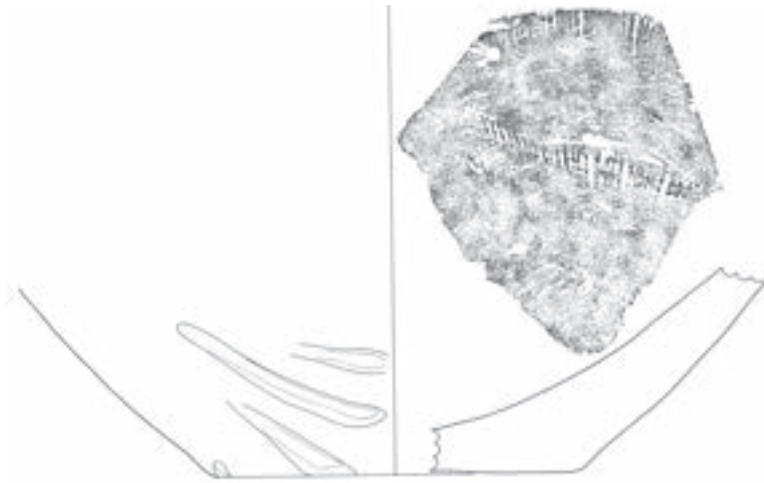
407



408



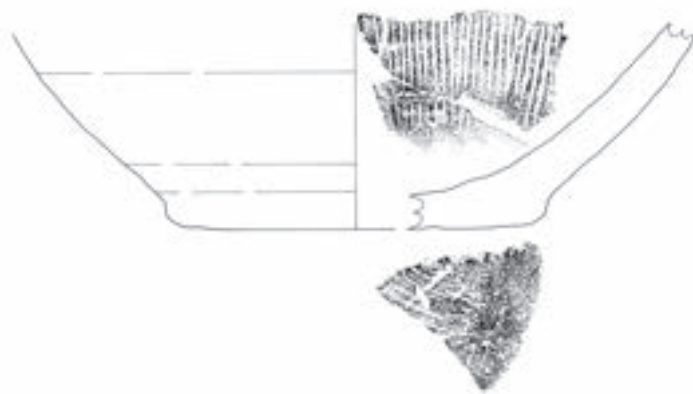
第115図 遺物実測図29 (S=1/3)



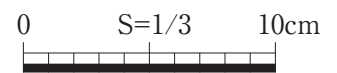
409



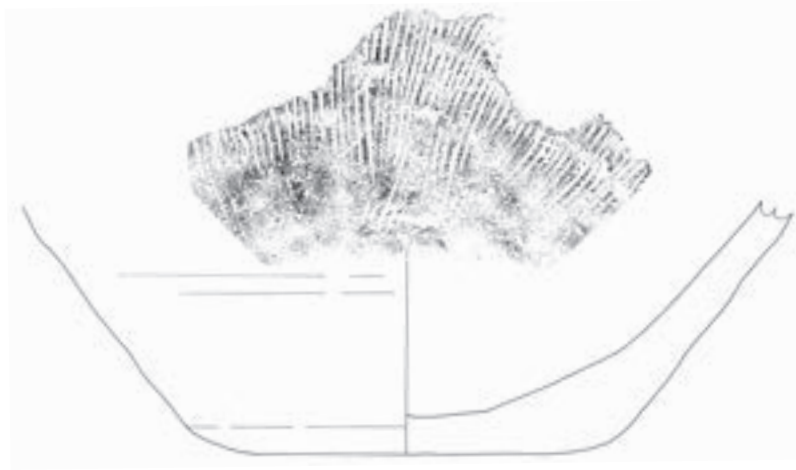
410



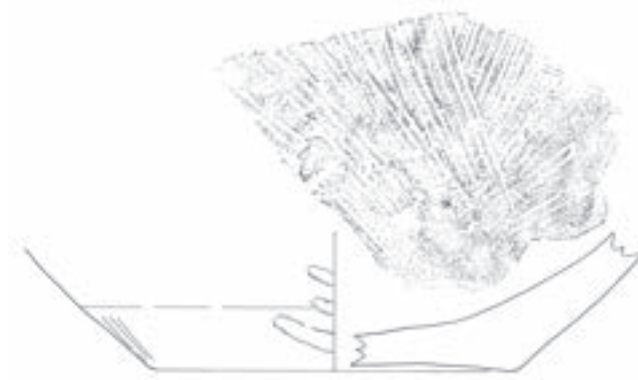
411



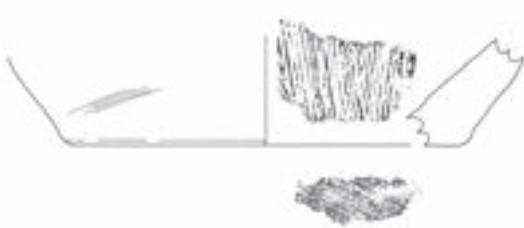
第116図 遺物実測図30 (S = 1 / 3)



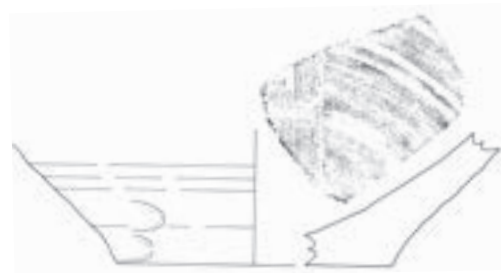
412



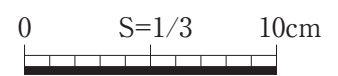
413



414



415



第117図 遺物実測図31 (S = 1 / 3)



416



417



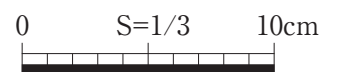
418



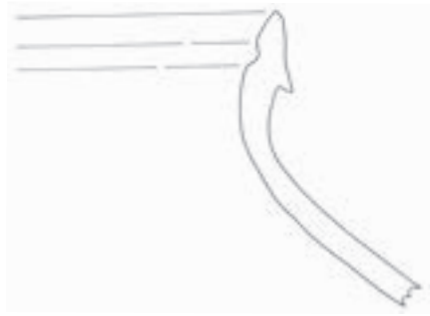
419



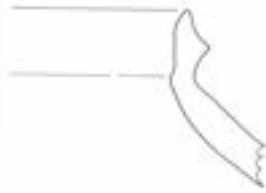
420



第118図 遺物実測図32 (S = 1 / 3)



421



422



423



424



425



426



427



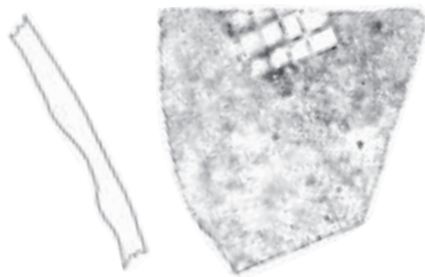
428



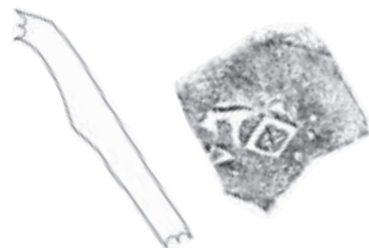
429



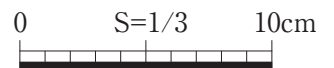
430



431



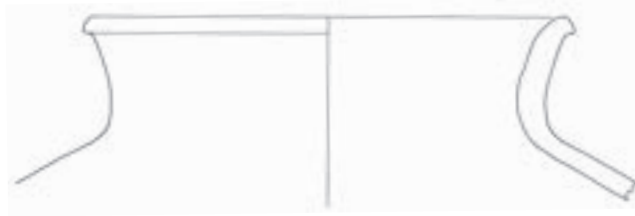
432



第119図 遺物実測図33 (S = 1 / 3)



433



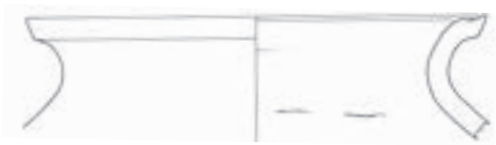
434



435



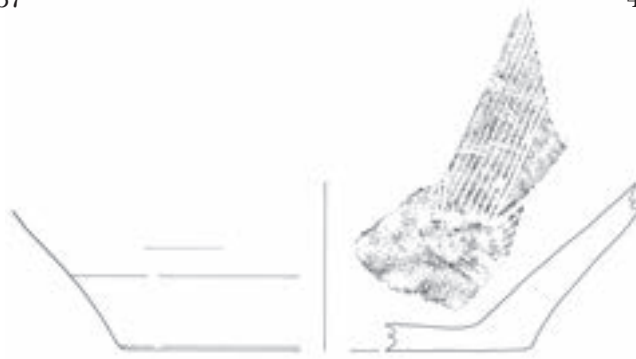
436



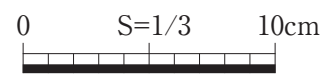
437



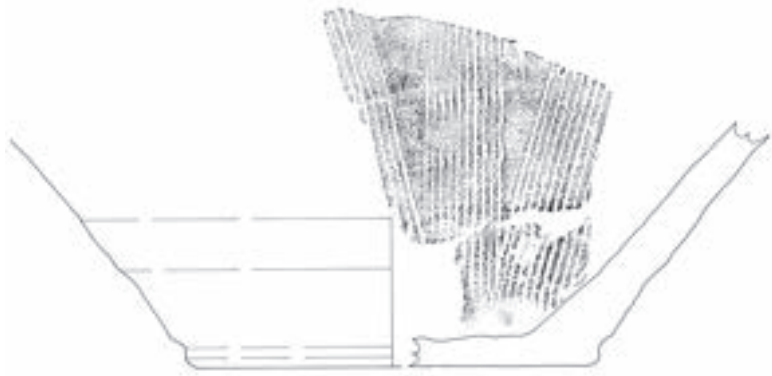
438



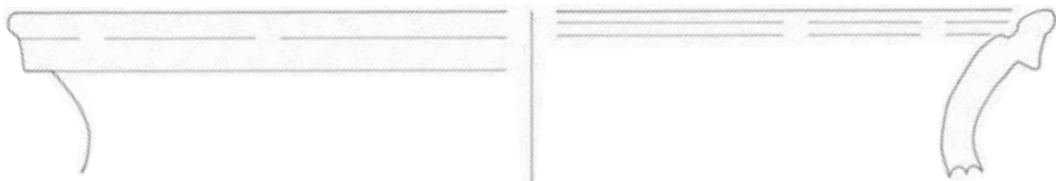
439



第120図 遺物実測図34 (S= 1 / 3)



440



441



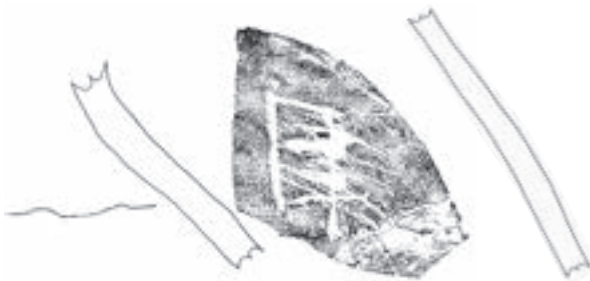
442



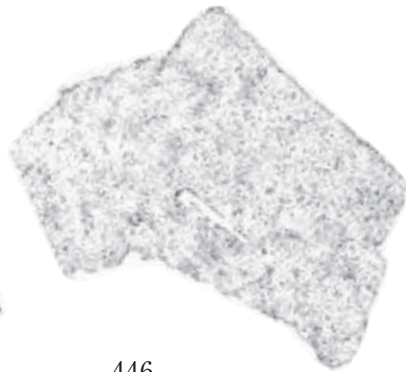
443



444



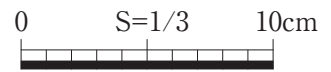
445



446



447



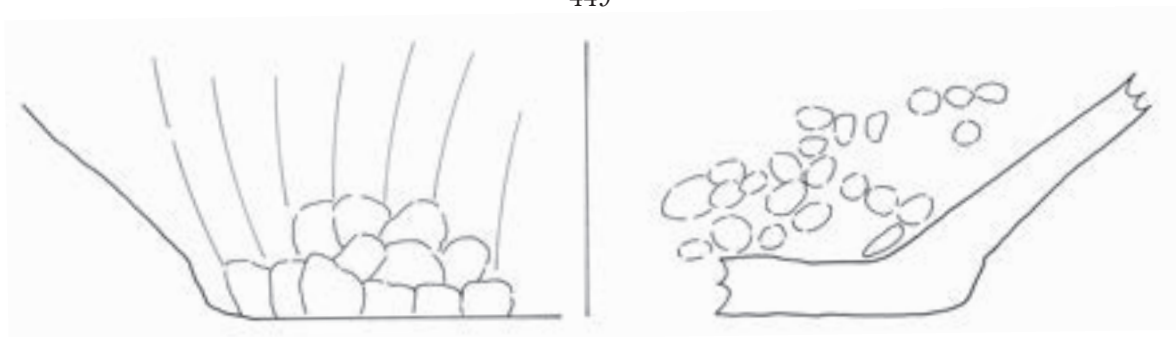
第121図 遺物実測図35 (S = 1 / 3)



448



449



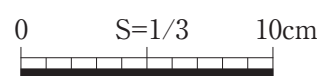
450



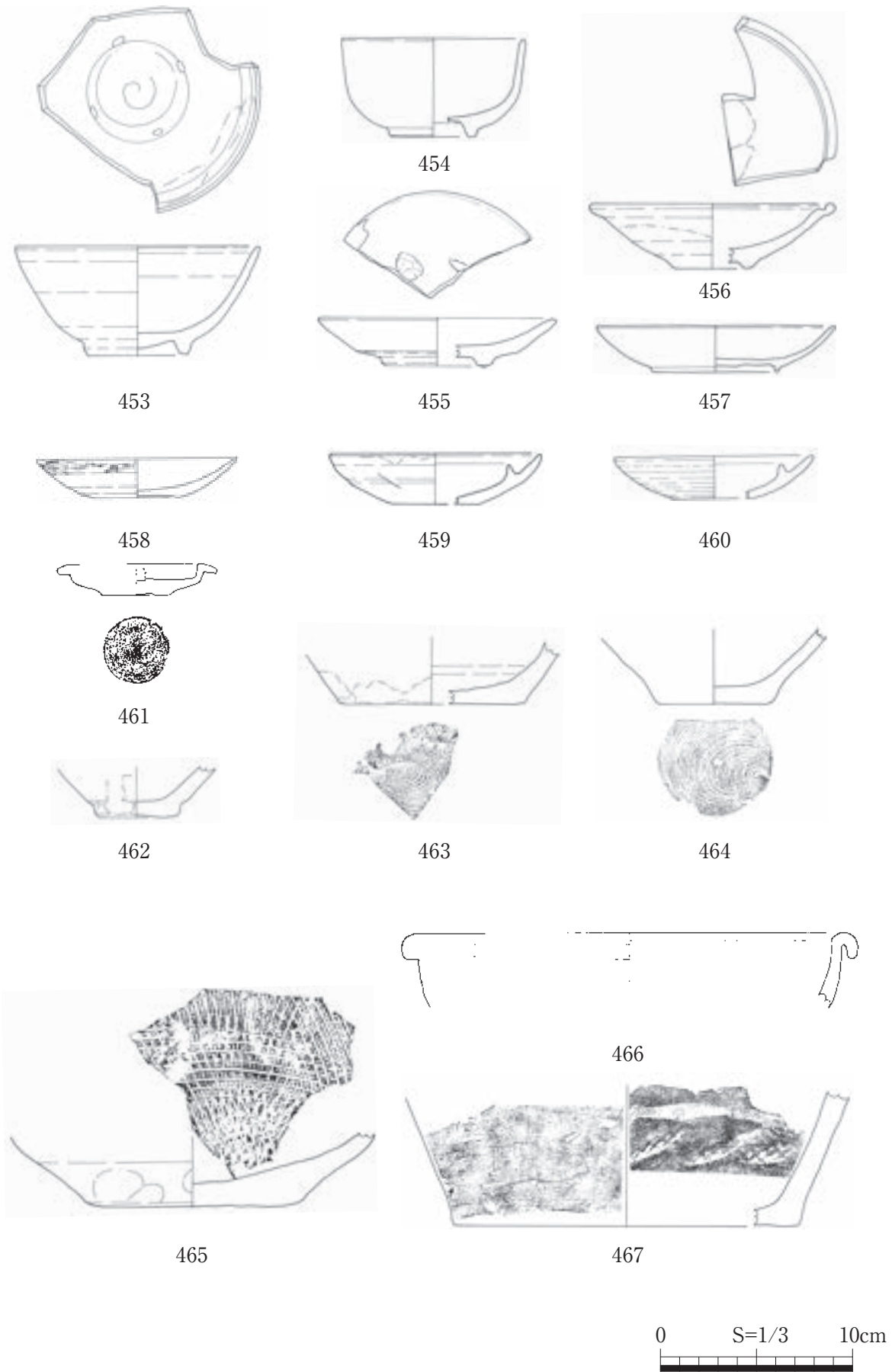
451



452



第122図 遺物実測図36 (S = 1 / 3)



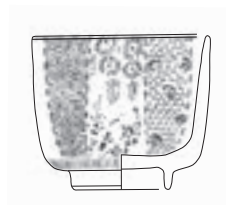
第123図 遺物実測図37 (S = 1 / 3)



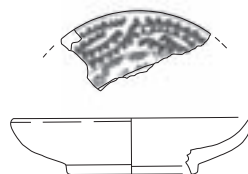
468



469



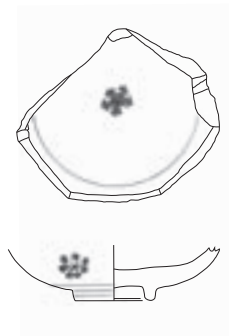
470



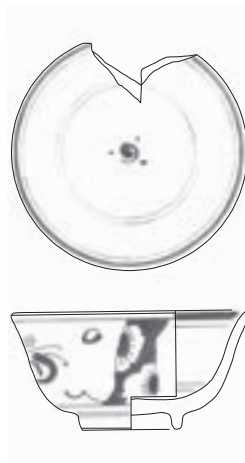
471



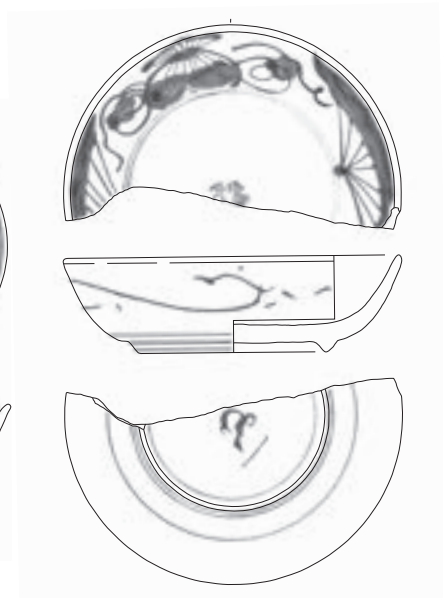
472



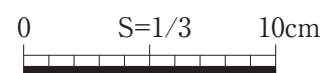
473



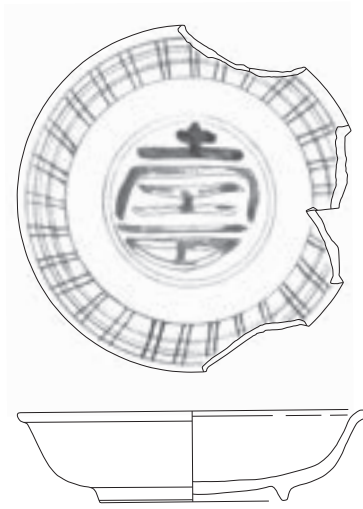
474



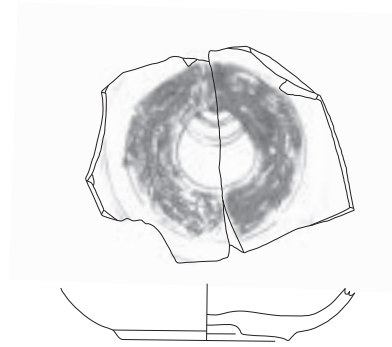
475



第124図 遺物実測図38 (S= 1 / 3)



476



477



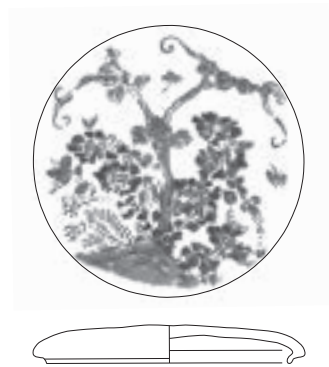
478



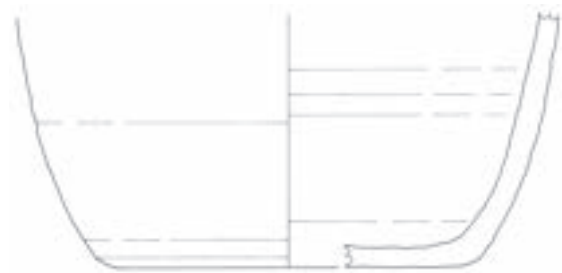
479



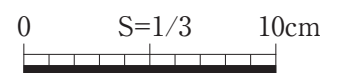
480



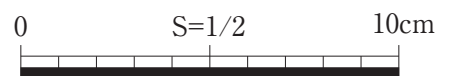
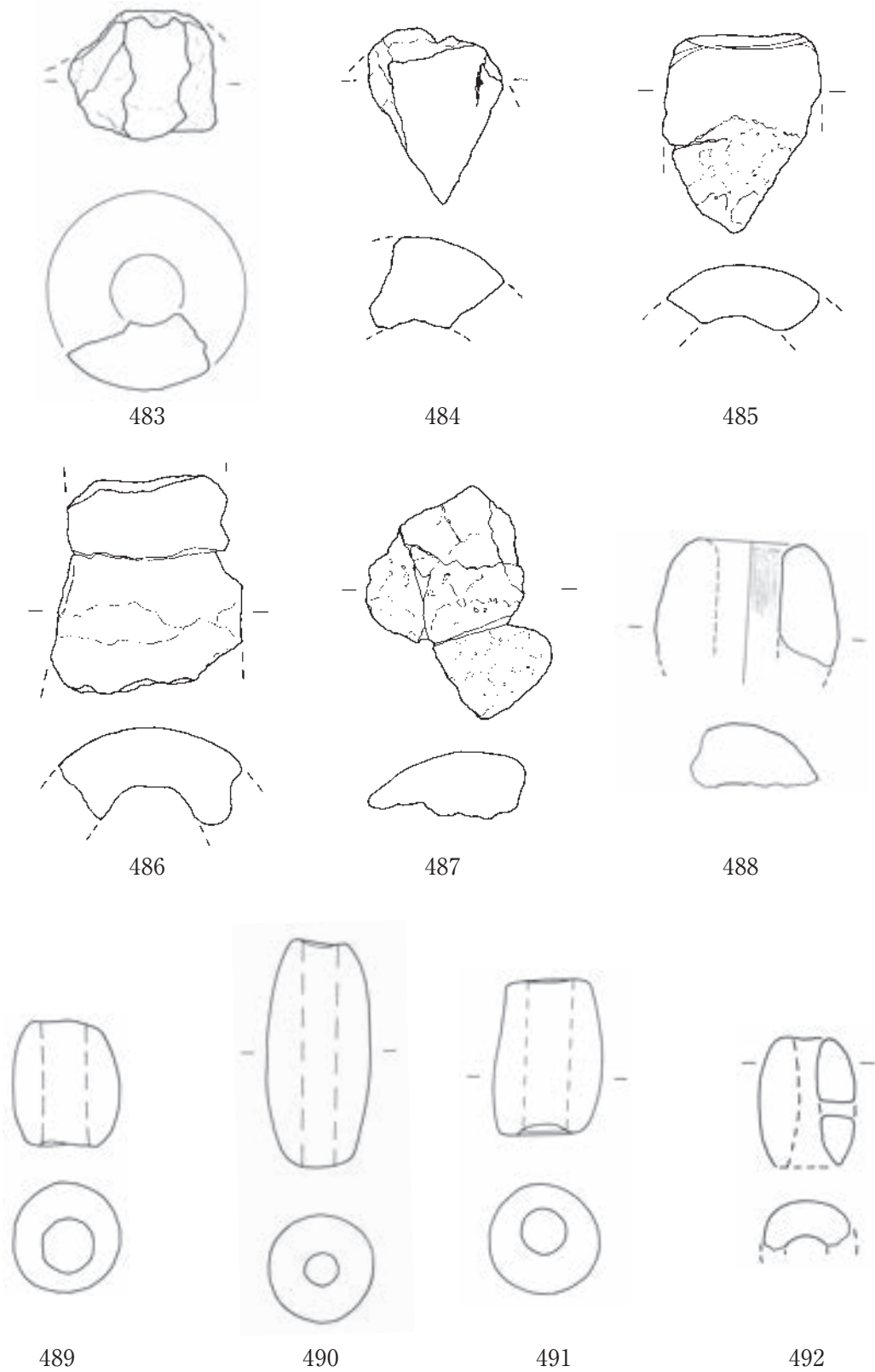
481



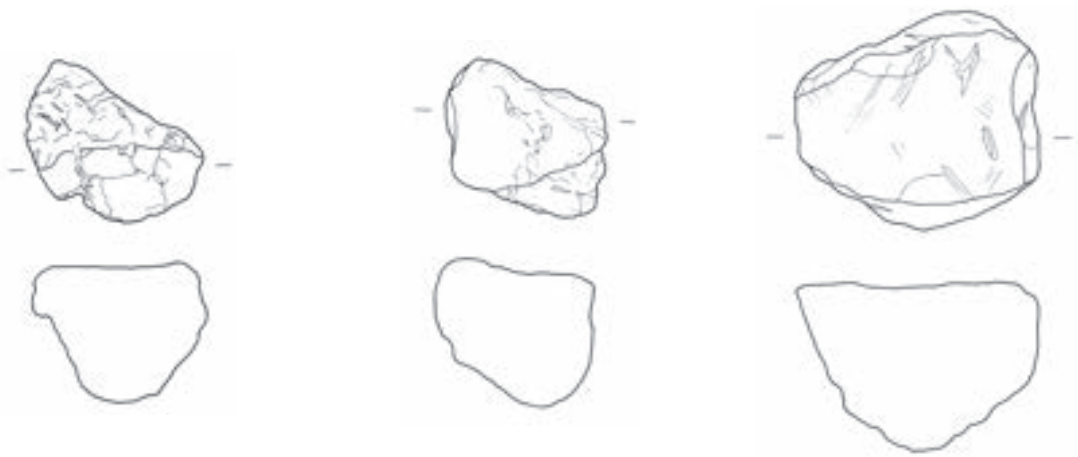
482



第125図 遺物実測図39 (S=1/3)



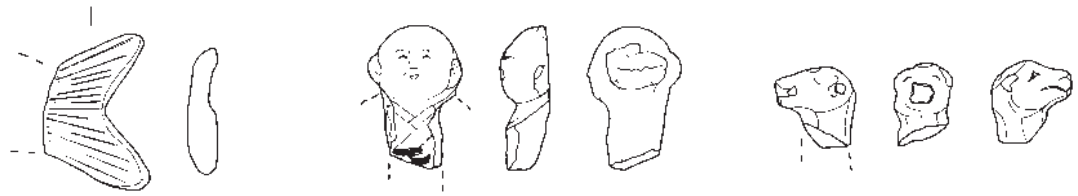
第126図 遺物実測図40 (S = 1 / 2)



493

494

495



496

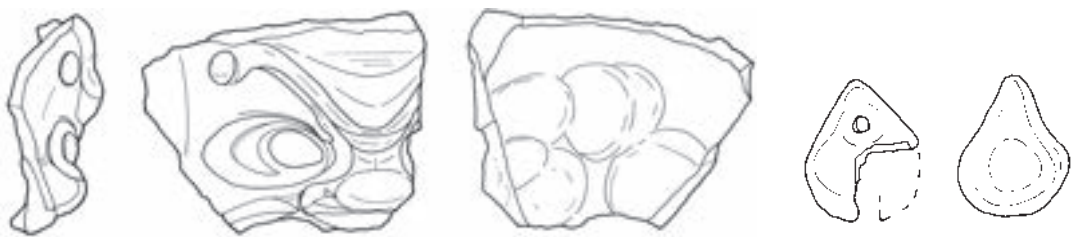
497

500



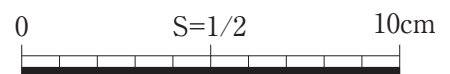
498

501



499

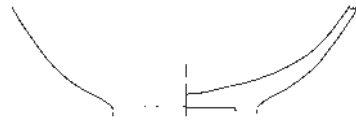
502



第127図 遺物実測図41 (S = 1 / 2)



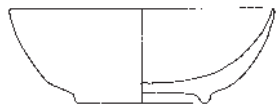
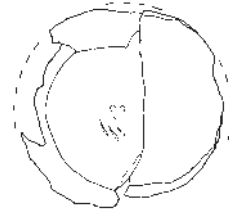
503



504



505



507



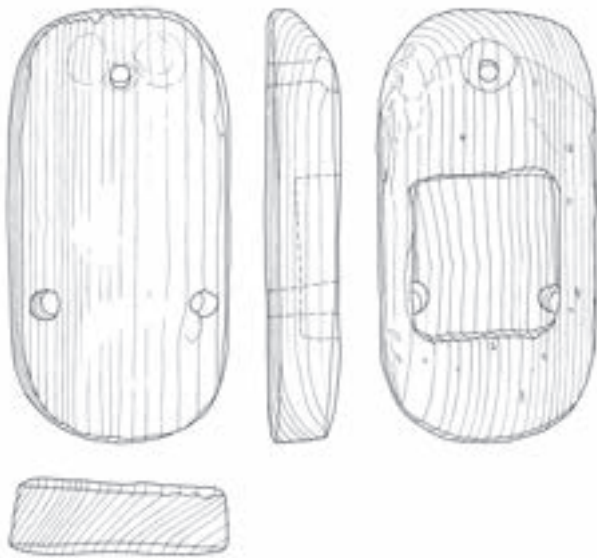
506



508



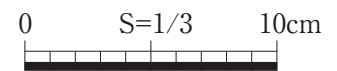
509



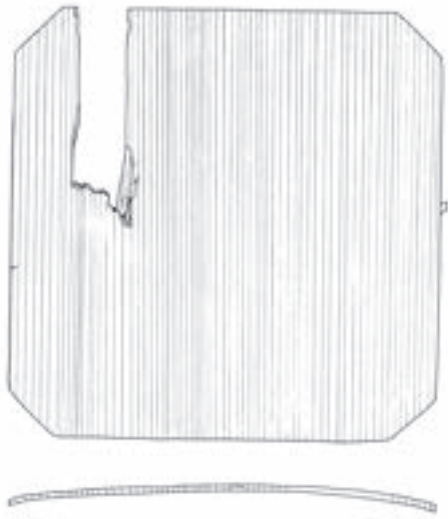
510



511



第128図 遺物実測図42 (S= 1 / 3)



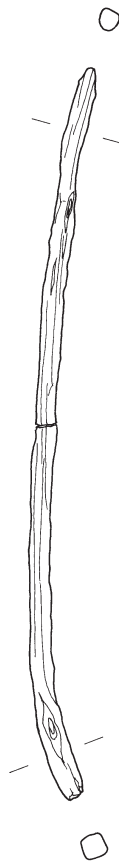
512



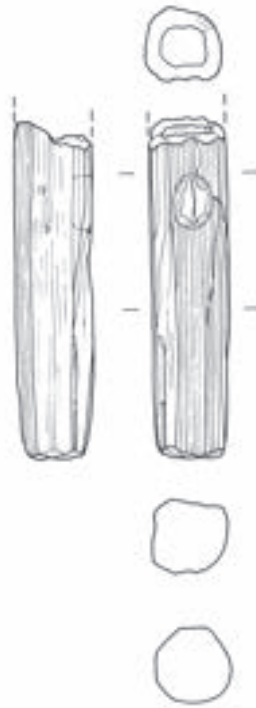
513



514



515



516

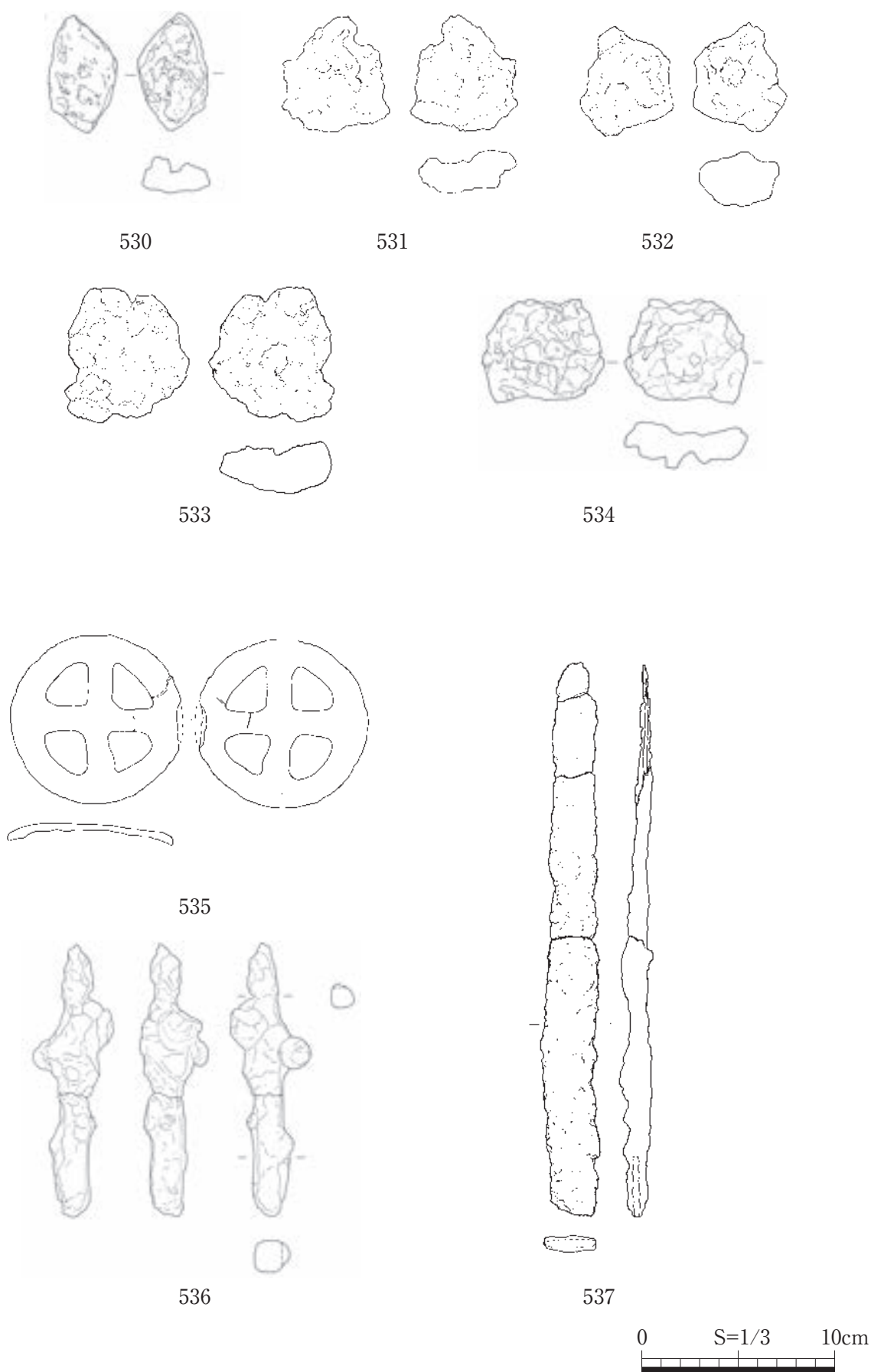
0 S=1/3 10cm

0 S=1/2 10cm

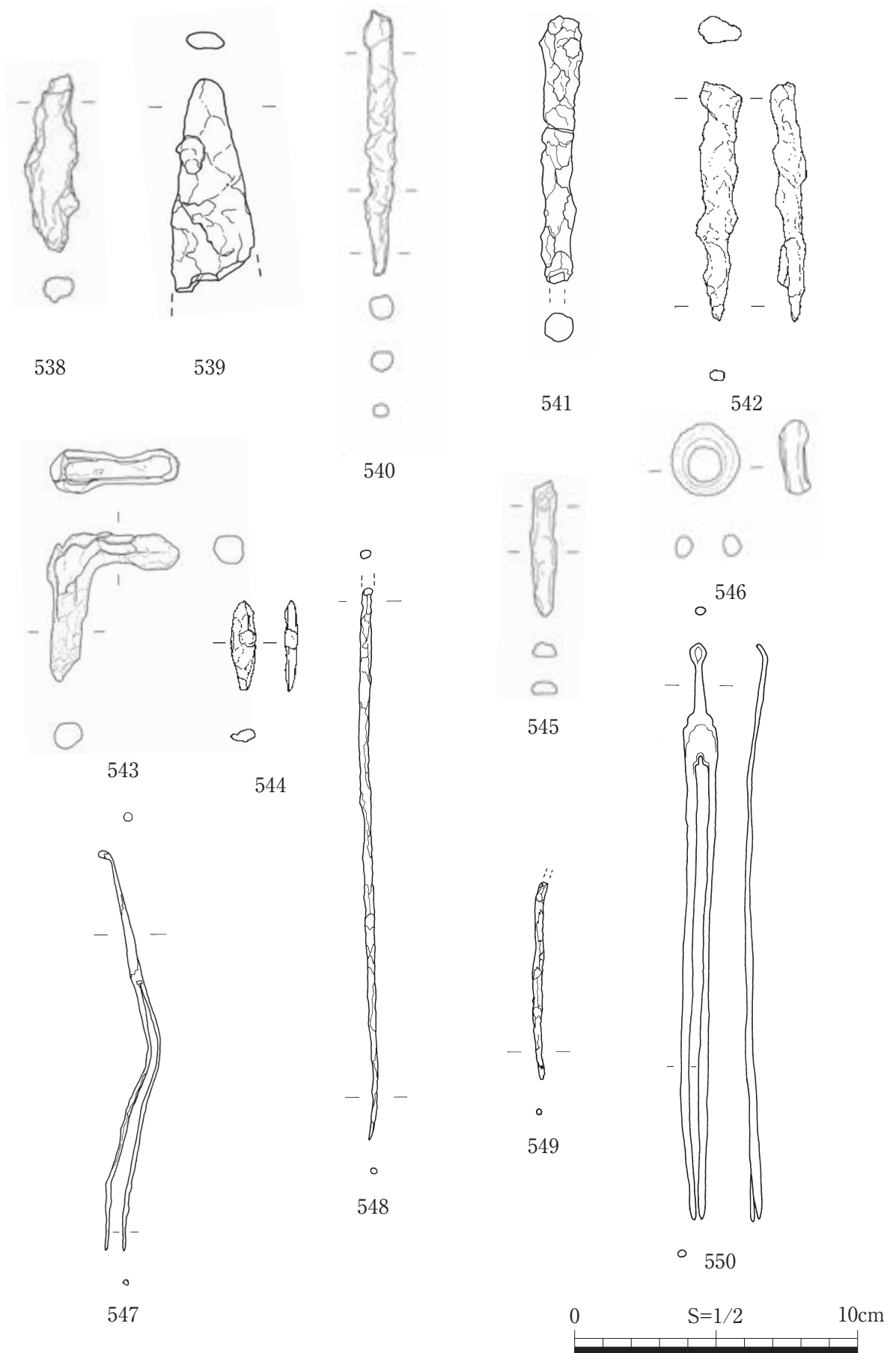
第129図 遺物実測図43 (512、513は S= 1 / 3、それ以外は S= 1 / 2)



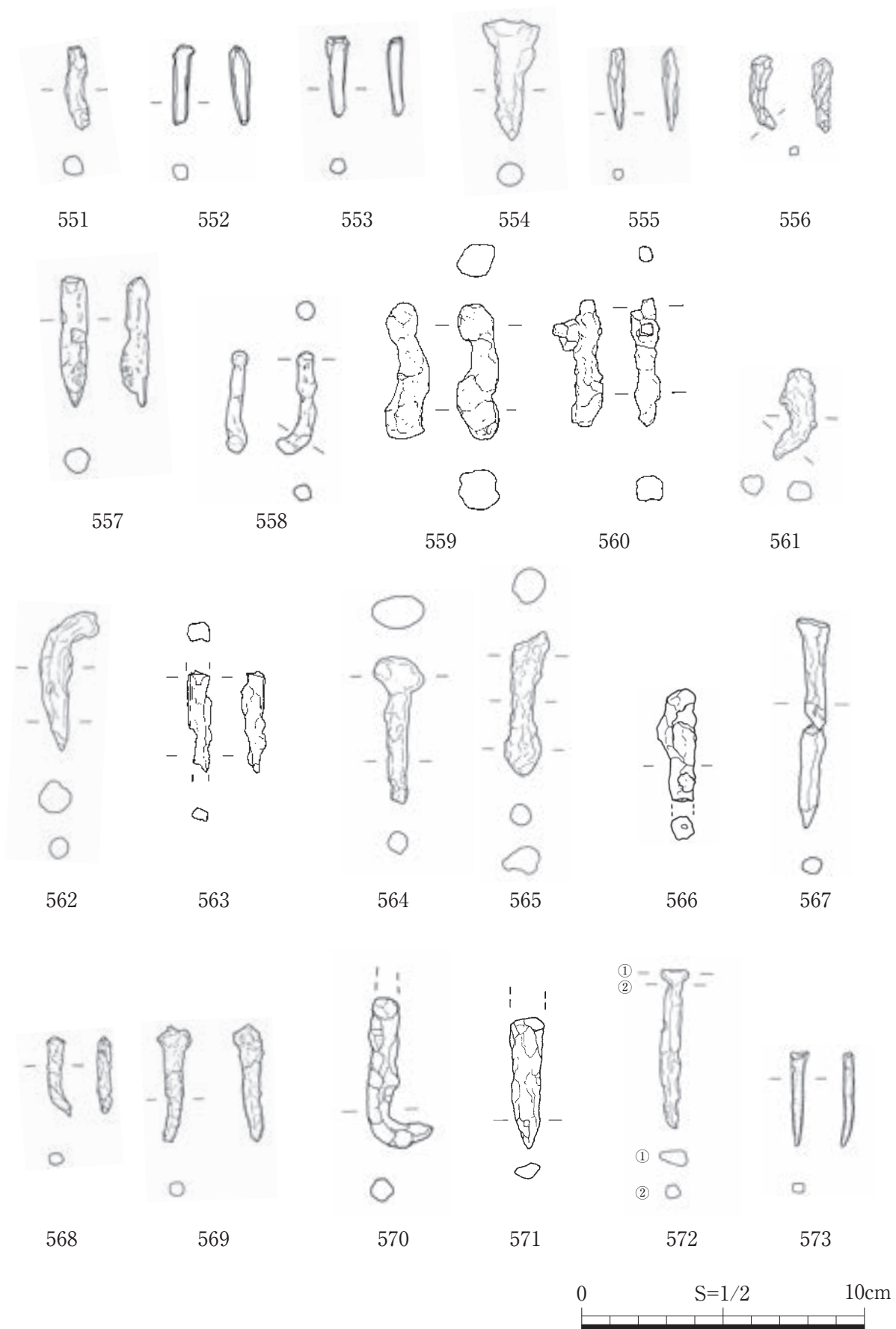
第130図 遺物実測図44 (S = 1 / 3)



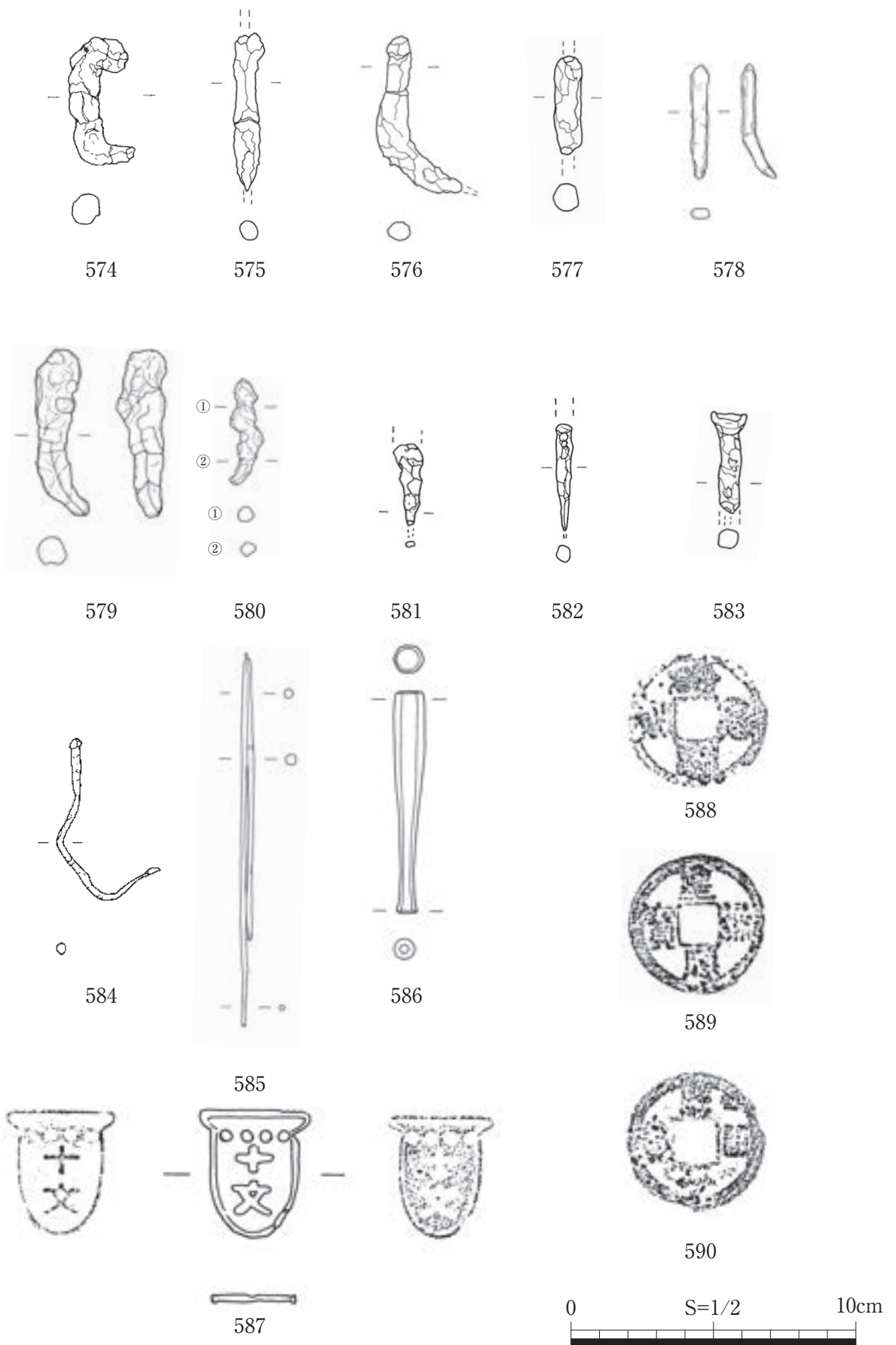
第131図 遺物実測図45 (S=1/3)



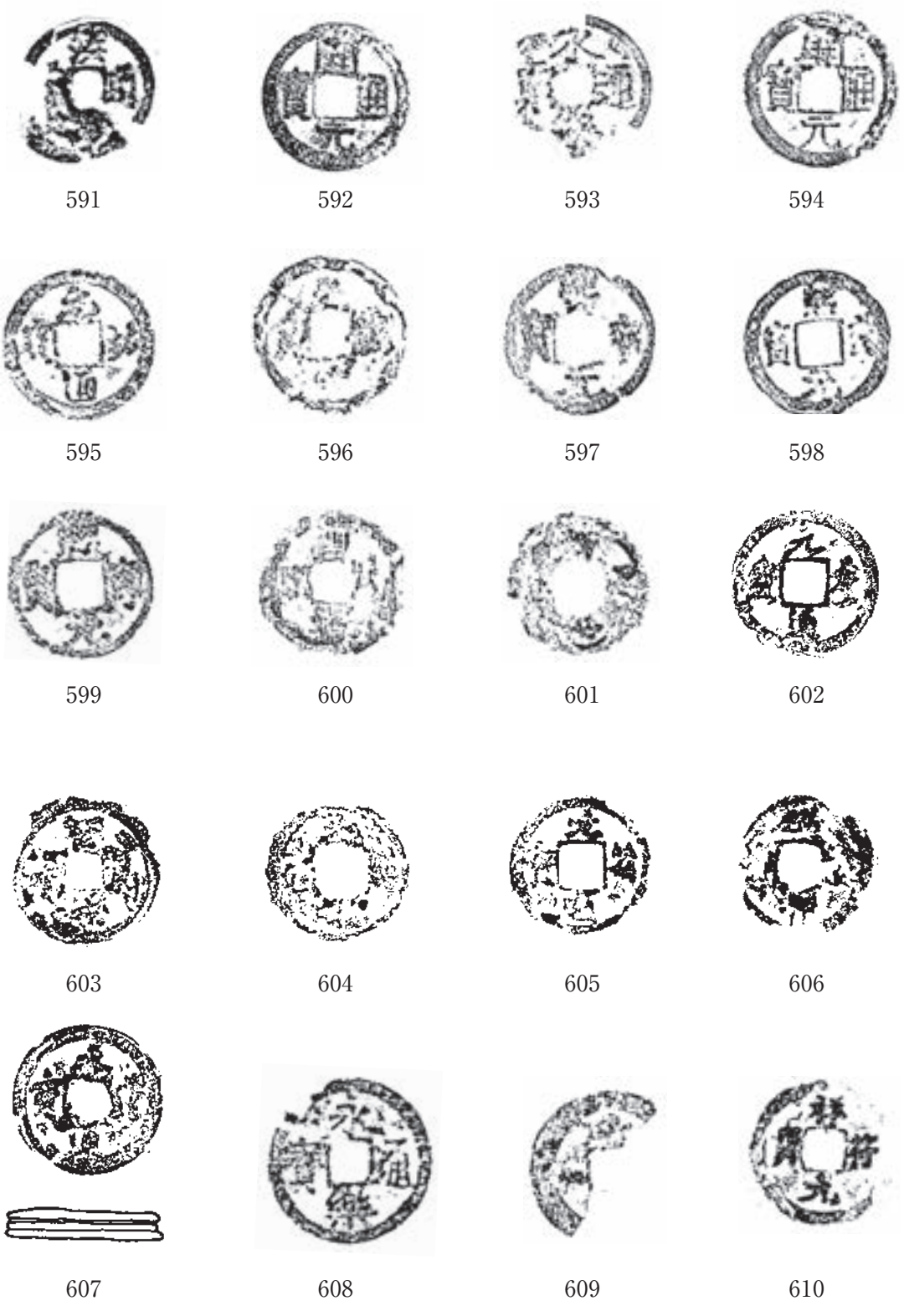
第132図 遺物実測図46 (S=1/2)



第133図 遺物実測図47 (S = 1 / 2)



第134図 遺物実測図48 (S= 1 / 2、587~590は S= 1 / 1)



第135图 遺物実測図49 (S= 1 / 1)



611



612



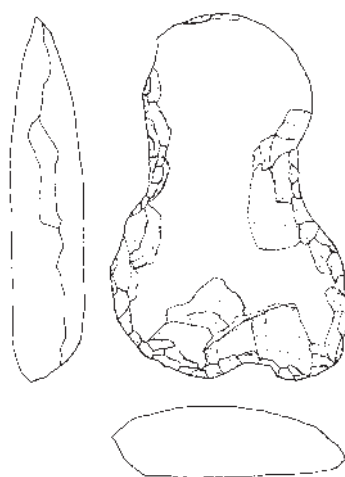
613



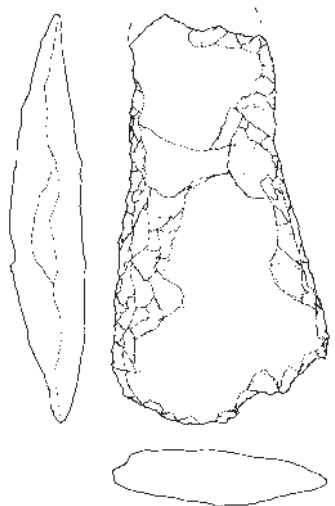
614



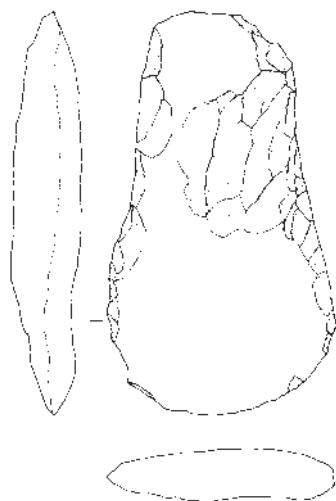
615



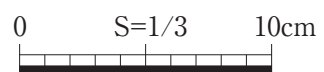
616



617



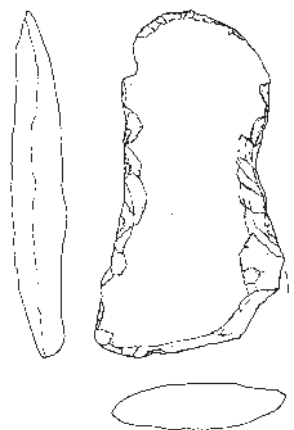
618



第136図 遺物実測図50 (S= 1 / 3、611~614は S= 1 / 1)



619



620



621



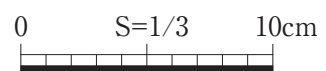
622



623



624



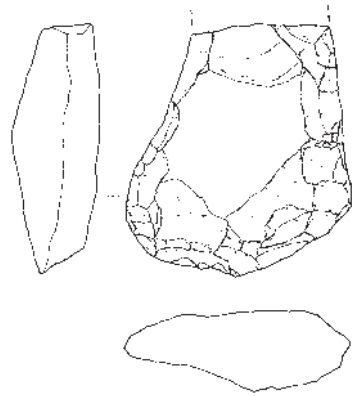
第137図 遺物実測図51 (S = 1 / 3)



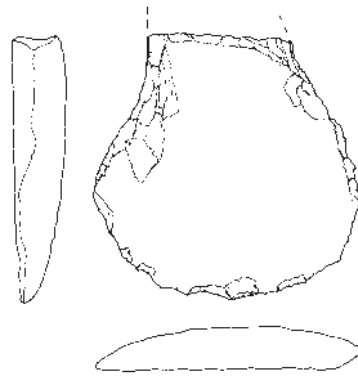
625



626



627



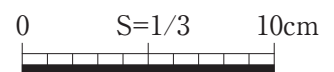
628



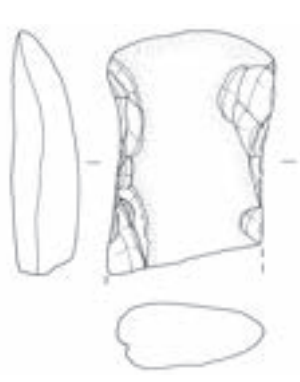
629



630



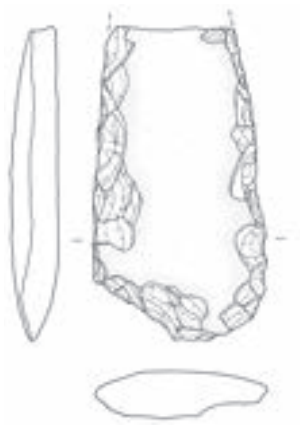
第138図 遺物実測図52 (S = 1 / 3)



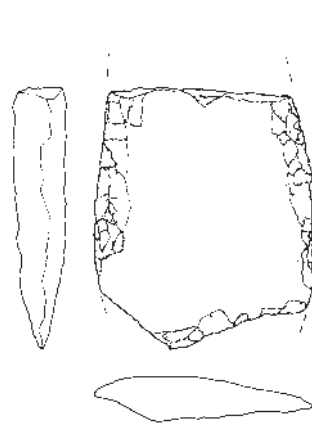
631



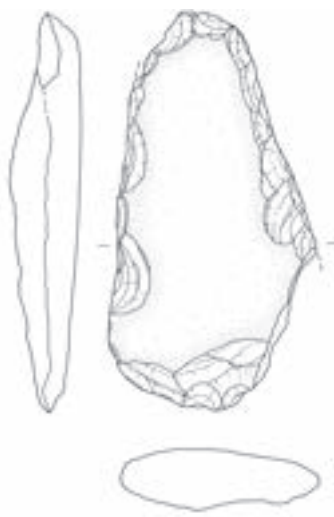
632



633



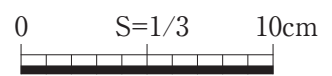
634



635



636



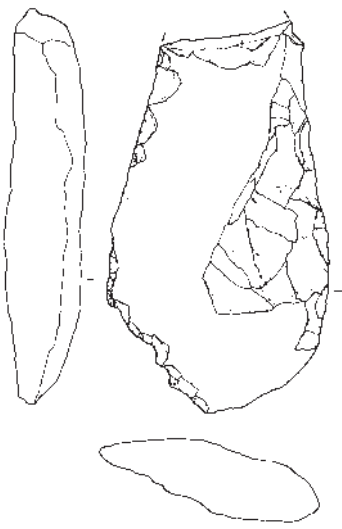
第139図 遺物実測図53 (S = 1 / 3)



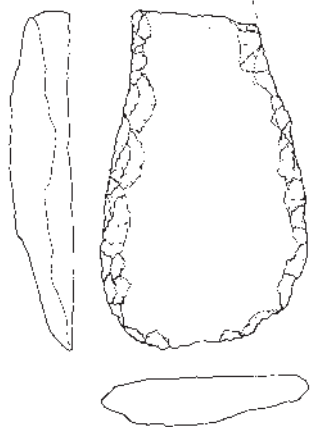
637



638



639



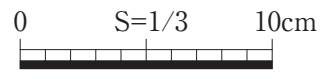
640



641



642



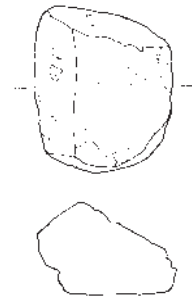
第140図 遺物実測図54 (S= 1 / 3)



643



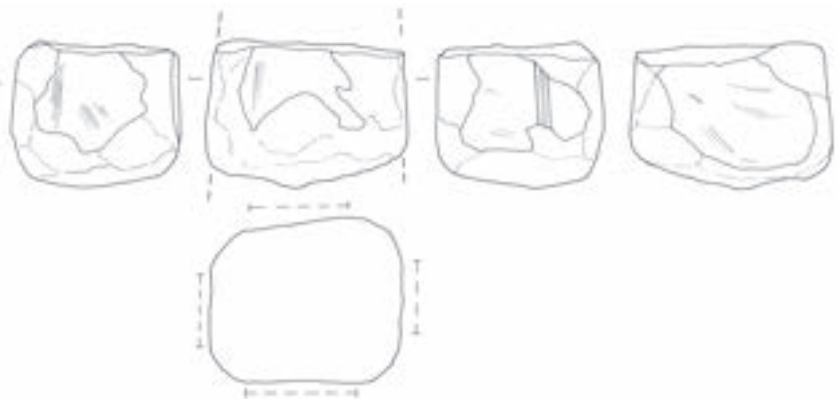
644



645



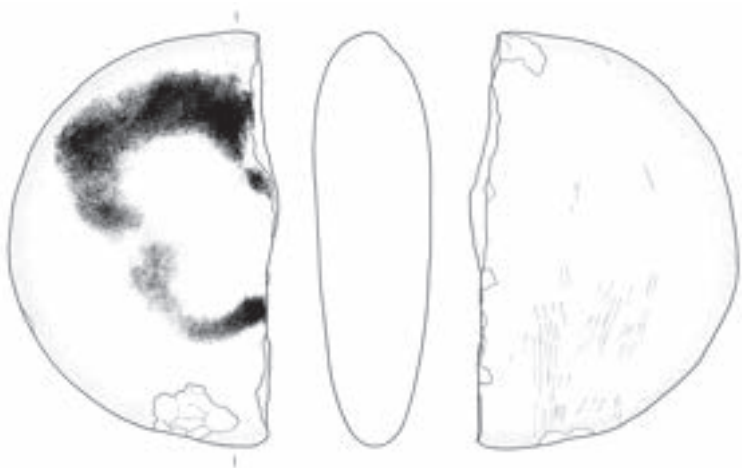
646



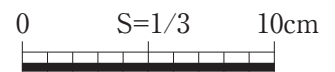
647



648



649



第141図 遺物実測図55 (S = 1 / 3)



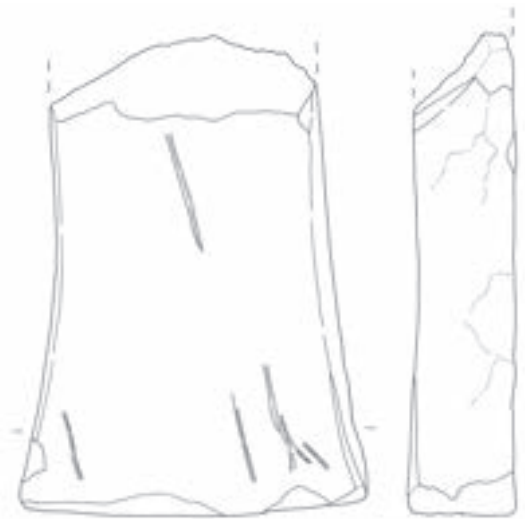
第142図 遺物実測図56 (S=1/3)



655



656



657



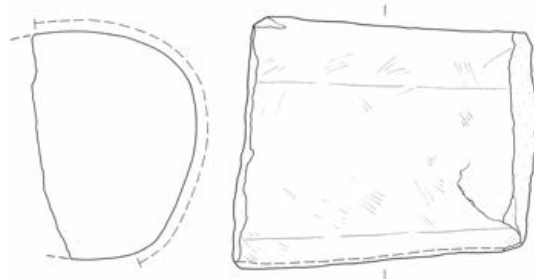
658



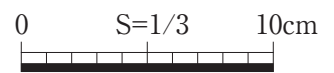
659



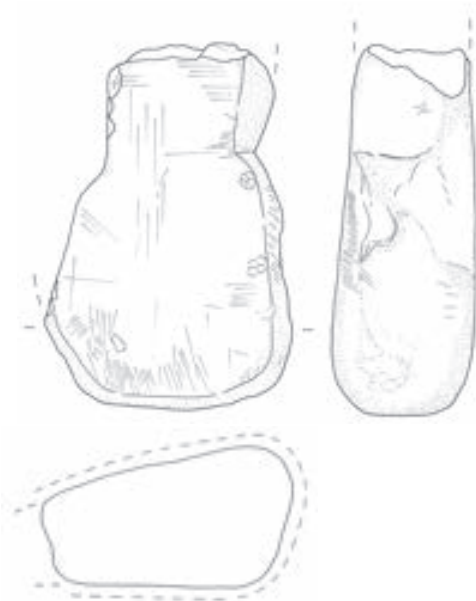
660



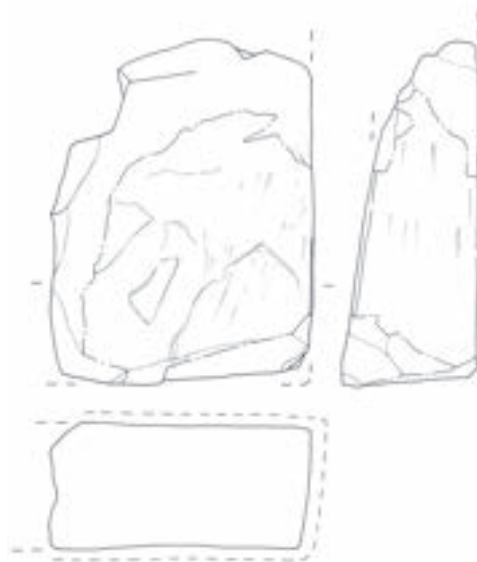
661



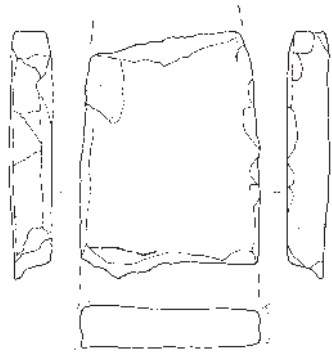
第143図 遺物実測図57 (S = 1 / 3)



662



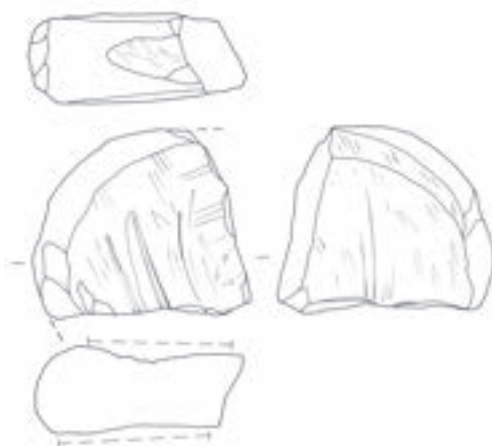
663



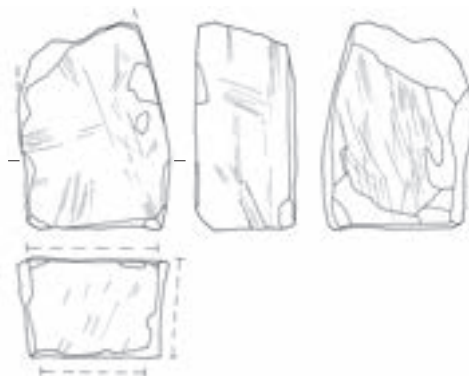
664



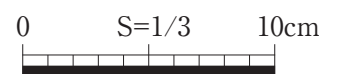
665



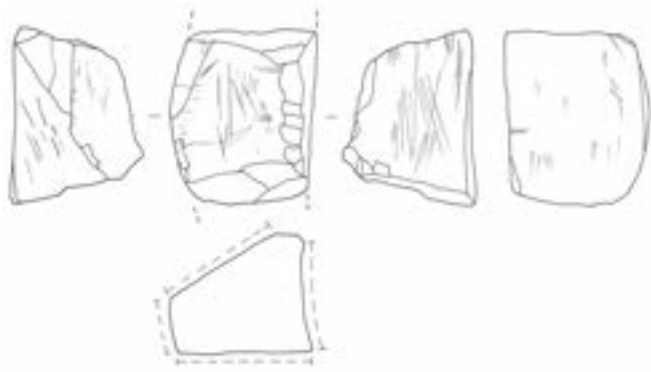
666



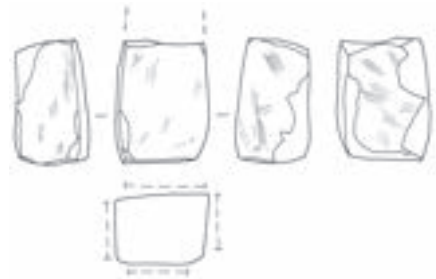
667



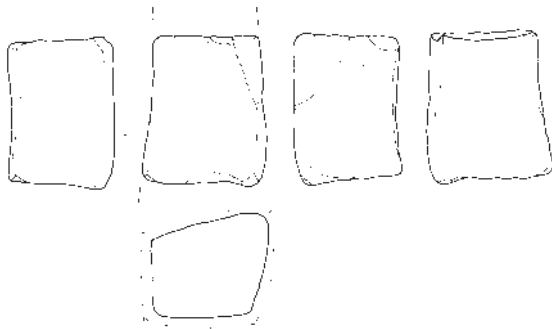
第144図 遺物実測図58 (S = 1 / 3)



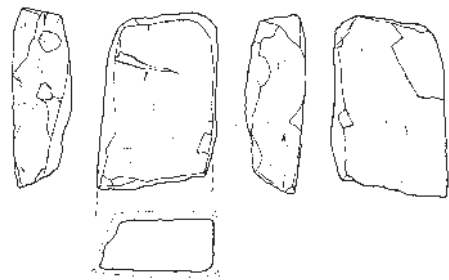
668



669



670



671



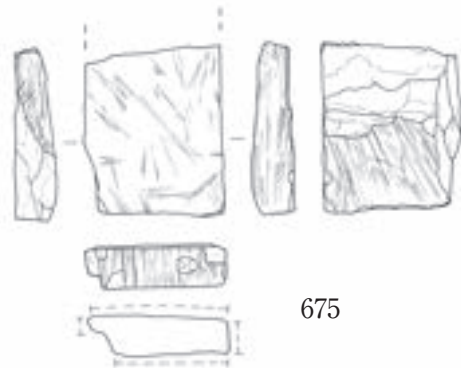
672



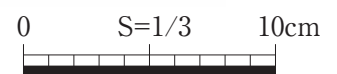
673



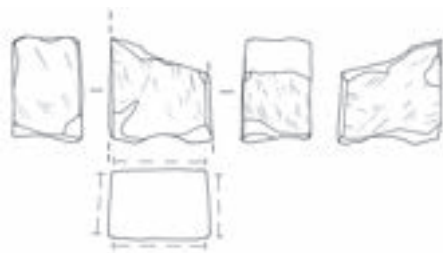
674



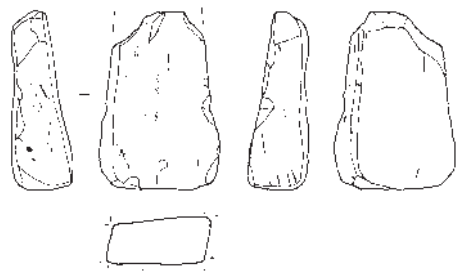
675



第145図 遺物実測図59 (S=1/3)



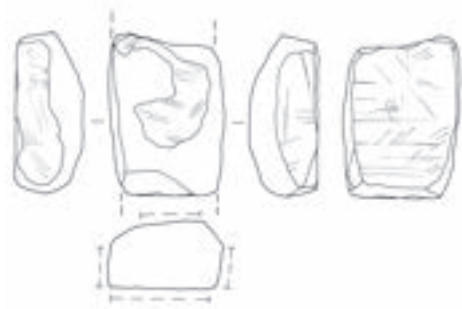
676



677



678



679



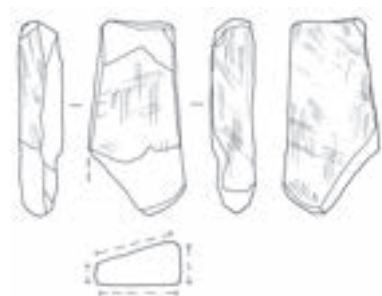
680



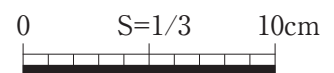
681



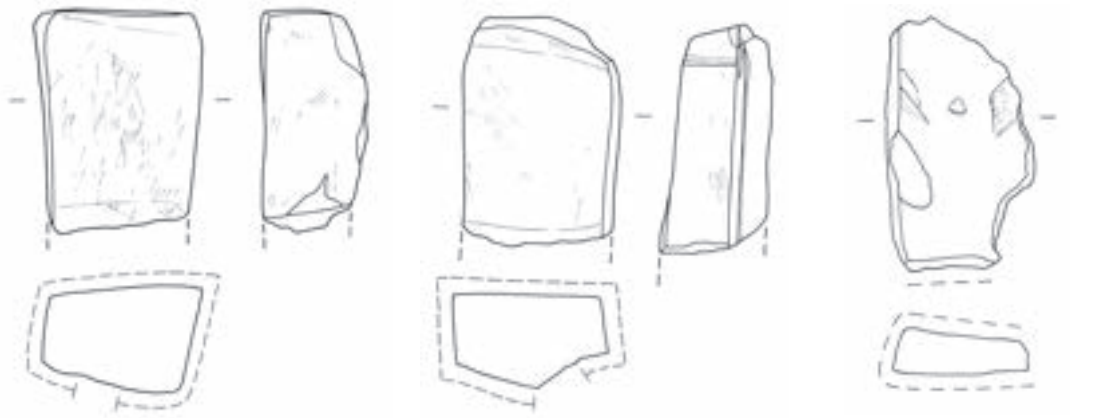
682



683



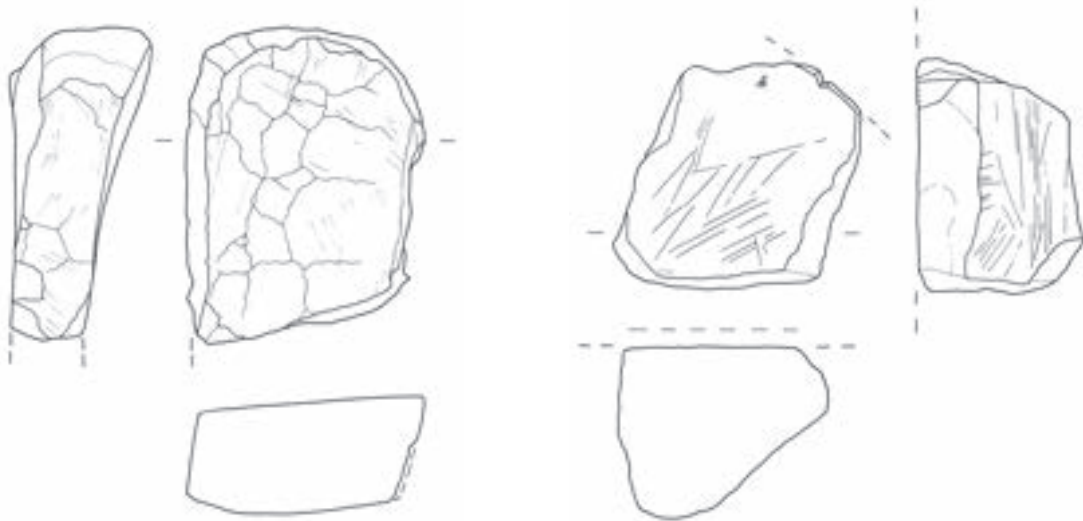
第146図 遺物実測図60 (S = 1 / 3)



684

685

686



687

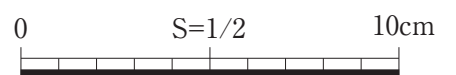
688



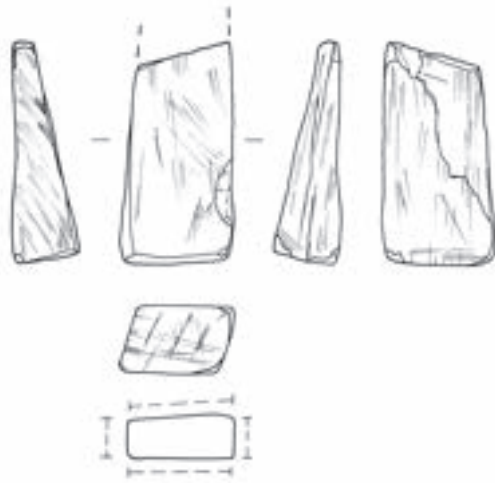
689



690



第147図 遺物実測図61 (S = 1 / 2)



691



692



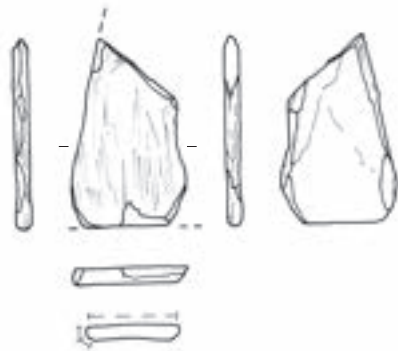
693



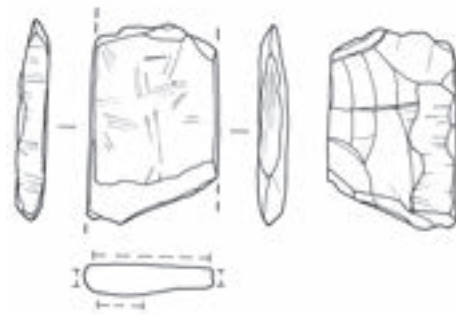
694



695



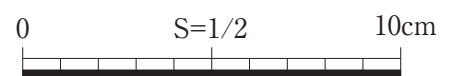
696



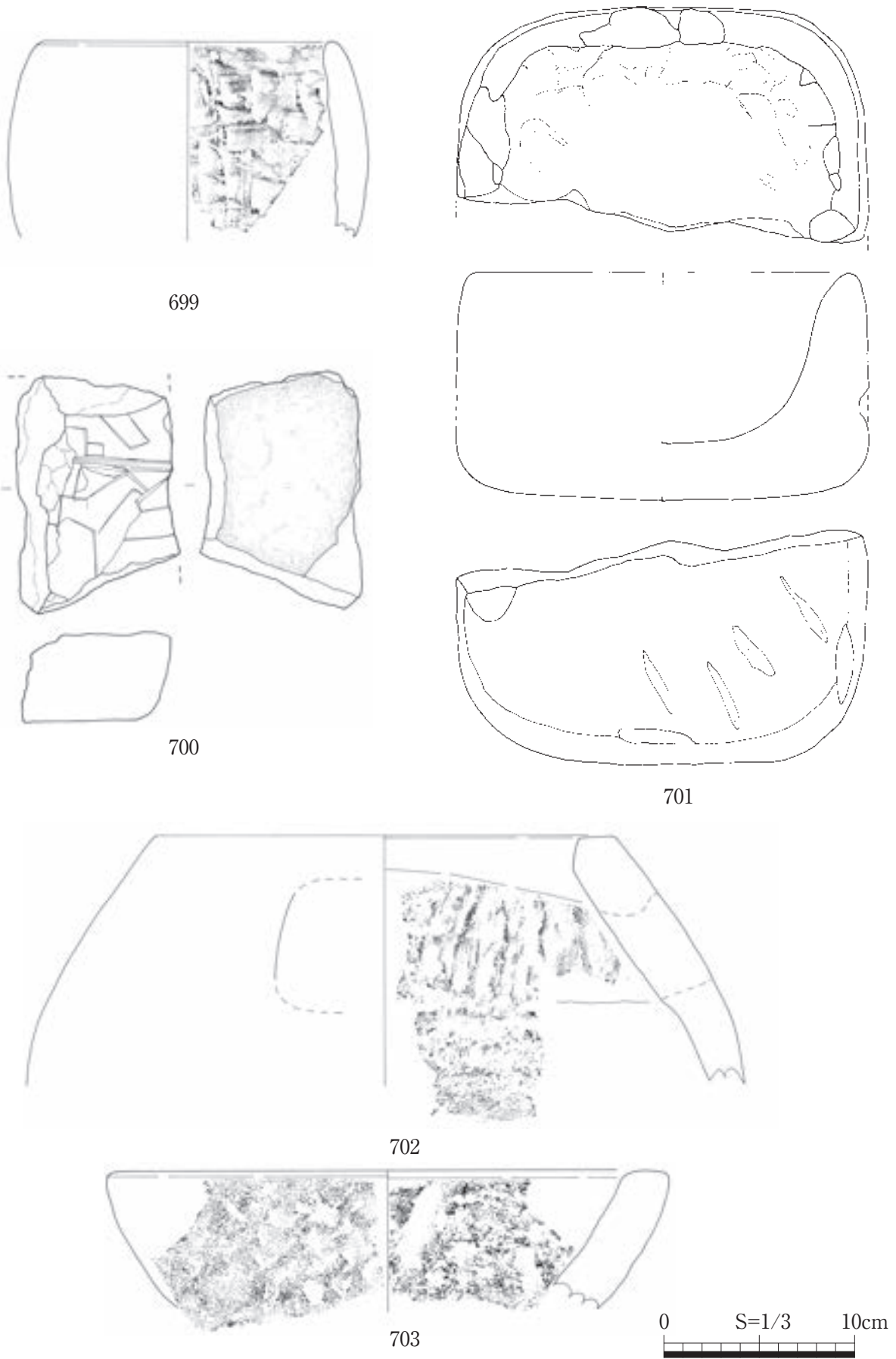
697



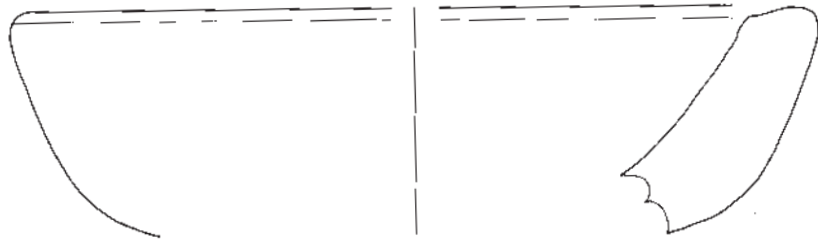
698



第148図 遺物実測図62 (S = 1 / 2)



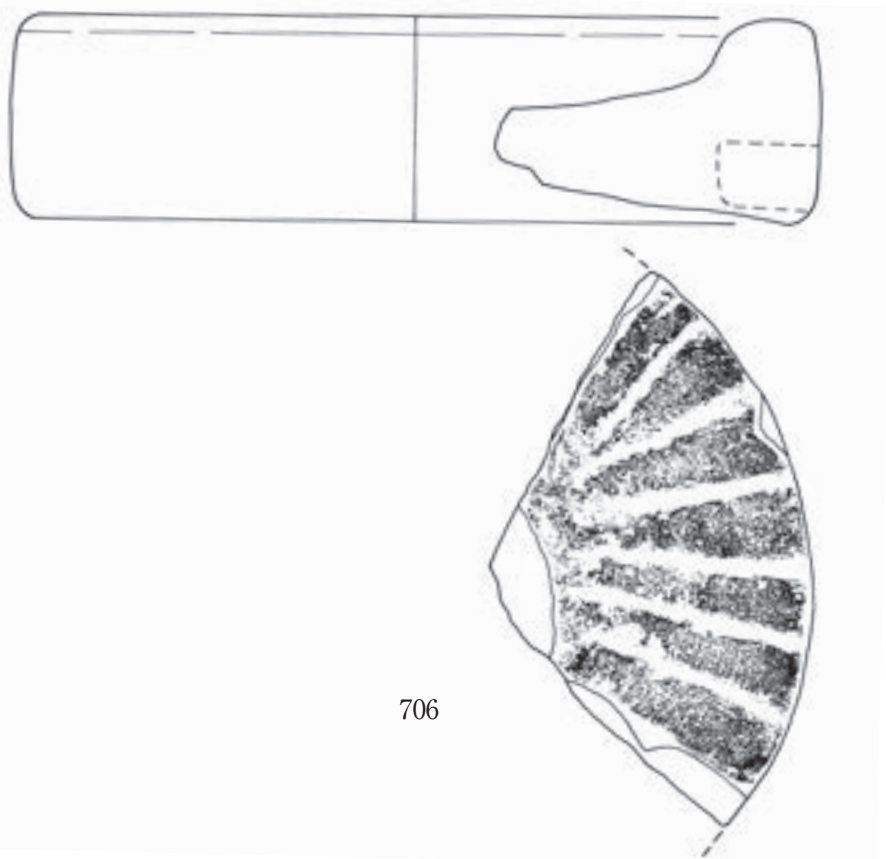
第149図 遺物実測図63 (S= 1 / 3)



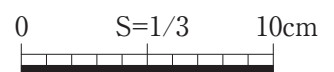
704



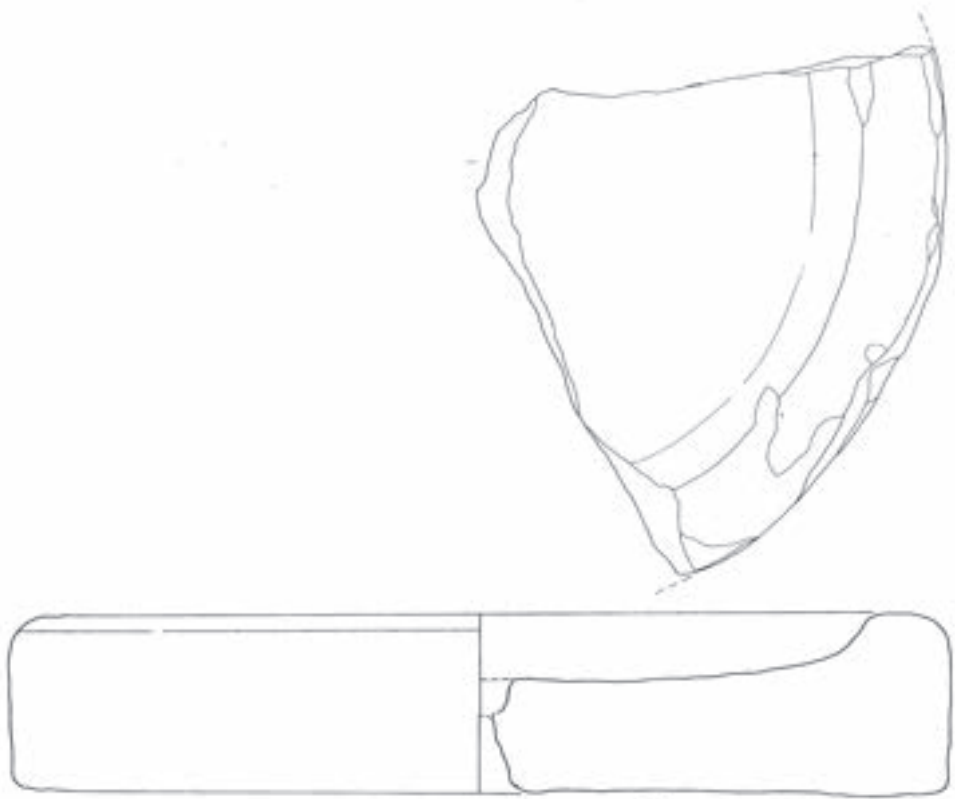
705



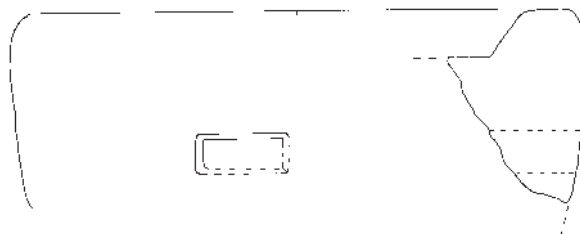
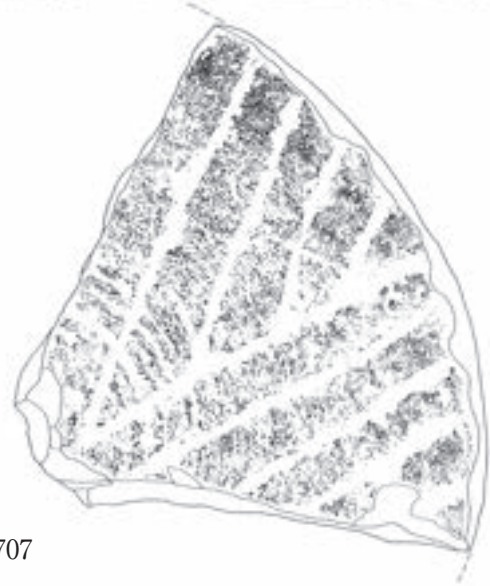
706



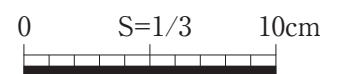
第150図 遺物実測図64 (S = 1 / 3)



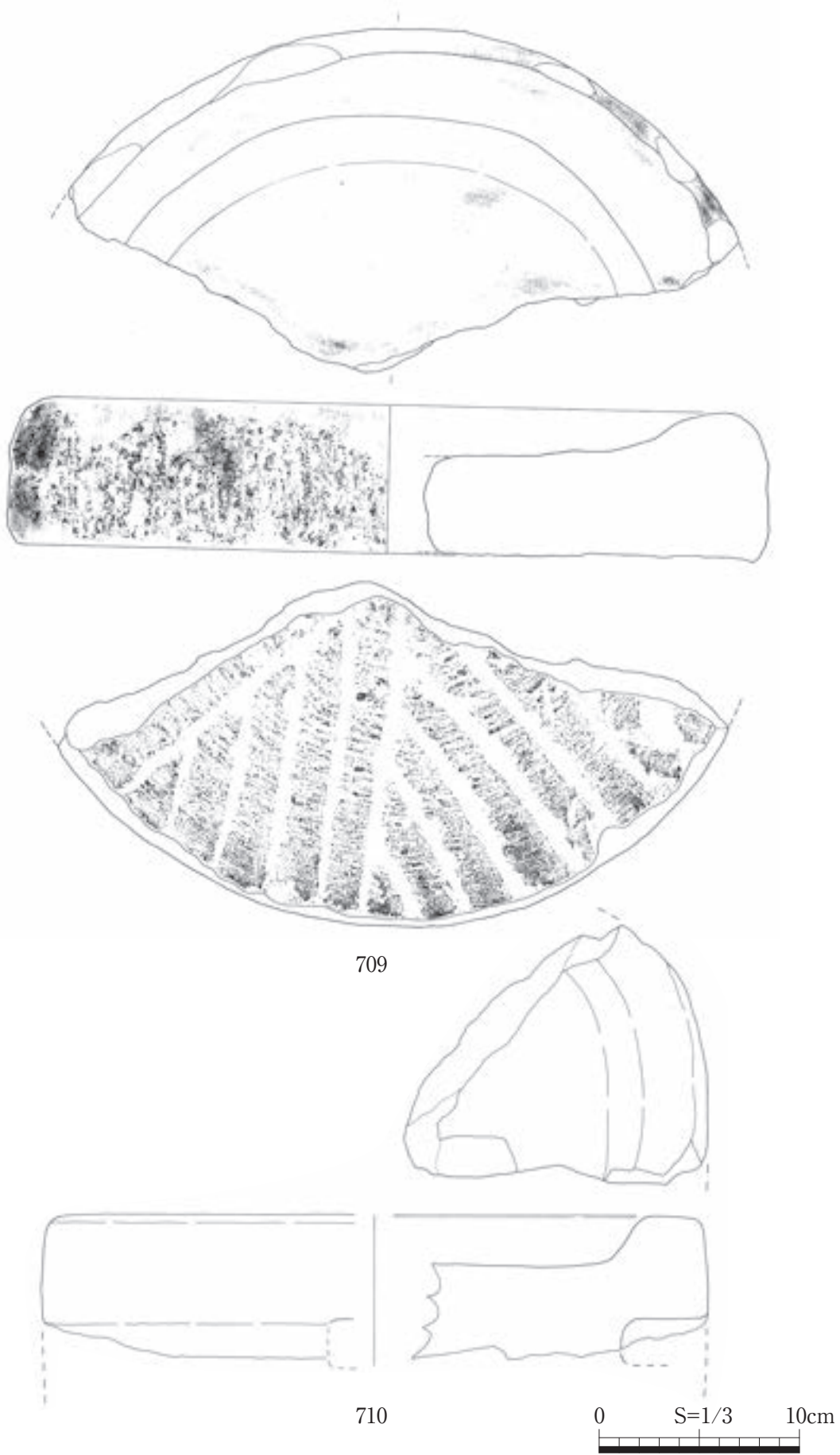
707



708



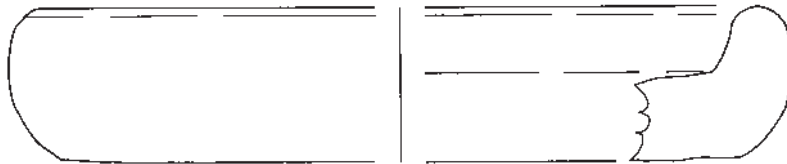
第151図 遺物実測図65 (S = 1 / 3)



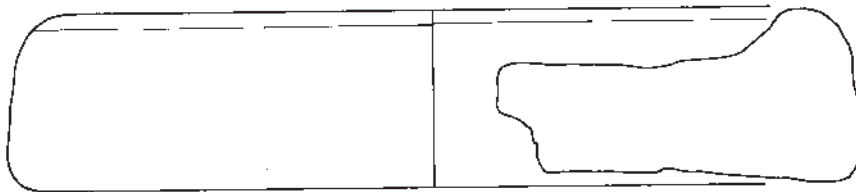
第152図 遺物実測図66 (S = 1 / 3)



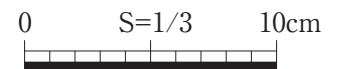
711



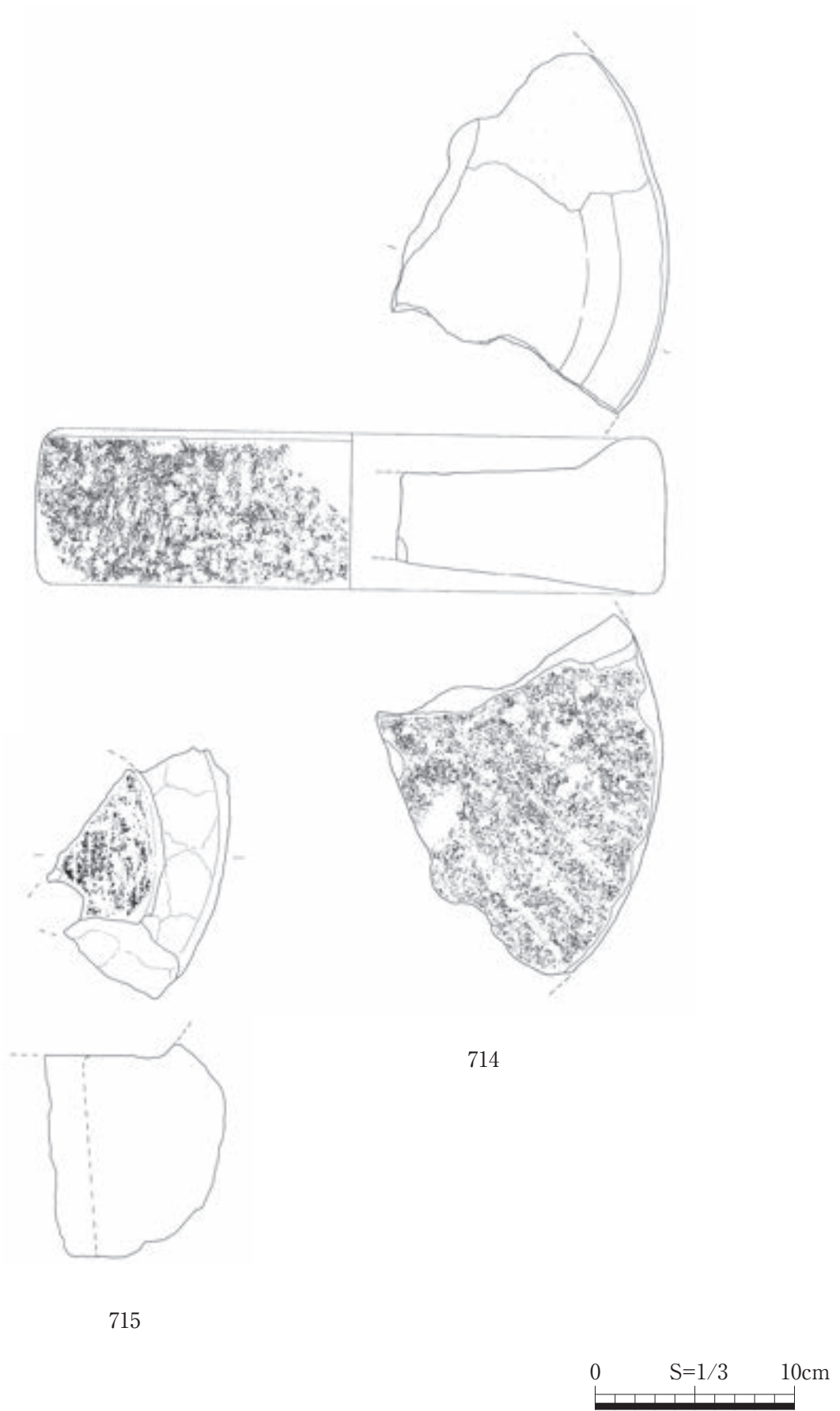
712



713



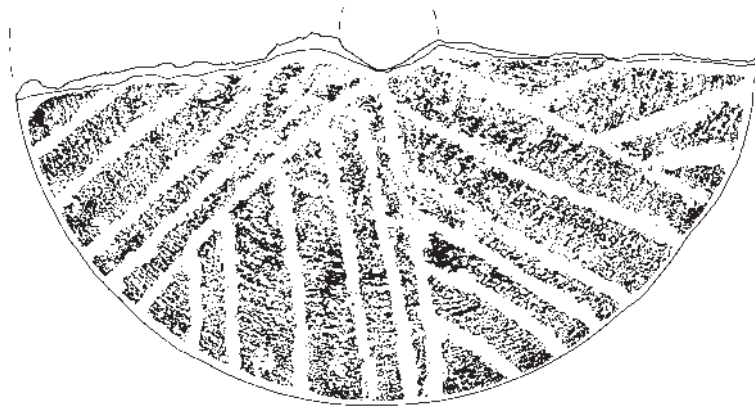
第153図 遺物実測図67 (S=1/3)



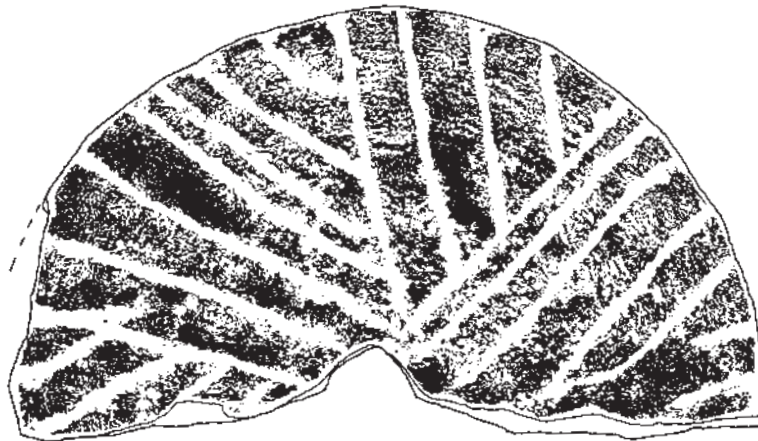
715

714

第154図 遺物実測図68 (S = 1 / 3)



716

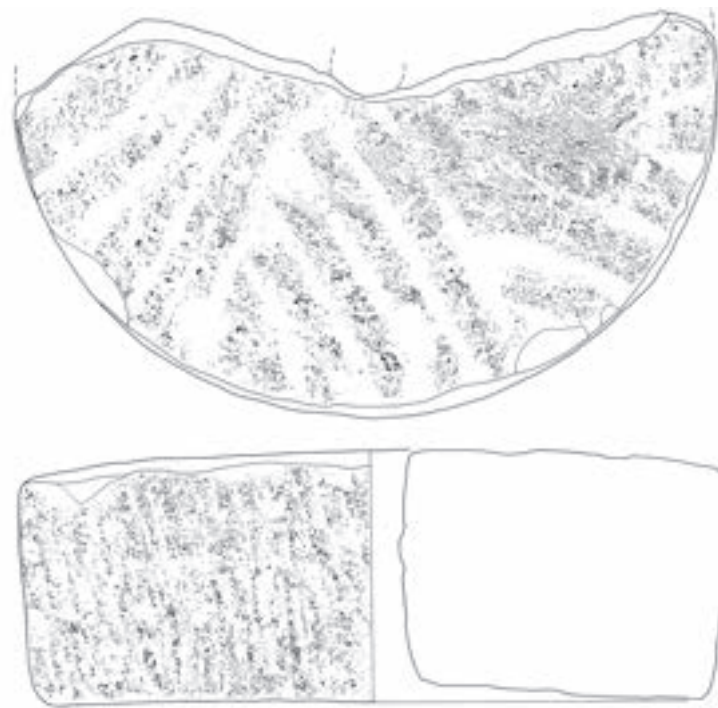


717

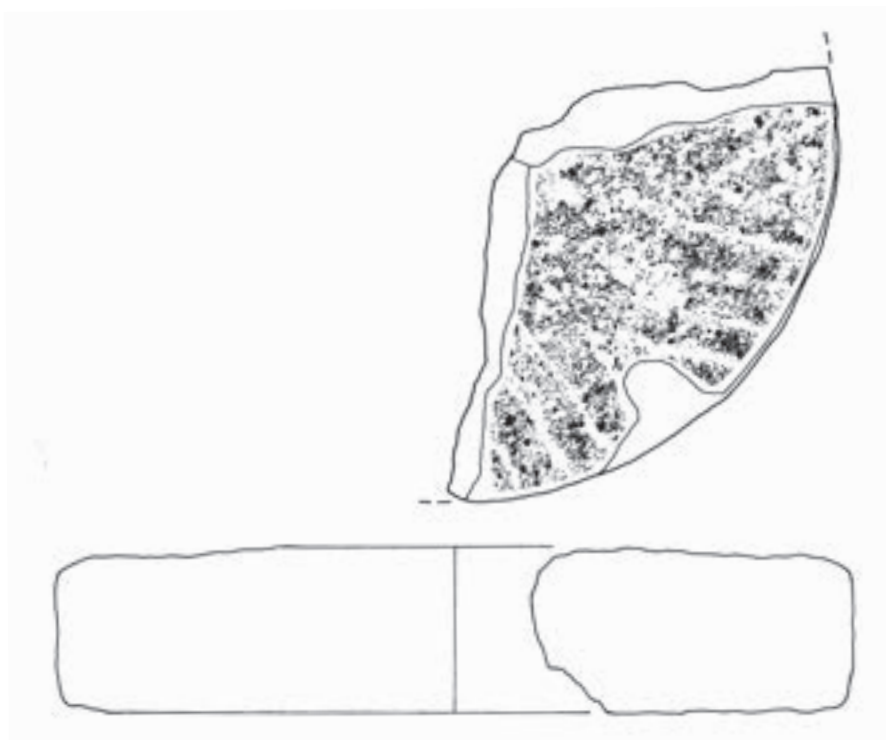
0 S=1/3 10cm

A scale bar with three segments. The first segment is labeled '0', the second 'S=1/3', and the third '10cm'. The bar is a simple horizontal line with vertical tick marks at the ends of each segment.

第155図 遺物実測図69 (S = 1 / 3)



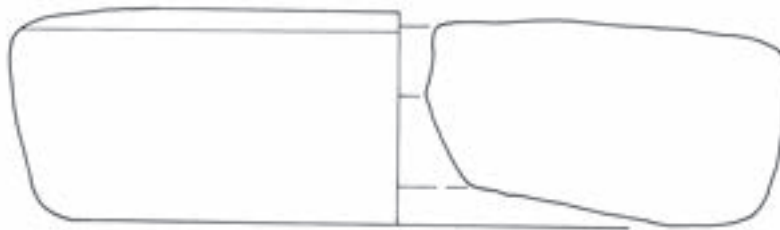
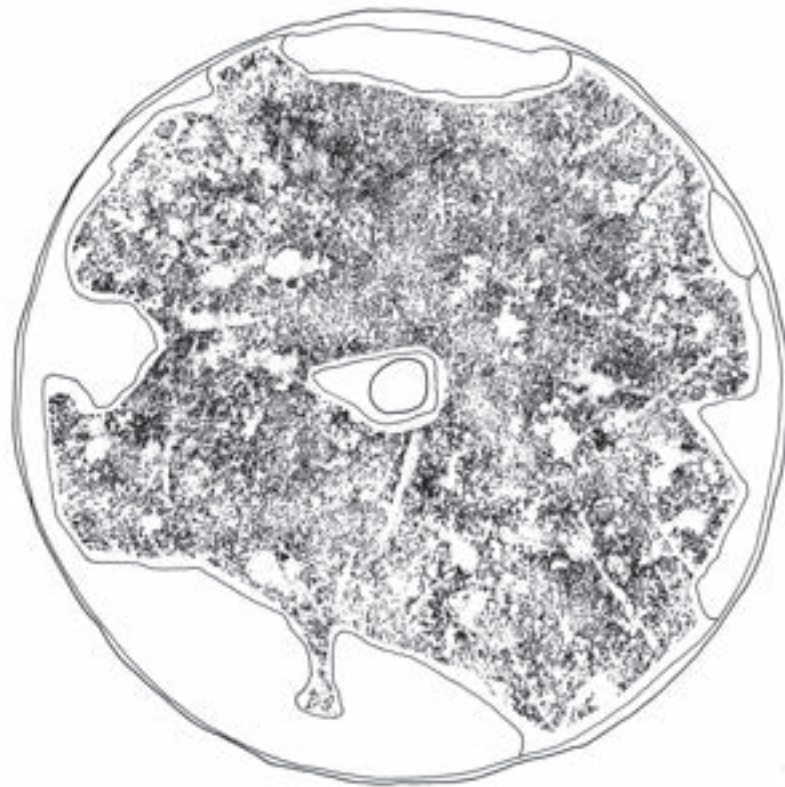
718



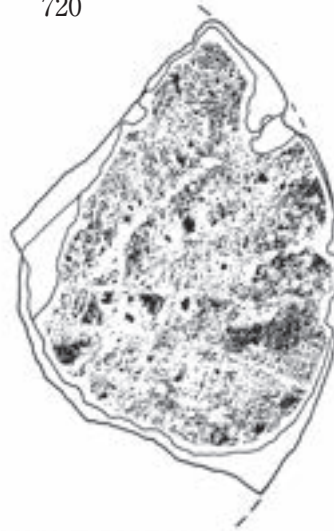
719

0 S=1/3 10cm

第156図 遺物実測図70 (S = 1 / 3)



720



721

0 S=1/3 10cm

第157図 遺物実測図71 (S = 1 / 3)



第158図 遺物実測図72 (S = 1 / 3)



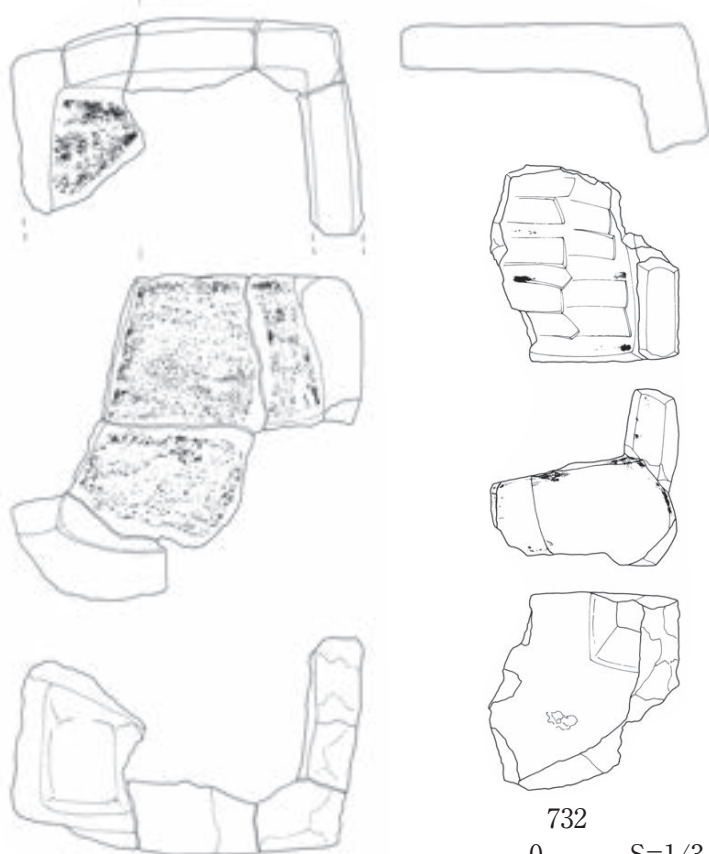
728



729



730

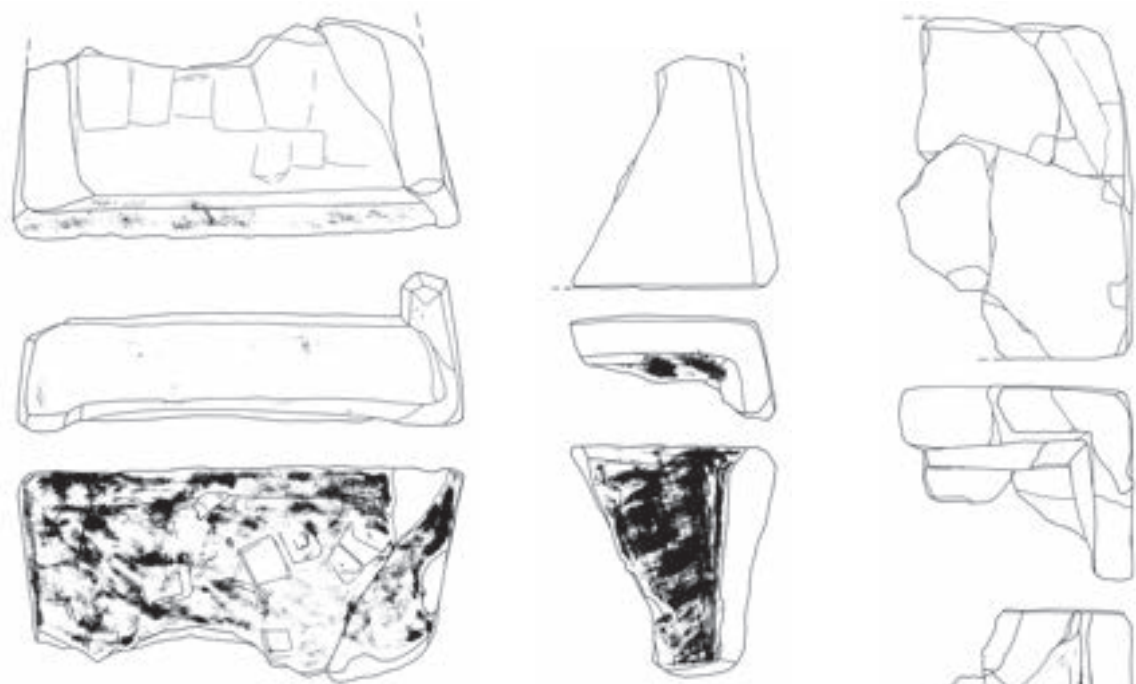


731

732

0 S=1/3 10cm

第159図 遺物実測図73 (S = 1 / 3)

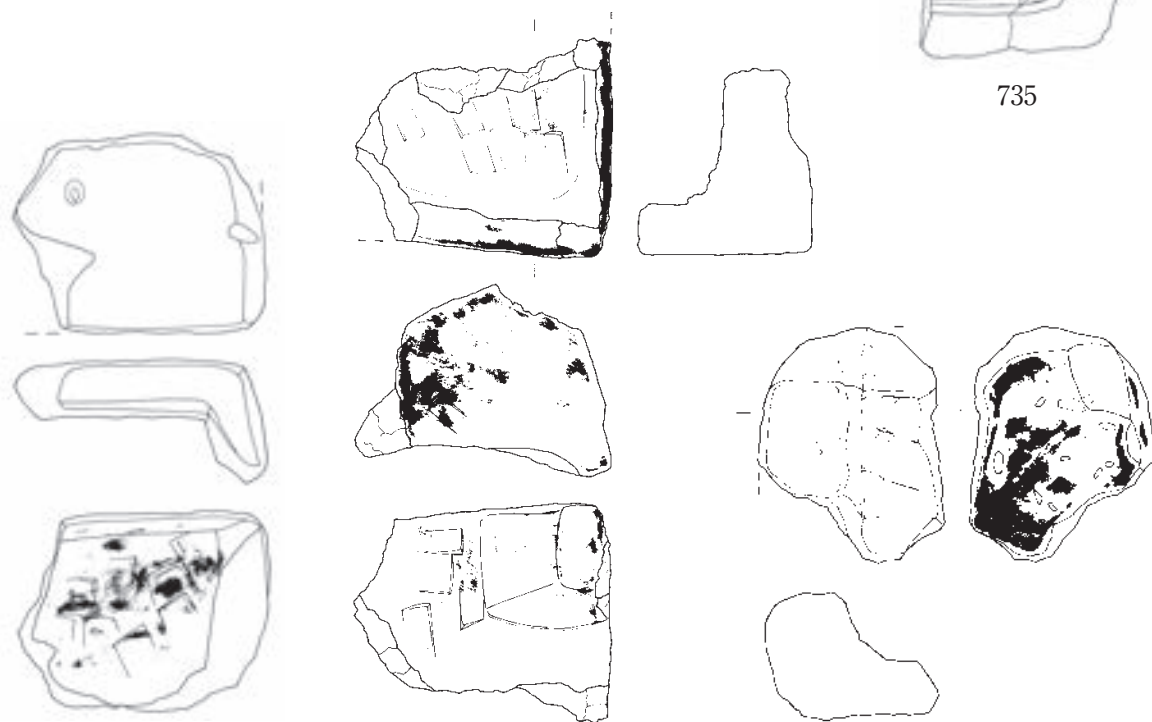


733

734



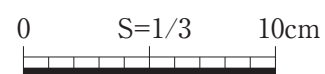
735



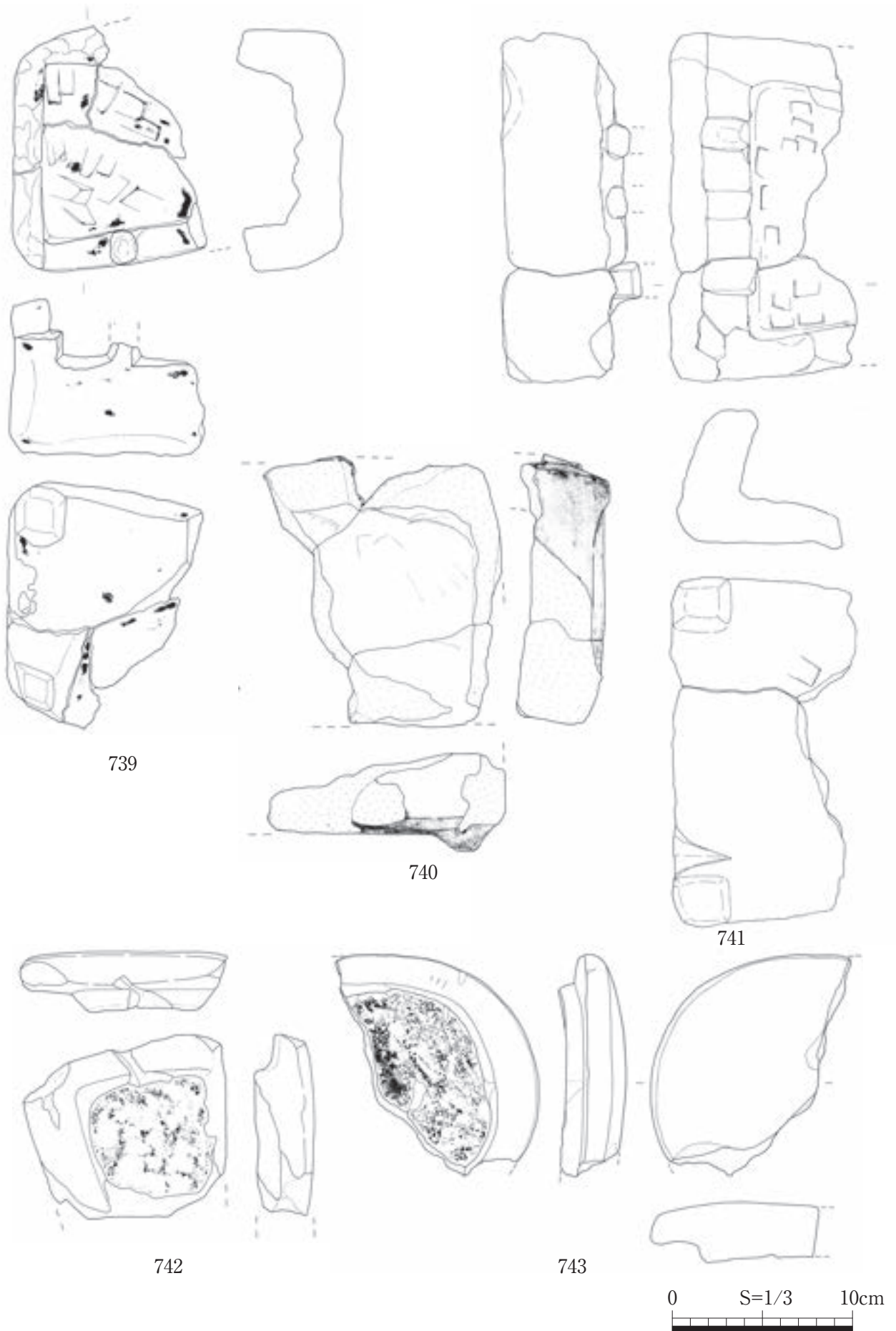
736

737

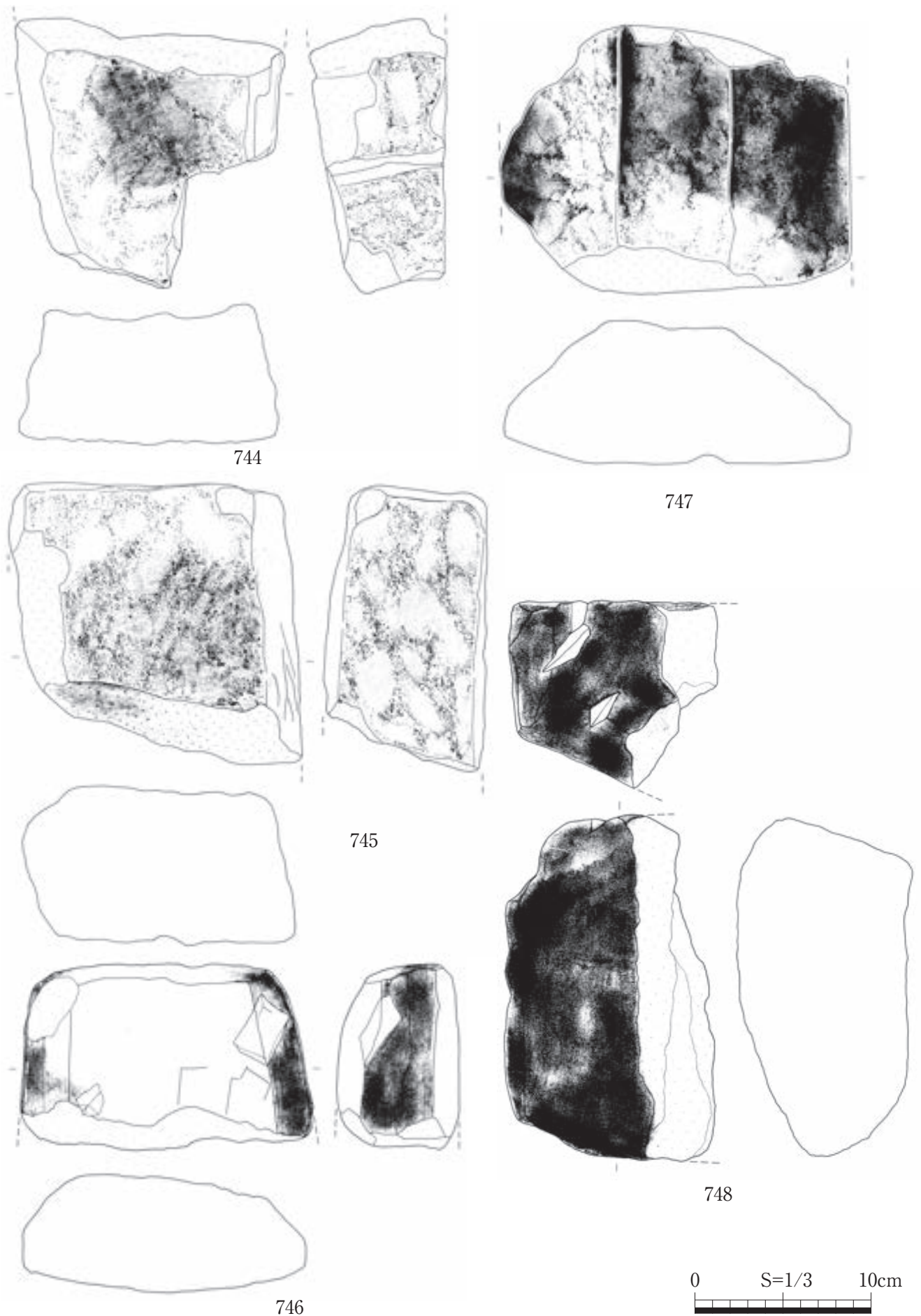
738



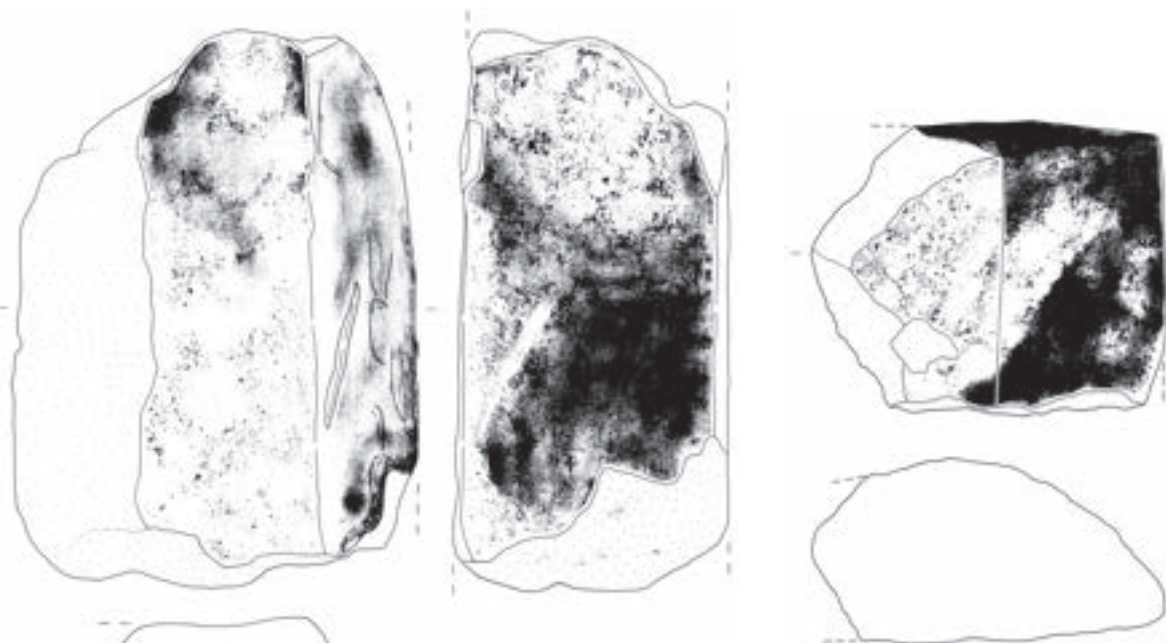
第160図 遺物実測図74 (S = 1 / 3)



第161図 遺物実測図75 (S = 1 / 3)



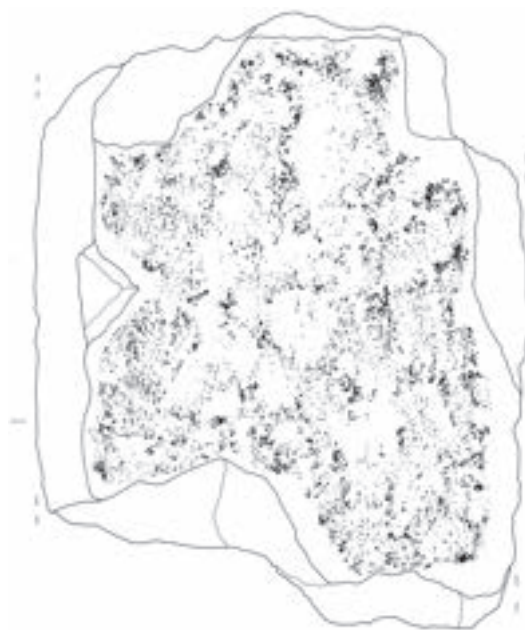
第162図 遺物実測図76 (S = 1 / 3)



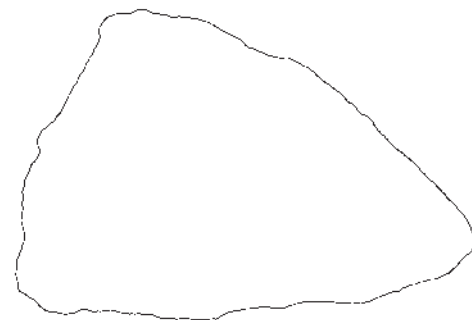
750



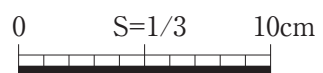
749



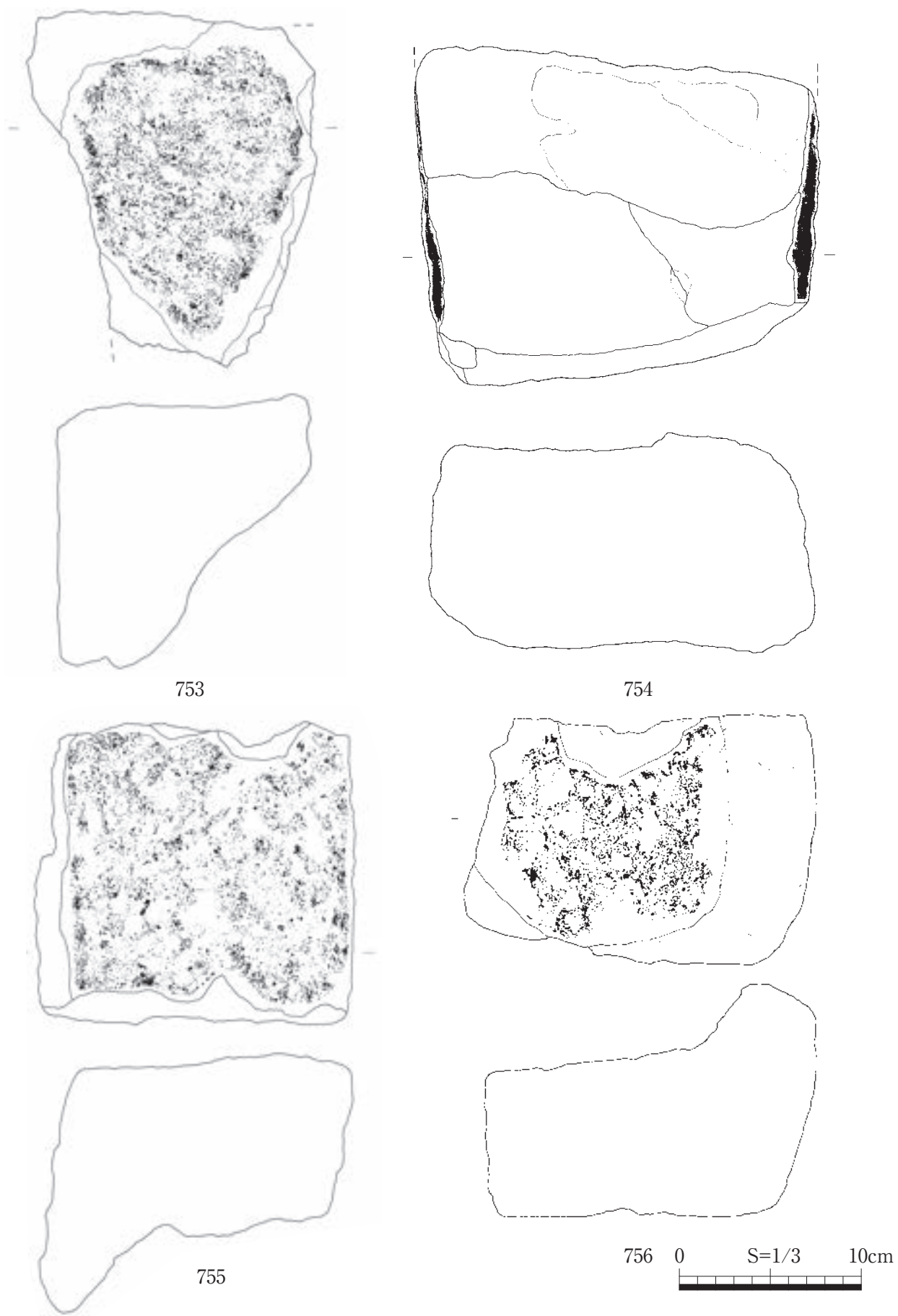
751



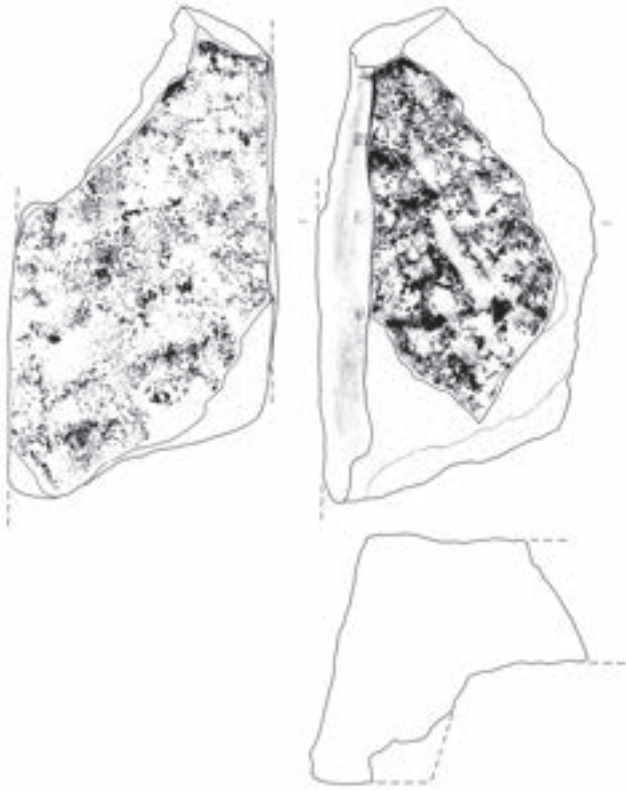
752



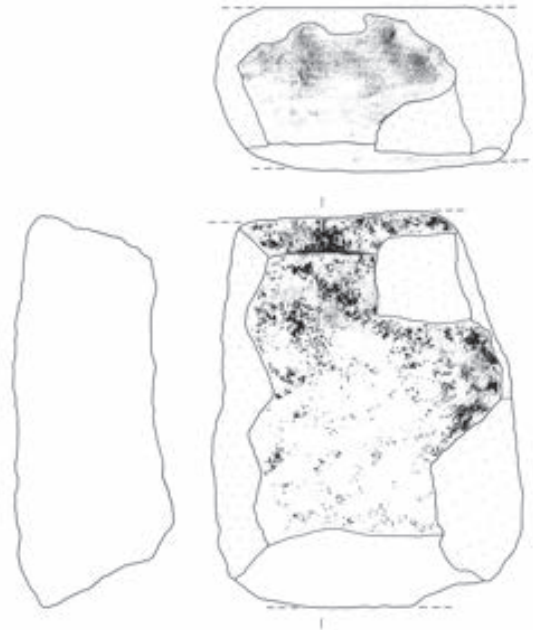
第163図 遺物実測図77 (S = 1 / 3)



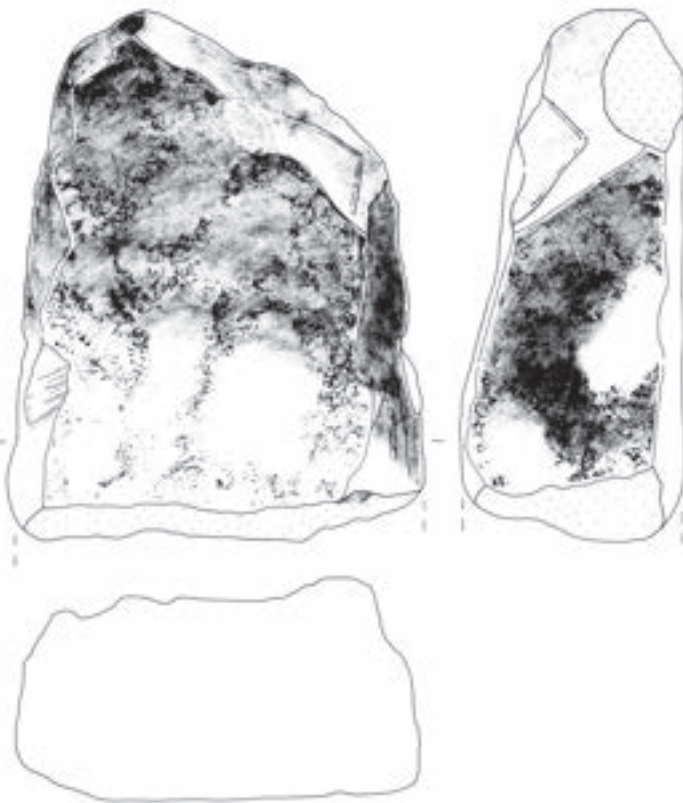
第164図 遺物実測図78 (S= 1 / 3)



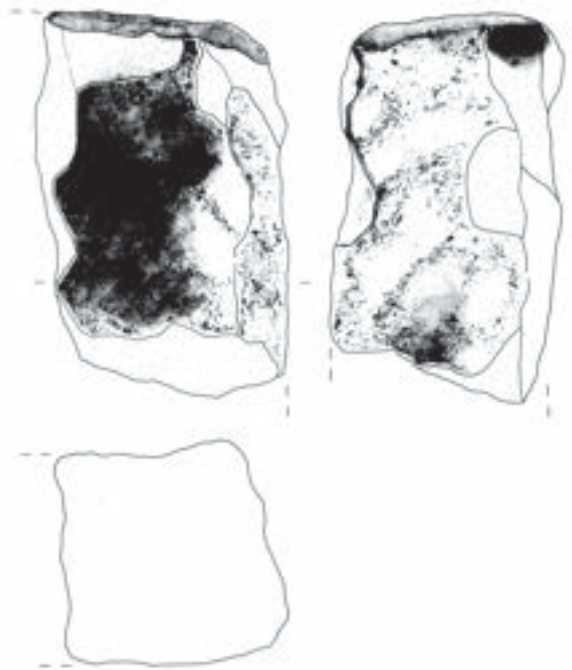
757



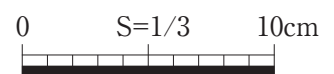
758



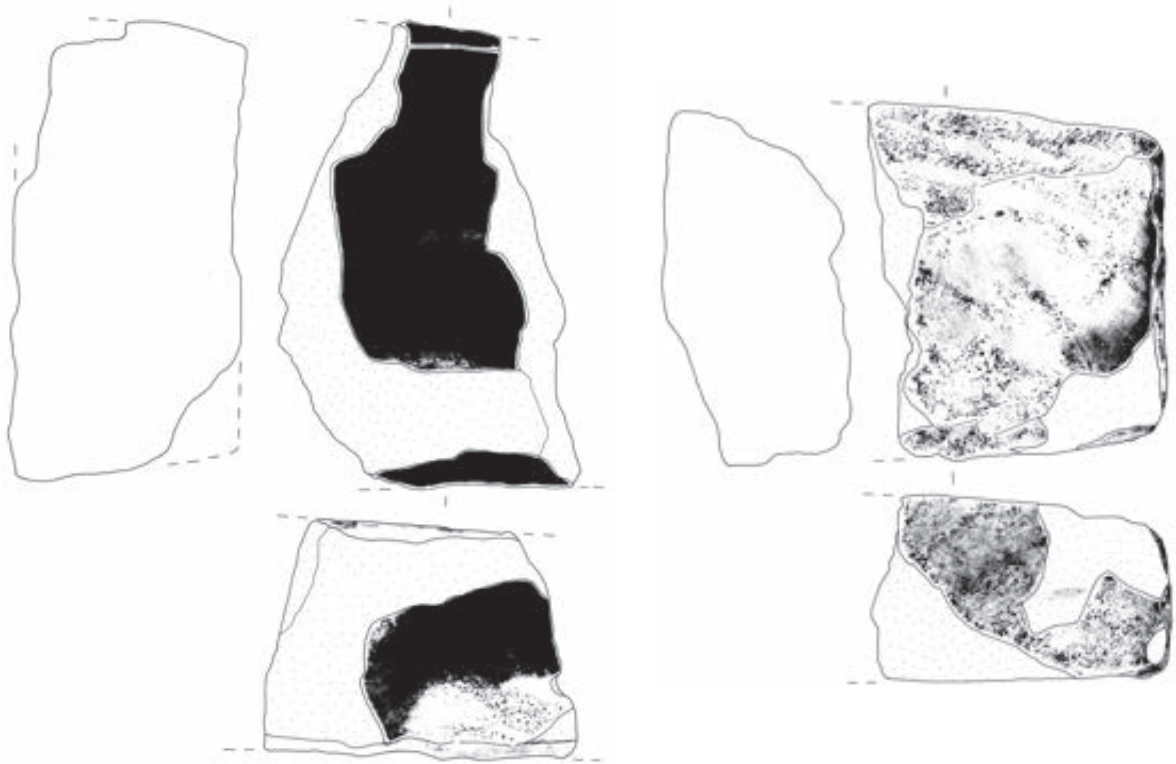
759



760

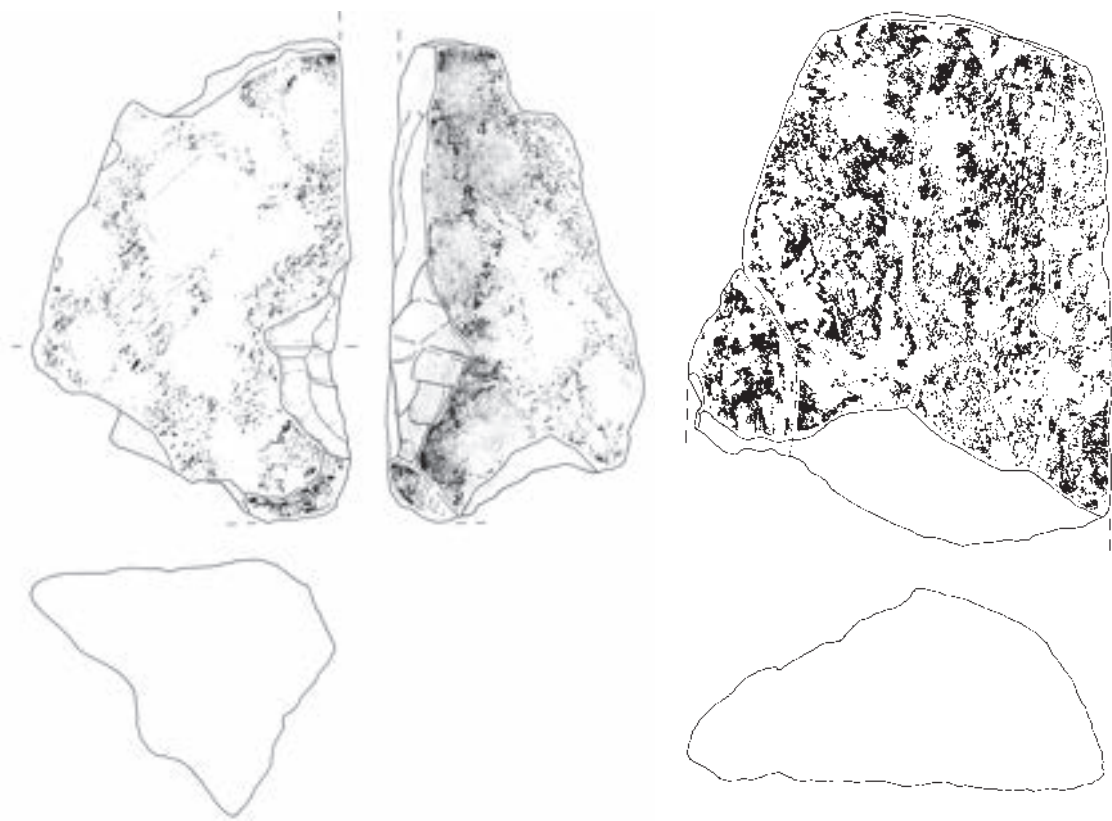


第165図 遺物実測図79 (S = 1 / 3)



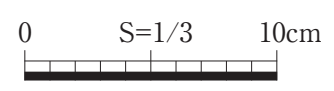
761

762

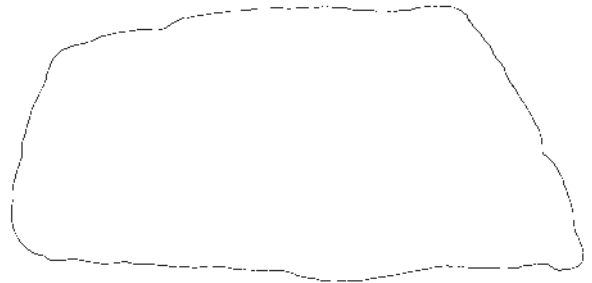
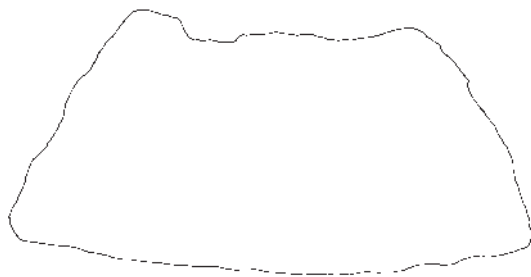
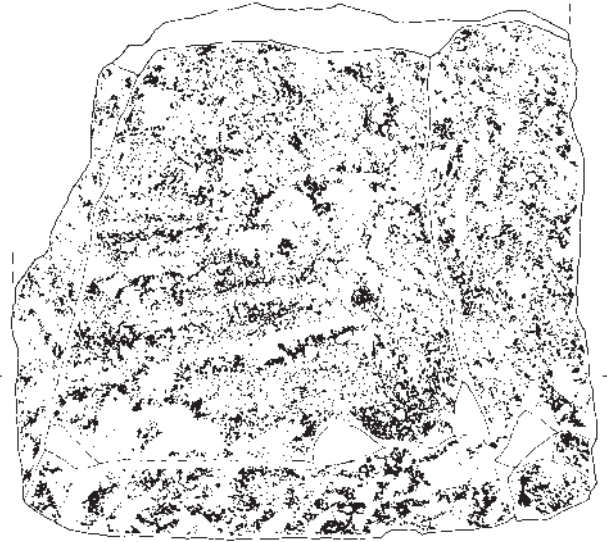
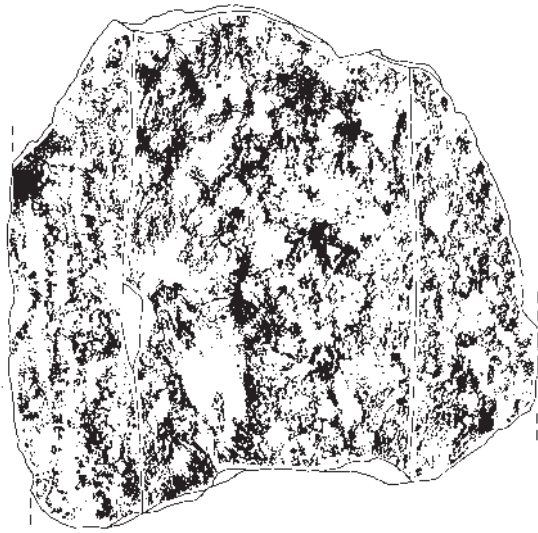


763

764



第166図 遺物実測図80 (S = 1 / 3)



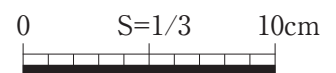
765

766

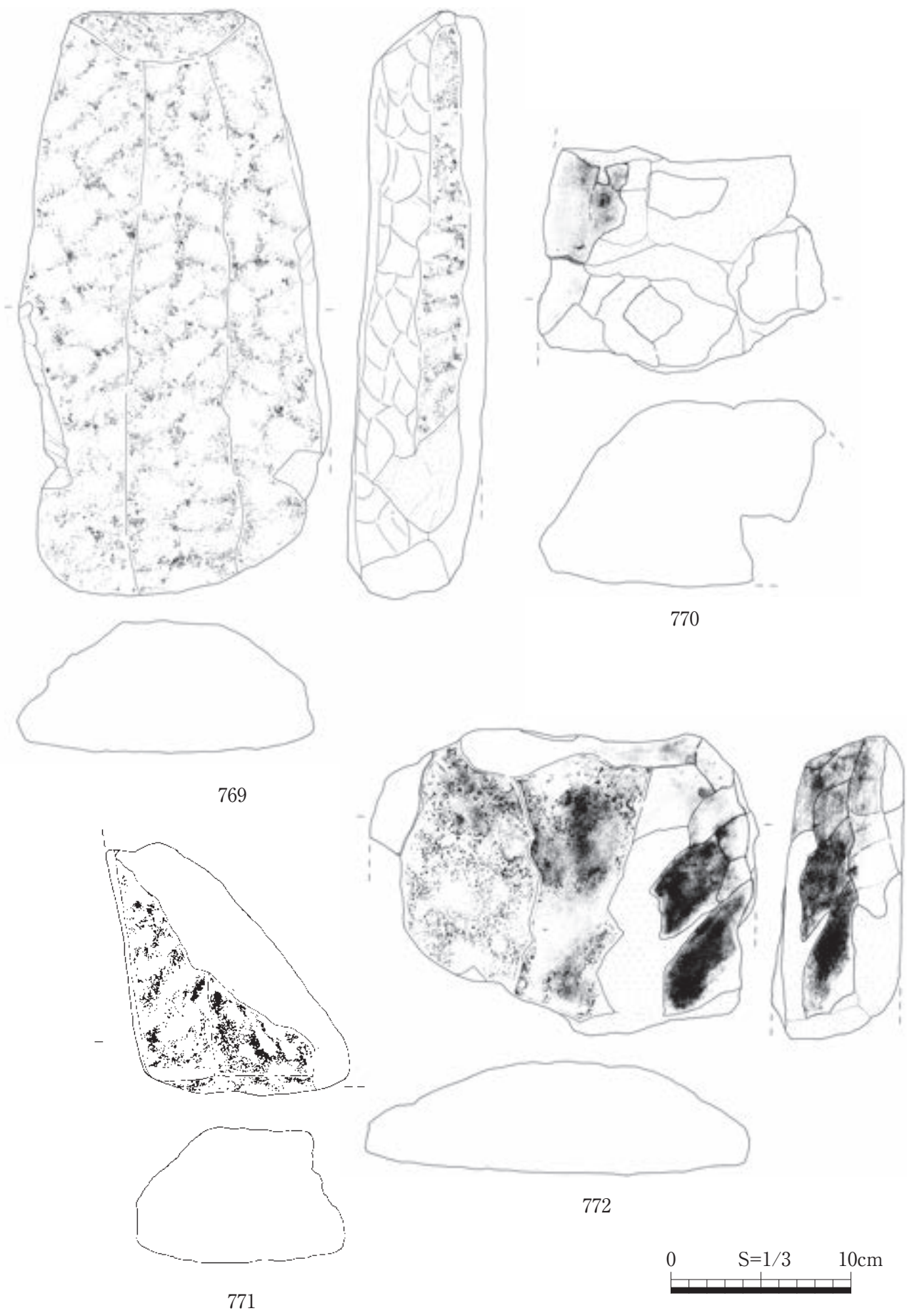


767

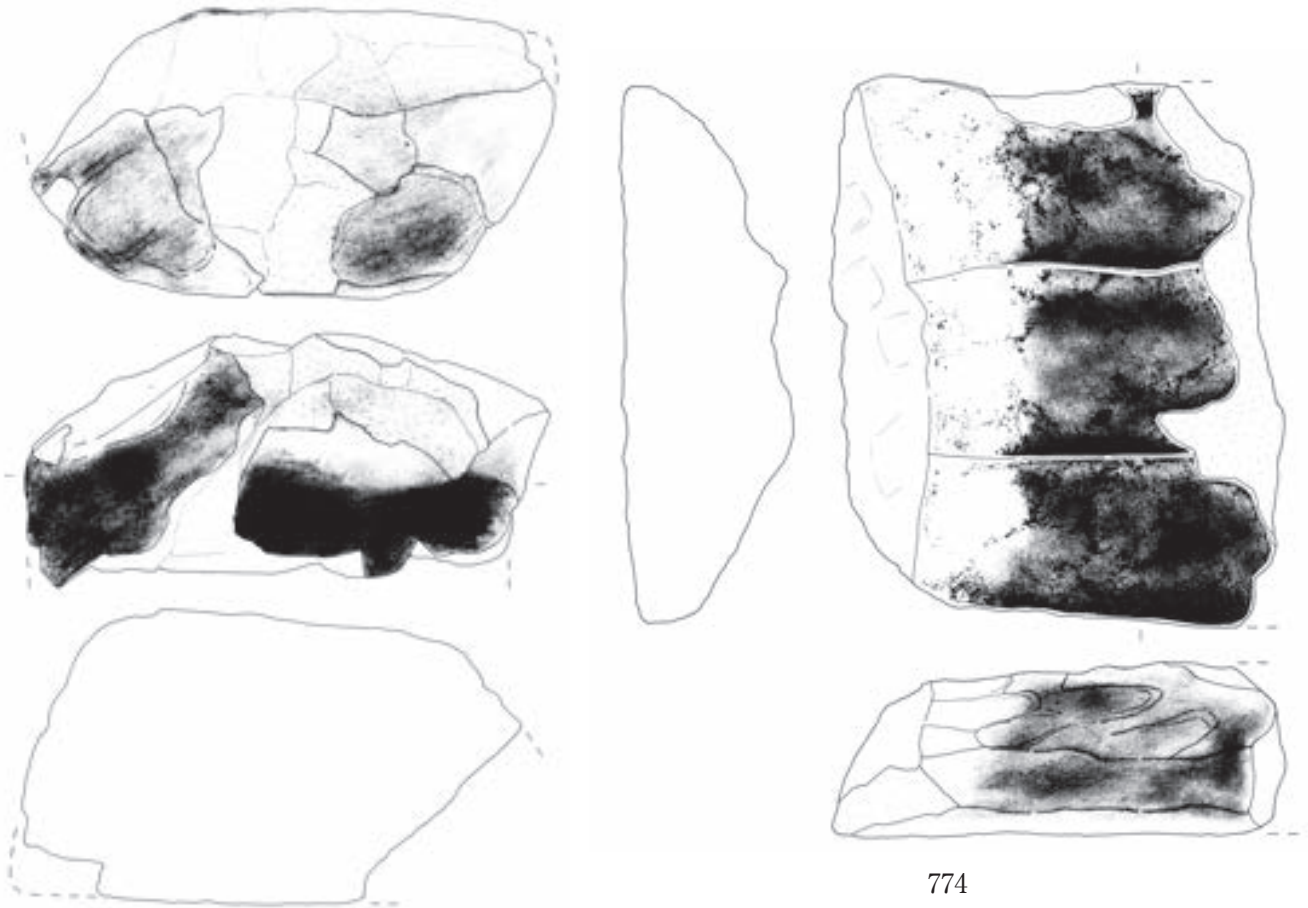
768



第167図 遺物実測図81 (S=1/3)



第168図 遺物実測図82 (S = 1 / 3)

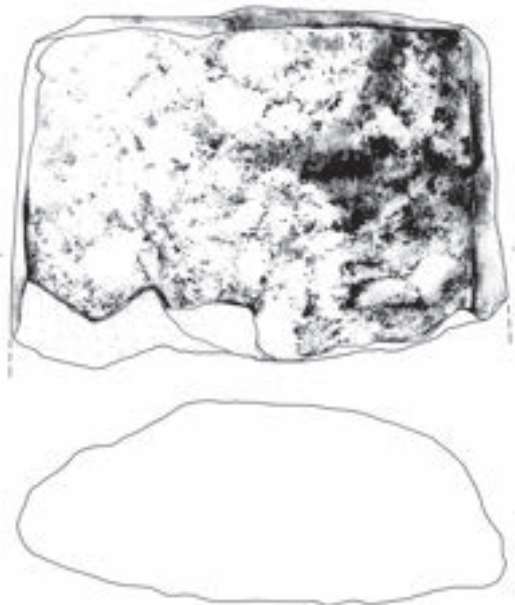


773

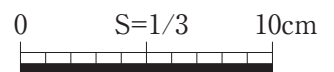
774



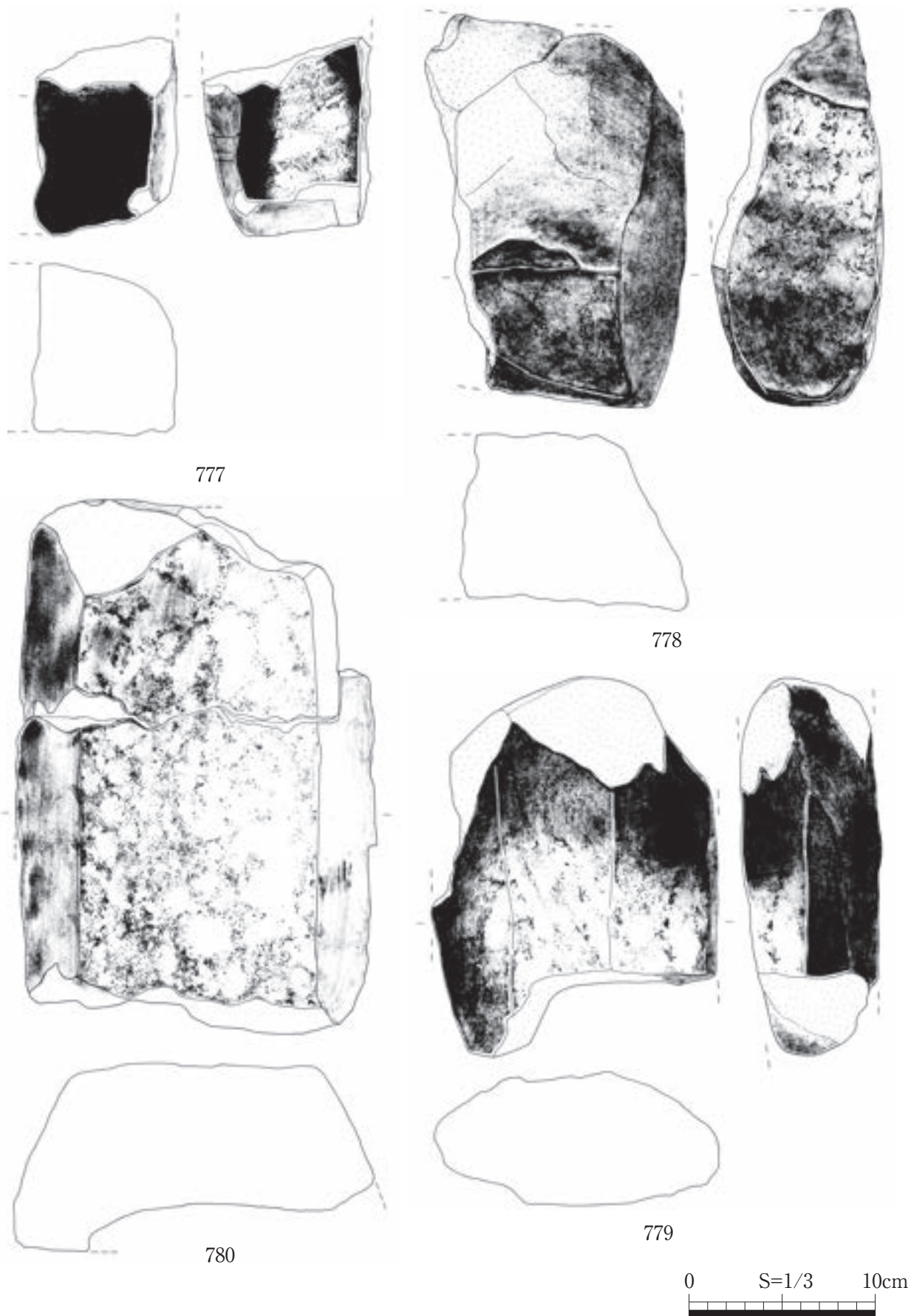
775



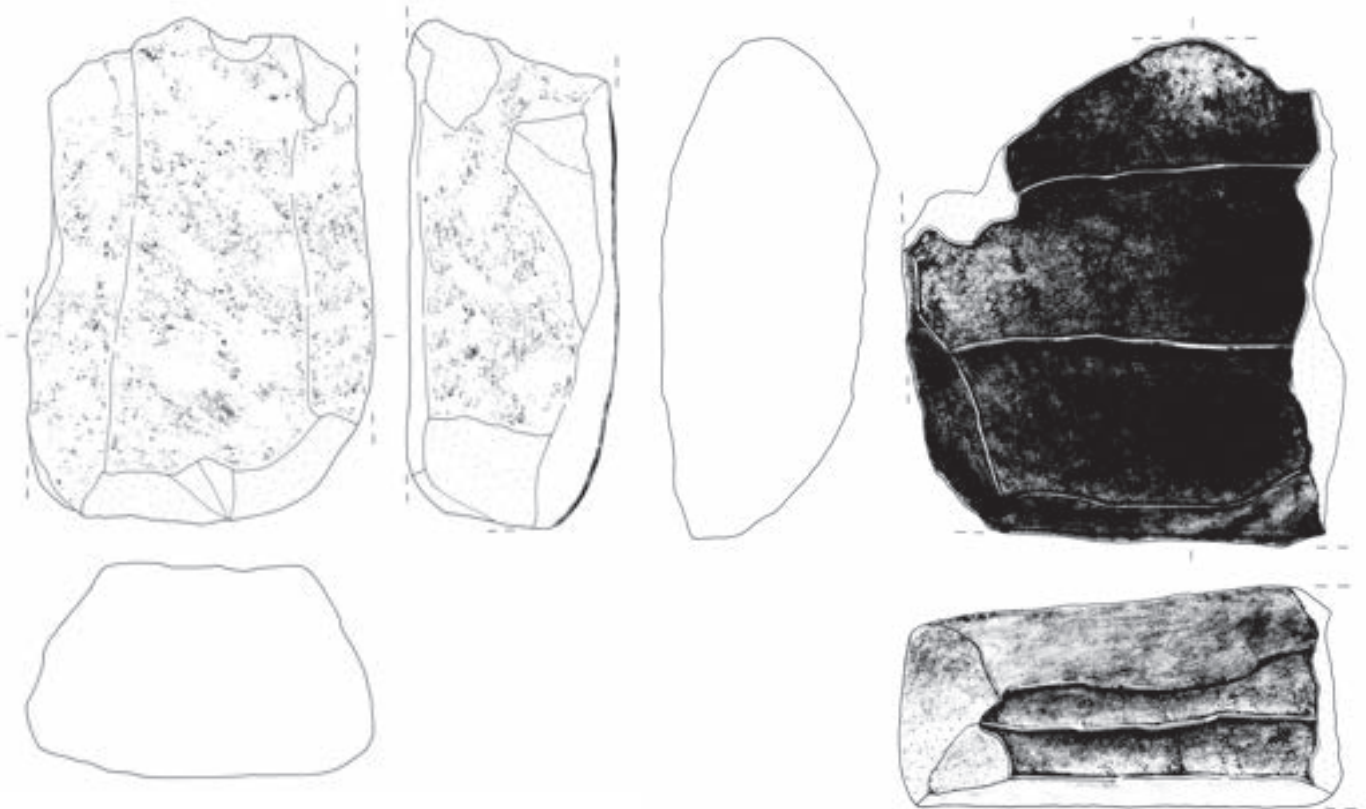
776



第169図 遺物実測図83 (S = 1 / 3)

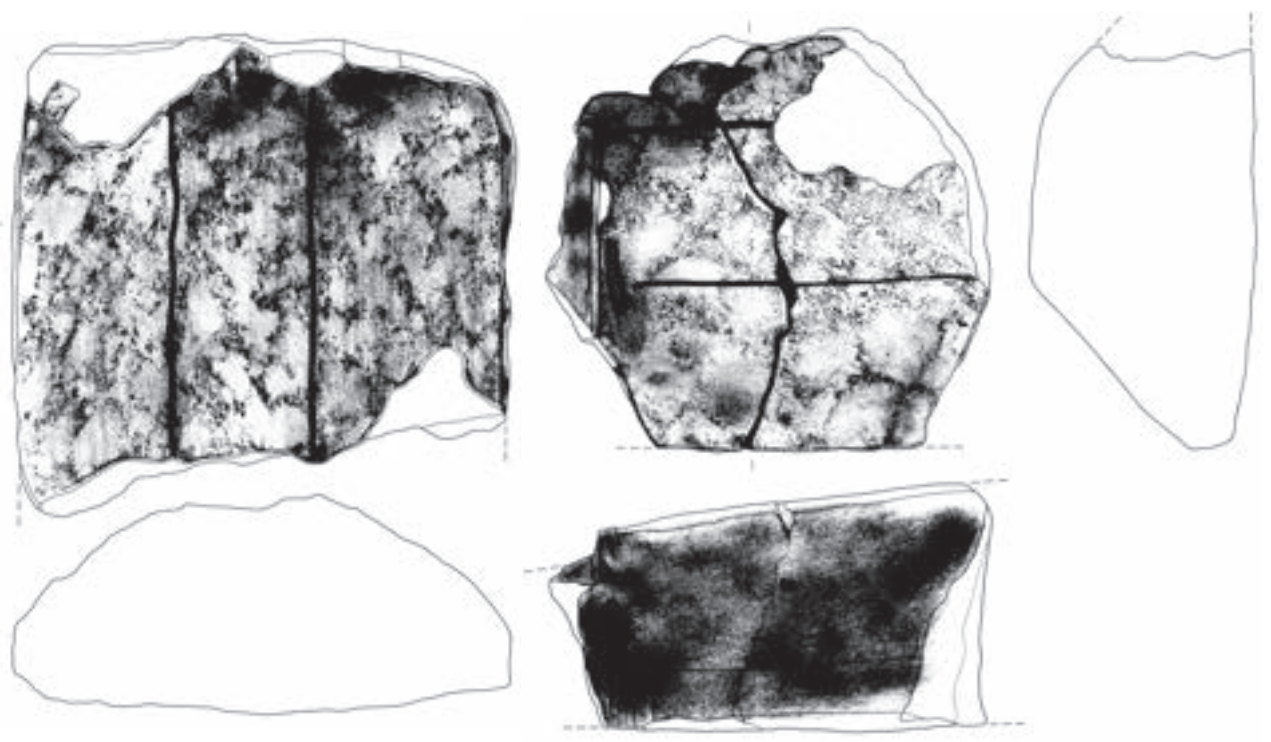


第170図 遺物実測図84 (S = 1 / 3)



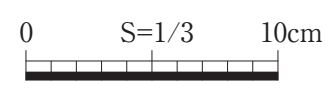
781

782

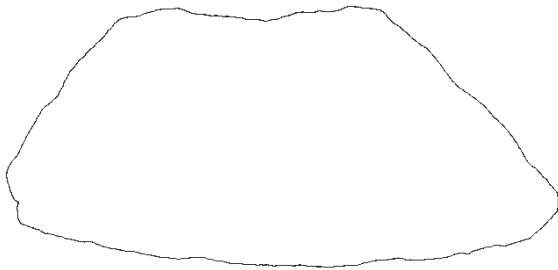
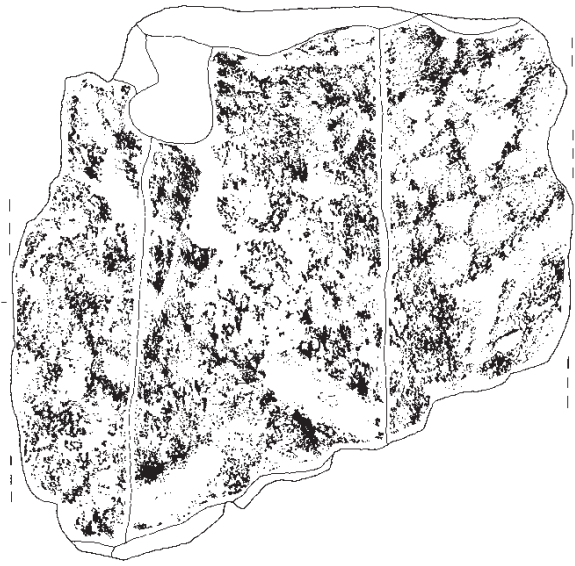


783

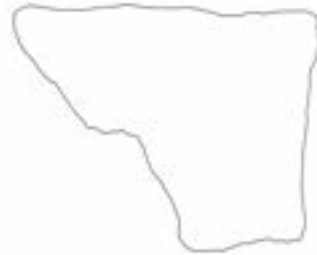
784



第171図 遺物実測図85 (S = 1 / 3)



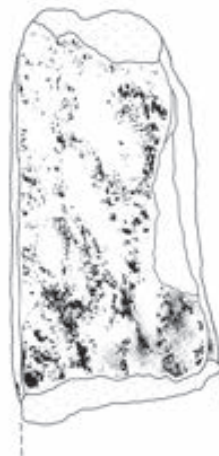
785



786



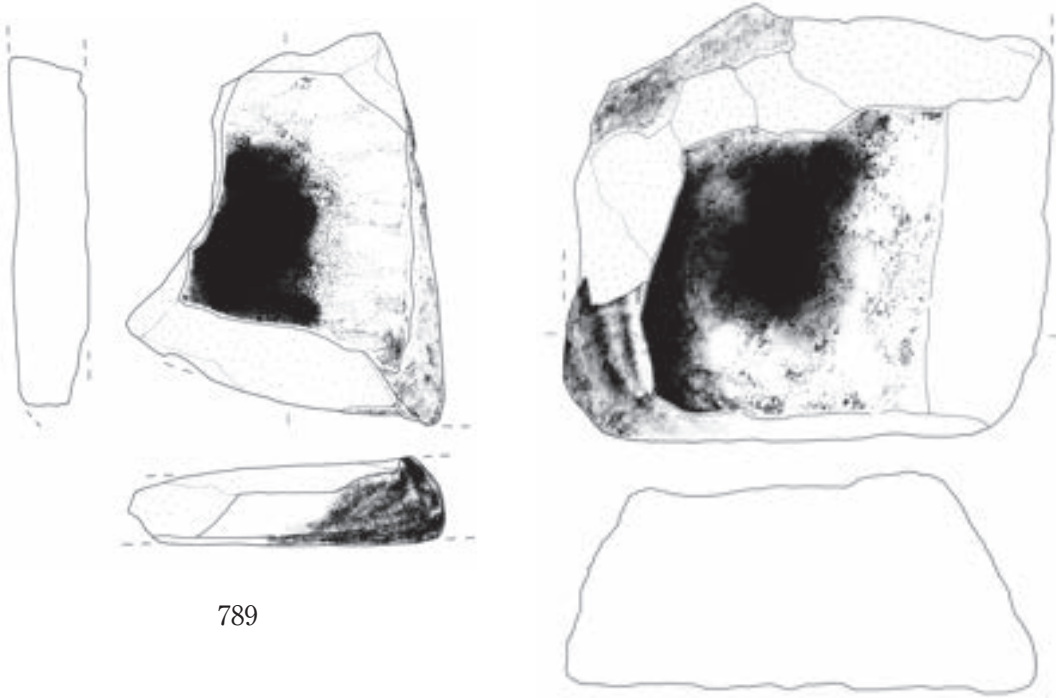
787



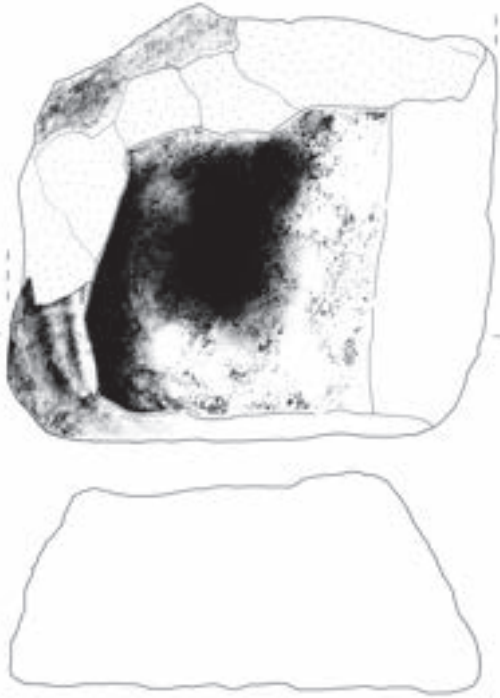
788

0 S=1/3 10cm

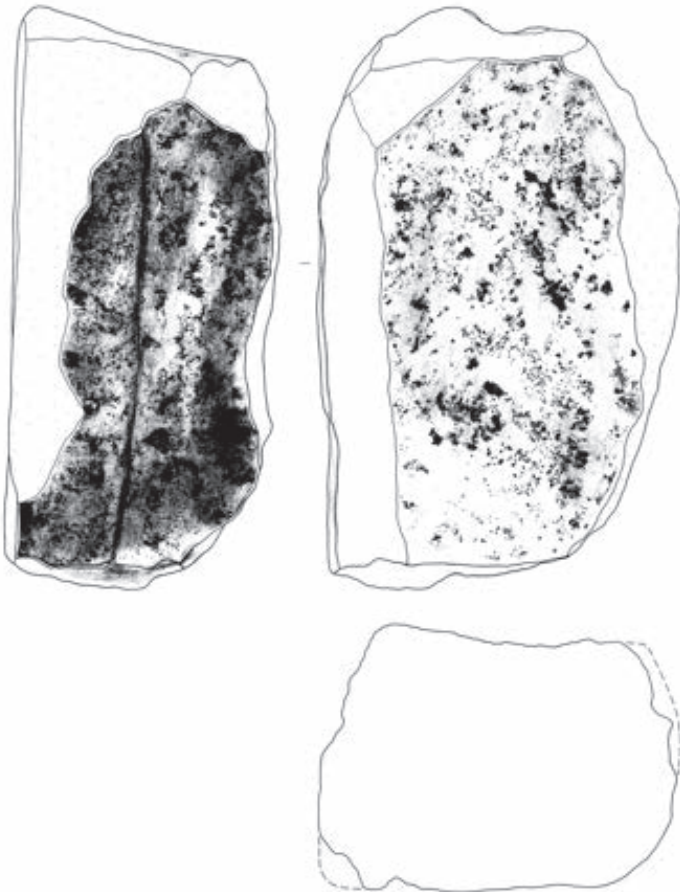
第172図 遺物実測図86 (S = 1 / 3)



789



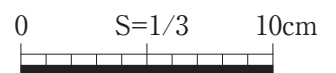
790



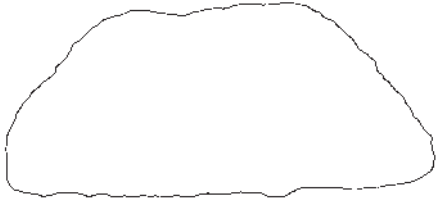
791



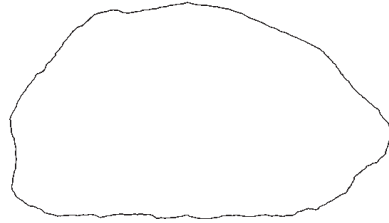
792



第173図 遺物実測図87 (S=1/3)



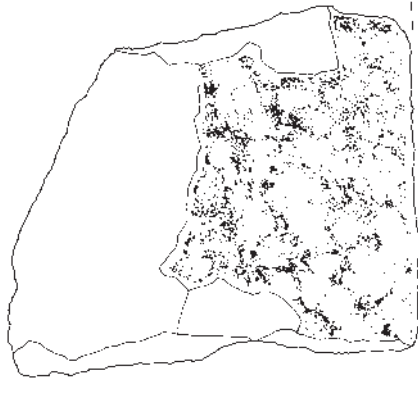
793



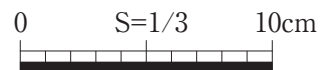
794



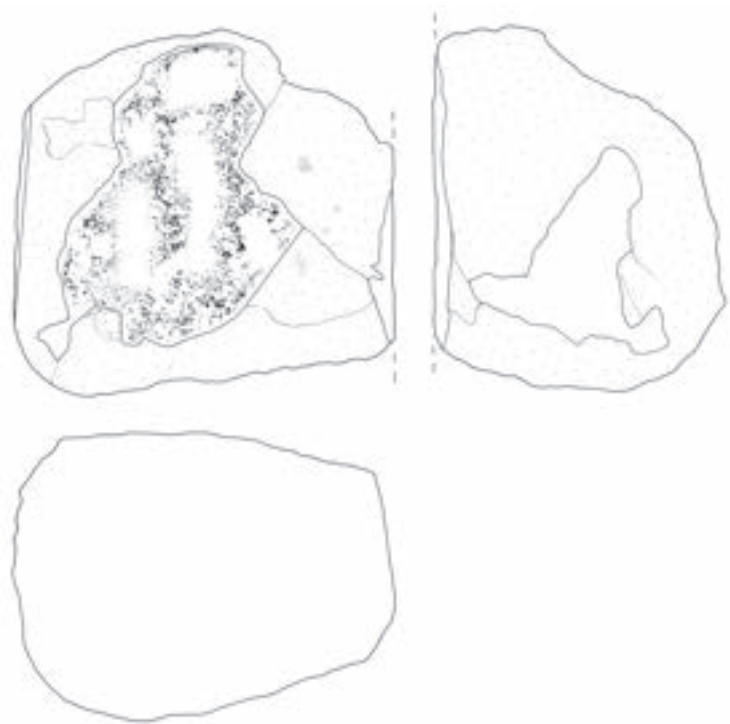
795



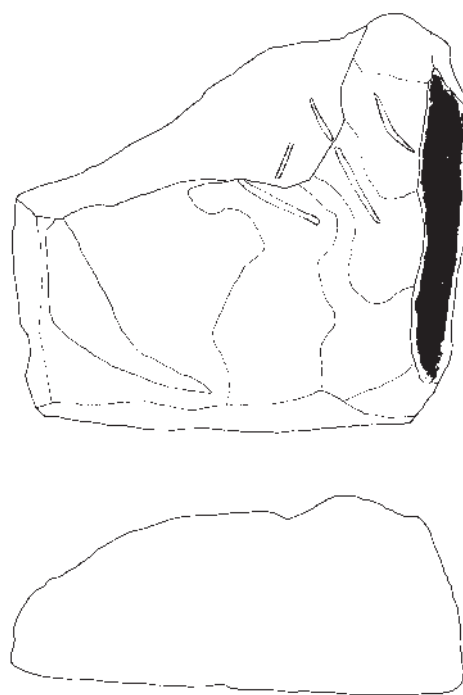
796



第174図 遺物実測図88 (S = 1 / 3)



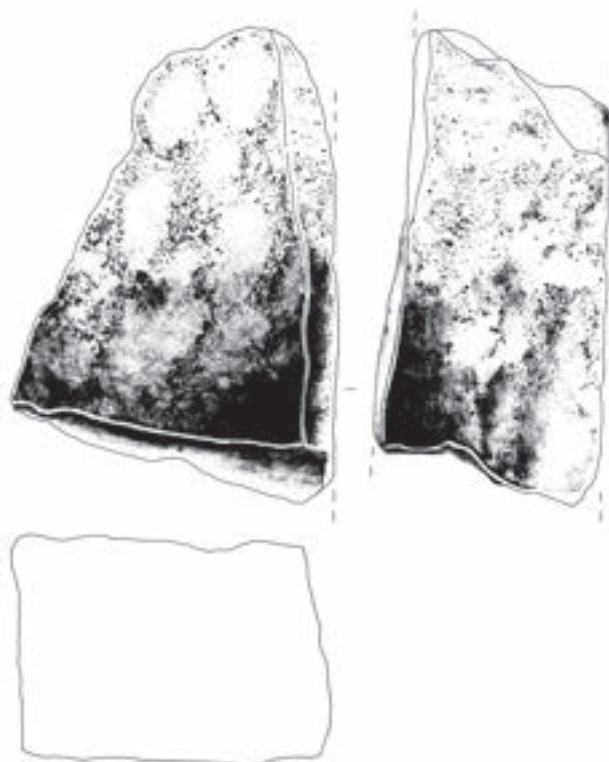
797



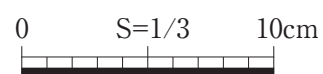
798



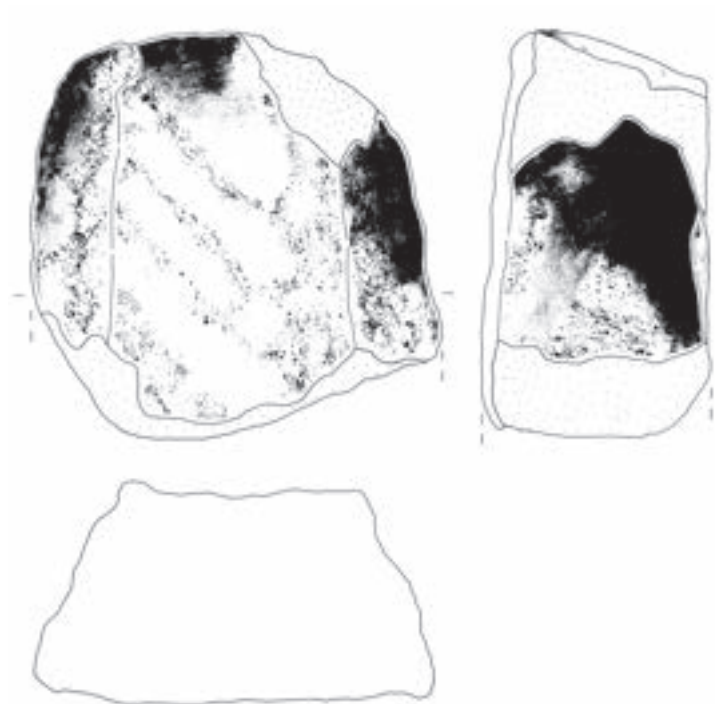
799



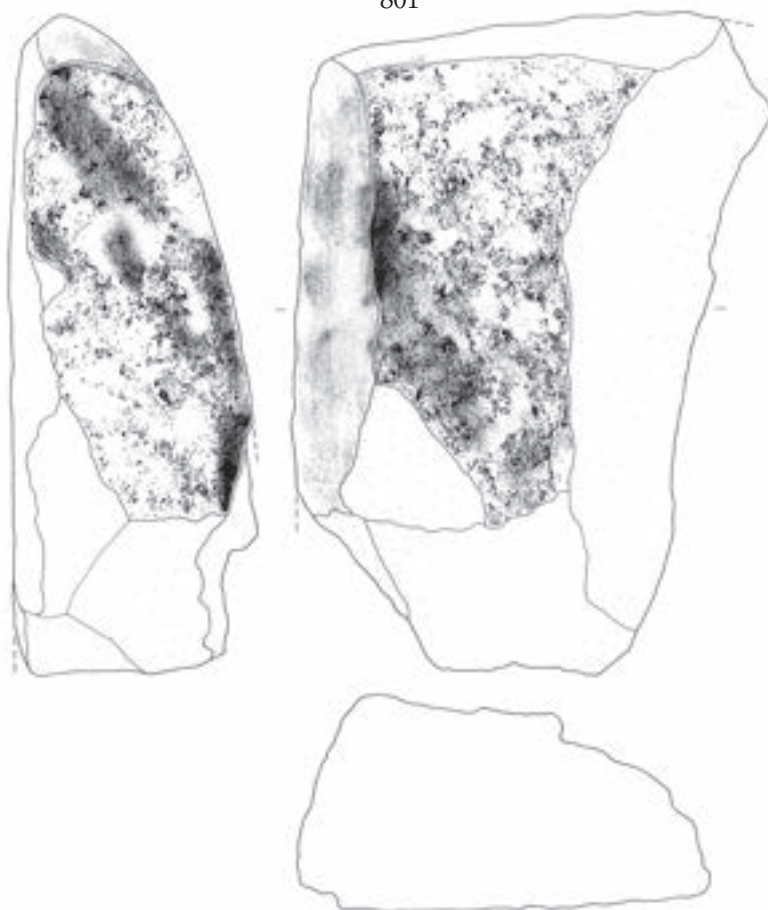
800



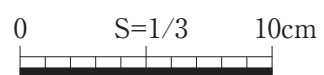
第175図 遺物実測図89 (S = 1 / 3)



801



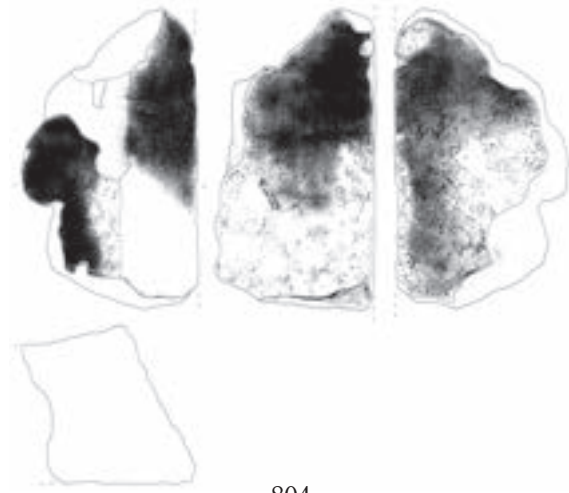
802



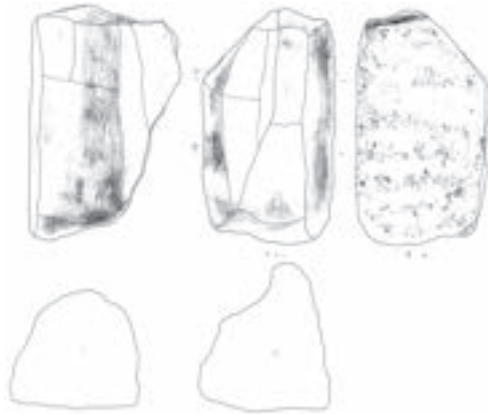
第176図 遺物実測図90 (S = 1 / 3)



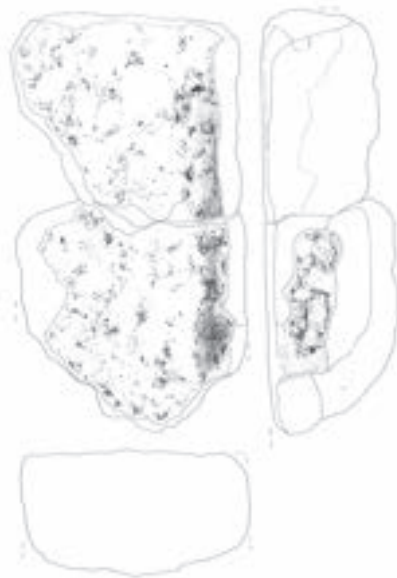
803



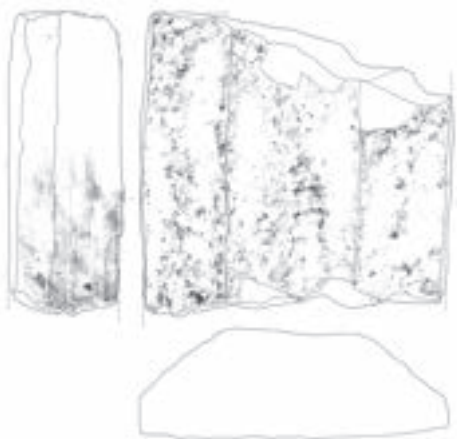
804



805



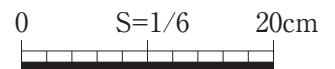
806



807



808



第177図 遺物実測図91 (S = 1 / 6)



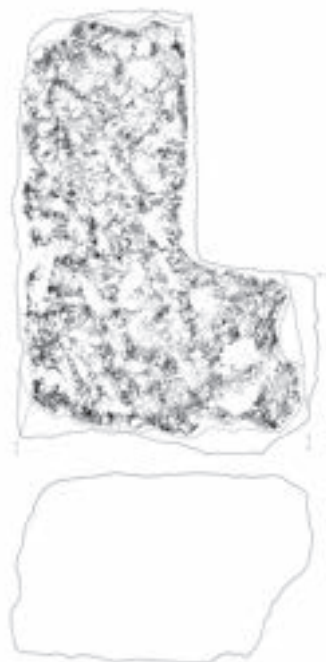
809



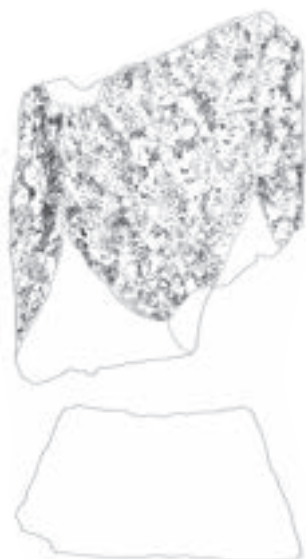
810



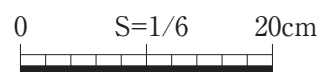
811



812



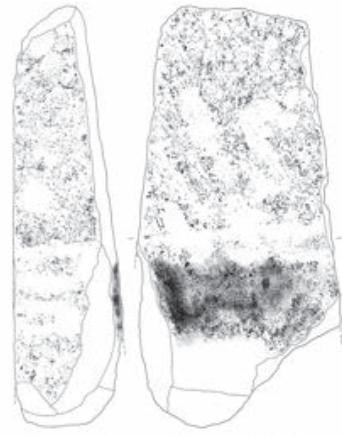
813



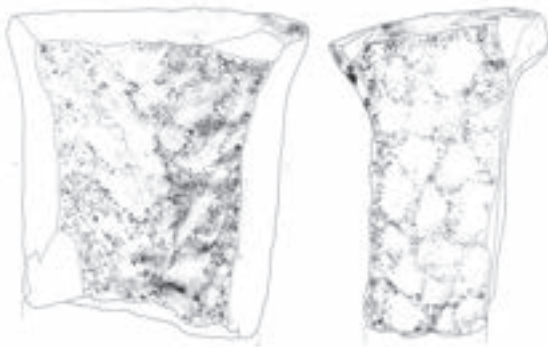
第178図 遺物実測図92 (S = 1 / 6)



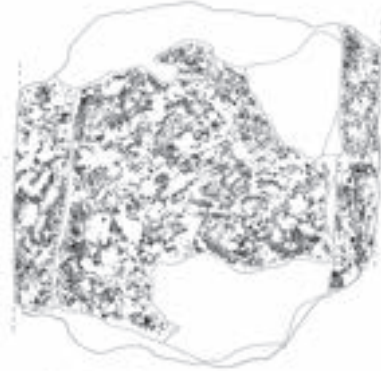
814



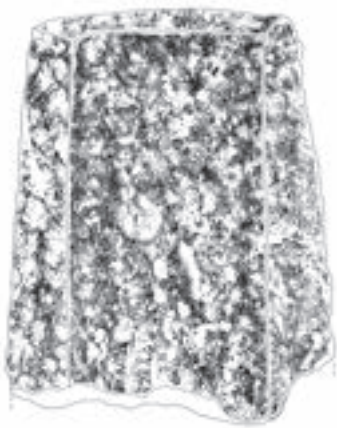
815



816



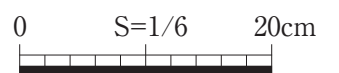
817



818



819



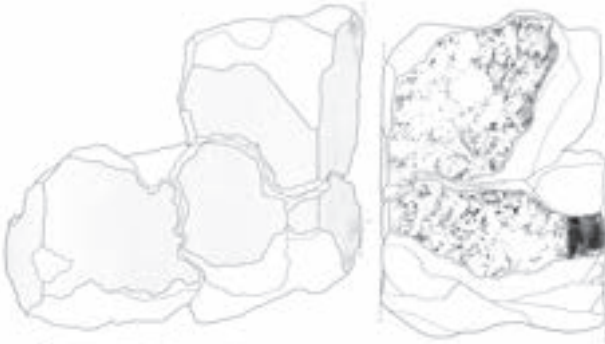
第179図 遺物実測図93 (S = 1 / 6)



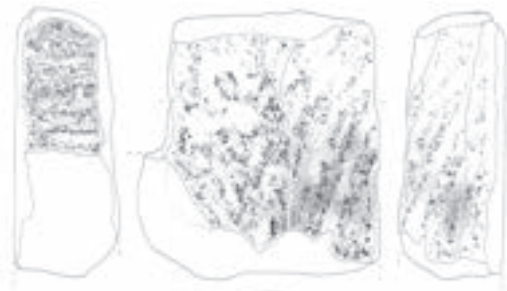
820



822



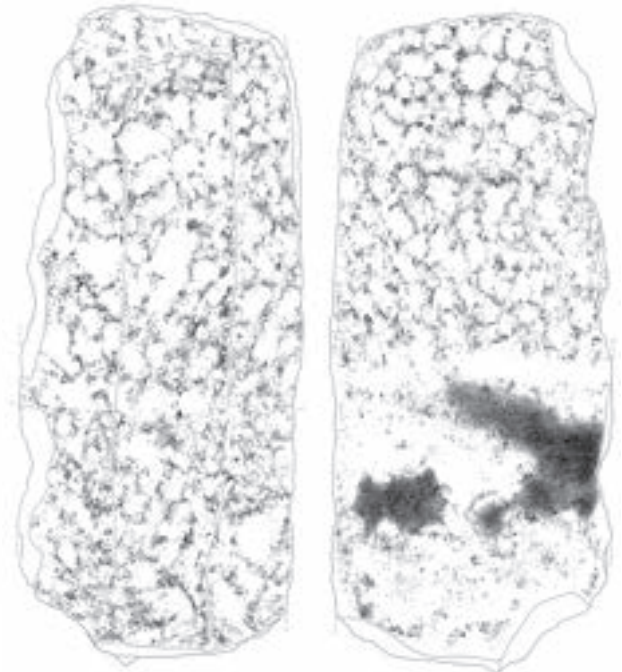
824



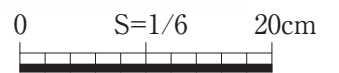
821



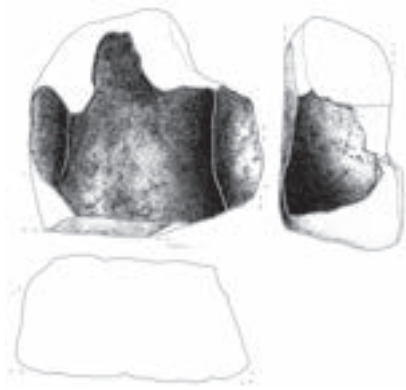
823



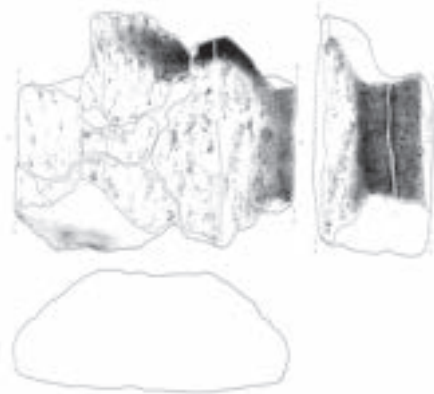
825



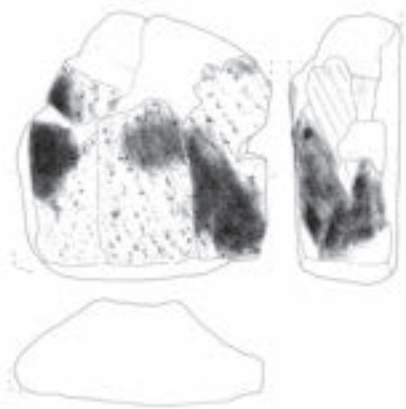
第180図 遺物実測図94 (S = 1 / 6)



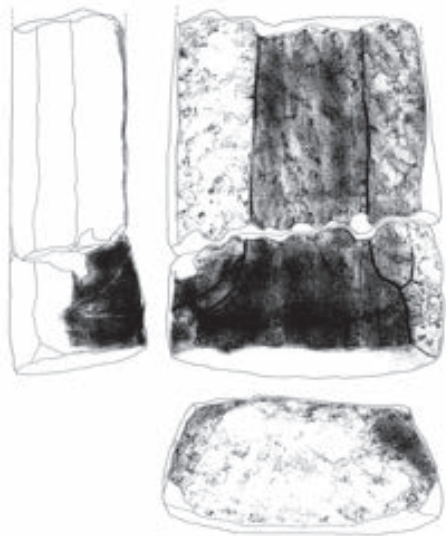
826



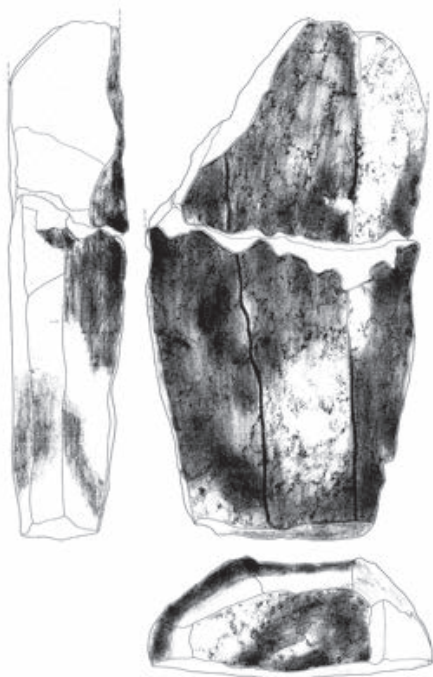
827



828



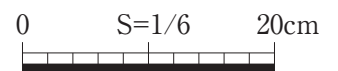
829



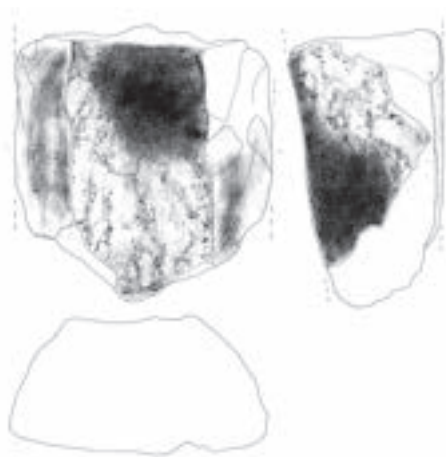
830



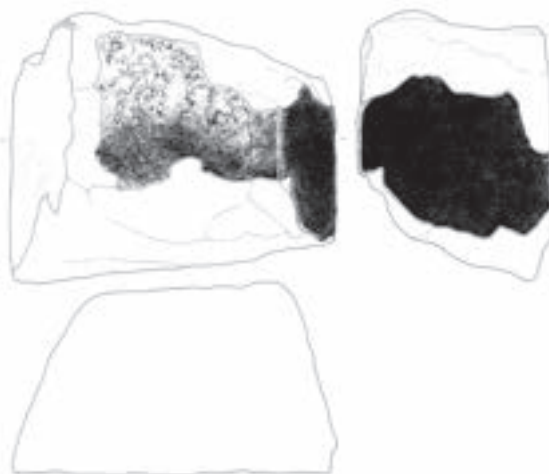
831



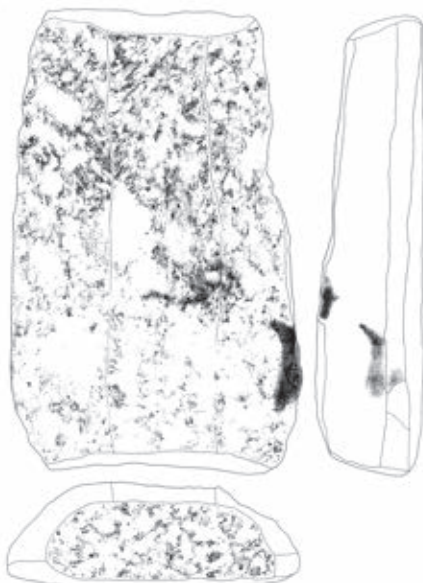
第181図 遺物実測図95 (S = 1 / 6)



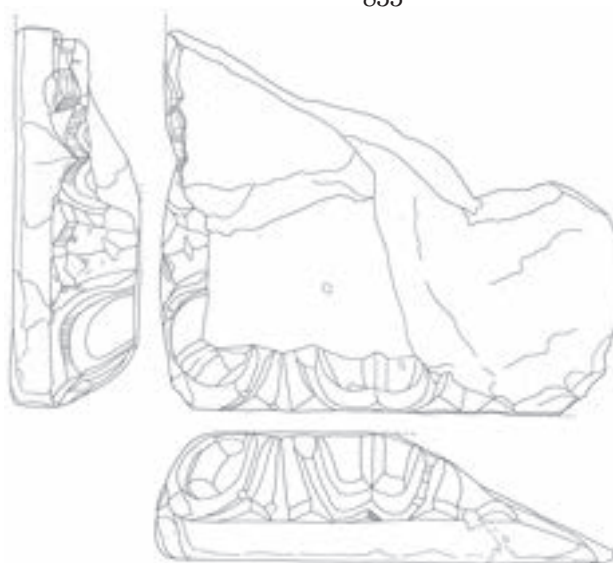
832



833



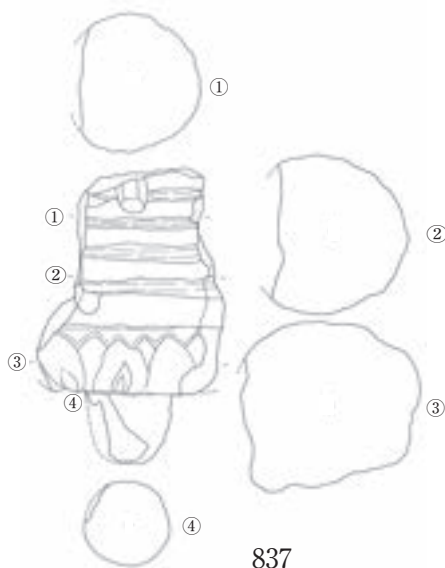
834



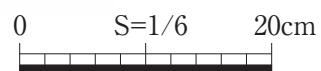
835



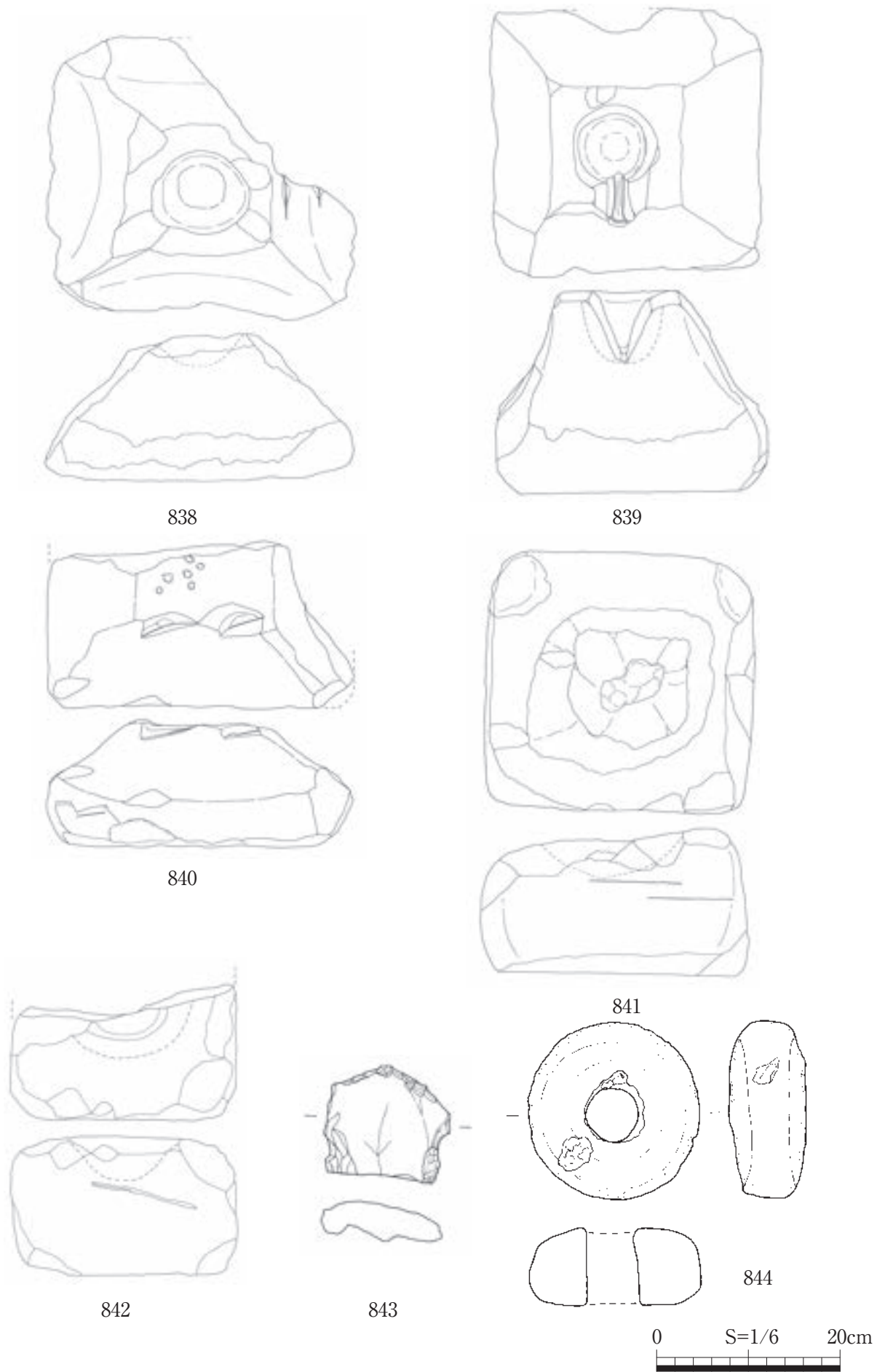
836



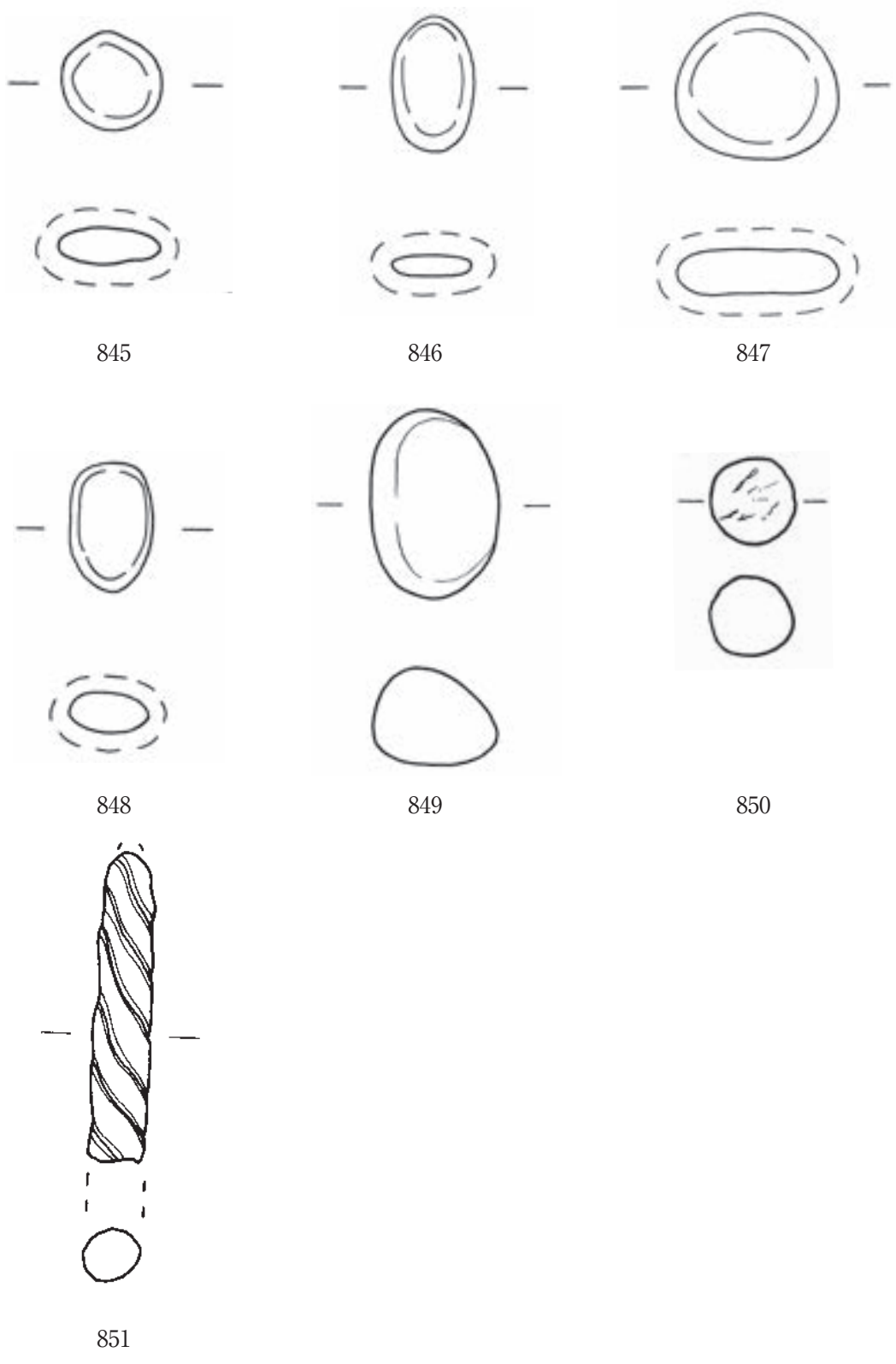
837



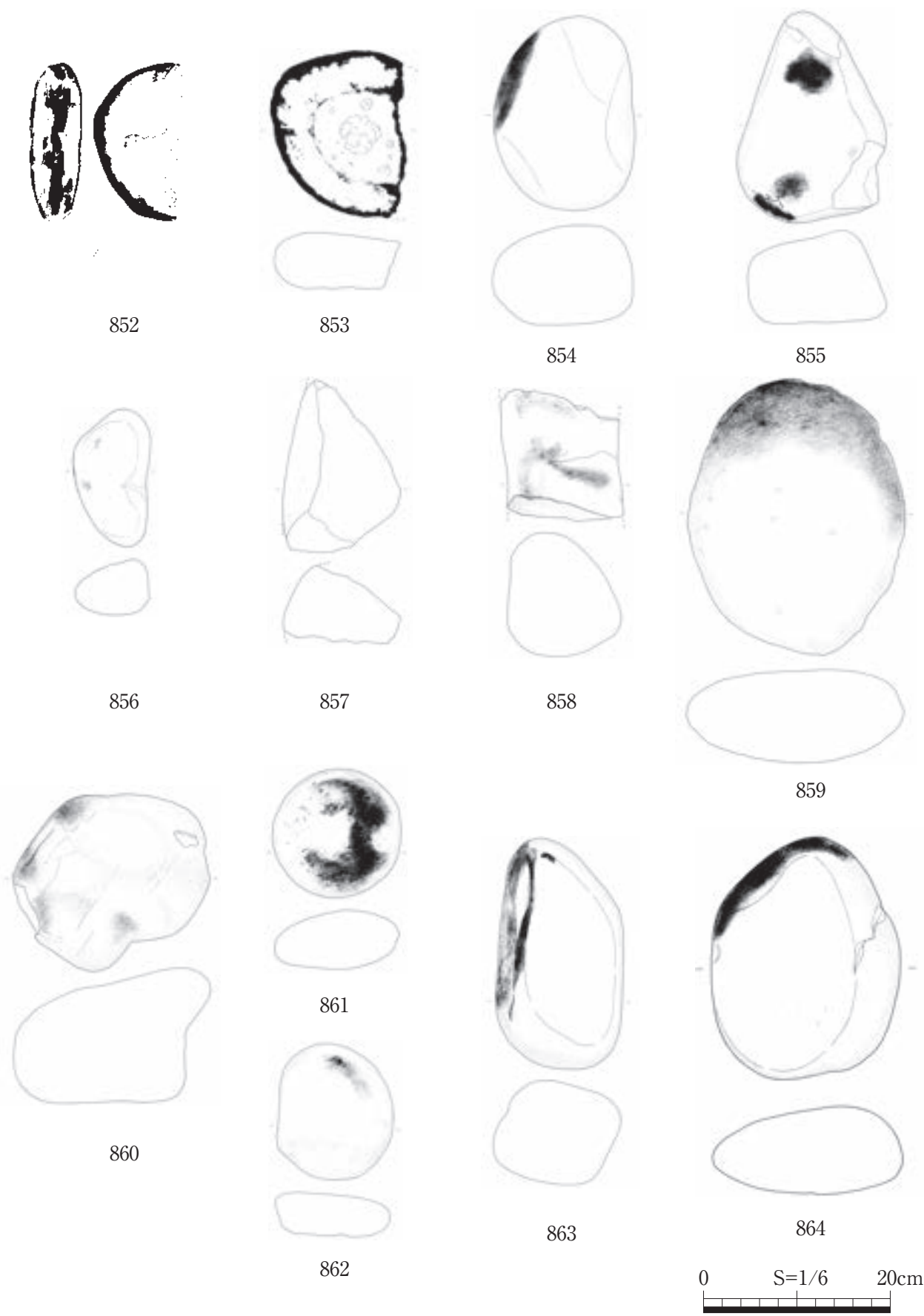
第182図 遺物実測図96 (S = 1 / 6)



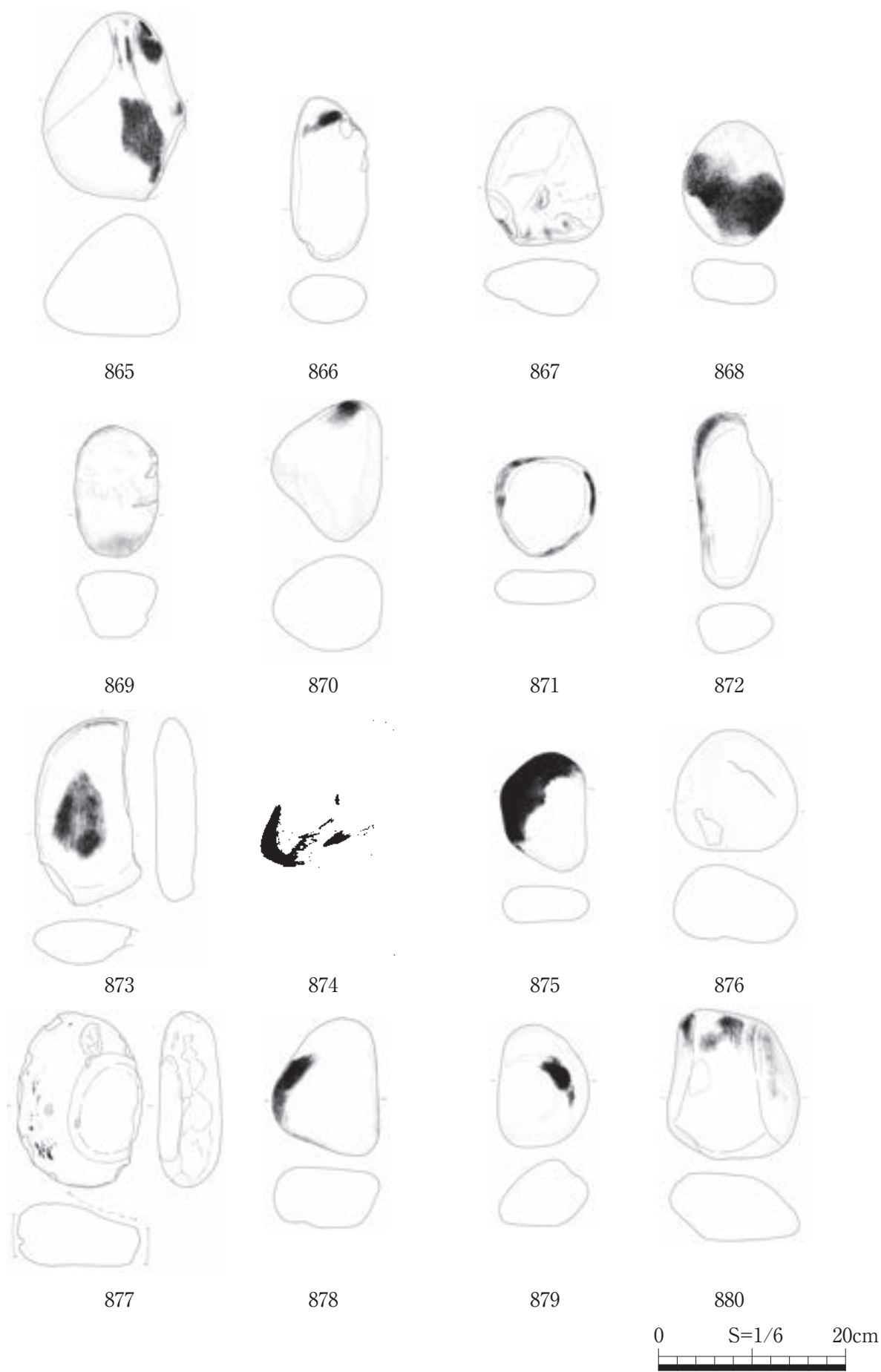
第183図 遺物実測図97 (S= 1 / 6、843、844は S= 1 / 2)



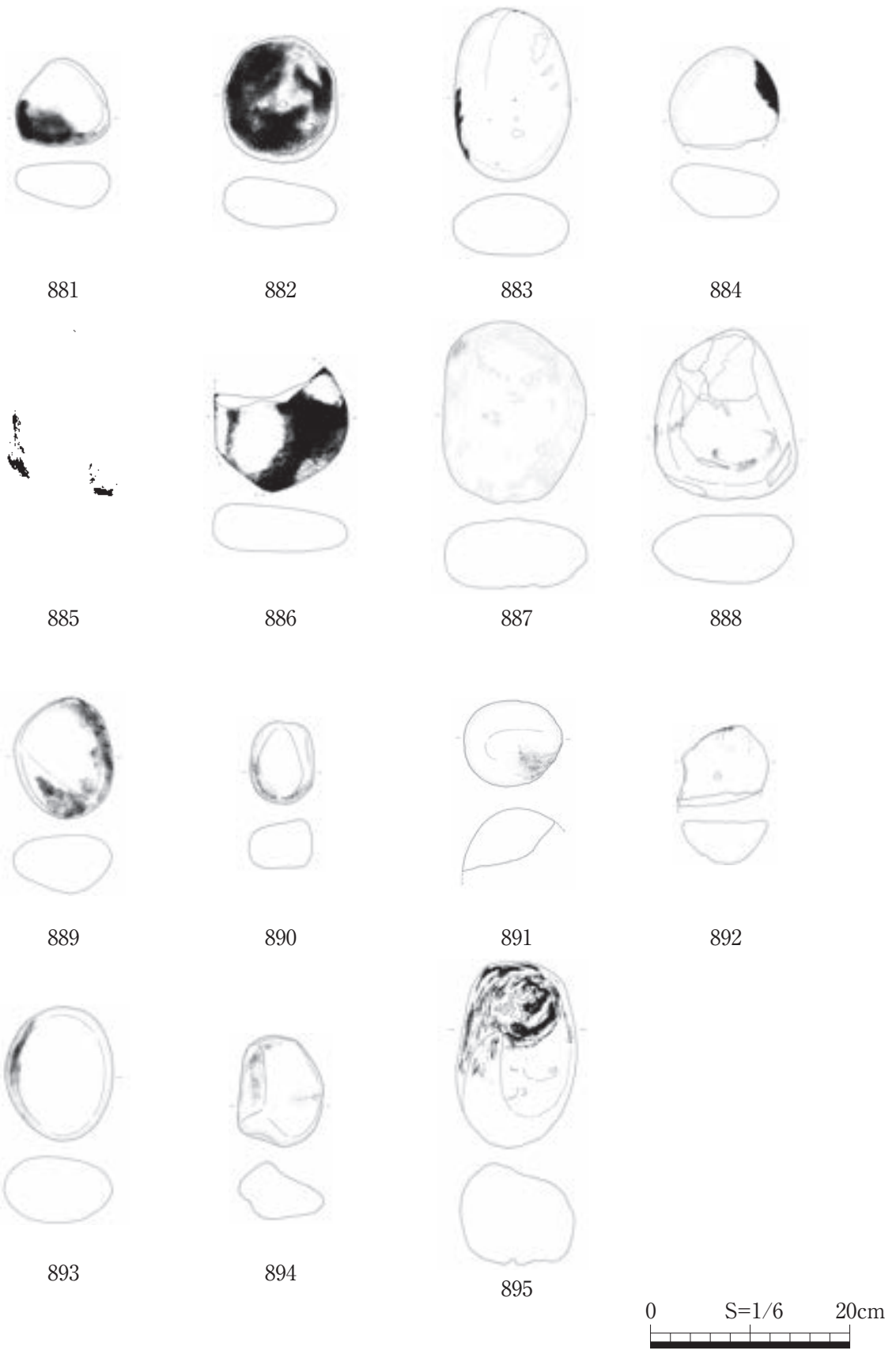
第184図 遺物実測図98 (S= 1 / 1)



第185図 遺物実測図99 (S = 1 / 6)



第186図 遺物実測図100 (S = 1 / 6)



第187図 遺物実測図101 (S= 1 / 6)

第2表 土器・陶磁器等観察表

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
1	E区	縄文土器	(250)				にぶい橙色、橙色	1/6	砂礫、海面骨針、石英片 外面に煤	H 82
	SK 34	深鉢		にぶい橙色						
2	E区	縄文土器				條痕	にぶい黄褐色	小片	砂礫、海面骨針	H 300
	SI 37	深鉢	灰黄褐色							
3	E区	縄文土器				斜縄文	明黄褐色		砂礫、黑色粒、赤色粒	T 105
	P 45	深鉢	無文、ナデ	明黄褐色						
4	E区	縄文土器			94	條痕、網代	にぶい黄褐色	ほぼ全周	砂礫	H 298
	SI 29	深鉢	にぶい黄褐色							
5	E区	縄文土器		頸部径	体部径	條痕	にぶい黄褐色	1/6	砂礫	H 107
	包含層	浅鉢	338	340	にぶい黄褐色					
6	E区	弥生土器	(240)			ヨコナデ	にぶい黄褐色	1/15	砂礫 擬凹線 8 条、指頭圧痕	H 160
	SI 14	甕		ナデ	浅黄褐色					
7	E区	弥生土器	(141)	頸部径		ナデ	にぶい黄褐色	1/13	砂礫、海面骨針 擬凹線 5 条	H 159
	SI 14	甕		(180)	ナデ、ケズリ	にぶい黄褐色				
8	E区	弥生土器	215	頸部径		ナデ、ハケ	にぶい橙色	1/8	砂礫 擬凹線 5 条	H 158
	SI 14	甕		172	ナデ、ハケ、ケズリ	にぶい橙色				
9	G区	弥生土器	185	頸部径		ナデ	にぶい褐色	口縁部 1/12	砂礫、赤色酸化粒、石英 擬凹線 7 条、一部煤	N 129
	SD 32	甕		153	ナデ	にぶい橙色				
10	E区	弥生土器	176	頸部径		ナデ、ハケ	にぶい橙色	口頸部 1/8		O 204
	SI 19	甕		141	ナデ、ケズリ	にぶい橙色				
11	E区	弥生土器	(160)	頸部径		ナデ	にぶい橙色	口縁部 1/10		O 203
	SI 19	甕		(128)	ナデ	明褐色				
12	E区	弥生土器	178	頸部径		ナデ	褐色	口頸部 1/8		O 184
	SI 12	甕		142	ナデ、ケズリ	にぶい橙色				
13	E区	弥生土器	(136)	頸部径		ナデ	黒褐色	口縁部 1/11		O 205
	SI 19	甕		(110)	ナデ	灰褐色				
14	E区	弥生土器	132	頸部径		ナデ	にぶい黄褐色	1/8	砂礫、赤色粒 指頭圧痕	H 472
	SD 16	甕		91	ナデ、ケズリ	にぶい黄褐色				
15	E区	弥生土器	(153)			ナデ、ハケ	にぶい黄褐色	口縁部 1/9		O 454
	SX 14	甕			ナデ、ケズリ	にぶい黄褐色				
16	E区	弥生土器	132	90	38	ナデ、ハケ、ケズリ	灰黄褐色	1/4	頸部径 120 mm 体部径 118 mm	O 185
	SI 12	甕			ナデ、ケズリ	にぶい黄褐色				
17	E区	弥生土器	(171)	頸部径		ハケ、ヨコナデ、	にぶい黄褐色	1/9	砂礫	H 318
	SI 26	甕		(152)	ハケ、ナデ、ケズリ	浅黄色				
18	E区	弥生土器			22	ナデ	浅黄褐色	底部 全周		O 186
	SI 12	甕		ケズリ	褐色					
19	E区	弥生土器			裾径	ミガキ	赤色、にぶい黄褐色	脚部 1/3	赤彩	O 201
	SI 19	高杯	84	ミガキ、ケズリ	赤色、にぶい黄褐色					
20	E区	弥生土器			柱状部		橙色	柱状部 全周	摩耗	O 308
	SI 21	高杯	25		橙色					
21	D区	弥生土器				ナデ	浅黄褐色	小片	砂礫	N 268
	包含層	高杯		ナデ	浅黄褐色					
22	E区	弥生土器			柱状部	ミガキ	にぶい橙色	柱状部 1/2 杯部 1/6	砂礫 内外面に赤彩痕	H 157
	SK 52	高杯	29	ミガキ	にぶい橙色					
23	E区	弥生土器	つまみ径					つまみ部 1/2	赤色粒	O 202
	SI 19	蓋	47	ケズリ、ナデ						
24	G区	弥生土器	つまみ径			ナデ	にぶい黄褐色	つまみ部 3/4	砂礫	N 181
	SK 95	蓋	32	ナデ	にぶい黄褐色					
25	B区	須恵器			73	ロクロナデ	灰色	底部 完形	砂礫	N 65
	P 3	有台杯		ロクロナデ	灰色					
26	E区	須恵器			73		灰白色	底部 1/5		O 469
	SD 15	杯			灰白色					
27	C区	須恵器	(148)				灰黄褐色	1/18	砂礫、赤色酸化粒 焼成不良	N 25
	SI 3	杯				灰黄褐色				
28	E区	須恵器			128		灰色	1/8	海面骨針	H 348
	SI 22	盤			灰色					

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
29	E区	須恵器 盤			156		灰色	1/6	砂礫、海面骨針 回転ヘラケズリ	H 98
	SX 4						灰色			
30	E区	須恵器 蓋	(200)			ヨコナデ	にぶい黄橙色	1/10	砂礫	H 347
	SI 22					ヨコナデ	にぶい黄橙色			
31	G区	須恵器 甕	258			ロクロナデ、タタキ	灰色	7/18	砂礫 ヘラ描「印」	N 132
	SD 30					ロクロナデ、タタキ	灰色			
32	E区	須恵器 瓶			116		黄灰色	底部 1/7		O 468
	SD 15						黄灰色			
33	B区	土師器 壺	142			ナデ	黒色、灰白色、にぶい黄橙色	1/6	赤色酸化粒、砂礫 内黒	N 66
	P 1					ナデ	黒色			
34	E区	土師器 壺			72		灰黄色	高台部 1/5		O 303
	SK 65						灰黄色			
35	E区	土師器 有台壺			66	ナデ	にぶい黄橙色		赤色粒 内黒	N 120
	SK 56					ナデ	オリーブ黒色			
36	B区	土師器 有台壺			64	ナデ	にぶい黄橙色、にぶい黄色	底部 1/2	赤色酸化粒、砂礫 内黒、摩耗	N 68
	壁面					ナデ	オリーブ黒色			
37	D区	土師器 皿	80	21	40	ロクロナデ	にぶい橙色、黒色	2/3	砂礫、ベンガラ付着か？ 灯芯油痕、回転糸切り	N 259
	SK 23					ロクロナデ	にぶい橙色、黒色			
38	E区	土師器 皿	68				橙色	1/7	砂礫	H 78
	SI 8						橙色			
39	E区	土師器 皿	54	12.5	33	ナデ	にぶい橙色	1/4	砂礫 煤	H 231
	SI 10					ナデ	にぶい橙色			
40	E区	土師器 皿	59			ナデ	浅黄橙色、黒色	1/6	灯芯油痕	N 114
	SI 20					ナデ	にぶい橙色、黒色			
41	E区	土師器 皿	70	13.5	50	ナデ	浅黄橙色		砂礫 煤	H 139
	SK 31					ナデ	浅黄橙色			
42	E区	土師器 皿	72	15			橙色	1/4	砂礫	H 124
	SK 31						橙色			
43	E区	土師器 皿	71			ナデ、ハケ	橙色	1/5	砂礫	H 122
	SK 31					ナデ	橙色			
44	E区	土師器 皿	71	15	(46)	ナデ	にぶい橙色	1/6	砂礫	H 1
	SK 33					ナデ	橙色			
45	E区	土師器 皿	66			ナデ	浅黄橙色	1/7	砂礫	H 363
	SK 75					ナデ	橙色			
46	E区	土師器 皿	68			ナデ	浅黄橙色	1/8	灯芯油痕	O 333
	SK 78					ナデ	浅黄橙色			
47	E区	土師器 皿	67	19	44	ナデ	にぶい橙色	1/6	砂礫 炭化物付着	H 480
	SD 16					ナデ	にぶい橙色			
48	E区	土師器 皿	69	17	34	ナデ	橙色	ほぼ完形		H 482
	SD 16					ナデ	橙色			
49	F区	土師器 皿	68				暗灰色	1/6	砂礫 灯芯油痕、非ロクロ	T 335
	SD 17					ナデ	暗灰色、浅黄橙色			
50	G区	土師器 皿	66	14	42		浅黄橙色、にぶい赤橙色	2/9	赤色酸化粒 灯芯油痕	N 186
	SX 27					ナデ	浅黄橙色			
51	G区	土師器 皿	70	15	48	ナデ	にぶい黄橙色	1/4	砂礫	N 138
	SX 29					ナデ	にぶい黄橙色			
52	D区	土師器 皿	70	19	38	ナデ	浅黄橙色、淡赤橙色	口頸部 1/3	砂礫、赤色粒、黒色粒 非ロクロナデ	T 203
	P 21					ナデ	浅黄橙色、淡赤橙色			
53	E区	土師器 皿	69	13	40	ナデ	にぶい黄橙色	1/6		O 57
	P 25					ナデ	にぶい黄橙色			
54	E区	土師器 皿	62	14	35	ナデ	にぶい橙色	1/5		O 58
	P 29					ナデ	にぶい橙色			
55	E区	土師器 皿	71	16	40	ナデ	にぶい橙色	1/6		O 64
	P 31					ナデ	にぶい橙色			
56	E区	土師器 皿	68			ナデ	にぶい黄橙色	1/4	砂礫	H 42
	P 35					ナデ	にぶい黄橙色			
57	E区	土師器 皿	70	14	51	ナデ	浅黄橙色	1/5		O 96
	包含層					ナデ	浅黄橙色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
58	D区	土師器 皿	81	21	30	ナデ	灰白色	ほぼ完形	砂礫、焼成不良か 灯芯油痕、歪みあり	T 214
	SI 4					ナデ	灰白色			
59	D区	土師器 皿	(80)			ナデ	灰白色、黒褐色	1/9	砂礫 灯芯油痕、内面剥離	N 272
	SI 4					ナデ	にぶい黄橙色、黒褐色			
60	E区	土師器 皿	72	13.5	35	ナデ	にぶい橙色	1/5		O 65
	P 31					ナデ	にぶい橙色			
61	E区	土師器 皿	88	18	45	ナデ	浅黄橙色、淡赤橙色	1/5	灯芯油痕	O 89
	包含層					ナデ	浅黄橙色、淡赤橙色			
62	E区	土師器 皿	80	15		ナデ	浅黄橙色	1/5	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	H 285
	SI 49					ナデ	浅黄橙色			
63	E区	土師器 皿	76	20	(28)	ナデ	にぶい黄橙色	1/5	砂礫	H 2
	SK 33					ナデ	にぶい黄橙色			
64	E区	土師器 皿	72	17		ナデ	にぶい橙色	1/4	砂礫	H 479
	SD 16					ナデ	にぶい橙色			
65	E区	土師器 皿	68	19	32	ナデ	にぶい黄橙色	1/6	砂礫 灯芯油痕	H 423
	SD 24					ナデ	にぶい黄橙色			
66	E区	土師器 皿	75	21	40	ナデ	にぶい黄橙色	1/2		O 62
	P 31					ナデ	にぶい黄橙色			
67	G区	土師器 皿	78	21	30	ナデ	にぶい黄橙色、黒褐色	7/8	砂礫 灯芯油痕、歪みあり	N 540
	P 55					ナデ	黒色			
68	G区	土師器 皿	80			ナデ	浅黄橙色、黒色	1/4	砂礫 灯芯油痕	N 142
	包含層					ナデ	黒色			
69	E区	土師器 皿	88	26	(30)	ナデ	黄灰色、黒褐色	5/9	砂礫 灯芯油痕	N 117
	SI 20					ナデ	黄灰色			
70	G区	土師器 皿	83	18	30	ナデ	にぶい橙色、黒色	11/12	砂礫 灯芯油痕	N 161
	SI 53					ナデ	にぶい橙色、黒色、灰黄色			
71	C区	土師器 皿	82			ナデ	にぶい黄橙色、褐灰色、黒褐色	2/7	砂礫、赤色酸化粒 灯芯油痕	N 21
	SK 3					ナデ	灰黄褐色、褐灰色			
72	D区	土師器 皿	84	20	20	ナデ	浅黄橙色、黒褐色	1/4	砂礫、赤色酸化粒 灯芯油痕	T 204
	P 21					ナデ	浅黄橙色、黒褐色			
73	E区	土師器 皿	86	20	40	ナデ		1/5	炭化物付着 灯芯油痕	H 176
	P 42					ナデ				
74	E区	土師器 皿	87	20	36	ナデ	浅黄橙色	1/4	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	H 364
	P 47					ミガキ	浅黄橙色			
75	E区	土師器 皿	94			ナデ	淡黄色	1/2	砂礫 灯芯油痕、炭化物付着	H 317
	SI 26					ナデ	淡黄色			
76	E区	土師器 皿	96	24	26	ナデ	にぶい黄橙色	1/4	砂礫 灯芯油痕	H 71
	SK 33					ナデ	にぶい黄橙色			
77	E区	土師器 皿	95	25	42	ナデ	にぶい黄橙色、にぶい橙色	2/3		O 259
	SD 10					ナデ	にぶい黄橙色、にぶい橙色			
78	E区	土師器 皿	99	12	45	ナデ	にぶい黄橙色	4/5		O 61
	P 31					ナデ	にぶい黄橙色			
79	D区	土師器 皿	82	16.5	50	ナデ	橙色	1/12	砂礫、赤色酸化粒 灯芯油痕	T 213
	SI 4					ナデ	橙色			
80	D区	土師器 皿	80	20	44	ナデ	浅黄橙色	ほぼ完形	砂礫、黒色粒、赤色酸化粒 灯芯油痕	T 212
	SI 4					ナデ	浅黄橙色			
81	E区	土師器 皿	74	18	40	ナデ	にぶい黄橙色	1/5	砂礫 灯芯油痕	H 237
	SI 9					ナデ	にぶい黄橙色			
82	E区	土師器 皿	82.5	16.5		ナデ	にぶい黄橙色	1/6	砂礫 灯芯油痕	H 161
	SK 51					ナデ	にぶい黄橙色			
83	G区	土師器 皿	78			ナデ	にぶい黄橙色	1/6	砂礫、赤色酸化粒	N 178
	SK 96					ナデ	にぶい黄橙色			
84	E区	土師器 皿	87			ナデ	にぶい橙色	1/8	砂礫 灯芯油痕、炭化物付着	H 478
	SD 16					ナデ	にぶい橙色			
85	E区	土師器 皿	83	14.5	50	ナデ	にぶい黄橙色	口縁部 1/8	灯芯油痕	O 456
	SD 18					ナデ	にぶい黄橙色			
86	E区	土師器 皿	87	83	50	ナデ	にぶい黄橙色	1/3	灯芯油痕	O 452
	SD 19					ナデ	にぶい黄橙色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
87	E区	土師器 皿	(74)			ナデ	浅黄橙色	小片	砂礫、黒色粒 赤色酸化粒	T 90
	SX 6					ナデ	浅黄橙色			
88	D区	土師器 皿	72	16	20	ナデ	にぶい黄橙色	口頸部 1/9	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	T 224
	P 16					ナデ	にぶい黄橙色			
89	D区	土師器 皿	76	20	50	ナデ	浅黄橙色	口頸部 1/6	砂礫、赤色粒	T 201
	P 19					ナデ	浅黄橙色			
90	D区	土師器 皿	82	18	40	ナデ	橙色	ほぼ完形	砂礫、黒色粒、赤色酸化粒 灯芯油痕	T 219
	P 24					ナデ	橙色			
91	D区	土師器 皿	92	14	60	ナデ	にぶい黄橙色、黒色	1/5	砂礫 灯芯油痕	N 260
	SI 5					ナデ	にぶい黄橙色、黒色			
92	D区	土師器 皿	100				浅黄橙色	口頸部 1/12	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	T 233
	SK 21					ナデ	浅黄橙色			
93	E区	土師器 皿 96	96	15	70	ナデ	にぶい黄橙色	1/6	灯芯油痕	O 384
	SK 62					ナデ	にぶい黄橙色			
94	A区	土師器 皿	90	17	60	ナデ	にぶい黄橙色	1/6	砂礫、赤色酸化粒	N 69
	SD 1					ナデ	にぶい黄橙色			
95	E区	土師器 皿	92	18	65	ナデ	浅黄橙色	2/3		O 260
	SD 10					ナデ	浅黄橙色			
96	D区	土師器 皿	93				浅黄橙色	小片	砂礫 灯芯油痕	T 202
	P 14					ナデ	浅黄橙色			
97	E区	土師器 皿	100	15			浅黄橙色	口縁部 1/6	灯芯油痕 炭化物付着	O 53
	P 37					ナデ	浅黄橙色			
98	G区	土師器 皿	96	20	30	ナデ	浅黄橙色、にぶい黄橙色、黒色	1/5	砂礫 灯心油痕	N 171
	SI 50					ナデ	浅黄橙色、にぶい黄橙色、黒色			
99	G区	土師器 皿	91			ナデ	浅黄橙色、黒色	1/5	砂礫 灯芯油痕	N 170
	SI 52					ナデ	にぶい橙色、黒色			
100	G区	土師器 皿	(86)	20	30	ナデ	にぶい橙色、黒色、灰黄色	ほぼ完形	砂礫、赤色酸化粒 灯芯油痕	N 160
	SI 53					ナデ	にぶい橙色、黒色、灰黄色			
101	C区	土師器 皿	96	23	46	ナデ	にぶい黄橙色	ほぼ完形	砂礫、赤色酸化粒 灯芯油痕、歪みあり	N 38
	SK 4					ナデ	にぶい黄橙色、黒褐色			
102	E区	土師器 皿	96	22	40	ナデ	浅黄橙色	2/3	灯芯油痕	O 401
	SK 79					ナデ	浅黄橙色			
103	E区	土師器 皿	94	(20)		ナデ	にぶい黄橙色	口縁部 1/5	炭化物付着 灯芯油痕	O 31
	SD 9					ナデ	にぶい黄橙色			
104	E区	土師器 皿	90	22	42	ミガキ	にぶい橙色	完形	炭化物付着 灯芯油痕	H 419
	SD 24					ミガキ	にぶい橙色			
105	F区	土師器 皿	96	21	36	ナデ	オリーブ黒色	口頸部 2/3	砂礫 灯芯油痕	T 338
	SX 23					ナデ	オリーブ黒色			
106	G区	土師器 皿 包含層	97			ナデ	黒褐色、浅黄橙色	1/9	砂礫 灯芯油痕	N 144
						ナデ	黒褐色、にぶい黄橙色			
107	D区	土師器 皿	(110)			ナデ	にぶい橙色	1/12	砂礫、赤色酸化粒	N 273
	SI 4					ナデ	にぶい橙色			
108	D区	土師器 皿	94	20	46	ナデ	浅黄橙色	1/6	砂礫	N 274
	SI 4					ナデ	浅黄橙色			
109	D区	土師器 皿	(90)			ナデ	にぶい黄橙色、黒色	1/9	砂礫 灯芯油痕	N 261
	SI 5					ナデ	にぶい黄橙色、黒色			
110	E区	土師器 皿	90			ナデ	浅黄橙色	1/8	砂礫 灯芯油痕、炭化物付着	H 280
	SI 48					ナデ	浅黄橙色			
111	E区	土師器 皿	86			ナデ	にぶい黄橙色	1/6	砂礫	H 137
	SK 31					ナデ	にぶい黄橙色			
112	E区	土師器 皿	(98)				灰白色	1/11	砂礫 白磁皿の模倣か？	H 229
	SK 48						灰白色			
113	E区	土師器 皿	92	21.5	40	ナデ	にぶい黄橙色	1/4	砂礫 灯芯油痕	H 398
	SK 67					ナデ	にぶい黄橙色			
114	E区	土師器 皿	96			ナデ	にぶい橙色	1/6	砂礫 灯芯油痕、炭化物付着	H 389
	SK 81					ミガキ、ナデ	にぶい橙色			
115	E区	土師器 皿	92	18.5		ミガキ	浅黄色	1/6	砂礫 灯芯油痕、炭化物付着	H 415
	SD 24					ミガキ	浅黄色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
116	E区	土師器 Ⅲ	96			ナデ	にぶい橙色	1/6	砂礫 灯芯油痕	H 422
	SD 24					ナデ	にぶい橙色			
117	E区	土師器 Ⅲ	100			ナデ	浅黄橙色	1/6	灯芯油痕 炭化物付着	H 416
	SD 24					ハケ、ナデ	浅黄橙色			
118	E区	土師器 Ⅲ	84	20		ハケ、ナデ	浅黄橙色	1/6	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	H 102
	SX 4					ハケ、ナデ	浅黄橙色			
119	E区	土師器 Ⅲ	80	16	40	ナデ	にぶい黄橙色	1/4		O 67
	P 31					ナデ	にぶい黄橙色			
120	E区	土師器 Ⅲ	78	20	20	ナデ、ハケ	橙色	1/3	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	H 38
	P 39					ナデ	橙色			
121	D区	土師器 Ⅲ	86	13	54	ナデ	浅黄橙色	口頸部 1/4	砂礫、黒色粒、赤色粒 灯芯油痕	T 230
	SK 21					ナデ	浅黄橙色			
122	D区	土師器 Ⅲ	78	15	30	ナデ	浅黄橙色	口頸部 1/3	砂礫 灯芯油痕、全体に歪みあり	T 231
	SK 21					ナデ	浅黄橙色			
123	D区	土師器 Ⅲ	80	18	46	ナデ	浅黄橙色	口頸部 1/3	砂礫 灯芯油痕	T 234
	SK 21					ナデ	浅黄橙色			
124	E区	土師器 Ⅲ	80	15		ナデ	浅黄橙色	1/7	砂礫	H 136
	SK 31					ナデ	浅黄橙色			
125	E区	土師器 Ⅲ	78	15	38	ナデ	橙色	1/6	砂礫	H 72
	SK 33					ナデ	橙色			
126	E区	土師器 Ⅲ	78	16	40	ナデ	にぶい橙色	4/5		O 114
	SK 35					ナデ	にぶい橙色			
127	E区	土師器 Ⅲ	72			ナデ	にぶい黄橙色、褐灰色	1/7	砂礫、赤色酸化粒 灯芯油痕	N 119
	SK 60					ナデ	にぶい黄橙色、褐灰色			
128	A区	土師器 Ⅲ	74	19	40	ナデ	にぶい黄橙色	1/9	砂礫、赤色酸化粒	N 70
	SD 1					ナデ	にぶい黄橙色			
129	E区	土師器 Ⅲ	(86)			ナデ	浅黄橙色	1/11	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	H 11
	SD 10					ナデ	浅黄橙色			
130	E区	土師器 Ⅲ	86	16		ナデ	灰白色	口頸部 1/6	砂礫、焼成不良 灯芯油痕	T 96
	SD 11					ナデ	灰白色			
131	E区	土師器 Ⅲ	(86)	18		ナデ	明黄褐色	1/9	砂礫	H 481
	SD 16					ナデ	にぶい黄橙色			
132	E区	土師器 Ⅲ	83	16.5	45	ナデ	浅黄橙色	1/5	灯芯油痕	O 380
	SD 16					ナデ	浅黄橙色			
133	E区	土師器 Ⅲ	87	19.5	40	ナデ	浅黄橙色	1/5	砂礫 灯芯油痕、炭化物付着	H 477
	SD 16					ナデ	浅黄橙色			
134	D区	土師器 Ⅲ	(87)	19		ナデ	浅黄橙色	小片	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	T 206
	P 11					ナデ	浅黄橙色			
135	E区	土師器 Ⅲ	82	14	56	ナデ	にぶい黄橙色	1/6	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	H 40
	P 36					ナデ	にぶい黄橙色			
136	E区	土師器 Ⅲ	(82)	11	(50)	ナデ	にぶい橙色～にぶい黄橙色	1/10		O 95
	包含層					ナデ	にぶい橙色～にぶい黄橙色			
137	G区	土師器 Ⅲ	77				にぶい黄橙色	1/6	砂礫	N 165
	包含層						にぶい黄橙色			
138	C区	土師器 Ⅲ	(120)			ナデ	にぶい黄橙色、褐灰色		砂礫	N 35
	SK 6					ナデ	灰黄色、黄灰色			
139	E区	土師器 Ⅲ	111			ナデ	にぶい黄橙色	1/9	砂礫	H 138
	SK 31					ハケ、ナデ	にぶい黄橙色			
140	E区	土師器 Ⅲ	(110)	235		ナデ	にぶい黄橙色	1/13	砂礫、赤色粒	H 395
	SK 80					ナデ	にぶい黄橙色			
141	E区	土師器 Ⅲ	108	(20)		ナデ	にぶい黄橙色	口縁部 1/5		O 19
	SD 9					ナデ	にぶい黄橙色			
142	E区	土師器 Ⅲ	(117)	20		ナデ	にぶい橙色	口縁部 1/12	灯芯油痕 炭化物付着	O 246
	SD 12					ナデ	にぶい橙色			
143	E区	土師器 Ⅲ	107			ナデ	浅黄橙色	口縁部 1/8	灯芯油痕 炭化物付着	O 247
	SD 12					ナデ	浅黄橙色			
144	D区	土師器 Ⅲ	106	19	44	ナデ	にぶい黄橙色、黒色	1/5	砂礫 灯芯油痕	N 271
	SI 4					ナデ	にぶい黄橙色、黒褐色			

番号	区名 遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
145	G区	土師器 皿	(110)	(21)	(66)	ナデ	にぶい黄橙色	1/12	砂礫、赤色酸化粒	N 190
	SK 93					ナデ	にぶい黄橙色、にぶい橙色			
146	E区	土師器 皿	110	22	50	ナデ		1/10	灯芯油痕 炭化物付着	O 63
	P 31					ナデ				
147	E区	土師器 皿	(128)			ナデ	橙色	1/11	砂礫	H 77
	SI 8					ナデ	橙色			
148	E区	土師器 皿	(126)			ナデ	浅黄橙色	1/9	砂礫	H 172
	SI 13					ナデ	浅黄橙色			
149	D区	土師器 皿	160.2			ナデ	浅黄橙色	1/18	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	T 232
	SK 21					ナデ	浅黄橙色			
150	D区	土師器 皿	130			ナデ	浅黄橙色	1/12	灯芯油痕	T 253
	SK 25					ナデ	浅黄橙色			
151	D区	土師器 皿	130			ナデ	浅黄橙色	口頸部 1/12	灯芯油痕	T 252
	SK 25					ナデ	黒色			
152	E区	土師器 皿	(142)			ナデ	浅黄橙色	1/11	砂礫、赤色粒	H 123
	SK 31					ナデ	にぶい黄橙色			
153	E区	土師器 皿	116	27	40	ナデ	浅黄橙色	1/7	砂礫	H 126
	SK 31					ナデ	浅黄橙色			
154	E区	土師器 皿	(144)			ナデ	浅黄橙色	1/9	砂礫	H 3
	SK 33					ナデ	浅黄橙色			
155	E区	土師器 皿	(138)			ナデ	にぶい黄橙色	1/10	砂礫	H 74
	SK 38					ナデ	にぶい黄橙色			
156	E区	土師器 皿	112	20		ナデ	浅黄橙色	1/6	砂礫 灯芯油痕、炭化物付着	H 162
	SK 51					ナデ	浅黄橙色			
157	E区	土師器 皿	(132)			ナデ	にぶい黄橙色	1/10	赤色粒	H 430
	SK 72					ナデ	にぶい黄橙色			
158	E区	土師器 皿	121	22		ナデ	にぶい黄橙色	1/8	砂礫	H 390
	SK 81					ナデ	にぶい黄褐色			
159	D区	土師器 皿	110			ナデ	浅黄橙色	1/12	砂礫、黒色粒、赤色粒 灯芯油痕	T 255
	SD 7					ナデ	浅黄橙色			
160	E区	土師器 皿	136	20	62	ナデ	にぶい橙色	口縁部 1/8		O 258
	SD 10					ナデ	にぶい橙色			
161	E区	土師器 皿	(136)			ナデ	にぶい橙色	口縁部 1/13		O 151
	SD 11					ナデ	にぶい橙色			
162	F区	土師器 皿	134			ナデ	灰白色	口頸部 1/9	砂礫	T 334
	SD 17					ナデ	灰白色、褐灰色			
163	E区	土師器 皿	104			ナデ	浅黄橙色	1/6	砂礫、赤色粒 灯芯油痕	H 101
	SX 4					ナデ	浅黄橙色			
164	E区	土師器 皿	(130)			ハケ、ナデ	浅黄橙色	1/11	砂礫 灯芯油痕	H 164
	SX 11					ナデ	浅黄橙色			
165	E区	土師器 皿	112			ナデ	橙色	口縁部 1/5	灯芯油痕 炭化物付着	O 378
	SX 21					ナデ	橙色			
166	E区	土師器 皿	(132)			ナデ	浅黄橙色	1/13	砂礫、赤色粒	H 39
	P 26					ナデ	浅黄橙色			
167	E区	土師器 皿	(124)			ナデ	にぶい橙色	1/11		O 66
	P 31					ナデ	にぶい橙色			
168	F区	土師器 皿	166			ナデ	にぶい橙色	1/9	砂礫	T 345
	包含層					ナデ	にぶい橙色			
169	F区	土師器 皿	122			ナデ	浅黄橙色	口頸部 2/9	砂礫	T 343
	包含層					ナデ	浅黄橙色			
170	F区	土師器 皿	194			ナデ	橙色	1/9	砂礫	T 346
	包含層					ナデ	橙色			
171	E区	白磁 碗	168				灰白色	口頸部 1/12	砂礫 貫入	T 86
	SD 12						灰白色			
172	C区	白磁 碗	(136)				灰白色	小片	黒色粒 灰釉か	N 20
	SK 3						灰白色			
173	E区	白磁 碗	138				明緑灰色	1/6	砂礫	H 360
	P 48						灰白色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
174	E区	白磁 碗			高台径		灰白色	1/7	砂礫 白磁釉	H 170
	SI 13				66	灰白色				
175	E区	白磁 碗			高台径		灰白色	1/6	白磁釉	O 150
	SD 11				68	灰白色				
176	E区	白磁 碗		(26)	45		灰白色	高台部 全周	墨痕 白磁釉	O 60
	P 31					灰白色				
177	E区	白磁 皿	94	30	38		灰白色	高台部 全周	端反高台皿	O 261
	SD 10					灰白色				
178	D区	白磁 皿	112	38	44		灰白色	口頸部 1/6	砂礫、黒色粒、端反高台皿 朱包墨書、珪砂砂付着	T 221
	SK 21					灰白色				
179	C区	白磁 皿	107	29	42		灰白色	底部 1/3	黒色粒、扶高台 墨痕、白磁釉	N 53
	SI 3					灰白色				
180	E区	白磁 皿	96	21	32		灰白色	高台部 1/5 口縁部 1/13	白磁釉	H 349
	SI 22					灰白色				
181	E区	白磁 皿	92	25	42		にぶい黄橙色	1/4	釉、扶高台 煤、炭化物付着	H 346
	SI 22					にぶい黄橙色				
182	D区	白磁 皿	120	22	20		灰白色	口頸部 1/12	砂礫、黒色粒、胎土目3ヶ所 白磁釉、透明釉	T 222
	SK 21					灰白色				
183	E区	白磁 皿	(96)				淡黄橙色	1/9	砂礫 白磁釉	H 217
	SI 15					淡黄橙色				
184	E区	白磁 皿	93		高台径		灰白色	1/6	砂礫 白磁釉	H 320
	SI 26				48	灰白色				
185	E区	白磁 皿	96				灰白色	1/7	白磁釉	O 149
	SD 11					灰白色				
186	E区	白磁 皿	94				灰白色	口頸部 2/9	砂礫、黒色粒 白磁釉	T 94
	SD 11					灰白色				
187	E区	白磁 皿	102				灰白色	1/8	砂礫	H 73
	SK 33					灰白色				
188	E区	白磁 皿	88				灰白色	1/9	黒色粒 白磁釉	N 113
	SI 20					灰白色				
189	G区	白磁 皿	(102)				灰白色	小片	砂礫 透明釉	N 172
	SI 52					灰白色				
190	E区	白磁 皿	82				灰白色	口頸部 1/9	砂礫 透明釉、貫入	T 79
	SD 12					灰白色				
191	E区	白磁 皿	114				灰白色	1/8	砂礫 白磁釉	H 171
	SI 13					灰白色				
192	E区	白磁 皿	(117)				灰白色	1/11	釉	H 361
	P 48					灰白色				
193	E区	白磁 皿	(122)				灰白色	小片	砂礫 白磁釉、透明釉、貫入	T 104
	SX 13					灰白色				
194	E区	白磁 皿	(156)				灰白色	1/14		H 421
	SD 24					灰白色				
195	E区	白磁 皿	(176)				灰白色	口縁部 1/14		O 294
	包含層					灰白色				
196	G区	白磁 皿	(134)				灰白色	1/18	砂礫 白磁釉	N 158
	包含層					灰白色				
197	G区	白磁 皿	(136)				灰白色	小片	砂礫 白磁釉	N 164
	SK 90					灰白色				
198	E区	白磁 皿			35		灰白色	高台部 完形	墨書 白磁釉	O 144
	SD 11					灰白色				
199	E区	白磁 皿			37		灰白色	高台部 1/2	白磁釉	O 295
	排土					灰白色				
200	E区	白磁 皿			高台径		灰白色	全周	白磁釉	H 315
	SI 26				38	灰白色				
201	E区	白磁 皿			高台径		灰白色	高台部 全周	白磁釉	O 304
	SI 27				44	灰白色				
202	E区	白磁 皿			高台径		淡黄色	1/4	砂礫 墨痕、白磁釉	H 424
	SD 24				43	灰白色				

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
203	E区	白磁 皿			高台径 35		灰白色	1/4	白磁釉	O 180
	包含層						灰白色			
204	G区	白磁 皿			40		灰白色	2/3	黒色粒	N 153
	包含層						灰白色			
205	C区	白磁 皿			(84)		灰白色	1/6	黒色粒、珪砂付着 釉剥ぎ、白磁釉	N 22
	SK 3						灰白色			
206	E区	白磁 皿			67		灰白色	高台部 1/4	回転ク口割り	O 94
	SX 5						灰白色			
207	E区	白磁 皿			44		灰白色	底部 2/3	砂礫、扶高台 墨書、釉剥ぎ、胎土目3ヶ所	T 92
	SD 11						灰白色			
208	D区	白磁 皿			46		灰白色	底部 1/4	砂礫 胎土目1ヶ所、扶高台	T 370
	SD 8						灰白色			
209	G区	白磁 皿			44		灰白色	底部 1/2	茶色粒、漆継ぎ痕 扶高台、砂自跡2ヶ所	N 149
	包含層						灰白色			
210	E区	白磁 皿			47		灰白色	高台部 1/5	扶高台 白磁釉、胎土目痕	O 264
	SD 10						灰白色			
211	E区	白磁 八角杯			39		灰白色	高台部 全周	扶高台 墨書、胎土目	O 255
	SD 12						灰白色			
212	E区	白磁 小杯	76				灰白色	1/8	白磁釉	H 473
	SD 16						灰白色			
213	E区	白磁 八角杯	174	38	高台径 36		灰白色	高台部 1/2	白磁釉	O 18
	SD 9						灰白色			
214	E区	青磁 碗	114	69	高台径 53		オリーブ黄色	口縁部 1/3	砂礫	H 426
	SD 24						オリーブ黄色			
215	D区	青磁 碗	144				オリーブ灰色	口頸部 7/18	砂礫 青磁釉	T 220
	SK 21						オリーブ灰色			
216	G区	青磁 碗	(130)				明緑灰色	小片	黒色粒 青磁釉、割れ口漆継ぎ痕	N 191
	SK 93						明オリーブ灰色			
217	E区	青磁 碗	(129)				オリーブ灰色	1/12	青磁釉	O 93
	SX 5						オリーブ灰色			
218	E区	青磁 碗	(165)				オリーブ灰色	口縁部 1/13	青磁釉	O 198
	SI 19						オリーブ灰色			
219	E区	青磁 碗	(133)				明オリーブ灰色	口縁部 1/11	青磁釉	O 471
	SD 15						明オリーブ灰色			
220	E区	青磁 碗	(187)				灰オリーブ色	1/15	青磁釉	H 431
	SD 21						灰オリーブ色			
221	E区	青磁 碗	186	25			灰オリーブ色	口頸部 1/18	砂礫 灰釉、青磁釉	T 95
	SD 11						灰オリーブ色			
222	E区	青磁 碗	(140)				オリーブ灰色	口縁部 1/11	青磁釉	O 386
	SK 61						オリーブ灰色			
223	E区	青磁 碗	(130)				明緑灰色	口縁部 1/12	青磁釉	O 305
	SI 27						明緑灰色			
224	C区	青磁 碗	147				オリーブ灰色	1/7	茶色粒 青磁釉	N 24
	SI 3						オリーブ灰色			
225	C区	青磁 碗	(148)				オリーブ灰色	1/18	微粒、黒色粒 青磁釉	N 51
	SK 51						オリーブ灰色			
226	E区	青磁 碗	(152)				灰白色	1/15	青磁釉	O 109
	SK 36						灰白色			
227	E区	青磁 碗	(167)	(46)			オリーブ灰色	1/13	厚釉端反碗 青磁釉、漆継ぎ痕	O 15
	SD 9						オリーブ灰色			
228	E区	青磁 碗	(161)				明オリーブ灰色	口縁部 1/16	青磁釉	O 244
	SD 12						明オリーブ灰色			
229	E区	青磁 碗	(124)				灰オリーブ色	1/11	砂礫 青磁釉	H 100
	包含層						灰オリーブ色			
230	E区	青磁 碗	152				灰オリーブ色	1/7	砂礫 青磁釉	H 103
	包含層						灰オリーブ色			
231	C区	青磁 碗	(172)				オリーブ灰色	1/18	茶色粒 青磁釉	N 52
	SI 2						オリーブ灰色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
232	F区	青磁 碗					明オリブ灰色	小片	砂礫 青磁釉、連弁紋	T 383
	SD 17						明オリブ灰色			
233	E区	青磁 碗	155				オリブ灰色	1/12	砂礫、青磁釉 直縁篋線描連弁紋	H 273
	SK 76						オリブ灰色			
234	E区	青磁 碗	115				オリブ灰色	1/4	青磁釉、内面刻花紋 直縁篋線描連弁紋	O 332
	SK 78						オリブ灰色			
235	E区	青磁 碗	122				明オリブ灰色	口縁部 1/6	線描連弁紋 沈線、青磁釉	O 446
	SD 22						明オリブ灰色			
236	E区	青磁 碗	(135)				灰色	口縁部 1/9	漆継ぎ痕、青磁釉 端反篋線描連弁紋	O 265
	SD 10						灰色			
237	D区	青磁 碗	(144)				オリブ黄色	1/18	砂礫 青磁釉	T 197
	P 20						オリブ黄色			
238	E区	青磁 碗	(148)				明緑灰色	1/18	黒色粒、青磁釉 篋線描連弁紋	N 118
	包含層						明緑灰色			
239	E区	青磁 碗	(157)				オリブ灰色	1/10	雷文、青磁釉 漆継ぎ痕	H 232
	SI 10						オリブ灰色			
240	C区	青磁 碗	145				オリブ灰色	1/9	黒色粒 雷文、刻花紋、青磁釉	N 36
	SD 2						オリブ灰色			
241	E区	青磁 碗	(158)	(27)			オリブ灰色	1/20	雷文 青磁釉	O 143
	SD 11						オリブ灰色			
242	E区	青磁 碗			(77)		灰オリブ色	高台部 1/2	青磁釉 墨痕	O 110
	SK 36						にぶい黄橙色			
243	E区	青磁 碗			高台径 56		明オリブ灰色	高台部 全周	青磁釉 沈線	O 199
	SI 19						明オリブ灰色			
244	C区	青磁 碗			68		オリブ灰色、にぶい黄橙色、黄褐色	底部 2/3	黒色粒 青磁釉、茶筌の跡	N 47
	SK 3						オリブ灰色			
245	D区	青磁 碗			58		灰オリブ色、灰色	底部 完形	砂礫、黒色粒 青磁釉	T 217
	SK 24						灰オリブ色、灰色			
246	E区	青磁 碗		(32)	高台径 62		オリブ灰色	1/3	青磁釉 沈線	O 16
	SD 9						オリブ灰色			
247	E区	青磁 碗			高台径 56		灰白色、にぶい褐色	高台部 1/3	青磁釉	H 436
	SD 17						灰白色			
248	E区	青磁 碗			高台径 56		灰オリブ色	1/6	砂礫 青磁釉	H 216
	SI 15						オリブ黄色			
249	C区	青磁 碗			56		オリブ灰色、灰黄色	底部 完形	黒色粒 青磁釉、茶筌跡	N 39
	P 6						オリブ灰色			
250	E区	青磁 碗			高台径 58		灰オリブ色	1/5	砂礫 青磁釉、煤	H 169
	SI 13						灰オリブ色			
251	E区	青磁 碗			54		にぶい黄色	底部 1/3	砂礫 青磁釉	T 99
	SD 11						にぶい黄色			
252	E区	青磁 碗			50		灰オリブ色	底部 完形	砂礫、黒色粒 青磁釉	T 88
	SX 6						灰オリブ色			
253	E区	青磁 碗			54		オリブ灰色、灰黄褐色	底部 完形	黒色粒 青磁釉	N 107
	包含層						オリブ灰色			
254	E区	青磁 碗			高台径 52		オリブ灰色	高台部 全周	青磁釉 篋線描連弁紋	O 466
	SD 16						オリブ灰色			
255	E区	青磁 碗			60		明緑灰色	高台部 全周	青磁釉 篋線描連弁紋	O 453
	SD 19						明緑灰色			
256	E区	青磁 碗			50		灰オリブ色、にぶい黄褐色	1/3	黒色粒 青磁釉、篋線描連弁紋	N 112
	SK 60						灰オリブ色、灰色			
257	E区	青磁 碗			高台径 50		オリブ灰色	高台～腰 1/2	青磁釉 みこみ部押文	O 312
	SI 21						にぶい橙色			
258	C区	青磁 碗			65		オリブ灰色	底部 2/3	黒色粒、茶色粒 青磁釉、刻花紋	N 29
	SK 3						オリブ灰色			
259	C区	青磁 碗			52		緑灰色	底部 完形	黒色粒 青磁釉、刻花紋	N 46
	SK 3						オリブ褐色、オリブ灰色			
260	E区	青磁 碗			高台径 54		灰白色	1/3	青磁釉	H 391
	SK 81						灰白色			

番号	区名 遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
261	G区	青磁 碗			52		オリーブ灰色	高台部 完形	黒色粒 青磁釉、刻花紋	N 192
	SK 93						オリーブ灰色			
262	A区	青磁 碗			61		灰オリーブ色、灰黄色	底部 3/4	黒色粒 青磁釉、刻花紋	N 72
	SD 1						灰オリーブ色			
263	E区	青磁 碗			49		明オリーブ灰色	高台部 全周	刻花紋、青磁釉 篋線描連弁紋	O 445
	SD 22						明オリーブ灰色			
264	E区	青磁 碗			高台径		オリーブ色、にぶい橙色	全周	砂礫 青磁釉	H 414
	SD 24				50		オリーブ色			
265	C区	青磁 碗			60		オリーブ灰色、褐色	底部 完形	黒色粒 青磁釉、漆継ぎ痕	N 40
	P 8						オリーブ灰色			
266	D区	青磁 碗			36		灰オリーブ色	底部 完形	青磁釉 刻花紋	T 211
	P 18						灰オリーブ色			
267	D区	青磁 碗			54		オリーブ灰色、灰黄褐色	底部 5/12	砂礫 青磁釉、刻花紋	N 267
	包含層						オリーブ灰色、にぶい橙色			
268	B区	青磁 皿	(128)				明オリーブ灰色	小片	茶色粒 青磁釉、篋線描連弁紋	N 67
	P 4						明オリーブ灰色			
269	E区	青磁 皿	122.5				黄褐色	1/8	砂礫 青磁釉	H 319
	SI 26						黄褐色			
270	E区	青磁 皿	(126)				オリーブ灰色	1/8	砂礫、青磁釉 腰折端反皿	H 279
	SI 48						オリーブ灰色			
271	E区	青磁 皿	117	36	70		灰白色	1/4	青磁釉 端反皿	O 470
	SD 16						灰白色			
272	E区	青磁 盤	(256)	(44)			にぶい黄橙色	1/9	青磁釉 篋線描連弁紋	O 9
	SK 33						にぶい黄橙色			
273	E区	青磁 盤					灰オリーブ色	小片	砂礫、青磁釉 灰釉、貫入	T 78
	SD 12						灰オリーブ色			
274	D区	青磁 盤	(304)				オリーブ灰色	小片	黒色粒 青磁釉、櫛描き文か？	N 269
	包含層						オリーブ灰色			
275	E区	青磁 盤			194		灰オリーブ色	1/12	砂礫 青磁釉	T 91
	SD 11						灰オリーブ色			
276	E区	青磁 盤					明緑灰色		砂礫 青磁釉	H 238
	SD 13						明緑灰色			
277	C区	青磁 盤			(78)		オリーブ灰色、灰色、暗灰黄色	1/5	黒色粒 青磁釉	N 45
	SK 3						オリーブ灰色			
278	F区	青磁 盤					オリーブ灰色、にぶい橙色	小片	青磁釉	N 304
	SD 17						オリーブ灰色			
279	G区	青磁 盤			76		オリーブ灰色、灰黄褐色	底部 1/4	茶色粒 青磁釉	N 175
	SI 51						オリーブ灰色			
280	C区	青磁 香炉	86	65	72		オリーブ灰色	完形	砂礫、黒色粒、赤色粒 青磁釉	T 400
	SK 3						にぶい赤褐色			
281	D区	青磁 香炉			70		オリーブ灰色	底部 1/9	砂礫 青磁釉	T 225
	SD 7						黄灰色			
282	E区	青磁 花瓶	88				オリーブ灰色	口縁部 1/6 頸部 全周	青磁釉 漆継ぎ痕	O 385
	SK 62						オリーブ灰色			
283	D区	青磁 瓶					オリーブ灰色	小片	砂礫 青磁釉	T 541
	SD 7						ロクロナデ オリーブ灰色			
284	E区	青白磁 盤			高台径		明緑灰色	1/4	砂礫 墨痕、釉	H 226
	SI 16				86		灰色			
285	E区	青花 皿			67		明青灰色	高台部 1/9		O 402
	SK 79						明青灰色			
286	E区	青花 皿	94	20	50		明青灰色	1/6	端反青花皿	O 448
	SD 22						明青灰色			
287	E区	青花 皿			83		明緑灰色	高台部 1/7		O 243
	SD 12						明緑灰色			
288	C区	瀬戸焼 碗	240				灰黄色、灰白色、オリーブ黄色	1/9	茶色粒 平碗、灰釉	N 30
	SK 15						灰黄色、灰白色、オリーブ黄色			
289	E区	瀬戸焼 碗	108				オリーブ黄色	口頸部 1/6	砂礫、灰釉	T 93
	SD 11						オリーブ黄色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
290	D区	瀬戸焼 碗	210				浅黄色	1/18	灰釉	T 207
	SD 8						灰黄色、灰色			
291	G区	瀬戸焼 碗	140				にぶい黄色、黄褐色	1/9	砂礫、黑色粒 平碗、灰釉	N 146
	包含層						にぶい黄色			
292	E区	瀬戸焼 碗	172				オリーブ黄色	1/7	黑色粒 平碗、灰釉、砂目1ヶ所	N 116
	SK 57						オリーブ黄色			
293	E区	瀬戸焼 碗	(188)				灰白色、明黄褐色	1/10	砂礫 平碗、釉	H 104
	包含層						にぶい橙色、灰黄色、明黄褐色			
294	G区	瀬戸焼 碗			50		灰白色	高台部 完形	砂礫、平碗 灰釉、砂目3ヶ所	N 147
	包含層						オリーブ黄色、黒褐色			
295	A区	瀬戸焼 碗			54		灰黄色	底部 1/3	砂礫 灰釉	N 63
	SK 2						灰オリーブ色			
296	E区	瀬戸焼 碗			高台径 60		オリーブ灰色	高台部 1/4	灰釉	O 245
	SD 12						オリーブ灰色			
297	E区	瀬戸焼 天目茶碗	(116)	52			灰褐色	1/11	砂礫	H 278
	SI 48						灰褐色			
298	C区	瀬戸焼 天目茶碗	125				黒褐色	1/9	黑色粒 鉄釉	N 34
	SK 6						にぶい赤褐色			
299	E区	瀬戸焼 天目茶碗	(123)	(20)			黒褐色	1/13	鉄釉	O 90
	包含層						黒褐色			
300	G区	瀬戸焼 天目茶碗	122				黒色、褐色	1/12	黑色粒 鉄釉	N 173
	SI 52						黒色、褐色			
301	C区	瀬戸焼 天目茶碗	118				褐色、暗褐色	1/12	砂礫 鉄釉	N 32
	SK 6						褐色、暗褐色			
302	E区	瀬戸焼 天目茶碗	110	(45)			黒色	口縁部 1/6	鉄釉 漆継ぎ痕	O 28
	SD 9						黒色			
303	D区	瀬戸焼 天目茶碗	124	55	44		褐色、黒色、灰色	口縁部 1/9 高台部 完形	砂礫 鉄釉	N 265
	包含層						にぶい褐色、黒色			
304	G区	瀬戸焼 天目茶碗	117				黒褐色、灰黄褐色、暗赤褐色	口縁部 1/6	砂礫 鉄釉	N 145
	包含層						黒褐色、灰黄褐色			
305	E区	瀬戸焼 天目茶碗		胴部径 110	46		黒色、褐色	胴部 1/6 底部 1/4	砂礫 釉	H 425
	SD 24						黒色			
306	C区	瀬戸焼 天目茶碗			45		にぶい赤褐色	底部 完形	黑色粒、一部板状圧痕 鉄釉、漆継ぎ痕	N 41
	SK 3						黒色			
307	E区	瀬戸焼 天目茶碗			高台径 43		黒色	高台部 全周	鉄釉 陶製円盤	O 178
	包含層						にぶい橙色			
308	A区	瀬戸焼 天目茶碗			50		灰白色	1/5	砂礫 鉄釉、漆継ぎ痕	N 74
	SD 1						黒色			
309	E区	瀬戸焼 天目茶碗			47		黒褐色	高台部 1/2	鉄釉	O 55
	P 37						黒褐色			
310	G区	瀬戸焼 天目茶碗			43		暗赤褐色	1/2	黑色粒 鉄釉、漆継ぎ痕	N 180
	SI 50						黒褐色			
311	E区	瀬戸焼 天目茶碗			47		灰褐色、黒褐色	高台部 全周	鉄釉、回転ロクロ削り 陶製円盤	O 88
	包含層						灰褐色、黒褐色			
312	E区	瀬戸焼 皿	113	29.5	54		灰黄色、褐色	1/3	砂礫 煤、鉄釉	H 167
	SI 13						灰黄色、褐色			
313	E区	瀬戸焼 皿	(123)				淡黄色、褐色	1/10	砂礫 鉄釉、回転ヘラ削り	H 166
	SI 13						淡黄色、褐色			
314	E区	瀬戸焼 皿	108				浅黄色	口頸部 1/6	砂礫 鉄釉	T 103
	SX 13						浅黄色			
315	G区	瀬戸焼 皿	102				黒褐色、暗褐色、灰黄褐色	1/12	砂礫 鉄釉	N 159
	包含層						黒褐色、暗褐色			
316	E区	瀬戸焼 皿			58		浅黄色	1/2	砂礫 釉、灰釉皿	H 297
	SI 35						浅黄色			
317	E区	瀬戸焼 皿	111	25	45		灰白色	3/4	灰釉 稜皿、胎土目あり	O 331
	SK 78						灰白色			
318	E区	瀬戸焼 皿			66		浅黄色	全周	砂礫 灰釉、丸皿	H 417
	SD 24						浅黄色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
319	E区	瀬戸焼 皿	105				オリーブ黄色、灰黄色	1/7	砂礫 灰釉	H 282
	SK 78						にぶい黄色			
320	E区	瀬戸焼 皿	85				灰白色	口縁部 1/5	灰釉皿	O 447
	SD 22						灰白色			
321	A区	瀬戸焼 皿			52		オリーブ黄色	1/7	黒色粒 灰釉	N 75
	SD 1						オリーブ黄色			
322	E区	瀬戸焼 皿	256	64.5	106	ロクロナデ	灰黄色、にぶい黄色	1/6	砂礫 煤、回転ヘラ切り、灰釉	H 75
	SK 34					ロクロナデ	にぶい黄色、灰黄色			
323	E区	瀬戸焼 皿	(267)				にぶい黄色	口縁部 1/10	釉	O 115
	SK 35						にぶい黄色			
324	E区	瀬戸焼 皿			130	ロクロナデ、ナデ	灰白色	底部 1/9	砂礫 自然釉	T 85
	SD 12					ロクロナデ、ナデ	灰白色			
325	D区	瀬戸焼 皿					灰白色	小片	砂礫、黒色粒、赤色粒 回転ヘラ切り、灰釉	T 209
	SD 8						灰白色、にぶい黄橙色			
326	E区	瀬戸焼 皿			136	ロクロナデ	橙色、にぶい黄橙色	1/3	砂礫 回転ヘラ切り	H 12
	SD 10					ロクロナデ	浅黄橙色			
327	G区	瀬戸焼 包含層	(160)				オリーブ灰色、浅黄色	1/12	砂礫 灰釉	N 148
	包含層						灰オリーブ色、浅黄色			
328	D区	瀬戸焼 皿	(290)				オリーブ黄色	小片	砂礫 灰釉	T 246
	SI 4						オリーブ黄色			
329	E区	瀬戸焼 皿	340	95			灰白色、オリーブ黄色	1/7	砂礫 灰釉	H 271 H 272
	SK 77						灰白色、オリーブ黄色			
330	E区	瀬戸焼 皿	304	98	132		にぶい黄橙色	1/8	灰釉	O 388
	SK 61						浅黄色			
331	E区	瀬戸焼 皿	(328)				オリーブ色	1/9	砂礫 灰釉	H 427
	SD 24						オリーブ色			
332	E区	瀬戸焼 小杯	114	32	53		オリーブ黄色	2/3	灰釉	O 29
	SD 9						オリーブ黄色			
333	C区	瀬戸焼 皿			65		灰黄色	1/7	黒色粒 御目、回転糸切り痕	N 43
	SK 3						灰黄色			
334	D区	瀬戸焼 包含層					淡黄色	小片	砂礫 回転糸切り、卸目	T 200
	包含層						淡黄色			
335	E区	瀬戸焼 合子		胴部径 66	35		にぶい黄橙色、灰黄色、オリーブ黄色	底部 1/2 胴部 1/4	砂礫 灰釉、糸切り痕	H 230
	SK 48						灰色			
336	F区	瀬戸焼 蓋	38		22		淡黄色	完形	砂礫 褐釉、回転糸切り痕	T 342
	SX 23						にぶい黄橙色、暗褐色			
337	E区	瀬戸焼 包含層		台径 36	52		淡黄色、浅黄色	1/4	砂礫 灰釉	H 97
	包含層						にぶい黄橙色			
338	E区	瀬戸焼 小杯			30		灰白色	1/4	灰釉	O 457
	SD 18						灰白色			
339	E区	瀬戸焼 壺	(108)	(34)			灰褐色～黒褐色	口縁部 1/9	鉄釉 祖母懐茶壺	O 108
	SK 36						灰褐色～黒褐色、褐灰色			
340	E区	瀬戸焼 壺			57		橙色、にぶい黄橙色	全周	砂礫 釉	H 44
	P 38						にぶい黄橙色			
341	G区	瀬戸焼 壺			92		黒褐色、にぶい黄橙色	1/2	砂礫 鉄釉、漆継ぎ痕	N 185
	SK 91						にぶい黄橙色			
342	E区	瀬戸焼 筒形容器		(19)	高台径 118		にぶい黄橙色	高台部 1/2	灰釉 一部ロクロ回転糸切り痕	O 17
	SD 9						灰オリーブ色			
343	E区	瀬戸焼 耳付水柱	135.5				黒褐色	1/6	鉄釉	H 394
	SI 28						黒褐色、にぶい黄橙色			
344	E区	瀬戸焼 筒形香炉			88		灰褐色	1/5	鉄釉	O 91
	包含層						灰褐色			
345	G区	瀬戸焼 花瓶					オリーブ黄色	小片	砂礫 灰釉、印花紋	N 128
	SD 31					ロクロナデ	灰白色			
346	E区	瀬戸焼 花瓶			柱状部径 32		浅黄色	全周	灰釉 糸切り痕	H 316
	SI 26						灰黄色			
347	C区	瀬戸焼 花瓶			50		灰白色、灰黄色、にぶい黄色	底部 1/3	黒色粒 灰釉、回転糸切り痕	N 44
	SK 3						灰白色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
348	C区	瓦器	68	52	60		黒色	完形	砂礫、黒色粒 雲紋、煤	T 399
	SK 3	香炉					黒色			
349	E区	瓦器		体部径 74		ヨコナデ、ナデ	黒色	体部 1/3	砂礫、赤色酸化粒 漆継ぎ痕、煤、S字・雷スタンプ紋	T 102
	SX 13	香炉				ヨコナデ、ナデ	黒色			
350	E区	瓦器		胴部 74			黄灰色	1/6		O 262
	SX 6	花瓶					黄灰色			
351	D区	瓦器					灰色	小片	砂礫、赤色酸化粒 方形浅鉢	N 276
	包含層	鉢					浅黄色、灰黄色			
352	E区	瓦器	123			ミガキ	オリーブ黒色	1/6	砂礫	H 483
	SX 16	鉢				ハケ、ナデ	オリーブ黒色			
353	E区	瓦器	340			ロクロナデ	オリーブ黒色	1/9	砂礫、浅鉢 海面骨針、紋様	H 37
	SD 9	鉢				ロクロナデ	オリーブ黒色			
354	E区	瓦器	(280)			ナデ	灰色	1/10	砂礫、浅鉢、回転ヘラ切り 海面骨針	H 4
	SX 8	鉢				ケズリ	灰色			
355	G区	瓦器	300			ミガキ	オリーブ黒色	1/12	砂礫、赤色酸化粒、石英 浅鉢、圧痕	N 188
	SK 93	鉢				ヨコナデ	オリーブ黒色			
356	E区	瓦器	(250)				オリーブ黒色	口縁部 1/15	円形浅鉢 菱形紋	O 455
	SD 18	鉢					オリーブ黒色			
357	E区	瓦器	(285)				黄灰色～にぶい黄橙色	1/13		O 112
	SK 36	鉢					黄灰色～にぶい黄橙色			
358	E区	瓦器	(374)				灰色	腰部 1/11		O 59
	P 31	鉢					灰色			
359	G区	瓦器	296			ロクロナデ	灰色	1/6	砂礫 骨針	N 162
	SI 53	風炉				ロクロナデ	黄灰色			
360	D区	瓦器	268			ロクロナデ	灰色	口頸部 1/2	砂礫、黒色粒、赤色酸化粒 紋様透し穴3ヶ所か？	T 227
	SD 7	風炉				ロクロナデ	灰色			
361	E区	珠洲焼	(402)			タタキ	黄灰色	小片	指圧痕、焼成不良 煤、炭化物付着	N 109
	SK 58	甕					灰黄色、黒褐色			
362	C区	珠洲焼				タタキ	灰色、灰白色	小片	砂礫 指圧痕、自然釉	N 26
	SK 12	甕					灰色			
363	E区	珠洲焼					灰色	小片	砂礫 骨針	N 110
	SK 58	甕					灰色			
364	E区	珠洲焼					オリーブ黒色	小片	砂礫	H 163
	SX 10	甕					灰色			
365	E区	珠洲焼					黄灰色	小片		O 241
	SD 12	甕					黄灰色			
366	F区	珠洲焼	(600)			タタキ	灰色	小片	砂礫	N 301 N 315
	SD 17	甕					ナデ			
367	C区	珠洲焼			(196)	タタキ	灰色	1/6	砂礫、石英 炭化物付着	N 60
	SK 3	甕					灰色、黒色			
368	D区	珠洲焼			(190)		黄灰色、灰白色	1/12	砂礫 焼成不良	N 277
	包含層	甕					暗灰黄色			
369		珠洲焼			(150)	タタキ	灰色	小片	砂礫	N 139
	排土	甕					ナデ			
370	E区	珠洲焼			114	タタキ	灰色	底部 1/4	砂礫、黒色粒 赤色酸化粒	T 87
	SD 12	甕					灰色			
371	E区	珠洲焼			104		灰色	1/5	砂礫 煤	H 233
	SI 10	甕					灰色			
372	G区	珠洲焼			118	ロクロナデ、タタキ	灰白色	底部 1/6	砂礫 圧痕	N 137
	SX 29	壺				ロクロナデ	灰色			
373	E区	珠洲焼			90	ケズリ、ナデ	灰色	底部 1/2	回転ナデ	O 263
	SD 10	壺					灰色			
374	E区	珠洲焼	(326)				灰色	口縁部 1/17		O 379
	SX 20	播鉢					灰色			
375	E区	珠洲焼	(330)				灰色	1/12	砂礫 自然釉	N 363
	SD 12	播鉢					灰色			
376	G区	珠洲焼	(260)			ロクロナデ	灰白色、灰色	1/18	砂礫	N 167
	SI 50	播鉢				ロクロナデ	灰色			

番号	区名	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
377	E区	珠洲焼 播鉢	(247)				灰白色	1/16	砂礫	H 140
	SK 31						灰白色			
378	E区	珠洲焼 播鉢	(330)	(73)			灰色	口頸部 1/13		O 145
	SD 11						灰色			
379	C区	珠洲焼 播鉢	(308)			ロクロナデ	にぶい黄色	1/10	砂礫 波状文、焼成不良	N 31
	SK 15					ロクロナデ	にぶい黄色			
380	C区	珠洲焼 播鉢	(330)				オリーブ灰色	小片	砂礫 自然釉、波状文	N 37
	SD 2						灰色、灰白色			
381	E区	珠洲焼 播鉢	308			ヨコナデ	灰色	口頸部 1/18	砂礫 卸目、波状文	T 76
	SD 12					ヨコナデ	灰色			
382	E区	珠洲焼 播鉢	(344)				灰色	1/12	砂礫 卸目	N 364
	SD 12						灰色			
383	E区	珠洲焼 播鉢	(324)			ロクロナデ	灰色	1/10	砂礫	H 76
	SI 8					ロクロナデ	灰色			
384	D区	珠洲焼 播鉢	(334)			ロクロナデ	灰色	1/12	砂礫、卸目 自然釉、波状文	N 263
	SI 6						灰色			
385	E区	珠洲焼 播鉢	398				黄灰色	1/6	砂礫	H 225
	SI 16						黄灰色			
386	A区	珠洲焼 播鉢	(316)			ロクロナデ	灰色	小片	砂礫 波状文	N 62
	SK 2						灰色			
387	E区	珠洲焼 播鉢	(315)				黄灰色	1/13	砂礫	H 127
	SK 31						灰色			
388	E区	珠洲焼 播鉢	(376)				灰色	口縁部 1/14	煤	O 111
	SK 36						灰色			
389	E区	珠洲焼 播鉢	430				灰色	口縁部 1/8		O 387
	SK 61						灰色			
390	A区	珠洲焼 播鉢	(402)				灰色	小片	砂礫 波状文、卸目	N 73
	SD 1						灰色			
391	D区	珠洲焼 播鉢					灰色	口頸部 1/9	砂礫、黒色粒 波状文、卸目6本	T 228
	SD 7						灰色			
392	E区	珠洲焼 播鉢	(394)				灰色	1/10	砂礫	H 253
	SD 11						黄灰色			
393	E区	珠洲焼 播鉢	(320)				灰色	1/14	砂礫	H 249
	SD 13						灰色			
394	E区	珠洲焼 播鉢	(338)				褐灰色	1/16	砂礫	H 248
	SD 13						灰色			
395	G区	珠洲焼 播鉢	(330)				灰色	小片	砂礫、歪みあり 自然釉、波状文、卸目	N 133
	SD 30						灰色、灰白色			
396	G区	珠洲焼 播鉢	(416)			ロクロナデ	灰白色	1/8	砂礫 波状文、卸目	N 140
	P 56						灰白色			
397	D区	珠洲焼 播鉢					黄灰色	小片	砂礫、黒色粒、赤色粒 煤、卸目	T 353
	SI 5						黄灰色			
398	E区	珠洲焼 播鉢			136		黄灰色	1/7	砂礫 煤	H 234
	SI 10						黄灰色			
399	E区	珠洲焼 播鉢			186		黄灰色	1/5	砂礫 煤、炭化物付着	H 235
	SI 10						灰色			
400	E区	珠洲焼 播鉢			158		灰色	1/5	砂礫	H 344
	SI 22						灰色			
401	E区	珠洲焼 播鉢			130		黄灰色	1/3	砂礫	H 283
	SI 41						黄灰色			
402	E区	珠洲焼 播鉢		(102)	181		灰色	底部 1/7	漆継ぎ痕	O 30
	SD 9						にぶい橙色			
403	E区	珠洲焼 播鉢			134		黄灰色	1/4	砂礫	H 252
	SD 11						灰色			
404	E区	珠洲焼 播鉢			(150)	ロクロナデ	灰色	1/6	砂礫 静止糸切り痕、卸目	N 362
	SD 12						灰色			
405	F区	珠洲焼 播鉢			(145)		黄灰色、黒褐色	1/4	砂礫、煤、卸目 指頭圧痕、静止糸切り	N 299
	SD 17						黄灰色、黒褐色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
406	F区	珠洲焼 播鉢			140		灰白色	5/18	砂礫、卸目 指頭圧痕、ヘラ切り痕	T 382
	SD 17						灰白色			
407	F区	珠洲焼 播鉢			144	ロクロナデ	灰色	1/5	砂礫、卸目 指頭圧痕、静止糸切り	N 314
	SD 17						灰色			
408	E区	珠洲焼 播鉢			(148)		黄灰色、灰色	1/4	砂礫	H 220
	SI 15						黄灰色			
409	E区	珠洲焼 播鉢			148		灰色	1/4		H 435
	SD 17						灰色			
410	G区	珠洲焼 播鉢			156	ナデ	灰色	1/4	砂礫、石英 卸目	N 130
	SD 28						灰色			
411	E区	珠洲焼 播鉢			150		灰白色	底部 1/6	砂礫、石英 板状圧痕、卸目	N 123
	SX 15						灰白色			
412	G区	珠洲焼 播鉢			166	ロクロナデ	灰白色	1/4	砂礫 卸目	N 141
	P 54						灰白色			
413	E区	珠洲焼 播鉢			145		灰色	1/3	細礫 墨痕、引き切り痕	O 183
	包含層						灰色			
414	F区	珠洲焼 播鉢			156		灰色	底部 1/9	砂礫 ヘラ切り痕	T 285
	SX 22						灰色			
415	E区	珠洲焼 播鉢			110		灰色	1/6	引き切り痕	O 181
	包含層						灰色			
416	G区	越前焼 甕	(410)				褐灰色、灰褐色	小片	砂礫	N 366
	包含層						灰黄褐色			
417	C区	越前焼 甕	(404)				灰黄褐色、オリーブ黄色	小片	砂礫、黒色粒 自然釉	N 42
	SK 3						にぶい褐色、オリーブ黄色			
418	E区	越前焼 甕	(846)				褐色	小片	降灰	O 443
	SD 22						褐色			
419	E区	越前焼 甕	(400)				浅黄色	口縁部 1/13		O 310
	SI 21						灰褐色			
420	D区	越前焼 甕	498				灰オリーブ色	1/15	砂礫、黒色粒 自然釉	T 208
	SD 8						褐色			
421	E区	越前焼 甕					灰色、灰オリーブ色	小片	砂礫	H 418
	SD 24						黄灰色			
422	E区	越前焼 甕					灰褐色	小片	砂礫	H 420
	SD 24						灰褐色			
423	E区	越前焼 甕	(490)				にぶい赤褐色	小片	砂礫 降灰	N 108
	SK 58						灰褐色			
424	D区	越前焼 甕				ロクロナデ	灰黄褐色	小片	砂礫 自然釉	T 248
	SI 4						灰白色、にぶい黄褐色			
425	F区	越前焼 甕	(500)				灰黄褐色	小片	砂礫	N 316
	SD 17						灰黄褐色			
426	E区	越前焼 甕					灰白色	小片	砂礫 自然釉	H 434
	SD 21						灰オリーブ色			
427	E区	越前焼 甕					灰オリーブ色	小片	砂礫 自然釉	H 432
	SD 21						灰オリーブ色、褐色			
428	E区	越前焼 甕					灰黄褐色、浅黄色	小片	砂礫、黒色粒 押印 格子文	T 101
	SD 11						褐色			
429	E区	越前焼 甕					黄灰色	小片	格子文「本」押印	H 428
	SD 24						灰色			
430	E区	越前焼 甕					灰褐色	小片	押印紋様	O 179
	包含層						灰褐色			
431	E区	越前焼 甕					オリーブ色	小片	砂礫	H 125
	SK 31						褐色			
432	D区	越前焼 甕					灰褐色	小片	砂礫 押印文	N 283
	SI 5						灰褐色			
433	E区	越前焼 甕			229		褐色	底部 1/8		O 219
	SI 15						灰褐色			
434	E区	越前焼 壺	195	頸部径 172			灰色	1/5	砂礫	H 413
	SD 24						灰色、灰黄褐色			

番号	区名 遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
435	E区	越前焼 壺		頸部径 154			灰褐色	1/6	砂礫 3条の刻線	H 296
	SI 35						にぶい赤褐色			
436	G区	越前焼 壺	156			ロクロナデ	灰白色、灰黄褐色	1/7	砂礫、黒色粒 自然釉	N 156
	包含層					ロクロナデ	灰白色、灰黄褐色			
437	E区	越前焼 壺	182				にぶい赤褐色、浅黄色	1/7	砂礫	H 168
	SI 13						にぶい赤褐色			
438	E区	越前焼 播鉢	228				橙色	1/8	砂礫	H 10
	SK 33						褐灰色			
439	E区	越前焼 播鉢		(165)			灰褐色	1/16		O 444
	SD 22						灰褐色			
440	D区	越前焼 播鉢			162	ロクロナデ	にぶい橙色、橙色	底部 1/4	砂礫 焼成不良、卸目	N 134
	P 22						にぶい橙色、明黄褐色			
441	F区	加賀焼 甕	(416)				灰色	1/12	砂礫 自然釉	N 302
	SD 17						灰色			
442	D区	加賀焼 甕				ロクロナデ	灰黄褐色	小片	砂礫	T 249
	SI 4						にぶい黄褐色			
443	E区	加賀焼 甕					灰黄褐色	小片		O 309
	SI 21						灰黄褐色			
444	D区	加賀焼 甕					灰色	小片	砂礫	N 270
	包含層						灰色			
445	D区	加賀焼 甕					黄灰色	小片	砂礫、黒褐色 窠描文	T 247
	SI 4						灰黄褐色			
446	E区	加賀焼 甕					黄褐色	小片	砂礫 漆継ぎ痕	H 484
	SX 16						灰色			
447	E区	加賀焼 甕			(157)		にぶい橙色	小片	砂礫	N 111
	SI 20						にぶい赤褐色			
448	E区	加賀焼 甕			191	ナデ	橙色	1/4	砂礫	H 276
	SI 39						橙色			
449	E区	加賀焼 甕			(262)		にぶい褐色、灰褐色、にぶい橙色	1/6	砂礫 工具痕	N 125
	SK 60						灰黄褐色			
450	G区	加賀焼 甕			(306)	ヘラ、ナデ	灰色、オリーブ黒色	1/6	砂礫 板状圧痕	N 189
	SK 93						灰色、オリーブ黒色			
451	E区	加賀焼 播鉢			137		にぶい橙色～浅黄褐色	底部 1/7		O 311
	SI 21						にぶい橙色～浅黄褐色			
452	F区	加賀焼 播鉢	248	78	118		淡黄色	口頸部 1/6	砂礫 焼成不良	T 341
	包含層						にぶい黄褐色			
453	G区	唐津焼 碗	127	57	52	ロクロナデ	灰白色	底部 8/9	砂礫、茶色粒 白泥釉、灰釉	N 163
	SK 90						灰白色、灰黄色	口縁部 1/4		
454	D区	陶器 碗	96	51	46		オリーブ黄色	底部 2/9	砂礫 灰釉	T 235
	SK 27						オリーブ黄色	口頸部 5/18		
455	E区	唐津焼 皿	125	25	58		灰白色	1/4	胎土目痕 灰釉か?	O 287
	包含層						灰白色			
456	G区	陶器 皿	128	33.5	40		灰オリーブ、にぶい黄褐色	1/4	黒色粒 灰釉、珪砂、砂目痕	N 155
	包含層						灰オリーブ、灰白色			
457	F区	陶器 皿	124	24	64		灰白色	口頸部 7/9	砂礫 透明釉	T 282
	SX 22						灰白色	底部 完形		
458	E区	陶器 皿	104	20	48	ケズリ	浅黄色	1/2	砂礫、灰釉 灯明痕、煤	H 399
	SK 69						にぶい黄色			
459	D区	陶器 皿	110	26	46		灰黄色	2/9	砂礫 灰釉、灯明受付皿	T 239
	包含層						灰白色			
460	D区	陶器 皿	104	22	40		灰白色	口縁部 1/6	砂礫 灰釉、灯明受付皿	T 216
	包含層						灰白色、橙色			
461	F区	瀬戸美濃 蓋	84	16	35		にぶい橙色	底部 完形	砂礫、黒色粒 灰釉、回転糸切り痕	T 332
	SX 25						灰オリーブ色			
462	E区	越中瀬戸 天目茶碗			43		黒色	高台部 全周	鉄釉	O 242
	SD 12						黒色			
463	E区	陶器 壺			98		褐色、灰黄褐色、黄灰色	1/5	砂礫 鉄釉、静止糸切り痕	H 345
	SI 22						にぶい黄色、黄灰色			

番号	区名	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
	遺構					調整(内)	色調(内)			
464	E区	陶器 壺			59	ナデ	灰白色	底部 3/4	回転ロクロナデ	O 200
	SI 19					ナデ	灰白色			
465	D区	陶器 播鉢			90		にぶい赤褐色	底部 1/4	砂礫 指圧痕、回転糸切り痕	T 237
	SK 27						にぶい赤褐色			
466	E区	肥前 鉢	238				灰白色	口縁部 1/12	砂礫 釉	T 77
	SD 12						灰白色			
467	F区	陶器 甕			180		灰褐色	底部 1/6	砂礫 工具痕	T 286
	SX 22						褐灰色			
468	E区	陶器 甕			168	ヨコナデ	にぶい黄褐色	1/3	砂礫 漆継ぎ痕	H 36
	SD 9					ヨコナデ	にぶい黄褐色、にぶい赤褐色			
469	F区	陶胎染付 碗			44		灰白色	底部 完形	砂礫 煤、貫入、胎土目3ヶ所	T 291
	SD 17						灰白色			
470	F区	染付 碗	70	61	40		灰白色	完形	砂礫	T 296
	SD 17						灰白色			
471	D区	染付 碗			32		灰白色	底部 完形	砂礫、コンニャク判 透明釉、珪砂	T 245
	包含層						灰白色			
472	F区	染付 碗	96	47	38		明緑灰色	口縁部 5/6 底部 完形	砂礫 透明釉	T 281
	SX 22						明緑灰色			
473	F区	染付 皿	96	22	50		灰白色	口縁部 2/9	砂礫 透明釉、蜻唐津	T 283
	SX 22						灰白色、明黄褐色			
474	F区	肥前 皿	42	1.1	12		灰白色	口縁部 4/9	砂礫 透明釉、紅皿、磁器	T 330
	SX 25						灰白色			
475	F区	肥前 皿	134	38	76		灰白色	口縁部 7/12	砂礫 透明釉、染付	T 280
	SX 22						灰白色			
476	F区	肥前 皿	138	36	74		灰白色	口縁部 2/3 底部 完形	砂礫 透明釉、染付	T 295
	SD 17						灰白色			
477	D区	染付 皿			66		灰白色	底部 完形	砂礫 透明釉、蛇の目高台	T 240
	包含層						灰白色			
478	F区	肥前 仏飯器	54	59	36		灰白色	口縁部 5/9 底部 完形	砂礫	T 279
	SX 22						灰白色			
479	G区	土師器 乗燭	74	54	41	ロクロナデ	にぶい橙色、黒色	底部 完形 口縁部 1/4	砂礫、黒色粒 油煤、糸切り痕	N 122
	包含層						黄褐色、黒褐色			
480	F区	土師器 乗燭			38		にぶい黄褐色	底部 完形	砂礫 釉、回転糸切り、煤	T 289
	SD 17						にぶい褐色			
481	F区	染付 蓋	108	15	10		灰白色	完形	砂礫 透明釉、歪みあり	T 294
	SD 17						灰白色			
482	D区	土師器 鉢			138	ロクロナデ	浅黄褐色	底部 7/8	砂礫、黒色粒 赤色酸化粒	T 196
	包含層					ロクロナデ、ナデ	浅黄褐色			

第3表 土製品等観察表

番号	区名	器種	最大長	最大幅	最大厚	色調(外)	備考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	色調(内)		
483	E区	フィゴ羽口				橙色	残存率 1/4	O 187
	SI 12					橙色		
484	E区	フィゴ羽口	54	42	29	灰白色、浅黄色	砂礫、黒色粒、残存率 1/9 直径 72 mm 孔径 30 mm	T 84
	SD 12					にぶい橙色		
485	E区	フィゴ羽口	62	49	20	灰白色、浅黄色	砂礫、赤色酸化粒、残存率 2/9 直径 74 mm 孔径 30 mm	T 83
	SD 12					にぶい橙色		
486	E区	フィゴ羽口	68	59	30	灰黄色	砂礫、黒色粒、赤色酸化粒、煤 直径 80 mm 孔径 32 mm	T 81
	SD 12					にぶい黄橙色		
487	E区	フィゴ羽口	72	58	21	浅黄色、灰白色	砂礫、黒色粒、残存率 2/9 直径 112 mm 孔径 40 mm	T 82
	SD 12					にぶい黄橙色		
488	E区	フィゴ羽口	37	58	18.5		重さ 38.3 g	H 177
	P 41							
489	G区	土錘	43	34	内径 16	にぶい黄橙色	砂礫、赤色酸化粒 ほぼ完形	N 166
	SI 50					にぶい黄橙色		
490	E区	土錘	72	32	33		重さ 67.8 g	O 302
	SK 65							
491	E区	土錘	48	34	34		重さ 43.8 g 穴径 14 mm	O 467
	SD 16							
492	G区	土錘	40	30	11	橙色	砂礫、赤色酸化粒 穿孔、残存率 1/3	N 150
	包含層					橙色		
493	E区	壁土					重さ 38.1 g	H 215
	SI 17							
494	E区	壁土					重さ 34.6 g	H 214
	SI 17							
495	E区	壁土					重さ 130 g	H 213
	SI 17							
496	F区	土人形	41	28	7.5	にぶい黄橙色	重さ 5.8 g 砂礫、赤色粒	T 321
	SX 25					にぶい黄橙色		
497	F区	土人形	38	25	13	にぶい黄橙色	重さ 7.6 g 砂礫、赤色酸化粒、煤	T 320
	SX 22					にぶい黄橙色		
498	D区	土人形	53	57	35.5		重さ 49.7 g 男性座像	N 278
	包含層							
499	D区	鬼面	58	76	25	赤色	砂礫 表面赤彩、指圧痕	T 236
	SK 27					橙色		
500	F区	磁製人形	22	21	16		重さ 6.8 g 犬	T 336
	SD 24							
501	F区	磁製人形	35	20	19	灰オリーブ色	重さ 7.3 g 亀	T 319
	SX 22					灰オリーブ色		
502	F区	土鈴	37	30	30	灰黄色	重さ 10.5 g 砂礫、赤色酸化粒	T 318
	SX 22					灰黄色		

第4表 木器・木製品観察表

番号	区名	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	調整(内)	色調(内)			
503	D区	漆器 椀	166					高台痕 1/4 体部 1/3	黒漆、朱漆	N 15
	SD 8									
504	D区	漆器 椀			58			口縁部 2/5	黒漆、朱漆	N 14
	SD 8									
505	F区	漆器 椀	116		54			口縁部 1/4	黒漆	N 16-2
	SX 25									
506	F区	漆器 椀			54			高台痕・底部 17/18	黒漆 朱で模様が入る	N 17
	SX 25									
507	F区	漆器 椀	105	37	52			口縁 1/12 底部 5/9	黒漆	N 16-1
	SX 25									
508	F区	漆器 椀			48		黒色	1/6	焼け焦げによる歪みか?	N 313
	SD 17						黒色			
509	E区	漆器 皿	130.5	21	120		黒褐色			H 441
	SK 69						黒色			
510	E区	木製品	長さ	巾	厚み					H 440
	SD 17	下駄	171	87	30					
511	E区	木製品	縦	横	厚み					H 437
	SI 27	曲物	128	81	6					
512	E区	木製品	縦	横	厚み					H 438
	SK 69	底板	170	170	3					
513	E区	木製品	縦	横	厚み					H 439
	包含層	板	124	78	4					
514	E区	木製品	縦	巾	厚み				漆あり	H 442
	包含層	棒	213	11	11					
515	F区	木製品	長さ	巾	厚み				塗箸 重さ 2.5 g	T 327
	SX 25	箸	194	15	8					
516	E区	木製品	長さ	巾	厚み				穴 14×11 mm	H 442
	包含層	柄	89	20	20					

第5表 鉄製品・銅製品観察表

番号	区名	器種	最大長	最大幅	最大厚	質量	備考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	(g)		
517	D区	鉄滓	32	31	22	28.3		N 264
	SI 6							
518	E区	鉄滓				200		H 128
	SK 31							
519	E区	鉄滓	71	67	49	200		H 70
	SK 34							
520	E区	鉄滓	78	74	45	265		O 462
	SD 16							
521	E区	鉄滓	80	72	48	236		O 451
	SD 20							
522	E区	鉄滓	63	53	23	846		O 147
	SD 11							
523	E区	鉄滓	83	65	25	1007		O 148
	SD 11							
524	E区	鉄滓	77	78	33	140.4	碗形滓	O 269
	SD 10							
525	D区	鉄滓	63	49.5	46	158.4		T 257
	SD 5							
526	F区	鉄滓	60	63	30	111.2		N 310
	SD 17							
527	F区	鉄滓	99	57	31	151.2		N 307
	SD 17							
528	F区	鉄滓	89	81	57	250		N 311
	SD 17							
529	F区	鉄滓	59	86	25	106.7	碗形滓	N 305
	SD 17							
530	F区	鉄滓	60	36	22	41		N 309
	SD 17							
531	F区	鉄滓	60	56	25	60		T 390
	SD 17							
532	F区	鉄滓	56	49	29	58.7		T 317
	SX 22							
533	F区	鉄滓	70	65	28	134.9		T 329
	SX 25							
534	G区	鉄滓	53	63	23	108.3		N 151
	包含層							
535	F区	七輪蓋	87	88	10	64.4		T 322
	SX 22							
536	E区	刀子	140	41	35	102		H 174
	包含層							
537	E区	刀	286	28	14			M 272
	SK 60							
538	E区	刀子	62	18	8.5	12.5		H 365
	SK 82							
539	D区	刀子	75	30	9	12		T 238
	SK 27							
540	E区	火箸	93	10	8.5	10.8		H 105
	包含層							
541	D区	火箸	94.5	15	12	16.5		T 218
	SK 24							
542	E区	火箸	84	17	13	13.5		N 1
	SK 60							
543	E区	棒状製品	47	52	16	19.7		O 291
	包含層							
544	C区	棒状製品	32	8.5	4.5	1.5		N 59
	SK 4							
545	E区	棒状製品	48	7	4.5	3.3		H 132
	SK 31							
546	E区	棒状製品	26	24	10	4.4		O 290
	包含層							

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	質量	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)		
547	F 区	簀	142	21	2	3.2		T 339
	SD 17							
548	F 区	簀	19.5	7	3	7.9		T 340
	SX 24							
549	F 区	簀	75	6	3	2.2		T 326
	SX 22							
550	F 区	簀	204.5	12	7	15.4	完形	T 325
	SX 22							
551	E 区	釘	29	7	6.5	2.5		H 80
	SI 8							
552	E 区	釘	28	8	8	2.1		O 189
	SI 12							
553	E 区	釘	30	8	6	1.7		O 188
	SI 12							
554	E 区	釘	43	20.5	8	7.3		H 222
	SI 15							
555	E 区	釘	29	6	6	0.7		O 196
	SI 19							
556	E 区	釘	27	10	7	1.2		O 197
	SI 19							
557	E 区	釘	46	10	11	4.9		N 115
	SI 20							
558	G 区	釘	36	14	8	2		N 169
	SI 52							
559	C 区	釘	48	15	15	10.4		N 50
	SI 10							
560	C 区	釘	46	10	17	6.3		N 28
	SK 12							
561	E 区	釘	32	12	7	3		H 131
	SK 31							
562	E 区	釘	50	11	12	7.6		H 130
	SK 31							
563	E 区	釘	35.5	9	9	2.9		N 2
	SK 60							
564	E 区	釘	51	6~18	8~11	6.1		H 275
	SK 77							
565	E 区	釘	51	7~13	7.5~12	8		H 274
	SK 77							
566	D 区	釘	39.5	19	10	6.1		T 256
	SD 5							
567	D 区	釘	90	10	7	4.9		T 226
	SD 7							
568	E 区	釘	28	8	5	0.9		O 268
	SD 10							
569	E 区	釘	141	12	10	2.6		O 267
	SD 10							
570	F 区	釘	54	23.5	11	7.7		T 292
	SD 17							
571	E 区	釘	46.5	12.5	11	5.6		T 89
	SX 6							
572	E 区	釘	56	9.5	5.5	3.8		H 367
	SX 19							
573	E 区	釘	34	7	5	0.5		O 458
	SX 21							
574	F 区	釘	45	23	13	8.1		T 323
	SX 22							
575	D 区	釘	56	11	7	4.2		T 198
	P 3							
576	D 区	釘	55	30	13	7.7		T 199
	P 15							

番号	区名	器種	最大長	最大幅	最大厚	質量	備考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	(g)		
577	D区	釘	33.5	10	8	3.2		T 205
	P 18							
578	E区	釘	40	7	3	2.9		H 41
	P 27							
579	E区	釘	58	19	17	11.6		O 54
	P 37							
580	E区	釘	37	5.5	5.5	2.8		H 366
	P 50							
581	D区	釘	29	10	8	1.5		T 244
	包含層							
582	D区	釘	37.5	5	5	1.6		T 243
	包含層							
583	D区	釘	36	13	7	2.9		T 242
	包含層							
584	C区	簀	56	36	4	2.6		N 33
	SK 60							
585	E区	簀	131	1.5~4	3	5.1		H 376
	包含層							
586	G区	煙管	77	11	7	16		N 152
	包含層							
587	E区	小札	23	20	1.5	0.9		O 87
	攪乱							
588	E区	銅錢	23	24	1	2.1	燕寧元寶か？	H 284
	SI 41							
589	E区	銅錢	24		1	2.1	皇宋通寶	H 370
	SI 48							
590	E区	銅錢	24		1	2.6	錢種不明	H 370-1
	SI 48							
591	D区	銅錢	22	20	1	1.3	洪武通寶	T 254
	SK 21							
592	E区	銅錢	23		1	2	開元通寶	H 374
	SK 78							
593	E区	銅錢			1	1.0	永樂通寶	H 374-1
	SK 78							
594	E区	銅錢	24.5		1	2.9	開元通寶	H 371
	SK 80							
595	E区	銅錢	24		1	2.1	元祐通寶	H 371-1
	SK 80							
596	E区	銅錢	24		1	2.5		H 371-2
	SK 80							
597	E区	銅錢	24		1	2.1	燕寧元寶	H 369
	SD 10							
598	E区	銅錢	23		1	3.5	燕寧元寶	H 373
	SD 17							
599	E区	銅錢	23		1	2.6	燕寧元寶	H 373-1
	SD 17							
600	E区	銅錢	23		1	2.3		H 373-2
	SD 17							
601	E区	銅錢	22		1	1.4		H 373-3
	SD 17							
602	G区	銅錢	23			3.5	元豐通寶	N 1
	SX 26							
603	G区	銅錢	23			3.3	錢種不明	N 2
	SX 26							
604	G区	銅錢	23			1.5	錢種不明	N 3
	SX 26							
605	G区	銅錢	22			1.7	元符通寶	N 4
	SX 26							
606	G区	銅錢	22			1.7	錢種不明	N 5
	SX 26							

番号	区名	器種	最大長	最大幅	最大厚	質量	備考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	(g)		
607	G区	銅銭	25~27			10.3	元豊通寶(1枚目) 3枚重ね	N 6
	SX 26							
608	E区	銅銭	25		1.2		永楽通寶	H 372
	P 46							
609	E区	銅銭			1	0.9		H 372-1
	P 46							
610	G区	銅銭	24			1.1	祥符元寶	N 121
	包含層							
611	D区	銅銭	24	24	1	1.5	天聖元寶	T 258
	包含層							
612	F区	銅銭	25	25	1	3.1	寛永通寶	T 324
	SX 22							
613	E区	銅銭	23		1	2	寛永通寶	H 375
	包含層							
614	E区	銅銭	24		1	1.8	寛永通寶	H 368
	包含層							

第6表 石製品等観察表

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石質	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
615	E区	打製石斧	153	74	38	460	砂岩		H 218
	SI 5								
616	C区	打製石斧	145	95	29	450	緑色凝灰岩		N 56
	SK 3								
617	C区	打製石斧	163	86	30	410	緑色凝灰岩		T 57
	SK 3								
618	C区	打製石斧	161	91	28	405	火山礫凝灰岩		N 58
	SK 3								
619	D区	打製石斧	206	90	29	480	粗流凝灰岩	完形	T 368
	SD 8								
620	E区	打製石斧	137.5	76	22	232	凝灰岩		T 97
	SD 11								
621	E区	打製石斧	139	88	32	356	火山礫凝灰岩		O 293
	包含層								
622	E区	打製石斧	140	85	24	269	火山礫凝灰岩		O 289
	包含層								
623	E区	打製石斧	102	74	41	222	火山礫凝灰岩		O 26
	SD 9								
624	E区	打製石斧	80	63	28	172	粗流凝灰岩		O 195
	SI 19								
625	E区	打製石斧	118	81	28	310	火山礫凝灰岩		H 299
	SI 29								
626	E区	打製石斧	132	93	27	360	凝灰岩		H 286
	SI 49								
627	C区	打製石斧	100	94	35	355	凝灰岩	自然面摩耗	N 55
	SK 3								
628	D区	打製石斧	106	105	21	250	凝灰岩		T 369
	SD 8								
629	E区	打製石斧	127	96	20	292	火山礫凝灰岩		O 21
	SD 9								
630	E区	打製石斧	120	98	37	412	火山礫凝灰岩		O 449
	SD 22								
631	G区	打製石斧	97	66.5	27	220	玢岩		N 183
	SK 87								
632	F区	打製石斧	99	66	29	200	安山岩		N 306
	SD 17								
633	E区	打製石斧	124	68	19	210	凝灰岩		H 321
	SI 26								
634	D区	打製石斧	104	88	21	210	火山礫凝灰岩		T 371
	SD 8								
635	E区	打製石斧	159	79	25	375	緑色凝灰岩		H 35
	SD 9								
636	E区	打製石斧	162	90	29	470	安山岩		H 350
	SI 22								
637	E区	打製石斧	127	74	26	260	火山礫凝灰岩	完形	T 106
	SD 12								
638	E区	打製石斧	117	71	27	268	玢岩		O 182
	包含層								
639	F区	打製石斧	157	87.5	31	450	火山礫凝灰岩		T 388
	SD 17								
640	A区	打製石斧	134	82.5	25	330	火山礫凝灰岩		T 71
	SD 1								
641	E区	打製石斧	106	82	26	260	火山礫凝灰岩		H 322
	SI 26								
642	E区	敲石	191	58	48.5	890	砂岩	錆付着	H 106
	包含層								
643	E区	磨石類	100	100	70	1209	石英		O 24
	SD 9								
644	E区	磨石類	77	61	56	373	石英		O 25
	SD 9								

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石質	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
645	E区	磨石類	67	55	38	37	軽石		N 365
	SK 56								
646	E区	磨石類	54	58	62	260	砂岩		O 92
	包含層								
647	G区	砥石	59	80	67	520	火山礫凝灰岩	荒砥	N 176
	SI 51								
648	E区	砥石	129	90	41	720	安山岩		H 228
	SI 16								
649	E区	砥石	164.5	105	45.5	1190	砂岩		H 323
	SI 26								
650	E区	砥石	159	152	70	2340	花崗斑岩	煤付着 655と同一か	H 208
	SI 18								
651	E区	砥石	78	24	13	26.7	凝灰岩		O 27
	SD 9								
652	C区	砥石	68	33	25	56.1	黒色頁岩		N 48
	SK 3								
653	G区	砥石	56	66	9.5	59.3	凝灰岩		N 154
	包含層								
654	E区	砥石	373	171	111	10950	凝灰岩	炉縁石転用、煤付着 焼け痕、ノミ痕	H 142
	SI 8								
655	E区	砥石	259	143	113	6900	安山岩	650と同一か	H 227
	SI 16								
656	G区	砥石	40	50	27	21.7	緑色凝灰岩		N 184
	SK 87								
657	E区	砥石	190	137	45	1590	凝灰岩		O 383
	SK 62								
658	E区	砥石	113	123	56	660	凝灰岩		H 206
	SI 18								
659	E区	砥石	112	96	54	935	砂岩		H 13
	SD 10								
660	E区	砥石	87	53	52	109.1	粘板岩		N 539
	SX 15								
661	E区	砥石	117	100	63	1390	火山礫凝灰岩		H 239
	SK 44								
662	E区	砥石	145	99	57	1090	頁岩		O 117
	SK 35								
663	E区	砥石	137	104	55	1158	凝灰岩		O 116
	SK 35								
664	E区	砥石	98	71.5	17	215	凝灰岩		T 80
	SD 12								
665	E区	砥石	155.5	10.5	33	590	砂岩	煤付着	H 475
	SD 16								
666	G区	砥石	74	86	35	320	砂岩		N 131
	SD 28								
667	D区	砥石	82	60	40	260	凝灰岩	中砥	N 266
	包含層								
668	D区	砥石	70	58	53	260	凝灰岩	中砥	T 250
	SI 4								
669	G区	砥石	49	37	29	75	凝灰岩	中砥	N 168
	SI 52								
670	D区	砥石	60.5	50	43	200	砂岩	中砥	T 354
	SI 5								
671	E区	砥石	71	47	24	102	凝灰岩	中砥	T 98
	SD 11								
672	G区	砥石	118	63	61	460	凝灰岩	中砥	N 177
	SK 96								
673	E区	砥石	45.5	38	26	50	凝灰岩	中砥	T 100
	SD 11								
674	F区	砥石	33	31	17	20	凝灰岩	中砥	T 290
	SD 17								

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石質	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
675	F区	砥石	68	56	17	100	凝灰岩	中砥	T 288
	SD 17								
676	F区	砥石	42	42	28	70.1	凝灰岩	中砥	N 312
	SD 17								
677	F区	砥石	71	48	24	90	凝灰岩	中砥	T 387
	SD 17								
678	D区	砥石	105	43	18	85	凝灰岩	中砥	T 223
	P 16								
679	G区	砥石	64	46	27	102.1	凝灰岩	中砥	N 135
	P 57								
680	G区	砥石	82	42	40	188.7	凝灰岩	中砥	N 136
	包含層								
681	E区	砥石	117	61	58	452	凝灰岩	中砥	O 113
	SK 36								
682	C区	砥石	78	29	28	72.3	凝灰岩	中砥	N 49
	SK 3								
683	E区	砥石	77	38	17	68.5	砂岩	中砥	N 124
	SK 54								
684	E区	砥石	59.5	45	28	100	凝灰岩	中砥	H 221
	SI 15								
685	E区	砥石	61	42	27	97.9	凝灰岩	中砥	H 212
	SI 17								
686	E区	砥石	67	39	19.2	34.1	凝灰岩	中砥	O 146
	SD 11								
687	E区	砥石	83	63	37	200	凝灰岩	中砥	H 156
	SK 46								
688	E区	砥石	60	65	45	171	凝灰岩	中砥 煤付着	O 382
	SK 62								
689	E区	砥石	74	46	40	235	凝灰岩	中砥	O 326
	SK 78								
690	E区	砥石	57	28	27	85	凝灰岩	中砥	H 34
	SD 9								
691	F区	砥石	59	30	18	35	凝灰岩	中砥	T 284
	SX 22								
692	E区	砥石	62	58.5	19	100	凝灰岩	中砥	H 173
	P 44								
693	E区	砥石	52	32	8	179	粘板岩	仕上砥	O 20
	SD 9								
694	E区	砥石	167	76	12	29	粘板岩	仕上砥	O 266
	SD 10								
695	E区	砥石	51	34	12.5	29.1	泥岩	仕上砥	H 362
	P 48								
696	F区	砥石	50	31	4	8.6	粘板岩	仕上砥	T 287
	SX 22								
697	G区	砥石	53	35	8	22.8	粘板岩	仕上砥	N 143
	包含層								
698	G区	砥石	34	29	8	13.1	粘板岩	仕上砥	N 157
	包含層								
699	E区	石鉢	口径	胴部径	残存率 1/5	凝灰岩	ノミ痕あり、煤 火鉢か	H 392	
	P 57		160	189					
700	F区	鉢	124	85	50	460	凝灰岩		T 293
	SD 17								
701	F区	石鉢	216		120	2.55	凝灰岩	ノミ痕 角型の石鉢	N 397
	SD 17								
702	E区	石鉢	口径	胴部径	残存率 1/5	緑色凝灰岩	削り痕	O 429	
	SD 24		240	375					
703	F区	石鉢	口径		残存率 1/12	火山礫凝灰岩	ノミ痕	N 298	
	SD 17		294						
704	F区	石鉢	口径		550	凝灰岩		T 379	
	SD 24		320						

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石質	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
705	F区	石鉢	口径	器高	底径	1190	火山礫凝灰岩	片口	T 380
	SD 24		320	128	174				T 385
706	G区	石臼	320		80	1980	緑色凝灰岩	上白	N 174
	SI 50								
707	E区	石臼	370		72	3010	緑色凝灰岩	上白	H 359
	SI 22								
708	D区	石臼	224	76		370	緑色凝灰岩	上白 煤付着	T 355
	SX 22								
709	E区	石臼	378		73	4350	凝灰岩	残存率 1/4 上白、煤付着	H 224
	SI 15								
710	E区	石臼	127	152	72	1110	凝灰岩	外径 330 mm 内角径 230 mm	O 465
	SD 16								
711	C区	石臼	300		72	1940	緑色凝灰岩	上白	N 54
	SK 3								
712	C区	石臼	290	61	270	435	緑色凝灰岩	上白	N 27
	SK 3								
713	F区	石臼	340		70	1630	凝灰岩	上白	N 398
	SD 24								
714	E区	石臼	312			1920	緑色凝灰岩	残存率 1/6 上白、ノミ痕	H 485
	SX 16								
715	D区	石臼	127	91	115	1004	緑色凝灰岩	上白、ノミ痕、 煤付着	T 352
	SX 22								
716	D区	石臼	59	293	71	3790	緑色凝灰岩	下白	T 372
	SI 5								
717	D区	石臼	306		74	4690	緑色凝灰岩	下白 煤付着	N 349
	SI 5								
718	E区	石臼	278		100	6200	凝灰岩	残存率 1/3 下白、ノミ痕	H 223
	SI 15								
719	C区	石臼	316		66	2030	緑色凝灰岩		N 23
	SK 4								
720	F区	石臼	308		85	1300	火山礫凝灰岩	下白	N 396
	SD 24								
721	E区	石臼	266		67	1700	凝灰岩	下白	N 127
	SX 12								
722	D区	行火	149	103	139	560	凝灰岩	煤付着	N 262
	SI 6								
723	D区	行火	67	92	19	80	凝灰岩	ノミ痕	T 358
	P 17								
724	D区	行火	86	65	82	180	凝灰岩		T 251
	SI 4								
725	G区	行火	86	101	56	201	凝灰岩	煤付着	N 179
	SI 53								
726	E区	行火	114	71	140	330	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 396
	SK 80								
727	E区	行火	53.5	128	128	340	凝灰岩	煤付着	H 165
	SX 11								
728	D区	行火	84	62	44	90	凝灰岩	煤付着	T 229
	SK 21								
729	E区	行火	146	128	219	1970	凝灰岩		H 207
	SI 18								
730	E区	行火	110	112	71	360	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 126
	SK 60								
731	D区	行火	86	139	129	320	凝灰岩		T 357
	P 17								
732	D区	行火	79	75	76	150	凝灰岩	煤付着	T 210
	P 18								
733	F区	行火	86	177	60		凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 297
	SD 17								
734	F区	行火	92	82	41		凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 300
	SD 17								

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石 質	備 考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
735	F 区	行火	136	93	78		凝灰岩	煤付着	N 308
	SD 17								
736	F 区	行火	80	100	50		凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 303
	SD 17								
737	F 区	行火	102	88	76	250	凝灰岩	煤付着	T 333
	SD 17								
738	G 区	行火	93	74	52		凝灰岩	煤付着	N 367
	包含層								
739	D 区	行火	137	108	86	360	凝灰岩	煤付着	T 195
	SD 7								
740	E 区	行火	150	132	53	436	凝灰岩	煤付着	O 292
	包含層								
741	F 区	行火	194	104	77	640	凝灰岩	煤付着	T 381
	SD 24								T 386
742	E 区	行火	112	97	33	200	凝灰岩	煤付着	O 377
	SX 21								
743	E 区	行火	122	111.5	33	185	凝灰岩	蓋 ノミ痕、煤付着	H 474
	SD 16								
744	E 区	炉縁石	154	148	78	1085	凝灰岩	煤付着	O 191
	SI 19								
745	E 区	炉縁石	159	174	91	1538	凝灰岩	煤付着	O 190
	SI 19								
746	E 区	炉縁石	105	165	69	850	凝灰岩	煤付着	H 355
	SI 22								
747	E 区	炉縁石	152	200	90	1500	凝灰岩	煤付着	O 351
	SI 22								
748	E 区	炉縁石	119	195	97	1450	凝灰岩	煤付着	H 354
	SI 22								
749	E 区	炉縁石	221	162	108	2748	凝灰岩	煤付着	O 352
	SI 22								
750	E 区	炉縁石	116	140	73	840	凝灰岩	煤付着	H 301
	SI 37								
751	D 区	炉縁石	244	197	108	3740	凝灰岩	煤付着	T 356
	SK 21								
752	D 区	炉縁石	272	187	124	354	凝灰岩	ノミ痕	N 377
	SK 21								
753	D 区	炉縁石	196	160	155	2000	凝灰岩		T 8
	SK 21								
754	D 区	炉縁石	186	222	134	3020	凝灰岩	煤付着	N 374
	SK 21								
755	D 区	炉縁石	167	176	145	2350	凝灰岩	煤付着	T 359
	SK 21								
756	D 区	炉縁石	137	194	128	1890	凝灰岩	ノミ痕	T 376
	SK 21								
757	E 区	炉縁石	196	110	106	1007	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 120
	SK 31								
758	E 区	炉縁石	122	156	63	890	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 81
	SK 32								
759	E 区	炉縁石	210	165	89	1800	凝灰岩	煤付着	O 85
	SK 33								
760	E 区	炉縁石	154	100	92	884	凝灰岩	煤付着 761 と同一	O 7
	SK 33								
761	E 区	炉縁石	120	186	95	1269	凝灰岩	煤付着 760 と同一	O 8
	SK 33								
762	E 区	炉縁石	117	143	75	849	凝灰岩	煤付着	O 83
	SK 33								
763	E 区	炉縁石	190	127	102	690	凝灰岩	煤付着	O 84
	SK 33								
764	E 区	炉縁石	212	169	81	1275	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 5
	SK 60								

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石 質	備 考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
765	E 区	炉縁石	207	211	114	2510	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 4
	SK 60								
766	E 区	炉縁石	213	233	110	3540	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 3
	SK 60								
767	E 区	炉縁石	142	207	117	2490	凝灰岩	煤付着	N 392
	SK 60								
768	E 区	炉縁石	149	123	97	948	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 391
	SK 60								
769	E 区	炉縁石	324	173	77	2804	凝灰岩		O 342
	SK 78								
770	E 区	炉縁石	126	158	104	1114	凝灰岩	煤付着	O 330
	SK 78								
771	E 区	炉縁石	140	135	77	645	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 395
	SK 60								
772	E 区	炉縁石	170	215	70	1440	凝灰岩	煤付着	O 328
	SK 78								
773	E 区	炉縁石	102	208	114	1163	凝灰岩	煤付着	O 329
	SK 78								
774	E 区	炉縁石	180	220	70	1718	凝灰岩	煤付着	O 341
	SK 78								
775	E 区	炉縁石	139	245	96	1668	凝灰岩	煤付着	O 339
	SK 78								
776	E 区	炉縁石	140.5	195	80	1680	凝灰岩	ノミ痕 煤付着・炭化物	H 336
	SK 78								
777	E 区	炉縁石	107	77	90	488	凝灰岩	煤付着	O 327
	SK 78								
778	E 区	炉縁石	213	140	95	1590	凝灰岩	煤付着	O 410
	SK 79								
779	E 区	炉縁石	203	155	76	1375	凝灰岩	煤付着	O 409
	SK 79								
780	E 区	炉縁石	284	192	101	3880	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 407
	SK 79								
781	E 区	炉縁石	200	137	84	1415	凝灰岩	煤付着	O 408
	SK 79								
782	E 区	炉縁石	175	202	89	1980	凝灰岩	煤付着	O 412
	SK 79								
783	E 区	炉縁石	191	97	85	2240	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 406
	SK 79								
784	E 区	炉縁石	176	167	90	1690	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 397
	SK 80								
785	D 区	炉縁石	218	223	105	2600	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 347
	SD 7								
786	D 区	炉縁石	128	123	105	790	凝灰岩		T 194
	SD 8								
787	D 区	炉縁石	195	229	119	3360	凝灰岩		T 193
	SD 8								
788	E 区	炉縁石	164	121	82		凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 14
	SD 10								
789	E 区	炉縁石	125	155	35	547	砂岩	煤付着	O 256
	SD 12								
790	E 区	炉縁石	173	193	95	2205	凝灰岩	煤付着	O 464
	SD 16								
791	E 区	炉縁石	230	142	105	2500	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 476
	SD 16								
792	E 区	炉縁石	184	195	61	1310	凝灰岩	煤付着	O 381
	SD 16								
793	F 区	炉縁石	127	171	82	1180	凝灰岩	煤付着	T 389
	SD 17								
794	F 区	炉縁石	213	160	85	1620	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 348
	SD 24								

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石質	備考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
795	F区	炉縁石	262	220	80	2370	凝灰岩	煤付着	T 384
	SD 24								
796	F区	炉縁石	146	165	82	1080	凝灰岩		T 378
	SD 24								
797	E区	炉縁石	146	151	115	1850	凝灰岩	煤付着	O 152
	SX 9								
798	B区	炉縁石	167	180	99	1380	凝灰岩	煤付着	N 64
	P 2								
799	E区	炉縁石	182	192	72	1110	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 45
	P 28								
800	E区	炉縁石	188	139	102	1324	凝灰岩	煤付着	O 56
	P 30								
801	E区	炉縁石	161	162	91	1396	凝灰岩	煤付着	O 69
	P 31								
802	E区	炉縁石	261	182	95	2690	凝灰岩	煤付着 焼け痕、ノミ痕	H 175
	P 43								
803	E区	炉縁石	331	198	116	4830	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 211
	SI 17								
804	E区	炉縁石	237	140	226	1940	凝灰岩	煤付着	O 307
	SI 21								
805	E区	炉縁石	185	104	117	1450	凝灰岩	煤付着 焼け痕、ノミ痕	H 357
	SI 22								
806	E区	炉縁石	334	180	105	3789	凝灰岩	焼け痕、煤付着	O 353
	SI 22								
807	E区	炉縁石	240	246	91	3800	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 358
	SI 22								
808	E区	炉縁石	257	202	96	3860	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 356
	SI 22								
809	D区	炉縁石	302	248	164	9700	凝灰岩		T 18
	SK 21								
810	D区	炉縁石	345	245	159	9550	凝灰岩	煤付着	T 6
	SK 21								
811	D区	炉縁石	245	210	155	4570	凝灰岩	ノミ痕	N 19
	SK 21								
812	D区	炉縁石		249	155	7980	凝灰岩		T 7
	SK 21								
813	D区	炉縁石	296	231	125	5700	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 375
	SK 21								
814	E区	炉縁石	328	171	94	4230	火山礫凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 134
	SK 31								
815	E区	炉縁石	335	154	79	3040	火山礫凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 133
	SK 31								
816	E区	炉縁石	260	238	174	5950	凝灰岩	煤付着	H 121
	SK 31								
817	E区	炉縁石	288	290	161	9150	凝灰岩		N 350
	SK 60								
818	E区	炉縁石	330	261	153	8850	凝灰岩	煤付着	N 351
	SK 60								
819	E区	炉縁石	283	174	137	4050	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	N 393
	SK 60								
820	E区	炉縁石	303	306	143	7800	凝灰岩		N 360
	SK 60								
821	E区	炉縁石	212	194	85	2230	凝灰岩	煤付着	O 340
	SK 78								
822	E区	炉縁石	238	189	93	2560	凝灰岩	煤付着、炭化物 焼け痕、ノミ痕	H 335
	SK 78								
823	E区	炉縁石	239	185	159	4150	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 338
	SK 78								
824	E区	炉縁石	260	281	180	6900	凝灰岩	赤彩痕 焼け痕、煤付着	H 337
	SK 78								

番号	区名 遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石 質	備 考	実測 番号
			(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
825	E 区	炉縁石	524	223	80	7450	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 334
	SK 78								
826	E 区	炉縁石	182	186	100	1815	凝灰岩	煤付着	O 411
	SK 79								
827	E 区	炉縁石	188	223	95	2170	凝灰岩	煤付着	O 403
	SK 79								
828	E 区	炉縁石	213	200	88	2275	凝灰岩	煤付着	O 404
	SK 79								
829	E 区	炉縁石	289	217	109	5050	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 405
	SK 79								
830	E 区	炉縁石	413	215	96	5720	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 400
	SK 79								
831	E 区	炉縁石	220	179	100	2370	凝灰岩	煤付着	H 43
	SD 10								
832	E 区	炉縁石	218	204	125	3140	凝灰岩	煤付着	O 270
	SD 10								
833	E 区	炉縁石	213	260	155	5850	凝灰岩	煤付着	O 463
	SD 16								
834	E 区	炉縁石	365	230	84	4860	凝灰岩	ノミ痕、煤付着	H 433
	SD 21								
835	E 区	台座	358	297	101	9350	凝灰岩	ノミ痕	H 324
	SI 26								
836	E 区	宝塔	300	136	145	4990	緑色凝灰岩	相輪	O 306
	SI 30								
837	E 区	宝塔	140		235	3910	凝灰岩	相輪	H 254
	SD 11								
838	C 区	五輪塔	334	307	161	9770	凝灰岩	火輪	T 11
	SK 4								
839	C 区	五輪塔	295	292	219	20650	火山礫凝灰岩	火輪	T 10
	SK 4								
840	E 区	五輪塔	2941	174	136		凝灰岩	火輪	O 257
	SD 12								
841	C 区	五輪塔	284	241	160	19.1	砂岩	地輪	T 9
	SK 4								
842	C 区	五輪塔	149	247	152	6110	砂岩	地輪	N 61
	SX 1								
843	E 区	火打石	41	45	14	31.4	石英		H 79
	SI 8								
844	F 区	石製円盤	64.5	62.5	28	78.3	凝灰岩		T 337
	SD 24								
845	E 区	碁石	15	16	6	1.9	黒色頁岩		O 460
	SD 9								
846	E 区	碁石				1.6	黒色頁岩		O 461
	SD 9								
847	E 区	碁石	22	25	7.5	6.5	黒色頁岩		O 459
	SX 5								
848	E 区	碁石	20	13	7	2.7	黒色頁岩		O 288
	包含層								
849	E 区	碁石	29	20	15	13.9	石英		H 99
	SX 5								
850	D 区	鉄砲玉	13.5	13	10	11.7	鉛	完形	T 241
	包含層								
851	F 区	棒	48	9	8	6.6	ガラス		T 331
	SX 25								
852	D 区	自然石	169	95	58	1170	凝灰岩	煤付着	T 373
	SI 4								
853	D 区	自然石	179	144	60	2320	凝灰岩	煤付着	T 215
	SI 4								
854	E 区	自然石	206	150	105	4470	火山礫凝灰岩	煤付着	H 141
	SI 8								

番号	区名	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石 質	備 考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
855	E 区	自然石	225	154	98	4810	安山岩	焼け痕、煤付着	H 236
	SI 10								
856	E 区	自然石	147	81.5	58	950	粗流凝灰岩	煤付着	H 210
	SI 18								
857	E 区	自然石	184	124	77	1710	凝灰岩	焼け痕、煤付着	H 209
	SI 18								
858	E 区	自然石	142	132	133	3300	輝石安山岩	煤付着	O 192
	SI 19								
859	E 区	自然石	297	233	105	9540	安山岩	煤付着	O 194
	SI 19								
860	E 区	自然石	190	212	145	6450	火山礫凝灰岩	煤付着	O 193
	SI 19								
861	E 区	自然石	137	137	62	1495	凝灰岩	煤付着	O 313
	SI 21								
862	E 区	自然石	145	124	44	1150	凝灰岩	煤付着	O 314
	SI 21								
863	E 区	自然石	245	135	110	5100	安山岩	煤付着	H 393
	SI 28								
864	E 区	自然石	129	101	47	900	凝灰岩	煤付着	H 281
	SI 48								
865	E 区	自然石	200	151	130	4710	火山礫凝灰岩	煤付着、炭化物	H 129
	SK 31								
866	E 区	自然石	174	81	51	1090	火山礫凝灰岩	煤付着	H 135
	SK 31								
867	E 区	自然石	146.5	122	59	1440	凝灰岩	煤付着	H 5
	SK 33								
868	E 区	自然石	133	108	48	910	粗流凝灰岩	煤付着	O 86
	SK 33								
869	E 区	自然石	140	90	72	1199	火山礫凝灰岩	煤付着	O 119
	SK 35								
870	E 区	自然石	150	113	111	2230	粗流凝灰岩	煤付着	O 118
	SK 35								
871	E 区	自然石	105	106.5	36	580	安山岩	煤付着	H 154
	SK 47								
872	E 区	自然石	188	80	53	1190	砂岩	焼け痕、煤付着	H 155
	SK 47								
873	E 区	自然石	196	104	48	1400	火山礫凝灰岩	煤付着	H 153
	SK 47								
874	E 区	自然石	167	152	82	1710	凝灰岩	煤付着	N 394
	SK 60								
875	E 区	自然石	127	92	39	722	凝灰岩	煤付着	O 325
	SK 78								
876	E 区	自然石	128	130	80	1850	凝灰岩	煤付着	O 343
	SK 78								
877	G 区	自然石	187	135	78	2150	凝灰岩	煤付着	N 182
	SK 93								
878	E 区	自然石	147	114	68	1703	安山岩	煤付着	O 22
	SD 9								
879	E 区	自然石	131	98	70	1152	火山礫凝灰岩	煤付着	O 23
	SD 9								
880	E 区	自然石	161	140	72	2560	火山礫凝灰岩	煤付着	H 33
	SD 9								
881	E 区	自然石	89	95	45	500	火山礫凝灰岩	煤付着	H 32
	SD 9								
882	E 区	自然石	126	113	48	950	凝灰岩	煤付着	H 250
	SD 13								
883	E 区	自然石	171	116	61	1370	凝灰岩	煤付着	H 251
	SD 13								
884	E 区	自然石	102	110	53	780	火山礫凝灰岩	煤付着	O 240
	SD 12								

番号	区名	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石質	備考	実測 番号
	遺構		(mm)	(mm)	(mm)	(g)			
885	E区	自然石	177	124	73	2100	凝灰岩	煤付着	N 361
	SD 12								
886	E区	自然石	126	135	58	1005	砂岩	煤付着	O 450
	SD 22								
887	E区	自然石	182	143	70	2418	角閃石安山岩	煤付着	O 68
	P 31								
888	E区	自然石	171	142.5	68	2360	粗流凝灰岩	煤付着	H 52
	P 32								
889	E区	自然石	122	98	59	940	砂岩	煤付着	H 51
	P 33								
890	E区	自然石	81	63	47	420	凝灰岩	煤付着	H 50
	P 33								
891	E区	自然石	97	87	53	540	流紋岩	煤付着	H 48
	P 33								
892	E区	自然石	82	85	42	330	角礫凝灰岩	煤付着	H 49
	P 33								
893	E区	自然石	133	108	66	1350	安山岩	煤付着	H 47
	P 33								
894	E区	自然石	111	84	57	670	凝灰岩	煤付着	H 46
	P 33								
895	G区	自然石	187	120	101	2960	玢岩	煤付着	N 187
	P 58								

第4章 総括

《弥生時代》

本調査区における弥生時代は、後期後半の時期を主体とし、遺物はE区SI12・14・19・21などから出土している。しかし、これらの遺構からは中世後半の遺物が多く見つかっており、また、遺構のプランも弥生時代のものとは考えにくく、これらの遺構は中世の時期で、弥生土器は流れ込みによるものと解釈したい。

本調査区の北方約140mで行われた平成21年度（第8次）発掘調査では、弥生時代後期後半の竪穴建物を検出している。また、本遺跡の北方300mにある郷クボタ遺跡には、当該時期の集落遺跡が存在しており、本遺跡で発見した弥生時代の遺構・遺物は、この集落に付随するものと考えられる。

《古代》

古代の主要な遺構は、B区SB1とE区SB2・4の3棟の掘立柱建物で、本調査区の北側に集中する。建物は全て南北棟である。また、本調査区北隣で行われた平成17年度（第4次）発掘調査でも南北棟の掘立柱建物7棟を検出しており、周辺一帯が当該時期の集落域にあたると思われる。なお、本調査区の掘立柱建物近隣における、竪穴状遺構や土坑・溝からも古代土器を確認しているが、これらは流れ込みによるものと推測する。

《中世》

中世においては、調査区全般で竪穴状遺構、掘立柱建物、土坑、溝などを確認し、集落の中心域にあたる。時期については、中世前半と後半の2時期に分かれるが、主体となるのは中世後半である。

中世前半については、G区SB14とH区SB15の掘立柱建物2棟を確認している。両掘立柱建物は、総柱式で、調査区全般で確認した主要遺構とは方位が大きく傾いている。建物の構造と方位の差異から、この2棟の掘立柱建物は中世前半としたが、詳細な時期については、遺物が出土していないことから断定できない。

中世後半については、竪穴状遺構、掘立柱建物、土坑、溝などの遺構が本調査区一帯で確認している。但し、遺跡の南西端にあたるG区とH区は、遺構が希薄となり、集落の縁辺部になる。また、G区西側については旧河道を検出しており、現在遺跡内を縦断している郷用水の前身にあたると思われる。

中世後半の集落の様相について概観する。出土遺物から15世紀を中心とした時期となる。E区北側で見つかったSD9とSD10は、平成17年度（第4次）、平成18年度（第5次）発掘調査でも検出しており、区画溝となる。この溝は、幅が約2m、深さ約1m弱と規模が大きく、屋敷を囲む堀になると考えられる。堀で囲まれた屋敷の規模は、南北約60m、東西約30mである。しかし、東辺の堀にあたるSD10は、途中でクランクして調査区外へと延びることから、屋敷が鉤型のようなプランとなる。東方の範囲については、C区も含めたエリアまで延びる可能性がある。敷地内では、SB3・5や平成18年度（第5次）調査で確認したSB14、SB18（野々市町2009）の掘立柱建物、SI8・9の竪穴状遺構、SK29・31・35・36等の土坑、大型方形落ち込み遺構であるSX5といった遺構が配置されている。遺物は土師器皿、珠洲焼や瀬戸焼の国産陶器、白磁・青磁の輸入磁器、炉縁石、行火など日常生活用具が出土している他、遊戯具の碁石や、屋敷近隣では威信材と思われる382の青磁花瓶が見つかっており、当該地は集落の有力者層の屋敷地と推定される。

この屋敷地の東方のC区内に方形土坑SK3を検出している。SK3からは、完形品の280青磁香炉と348瓦質香炉が出土しており、遺構の位置関係と、遺物の出土状況から、この土坑は有力者層の墓坑の可能性はある。

屋敷地の南側には、区画溝SD15・16・20・21が整然と並ぶ。区画溝の規模は一辺約15m、溝内にはSB6・7・9の掘立柱建物、SI26～29・38～44の竪穴状遺構が存在している。今回井戸は発見されなかったが、区画溝内は、掘立柱建物と竪穴状遺構で構成された一般民衆層の宅地にあたると思われる。

SD15・16の間や西側、SD20・22の南側は屋敷や宅地間を走る道路状遺構が存在した可能性があり、集落内の宅地は、堀・溝及び道で規則的に配置された構成をしていたようである。

参考文献

- 小野正敏編 2001 『図解・日本の中世遺跡』 東京大学出版会
- 垣内光次郎 1999 「石の文化誌」『中世北陸の石文化Ⅰ』 北陸中世考古学研究会
- 河合忍 安英樹 1999 「石鋏雑考」『石川県考古資料調査・集成事業報告書 農工具』 石川考古学研究会
- 柿田祐司 2006 「加賀・能登の様相」『中世北陸のカワラケと輸入陶磁器・瀬戸美濃製品』 北陸中世考古学研究会
- 田中照久・木村宏一郎 2005 「越前」『中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～』 全国シンポジウム中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～実行委員会
- 田嶋明人 1988 「古代土器編年軸の設定」『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』 石川考古学研究会 北陸古代土器研究会
- 永井久美男編 1994 「中世の出土銭 - 出土銭の調査と分類 -」 兵庫埋蔵銭調査会
- 藤澤良祐 2008 『中世瀬戸窯の研究』 高志書院
- 藤田邦夫 1997 「中世加賀国の土師器様相」『中近世の北陸 - 考古学が語る社会史 -』 桂書房
- 水澤幸一 2009 『日本海流通の考古学 - 中世武士団の消費生活 -』 高志書院
- 宮下幸夫 1997 「在地窯「加賀窯」」 『中近世の北陸 - 考古学が語る社会史 -』 桂書房
- 吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』 吉川弘文館
- 江戸遺跡研究会編 2001 『図説江戸考古学研究辞典』 柏書房
- 2003 『野々市町史 資料編1 考古 古代・中世』 野々市町史編纂専門委員会
- 2009 『徳用クヤダ遺跡Ⅰ』 野々市町教育委員会



C区 遠景 (北東から)



E区 遠景 SB 3 付近 (北から)



C区 SK 3 青磁香炉出土状況



E区 遠景 SB 2 付近 (西から)



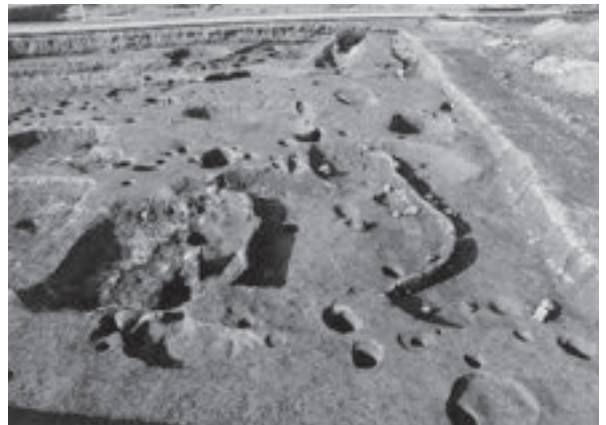
D区 遠景 (東から)



E区 遠景 SB 4・5 付近 (西から)



D区 SI 4・5、SK 20~22 (南西から)



E区 SI 15~17 (南から)



E区 遠景 SK55・56付近 (東から)



E区 遠景 SD16、SX16付近 (南西から)



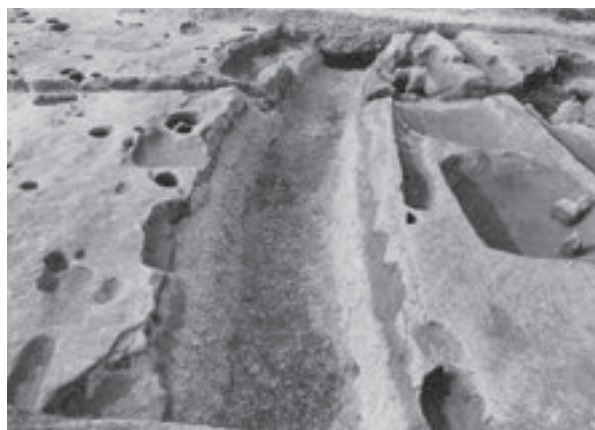
E区 遠景 SK59、63~66付近 (北から)



E区 遠景 SI29~32付近 (西から)



E区 遠景 SI25、SK63~66付近 (南から)



E区 SD17 (南から)



E区 遠景 SI23付近 (南から)



E区 SI30 相輪出土状況



E区 SB9 (東から)



G区 遠景 SI53、SD30付近 (西から)



E区 遠景 SI37~45付近 (北東から)



G区 SK92~96、SD31 (東から)



E区 SI46~49 (北から)



G区 遠景 SD32付近 (北西から)



G区 遠景 SI50、SK85付近 (北から)



G区 遠景 (南西から)



E区 SB4・5 (南から)



H区 SB15 (東から)



E区 SB7、SD16 (西から)



A区 S11、SK2 (東から)



E区 SB7 (東から)



C区 S13 (東から)



E区 SB9 (北から)



D区 S14・5 (北から)



D区 S I 6、SK24 (北から)



E区 S I 10 (北から)



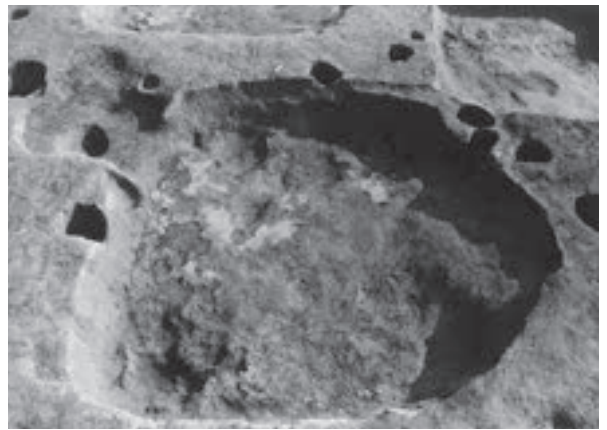
D区 S I 7、SK26 (北から)



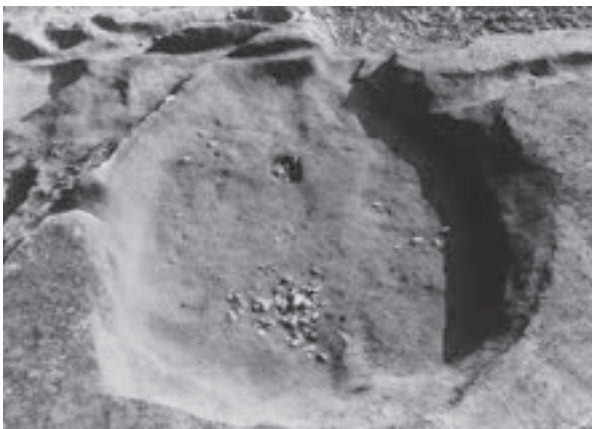
E区 S I 12・18・19 (南から)



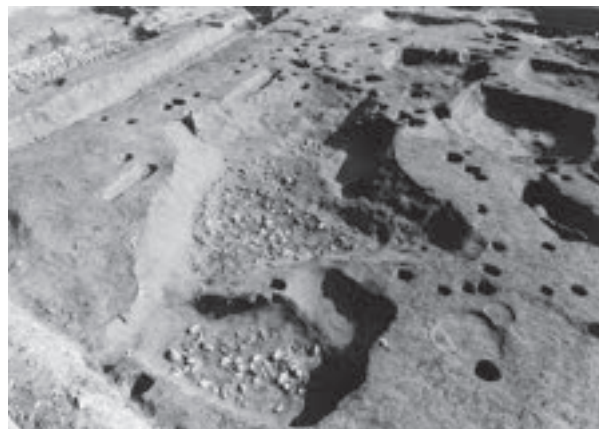
E区 S I 8 (東から)



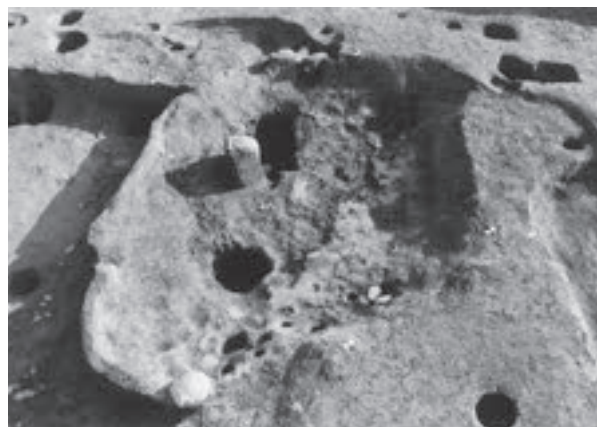
E区 S I 12 (北から)



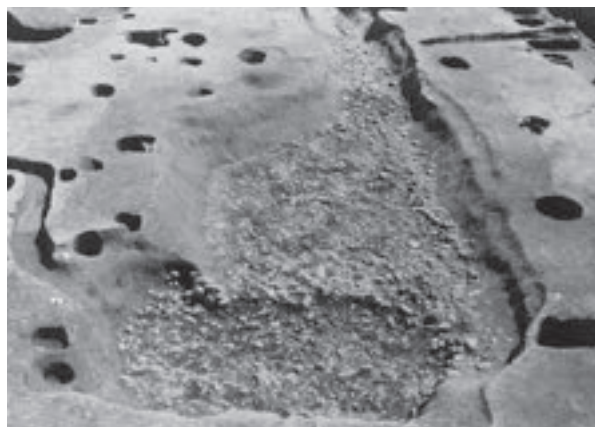
E区 S I 9 (北から)



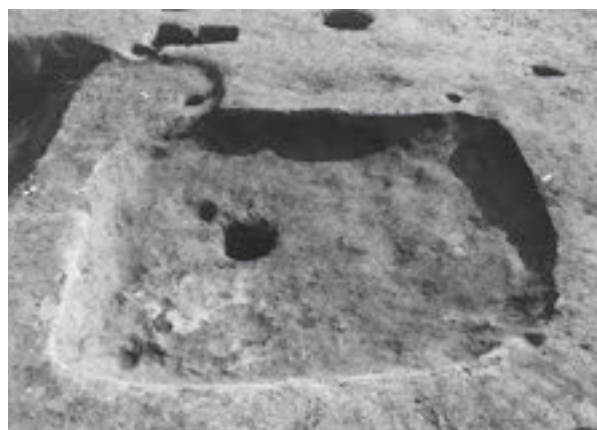
E区 S I 13・14、SK51~53 (南西から)



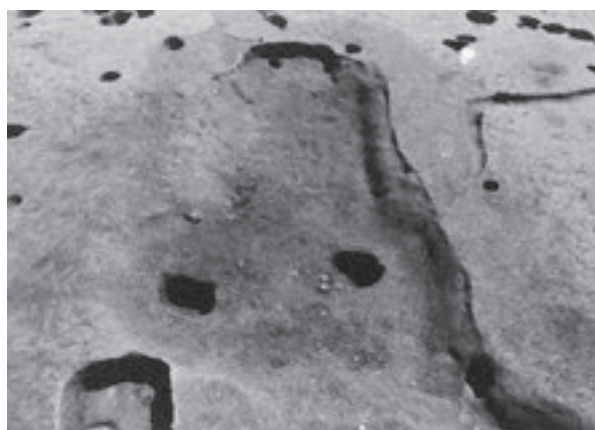
E区 S I 17 (北から)



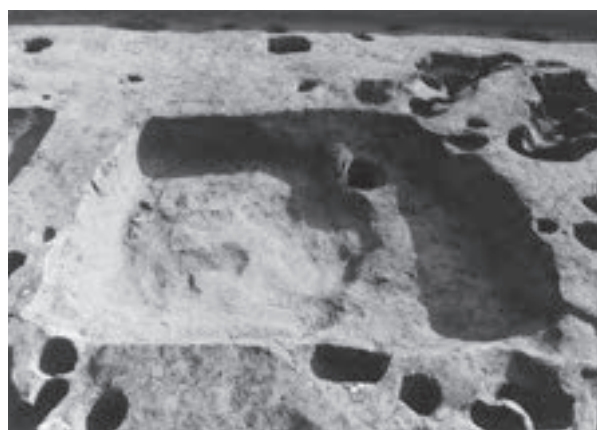
E区 S I 21 (北から)



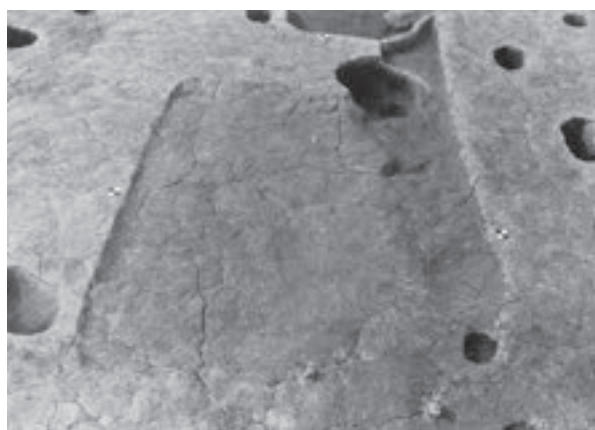
E区 S I 18 (北から)



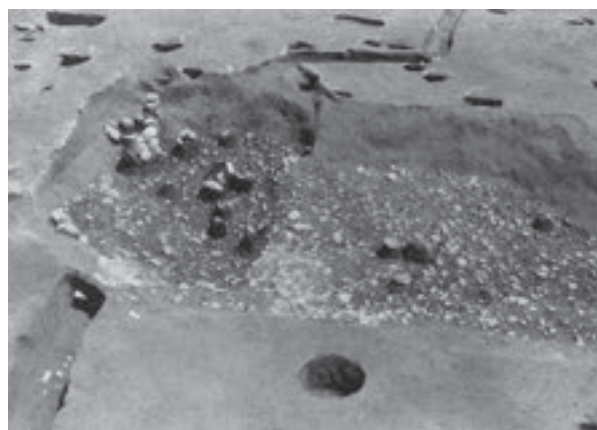
E区 S I 22 (北から)



E区 S I 19 (北から)



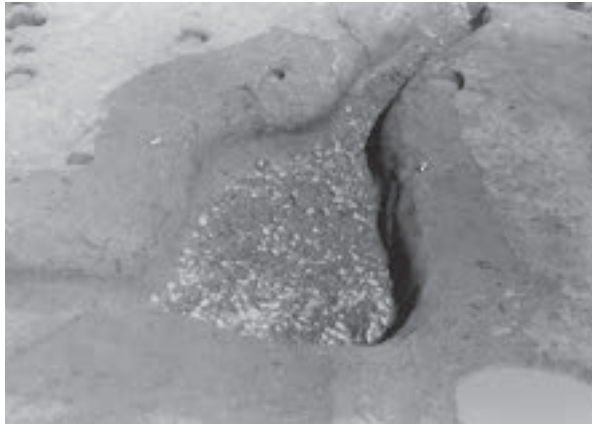
E区 S I 23 (南から)



E区 S I 21 遺物出土状況 (西から)



E区 S I 25 (東から)



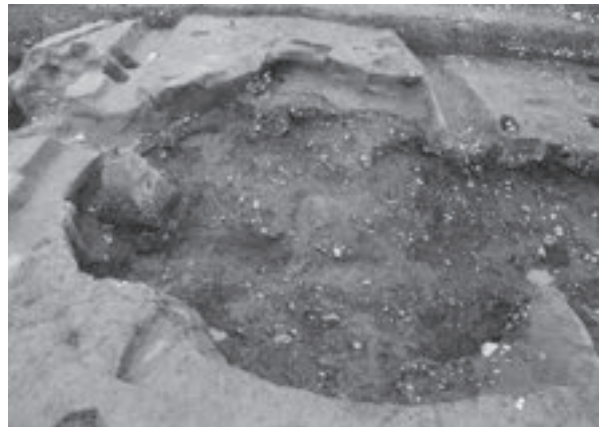
E区 S I 26 (西から)



E区 S I 30、S D 18 (南から)



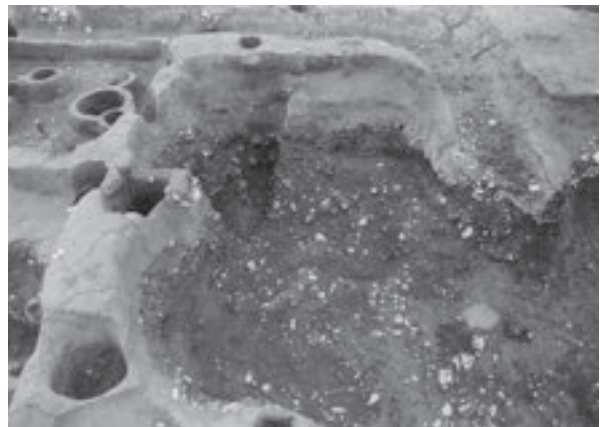
E区 S I 27 (北から)



E区 S I 31~36 (南から)



E区 S I 28~34、S D 19・20 (北から)



E区 S I 37~39 (北から)



E区 S I 29・30 (北から)



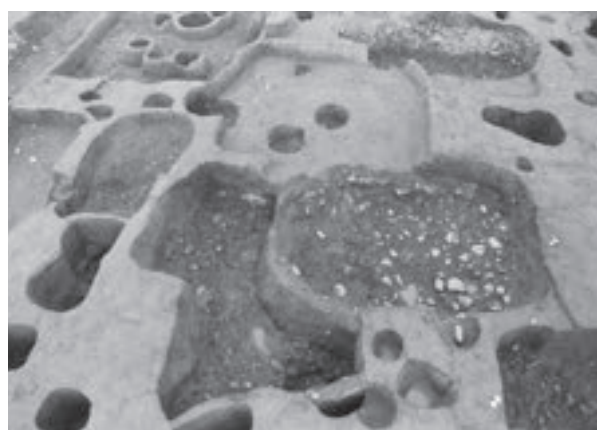
E区 S I 31~38 (北から)



E区 S I 40・41 (北から)



E区 S I 46・47, S K 76・77 (東から)



E区 S I 41・43・44, S K 11 (東から)



E区 S I 49, S K 78 (東から)



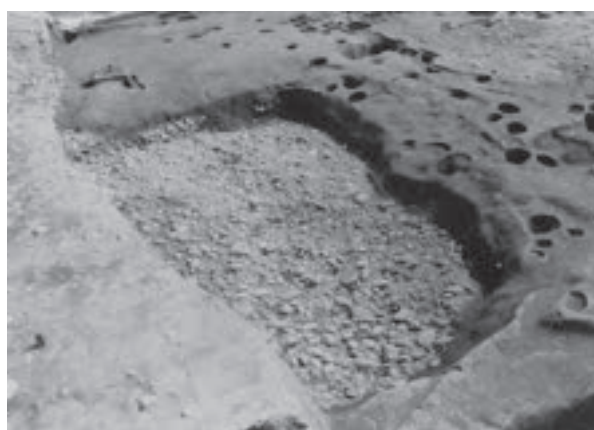
E区 S I 42 (南から)



G区 S I 51 (北東から)



E区 S I 45 (東から)



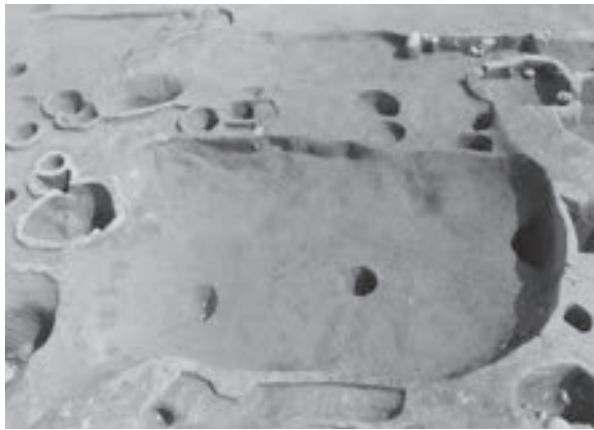
G区 S I 52 (北東から)



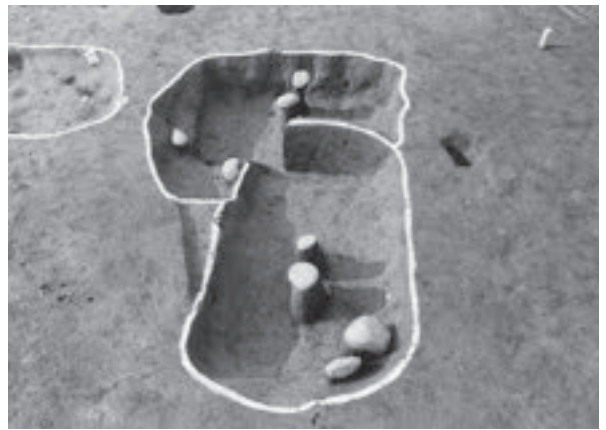
G区 S I 53 (南から)



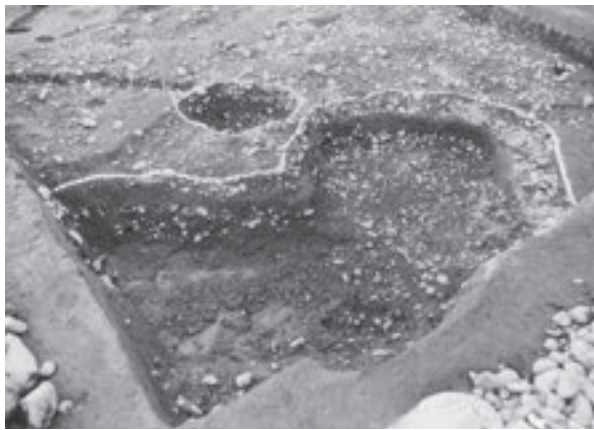
C区 SK10 (東から)



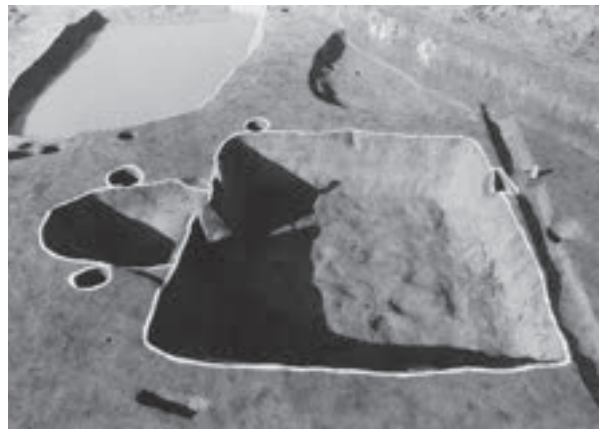
G区 S I 54 (北から)



C区 SK11・12 (東から)



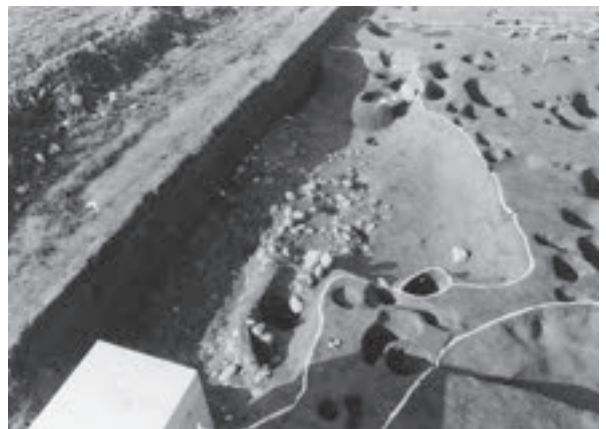
C区 SK 3~5 (東から)



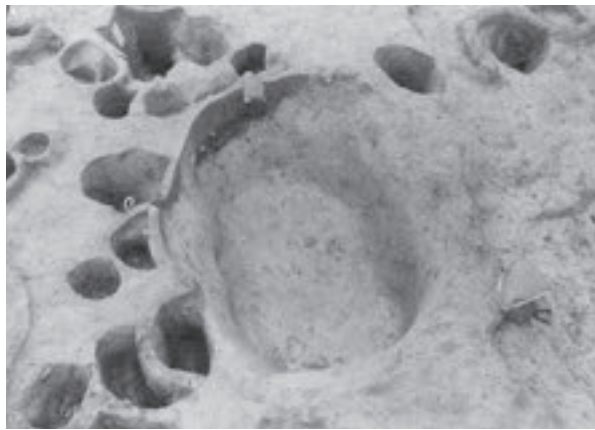
C区 S I 2、SK15 (東から)



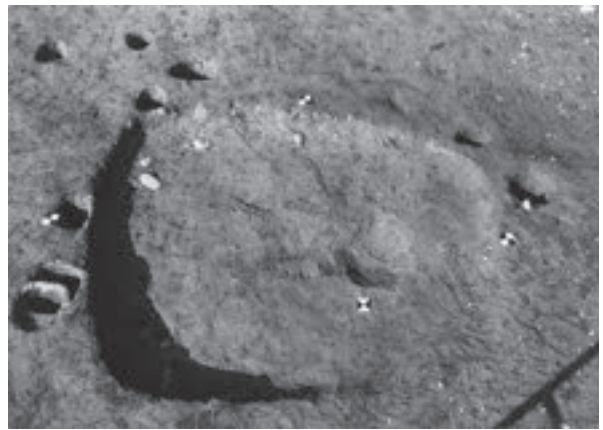
C区 SK 9 (東から)



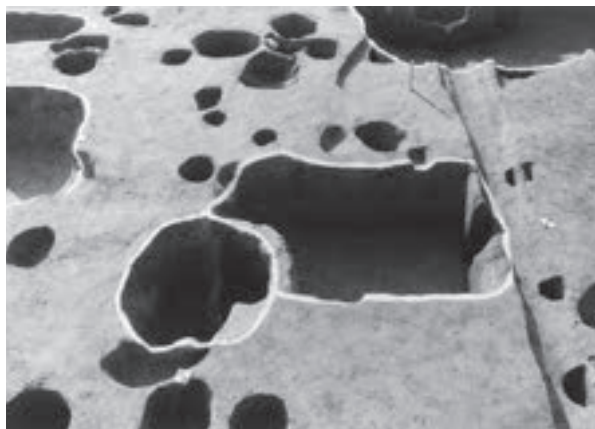
D区 SK17 (東から)



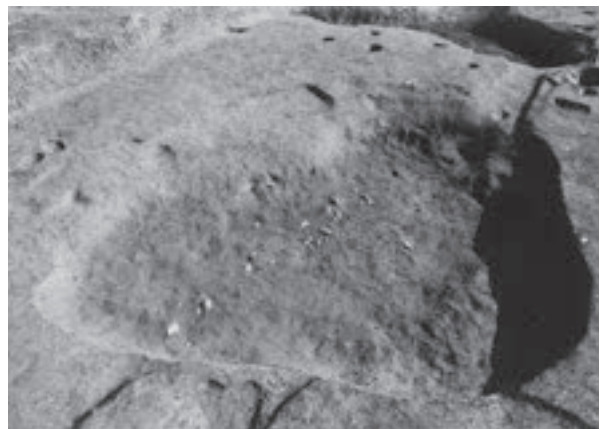
D区 SK22 (南から)



E区 SK29 (南から)



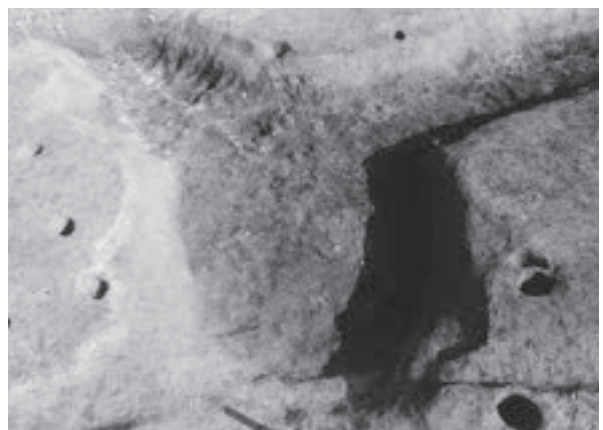
D区 SK25 (北から)



E区 SK31 (北から)



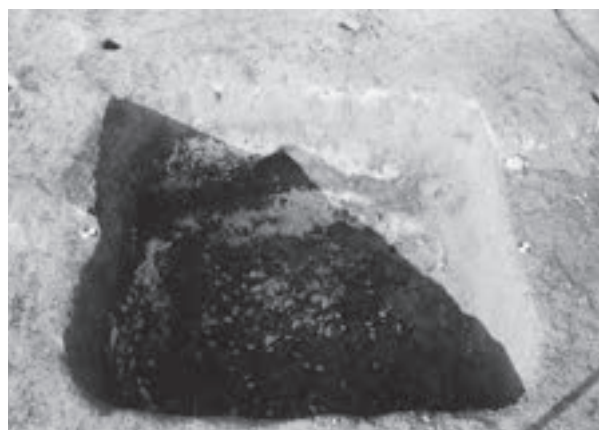
D区 SK27 (北から)



E区 SK32・33 (西から)



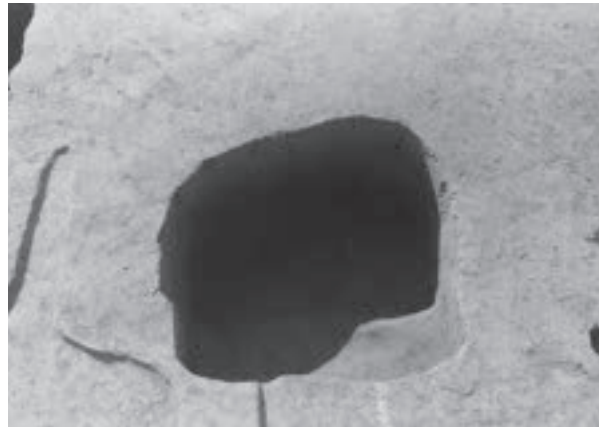
E区 SK28 (東から)



E区 SK35 (南から)



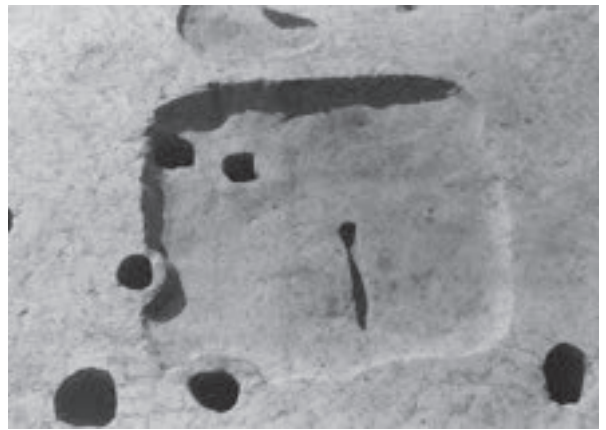
E区 SK43 (北から)



E区 SK56 (西から)



E区 SK48 (西から)



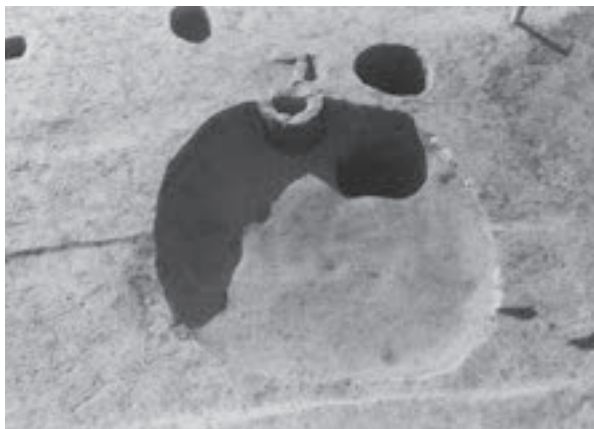
E区 SK57 (東から)



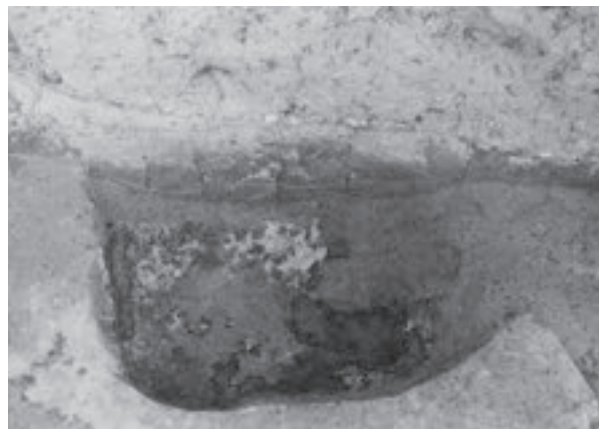
E区 SK51 石礫群出土状況 (東から)



E区 SK59 (南から)



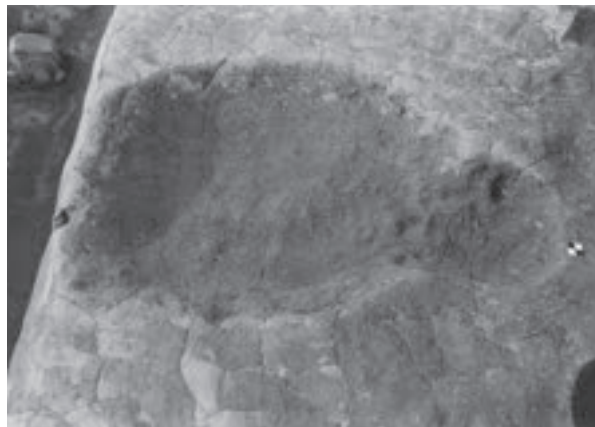
E区 SK55 (東から)



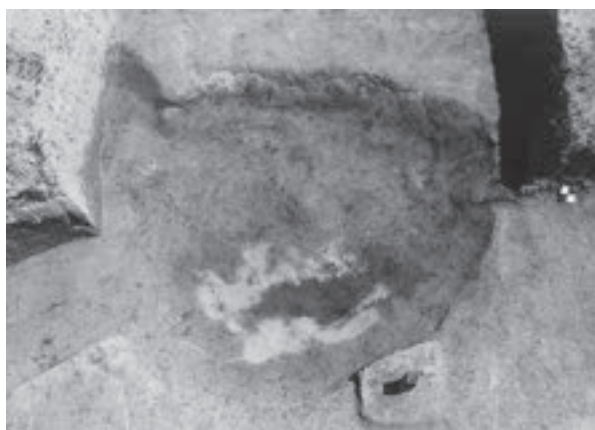
E区 SK61 (西から)



E区 SK62 遺物出土状況



E区 SK68 (南から)



E区 SK62 (西から)



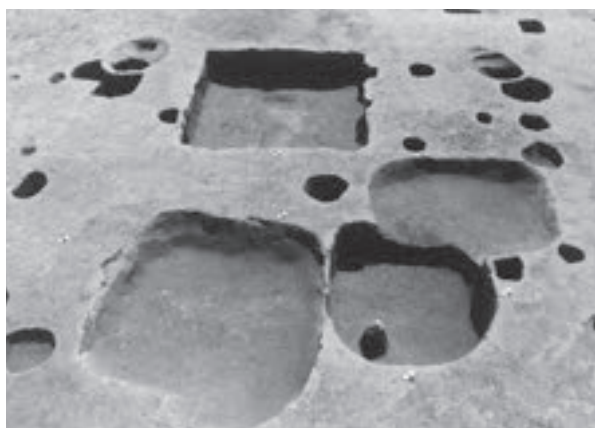
E区 SK70 (東から)



E区 SK65 (北から)



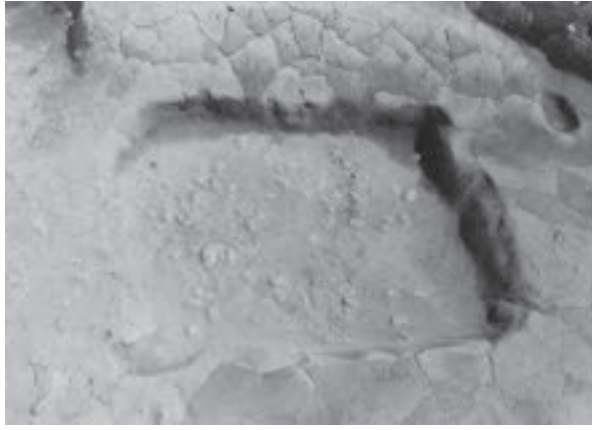
E区 SK78~80 (西から)



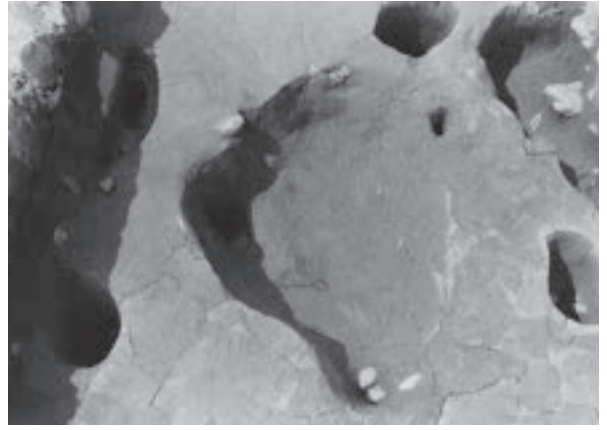
E区 SI25、SK63~66 (北から)



G区 SK86 (東から)



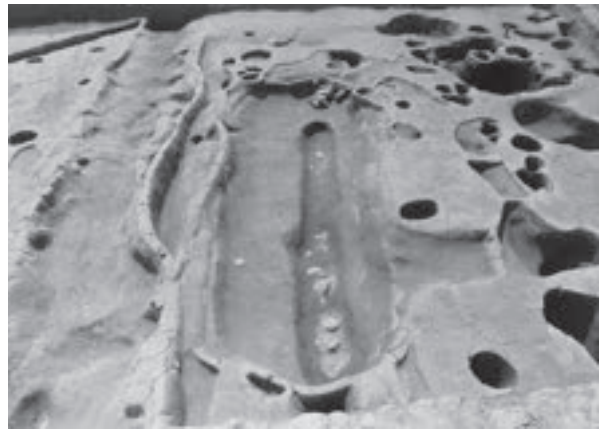
G区 SK89 (北西から)



G区 SK93 (南から)



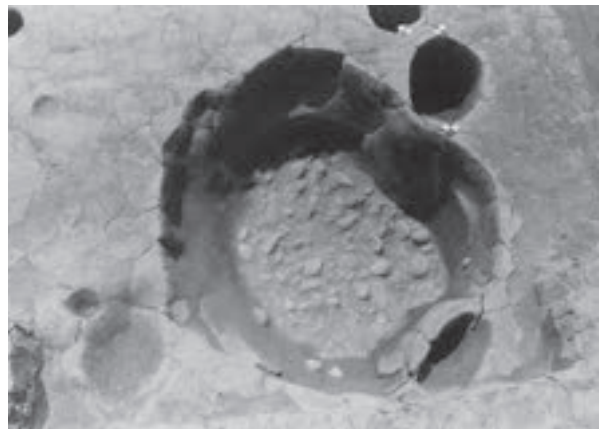
G区 SK90 (南西から)



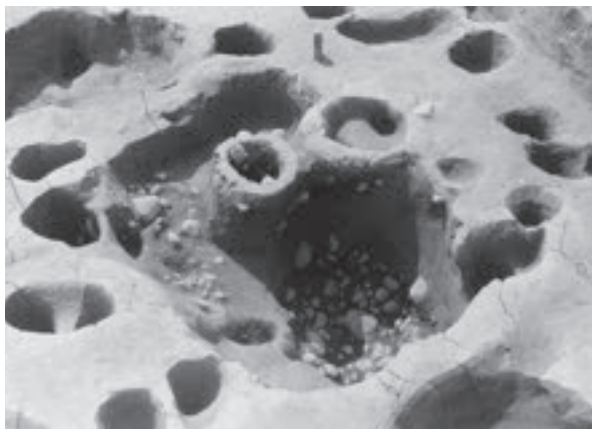
G区 SK95 (東から)



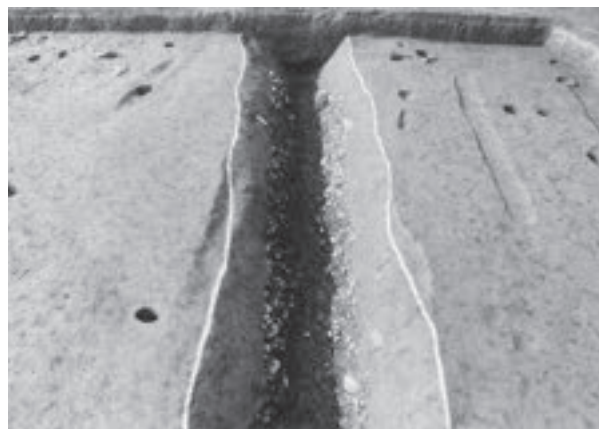
G区 SK91 (西から)



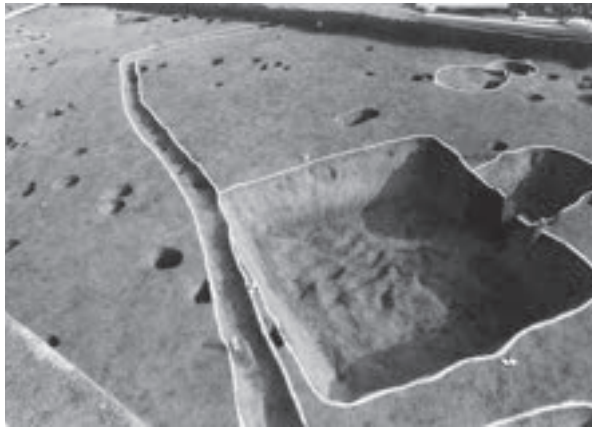
G区 SK96 (東から)



G区 SK92 (南東から)



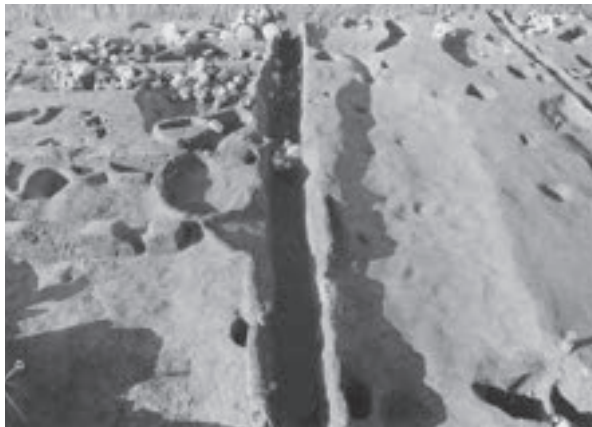
A区 SD1 (東から)



C区 SK15、SD2 (西から)



E区 SD10 SX5付近 (南から)



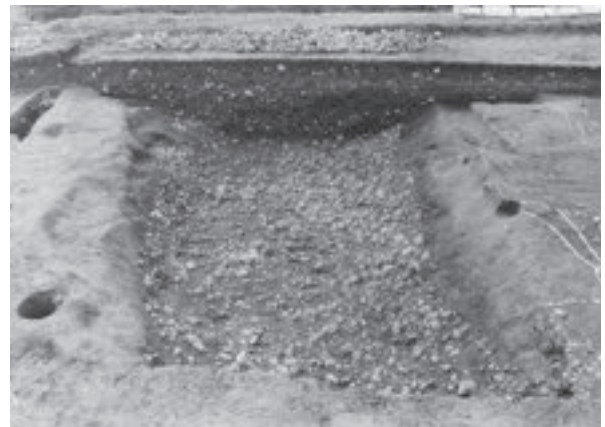
D区 SD5、SX2 (南から)



E区 SD10 SK42付近 (南から)



D区 SD7・8 (北から)



E区 SD11 (東から)



E区 SD9 (西から)



E区 SD11・12 (西から)



E区 SD12 SX12付近 (東から)



E区 SD16、SX14 (南から)



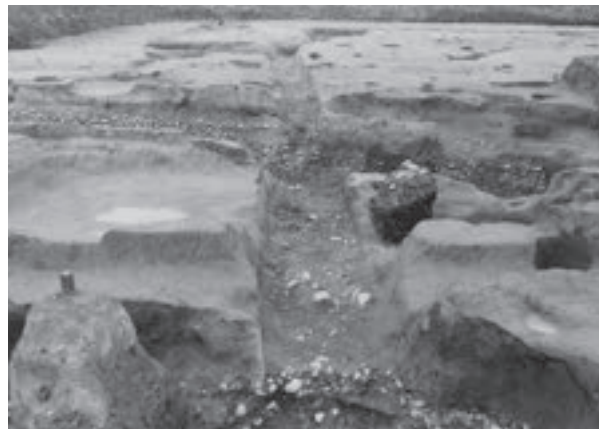
E区 S I 21、SD15、SX14、SA 2 (北から)



E区 SD16 SK68付近 (北から)



E区 SD15 クランク箇所 (西から)



E区 SD16 S I 29付近 (東から)



E区 SD15・16 (東から)



E区 SD17 (北から)



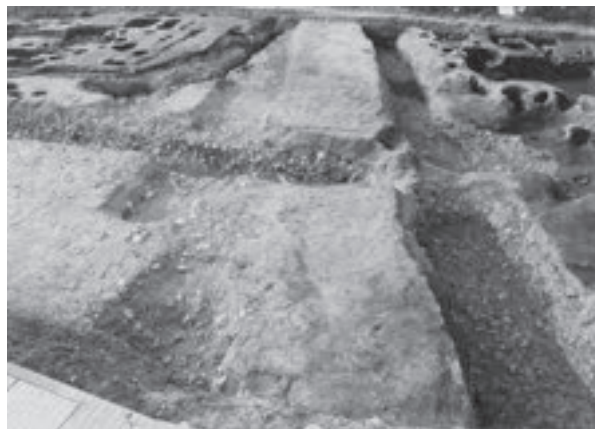
E区 SD19 (南から)



E区 SD22 (東から)



E区 SD20 (東から)



E区 SD22~24 (南から)



E区 SD21・23 (南から)



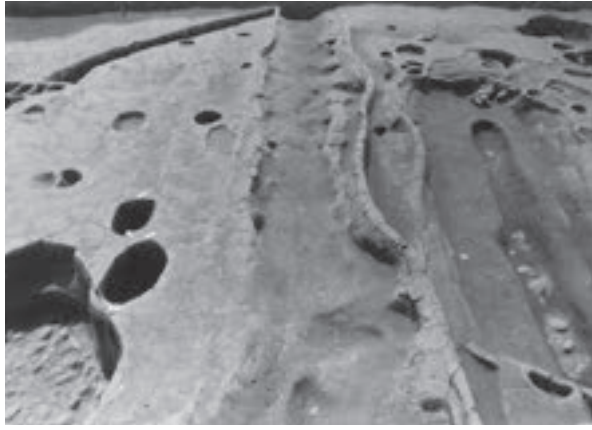
E区 SD24 (南から)



E区 SD21・23・25 (北から)



E区 SD24 獣骨出土状況



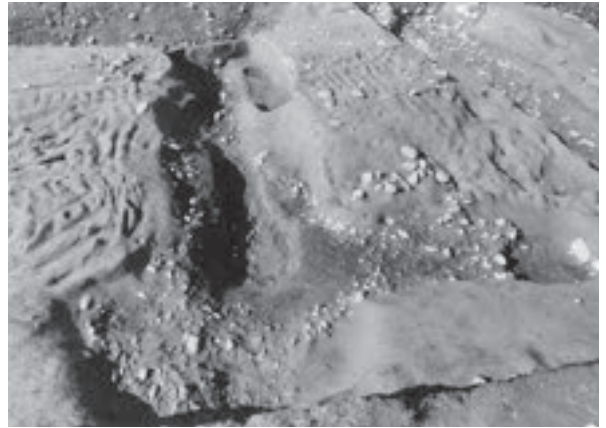
G区 SD31 (東から)



E区 SX6、SK41、SD10 (北から)



E区 SX5・6 (南から)



E区 SX12 (東から)



E区 SX5~7 (北から)



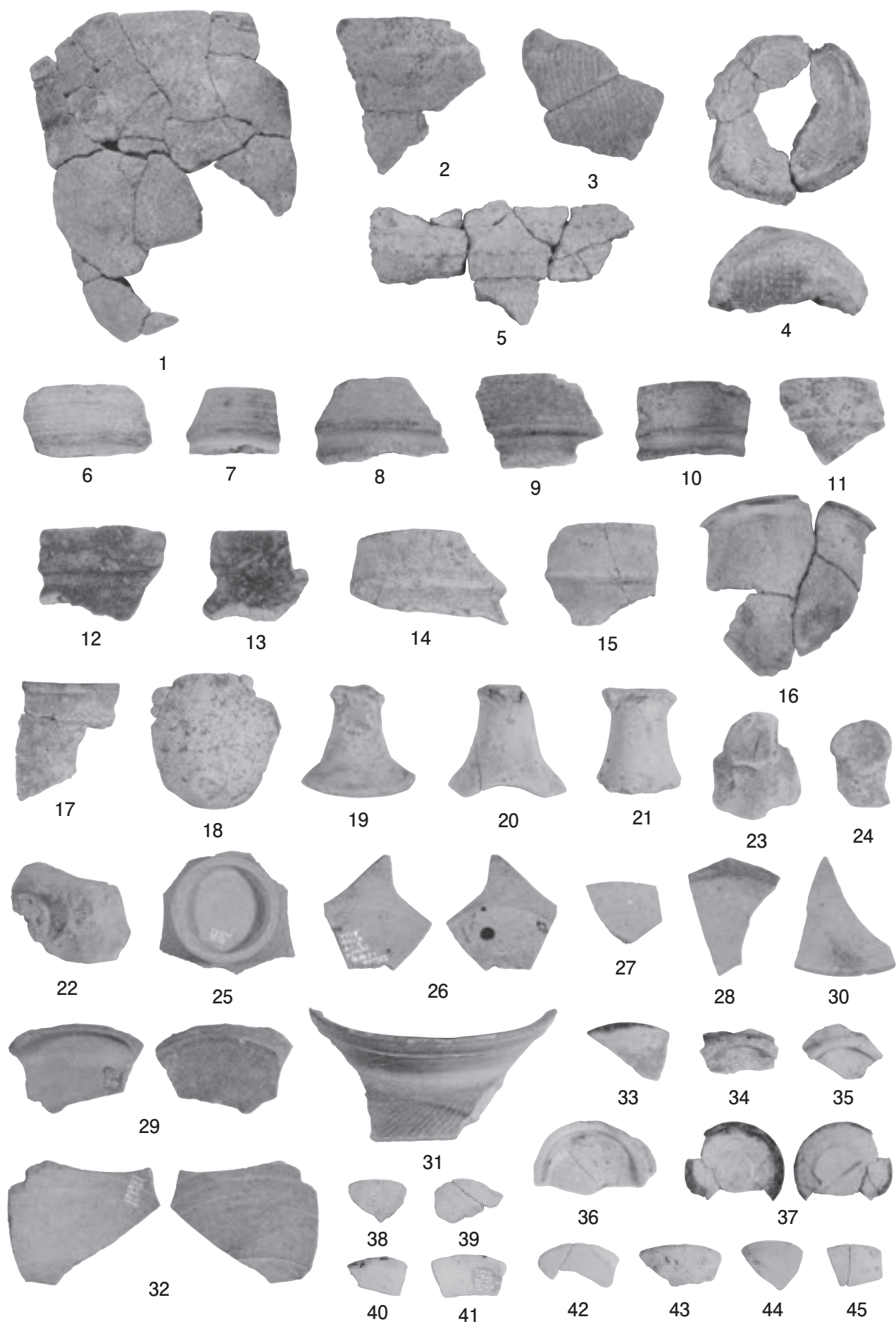
E区 SX16 (西から)

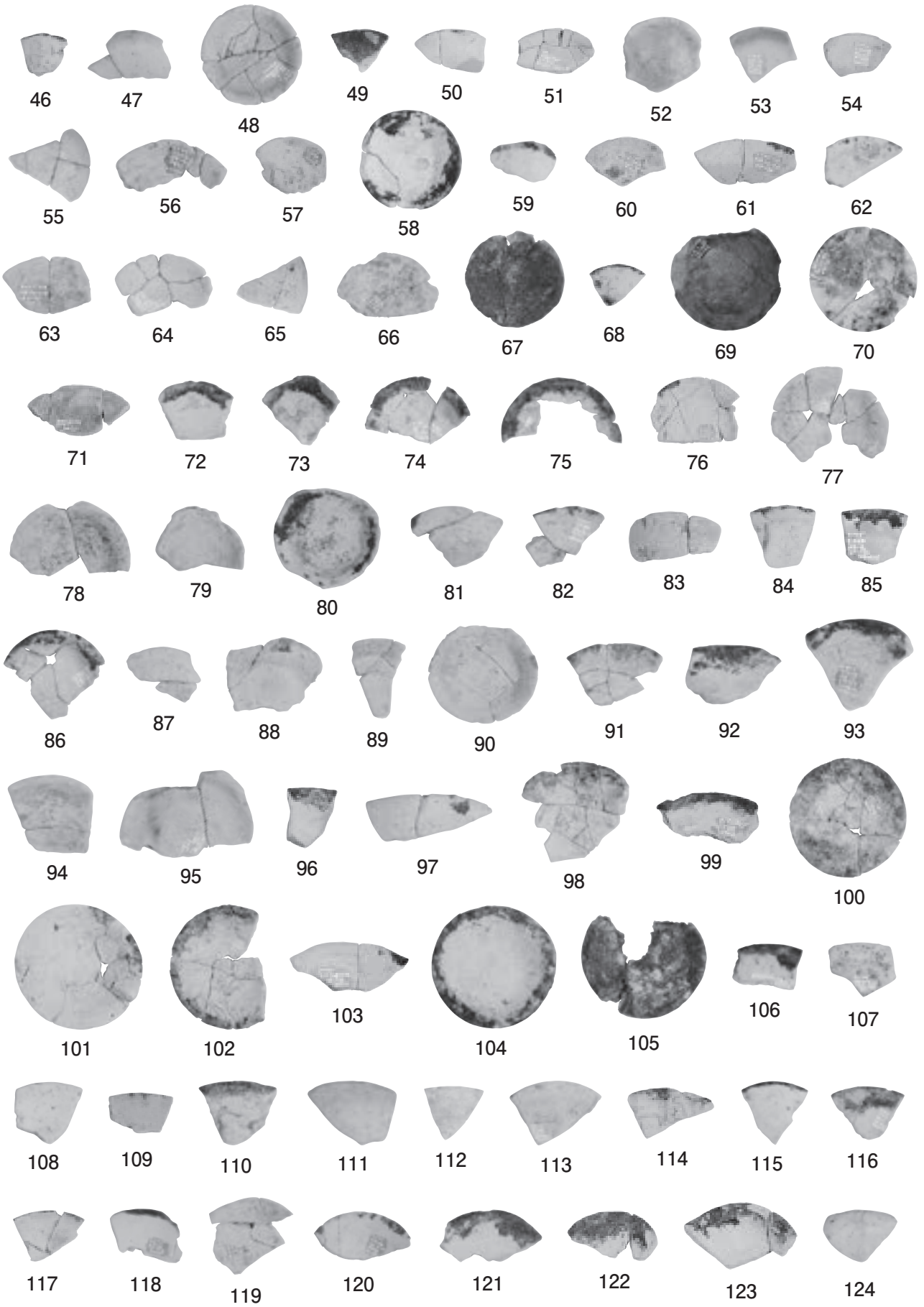


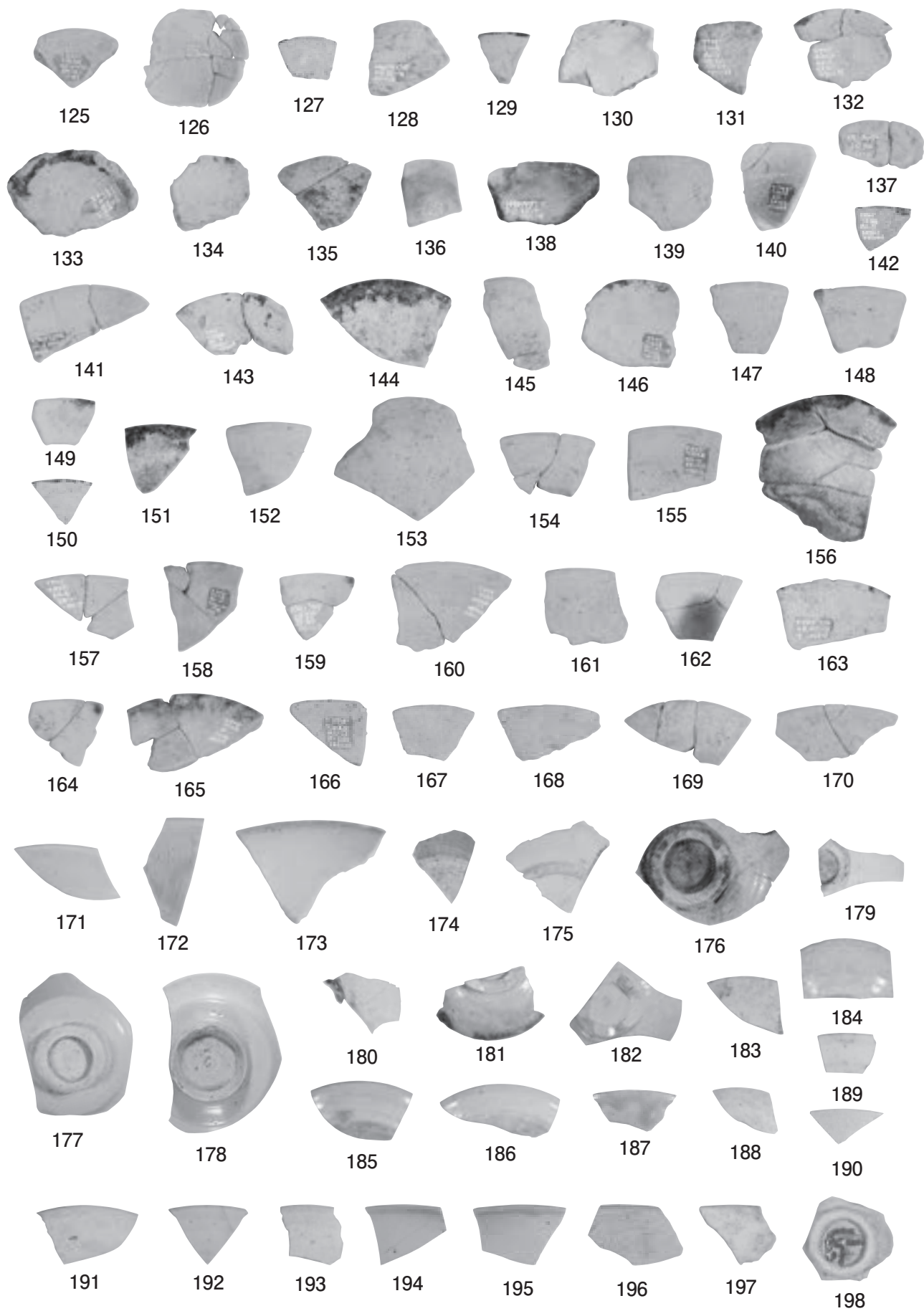
E区 SX6、P40 (東から)

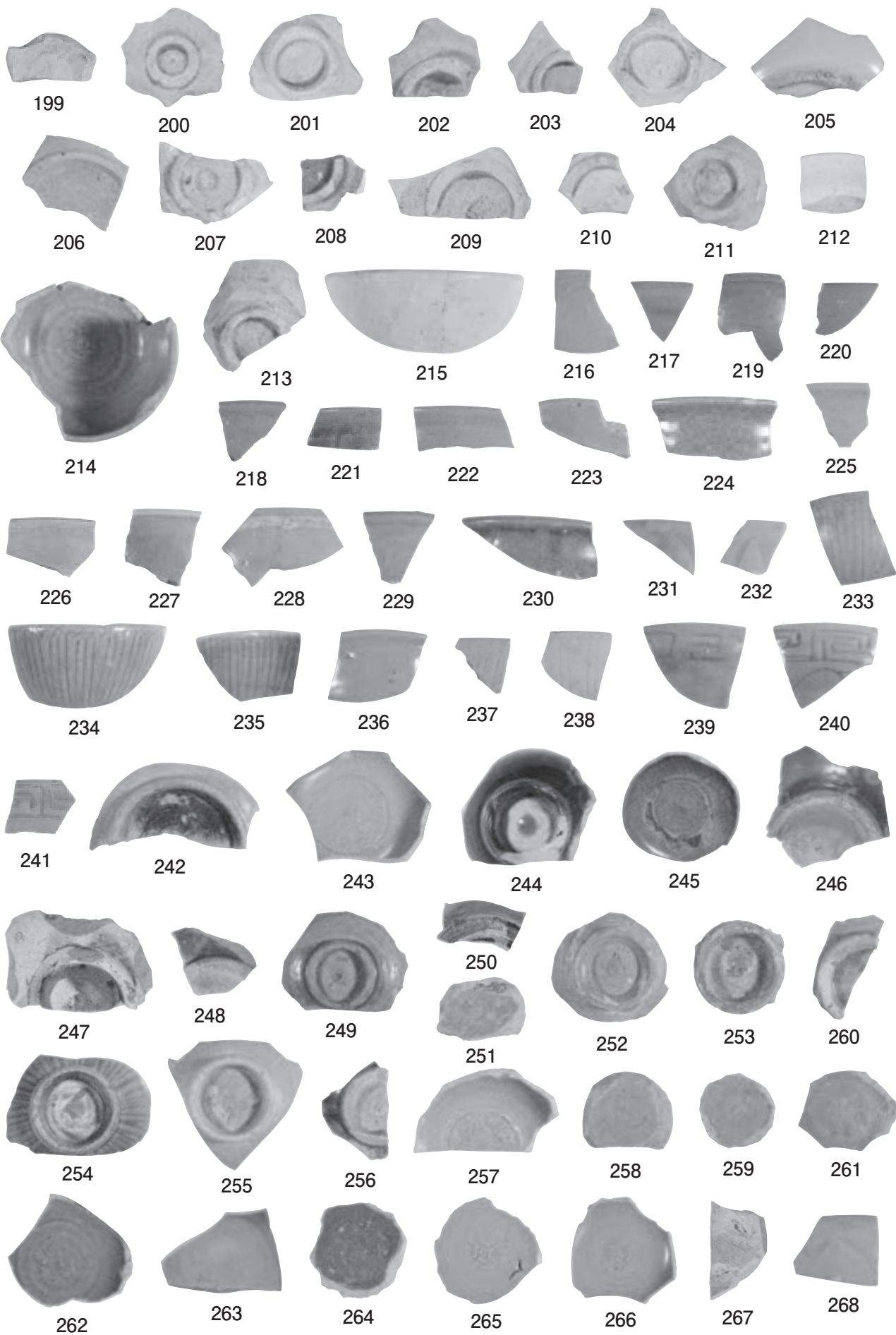


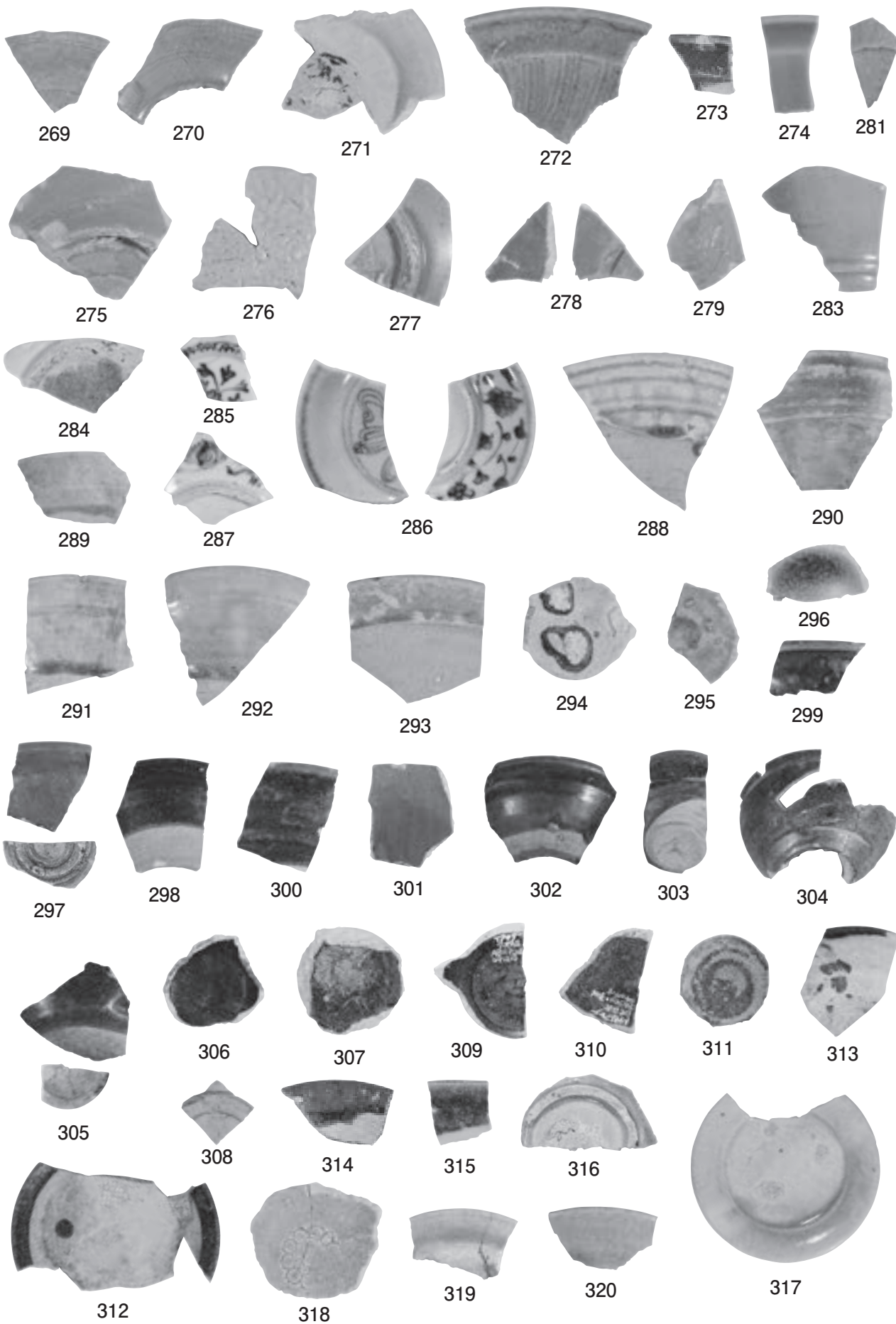
E区 SI49、SD26、SX21 (西から)

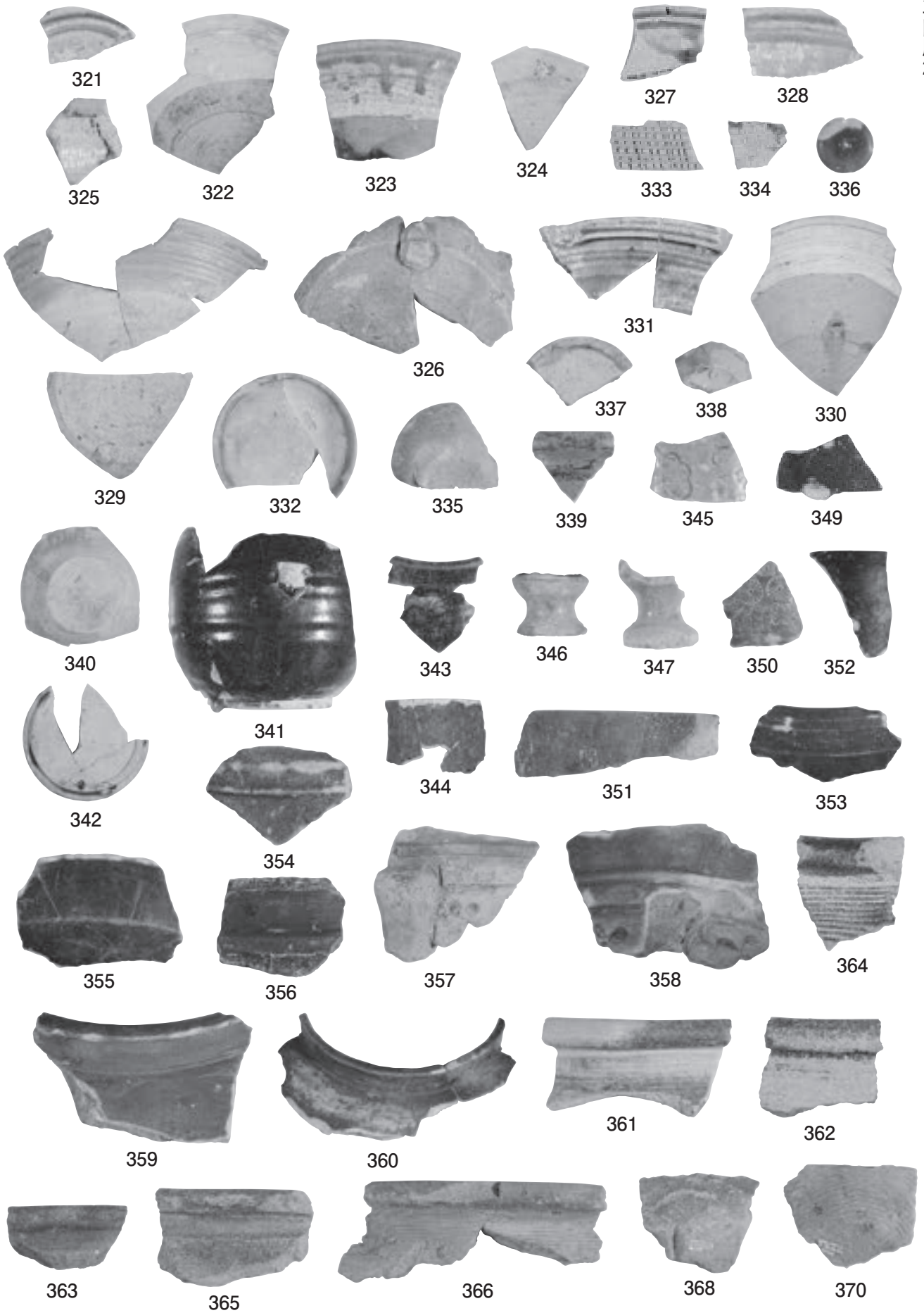


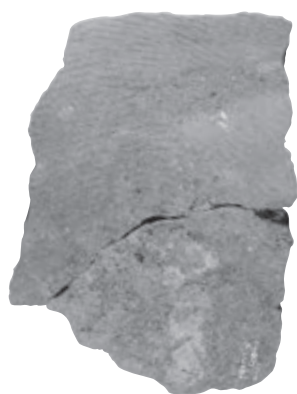








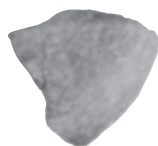




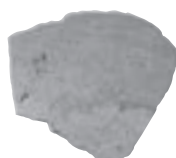
367



369



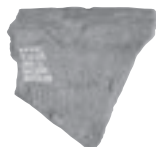
371



372



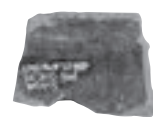
373



374



375



376



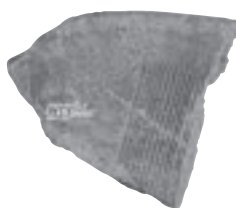
378



377



380



382



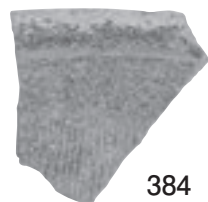
383



379



381



384



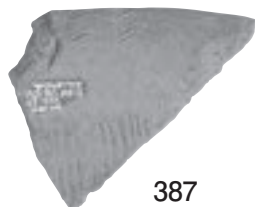
386



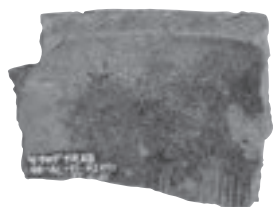
390



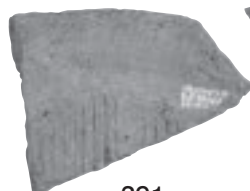
385



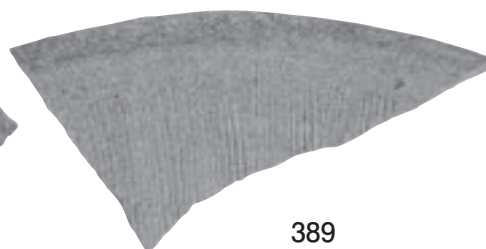
387



388



391



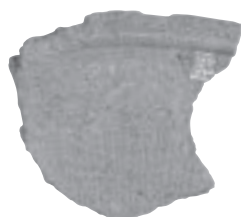
389



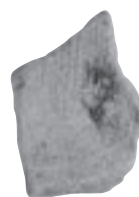
392



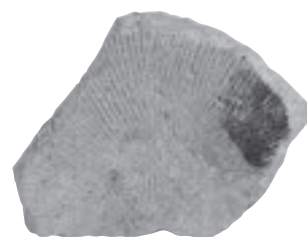
393



394



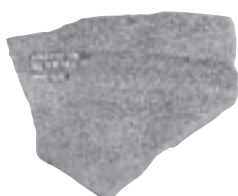
397



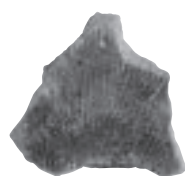
401



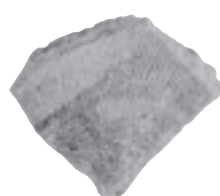
396



395



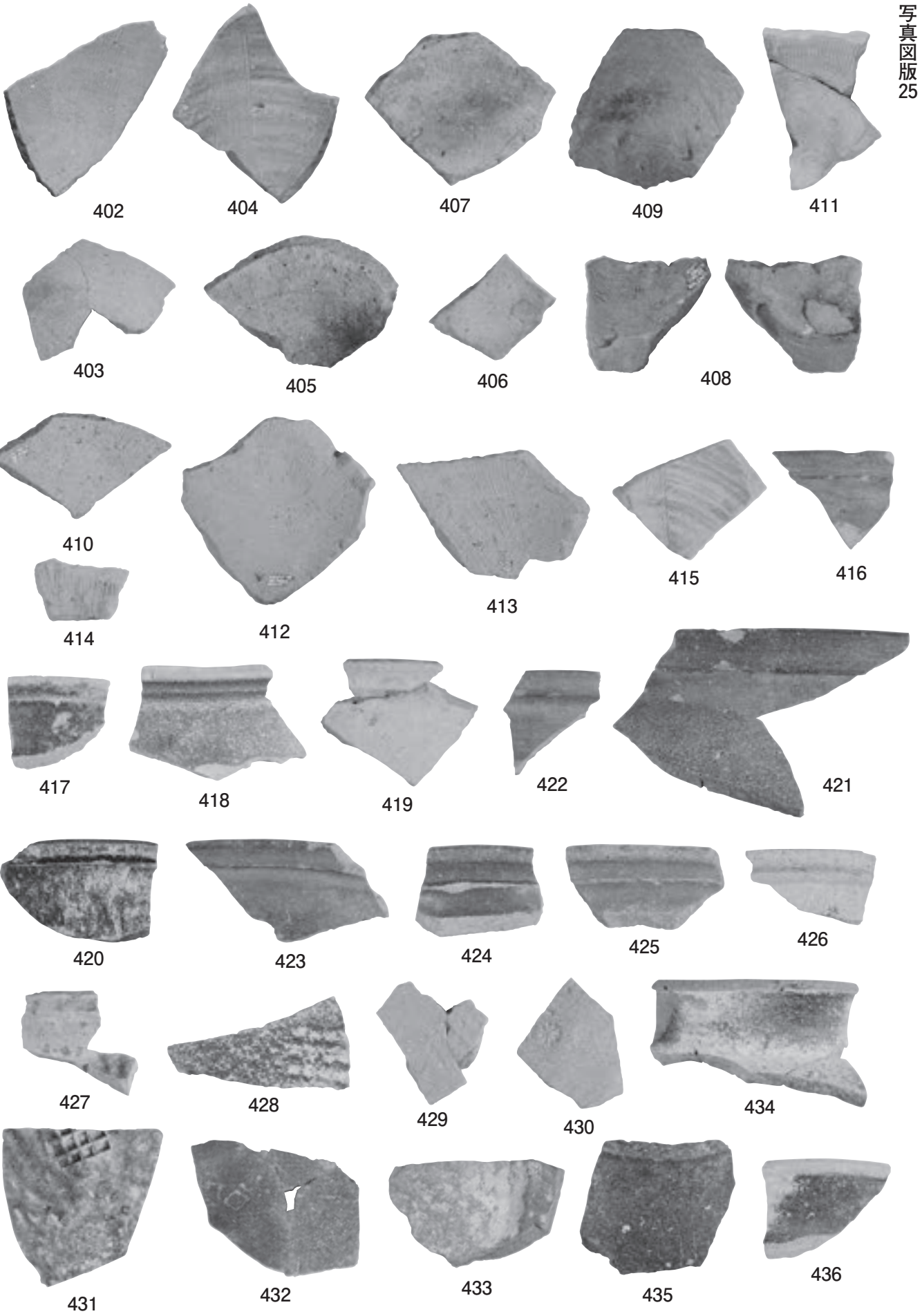
398



399



400



402

404

407

409

411

403

405

406

408

410

414

412

413

415

416

417

418

419

422

421

420

423

424

425

426

427

428

429

430

434

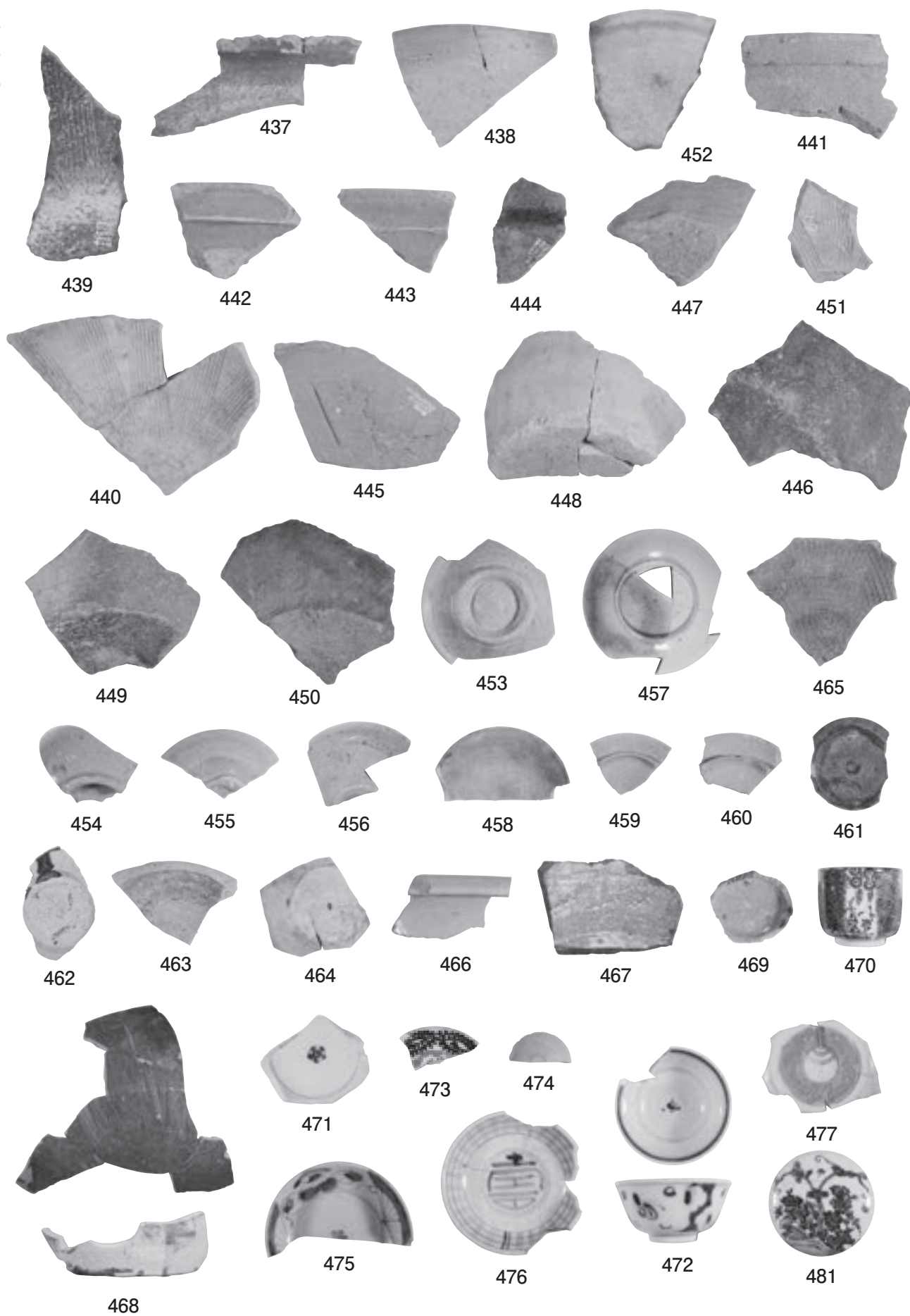
431

432

433

435

436





478 479 480 482 483 484 485



486 487 488 489 490 491 492 493



494 495 496 497 498 499 500 501 502



503 504 505 506 507



508



510



511



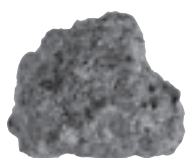
512



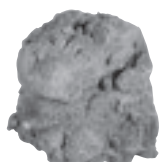
513



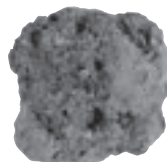
514 515 516 517



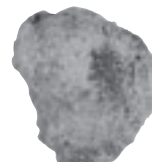
518



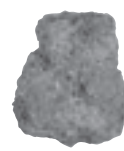
519



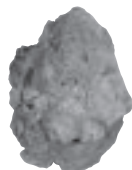
520



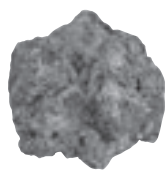
521



522



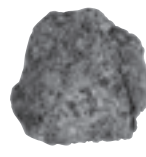
523



524



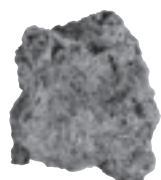
525



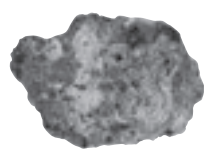
526



527



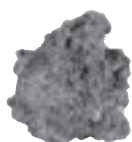
528



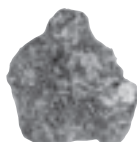
529



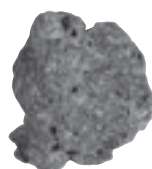
530



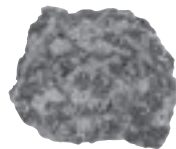
531



532



533



534



535



536



538



539



540



541



542



543



544



545



547



548



549



550



546



551



552



553



554



555



556



557



558



559



560



561



562



563



564



565



566



567



568



569



570



571



572



573



574



575



576



577



578



579



580



581



582



583



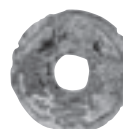
584



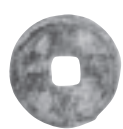
585



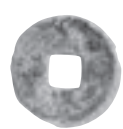
586



588



589



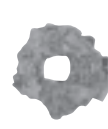
590



591



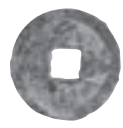
592



593



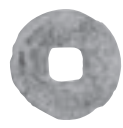
594



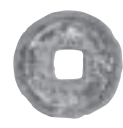
595



596



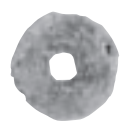
597



598



599



600



601



608



609



610



611



612



613



614



642



643



644



645



651



648



649



647



646



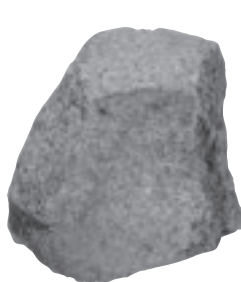
652



653



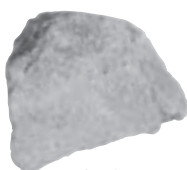
656



650



657



658



659



661



654



655



662



663



665



664



667



668



669



670



671



675



678



672



666



676



677



679



680



682



683



673



674



681



687



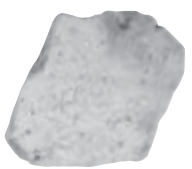
684



685



686



688



689



690



691



692



693



694



695



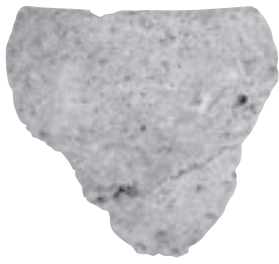
696



697



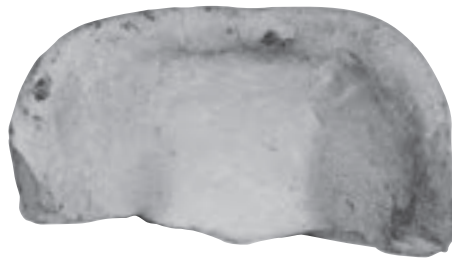
698



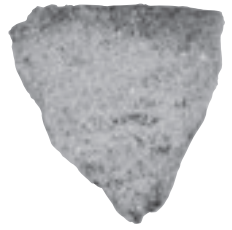
699



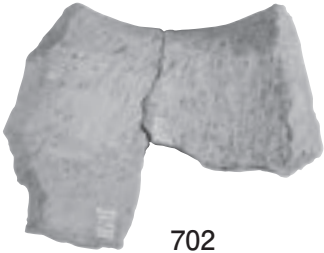
700



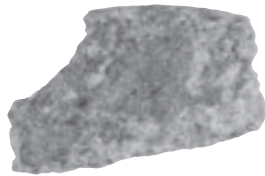
701



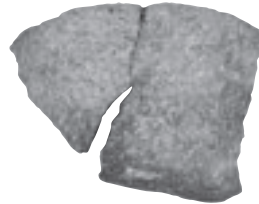
704



702



703



705



706



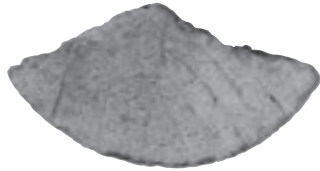
708



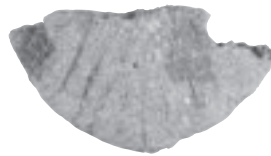
710



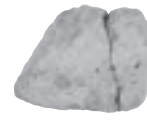
707



709



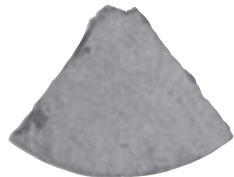
711



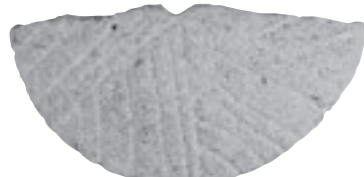
712



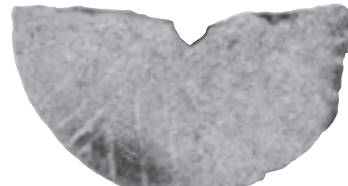
713



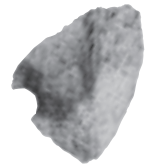
707



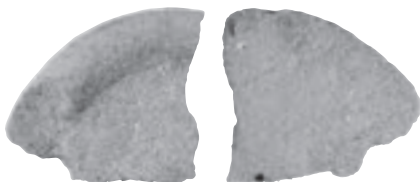
716



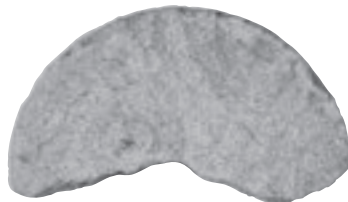
717



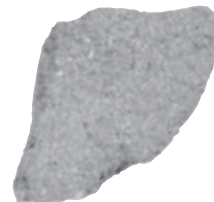
715



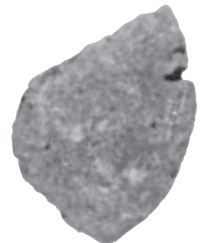
714



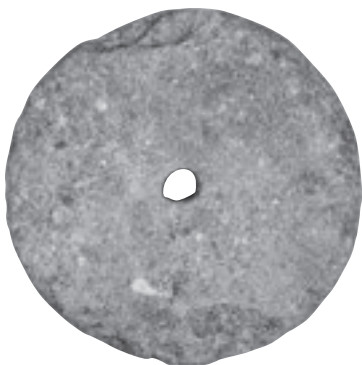
718



719



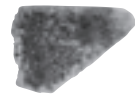
721



720



722



723



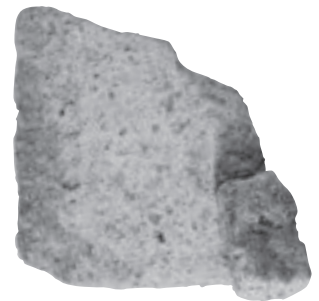
724



725



626



729



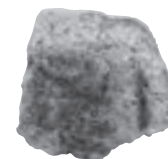
731



727



728



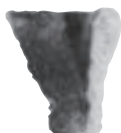
730



732



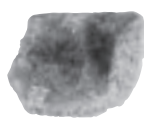
733



734



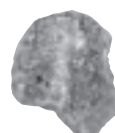
735



736



737



738



739



740



741



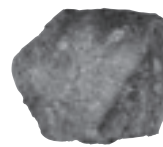
742



743



744



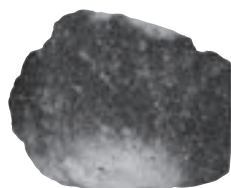
750



745



746



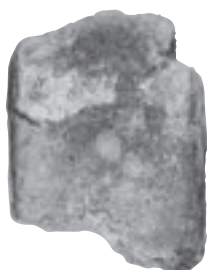
747



748



749



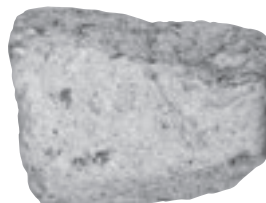
751



752



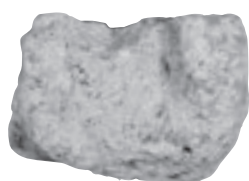
753



754



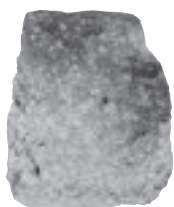
755



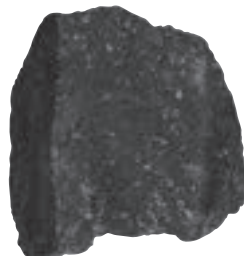
756



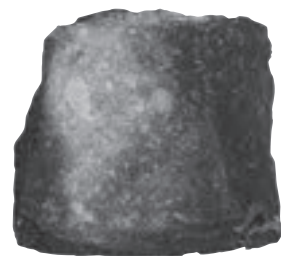
757



758



765



766



759



760



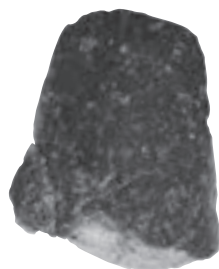
761



762



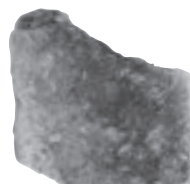
763



764



767



768



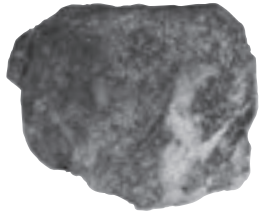
770



769



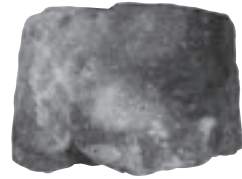
771



772



773



776



777



774



775



778



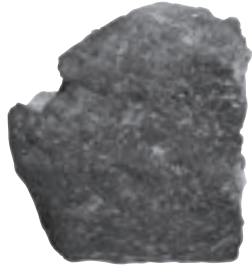
779



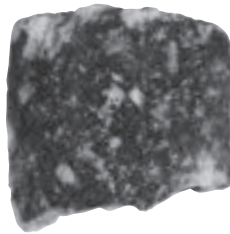
781



780



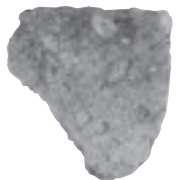
782



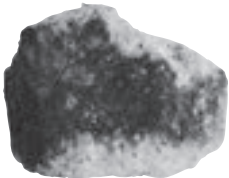
783



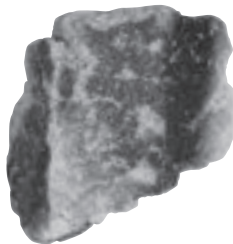
784



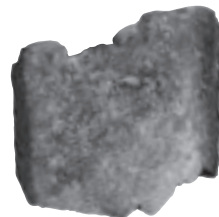
786



793



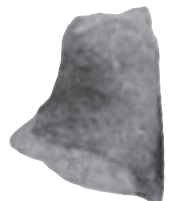
785



787



788



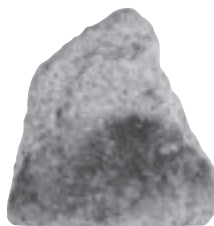
789



790



791



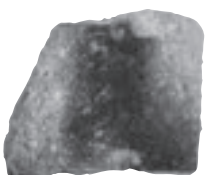
792



794



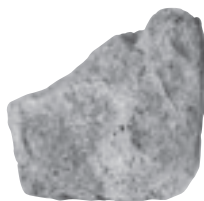
795



796



797



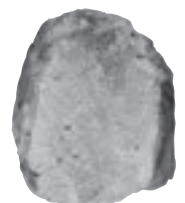
798



799



800



801



802



803



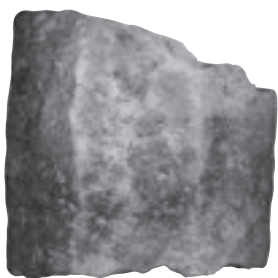
804



805



806



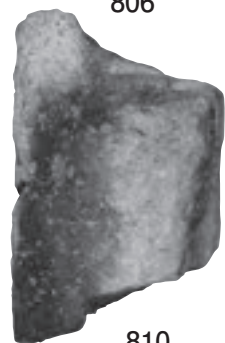
807



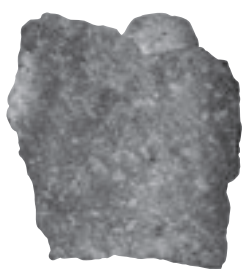
808



809



810



811



812



813



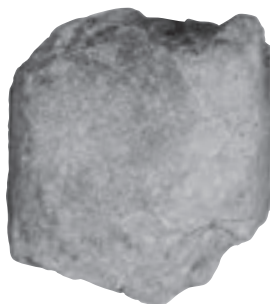
816



815



814



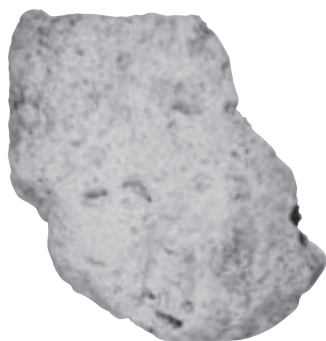
817



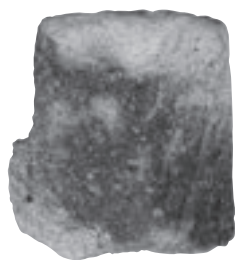
818



819



820



821



822



823



826



825



824



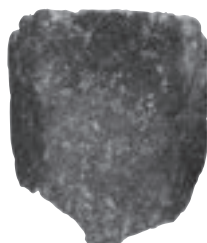
828



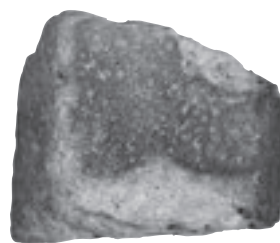
831



827



832



833



829



830



834



835



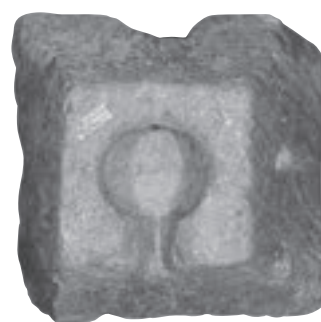
836



837



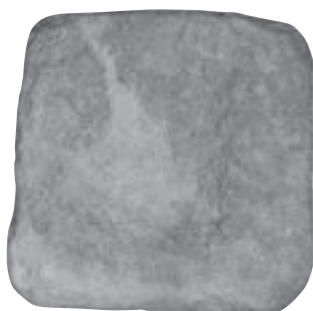
838



839



840



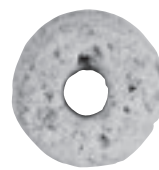
841



842



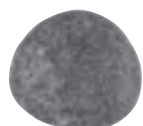
843



844



845



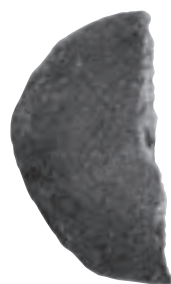
847



849



851



852



853



846



848



850



854



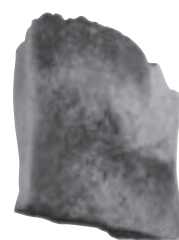
855



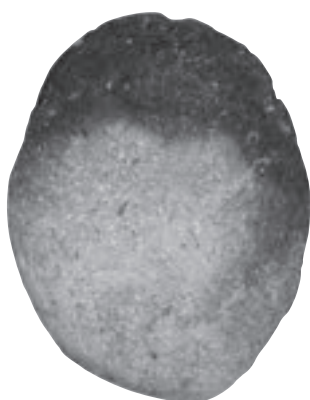
856



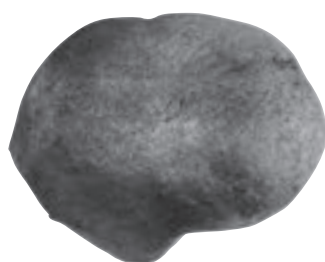
857



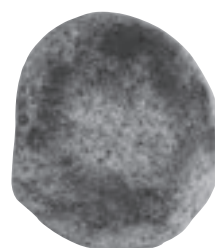
858



859



860



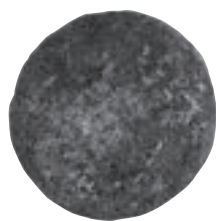
862



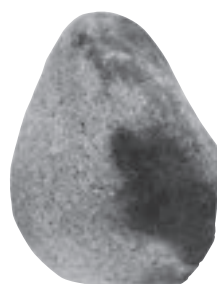
863



864



861



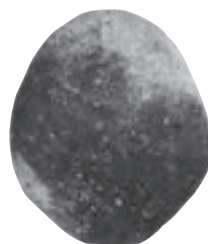
865



866



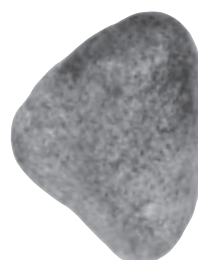
867



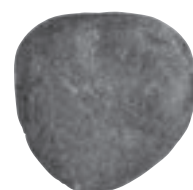
868



869



870



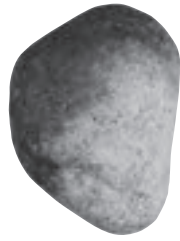
871



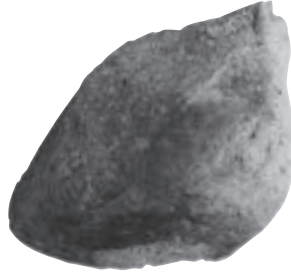
872



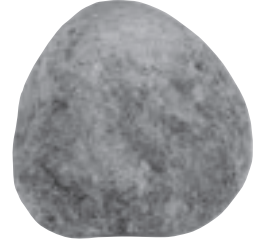
873



875



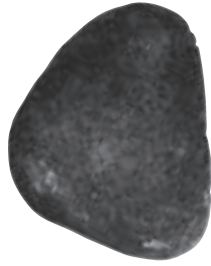
874



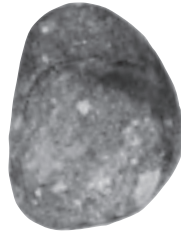
876



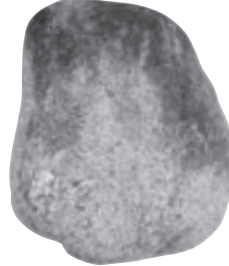
877



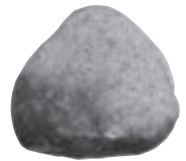
878



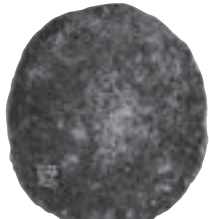
879



880



881



882



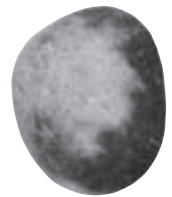
883



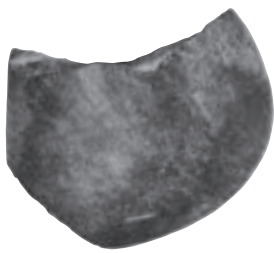
884



885



889



886



887



888



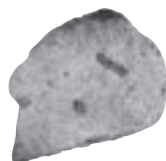
895



890



891



892



893



894

報告書抄録

ふりがな	とくもとくやだいせき							
書名	徳用クヤダ遺跡2							
副書名								
シリーズ名	北西部土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	10							
編著者名	田村昌宏							
編集機関	野々市市教育委員会							
所在地	〒921-8510 石川県野々市市三納一丁目1番地 TEL 076-227-6122							
発行年月日	西暦 2014年3月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
とくもと 徳用クヤダ遺跡 1次調査	いしかわけん 石川県 ののいちし 野々市市 とくもとまち 徳用町	17344	1201902	36° 31′ 59″	136° 35′ 19″	20040412 ～ 20041130	3,488	記録保存 調査
とくもと 徳用クヤダ遺跡 7次調査	いしかわけん 石川県 ののいちし 野々市市 とくもとまち 徳用町	17344	1201902	36° 31′ 58″	136° 35′ 21″	20090413 ～ 20100315	3,594	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項
徳用クヤダ遺跡 1次調査	館 集落	縄文 古代 中世	竪穴状遺構、掘立柱建物、 土坑、溝		縄文土器、土師器、須恵器、 中世陶磁器、打製石斧、炉縁 石、行火、銅銭			
徳用クヤダ遺跡 7次調査	館 集落	弥生 古代 中世	竪穴状遺構、掘立柱建物、 土坑、溝		弥生土器、土師器、須恵器、 中世陶磁器、打製石斧、炉縁 石、行火、銅銭、鉄釘			
要約	<p>縄文時代後晩期、弥生時代後期後半、古代、中世の時代を確認した。</p> <p>縄文時代と弥生時代は、土器や石製品の遺物が主体である。</p> <p>古代では、9世紀後半～10世紀と想定される3棟の掘立柱建物を確認した。発見した建物の近隣には、平成17年度の発掘調査した箇所があり、そこでも当該時期の掘立柱建物を複数確認しており、集落が展開していたようである。</p> <p>中世は前半と後半に分かれる。前半は掘立柱建物2棟を確認したに過ぎず、本調査の主体は中世後半である。調査区の北側で堀に囲まれた一辺約60m×30m以上の屋敷跡を確認し、その屋敷の南側には一辺約15m四方の溝で区画された宅地群を検出した。屋敷や宅地内には、掘立柱建物・竪穴状遺構が設営されていた。屋敷は集落を治める有力者層の居住地で、周囲には民衆層の宅地群が展開していたようである。遺物は日常生活道具のほか、碁石や茶道具などが出土しており、囲碁や喫茶を嗜んでいたようである。</p>							

2014年3月28日 発行

北西部土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書10

徳用クヤダ遺跡 2

著作権所有 石川県野々市市三納一丁目1番地

発行者 野々市市教育委員会

印刷者 石川県野々市市矢作三丁目18

高桑美術印刷株式会社

徳用クヤダ遺跡遺構全体図 (過年度調査区含む)

